BladeSymphony

# BladeSymphony BS320
# Virtage OSインストール手順書(Windows編)

第6版 2013年 2月

HITACHI

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

## 重要なお知らせ

・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断りします。
・本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、
お気付きのことがありましたらお買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
・本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 登録商標・商標について

Microsoft, Windows, Windows Serverは米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2010, 2013 All rights reserved.

## はじめに

本書は、一般的なVirtage OSインストールの簡易手順を示した設定例となります。
お客様の環境により表示内容や一部の手順が異なる場合があることをご承知おきください。
OSインストールの前に以下のガイドを参照し、注意事項および制限事項を必ず確認してください。

・BladeSymphony BS320 ユーザーズガイド　導入編
・BladeSymphony BS320 セットアップガイド　基本構成編
・BladeSymphony BS320 Virtageユーザーズガイド　運用編
・BladeSymphony BS320 Virtageセットアップガイド　基本構成編

また、本書で記載している時間はおおよその目安です。環境により時間が変わる場合があります。

# 目次


重要なお知らせ
登録商標・商標について
版権について
はじめに

インストール所要時間

1. Windows Server 2003 R2 SP2インストール手順(FibreChannelの場合)

| | セットアップCDのみのインストールで使用する項目 | SystemInstallerからのインストールで使用する項目 | ページ |
|---|---|---|---|
| 1．1　準備 | | | |
| 1．1．1　環境確認 | ○ | ○ | 7 |
| 1．1．2　事前準備 | | | |
| （1）　セットアップCDのみを使用する場合 | ○ | × | 7 |
| （2）　SystemInstallerを使用する場合 | × | ○ | 9 |
| 1．1．3　TerminalSoftの設定 | ○ | ○ | 10 |
| 1．2　HVMの起動 | ○ | ○ | 13 |
| 1．3　HVMの設定 | ○ | ○ | 18 |
| 1．4　LPARの構築 | | | |
| 1．4．1　JP1/SC/BSMを使用する場合 | ○ | ○ | 22 |
| 1．4．2　HVM Ver(17-42)以前を使用する場合 | | | 28 |
| 1．4．3　HVM Ver(17-60)以降を使用する場合 | | | 33 |
| 1．5　Windows Server 2003 R2 SP2のインストール | | | |
| 1．5．1　セットアップCDのみを使用する場合 | ○ | × | 38 |
| 1．5．2　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用) | × | ○ | 70 |
| 1．5．3　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)　セットアップCDが32ビットの場合 | | | 106 |
| 1．5．4　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)　セットアップCDがx64の場合 | | | 134 |
| 所要合計時間 | 95分 | 125分 | |

2. Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1インストール手順(FibreChannelの場合)

| | FibreChannelを使用する場合 | ページ |
|---|---|---|
| 2．1　準備 | ○ | 167 |
| 2．2　HVMの起動 | ○ | 171 |
| 2．3　HVMの設定 | ○ | 176 |
| 2．4　LPARの構築 | | |
| 2．4．1　JP1/SC/BSMを使用する場合 | ○ | 180 |
| 2．4．2　HVM Ver(17-42)以前を使用する場合 | | 186 |
| 2．4．3　HVM Ver(17-60)以降を使用する場合 | | 191 |
| 2．5　Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール | ○ | 196 |
| 所要合計時間 | 135分 | |

3. Windows Server 2008 R2/R2 SP1インストール手順(iSCSIの場合)

| | iSCSIを使用する場合 | ページ |
|---|---|---|
| 3．1　準備 | ○ | 216 |
| 3．2　HVMの起動 | ○ | 220 |
| 3．3　HVMの設定 | ○ | 225 |
| 3．4　LPARの構築 | ○ | 229 |
| 3．5　Windows Server 2008 R2/R2 SP1のインストール | ○ | 233 |
| 所要合計時間 | 155分 | |

4. 変更来歴

# インストール所要時間

## 1．Windows Server 2003 R2 SP2インストール手順(FibreChannelの場合)

### ■ Windows Server 2003 R2 SP2
### 32ビット/x64 セットアップCDのみを使用したインストール

| | 所要時間 | |
|---|---|---|
| 1．1 準備 | 5分 | |
| 1．1．1 環境確認 | | 2分 |
| 1．1．2 事前準備 （1） セットアップCDのみを使用する場合 | | 2分 |
| 1．1．3 TerminalSoftの設定 | | 1分 |
| 1．2 HVMの起動 | 10分 | |
| 1．3 HVMの設定 | 10分 | |
| 1．4 LPARの構築 （1．4．1or 1．4．2 or 1．4．3の内の1つを選択） | 10分 | |
| 1．5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール<br>1．5．1 セットアップCDのみを使用する場合 | 60分 | |
| 合計時間 | 95分 | |

### ■ Windows Server 2003 R2 SP2
### 32ビット/x64 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用)

| | 所要時間 | |
|---|---|---|
| 1．1 準備 | 5分 | |
| 1．1．1 環境確認 | | 2分 |
| 1．1．2 事前準備 （2） SystemInstallerを使用する場合 | | 2分 |
| 1．1．3 TerminalSoftの設定 | | 1分 |
| 1．2 HVMの起動 | 10分 | |
| 1．3 HVMの設定 | 10分 | |
| 1．4 LPARの構築 （1．4．1or 1．4．2 or 1．4．3の内の1つを選択） | 10分 | |
| 1．5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール<br>1．5．2 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用) | 90分 | |
| 合計時間 | 125分 | |

### ■ Windows Server 2003 R2 SP2
### 32ビット SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)

| | 所要時間 | |
|---|---|---|
| 1．1 準備 | 5分 | |
| 1．1．1 環境確認 | | 2分 |
| 1．1．2 事前準備 （2） SystemInstallerを使用する場合 | | 2分 |
| 1．1．3 TerminalSoftの設定 | | 1分 |
| 1．2 HVMの起動 | 10分 | |
| 1．3 HVMの設定 | 10分 | |
| 1．4 LPARの構築 （1．4．1or 1．4．2 or 1．4．3の内の1つを選択） | 10分 | |
| 1．5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール<br>1．5．3 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)<br>セットアップCDが32ビットの場合 | 90分 | |
| 合計時間 | 125分 | |

### ■ Windows Server 2003 R2 SP2
### x64 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)

| | 所要時間 | |
|---|---|---|
| 1．1 準備 | 5分 | |
| 1．1．1 環境確認 | | 2分 |
| 1．1．2 事前準備 （2） SystemInstallerを使用する場合 | | 2分 |
| 1．1．3 TerminalSoftの設定 | | 1分 |
| 1．2 HVMの起動 | 10分 | |
| 1．3 HVMの設定 | 10分 | |
| 1．4 LPARの構築 （1．4．1or 1．4．2 or 1．4．3の内の1つを選択） | 10分 | |
| 1．5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール<br>1．5．4 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)<br>セットアップCDがx64の場合 | 90分 | |
| 合計時間 | 125分 | |

## ２．Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1インストール手順(FibreChannelの場合)

■ Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1 をFibreChannelを使用してインストール

| | 所要時間 |
|---|---|
| ２．１ 準備 | 5分 |
| ２．２ HVMの起動 | 10分 |
| ２．３ HVMの設定 | 10分 |
| ２．４ LPARの構築 （２．４．１or ２．４．２ or ２．４．３の内の1つを選択） | 10分 |
| ２．５ Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール | 100分 |
| 合計時間 | 135分 |

## ３．Windows Server 2008 R2/R2 SP1インストール手順(iSCSIの場合)

■ Windows Server 2008 R2/R2 SP1 をiSCSIを使用してインストール

| | 所要時間 |
|---|---|
| ３．１ 準備 | 5分 |
| ３．２ HVMの起動 | 10分 |
| ３．３ HVMの設定 | 10分 |
| ３．４ LPARの構築 | 10分 |
| ３．５ Windows Server 2008 R2/R2 SP1のインストール | 120分 |
| 合計時間 | 155分 |

# １．　Windows Server 2003 R2 SP2インストール手順（FibreChannelの場合）

## １．１　準備

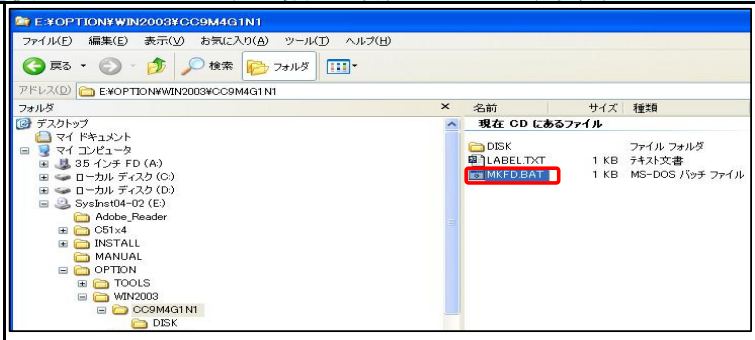
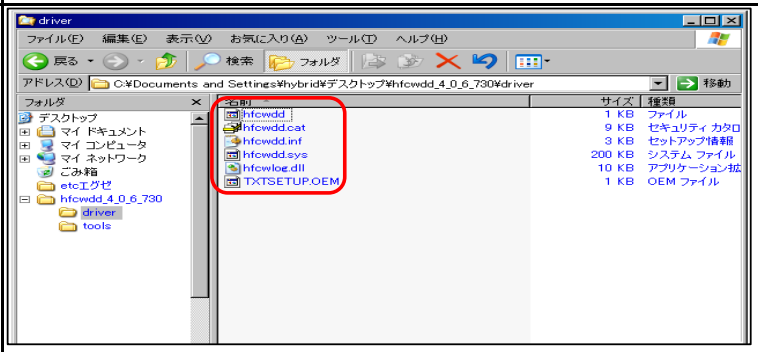
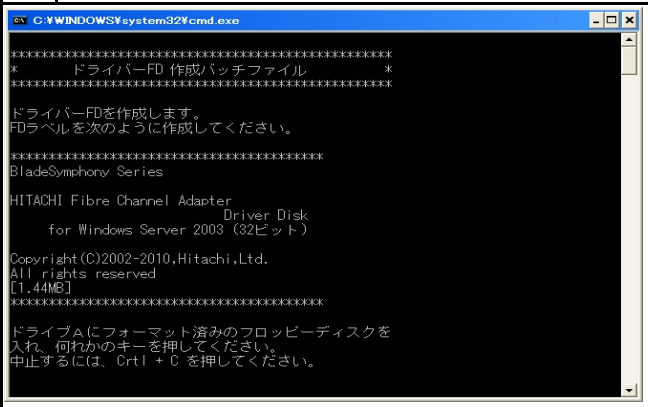
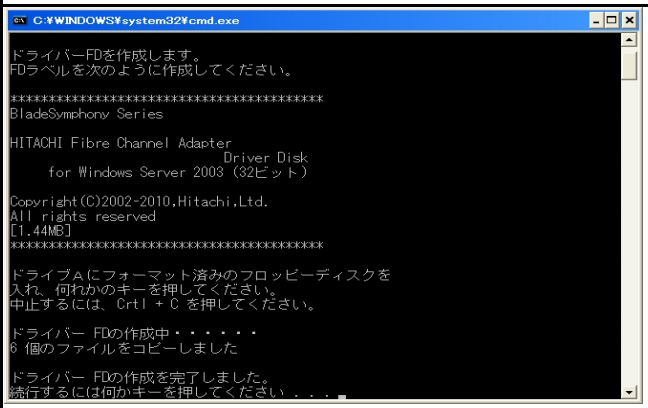
### １．１．１　環境確認

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **環境確認** | ■内部接続方式の設定<br>・BS320ブレードのHVM は「内部接続方式」のみで動作します。HVM モードで使用する場合は、内部接続方式の設定を行う必要があります。<br><br>※詳細については、BladeSymphony BS320 Virtageセットアップガイド　基本構成編「LANスイッチモジュールの設定」を参照してください。<br><br>■リモートコンソールのバージョン確認<br>・リモートコンソールバージョン：04-02以降であることを確認します。 | □ |
| １．１．２　事前準備　に進みます。<br>セットアップCDのみを使用する場合は　１．１．２　事前準備（１）　セットアップCDのみを使用する場合　に進みます。<br>SystemInstallerを使用する場合は　１．１．２　事前準備（２）　SystemInstallerを使用する場合　に進みます。 | | | |

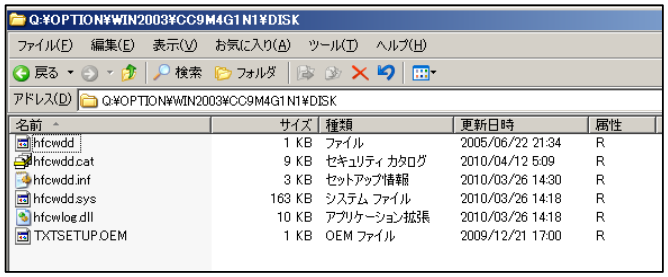
### １．１．２　事前準備

#### （１）　セットアップCDのみを使用する場合

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **事前準備** | ■事前に準備するものについて<br>・以下のものを準備します。<br><br>・USB FDドライブ<br>・FD<br>・SystemInstaller CD　※1<br>・Windows Server 2003 R2 SP2メディア<br>・JP1/ServerConductorメディア<br>・ハードウェア保守エージェントメディア ※2<br><br>※1 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載した表中のバージョン以降を前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstaller CDによって動作が若干異なる場合があります。<br><br>P4モデル：04-01以降<br>P5モデル：05-06以降<br><br>※2　ハードウェア保守エージェントメディアはブレードモデルがP5モデルかつSystemInstallerCDバージョンが05-06以降の場合は必要ありません。 | □ |
| 2 | **SystemInstaller CD内のドライバ確認** | ■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認<br><br>SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内のreadme.html を参照します。<br>インストールに使用するデバイスのドライバがSystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>″導入後のサポート″ -″ サポート製品ダウンロード″-″ ダウンロード最新情報一覧″ | □ |

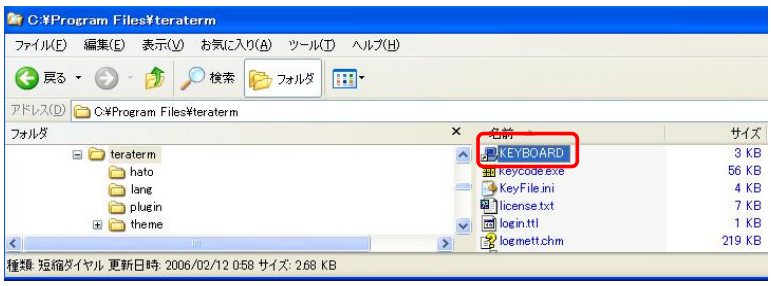
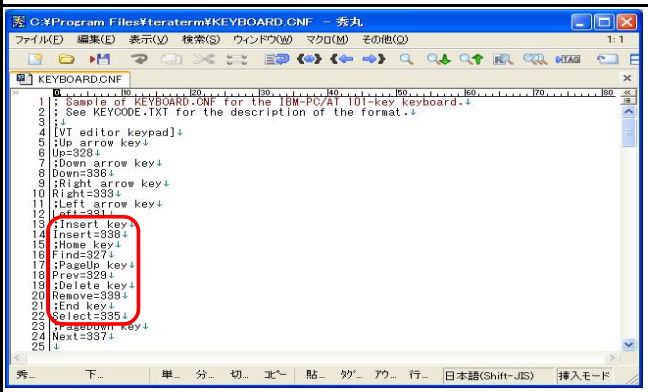
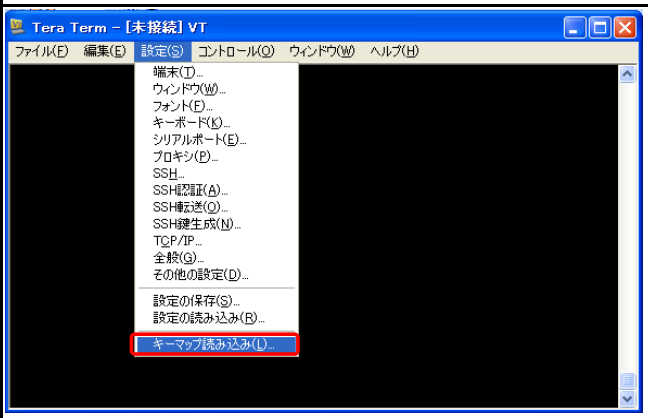
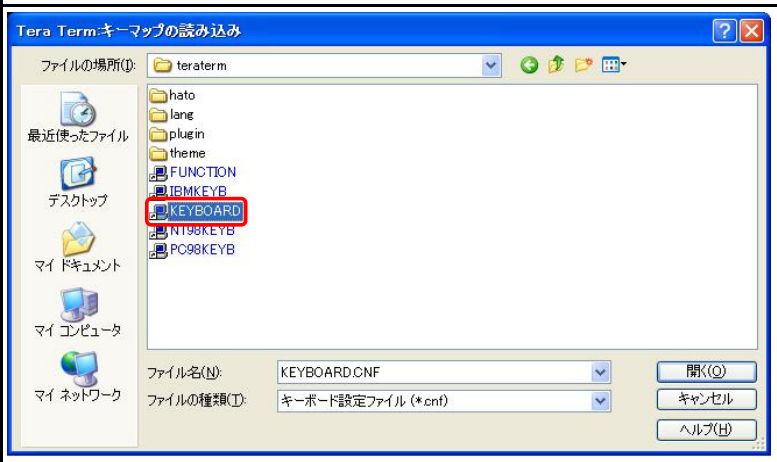
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | FDを使用しインストールする場合は項目3へ進みます。項目3は　3-1もしくは3-2のどちらかを満たせばよい | | |
| | 3-1<br>  | ■SystemInstallerからドライバーFDの作成<br>・SystemInstaller CDをCD/DVDドライブに入れます。<br>・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れます。<br>・D:¥OPTION¥WIN2003¥拡張カード形名¥MKFD.BATを実行します。<br><br>※x64の場合は、D:¥OPTION¥WIN2003x64¥拡張カード形名¥MKFD.BATを実行します。<br>手順4に進みます。 | □ |
| | 3-2<br>  | ■Webからダウンロードしたドライバーの FD作成<br>・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れます。<br>・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。<br>・C¥・・・・・・・¥拡張カード形名¥driver¥にあるすべてのファイルをFDにコピーします。<br><br>※FDにはディレクトリなしでコピーしてください。フォルダを作成するとインストールの際にドライバを読み込むことができなくなります。<br>1．1．3　TerminalSoftの設定に進みます。 | □ |
| 4 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 5 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| | 1．1．3　TerminalSoftの設定に進みます。 | | |

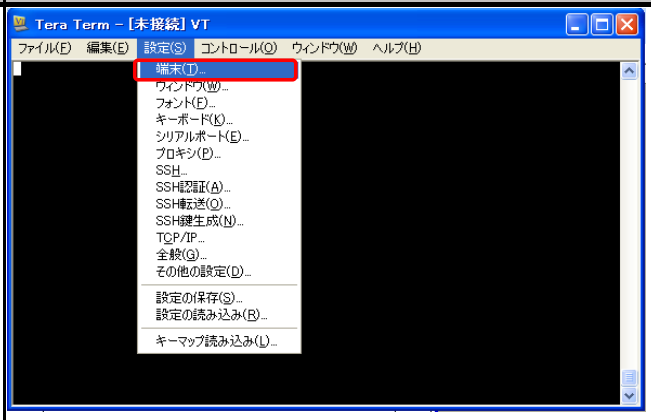
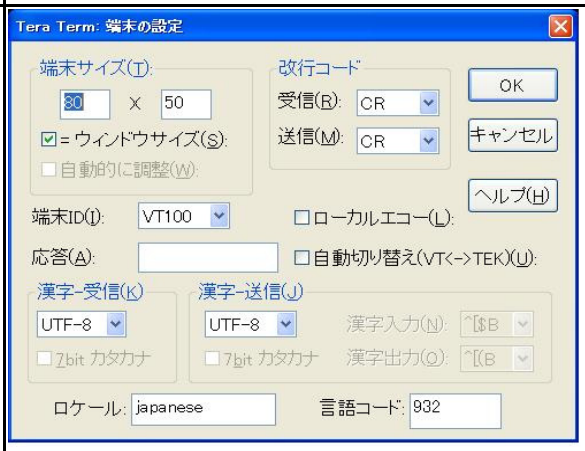
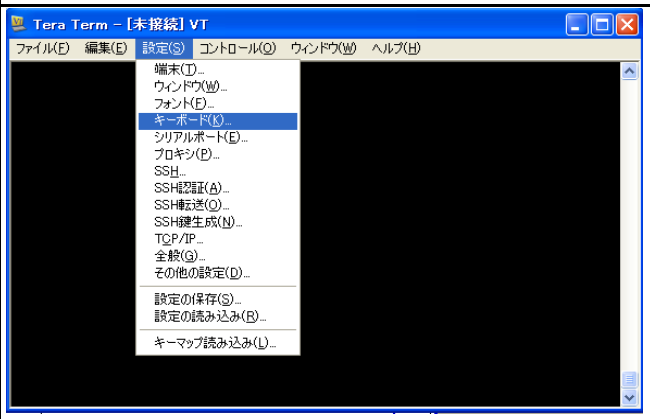
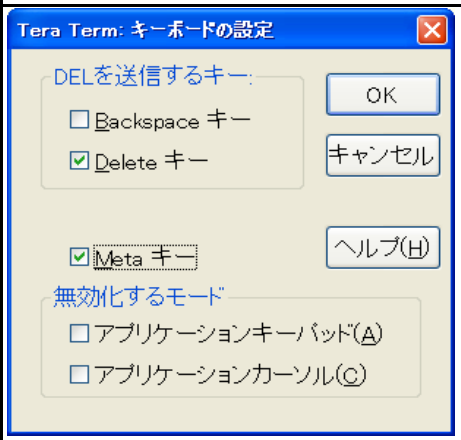
## （2） SystemInstallerを使用する場合

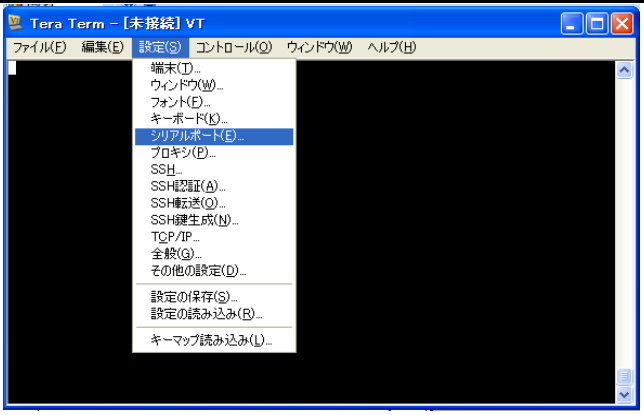
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **事前準備** | ■事前に準備するものについて<br>・以下のものを準備します。<br><br>・CD/DVDドライブ ※1<br>・SystemInstaller CD ※2<br>・Windows Server 2003 R2 SP2メディア<br>・JP1/ServerConductorメディア<br>・ハードウェア保守エージェントメディア ※3<br><br>※1リモートコンソールでCD/DVD接続しインストールする場合は使用しません。<br>※2 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載したバージョンを前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstaller CDによって動作が若干異なる場合があります。<br><br>P4モデル：04-01以降<br>P5モデル：05-06以降<br><br>※3 ハードウェア保守エージェントメディアはブレードモデルがP5モデルかつSystemInstallerCDバージョンが05-06以降の場合は必要ありません。 | □ |
| 2 |  | ■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認<br>・SystemInstaller CDをCD/DVDドライブに入れます。<br>・D:¥OPTION¥WIN2003¥拡張カード形名¥DISKがあることを確認します。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>″導入後のサポート″ −″ サポート製品ダウンロード″−″ ダウンロード最新情報一覧″ | □ |

1．1．3 TerminalSoftの設定に進みます。

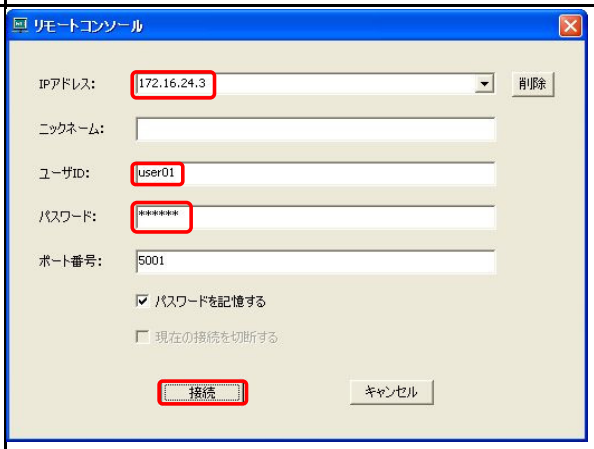
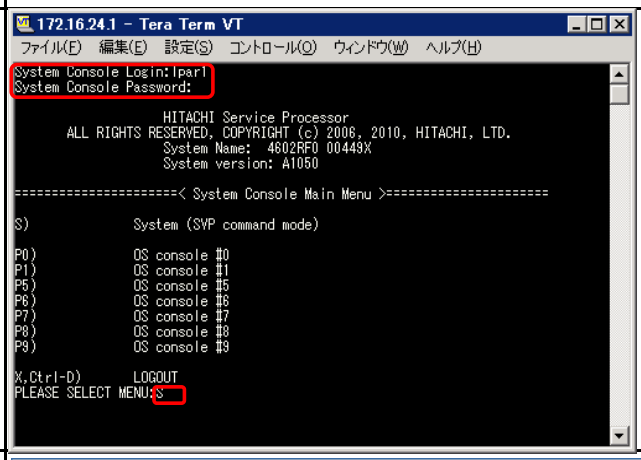
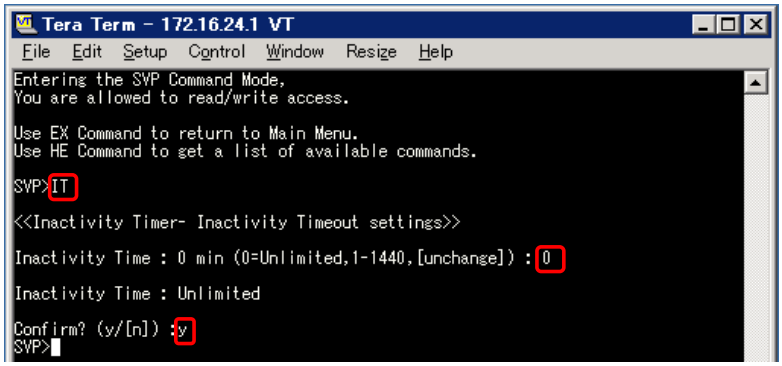
## 1．1．3　TerminalSoftの設定

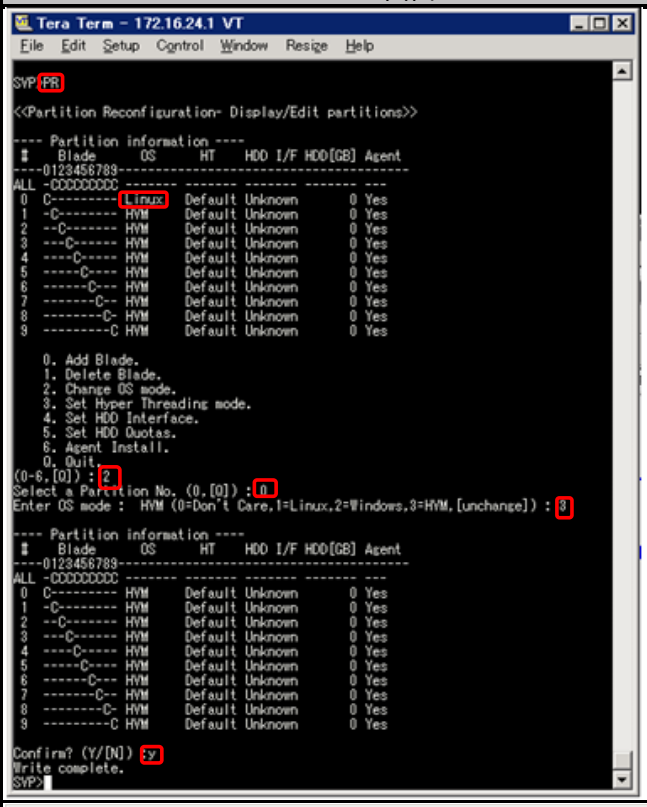
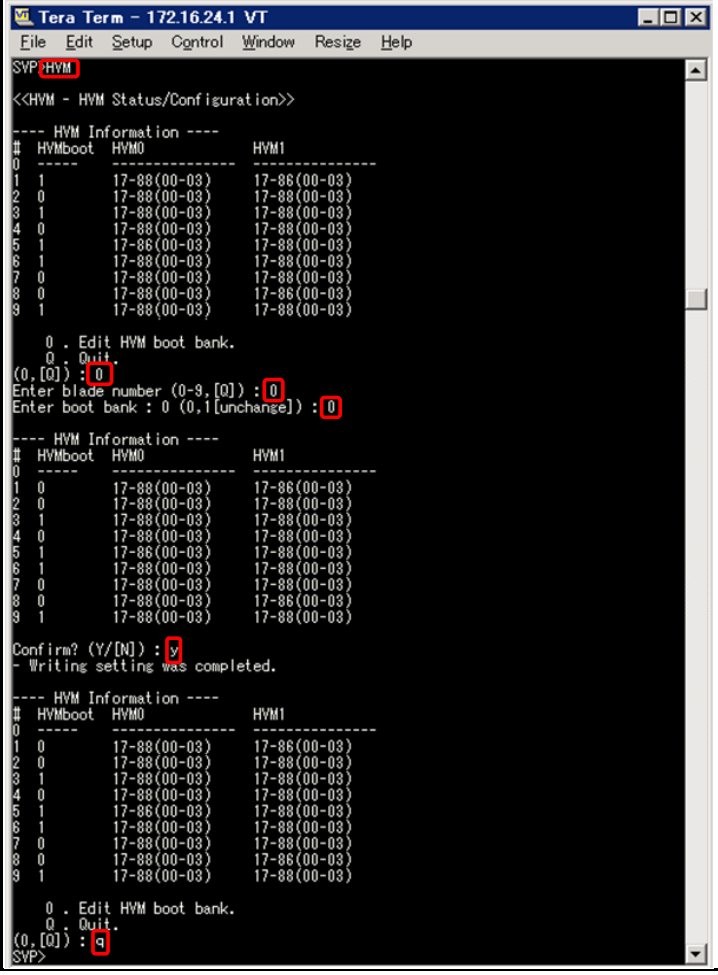
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ■Tera Termの設定<br>・KEYBOARD.CNFを開きます。 | □ |
| 2 |  | ・以下の設定になっていることを確認します。<br><br>Insert=338<br>Find=327<br>Prev=329<br>Remove=339<br>Select=335 | □ |
| 3 |  | ・「設定(S)」-「キーマップ読み込み(L)」をクリックします。 | □ |
| 4 |  | ・KEYBOARD.CNFを選択します。 | □ |

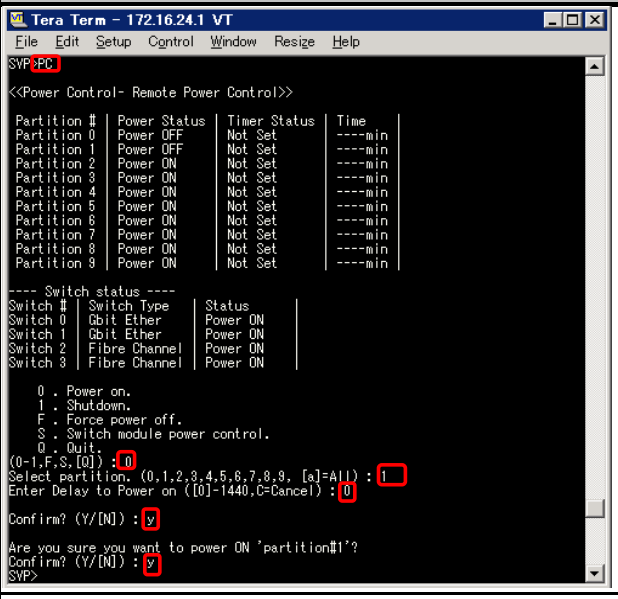
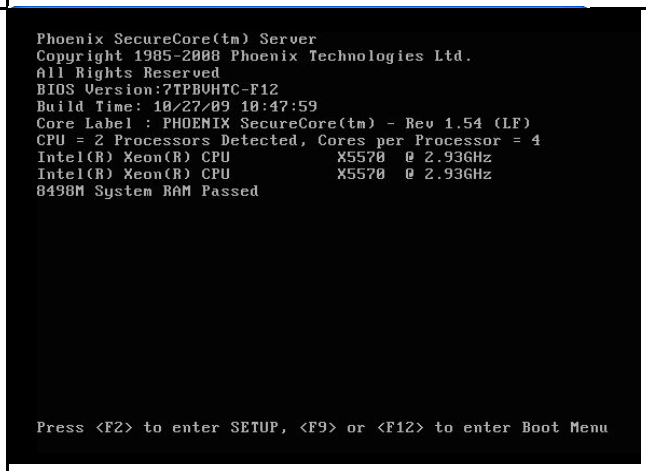
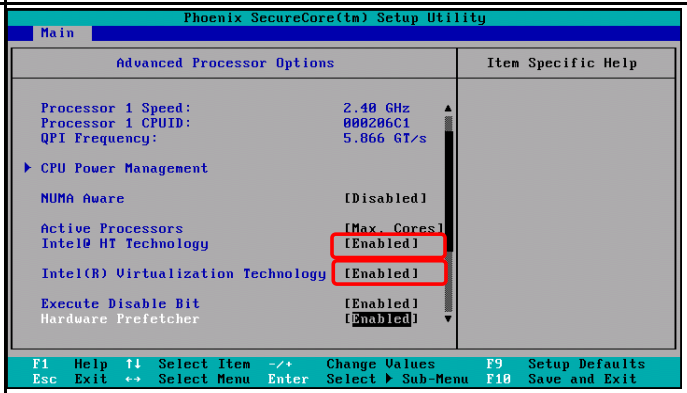
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ・「設定(S)」-「端末(T)」をクリックします。 | □ |
| 6 |  | ・左記の設定となっていることを確認します。 | □ |
| 7 |  | ・「設定(S)」-「キーボード(K)」をクリックします。 | □ |
| 8 |  | ・左記の設定となっていることを確認します。 | □ |

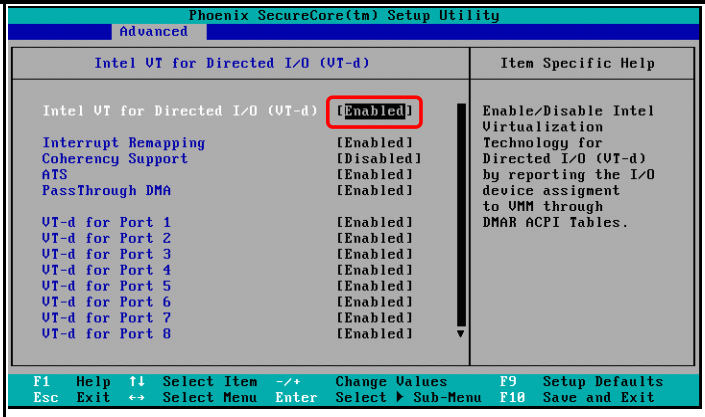
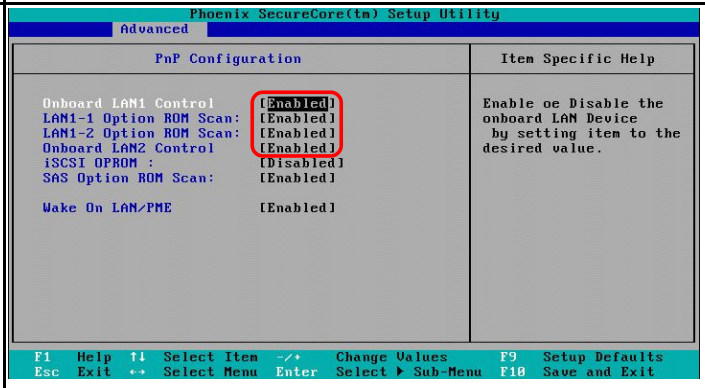
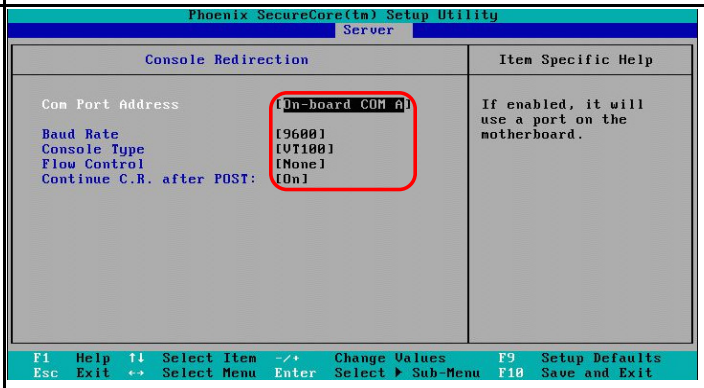
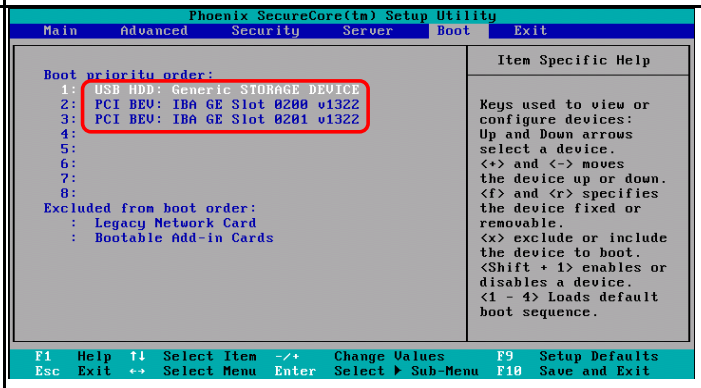
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ・「設定(S)」-「シリアルポート(E)」をクリックします。 | □ |
| 10 | | ・左記の設定となっていることを確認します。 | □ |
| 1．2　HVMの起動に進みます。 | | | |

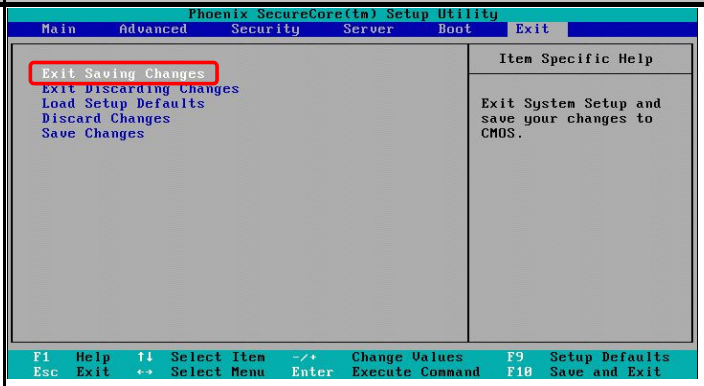
## 1．2　HVMの起動

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | ☐ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 3 | **コンソールの切替：Tera Term** | | ☐ |
| 4 |  | ■SVPにログイン<br>・SVPのIPアドレスを入力し、SVPへ接続します。<br>・ログインIDを入力します。<br>・ログインパスワードを入力します。<br>・「S」を入力します。 | ☐ |
| 5 |  | ■タイムアウト時間の設定<br>※操作がなかった場合に自動で切断される時間を設定できます。<br><br>・「IT」を入力します。<br>・任意の値を入力します。(「0」を設定すると自動で切断されなくなります)<br>・「y」を入力します。 | ☐ |

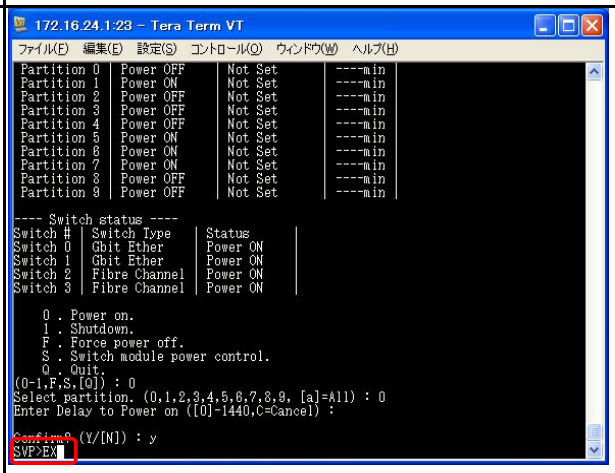
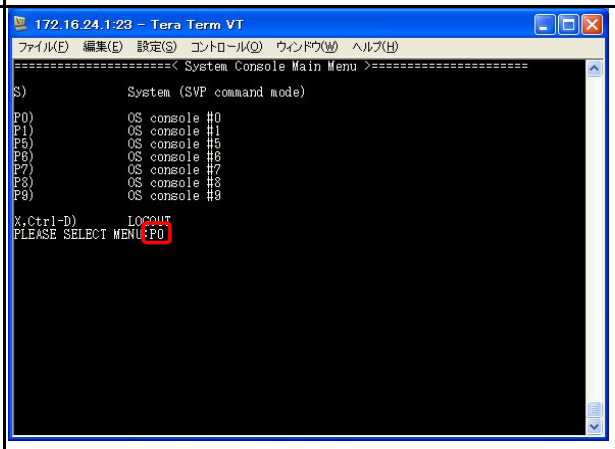
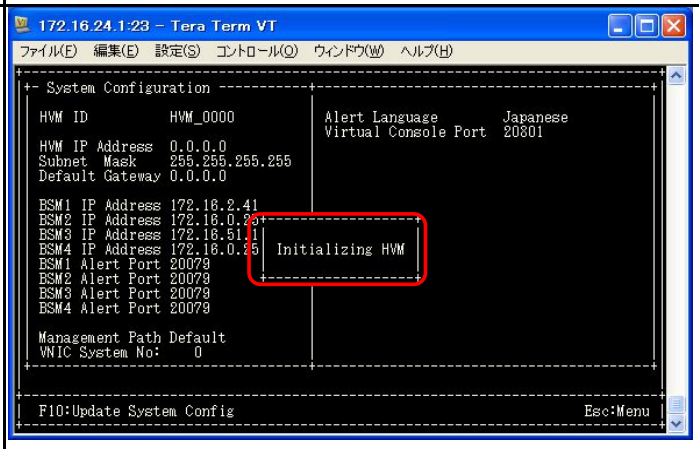
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 6 |  | ■HVMモードの設定<br>・「PR」を入力します。<br>・「OS」の設定値が「HVM」であることを確認してから、「q」を入力します。<br><br>※「HVM」に設定されていない場合は、次の手順を行ってください。<br><br>・「2」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「3」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | ☐ |
| 7 |  | ■HVMファームウェア面番号の設定<br>・「HVM」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「HVMファームウェア面番号」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「q」を入力します。 | ☐ |

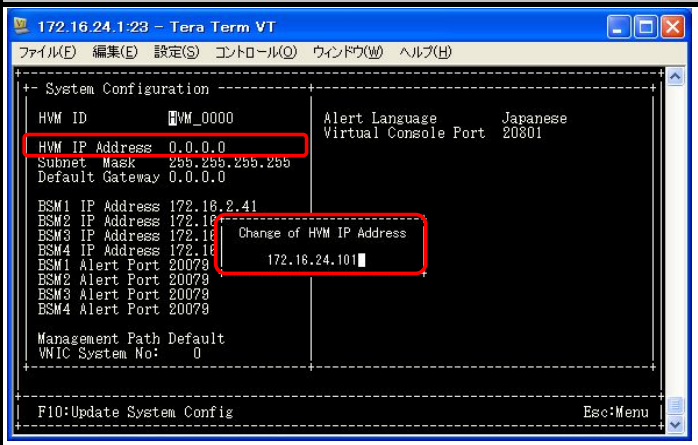
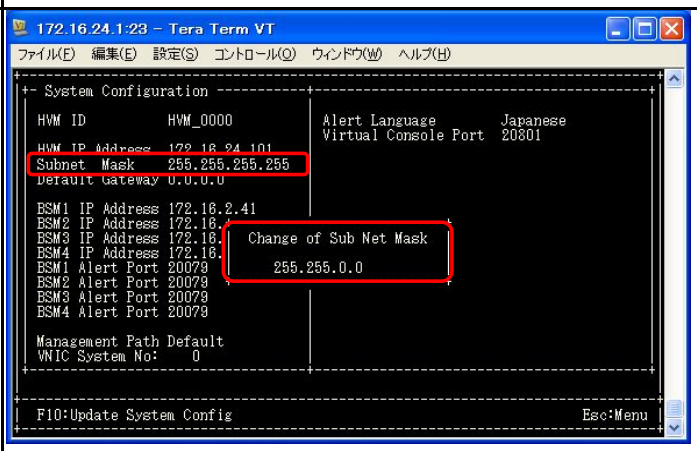
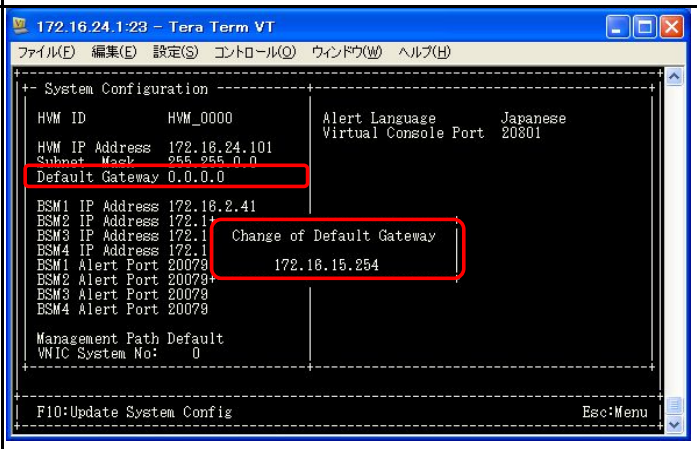
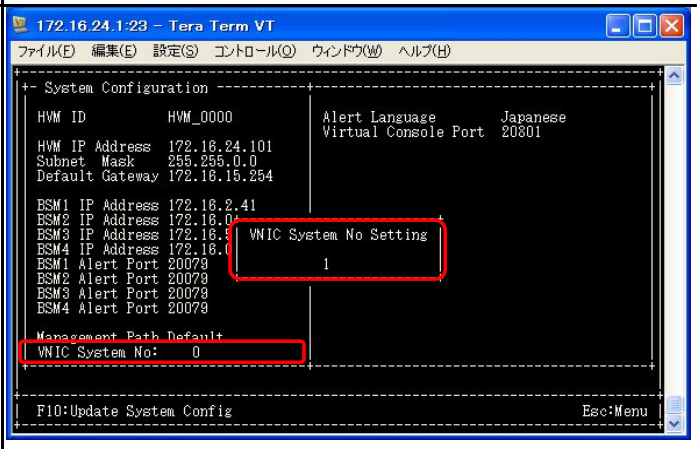
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ■電源の投入<br>・「PC」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | ☐ |
| 9 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | | ☐ |
| 10 |  | ・「Press <F2>…」と表示されたら、「F2」キーを押します。<br><br>※操作が間に合わなかった場合は、一度ブレードの電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。 | ☐ |
| 11 |  | ■BIOSの設定<br>※次の設定でなければ設定値を変更してください。<br><br>・「Main」-「Advanced Processor Options」<br>に移動します。<br>・「NUMA Aware」が「Disabled」<br>に設定されていることを確認します。<br>※HVMファームウェアバージョンが17-86以降の場合は「Enabled」に設定することもできます。<br><br>・「Intel@ HT Technology」が「Enabled」<br>に設定されていることを確認します。<br>※お使いの機種によっては表示されないことがあります。<br><br>・「Intel(R) Virtualization Technology」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | ☐ |

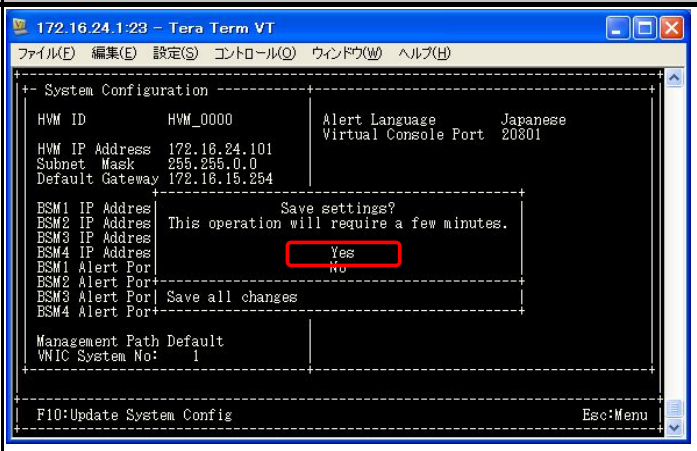
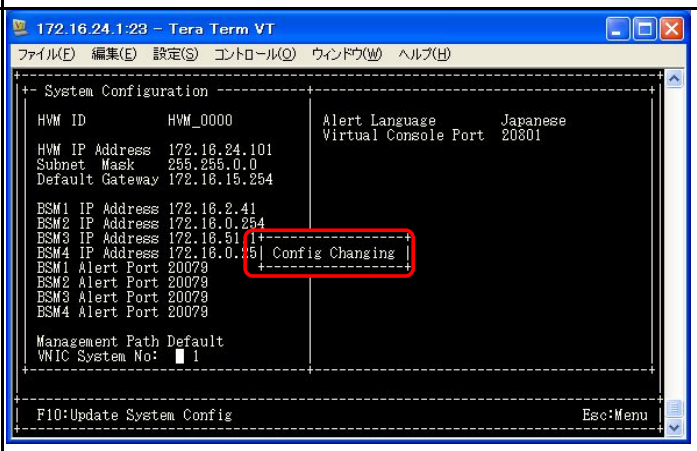
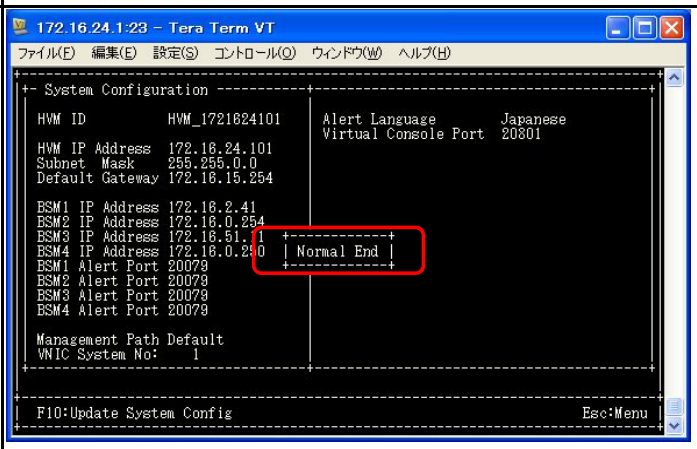
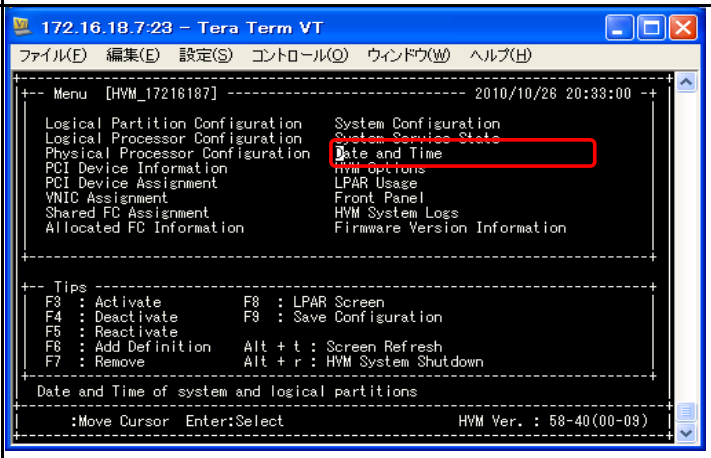
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ・「Advanced」-「Advanced Chipset Control」に移動します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)を選択します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 13 |  | ・「Advanced」-「PnP Configuration」に移動します。<br>・「LAN1-1 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「LAN1-2 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「Onboard LAN2 Control」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 14 |  | ・「Server」-「Console Redirection」に移動します。<br>・「Com Port Address」が「On-board COM A」に設定されていることを確認します。<br>・「Baud Rate」が「9600」に設定されていることを確認します。<br>・「Console Type」が「VT100」に設定されていることを確認します。<br>・「Flow Control」が「None」に設定されていることを確認します。<br>・「Continue C.R. after POST」が「On」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 15 |  | ・「Boot」に移動します。<br>・「Boot Priority order」に「USB HDD: Generic STORAGE DEVICE」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br><br>※「x」キーにより、「Excluded from boot order」から「Boot Priority order」に移動することができます。 | □ |

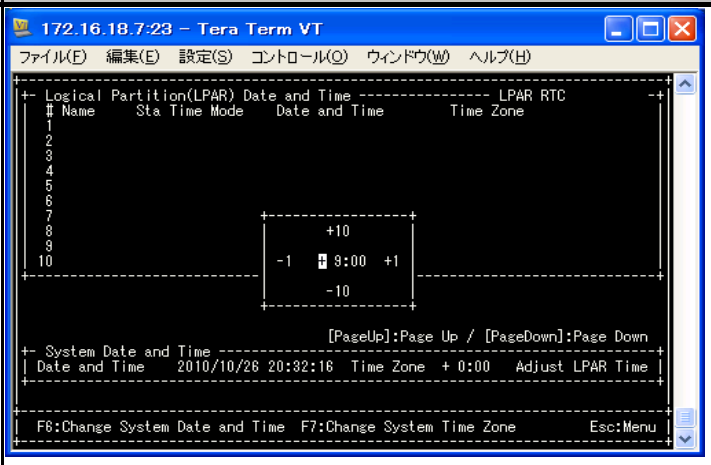
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ・「Exit Saving Changes」を選択します。<br>・「Yes」を選択します。 | □ |
| 17 | | ・サーバブレードが再起動します。 | □ |
| [1．3　HVMの設定に進みます。] | | | |

## 1．3 HVMの設定

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | コンソールの切替：Tera Term | | □ |
| 2 |  | ・「EX」を入力します。 | □ |
| 3 |  | ・「P」+「ブレード番号」を入力します。 | □ |
| 4 |  | ■HVMの設定<br>・「Alt」＋「t」を入力します。<br><br>※Bladeの電源をONにしてから、約7分でSystem Configurationが表示されます。また、「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ・「HVM IP Address」を選択します。<br>・「HVM IP Address」を入力します。 | □ |
| 6 |  | ・「Subnet Mask」を選択します。<br>・「Subnet Mask」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ・「Default Gateway」を選択します。<br>・「Default Gateway」を入力します。 | □ |
| 8 |  | ・「VNIC System No」を選択します。<br>・「VNIC System No」を入力します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ■システム構成情報の更新<br>・「F10」キーを押します。<br>・「Yes」を選択します。 | ☐ |
| 10 |  | ※「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。 | ☐ |
| 11 |  | ※システム構成情報が更新されます。 | ☐ |
| 12 |  | ■TimeZoneの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Date and Time」を選択します。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・「F7」(Change System Time Zone) を押します。<br>・矢印キー (「↑」、「↓」、「←」、「→」)を押し、システムタイムゾーンを＋9:00にします。 | □ |

**1．4　LPARの構築に進みます。**

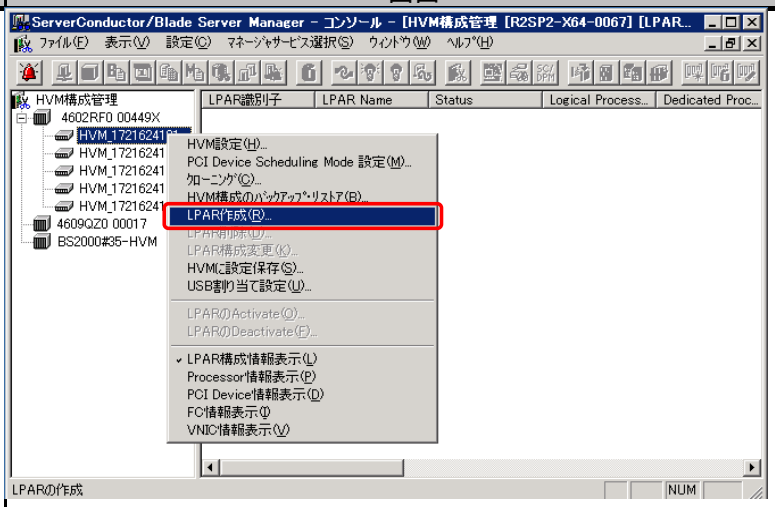
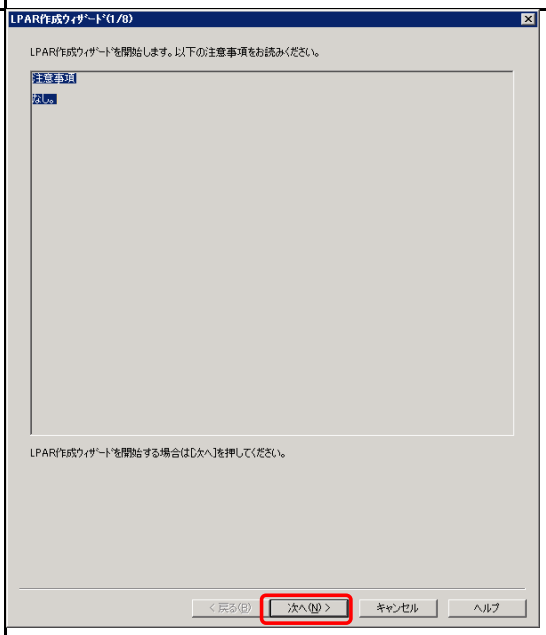
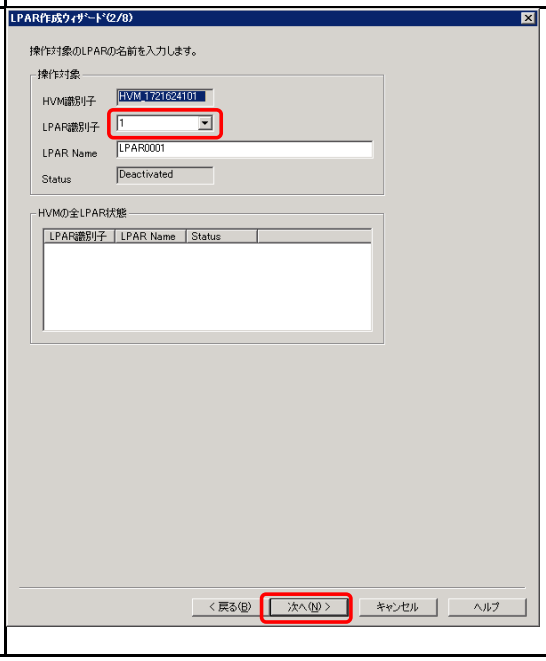
JP1/SC/BSMを使用する場合　1．4．1　LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合）に進みます。

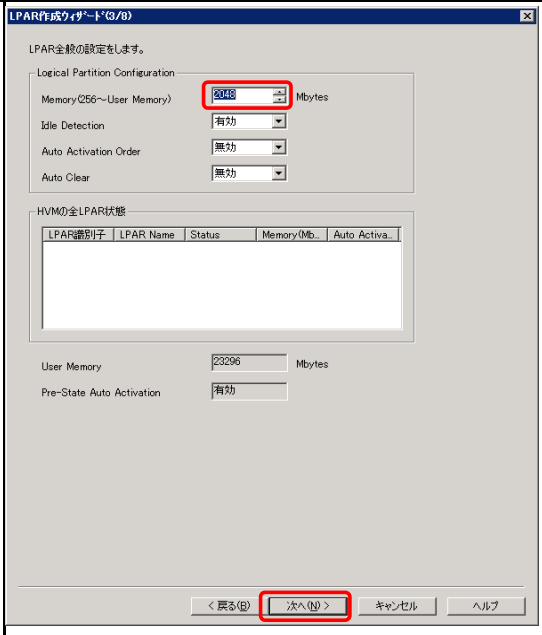
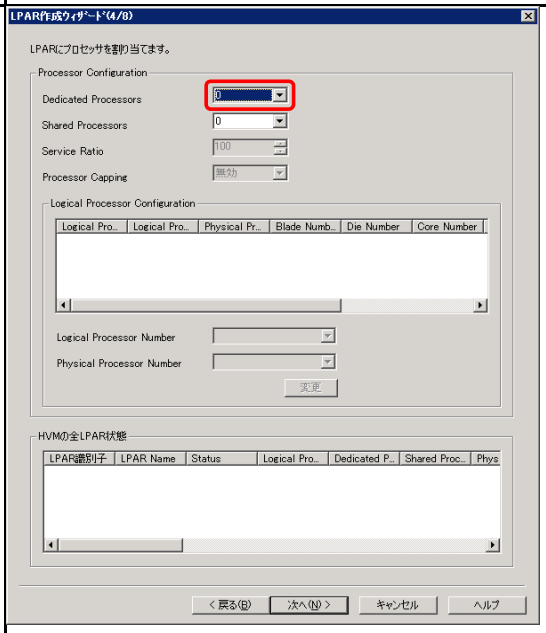
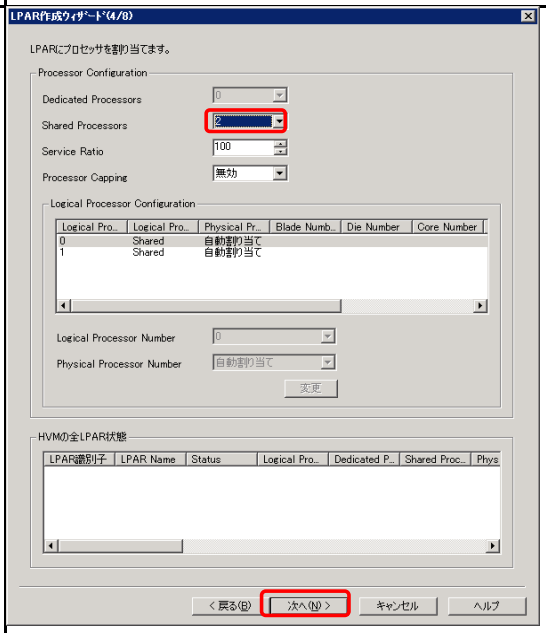
HVM Ver(17-42)以前を使用する場合　1．4．2　LPARの構築(HVM Ver(17-42)以前を使用する場合）に進みます。

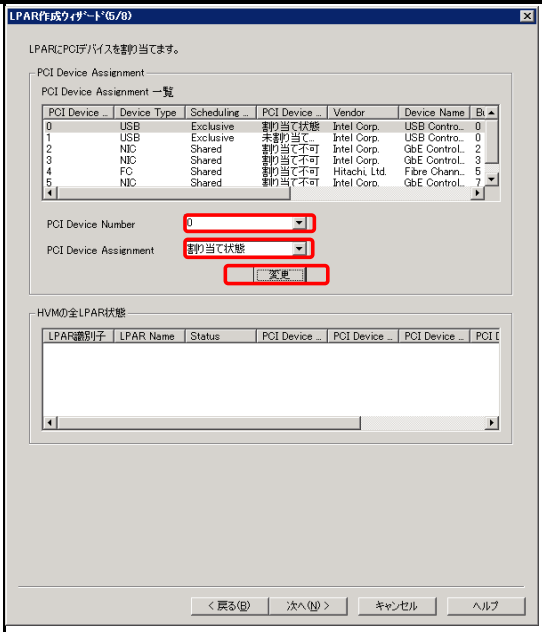
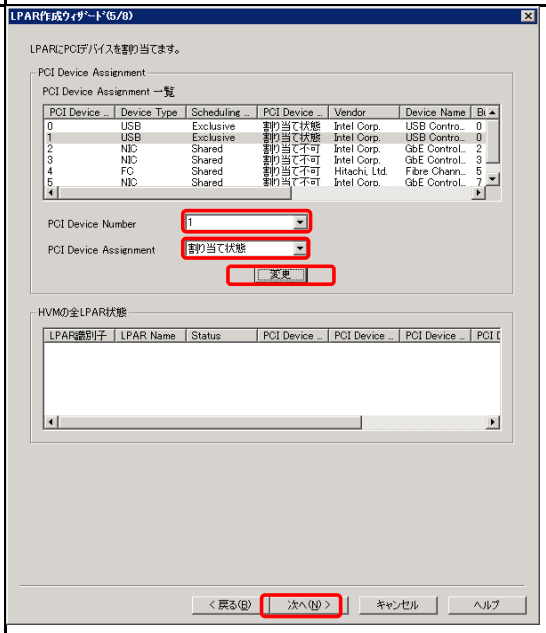
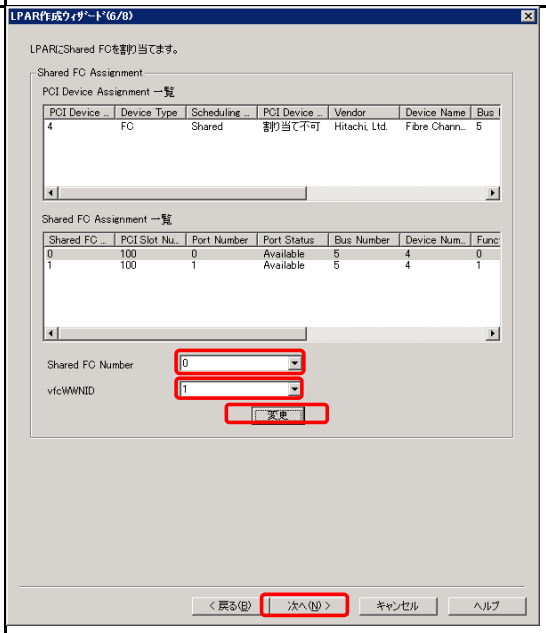
HVM Ver(17-60)以降を使用する場合　1．4．3　LPARの構築(HVM Ver(17-60)以降を使用する場合）に進みます。

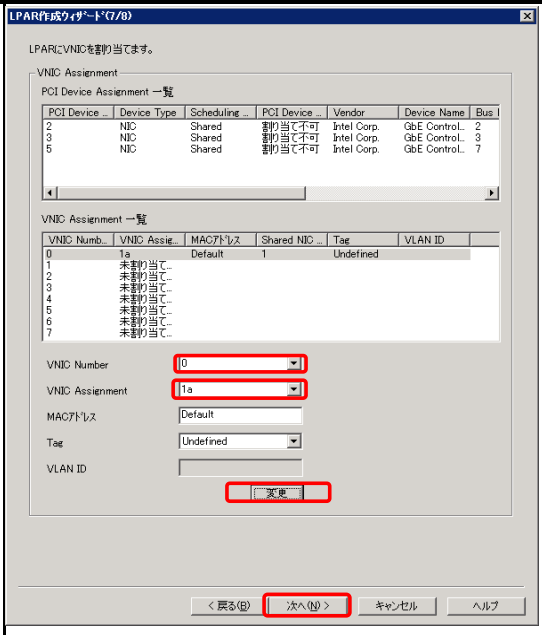
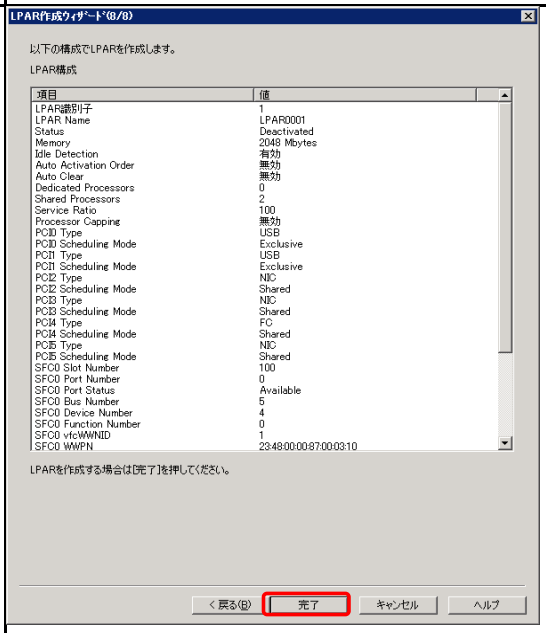
## 1．4　LPARの構築

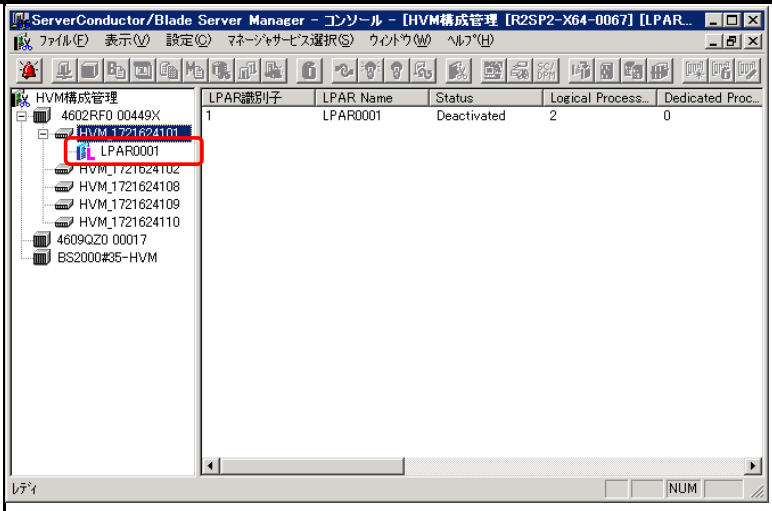
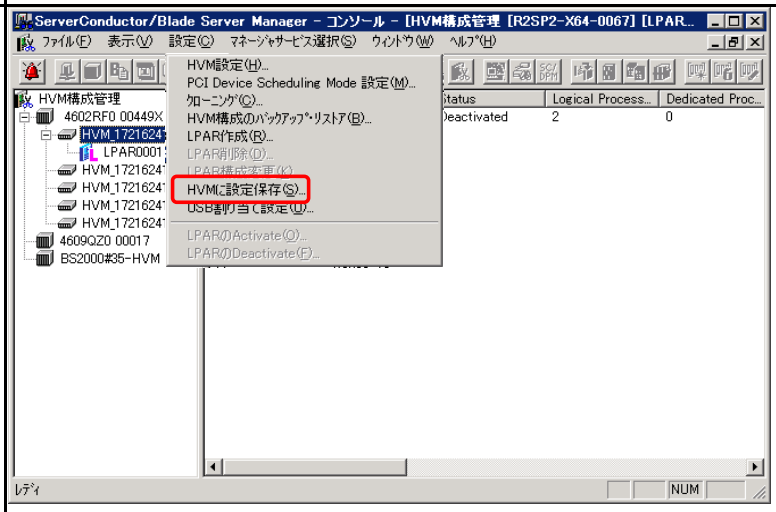
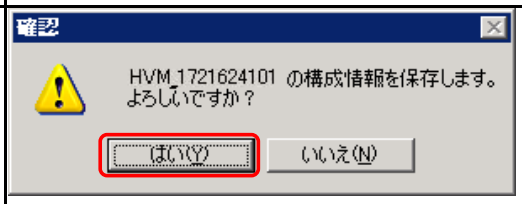
### 1．4．1　LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

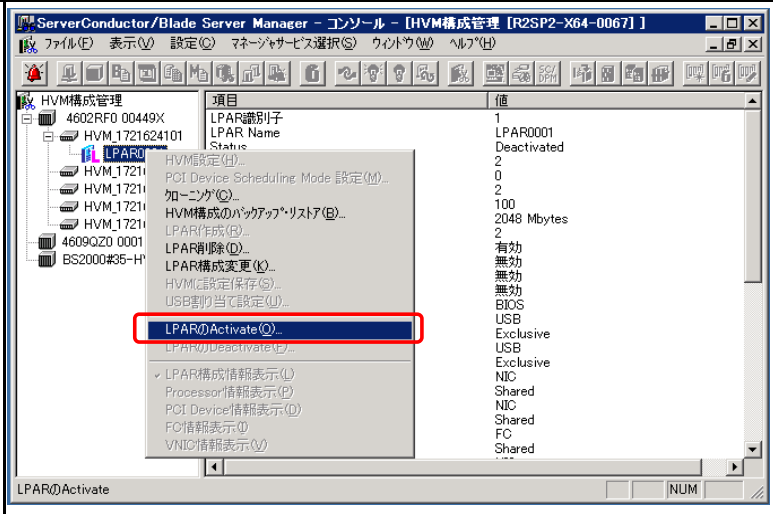
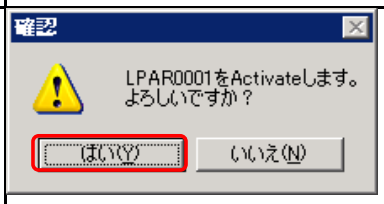
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・HVM構成管理でLPARを作成するHVM IDをクリックします。<br>・マウスで右クリックし「LPAR作成(R)」をクリックします。 | □ |
| 2 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 3 |  | ・LPAR識別子を選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■メモリサイズの設定<br>・任意のメモリサイズを選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 5 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・占有プロセッサが「0」であることを確認します。 | □ |
| 6 |  | ・共有プロセッサで、任意のプロセッサ数を選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 7 |  | ■PCIデバイスの割り当て<br>・「0」を選択します。<br>・「割り当て状態」を選択します。<br>・「変更」をクリックします。 | □ |
| 8 |  | ・「1」を選択します。<br>・「割り当て状態」を選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 9 |  | ■共有FCポートの設定<br>・任意のポートを選択します。<br>・任意のIDを選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ■共有NICの設定<br>・任意のVNIC Numberを選択します。<br>・任意の割り当て先を選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 11 |  | ・「完了」をクリックします。 | □ |
| 12 | | ・「OK」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・LPARが作成されます。 | □ |
| 14 |  | ■構成定義の保存<br>・「HVMに設定保存(S)」をクリックします。 | □ |
| 15 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ■LPARの起動<br>・「LPARのActivate(O)」をクリックします。 | □ |
| 17 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |

**1．5　Windows Server 2003 R2 SP2のインストール　に進みます。**

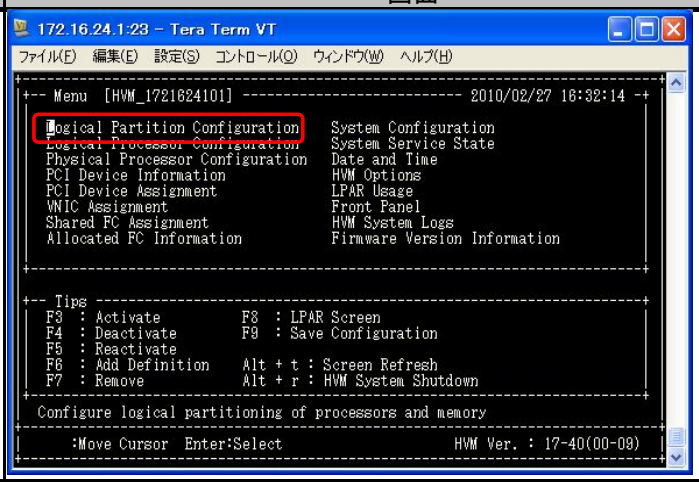
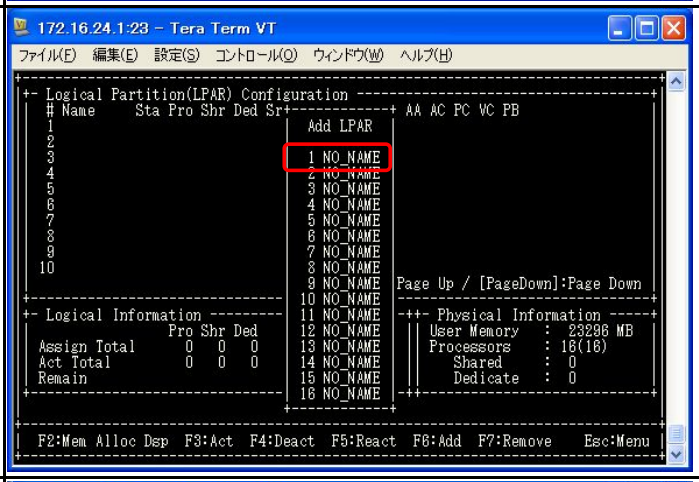
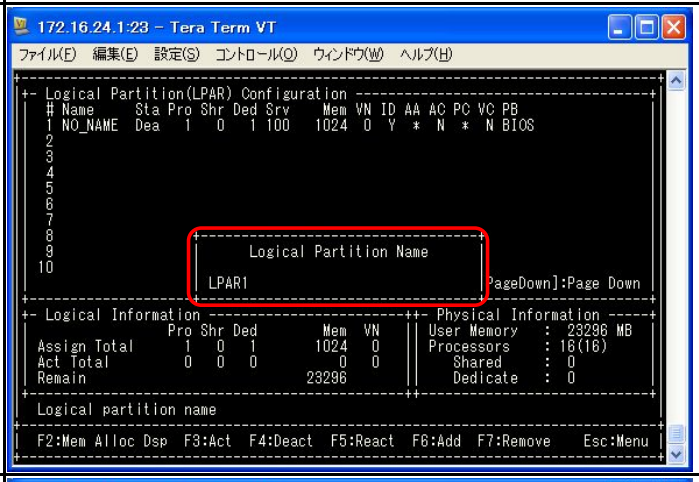
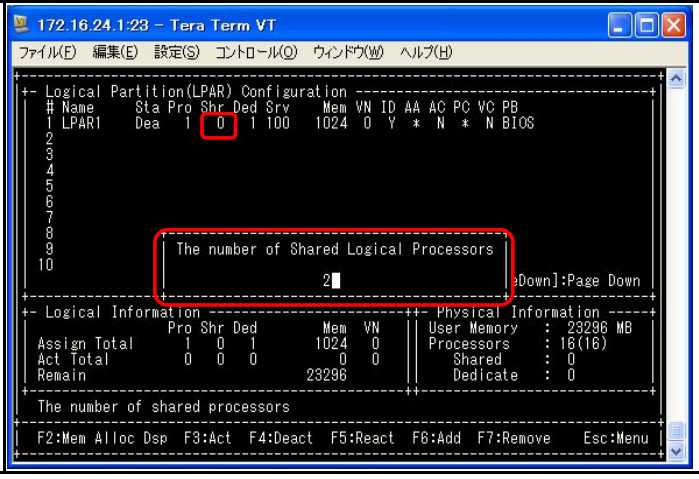
32ビット/x64　セットアップCDのみを使用する場合は　1．5．1　セットアップCDのみを使用する場合　に進みます。

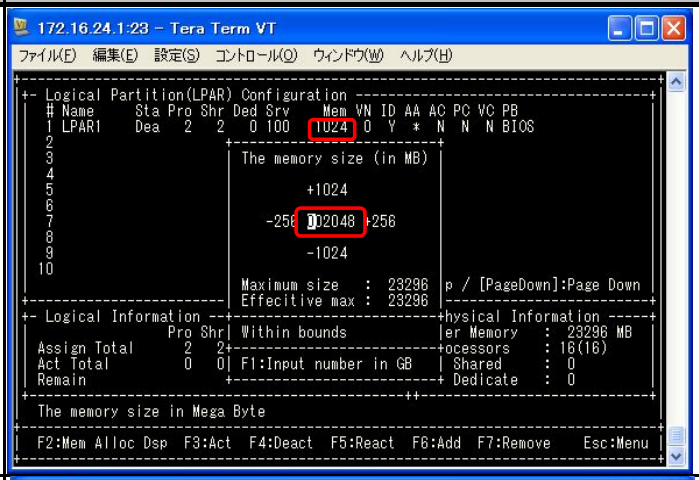
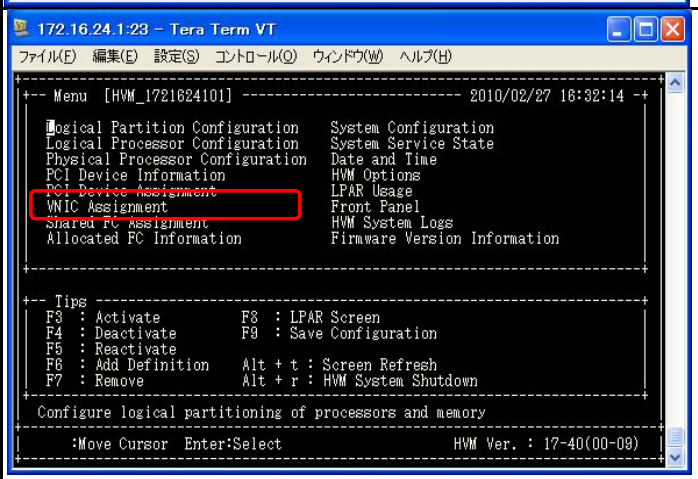
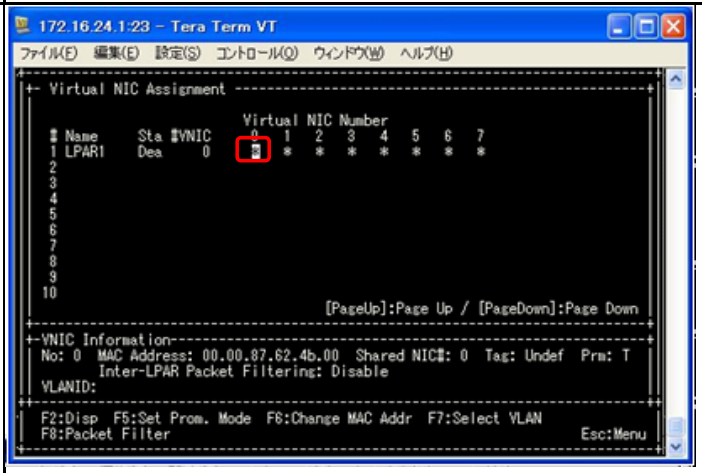
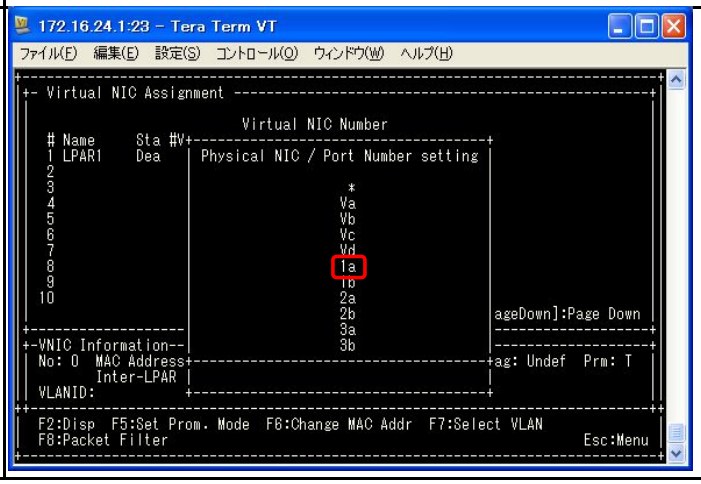
32ビット/x64　SystemInstallerを使用する場合は　1．5．2　SystemInstallerを使用する場合(構成マネージャ未使用)に進みます。

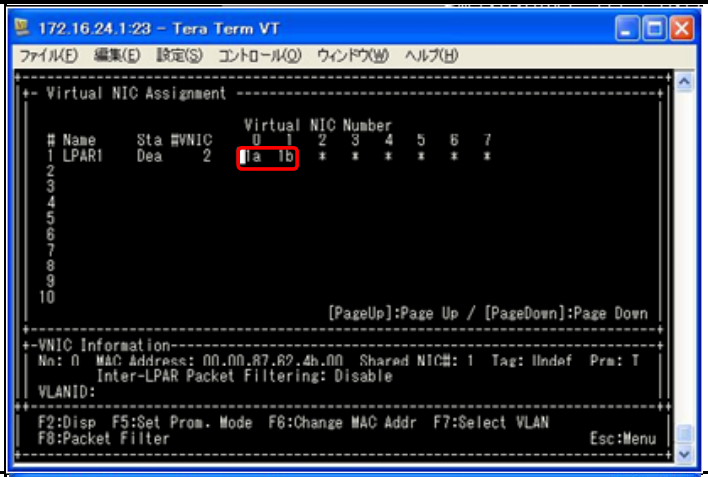
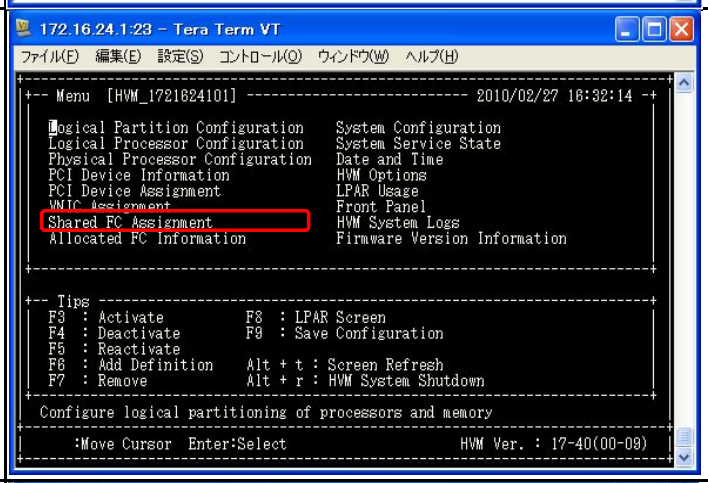
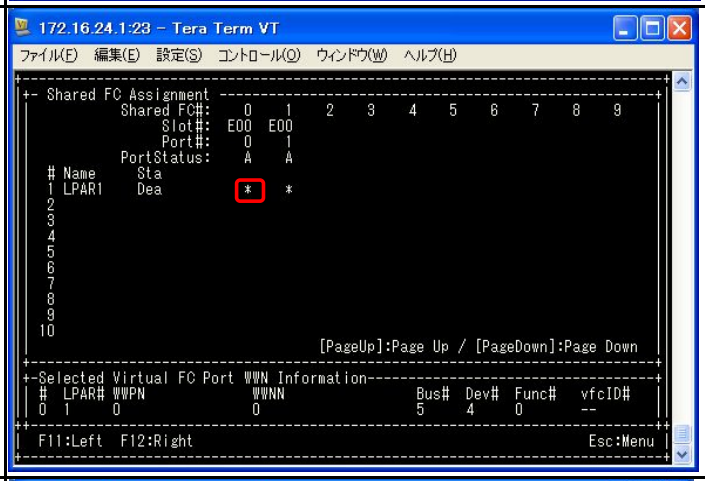
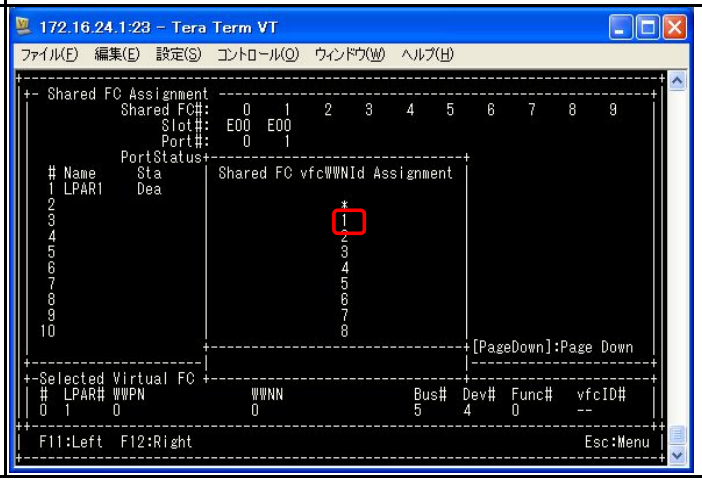
32ビットでSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．3　SystemInstallerを使用する場合SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDが32ビットの場合に進みます。

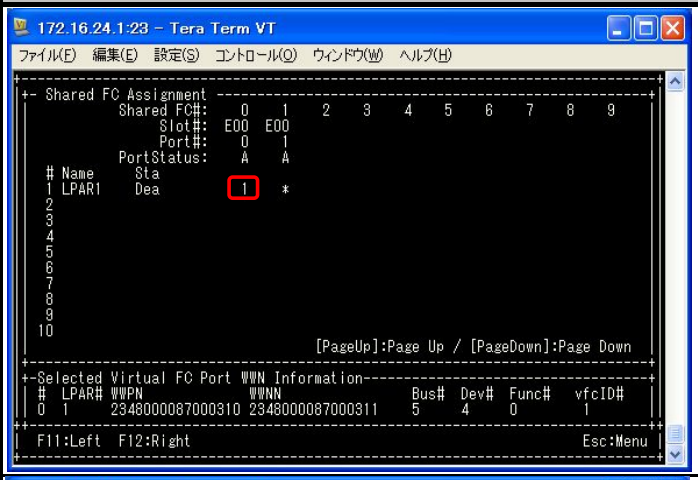
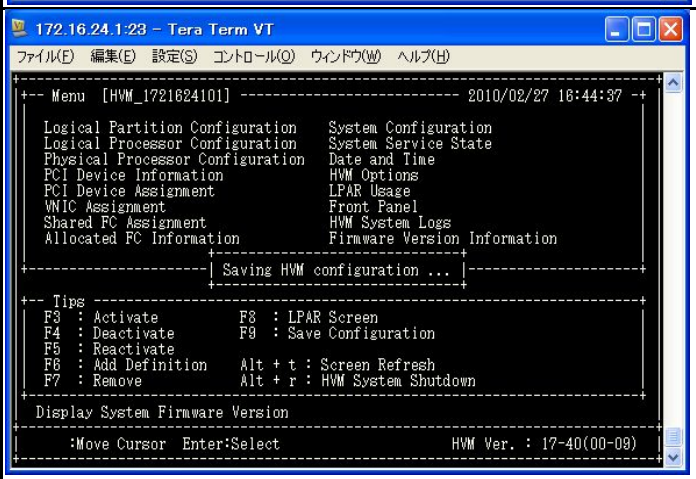
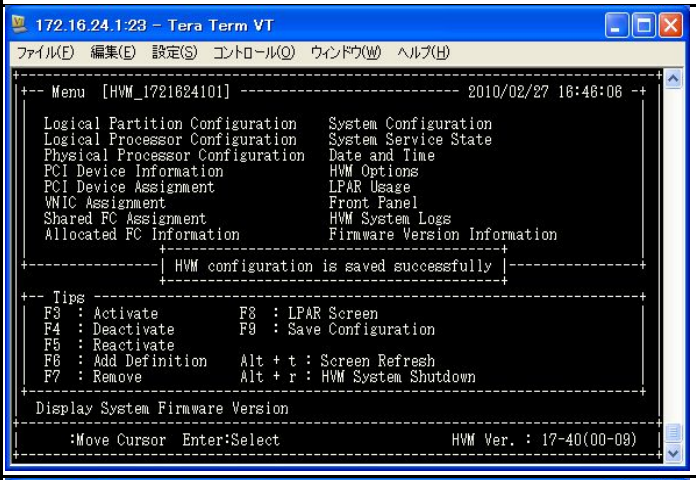
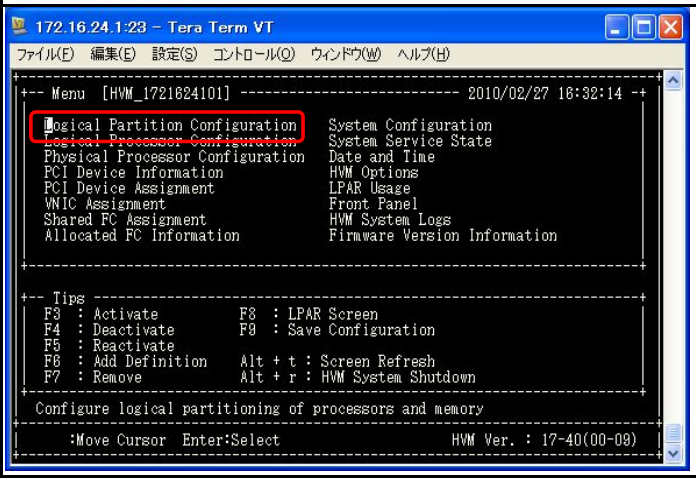
x64でSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．4　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDがx64の場合に進みます。

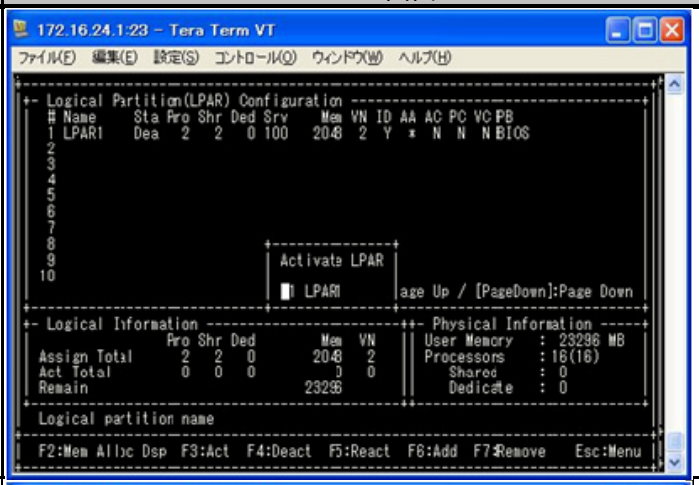
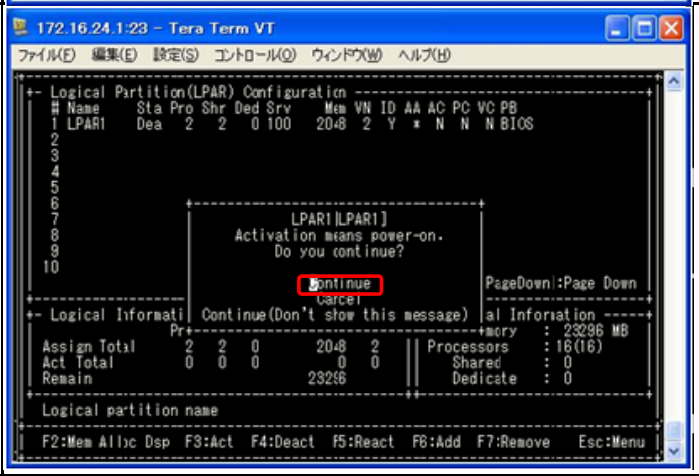
## 1．4．2　LPARの構築(HVM_Ver(17-42)以前を使用する場合)

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 2 |  | ・「F6」キーを押します。<br>・作成するLPAR番号を選択します。 | □ |
| 3 |  | ■LPAR名称の設定<br>・「Name」列を選択します。<br>・「LPAR名称」を入力します。<br><br>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。 | □ |
| 4 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・「Shr」列を選択します。<br>・任意のプロセッサ数を入力します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■メモリサイズの設定<br>・「Mem」列を選択します。<br>・任意のメモリサイズを選択します。 | □ |
| 6 |  | ■共有NICの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「VNIC Assignment」を選択します。 | □ |
| 7 |  | ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 | □ |
| 8 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ※共有NICが設定されます。 | □ |
| 10 |  | ■共有FCポートの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Shared FC Assignment」を選択します。 | □ |
| 11 |  | ・「Shared FC」の「*」を選択します。 | □ |
| 12 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ※共有FCポートが設定されます。 | □ |
| 14 |  | ■HVM構成情報の保存<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。<br><br>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。 | □ |
| 15 |  | ※HVM構成情報が保存されます。 | □ |
| 16 |  | ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 17 |  | ■LPARの起動<br>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 | □ |
| 18 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |

**1．5　Windows Server 2003 R2 SP2のインストール　に進みます。**

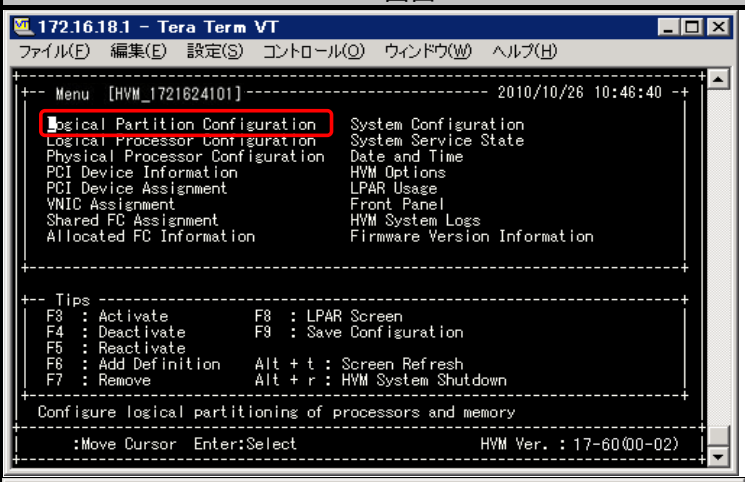
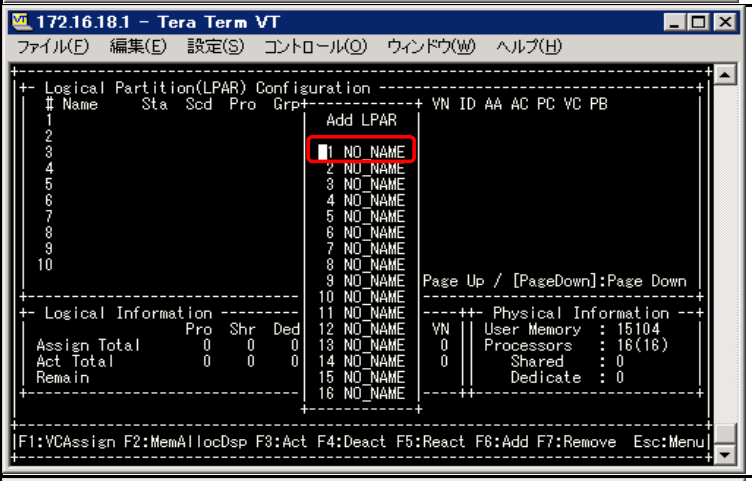
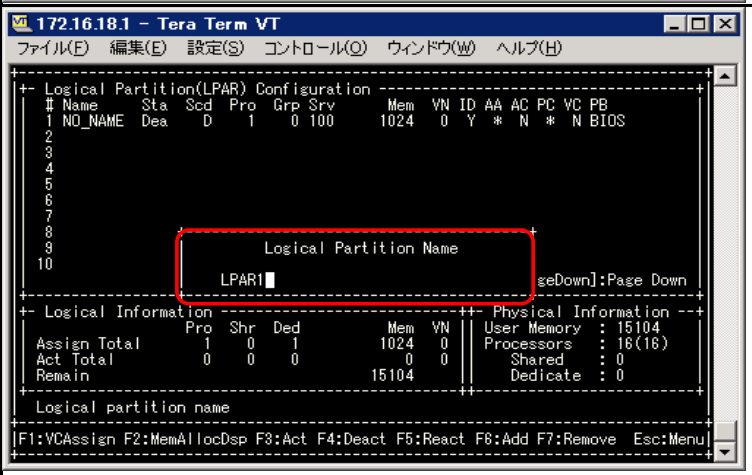
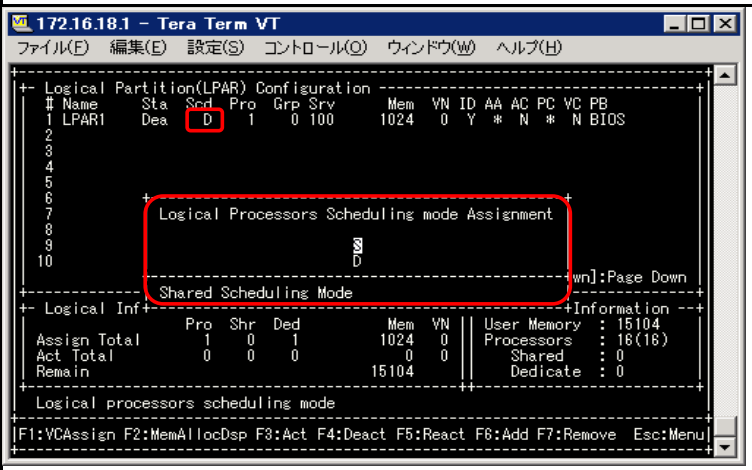
32ビット/x64　セットアップCDのみを使用する場合は　1．5．1　セットアップCDのみを使用する場合　に進みます。

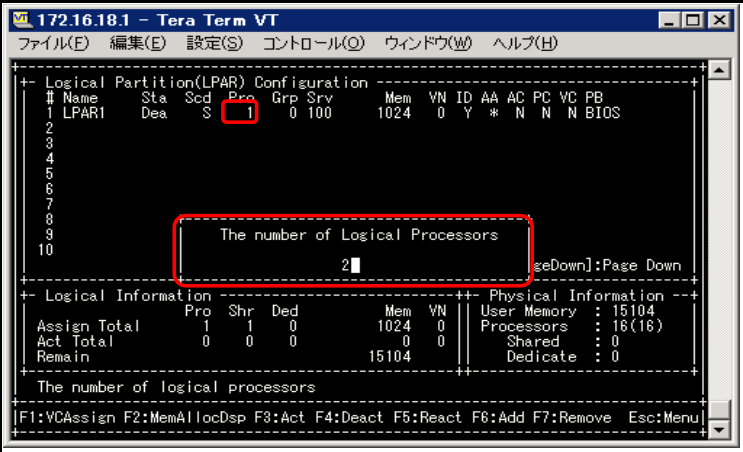
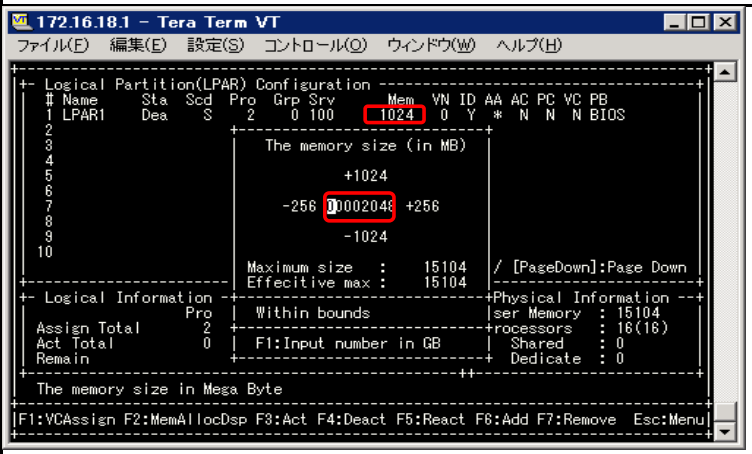
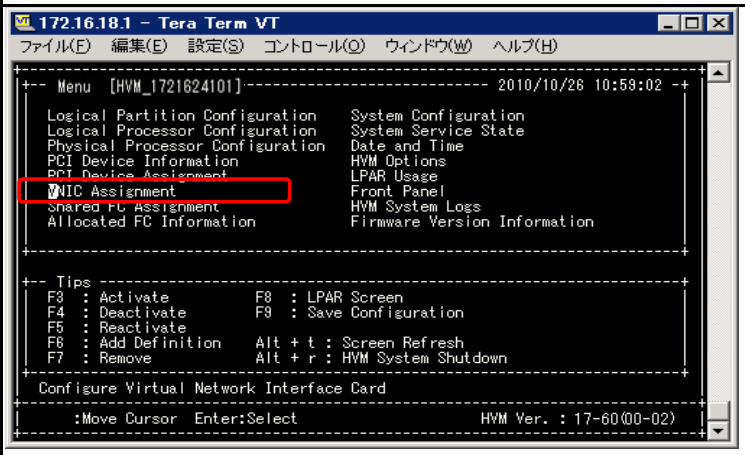
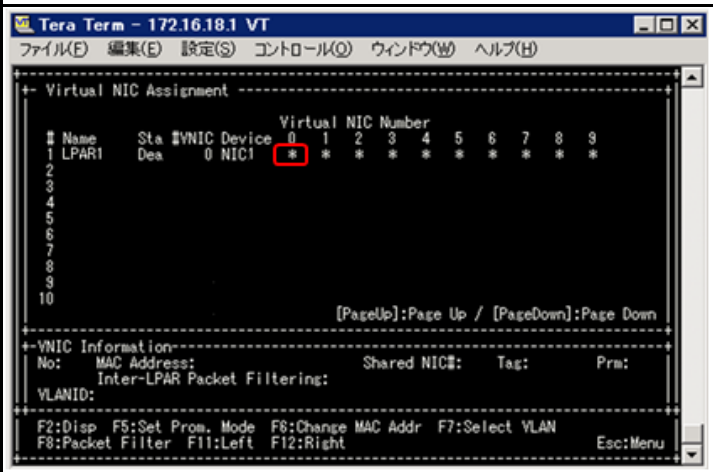
32ビット/x64　SystemInstallerを使用する場合は　1．5．2　SystemInstallerを使用する場合(構成マネージャ未使用)に進みます。

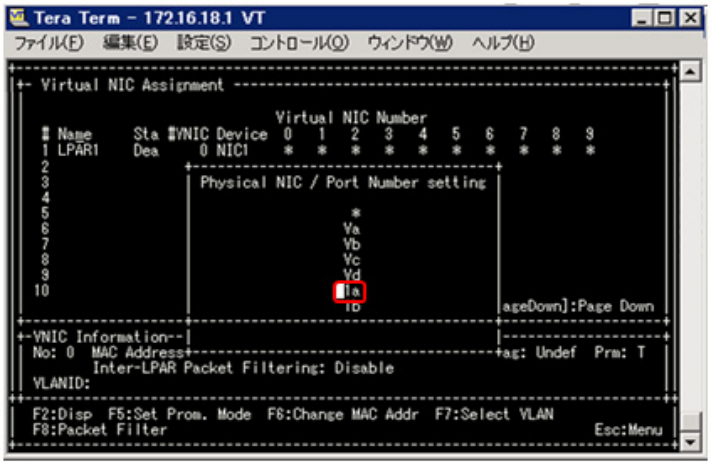
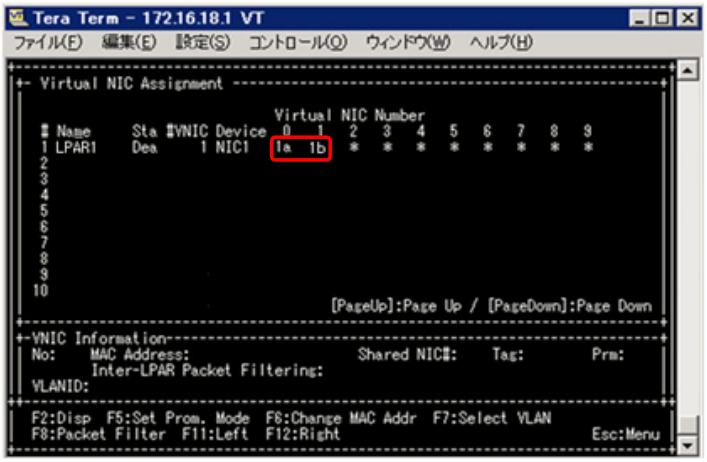
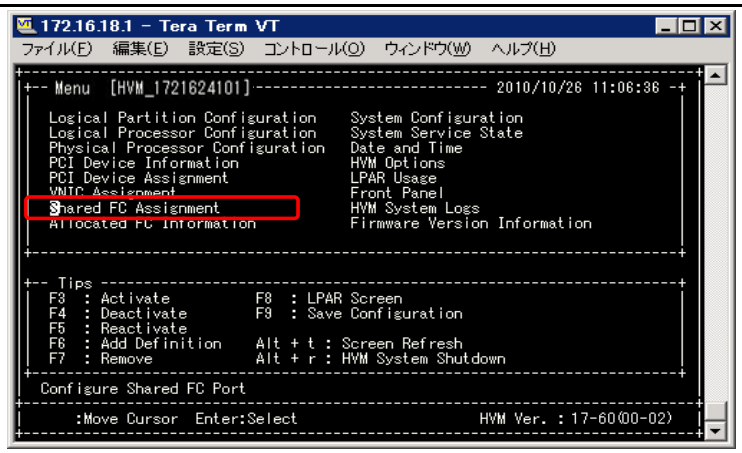
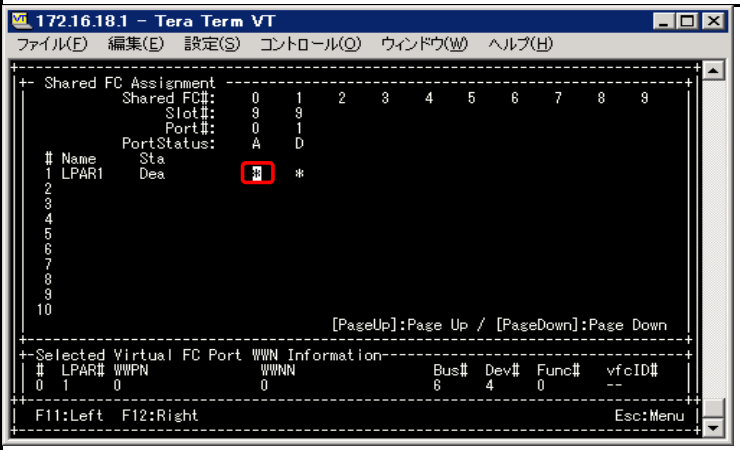
32ビットでSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．3　SystemInstallerを使用する場合SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDが32ビットの場合に進みます。

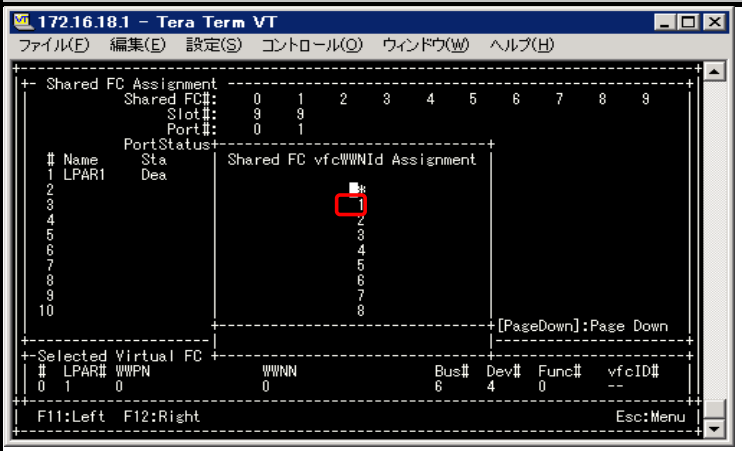
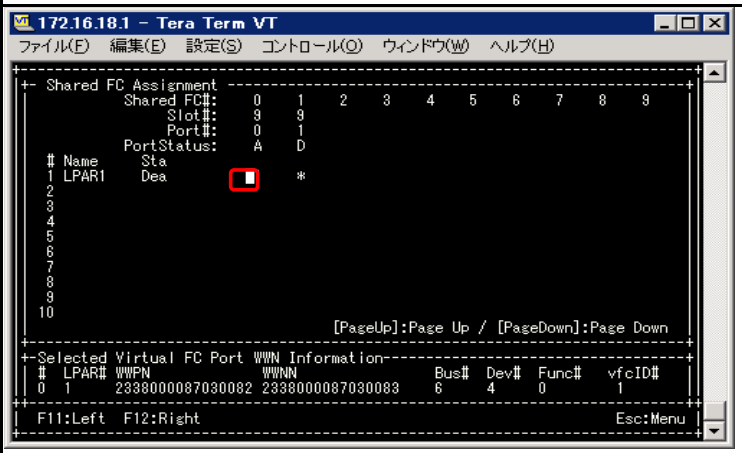
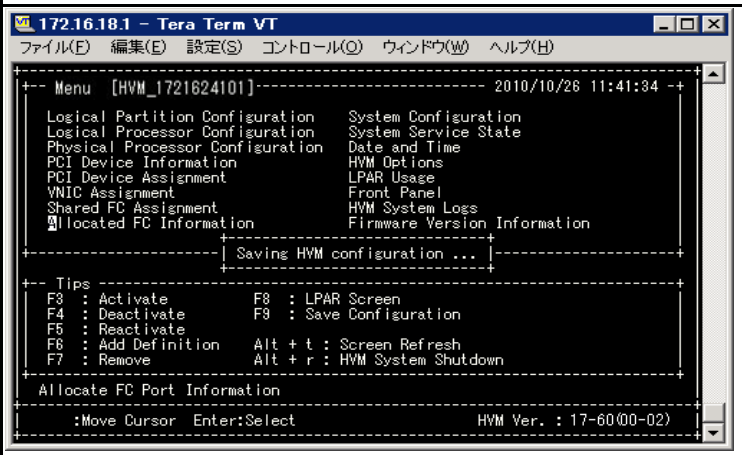
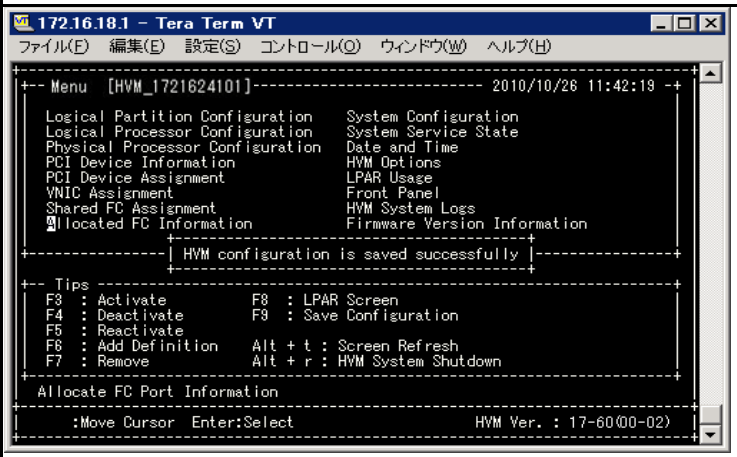
x64でSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．4　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDがx64の場合に進みます。

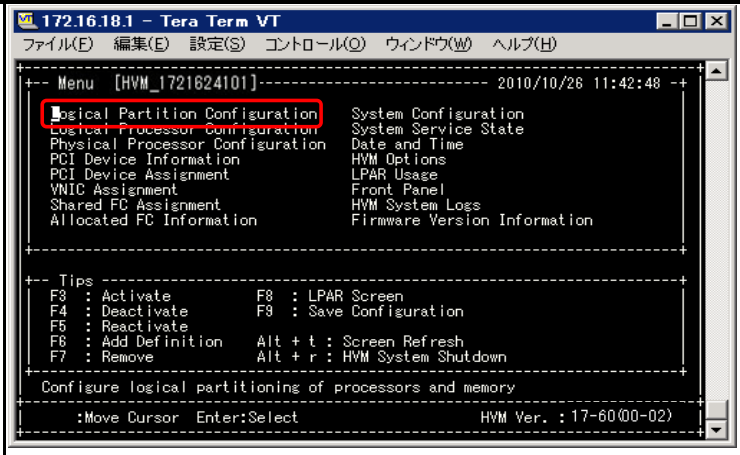
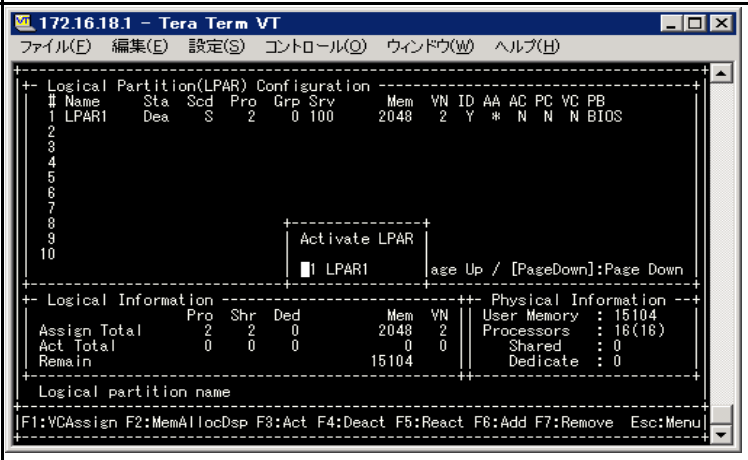
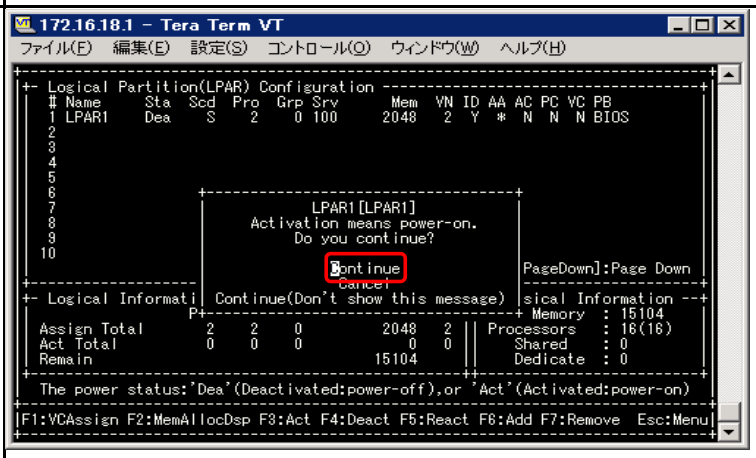
## 1．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-60)以降を使用する場合)

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 2 |  | ・「F6」キーを押します。<br>・作成するLPAR番号を選択します。 | □ |
| 3 |  | ■LPAR名称の設定<br>・「Name」列を選択します。<br>・「LPAR名称」を入力します。<br><br>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。 | □ |
| 4 |  | ■スケジューリングモードの設定<br>・「Scd」列を選択します。<br>・任意のスケジューリングモードを選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・「Pro」列を選択します。<br>・任意のプロセッサ数を選択します。 | ☐ |
| 6 |  | ■メモリサイズの設定<br>・「Mem」列を選択します。<br>・任意のメモリサイズを選択します。 | ☐ |
| 7 |  | ■共有NICの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「VNIC Assignment」を選択します。 | ☐ |
| 8 |  | ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。<br><br>※HVMバージョンが17-86以降の場合、VNIC Device Typeを変更できます。また、OSごとにサポートされているVNICは異なります。サポート詳細情報については、「BS320 Virtage ユーザーズガイド」-「HVMスクリーン」に記載されている「ゲストOS ごとのVNIC Device Type サポート一覧」をご確認ください。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | ☐ |
| 10 |  | ※共有NICが設定されます。 | ☐ |
| 11 |  | ■共有FCポートの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Shared FC Assignment」を選択します。 | ☐ |
| 12 |  | ・「Shared FC」の「*」を選択します。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |
| 14 |  | ※共有FCポートが設定されます。 | □ |
| 15 |  | ■HVM構成情報の保存<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。<br><br>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。 | □ |
| 16 |  | ※HVM構成情報が保存されます。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 17 |  | ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 18 |  | ■LPARの起動<br>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 | □ |
| 19 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |

**1．5　Windows Server 2003 R2 SP2のインストール　に進みます。**

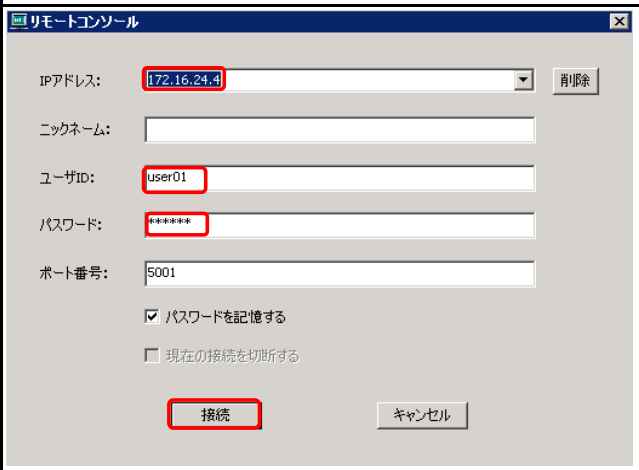
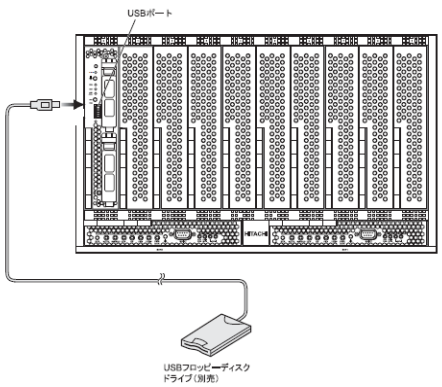
32ビット/x64　セットアップCDのみを使用する場合は　1．5．1　セットアップCDのみを使用する場合　に進みます。

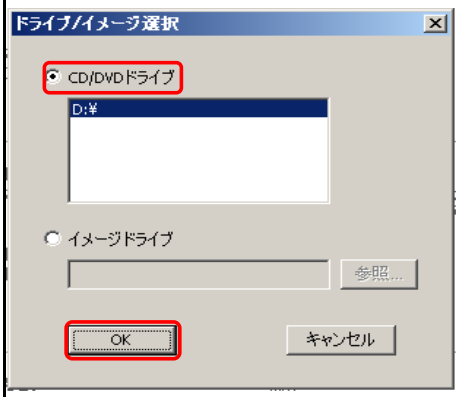
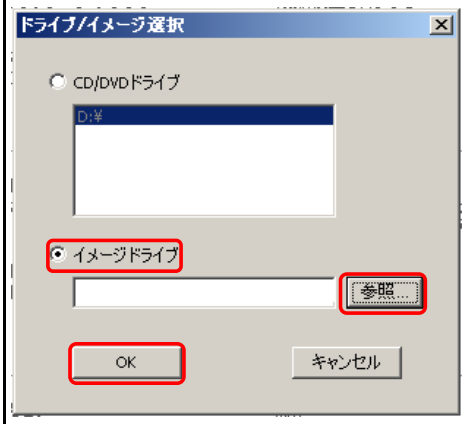
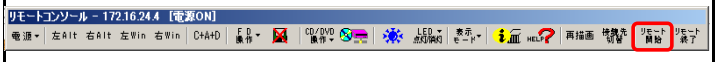
32ビット/x64　SystemInstallerを使用する場合は　1．5．2　SystemInstallerを使用する場合(構成マネージャ未使用)に進みます。

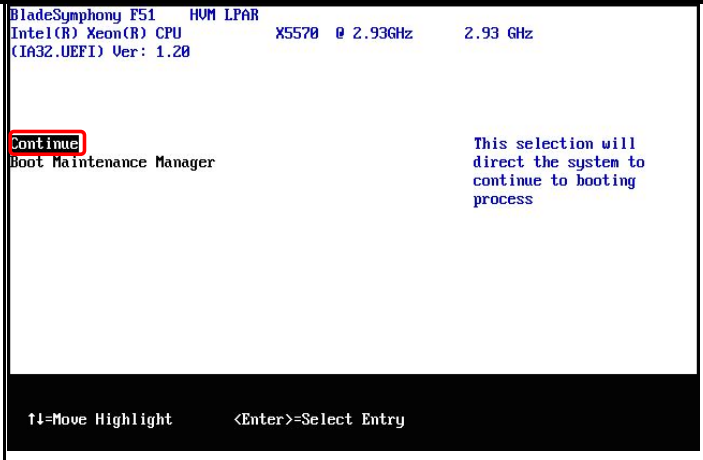
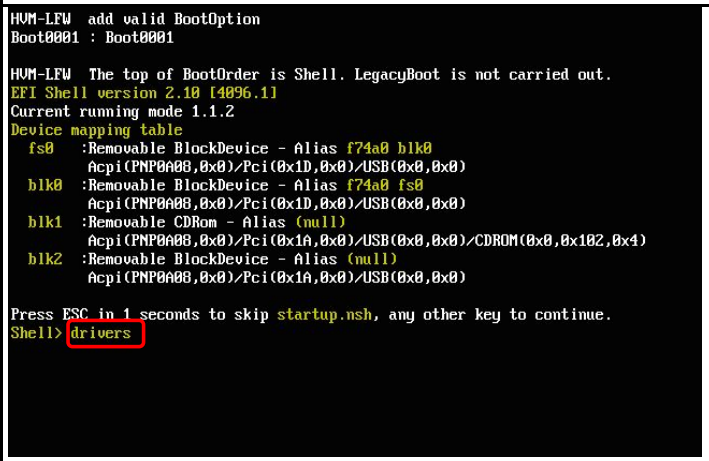
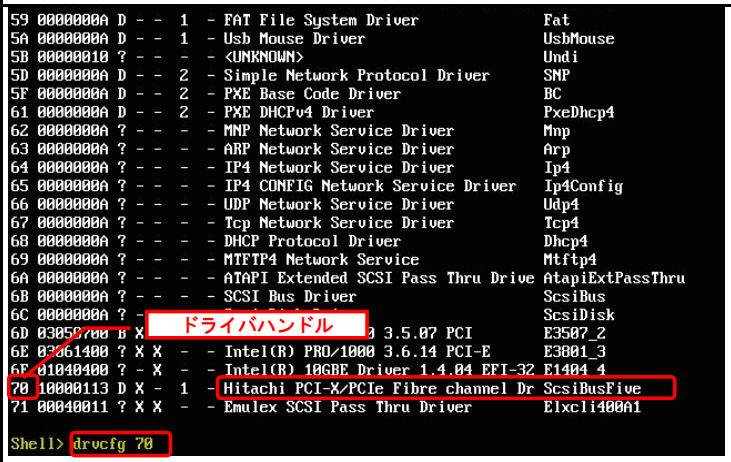
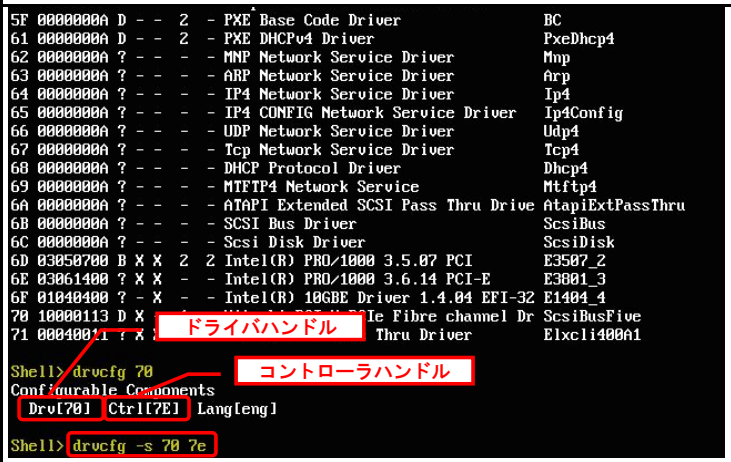
32ビットでSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．3　SystemInstallerを使用する場合SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDが32ビットの場合に進みます。

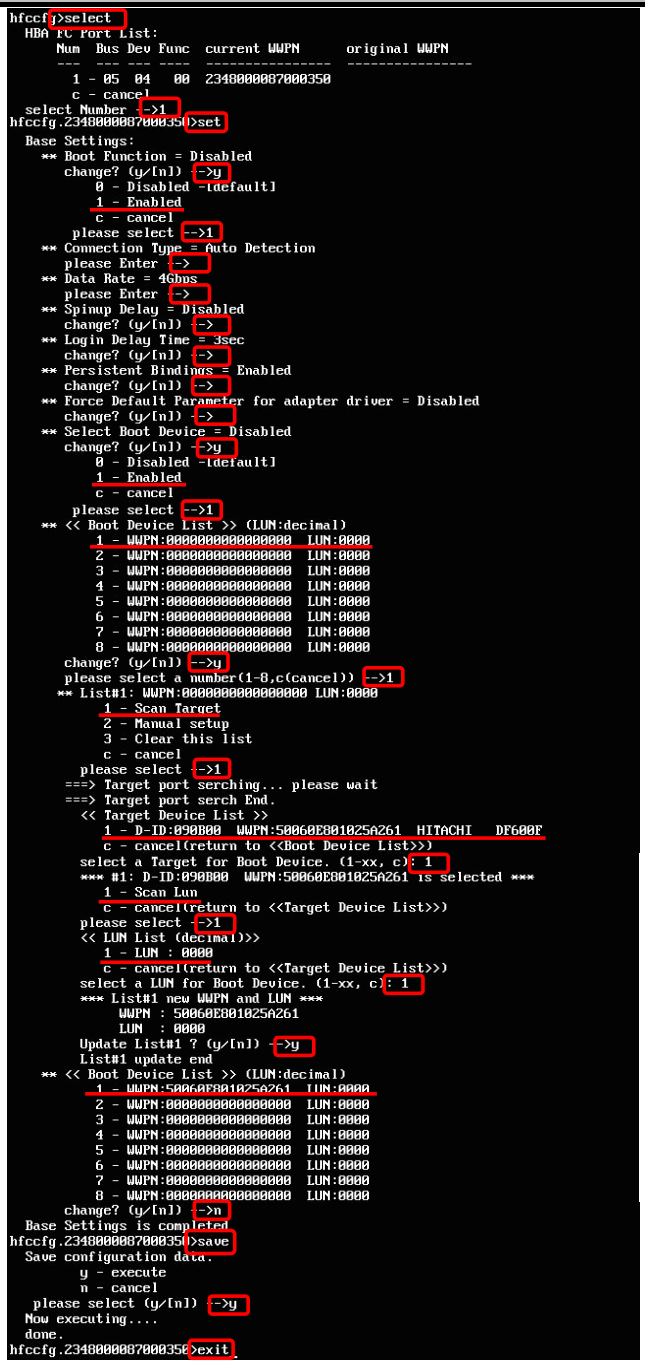
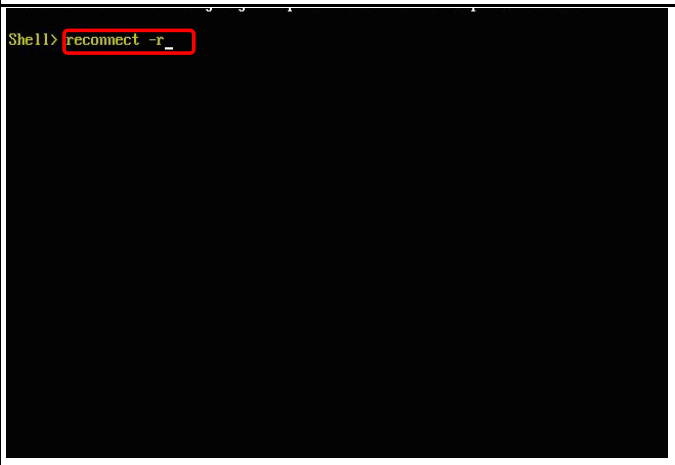
x64でSystemInstaller&構成マネージャを使用する場合は　1．5．4　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDがx64の場合に進みます。

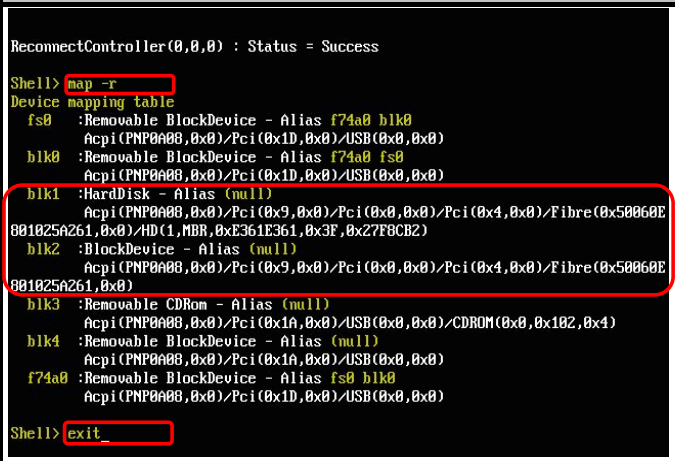
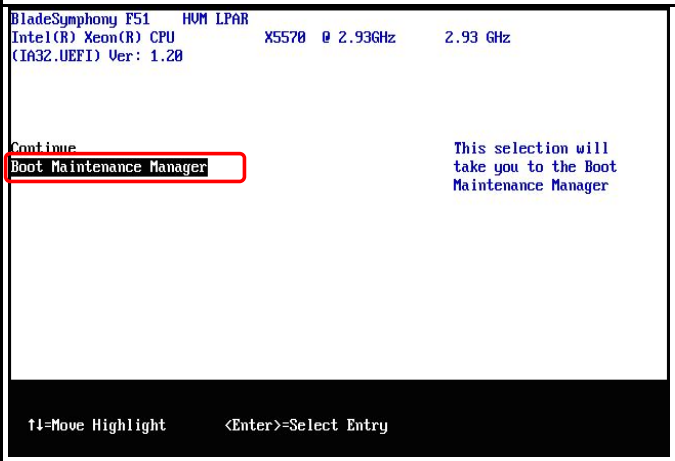
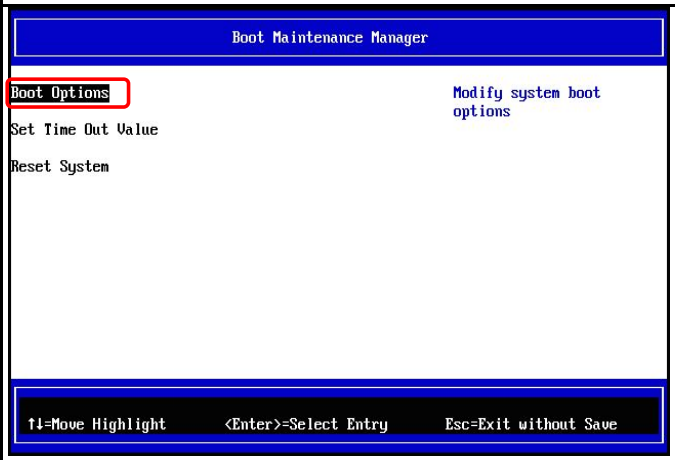
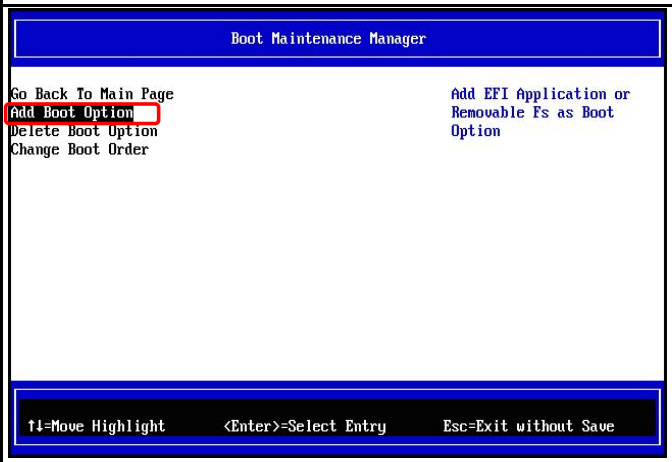
## １．５ Windows Server 2003 R2 SP2のインストール
### １．５．１ セットアップCDのみを使用する場合

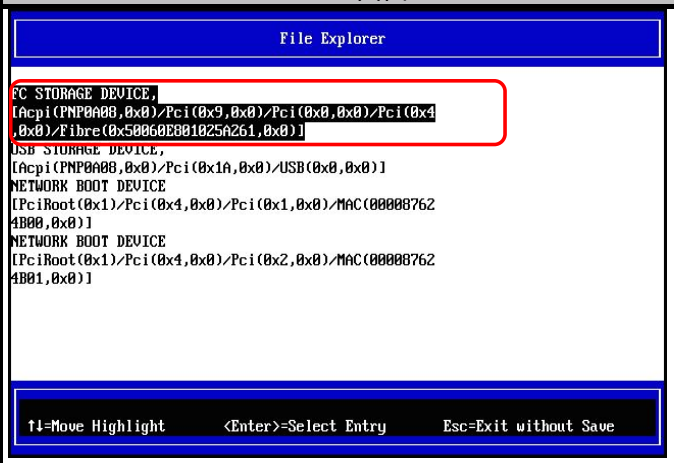
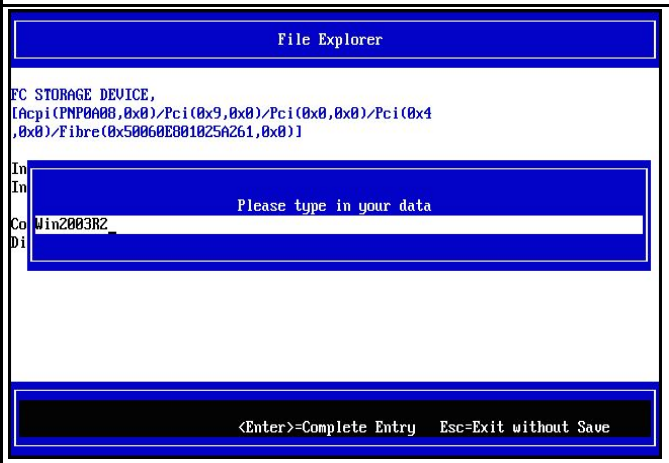
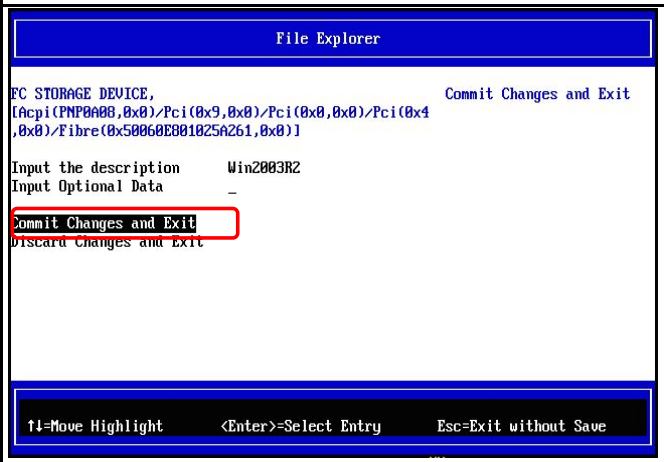
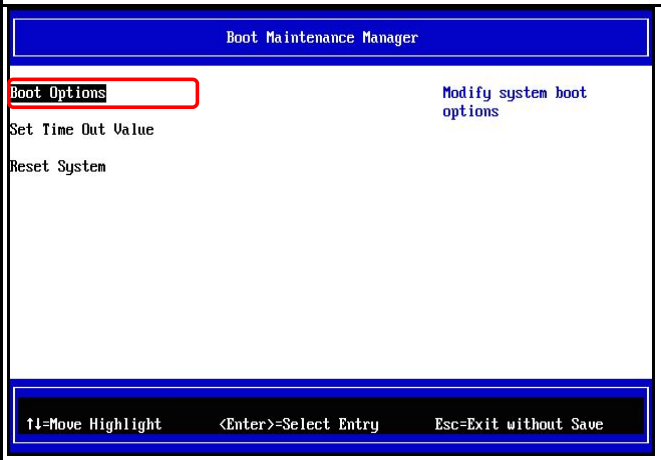
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※x86、x64双方のインストールに対応しています。<br><br>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |
| 3 |  | ・フロント USBにFDドライブを挿し、ドライバーFDを入れます。 | □ |

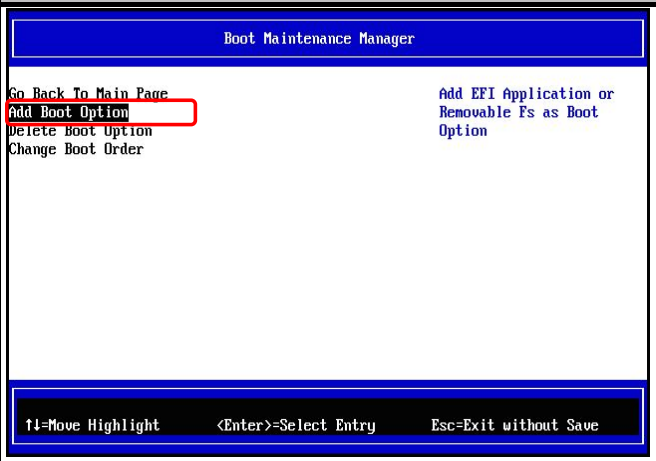
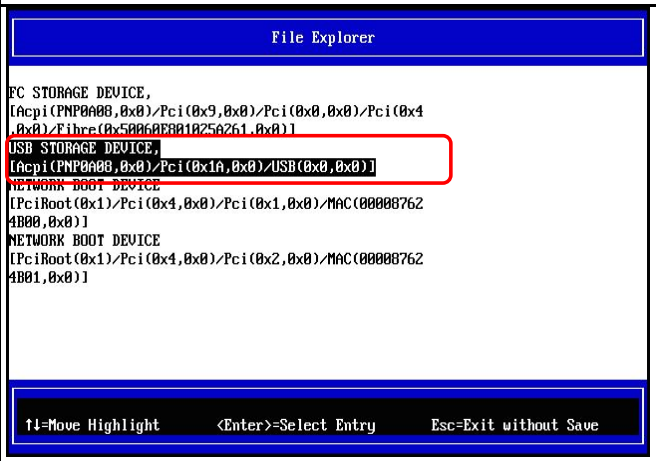
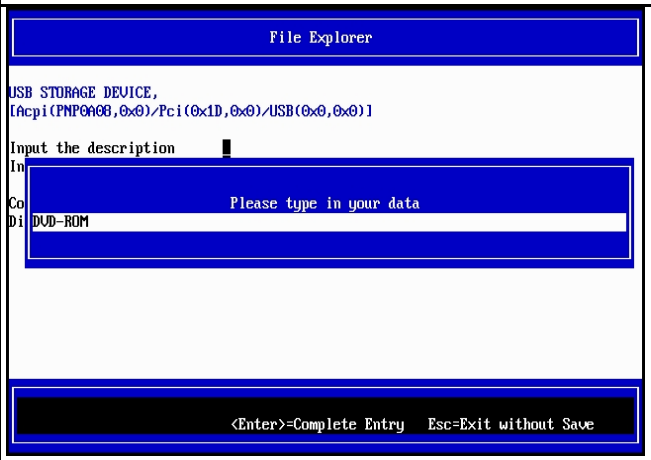
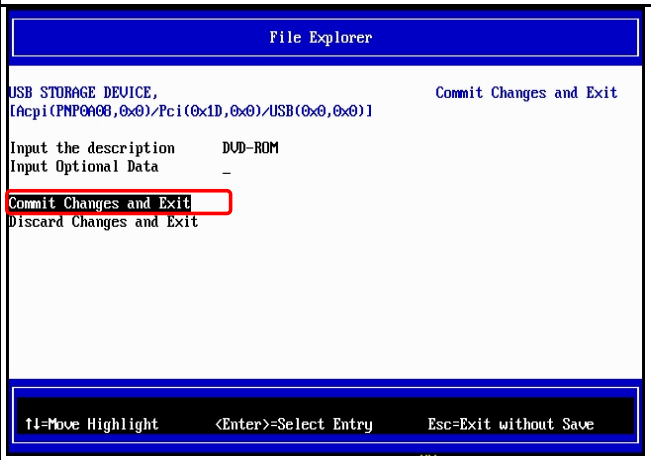
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 | 項目4は4-1 or 4-2の内1つを満たせばよい | | |
| | 4-1 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 | | |
| | | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。 | |
| |  | ・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」ボタンをクリックします。 | |
| | | ・「リモート開始」をクリックします。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」を入れます。 | |
| | 4-2 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 | | |
| | | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。 | |
| |  | ・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」ボタンをクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。 | |
| |  | ・「リモート開始」をクリックします。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | |

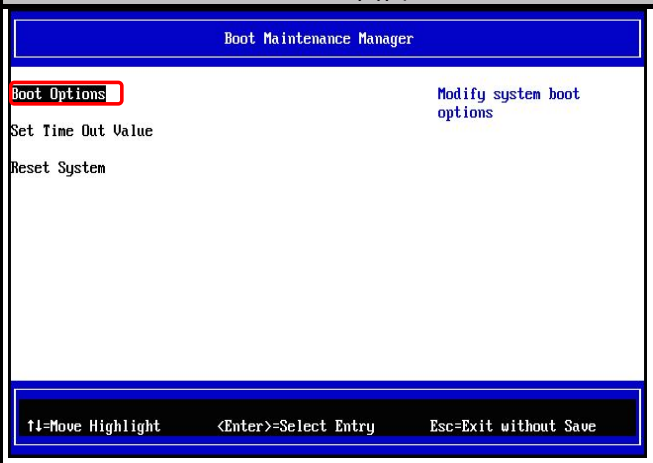
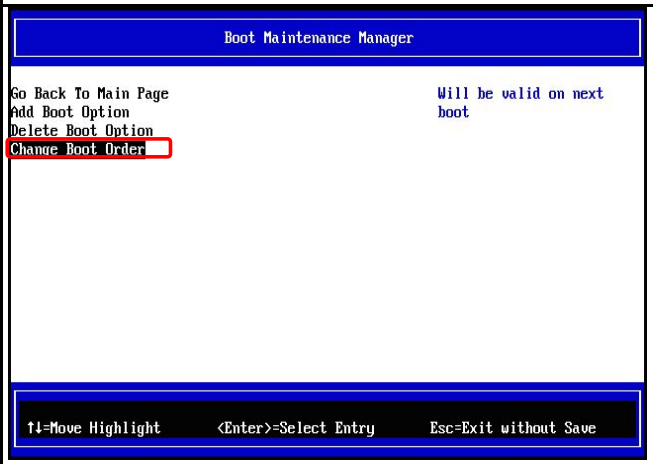
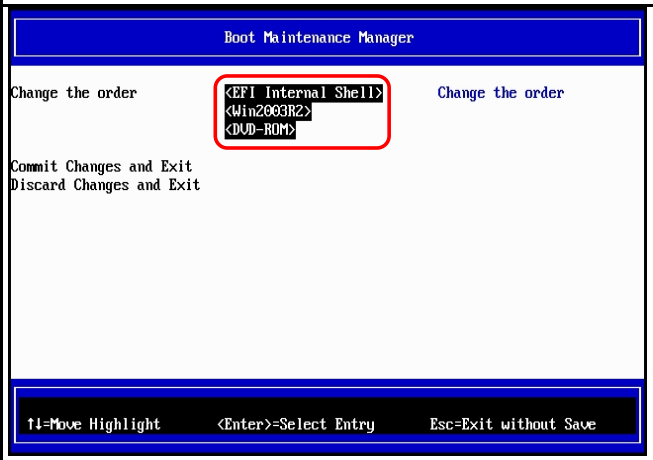
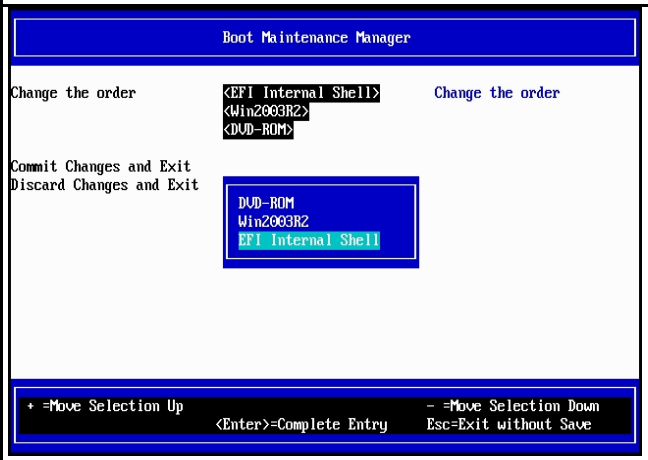
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■共有FCの設定<br>・「Continue」を選択します。 | ☐ |
| 6 |  | ・「drivers」を入力します。 | ☐ |
| 7 |  | ・「drvcfg「ドライバハンドル」」を入力します。 | ☐ |
| 8 |  | ・「drvcfg -s「ドライバハンドル」「コントローラハンドル」」を入力します。 | ☐ |

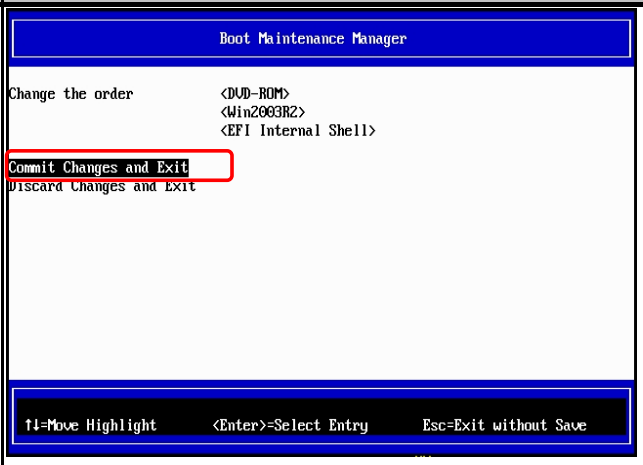
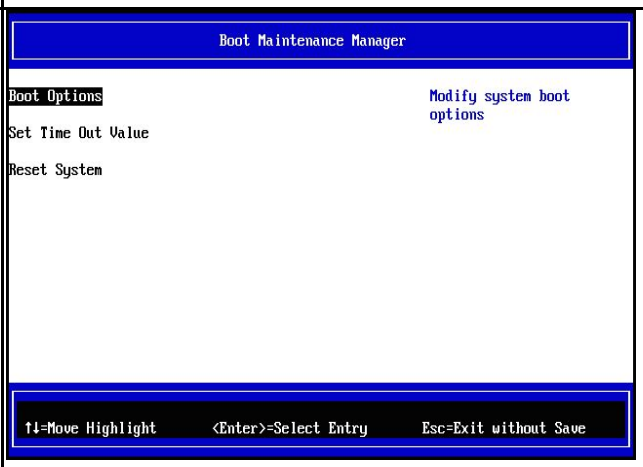
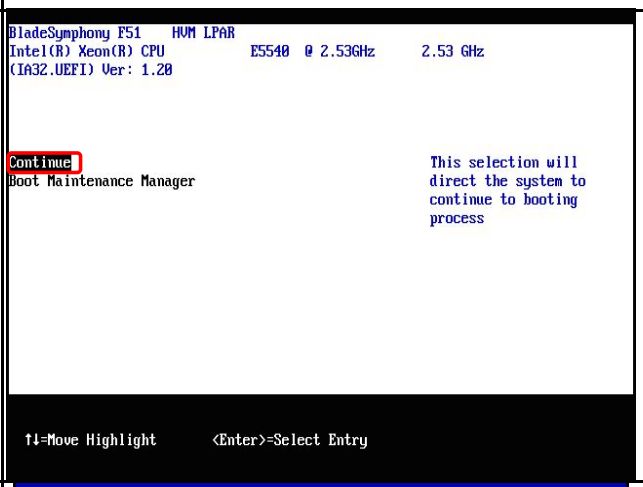
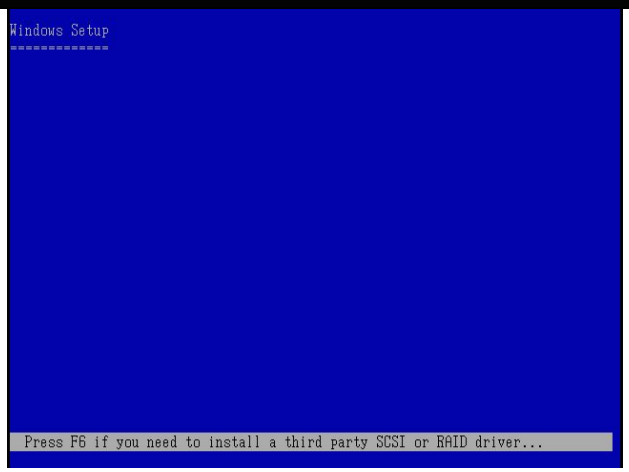
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ・「select」を入力します。<br>・左記のように入力します。<br>・「exit」を入力します。<br><br>※設定を行ってもで「Boot Device List」項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。 | □ |
| 10 |  | ・「reconnect -r」を入力します。 | □ |

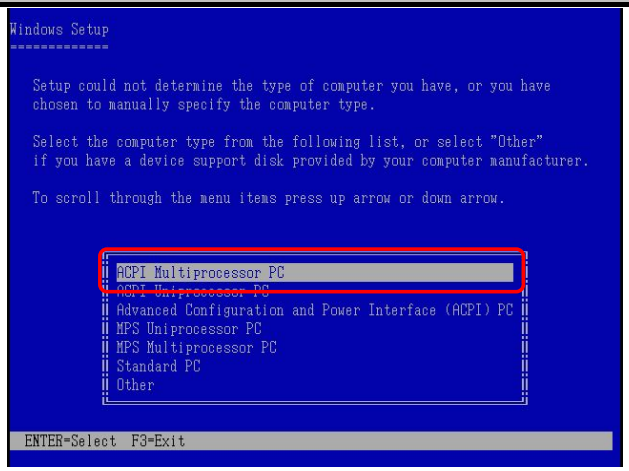
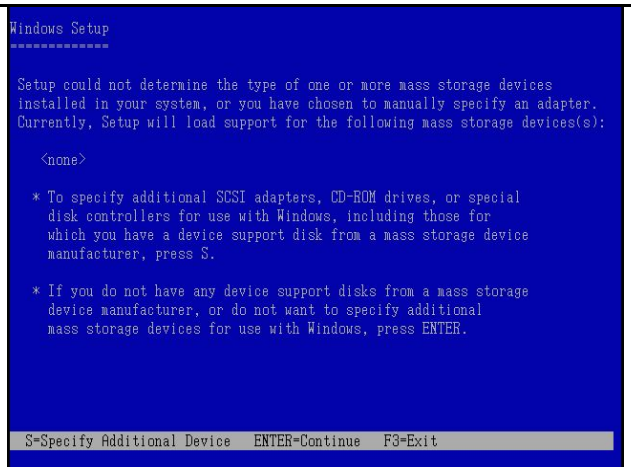
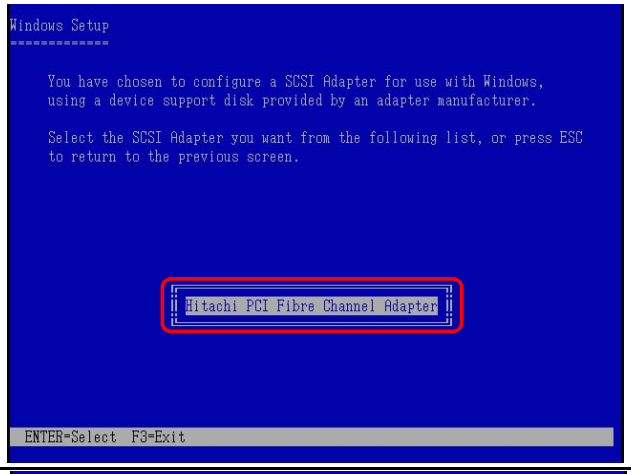
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 11 |  | ・「map -r」を入力します。<br>・FCデバイスが認識されていることを確認します。<br>・「exit」を入力します。 | ☐ |
| 12 |  | ■ブートオーダの設定<br>・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 14 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |

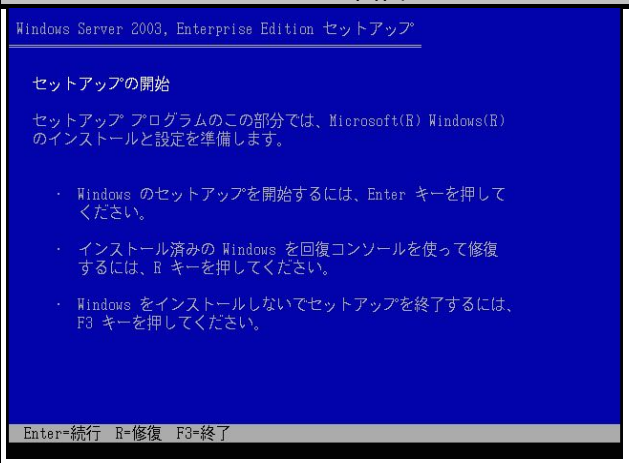
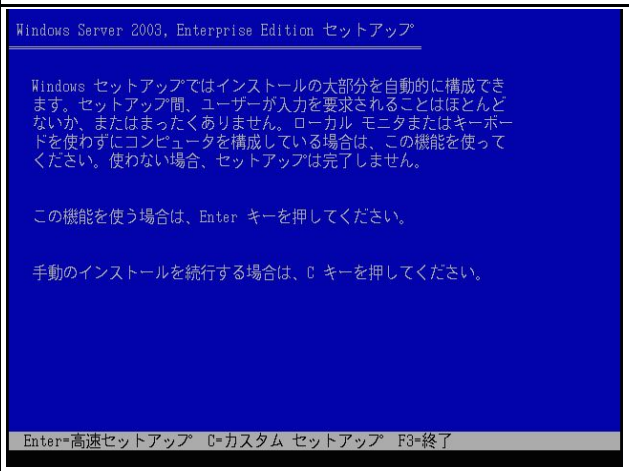
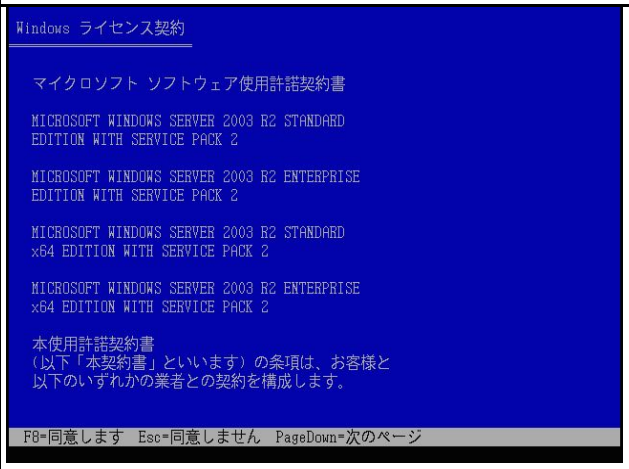
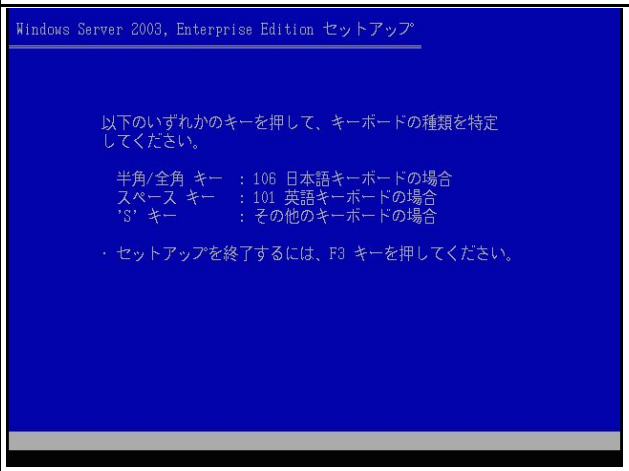
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 15 |  | ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 16 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「Win2003R2」と入力しています。 | ☐ |
| 17 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 18 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |

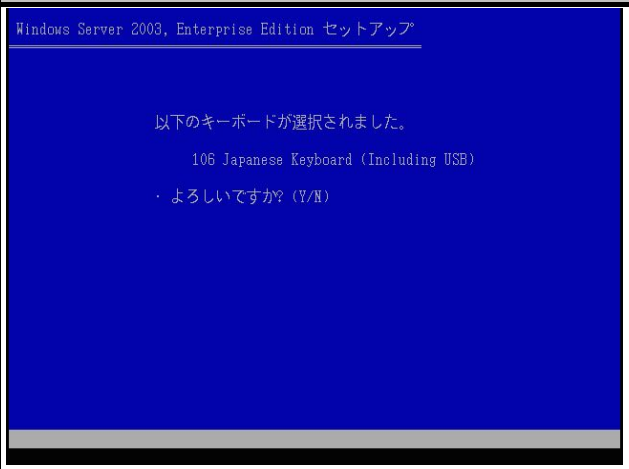
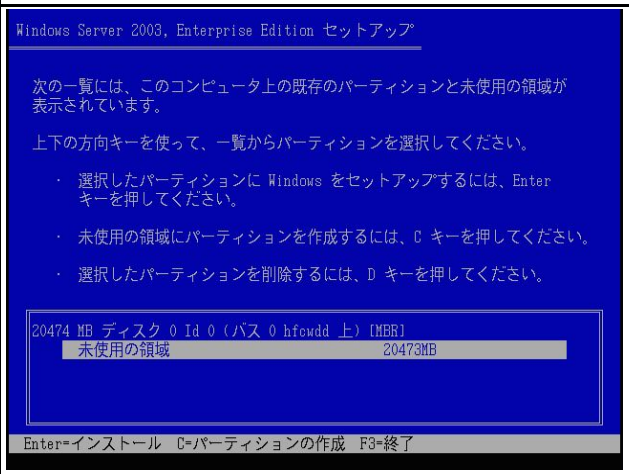
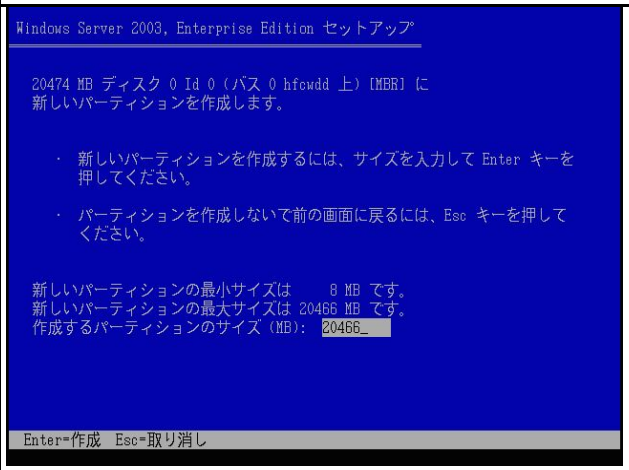
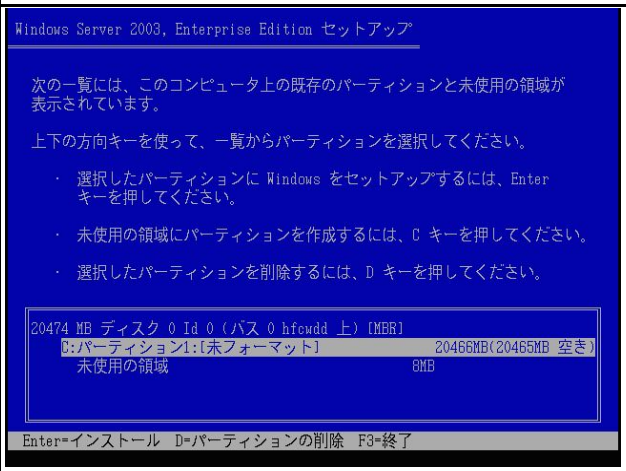
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 19 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 20 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 21 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |
| 22 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

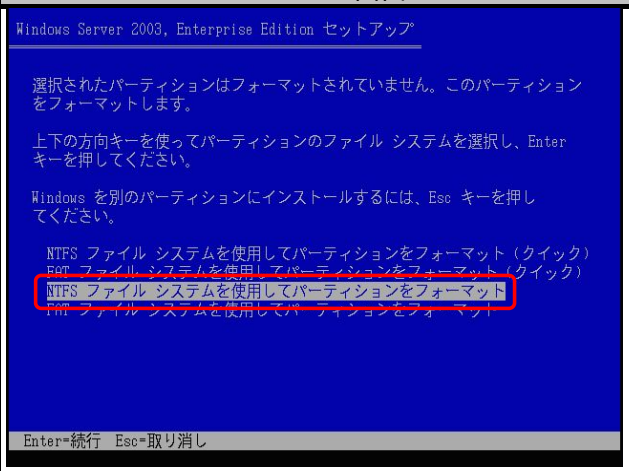
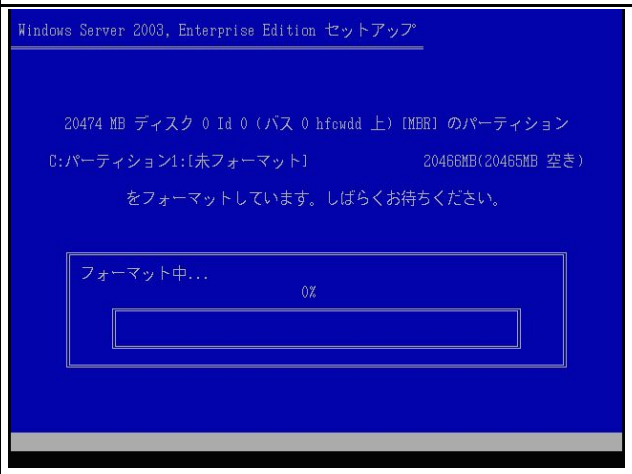
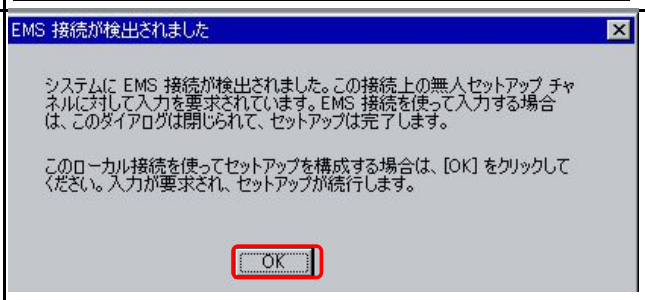
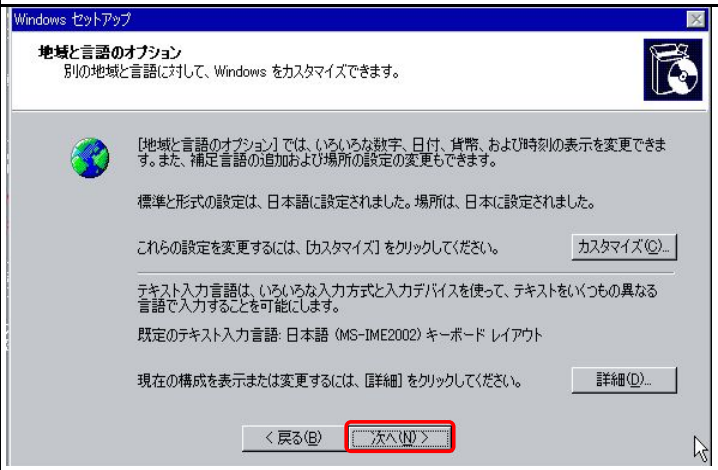
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 23 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 24 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 25 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 26 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2003R2<br>EFI Internal Shell | ☐ |

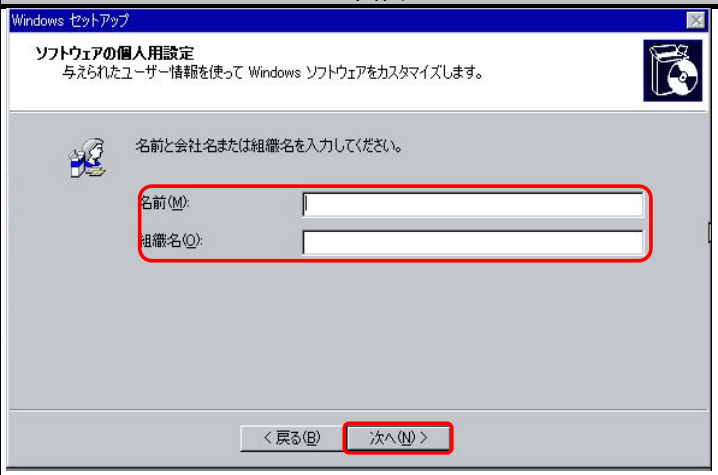
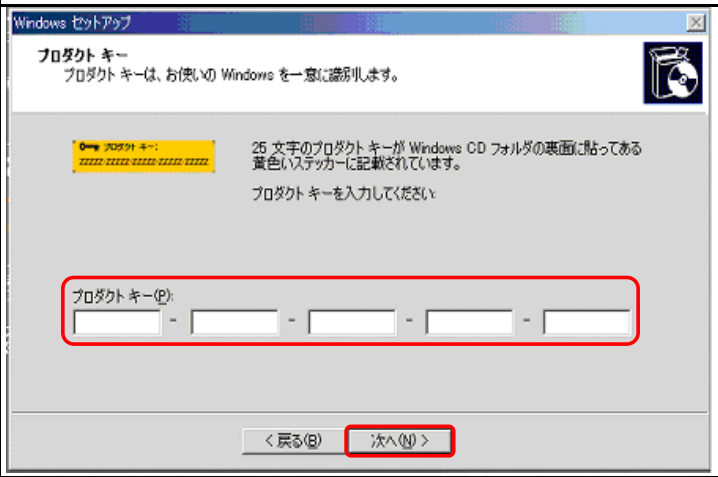
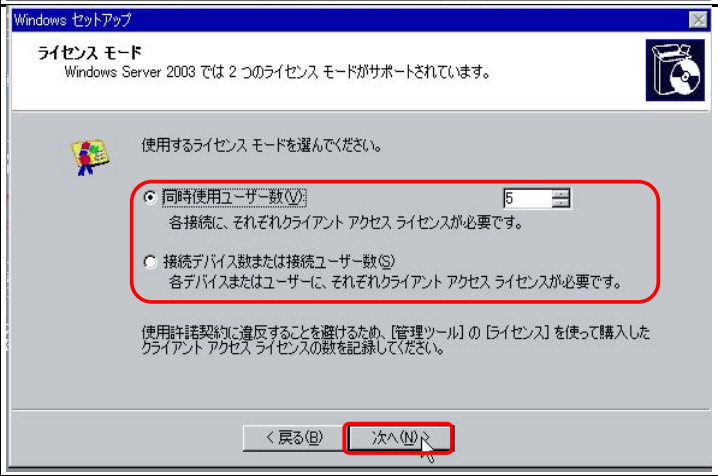
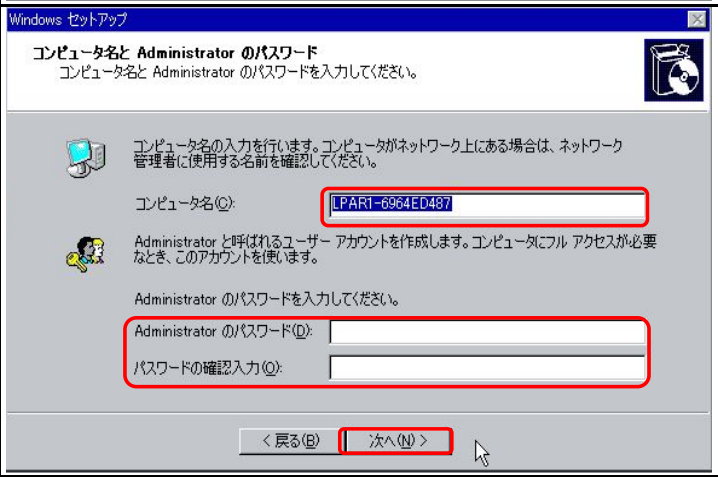
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 27 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | □ |
| 28 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 29 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 30 |  | ■OSのインストール<br>※左記の画面が表示されるまで、約3分かかります。<br><br>・「Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されたら、「F5」⇒「F6」キーの順に押します。 | □ |

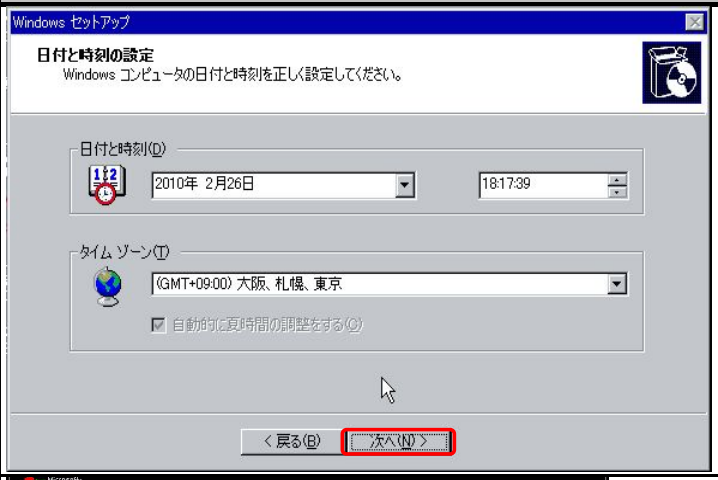
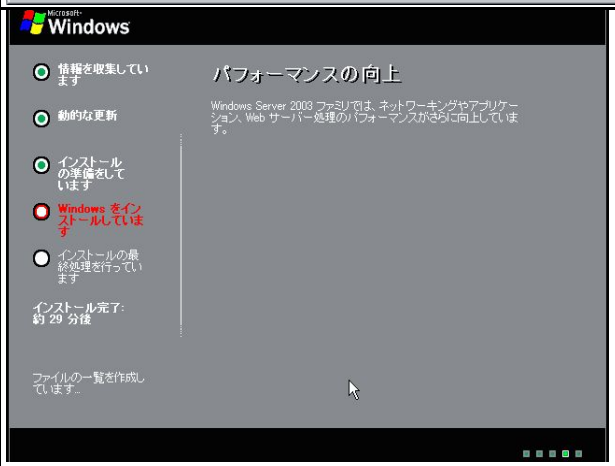
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 31 |  | ・「ACPI Multiprocessor PC」を選択します。<br><br>※x64の場合は、<br>「ACPI Multiprocessor x64」を選択します。 | ☐ |
| 32 |  | ※左記の画面が表示されるまで、約11分かかります。<br><br>・「S」キーを押します。 | ☐ |
| 33 |  | ・「Hitachi PCI Fibre Channel Adapter」を選択します。 | ☐ |
| 34 | | ※左記の画面が表示されるまで、約1分かかります。<br><br>・「Enter」キーを押します。 | ☐ |

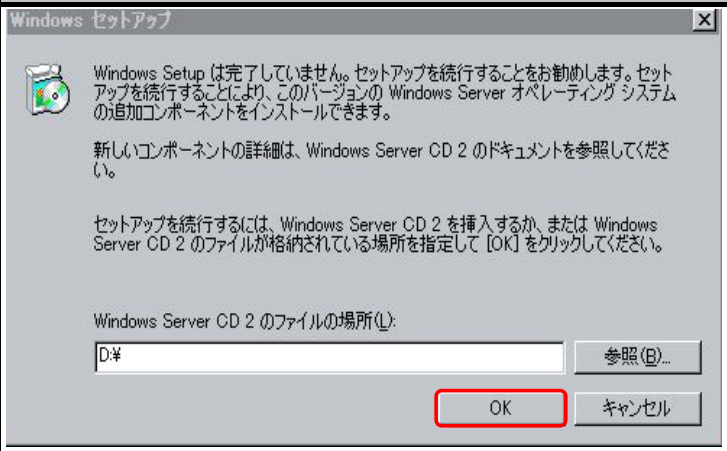
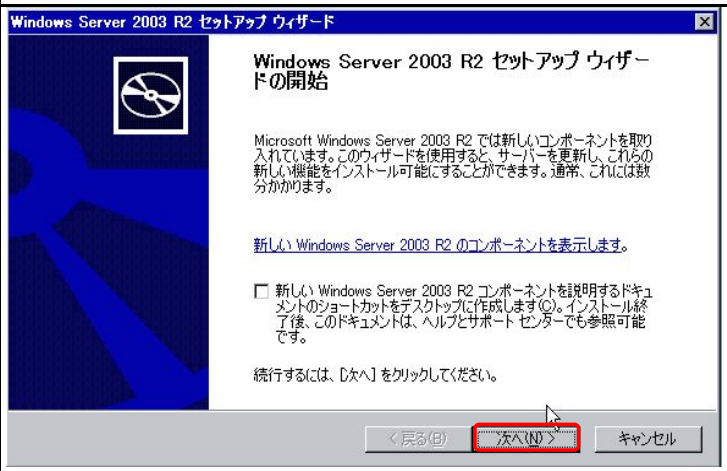
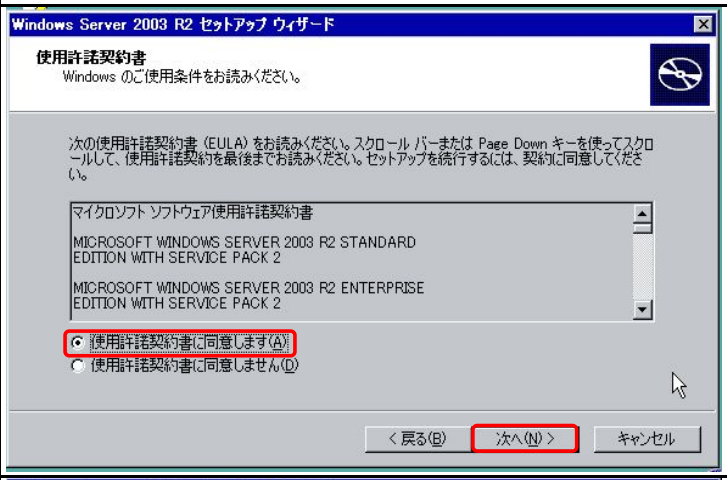
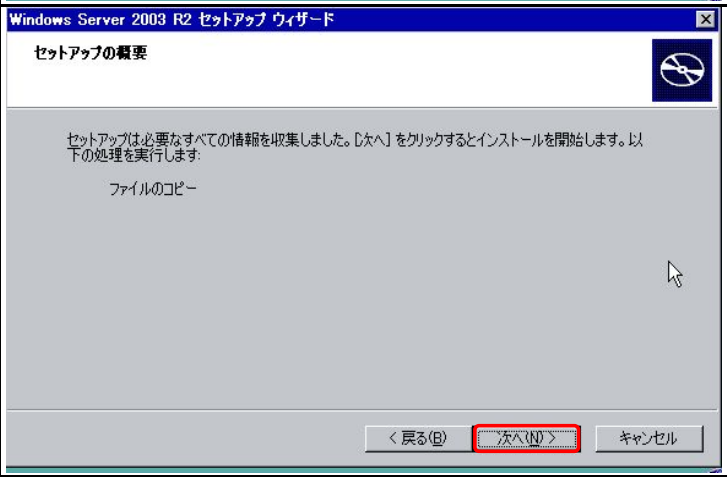
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 35 |  | ※左記の画面が表示されるまで、約8分かかります。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 36 |  | ・「C」キーを押します。 | □ |
| 37 |  | ・「F8」キーを押します。 | □ |
| 38 |  | ・「半角/全角」キーを押します。 | □ |

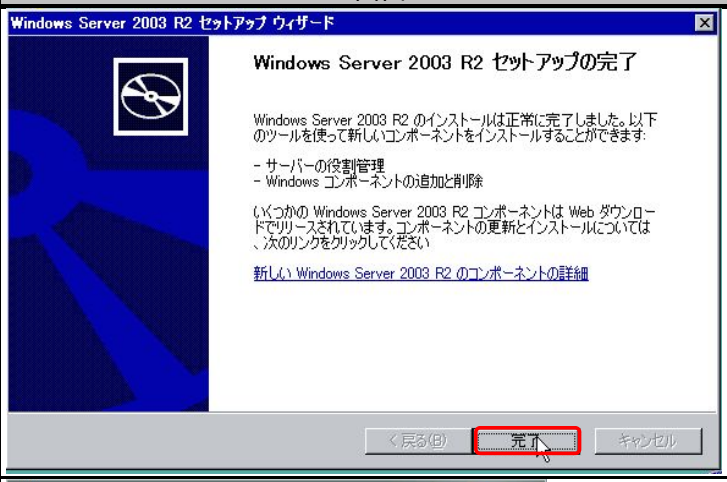
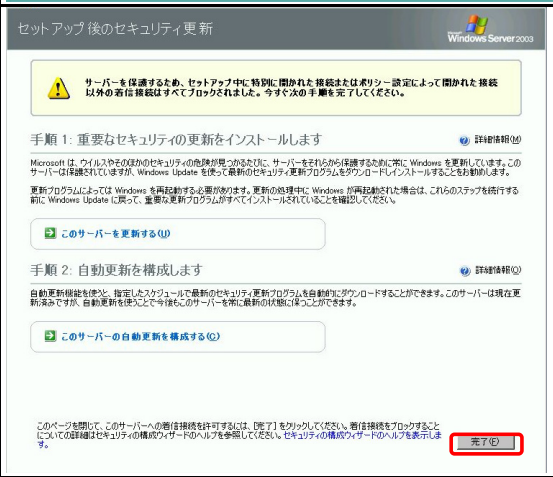
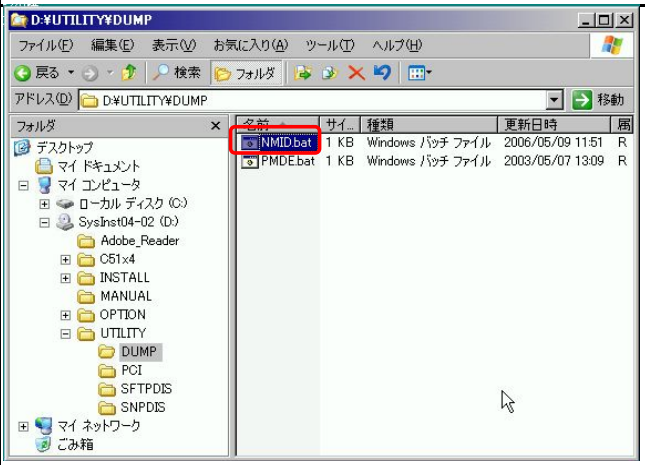
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 39 |  | ・「Y」キーを押します。 | □ |
| 40 |  | ・「C」キーを押します。 | □ |
| 41 |  | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 42 |  | ・「Enter」キーを押します。 | □ |

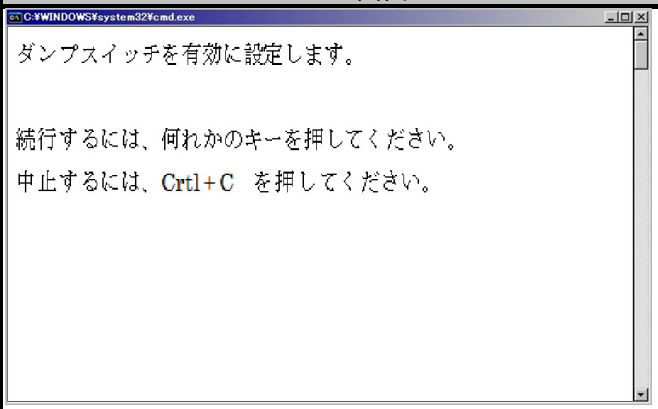
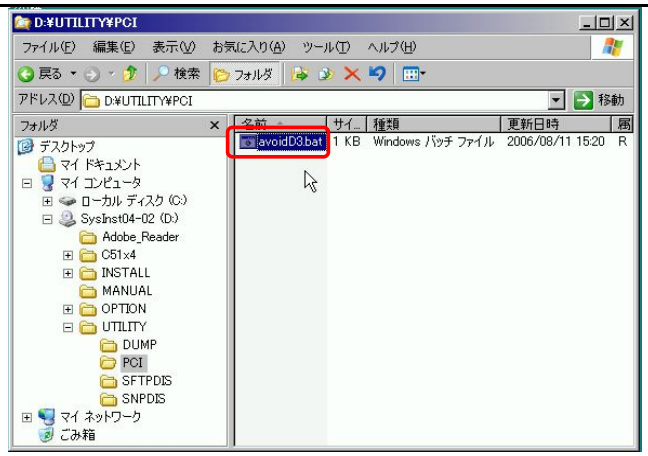
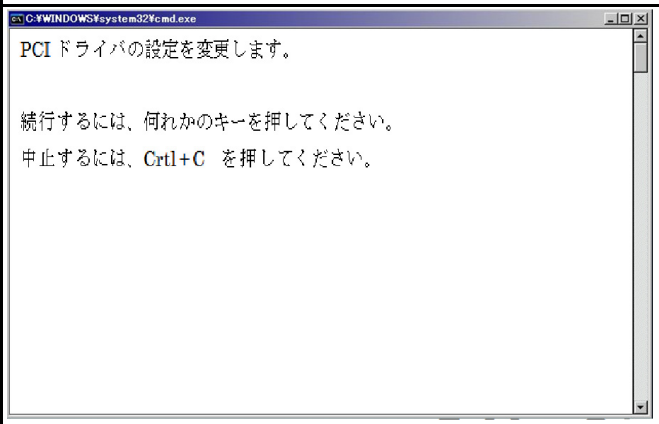
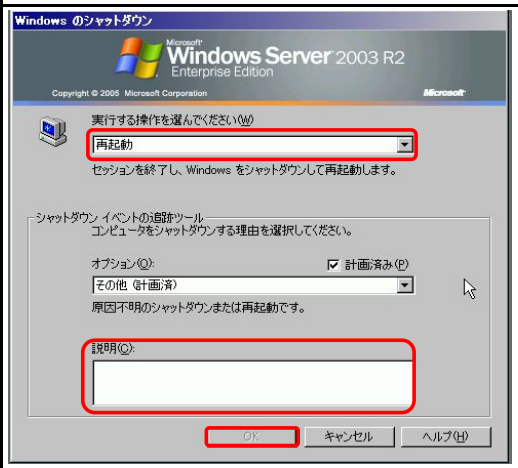
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 43 |  | ・左記のように選択し、「Enter」キーを押します。 | □ |
| 44 |  | ※フォーマット後、ファイルのコピーが完了するまで、約21分かかります。<br><br>・完了すると、Windowsが再起動します。 | □ |
| 45 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 46 |  | ※再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。<br><br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |

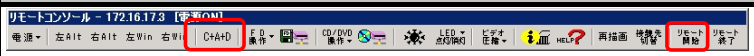
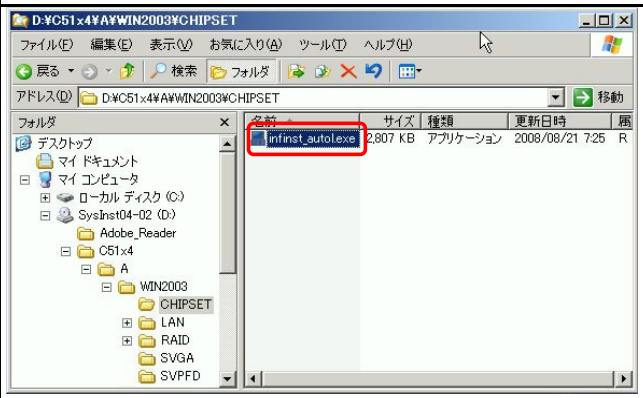
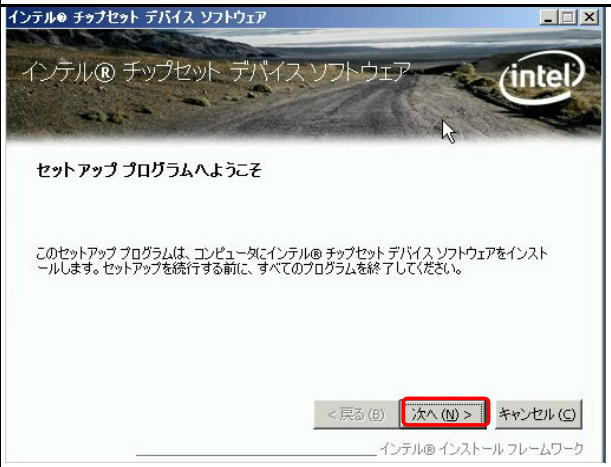
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 47 |  | ・「名前(M):」と「組織名(O):」を入力し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 48 |  | ・プロダクトキーを入力します。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 49 |  | ・ライセンスモードを選択します。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 50 |  | ・パスワードを入力します。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |

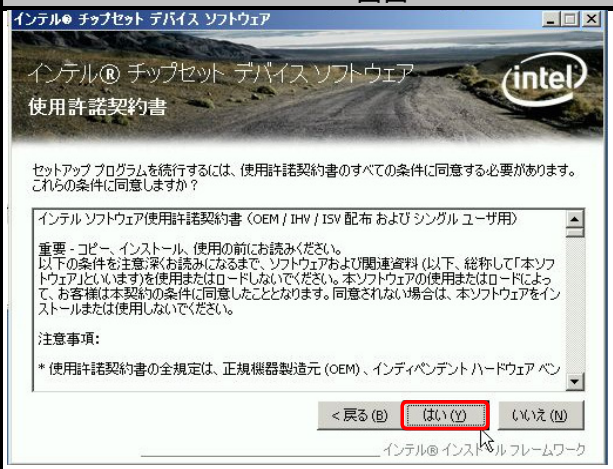
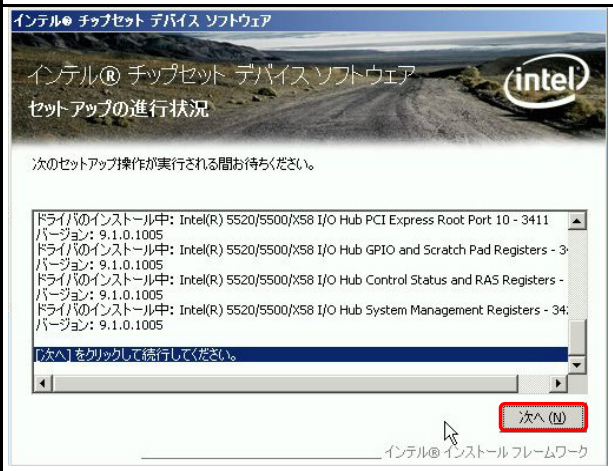
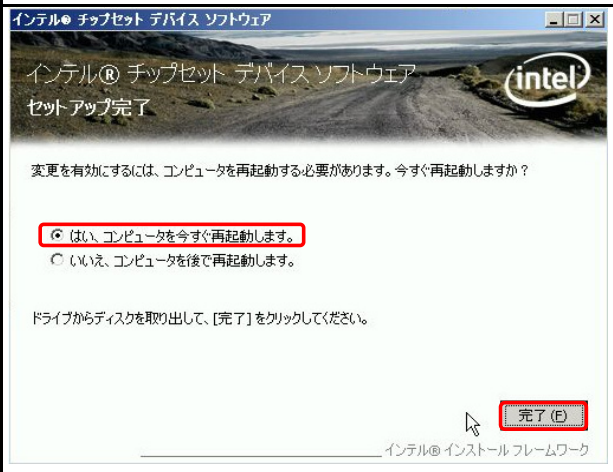
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 51 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 52 |  | ※インストールが完了するまで、約12分かかります。<br><br>・完了すると、Windowsが再起動します。 | □ |
| 53 | | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | □ |
| 54 | | ・Windowsにログオンします。 | □ |

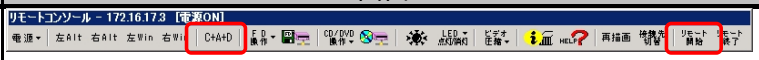
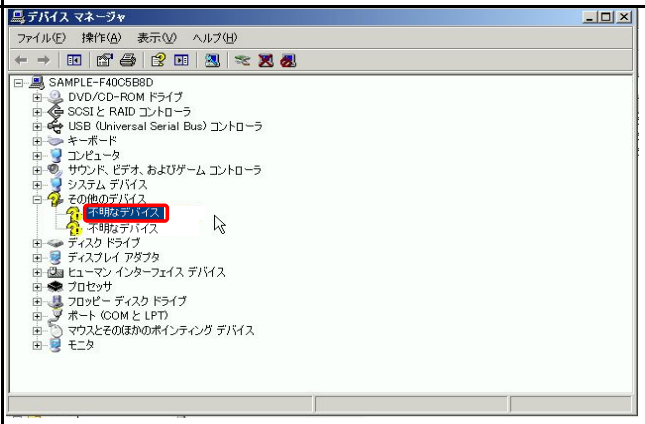
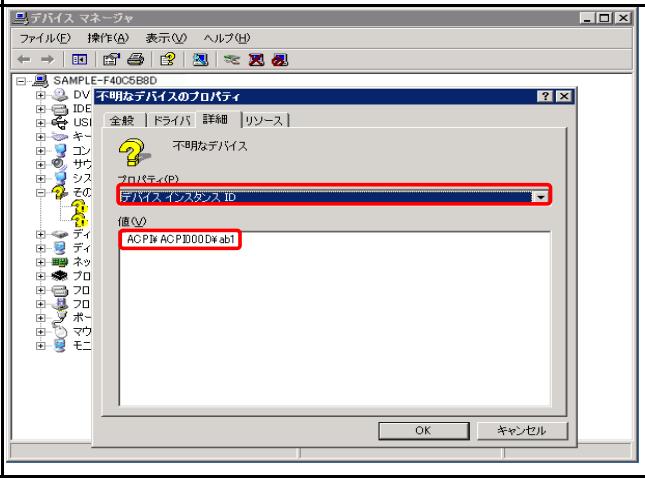
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 55 |  | **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・「OK」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 56 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 57 |  | ・「使用許諾契約書に同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 58 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |

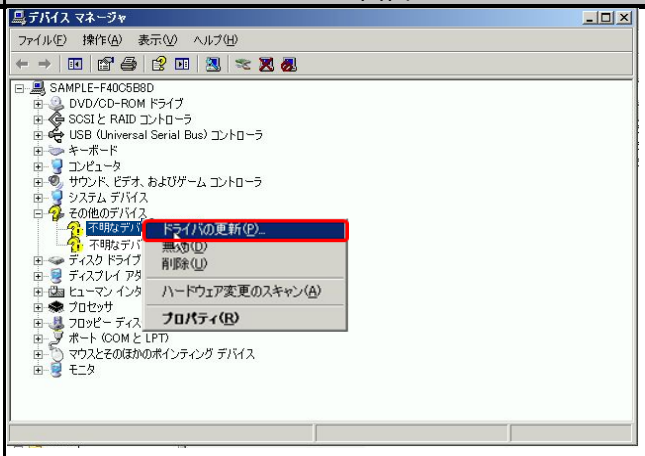
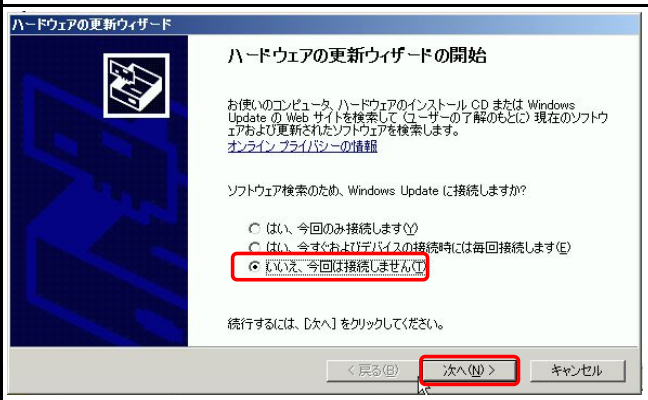
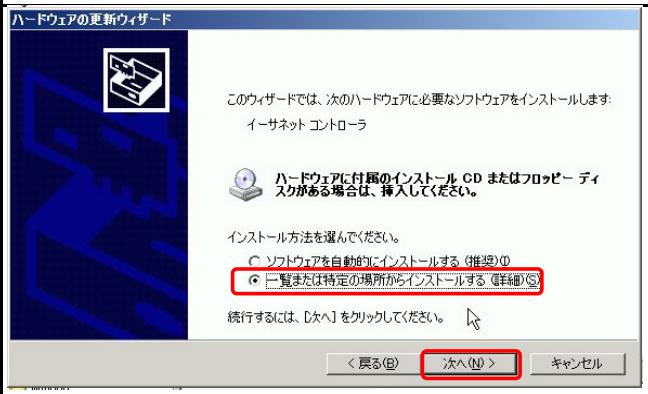
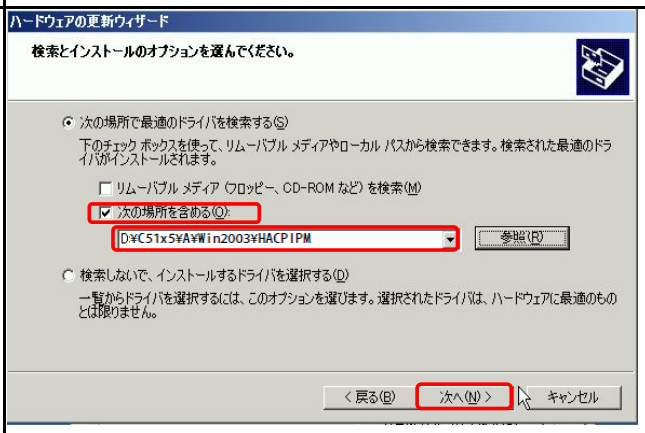
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 59 |  | ・「完了」ボタンをクリックします。 | □ |
| 60 |  | ・「セットアップ後のセキュリティ更新」を設定します。<br>・「完了(F)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 61 | | ・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「プロパティ」-「設定」で左記のように設定します<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・メッセージ「この設定を保存しますか?」が出力します。<br>・「はい」ボタンをクリックします。 | □ |
| 62 |  | **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・D:¥UTILITY¥DUMP¥NMID.batを実行します。 | □ |

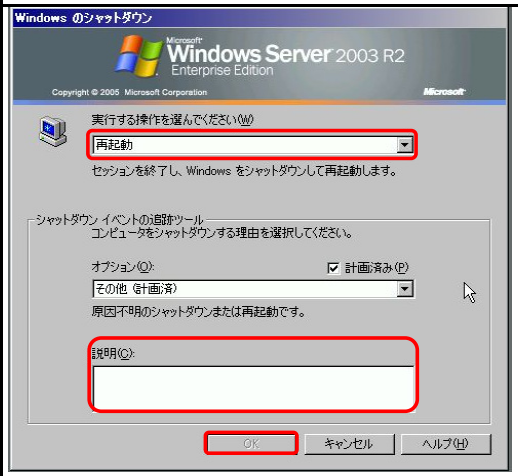
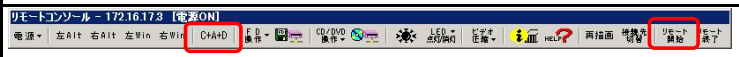
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 63 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 64 |  | ・D:¥UTILITY¥PCI¥avoidD3.batを実行します。 | □ |
| 65 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 66 |  | **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br><br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |

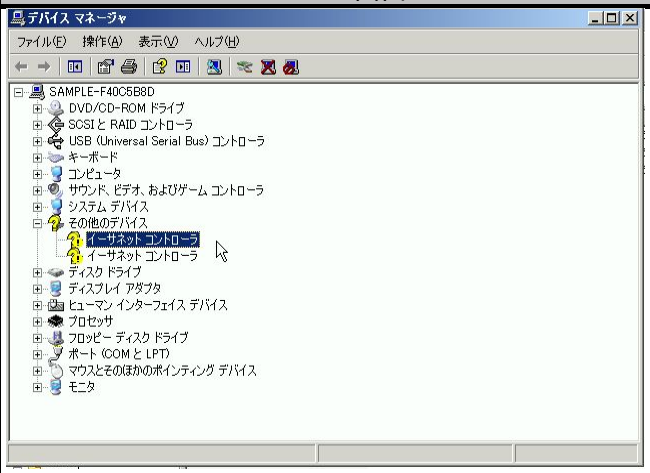
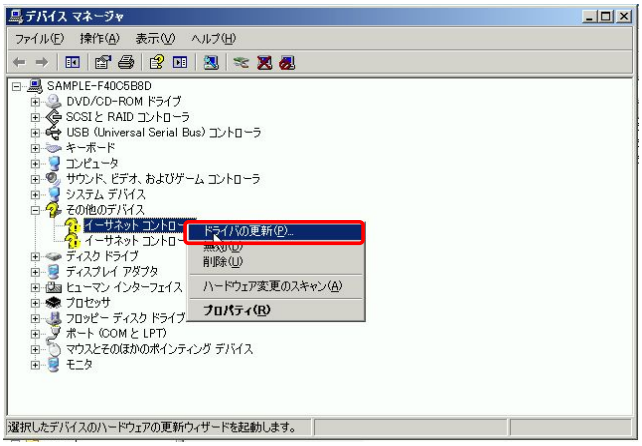
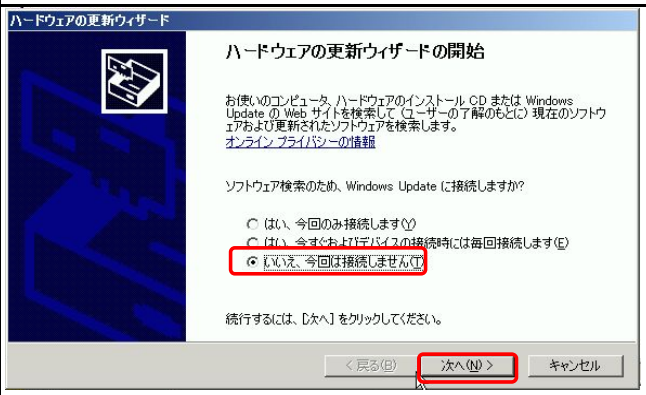
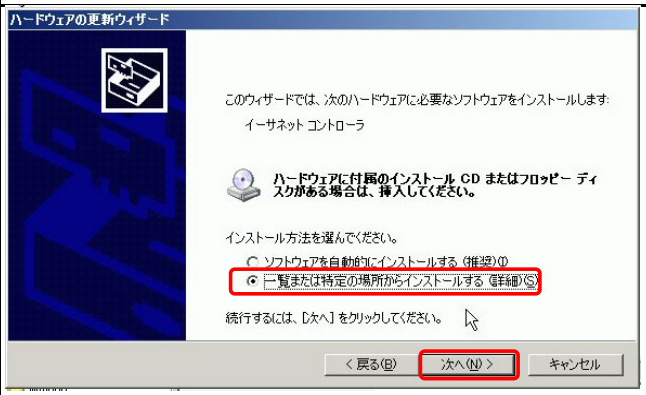
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 67 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | □ |
| 68 | | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 69 |  | ■チップセットドライバのインストール<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>**P4モデルの場合**<br>・D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。<br>**P5モデルの場合**<br>・D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。 | □ |
| 70 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |

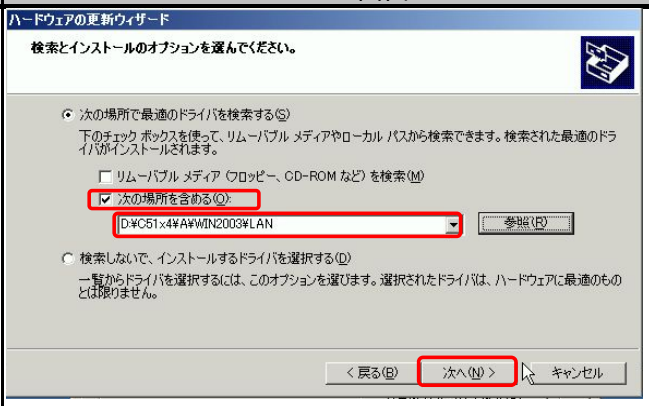
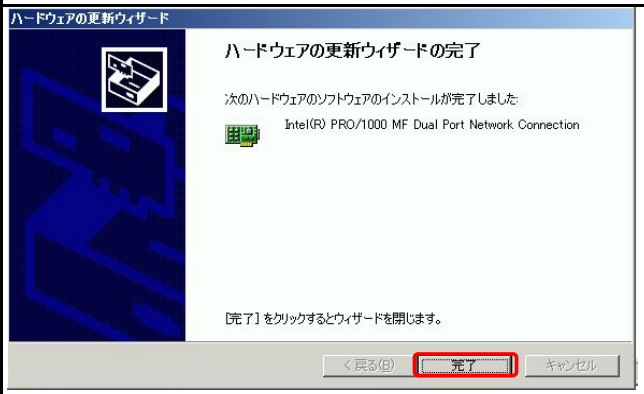
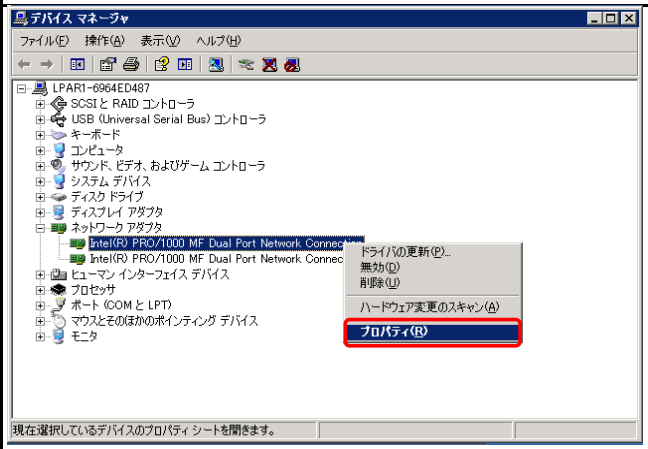
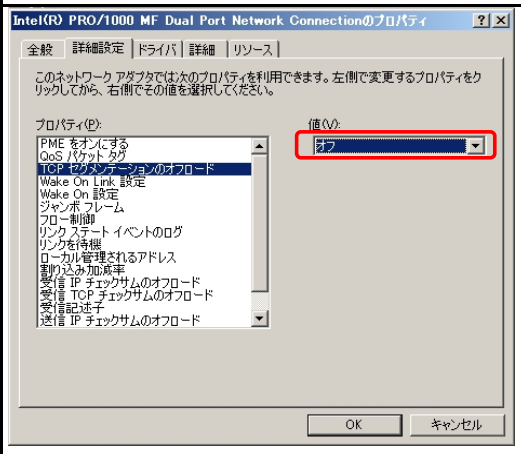
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 71 |  | ・「はい(Y)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 72 | | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 73 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 74 |  | ・「完了(F)」ボタンをクリックします。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | ☐ |

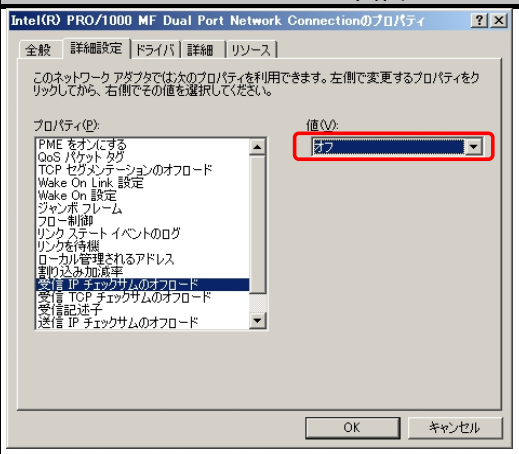
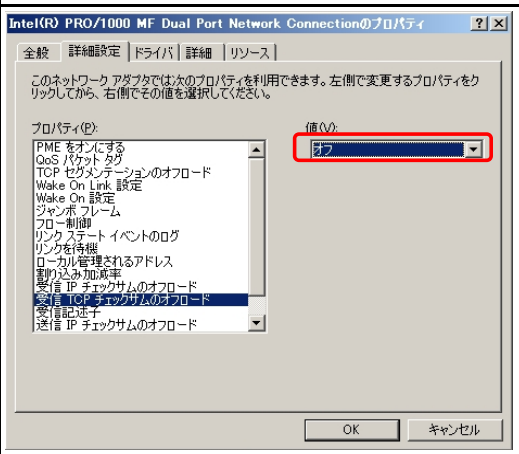
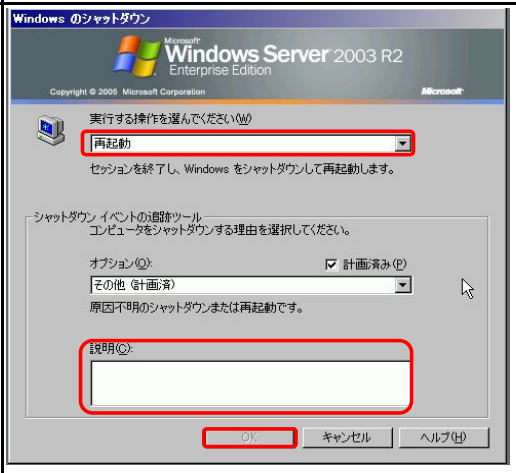
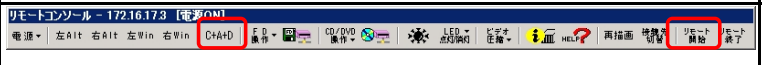
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 75 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | ☐ |
| 76 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 77 |  | P4モデルの場合は手順97へ進みます。<br>■LAN ドライバのインストール<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・「スタート」-「コントロールパネル」-「システム」をクリックします。<br>・「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。 | ☐ |
| 78 |  | ″？不明なデバイス″が表示されている場合は、その「プロパティ」を開き「詳細」タブで″デバイス インスタンスID″ を確認します。<br>値が″ACPI¥ACPI000D¥xxx″(xxxは任意の英数字記号)であることを確認します。<br>上記以外の値であればは手順97へ進みます。 | ☐ |

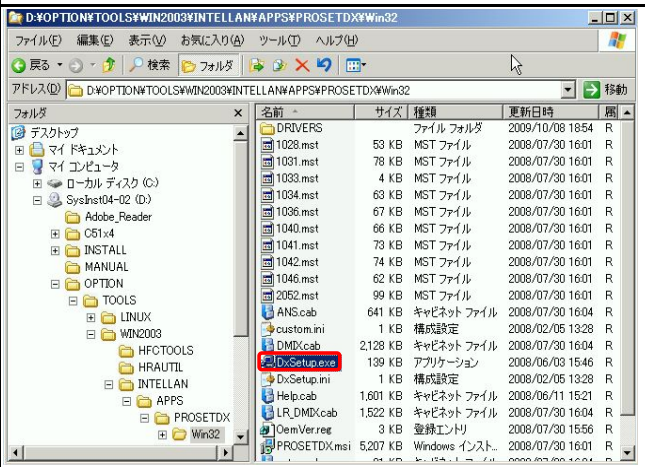
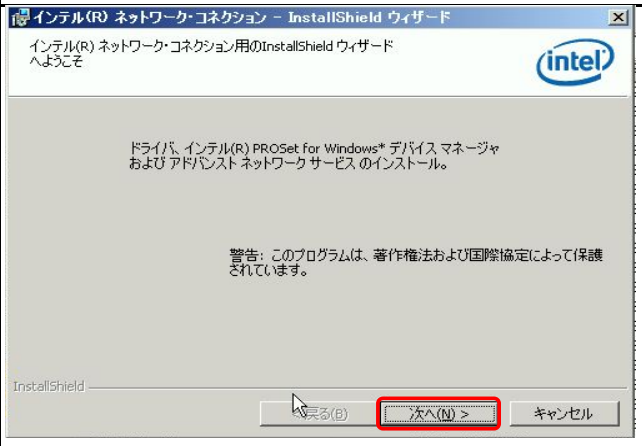
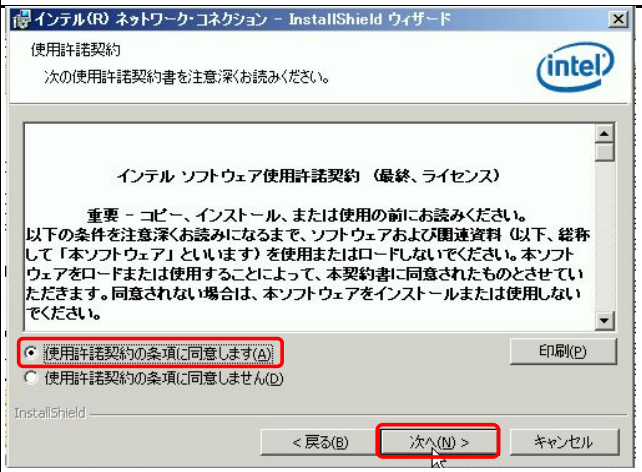
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 79 |  | ・ネットワークアダプタをクリックし、右クリックで「ドライバの更新(P)」をクリックします。 | □ |
| 80 |  | ・「いいえ、今回は接続しません(T)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 81 |  | ・「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)(S)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 82 |  | ・「次の場所を含める(O):」をクリックします。<br>・D:¥C51x5¥A¥Win2003¥HACPIPMと入力します。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。<br>※「 セキュリティの警告 – ドライバのインストール」のダイアログが表示された場合は、「 はい」 ボタンをクリックしてインストールを進めます。 | □ |

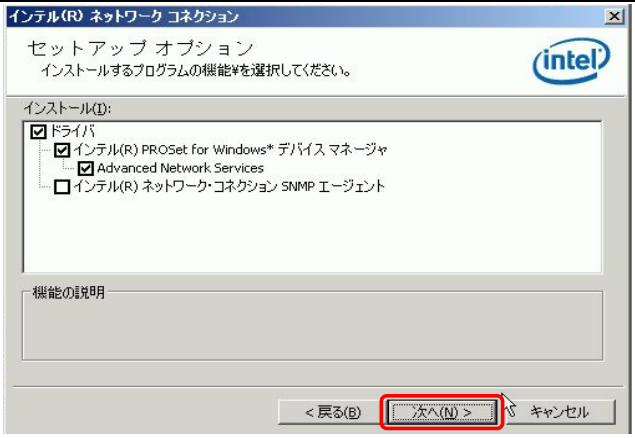
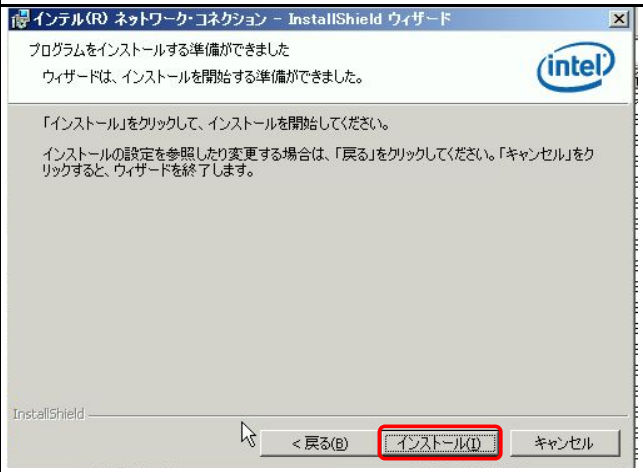
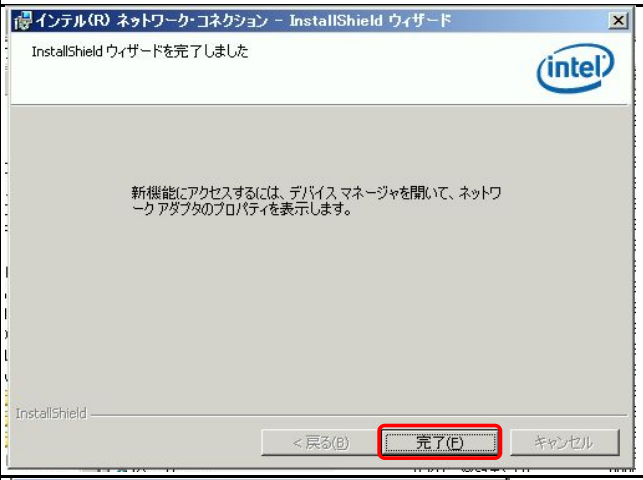
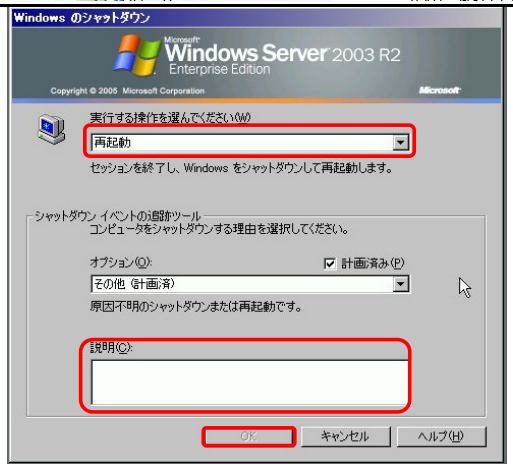
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 83 | | ・「完了」ボタンをクリックします。<br><br>※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。 | ☐ |
| 84 |  | **【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 85 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | ☐ |
| 86 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |

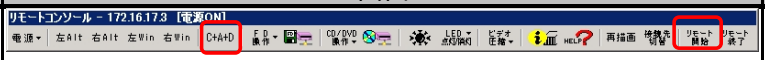
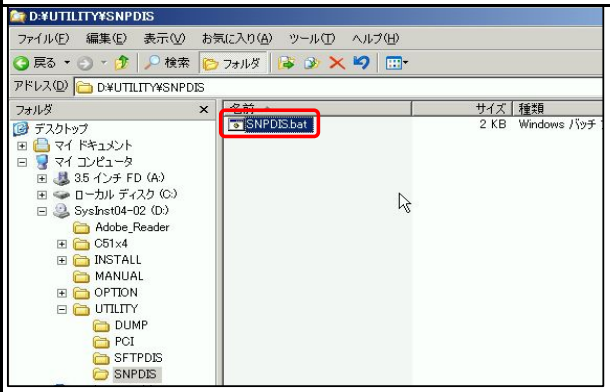
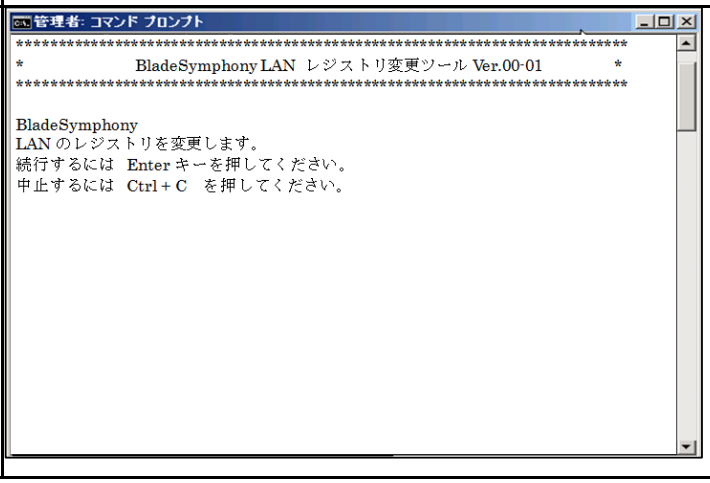
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 87 |  | ■LAN ドライバのインストール<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>・「スタート」-「コントロールパネル」-「システム」をクリックします。<br>・「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。 | ☐ |
| 88 |  | ・ネットワークアダプタをクリックし、右クリックで「ドライバの更新(P)」をクリックします。 | ☐ |
| 89 |  | ・「いいえ、今回は接続しません(T)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 90 |  | ・「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)(S)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |

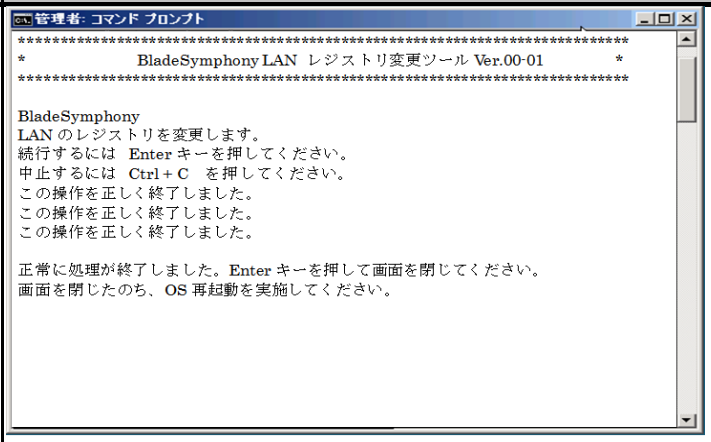
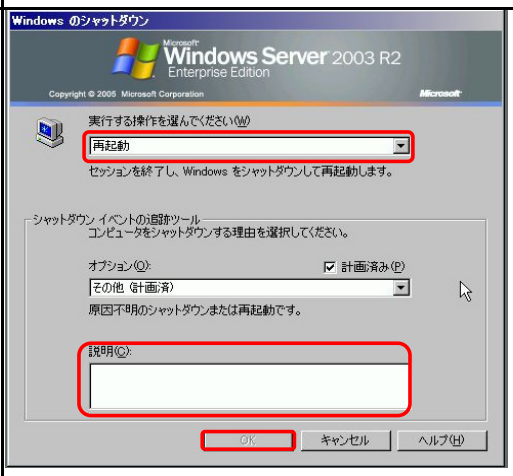
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 91 |  | ・「次の場所を含める(O):」をクリックします。<br><br>以下のディレクトリを入力します。<br><br>| ブレードモデル名 | CPU種 | 選択するディレクトリ |<br>|---|---|---|<br>| P4モデル | x86 | D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥LAN |<br>| | x64 | D:¥C51x4¥A¥WIN2003x64¥LAN |<br>| P5モデル | x86 | D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥LAN |<br>| | x64 | D:¥C51x5¥A¥WIN2003x64¥LAN |<br><br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 92 |  | ・「完了」ボタンをクリックします。<br><br>※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。 | ☐ |
| 93 |  | ■TCP/IPオフロードオプションの設定<br>・ネットワークアダプタを選択し、右クリックで「プロパティ(R)」をクリックします。 | ☐ |
| 94 |  | ・「詳細設定」タブをクリックします。<br>・「TCPセグメンテーションのオフロード」を「オフ」に設定します。 | ☐ |

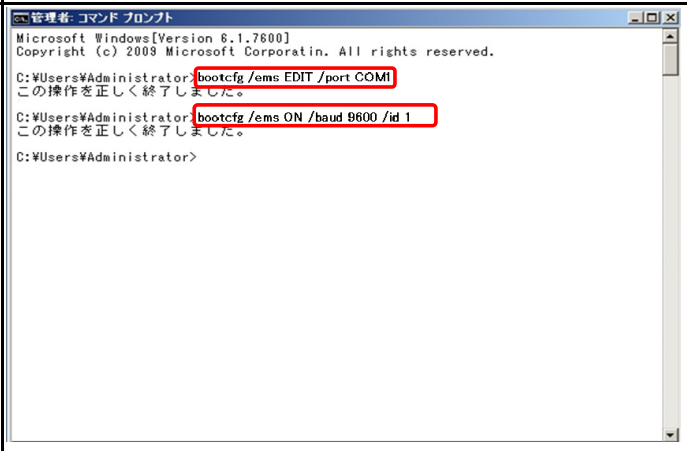
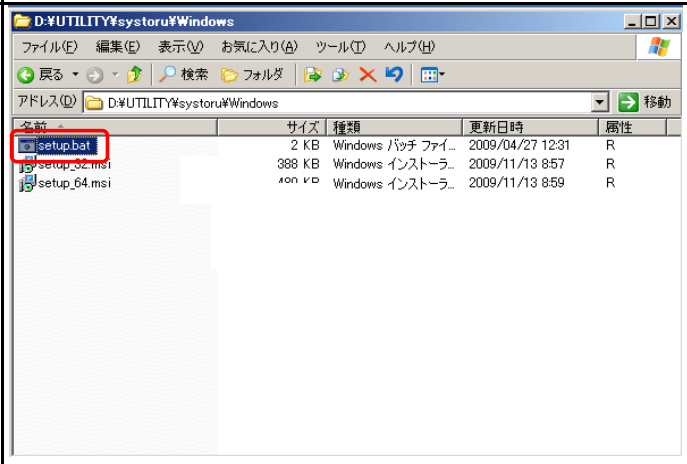
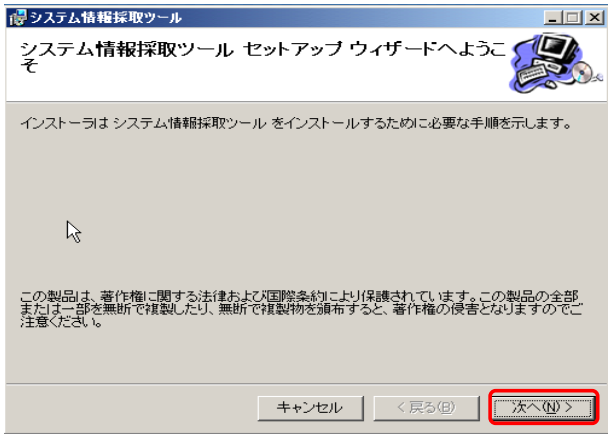
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 95 |  | ・「受信 IPチェックサムのオフロード」を「オフ」に設定します。 | □ |
| 96 |  | ・「受信 TCPチェックサムのオフロード」を「オフ」に設定します。<br><br>・「OK」ボタンをクリックします。<br><br>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。 | □ |
| 97 |  | ・Windowsを再起動します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br><br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |
| 98 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | □ |

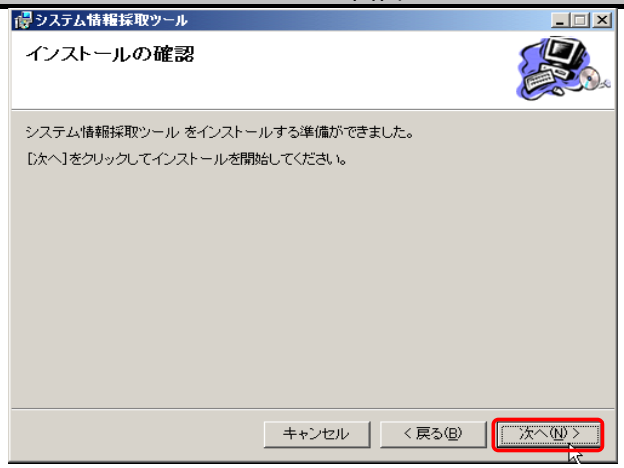
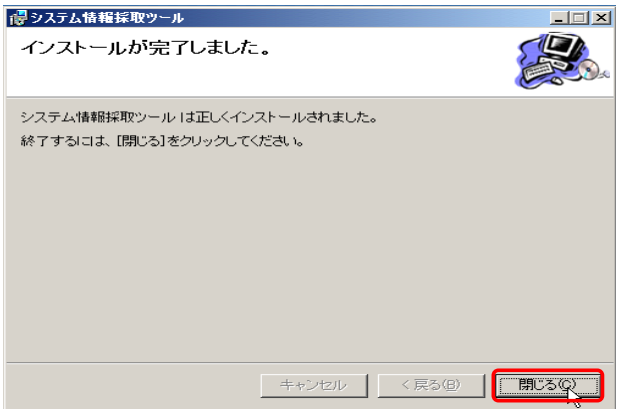
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 99 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 100 |  | ■Intel(R) PROSetのインストール<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・<br>D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Win32¥DxSetup.exeを実行します。<br><br>※x64の場合は、<br>・<br>D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003x64¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Winx64¥DxSetup.exeを実行します。 | ☐ |
| 101 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 102 |  | ・「使用許諾契約の条項に同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 103 |  | ・「次へ(N)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 104 |  | ・「インストール(I)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 105 |  | ・「完了(F)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 106 |  | ・Windowsを再起動します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |

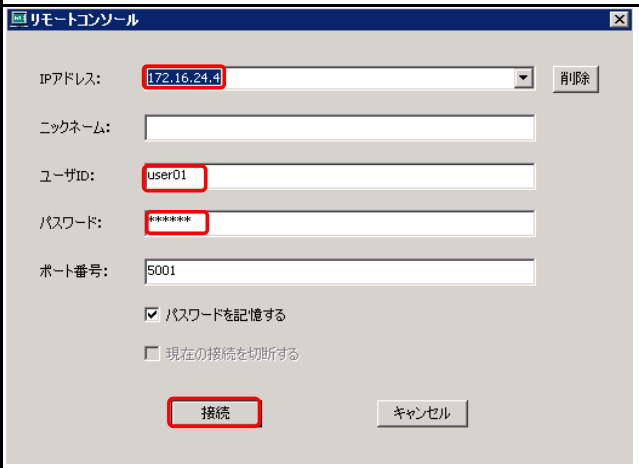
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 107 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。 | □ |
| 108 | | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 109 |  | ■SNP無効化<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br><br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>・D:¥UTILITY¥SNPDIS¥SNPDIS.batを実行します。 | □ |
| 110 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |

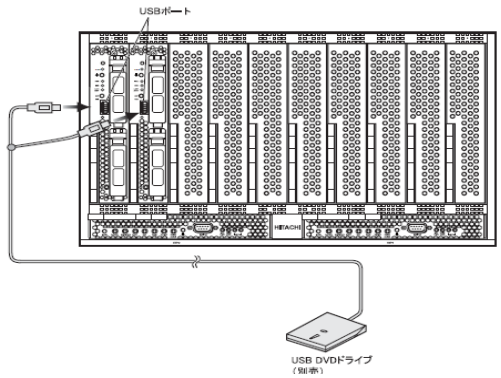
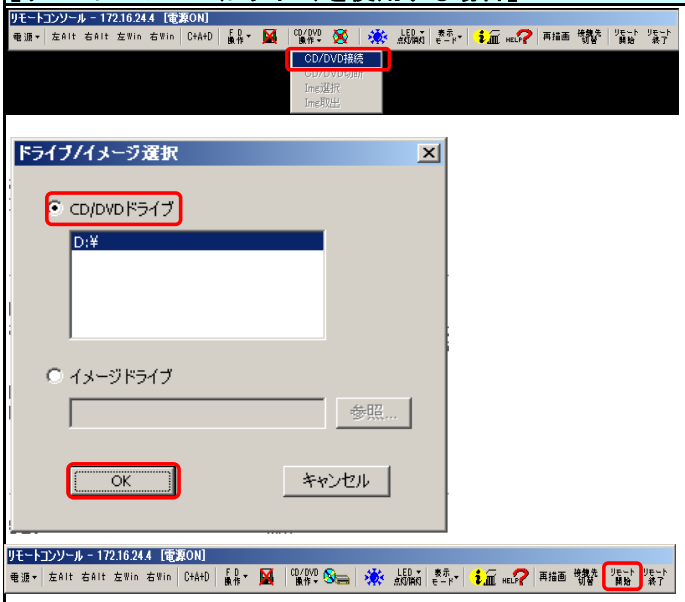
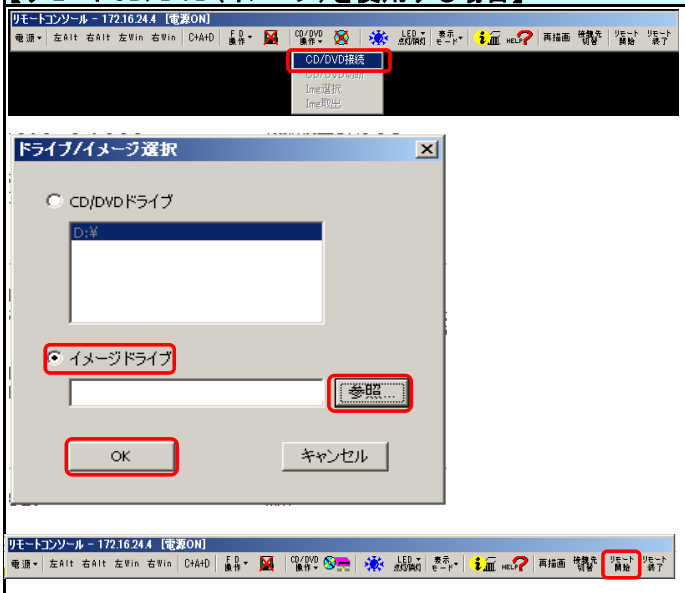
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 111 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 112 |  | ・Windowsを再起動します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・FDドライブを取り外します。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |
| 113 | **各ドライバのバージョン情報確認** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>" 導入後のサポート" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | □ |
| 114 | **インストールに使用したドライバにあった修正モジュールの適応** | ■OS修正モジュールの適応<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" -" OS修正モジュール"を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | □ |

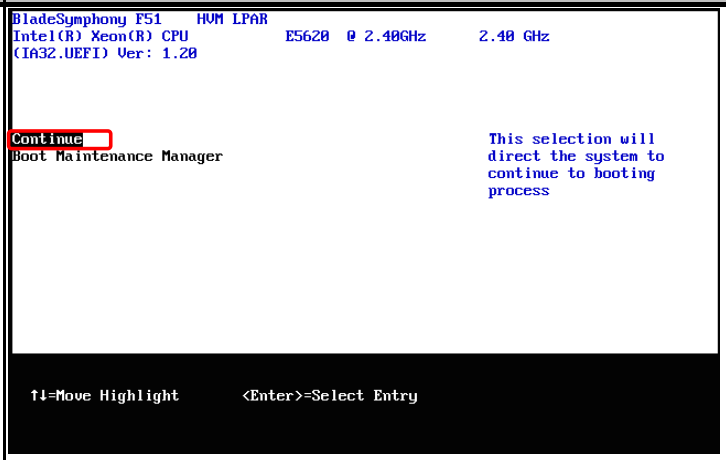
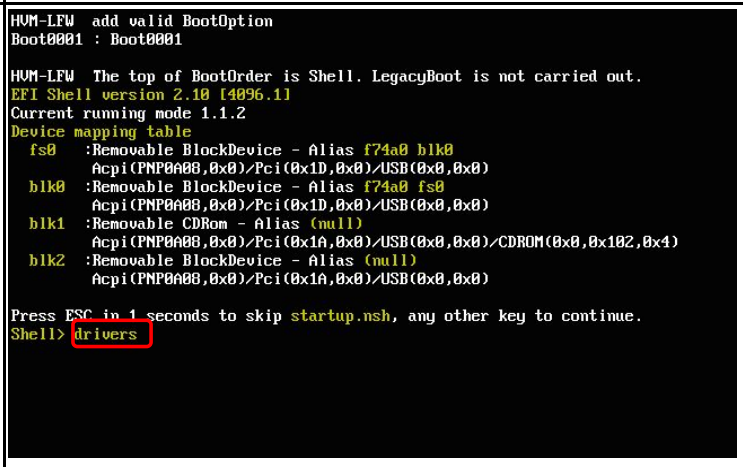
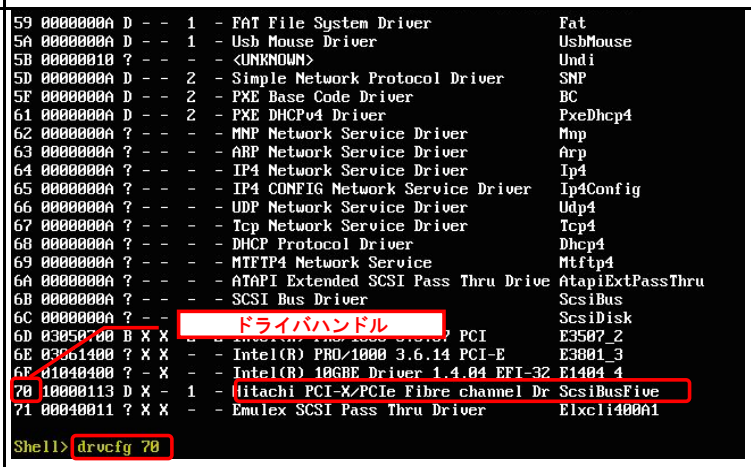
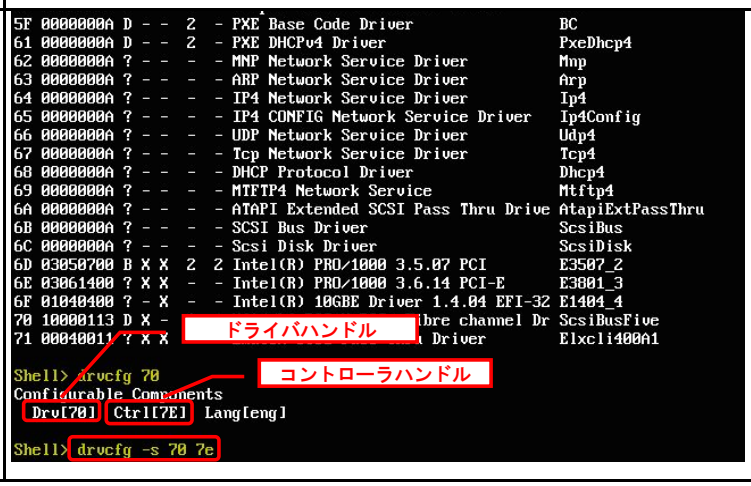
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 115 | **JP1/ServerConductor/Agentとハードウェア保守エージェントのインストール** | ■JP1/ServerConductor/Agentとハードウェア保守エージェントのインストール<br><br>・各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS320 セットアップガイド　Windows編の「付属ソフトウェアの使いかた」をご参照ください。<br><br>※「構成マネージャ」からインストールする場合は、先にJP1/ServerConductor/Agent をインストールしてから、ハードウェア保守エージェントをインストールしてください。 | ☐ |
| 116 |  | ■シリアルコンソールの設定<br>・「コマンドプロンプト」を起動し、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。<br>「bootcfg /ems EDIT /port COM1」<br>「bootcfg /ems ON /baud 9600 /id 1」 | ☐ |
| 117 |  | **P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>■システム情報採取ツールのインストール<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br><br>D:¥UTILITY¥systoru¥Windows¥setup.batを実行しま | ☐ |
| 118 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

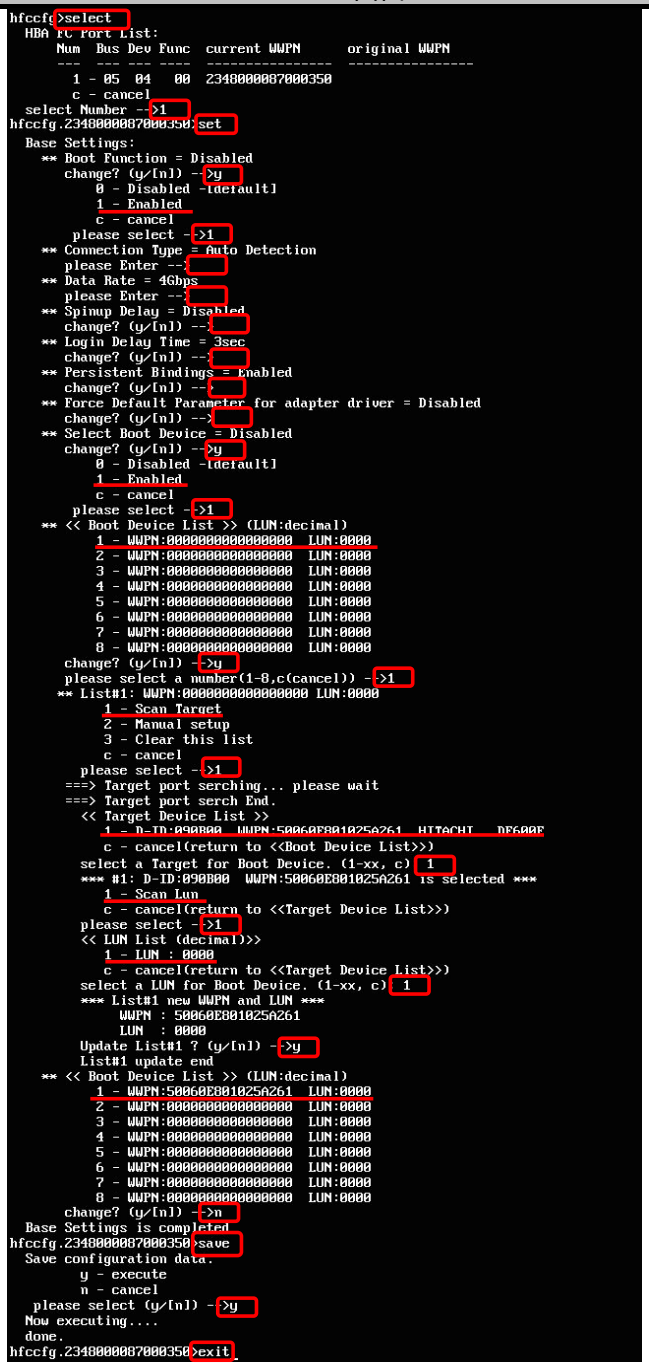
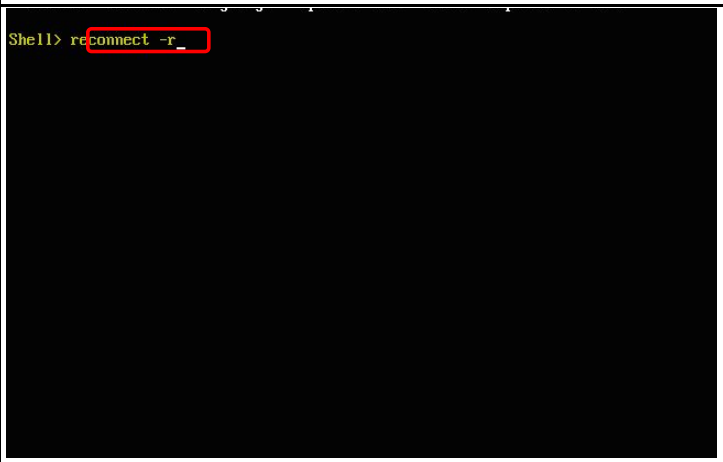
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 119 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 120 |  | ・「閉じる(C)」をクリックします。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 121 | | ■リモートコンソールの終了<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「リモート終了」を実行します。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

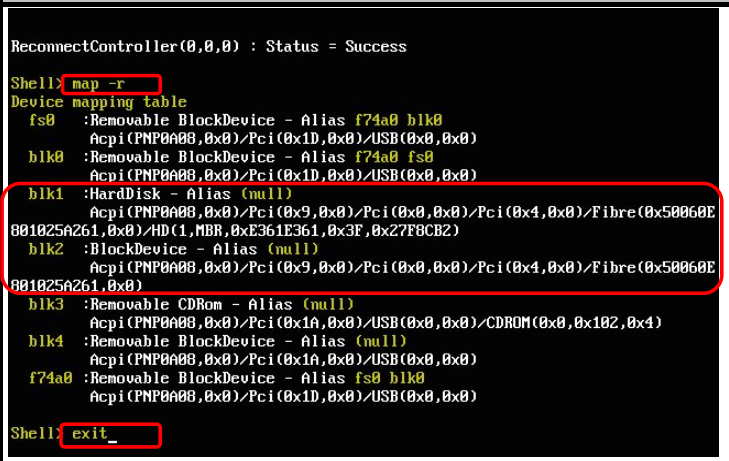
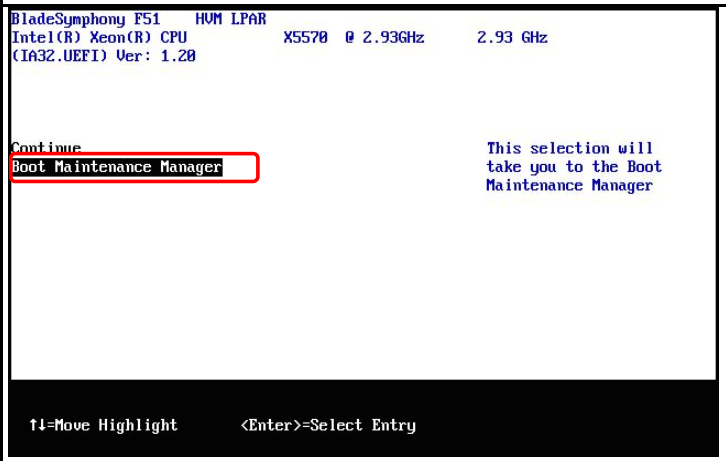
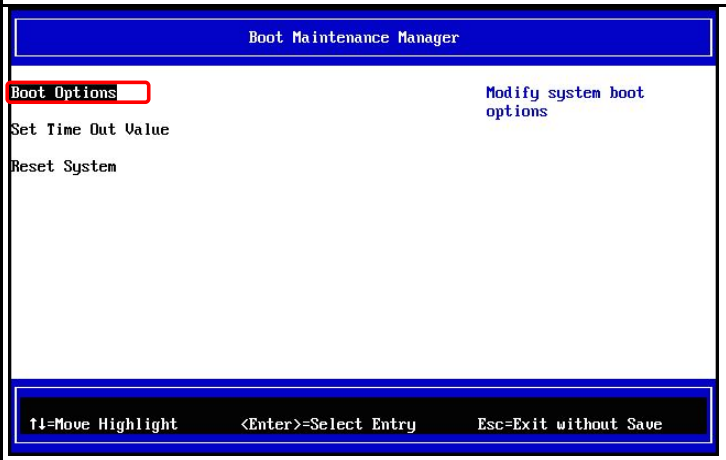
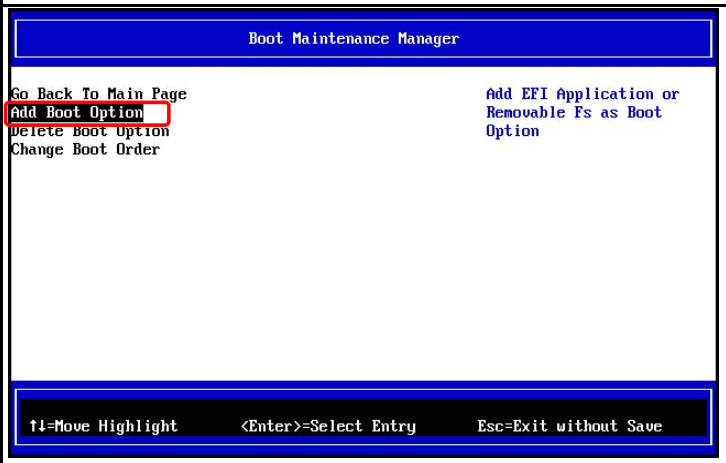
## １．５．２　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用)

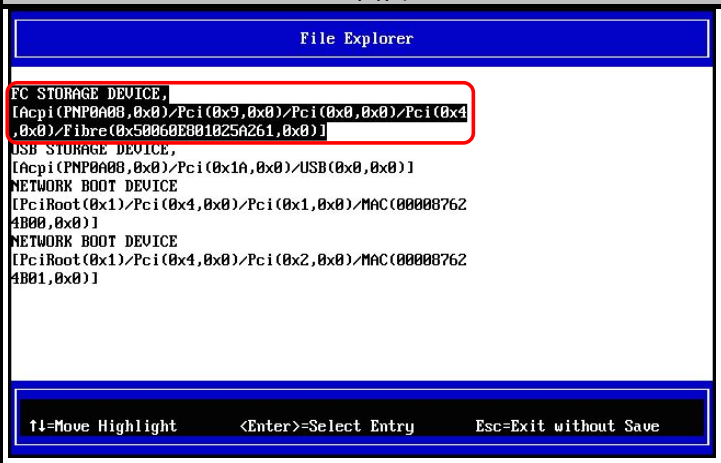
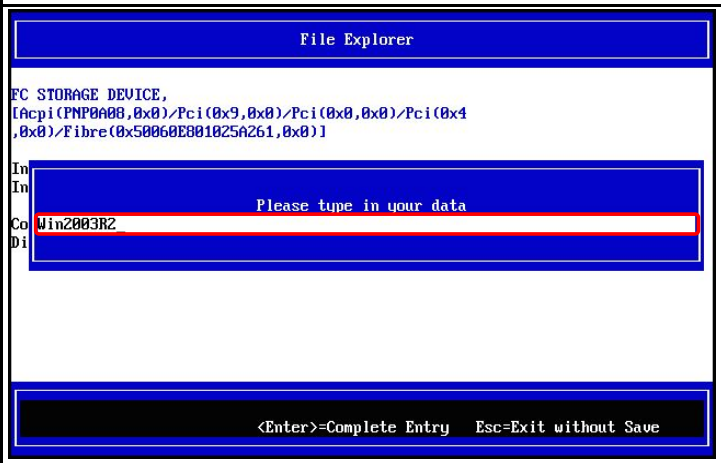
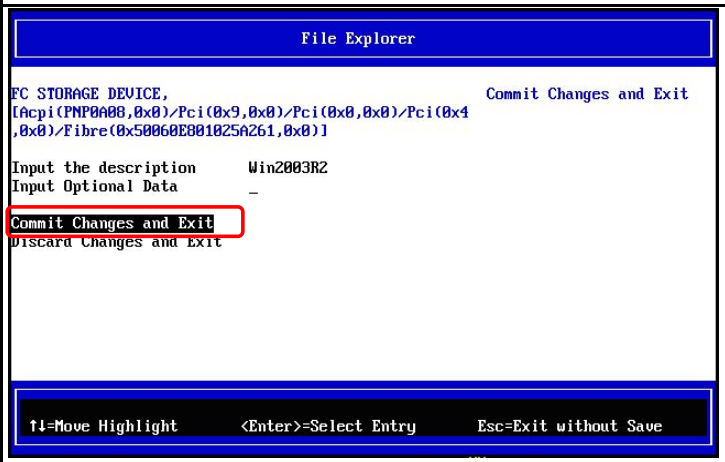
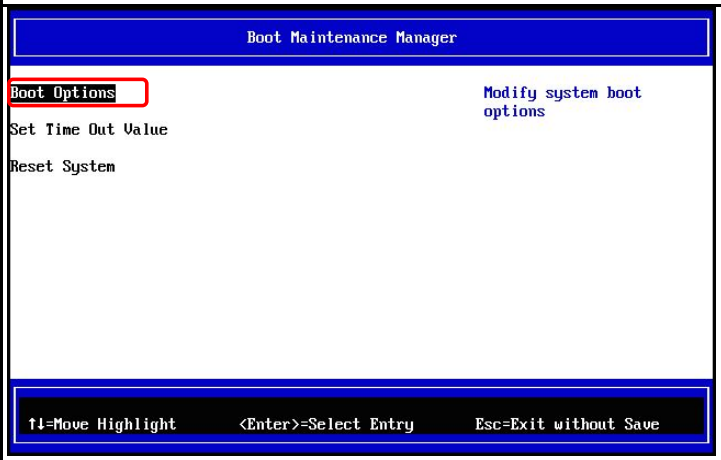
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※SystemInstallerを使用したインストールはHVMバージョン：17-70以降でないとインストールを正常に行うことができません。<br><br>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |

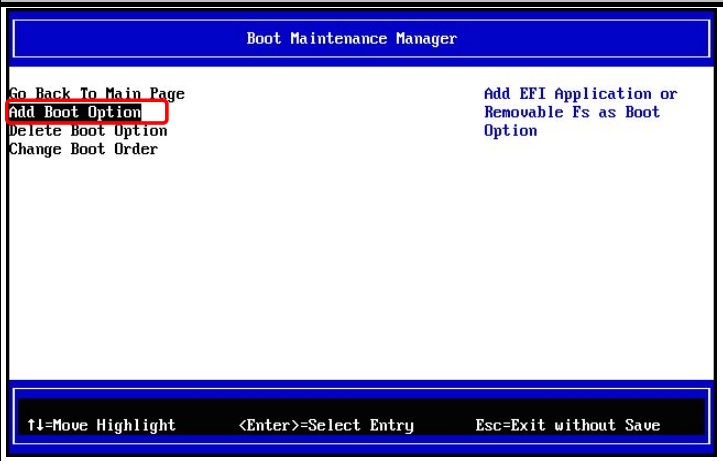
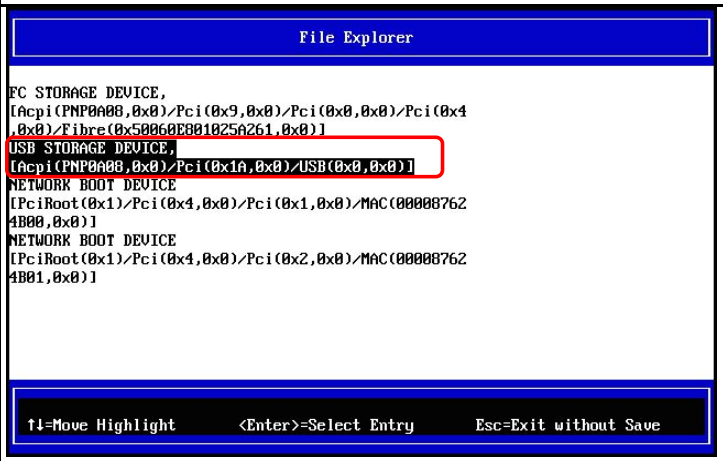
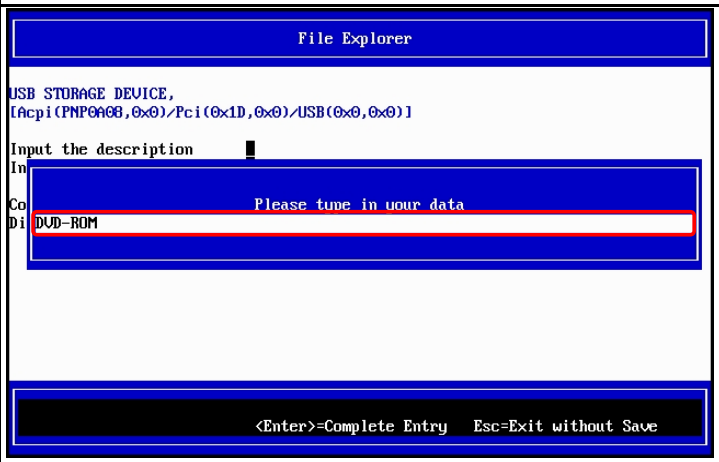
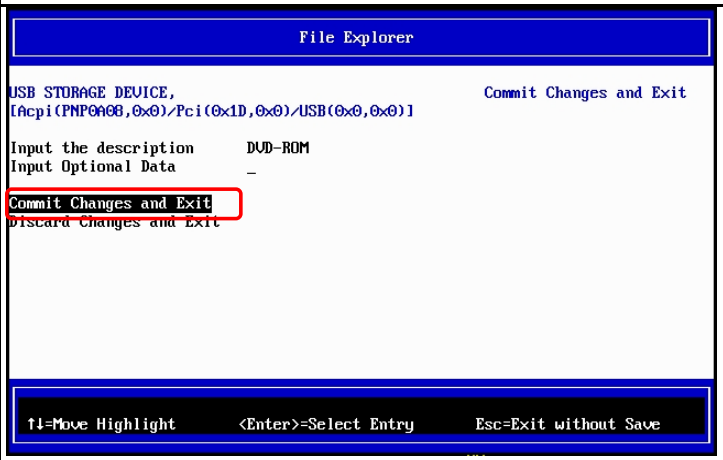
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | 項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい | | |
| | 3-1 【フロント USBを使用する場合】<br>  | ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「SystemInstaller CD」を入れます。<br><br>※例として、二又に分かれたUSB DVDドライブを使用しています。二又ケーブルの場合はDVDドライブの電源用プラグをサーバブレードに挿してください。 | □ |
| | 3-2 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「SystemInstaller CD」を入れます。 | □ |
| | 3-3 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | □ |

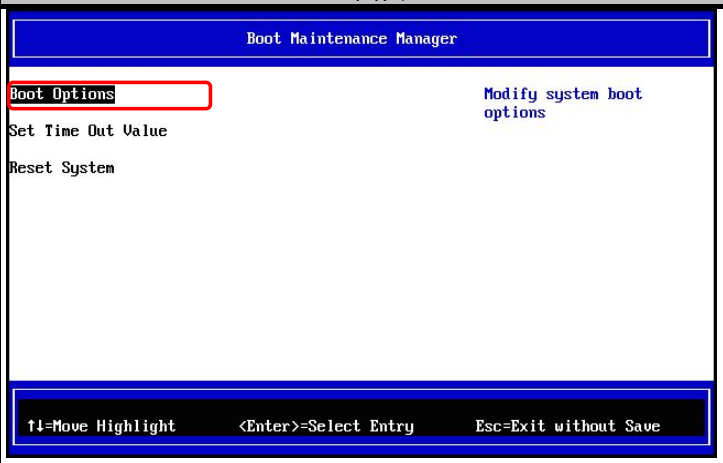
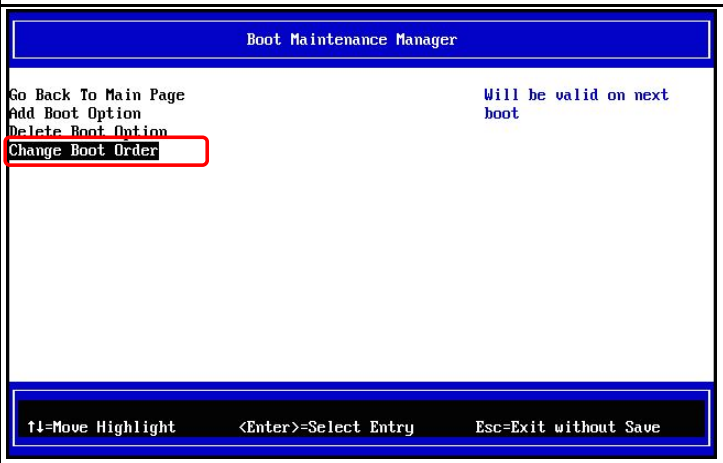
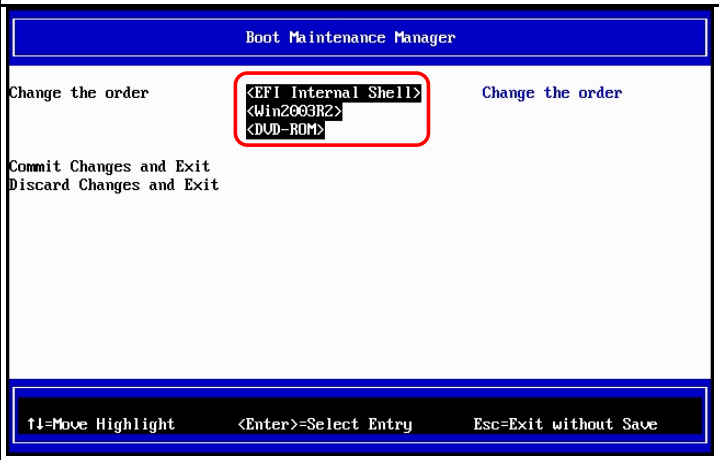
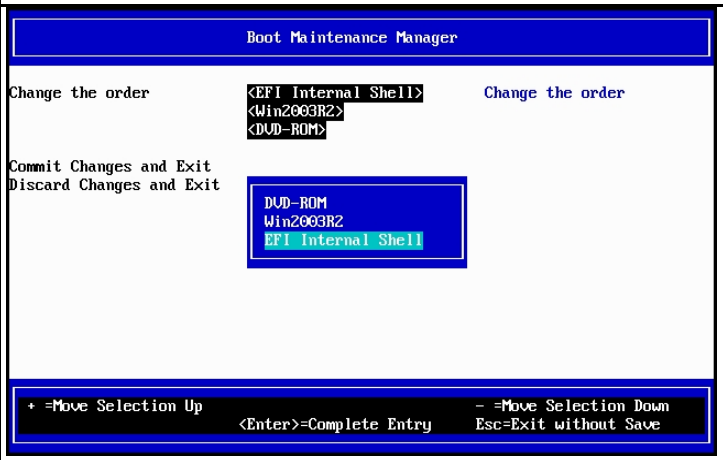
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■共有FCの設定<br>・「Continue」を選択します。 | ☐ |
| 5 |  | ・「drivers」を入力します。 | ☐ |
| 6 |  | ・「drvcfg「ドライバハンドル」」を入力します。 | ☐ |
| 7 |  | ・「drvcfg -s「ドライバハンドル」「コントローラハンドル」」を入力します。 | ☐ |

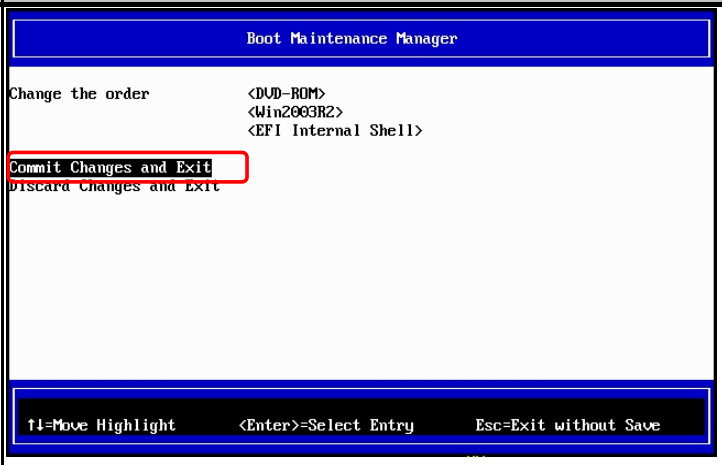
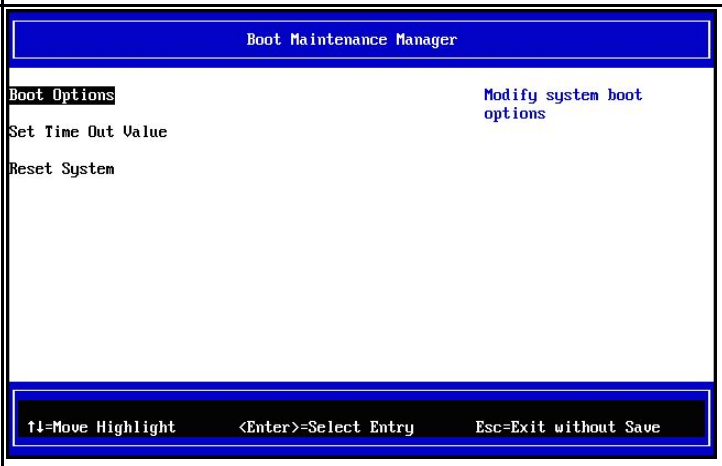
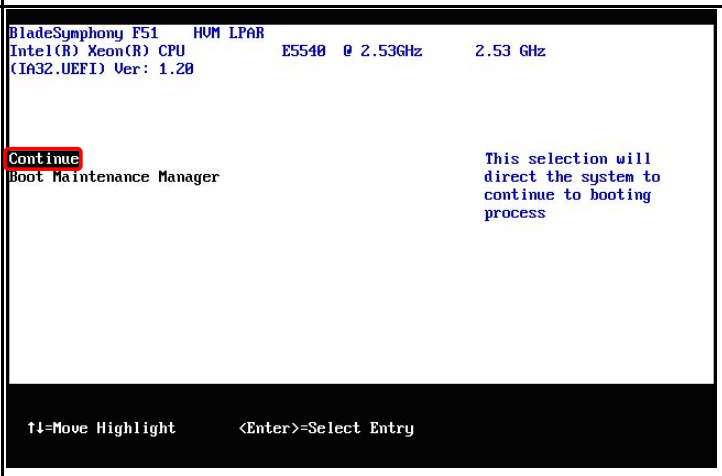
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・「select」を入力します。<br>・左記のように入力します。<br>・「exit」を入力します。<br><br>※設定を行ってもで「Boot Device List」項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。 | □ |
| 9 |  | ・「reconnect -r」を入力します。 | □ |

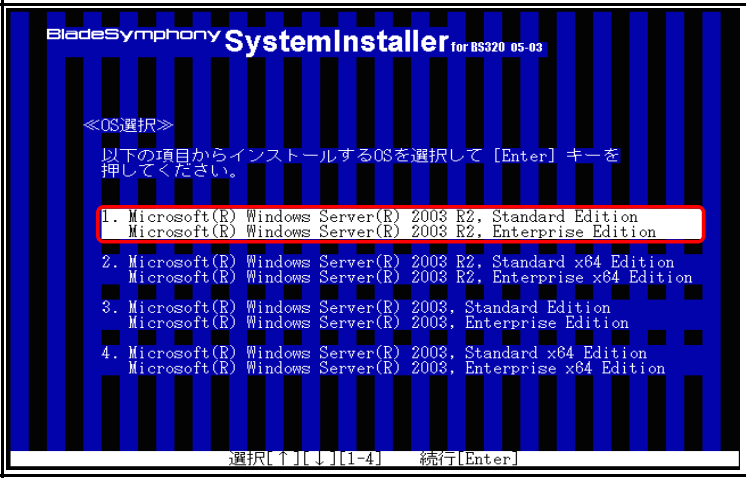
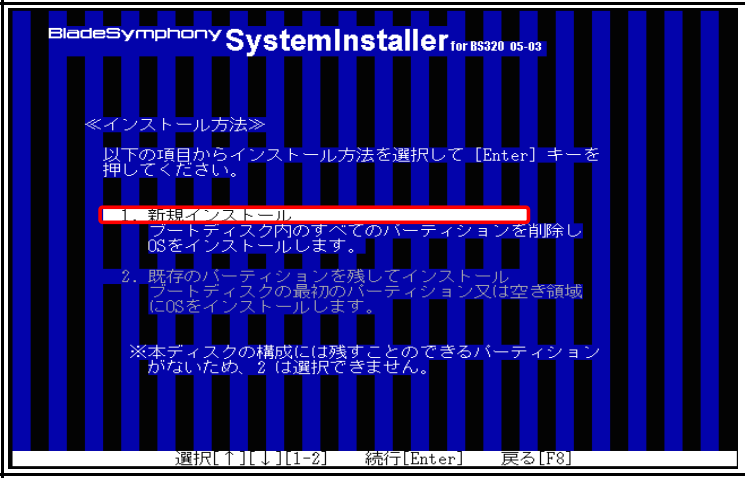
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ・「map -r」を入力します。<br>・FCデバイスが認識されていることを確認します。<br>・「exit」を入力します。 | ☐ |
| 11 |  | ■ブートオーダの設定<br>・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 12 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |

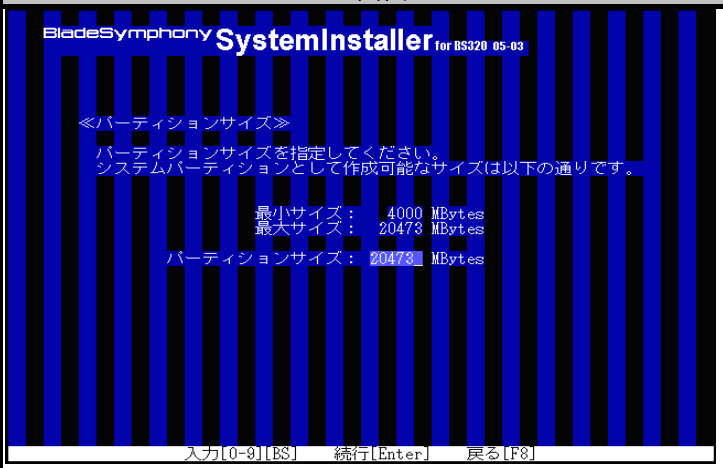
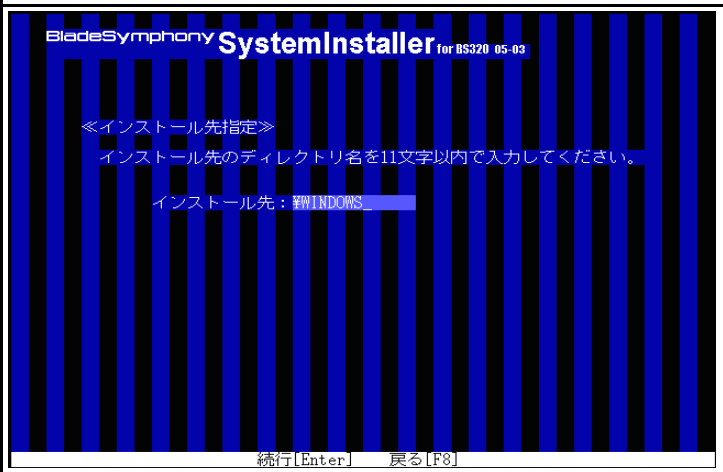
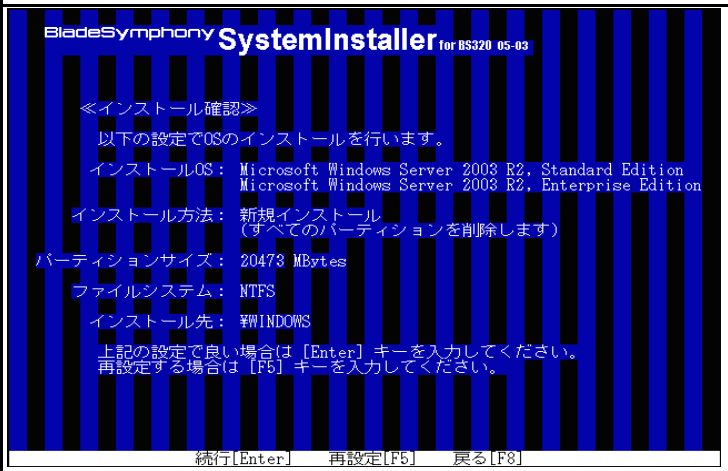
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 14 |  | ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 15 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「Win2003R2」と入力しています。 | ☐ |
| 16 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 17 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |

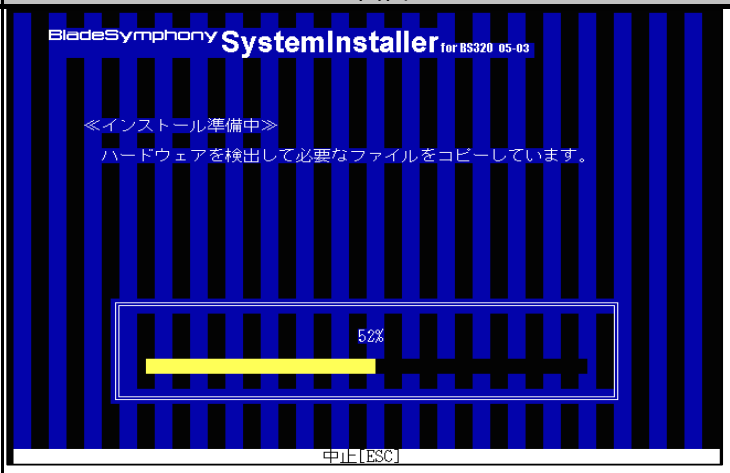
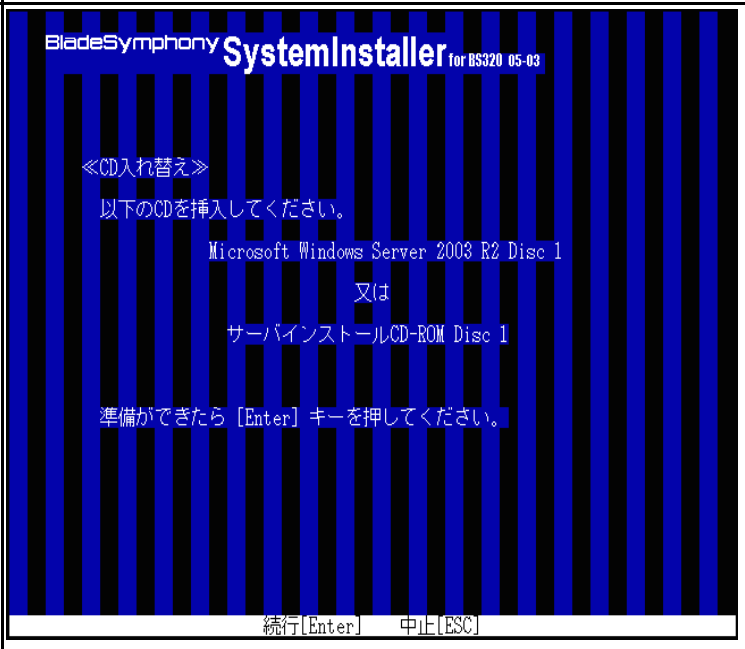
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 18 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 19 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 20 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |
| 21 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

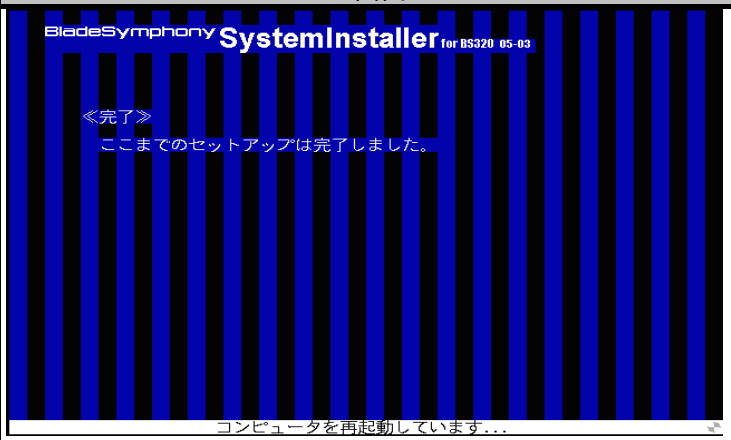
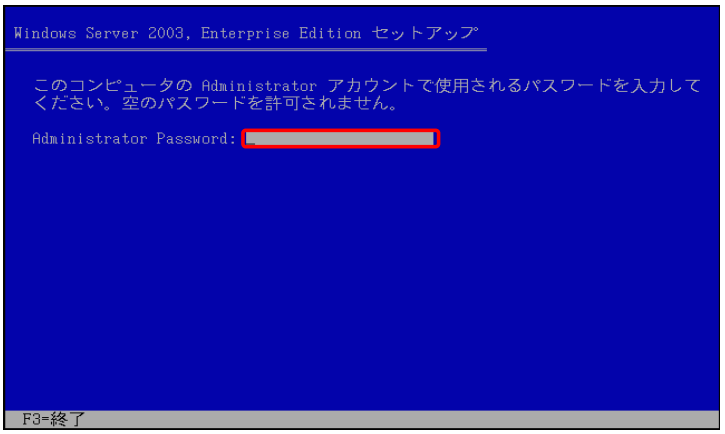
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 22 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 23 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 24 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 25 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2003R2<br>EFI Internal Shell | ☐ |

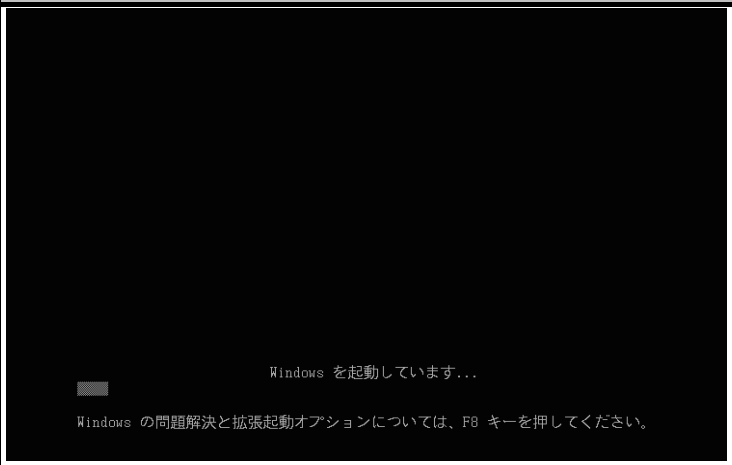
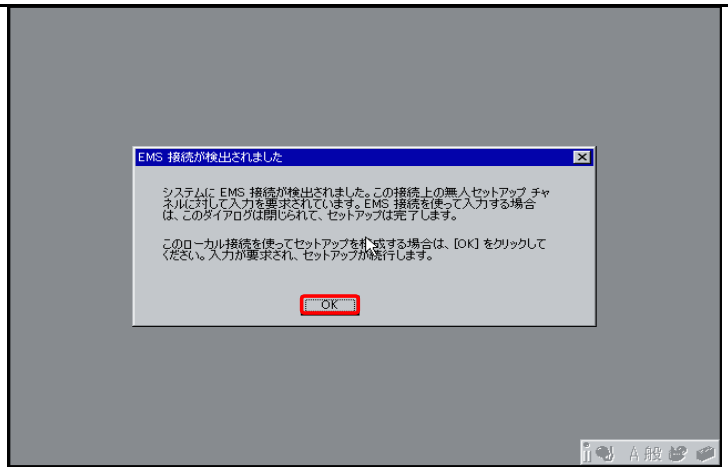
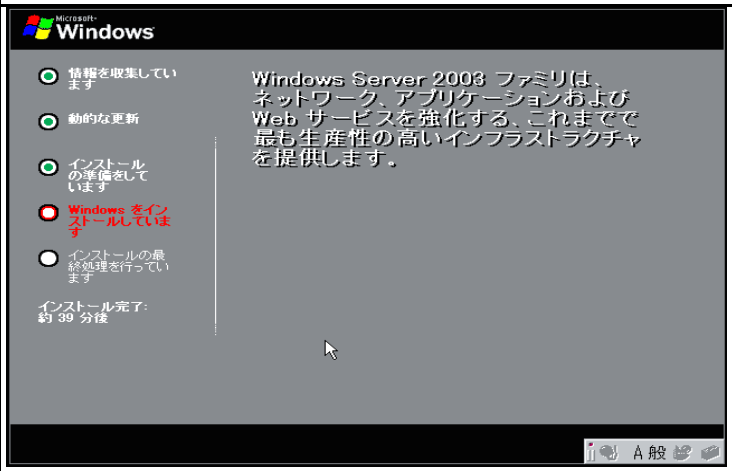
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 26 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | □ |
| 27 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 28 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 29 | | ■OSのインストール<br>・「Start booting from CD...」が表示されてから、数秒間待ちます。<br><br>※既にOSがインストール済みのLUにインストールする場合ここで「Enter」キーを押します。<br><br>※表示されない場合がありますが、インストールに影響はありません。 | □ |

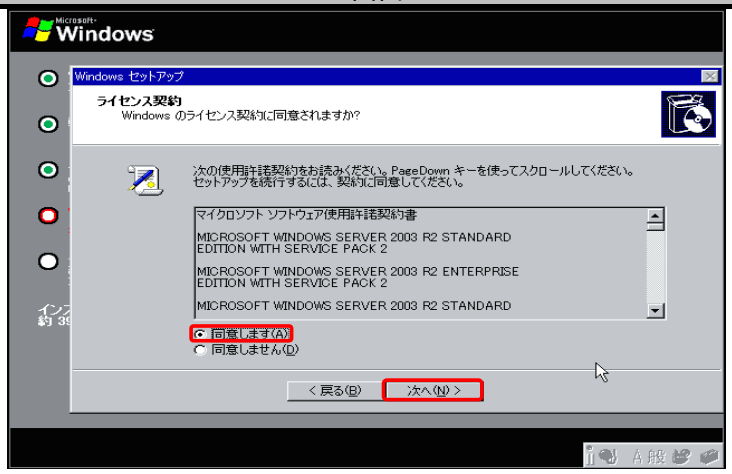
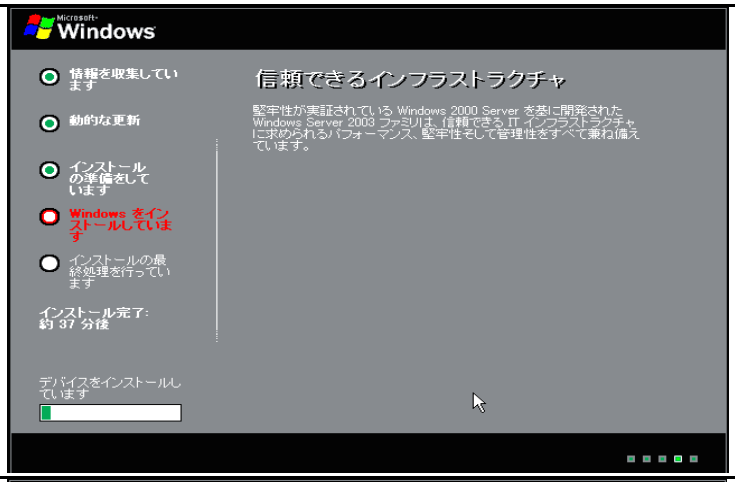
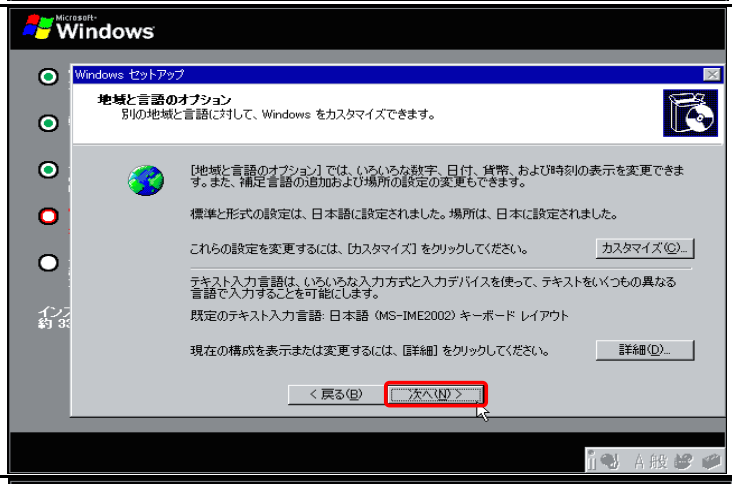
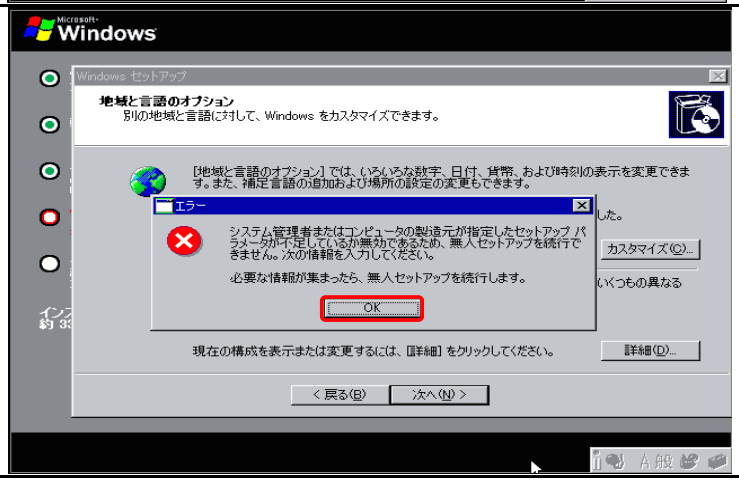
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 30 | | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 31 |  | ・インストールするOSを選択します。<br><br>※左記画面の場合は、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Standard Edition<br>Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Enterprise Edition」<br>を選択しています。 | □ |
| 32 |  | ・「新規インストール」を選択します。 | □ |
| 33 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

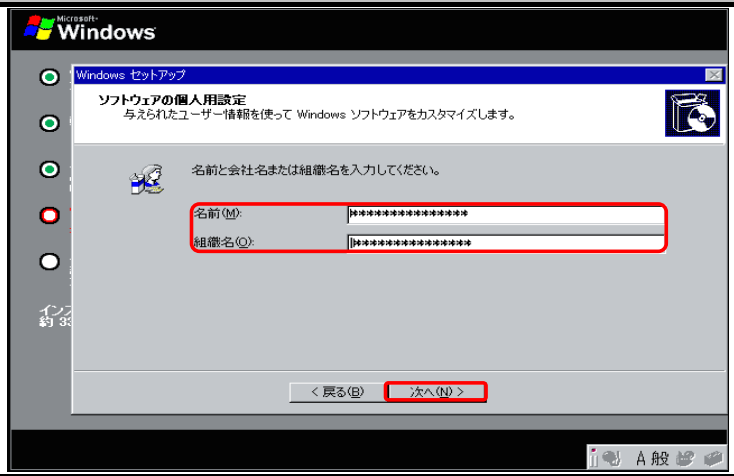
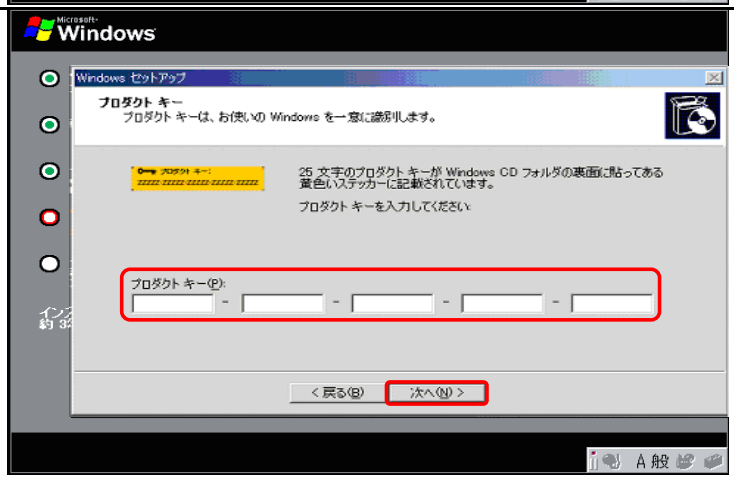
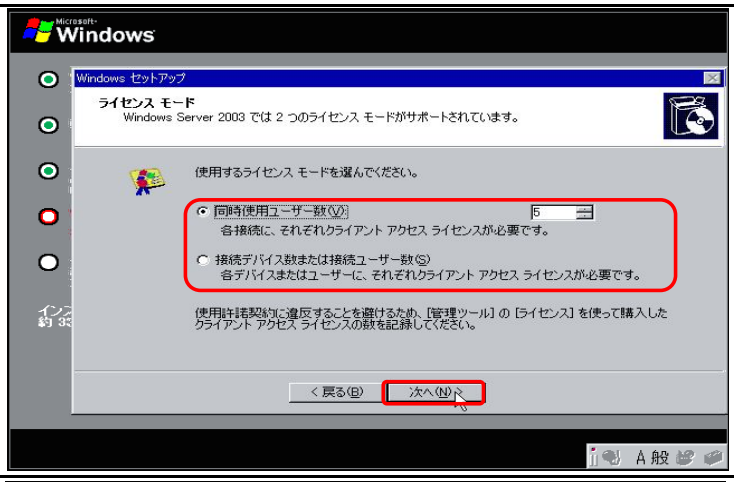
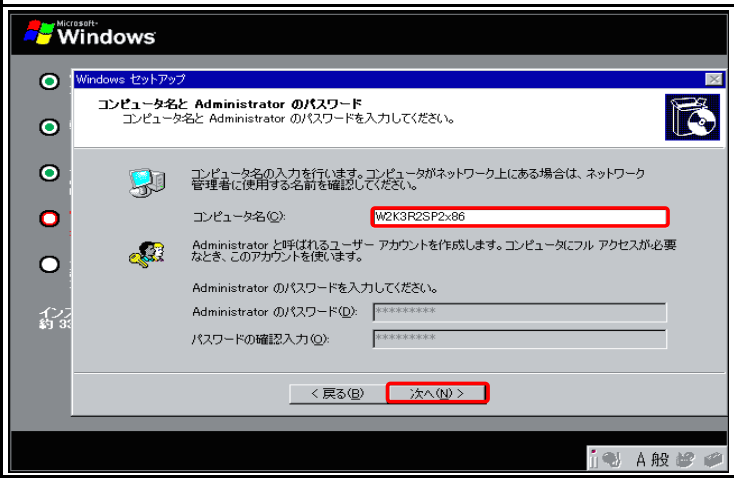
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 34 |  | ・「パーティションサイズ」を入力します。 | □ |
| 35 |  | ・「Enter」キーを押します。<br><br>※インストール先の初期値として「¥WINDOWS」が入力されています。 | □ |
| 36 |  | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 37 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

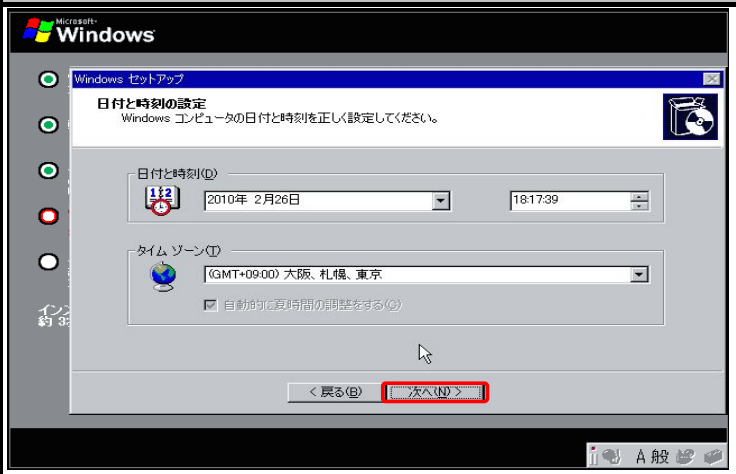
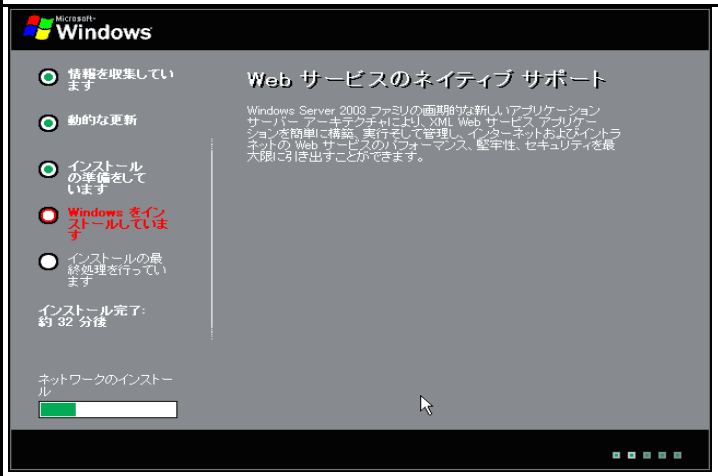
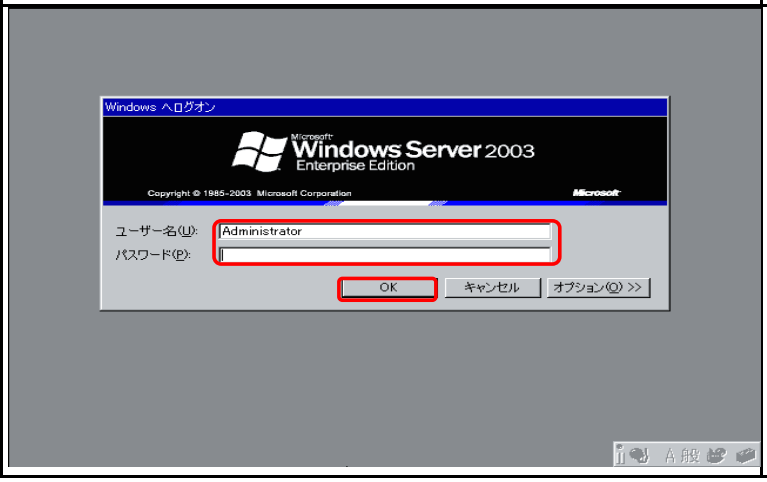
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 38 |  | ・約5分程度待ちます。 | □ |
| 39 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)に入れ替える際、必ずメディア(1/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 40 | | ※左記画面が表示されるまで、約30分程度かかります。<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)に入れ替える際、必ずメディア(2/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |

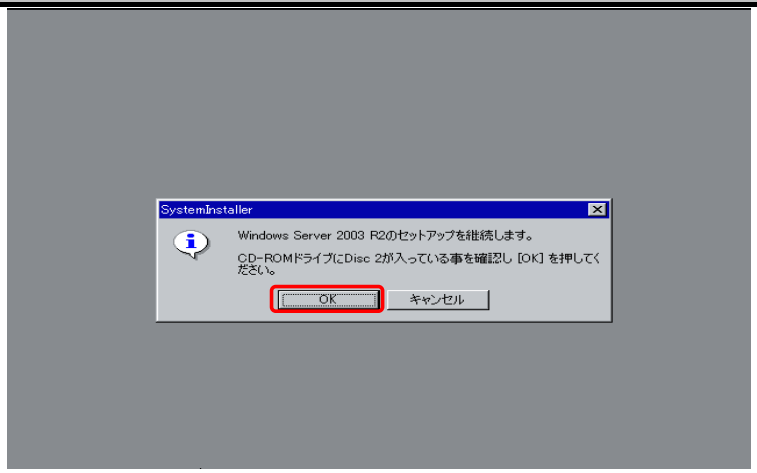
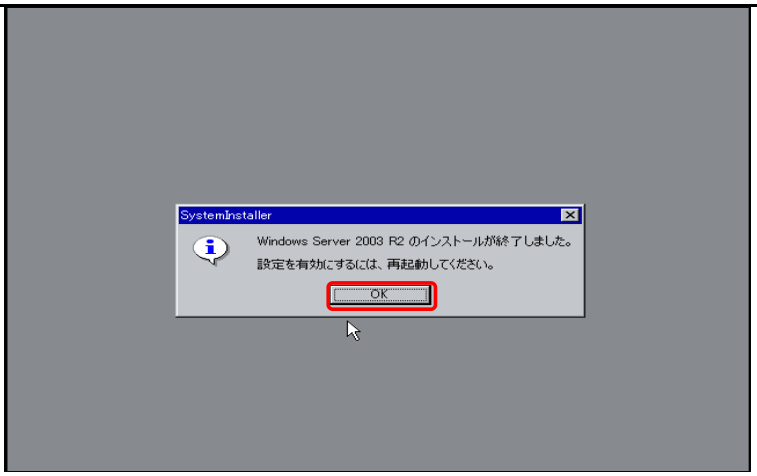
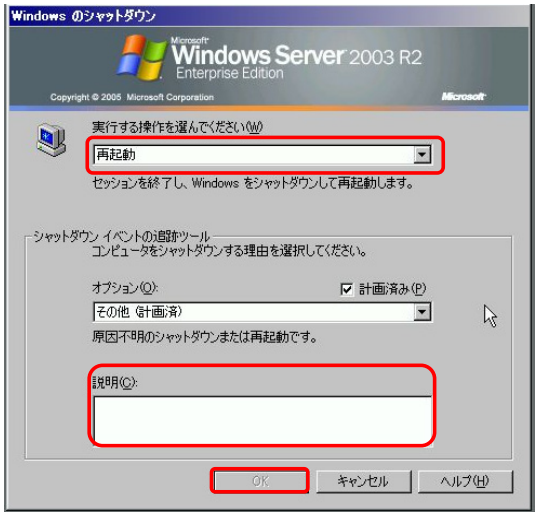
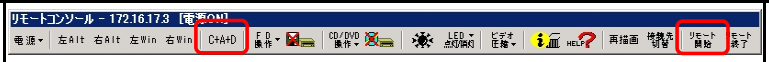
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 41 |  | ・完了すると、Windowsが再起動します。 | □ |
| 42 |  | ・パスワードを入力します。 | □ |
| 43 | | ・上記手順で入力したパスワードを再度入力します。 | □ |
| 44 | | ・約20分程度待ちます。 | □ |

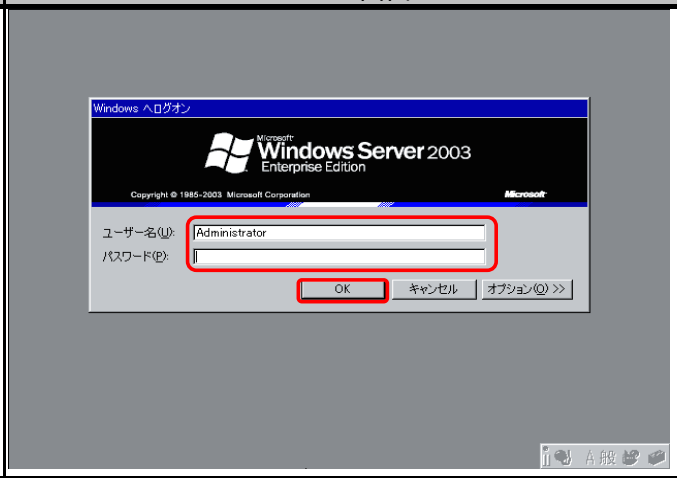
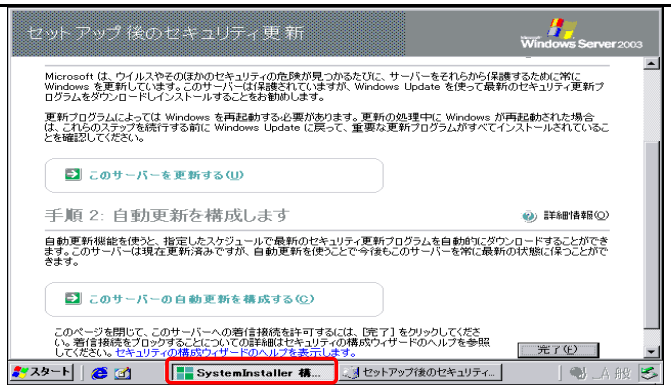
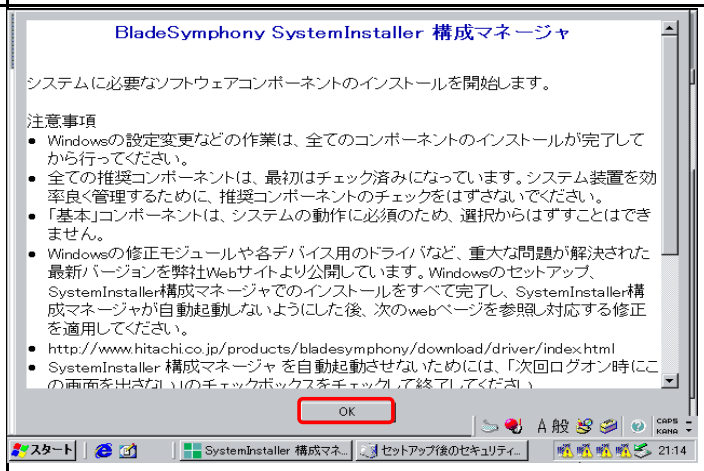
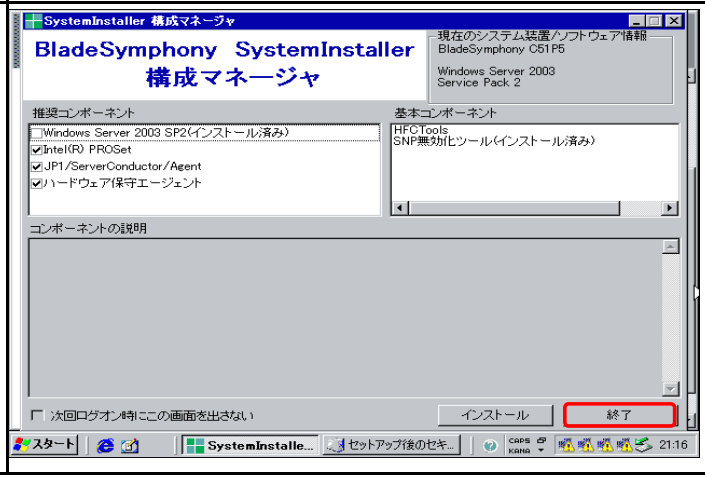
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 45 |  | ※再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。 | ☐ |
| 46 |  | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |
| 47 |  | ・しばらく待ちます。 | ☐ |
| 48 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

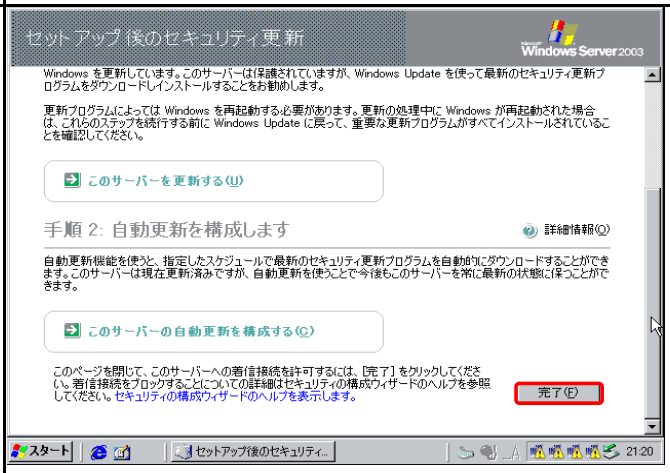
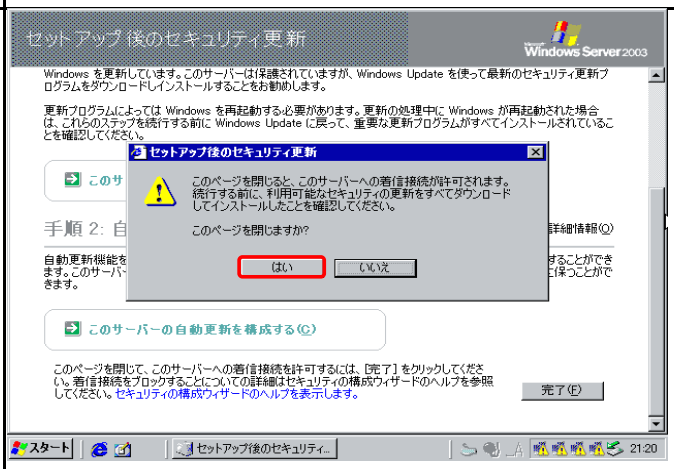
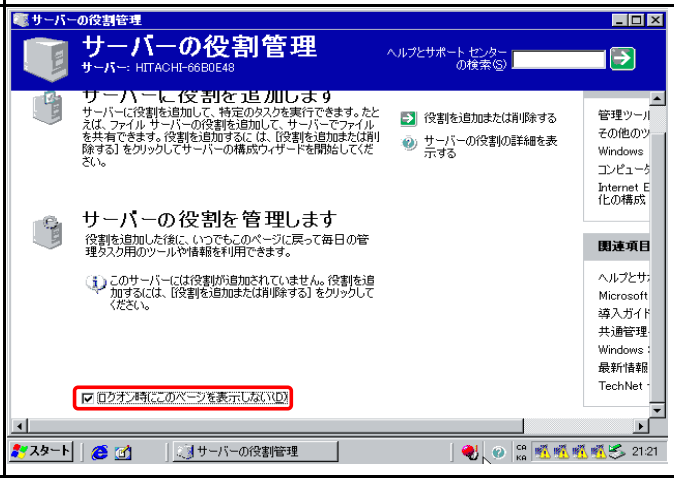
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 49 |  | ・「同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 50 |  | ・しばらく待ちます。 | ☐ |
| 51 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 52 |  | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |

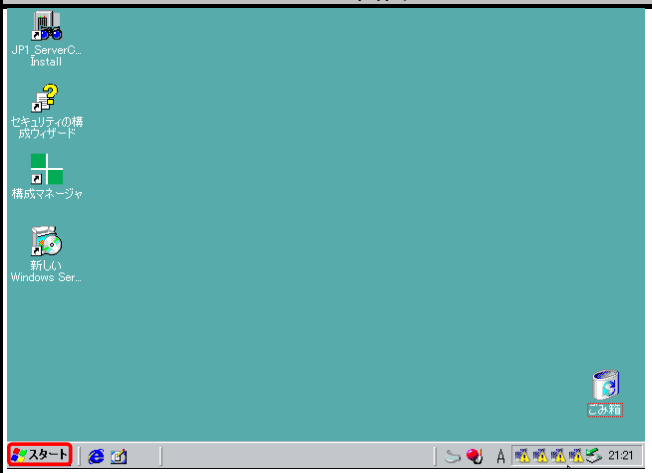
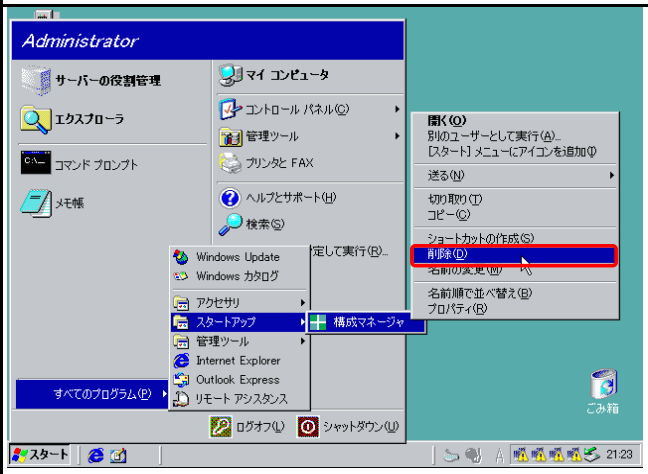
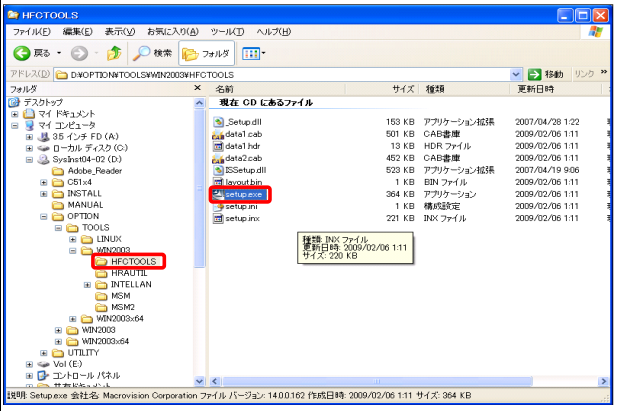
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 53 |  | ・「名前(M):」と「組織名(O):」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 54 |  | ・プロダクトキーを入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 55 |  | ・ライセンスモードを選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 56 |  | ・「コンピュータ名」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

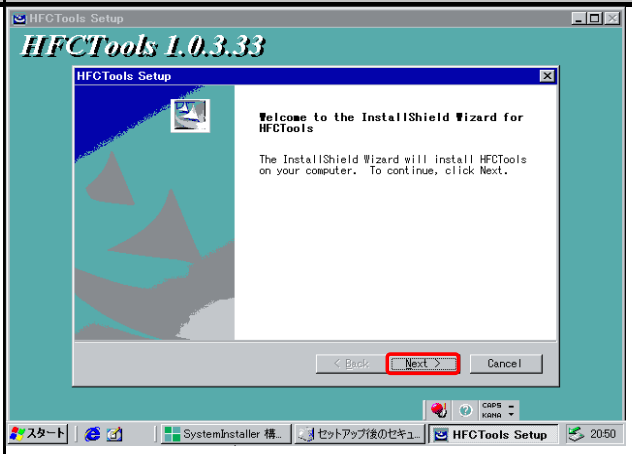
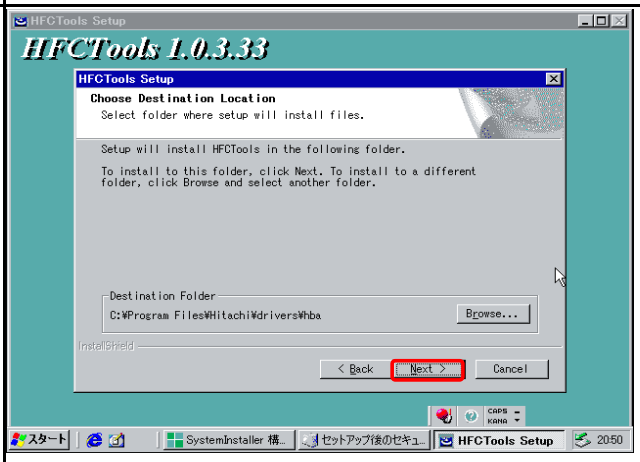
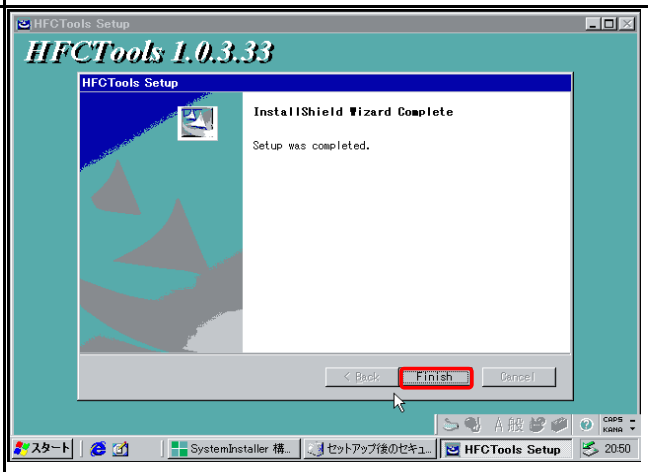
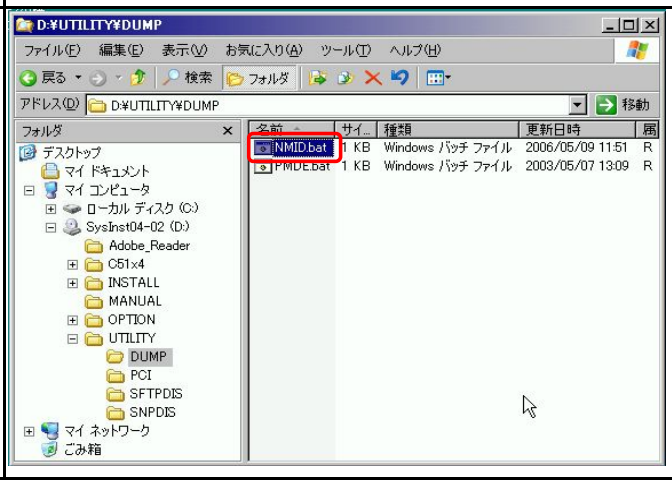
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 57 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 58 |  | ・しばらく待ちます。<br><br>※画面が多少乱れることがありますが、動作に影響ありません。 | □ |
| 59 | | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 60 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |

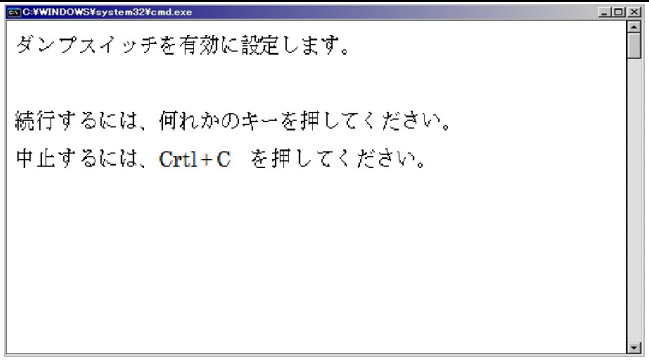
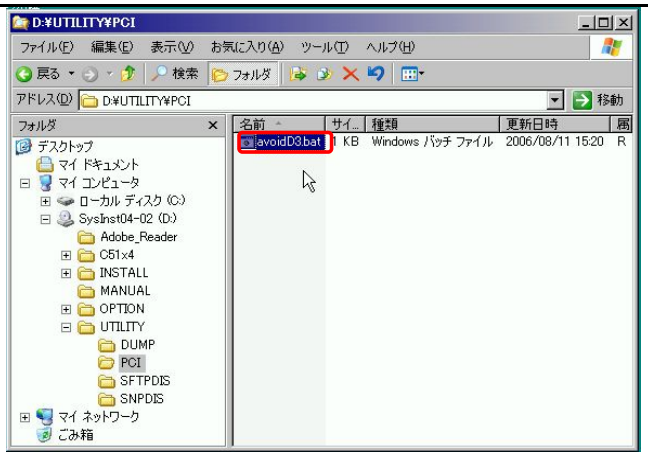
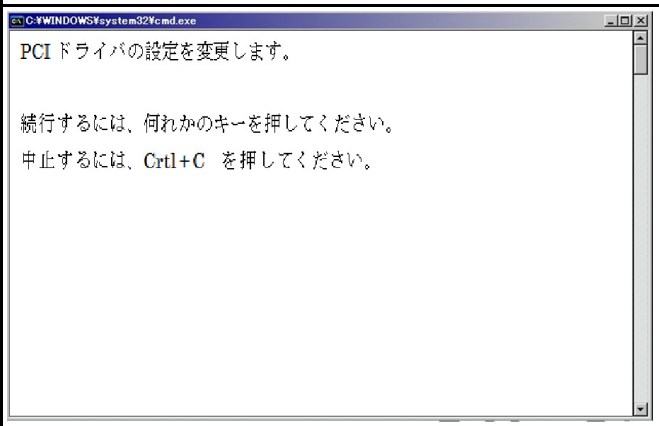
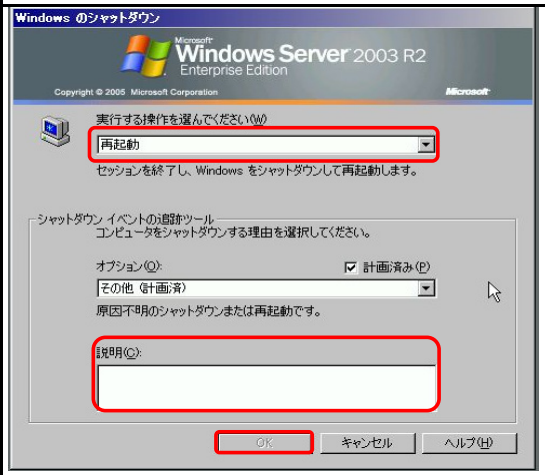
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 61 |  | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |
| 62 |  | ・「OK」をクリックします。<br>・ログイン完了後、スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 | ☐ |
| 63 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 64 |  | ・「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が出力されたら、「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |

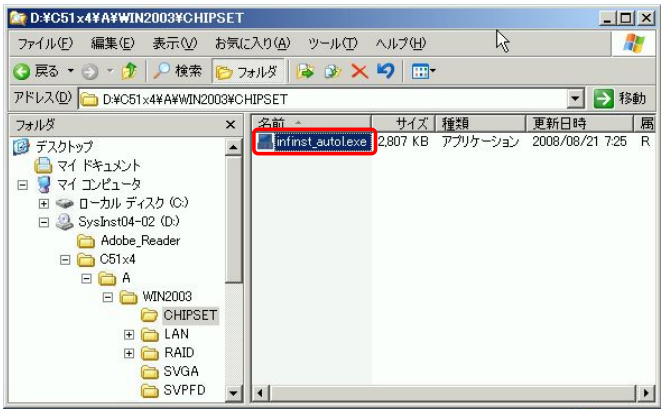
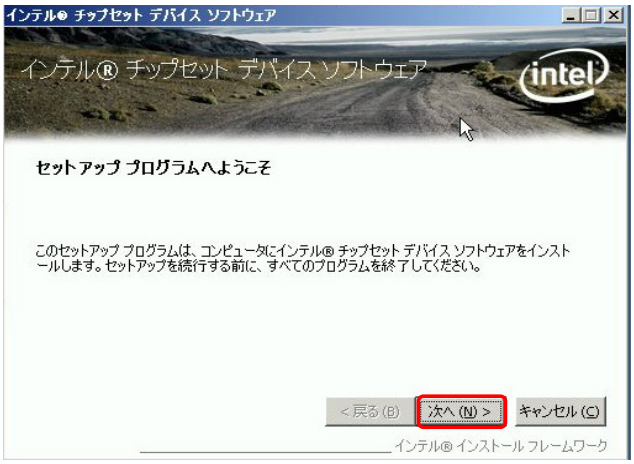
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 65 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 66 |  | ・タスクバーにある「構成マネージャ」をクリックします。 | □ |
| 67 |  | ■構成マネージャの停止<br>・「OK」をクリックします。 | □ |
| 68 |  | ・「終了」をクリックします。 | □ |

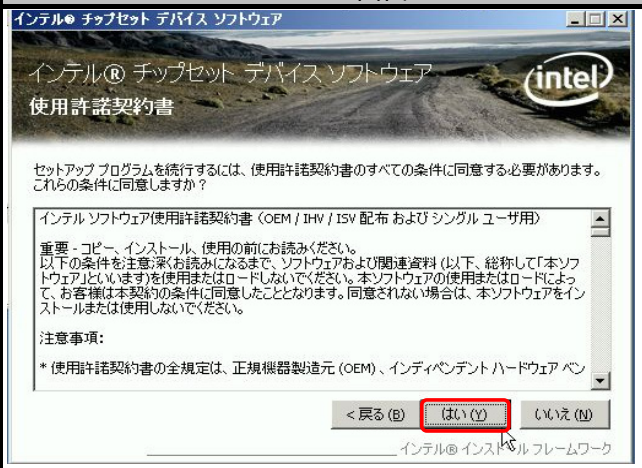
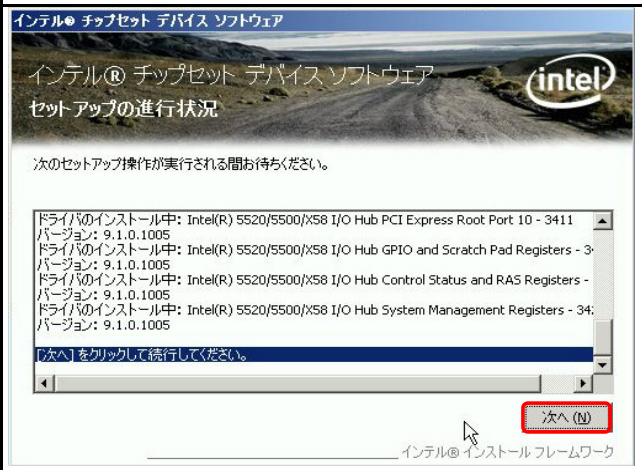
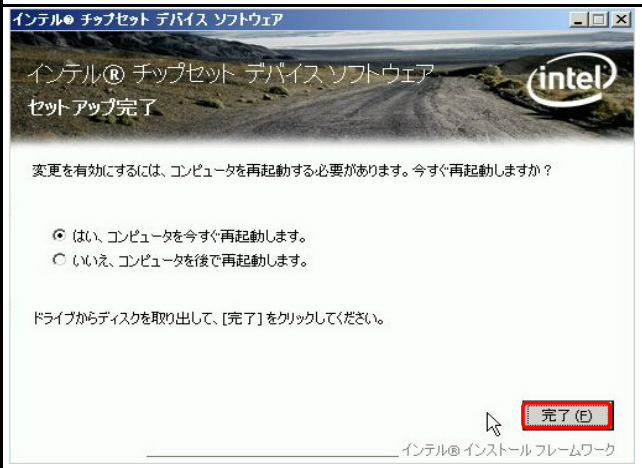
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 69 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 70 |  | ・「完了(F)」をクリックします。 | □ |
| 71 |  | ・「はい」をクリックします。 | □ |
| 72 |  | ・ウインドウ下部にある「ログオン時にこのページを表示しない(D)」をクリックします。<br>・表示画面を閉じます。 | □ |

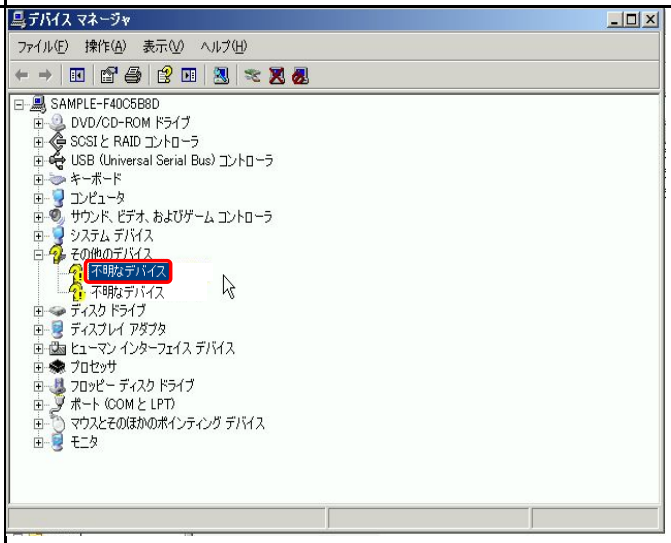
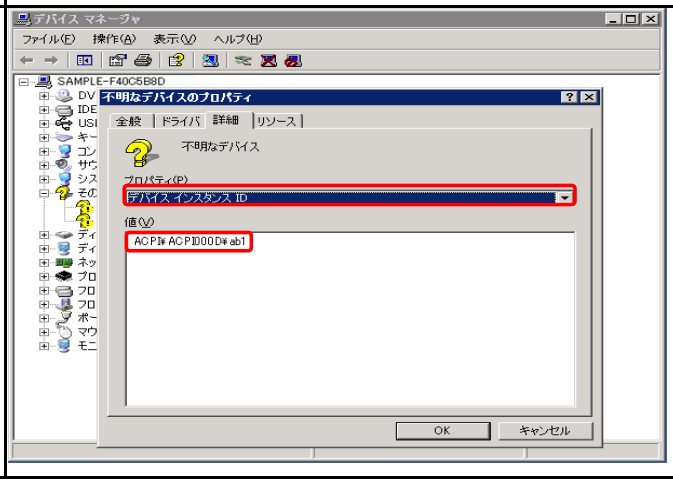
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 73 |  | ・「スタート」をクリックします。 | □ |
| 74 |  | ・「スタートアップ」-「構成マネージャ」-「削除」をクリックします。 | □ |
| 75 | | ・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「プロパティ」-「設定」で左記のように設定します<br>・「OK」をクリックします。<br>・メッセージ「この設定を保存しますか?」が出力します。<br>・「はい」をクリックします。 | □ |
| 76 |  | ※HFCToolsがインストールされていない場合は実施してください。<br>■HFCToolsのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003¥HFCTOOLS¥setup.exeを実行します。 | □ |

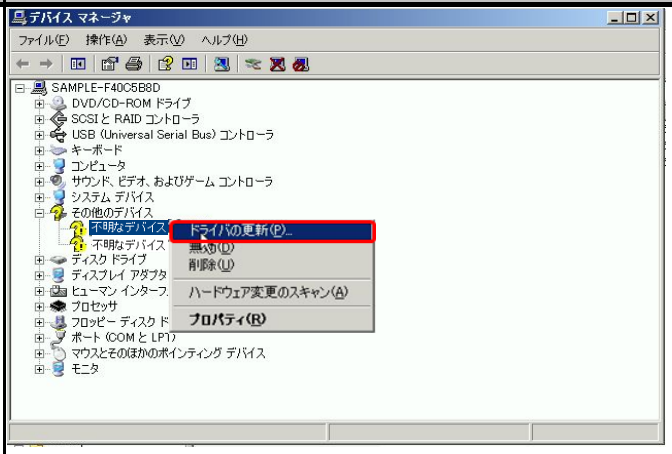
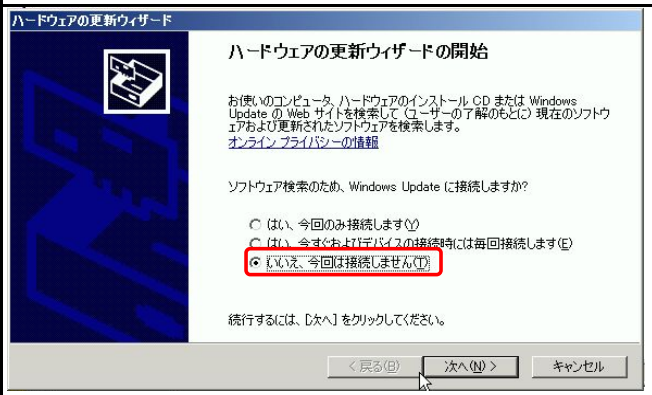
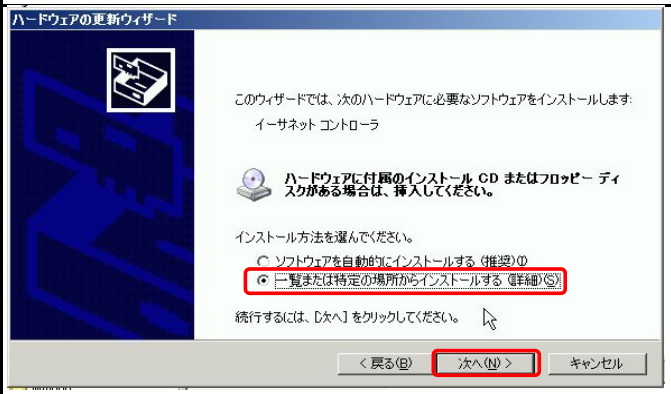
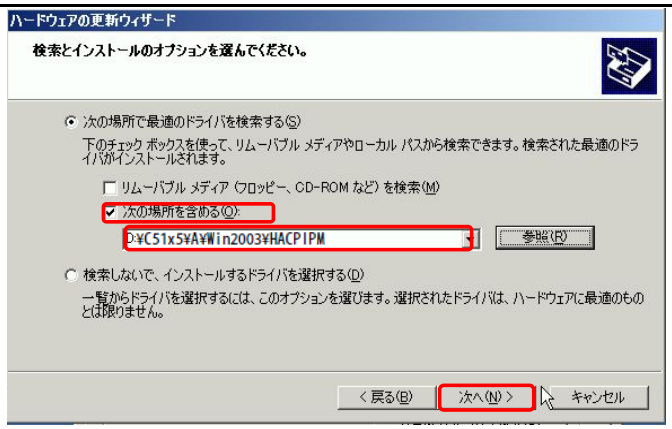
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 77 |  | ・「Next」をクリックします。 | □ |
| 78 |  | ・「Next」をクリックします。 | □ |
| 79 |  | ・「Finish」をクリックします。 | □ |
| 80 |  | ・D:¥UTILITY¥DUMP¥NMID.batを実行します。 | □ |

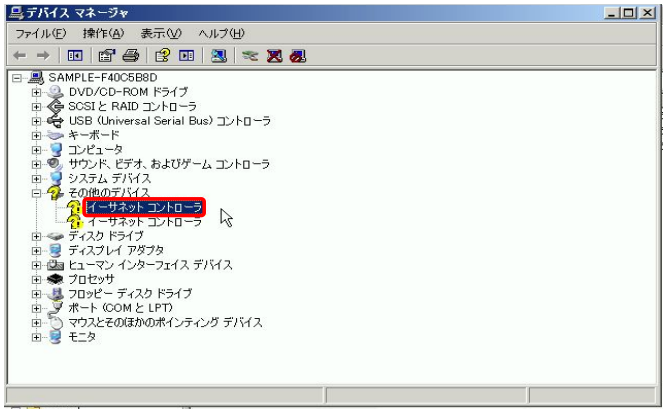
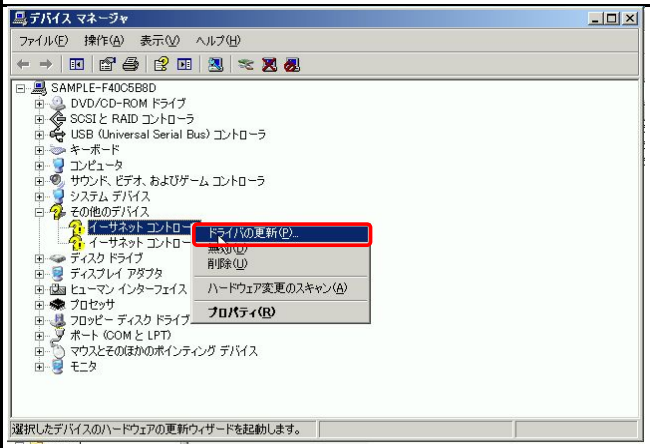
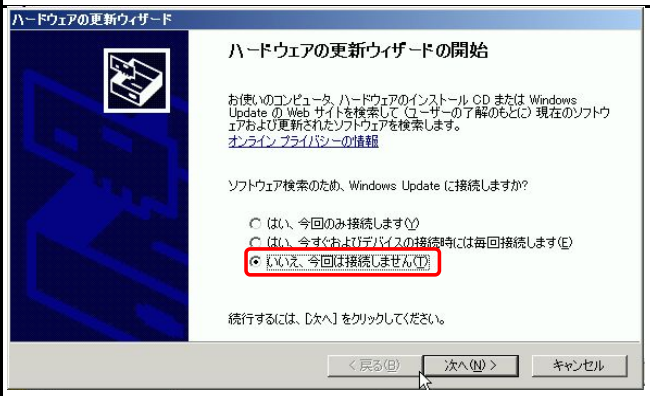
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 81 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 82 |  | ・D:¥UTILITY¥PCI¥avoidD3.batを実行します。 | □ |
| 83 |  | ・任意のキーを押します。 | □ |
| 84 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |

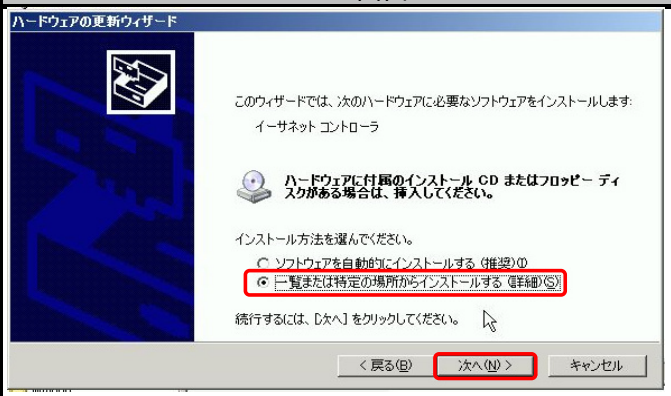
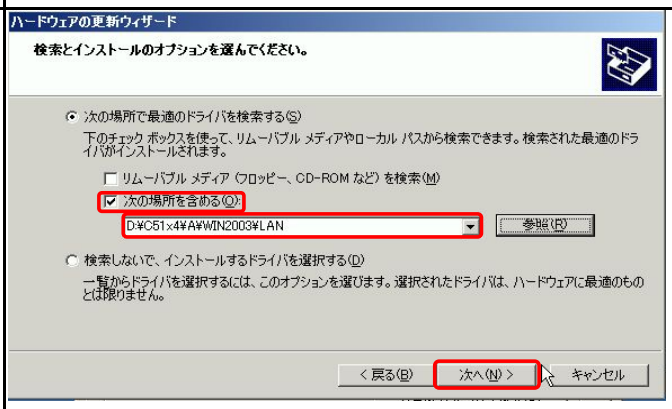
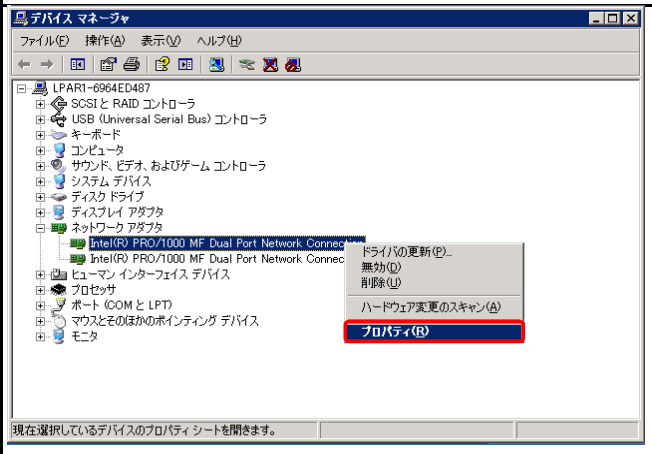
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 85 | | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 86 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 87 |  | ※チップセットドライバがインストールされていない場合は実施してください<br>■チップセットドライバのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>**P4モデルの場合**<br>・D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。<br>**P5モデルの場合**<br>・D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeを実行します。 | ☐ |
| 88 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

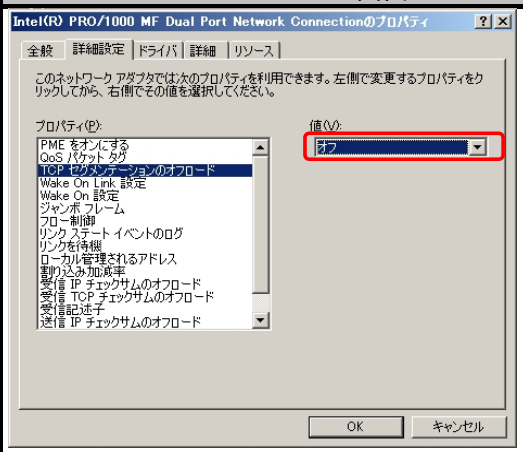
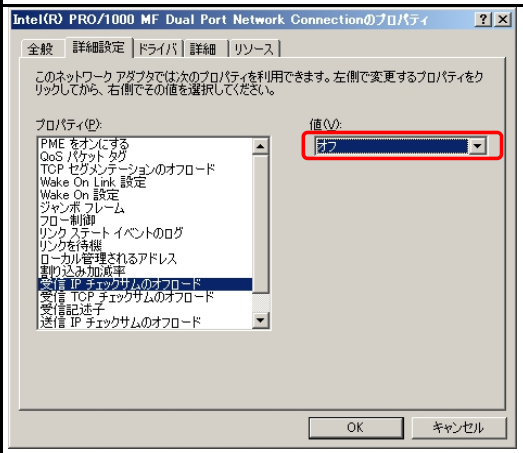
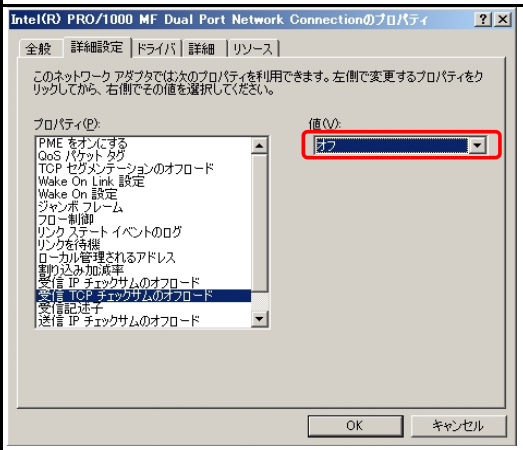
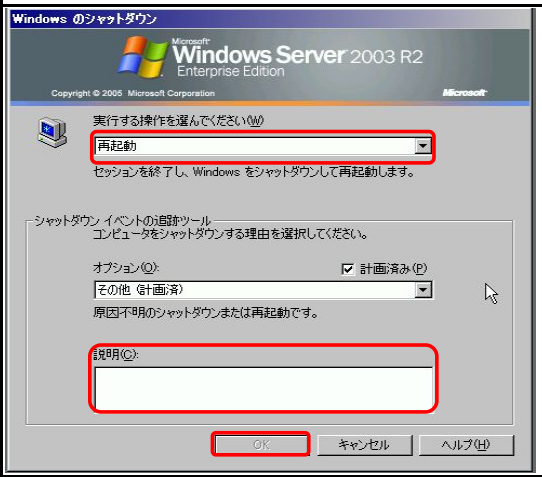
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 89 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 90 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 91 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 92 |  | ・「完了(F)」ボタンをクリックします。<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |

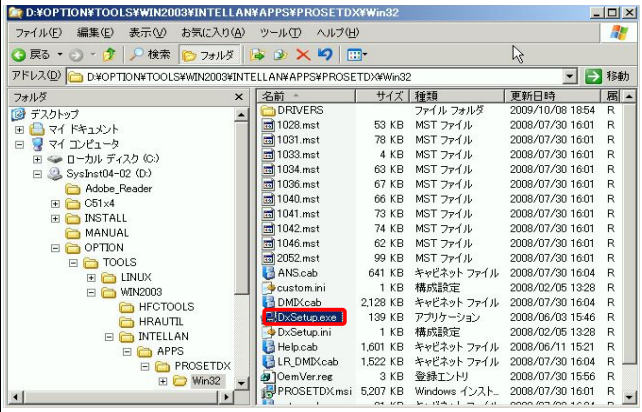
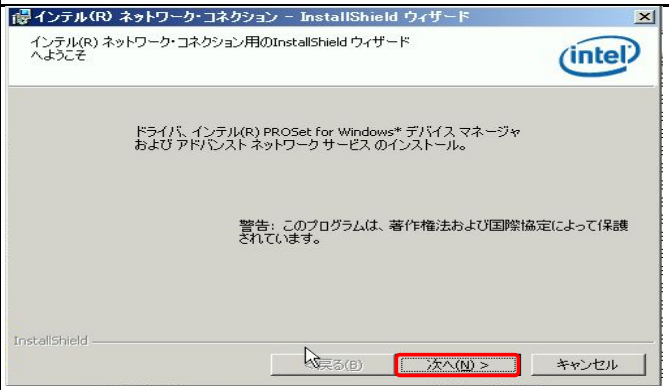
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 93 | | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 94 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 95 |  | P4モデルの場合は手順112へ進みます。<br>※LAN ドライバがインストールされていない場合は実施してください。<br>■LAN ドライバのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・「スタート」-「コントロールパネル」-「システム」をクリックします。<br>・「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。 | ☐ |
| 96 |  | ″？不明なデバイス″が表示されている場合は、その「プロパティ(R)」を開き「詳細」タブで″デバイス インスタンスID″ を確認します。<br><br>値が″ACPI¥ACPI000D¥xxx″(xxxは任意の英数字記号)であることを確認します。<br><br>上記以外の値であれば、手順112へ進みます。 | ☐ |

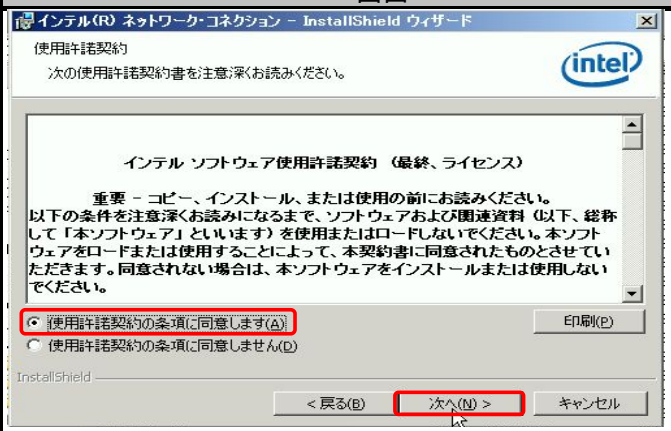
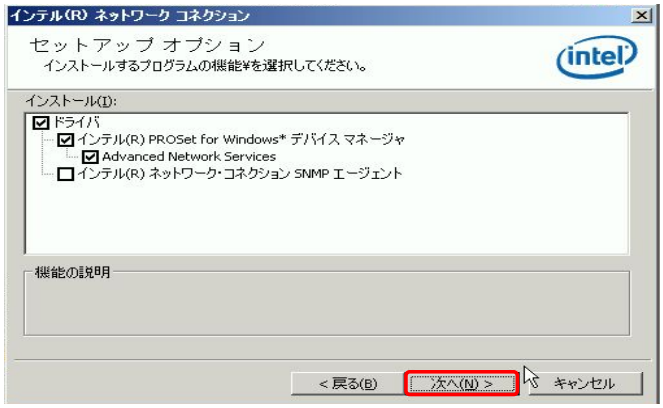
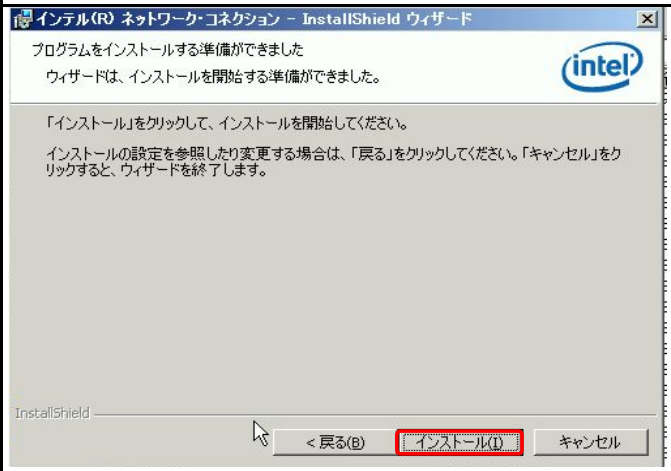
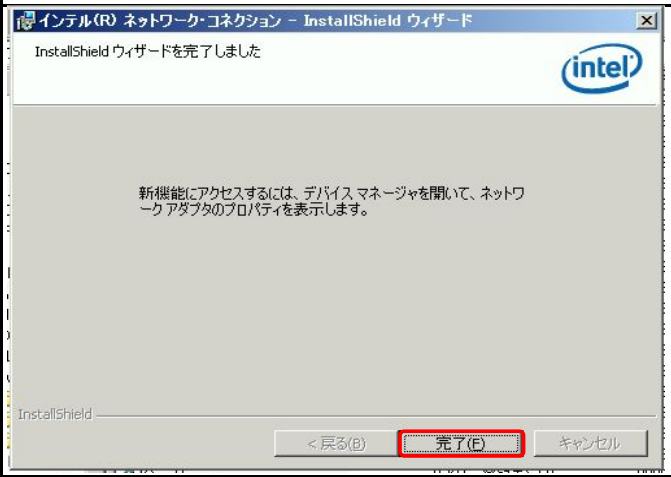
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 97 |  | ・手順106で選択した”？不明なデバイス”をクリックし、右クリックで「ドライバの更新(P)」をクリックします。 | □ |
| 98 |  | ・「いいえ、今回は接続しません(T)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 99 |  | ・「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)(S)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 100 |  | ・「次の場所を含める(O):」をクリックします。<br>・D:¥C51x5¥A¥Win2003¥HACPIPMをクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。<br>※「 セキュリティの警告 – ドライバのインストール」のダイアログが表示された場合は、「 はい」 ボタンをクリックしてインストールを進めます。 | □ |

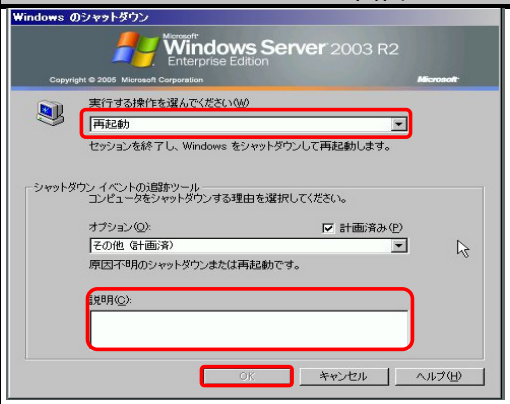
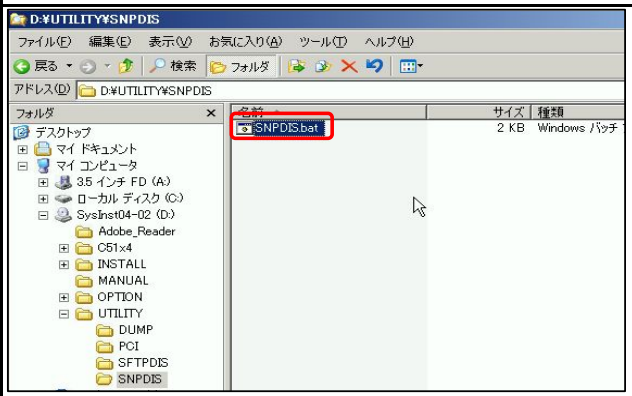
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 101 | | ・「完了」をクリックします。<br>※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、手順105～111の手順を繰り返します。<br><br>※"？不明なデバイス"や"？その他のデバイス"となっているネットワークアダプタが残っている場合は、手順105に戻ります。 | □ |
| 102 |  | ※LAN ドライバがインストールされていない場合は実施してください<br>■LAN ドライバのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「スタート」-「コントロールパネル」-「システム」をクリックします。<br>・「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。 | □ |
| 103 |  | ・「イーサネットコントローラ」をクリックし、右クリックで「ドライバの更新(P)」をクリックします。 | □ |
| 104 |  | ・「いいえ、今回は接続しません(T)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

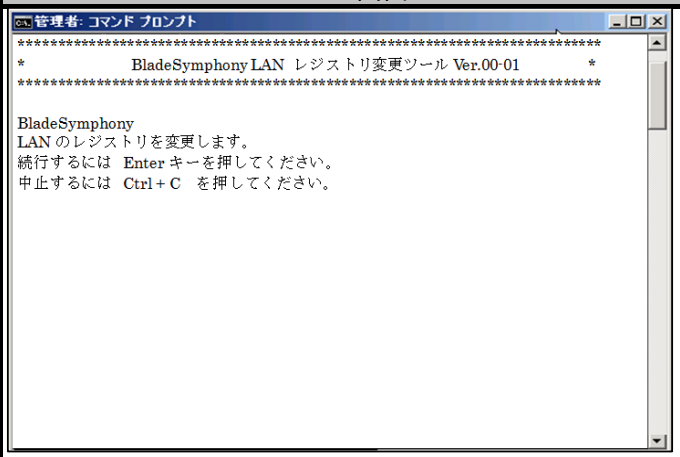
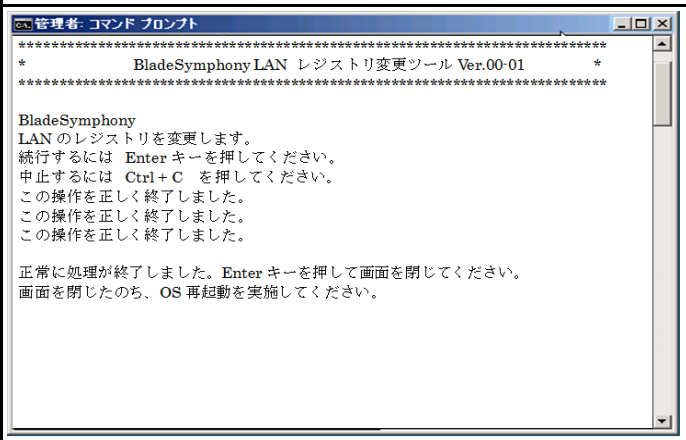
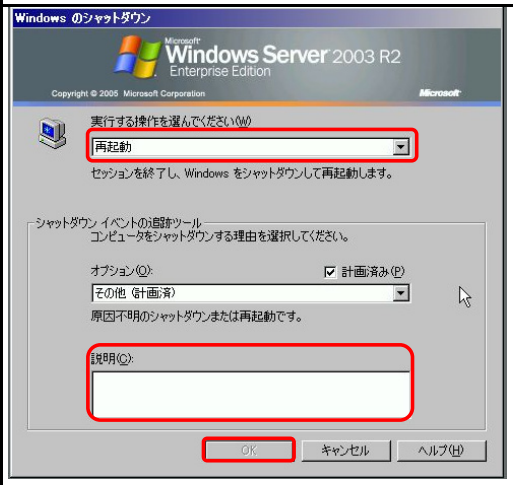
<table>
<tr><th>No.</th><th>画面</th><th>操作</th><th>チェック</th></tr>
<tr><td>105</td><td> 
</td><td>・「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)(S)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>106</td><td> 
</td><td>・「次の場所を含める(O)」をクリックします。<br><br>以下のディレクトリをクリックします。<br><br><table><tr><th>ブレードモデル名</th><th>CPU種</th><th>選択するディレクトリ</th></tr><tr><td rowspan="2">P4モデル</td><td>x86</td><td>D:¥C51x4¥A¥WIN2003¥LAN</td></tr><tr><td>x64</td><td>D:¥C51x4¥A¥WIN2003x64¥LAN</td></tr><tr><td rowspan="2">P5モデル</td><td>x86</td><td>D:¥C51x5¥A¥WIN2003¥LAN</td></tr><tr><td>x64</td><td>D:¥C51x5¥A¥WIN2003x64¥LAN</td></tr></table><br>・「次へ(N)」をクリックします。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>107</td><td>
</td><td>・「完了」をクリックします。<br><br>※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、手順112～117を繰り返します。<br><br>※”？不明なデバイス”や”？その他のデバイス”となっているネットワークアダプタが残っている場合は、手順105に戻ります。</td><td>□</td></tr>
<tr><td>108</td><td> 
</td><td>■TCP/IPオフロードオプションの設定<br>・「ネットワークアダプタ」内の項目をクリックし、右クリックで「プロパティ(R)」をクリックします。</td><td>□</td></tr>
</table>

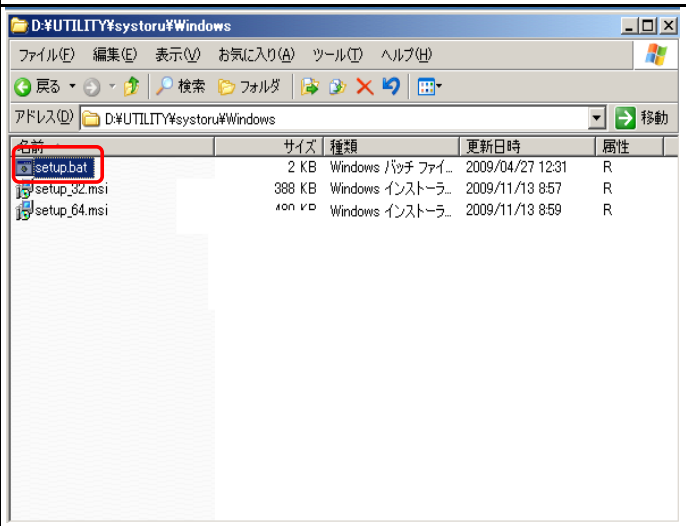
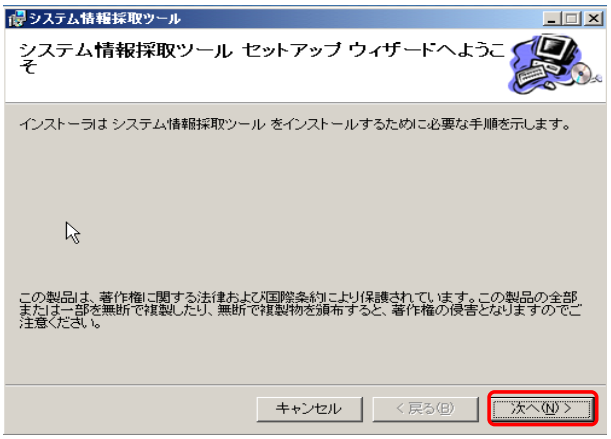
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 109 |  | ・「詳細設定」タブをクリックします。<br>・「TCPセグメンテーションのオフロード」を「オフ」に設定します。 | □ |
| 110 |  | ・「受信 IPチェックサムのオフロード」を「オフ」に設定します。 | □ |
| 111 |  | ・「受信 TCPチェックサムのオフロード」を「オフ」に設定します。<br><br>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。 | □ |
| 112 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |

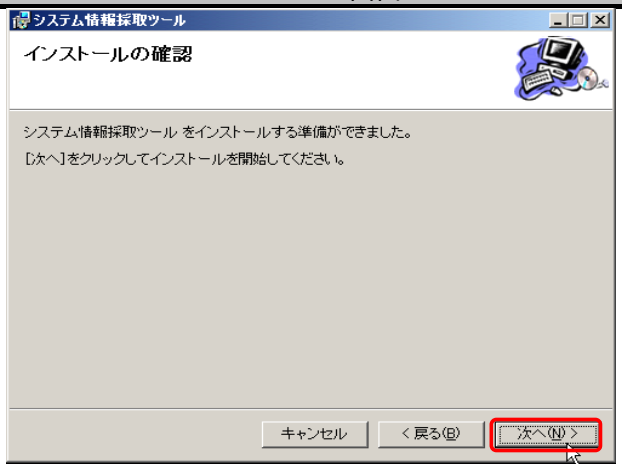
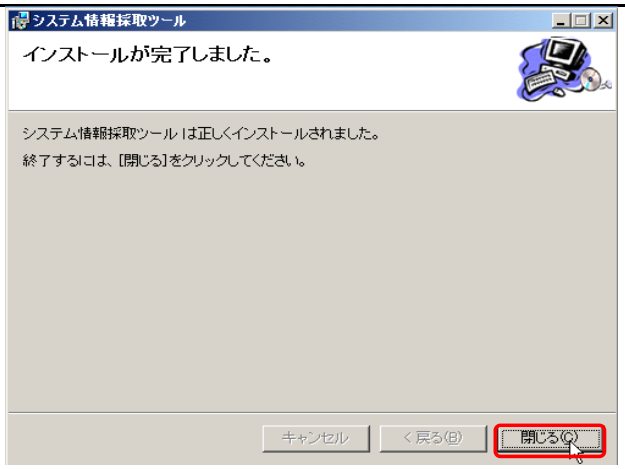
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 113 | | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 114 | | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 115 |  | ※Intel(R) PROSetがインストールされていない場合は実施してください<br>■Intel(R) PROSetのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※x86の場合は、<br>・D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Win32¥DxSetup.exe を実行します。<br>※x64の場合は、<br>・D:¥OPTION¥TOOLS¥WIN2003x64¥INTELLAN¥APPS¥PROSETDX¥Winx64¥DxSetup.exe を実行します。 | □ |
| 116 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 117 |  | ・「使用許諾契約の条項に同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 118 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 119 |  | ・「インストール(I)」をクリックします。 | ☐ |
| 120 |  | ・「完了(F)」をクリックします。 | ☐ |

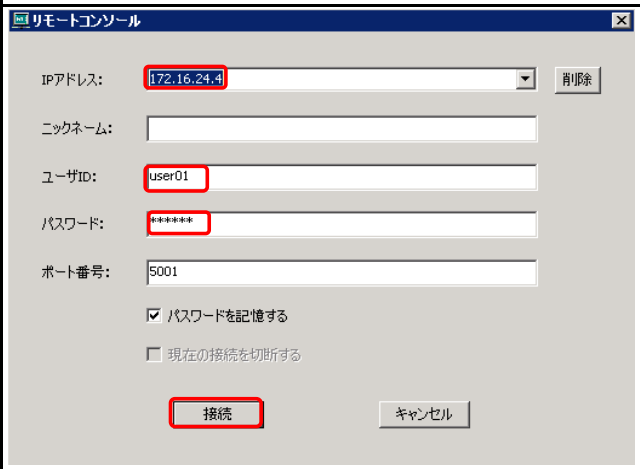
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 121 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 122 | | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 123 | | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 124 |  | ■SNP無効化<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・D:¥UTILITY¥SNPDIS¥SNPDIS.batを実行します。 | ☐ |

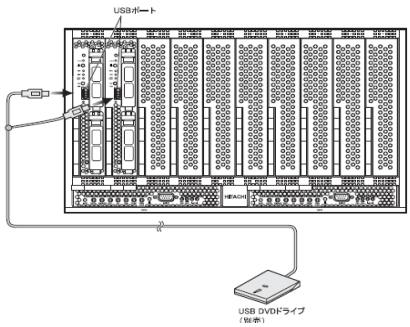
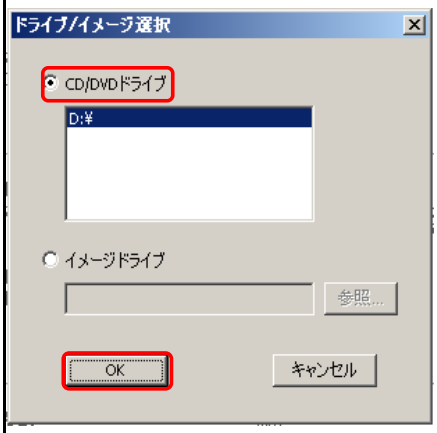
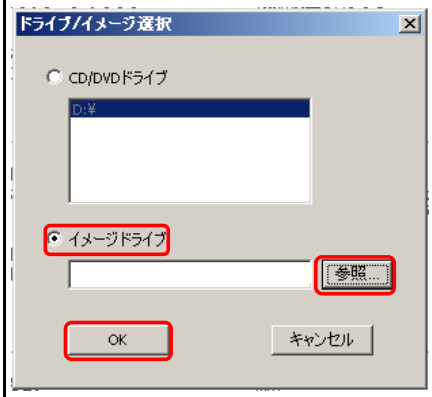
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 125 |  | ・任意のキーを押します。 | ☐ |
| 126 |  | ・任意のキーを押します。 | ☐ |
| 127 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 128 | **各ドライバのバージョン情報確認** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>" 導入後のサポート" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br><br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | ☐ |

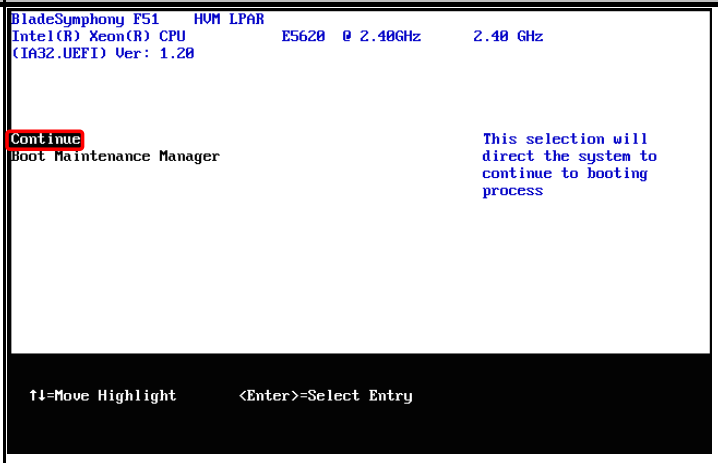
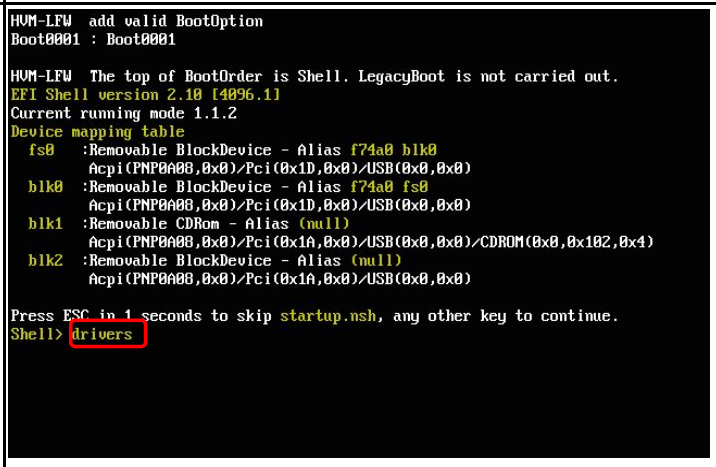
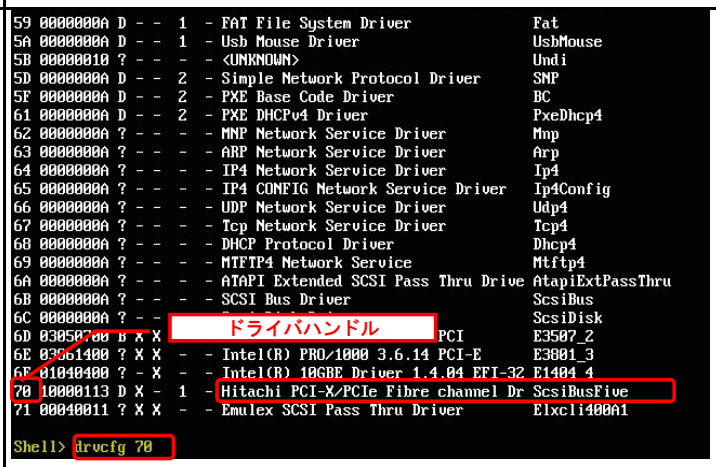
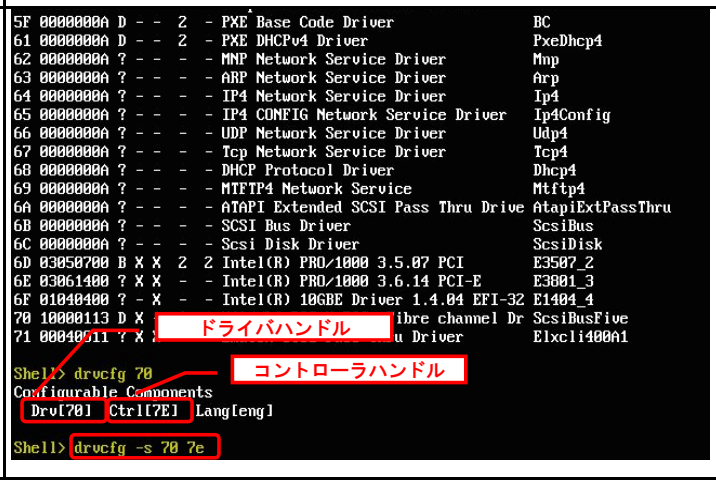
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 129 | **インストールしたOSの修正モジュール適用** | ■OS修正モジュールの適用<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" -" OS修正モジュール"を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | ☐ |
| 130 | **JP1/ServerConductor/Agentとハードウェア保守エージェントのインストール** | ■JP1/ServerConductor/Agentとハードウェア保守エージェントのインストール<br><br>各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS320セットアップガイド　Windows編の「付属ソフトウェアの使いかた」をご参照ください。<br><br>※JP1/ServerConductor/Agentはハードウェア保守エージェントをインストールする前にインストールしてください。 | ☐ |
| 131 |  | **P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>■システム情報採取ツールのインストール<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>D:¥UTILITY¥systoru¥Windows¥setup.batを実行しま | ☐ |
| 132 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

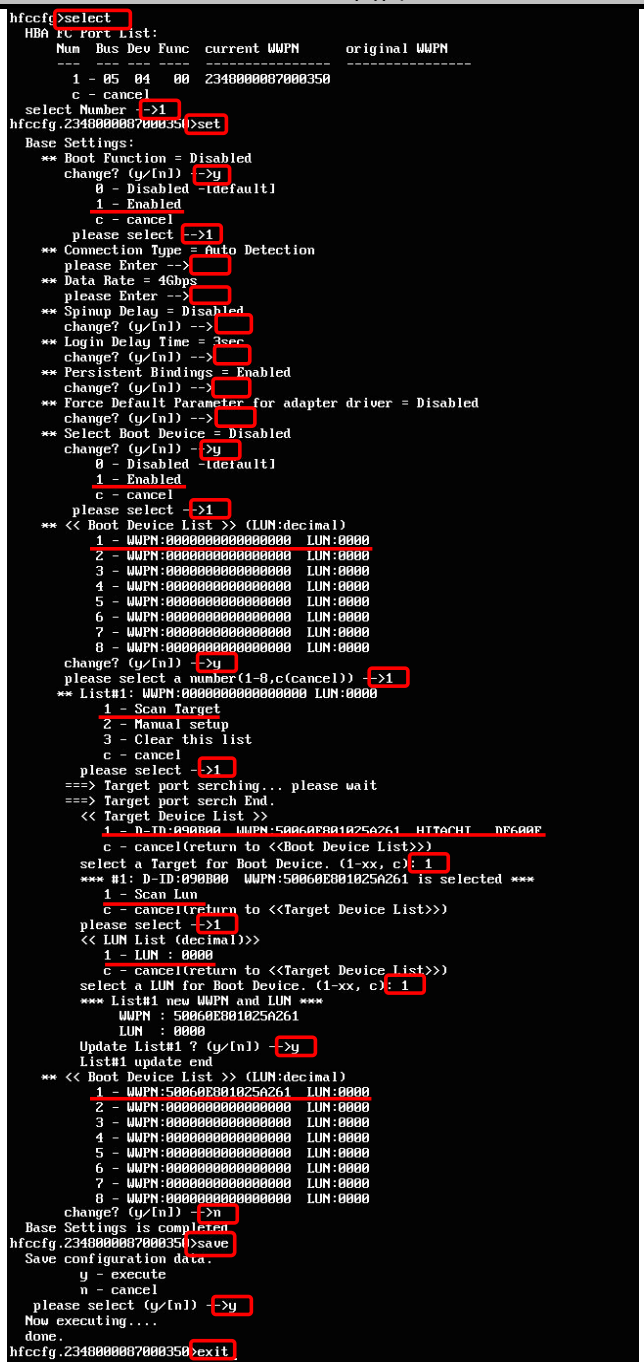
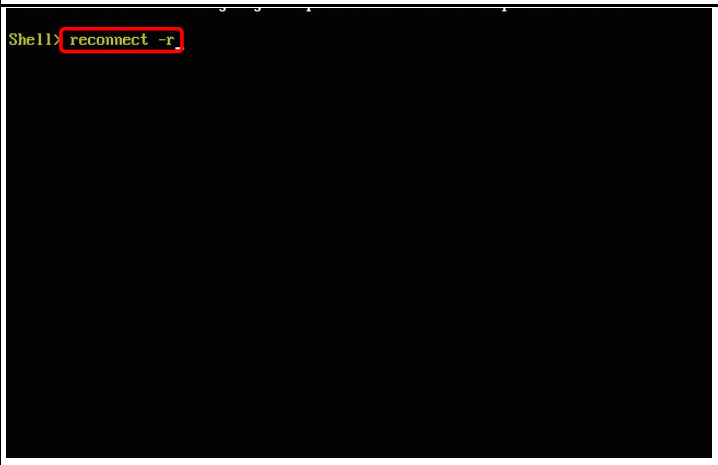
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 133 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 134 |  | ・「閉じる(C)」をクリックします。<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 135 | | ■リモートコンソールの終了<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「リモート終了」を実行します。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

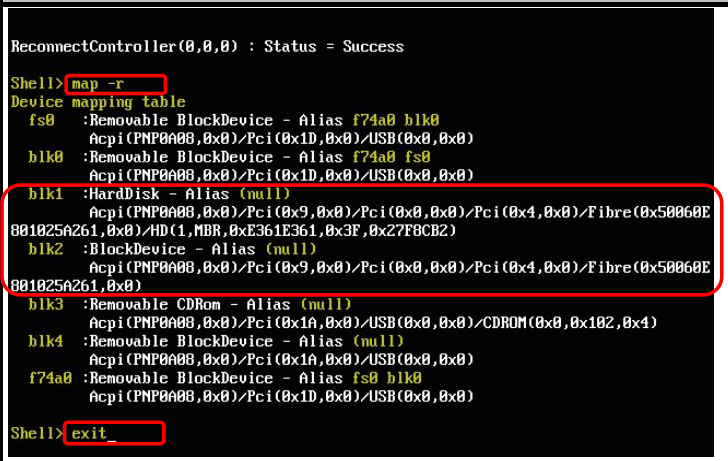
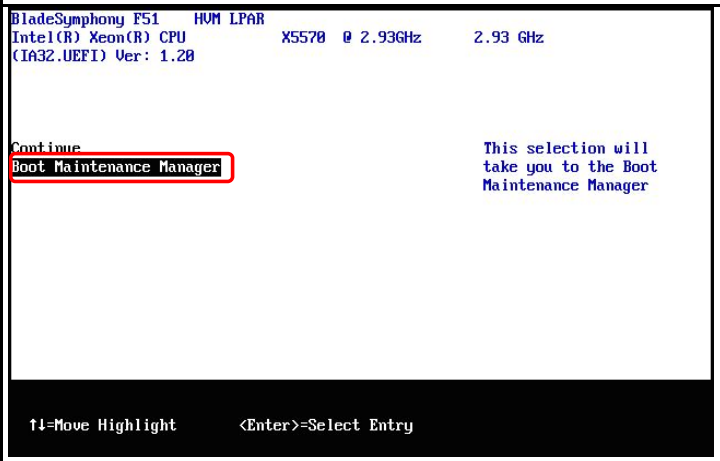
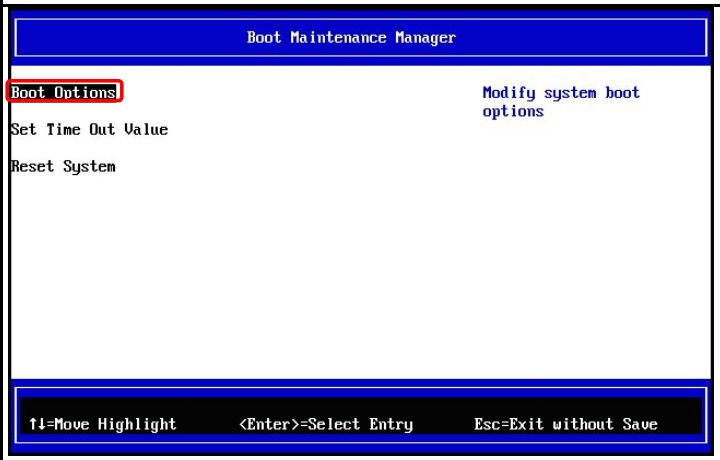
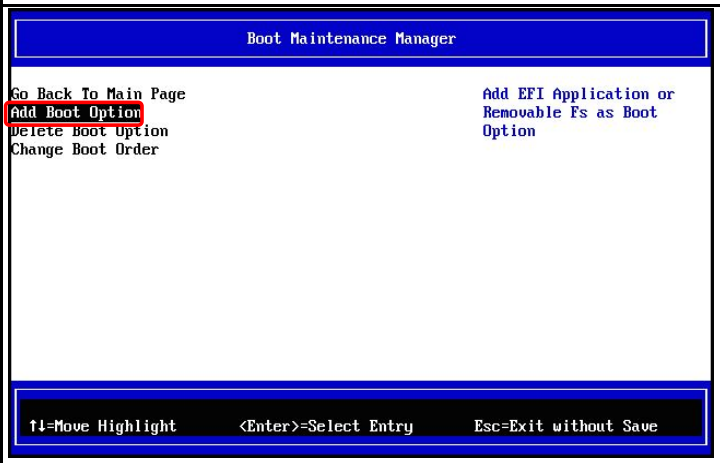
## １．５．３　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)
## セットアップCDが32ビットの場合

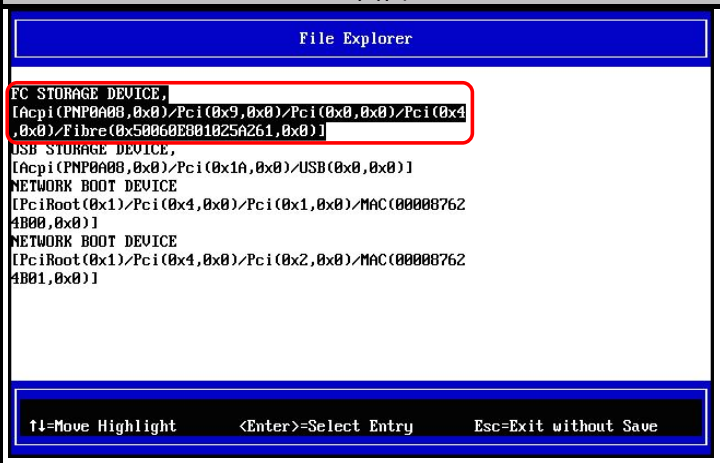
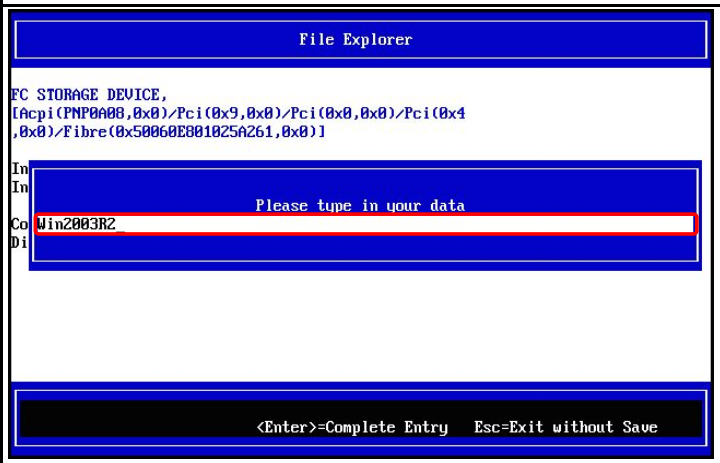
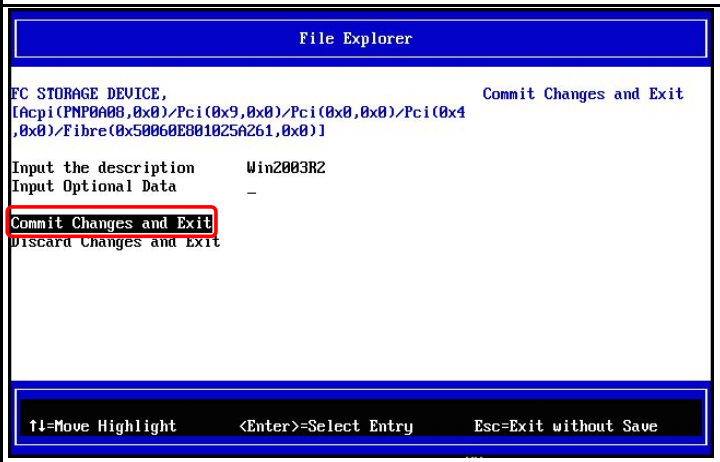
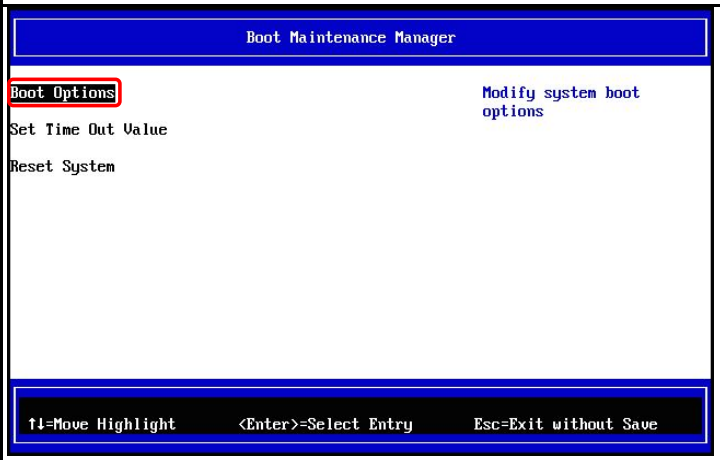
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※SystemInstallerを使用したインストールはHVMバージョン：17-70以降でないとインストールを正常に行うことができません。<br><br>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |

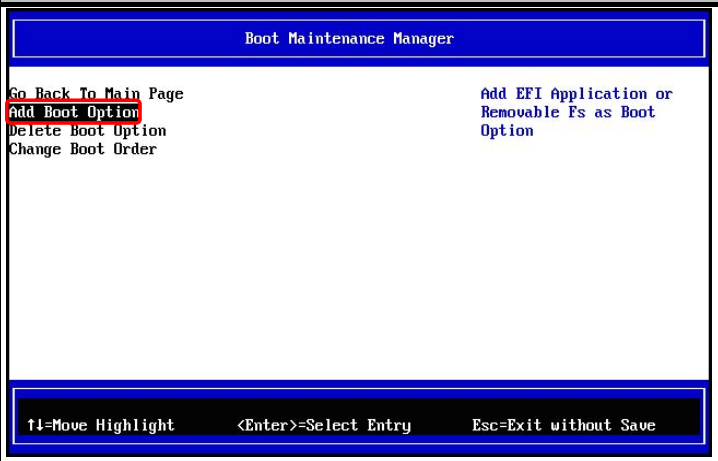
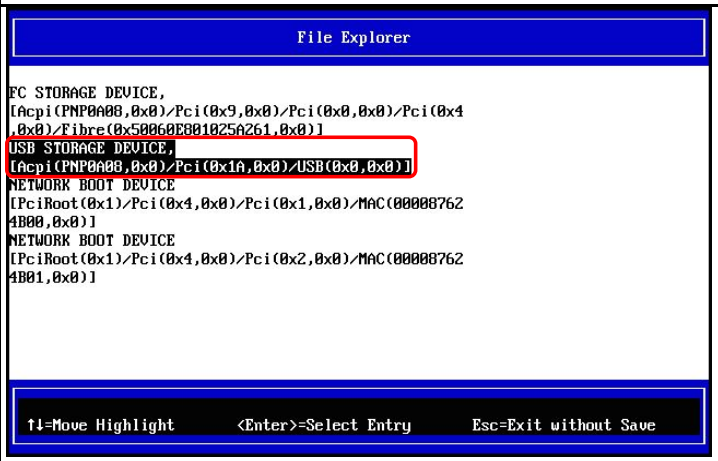
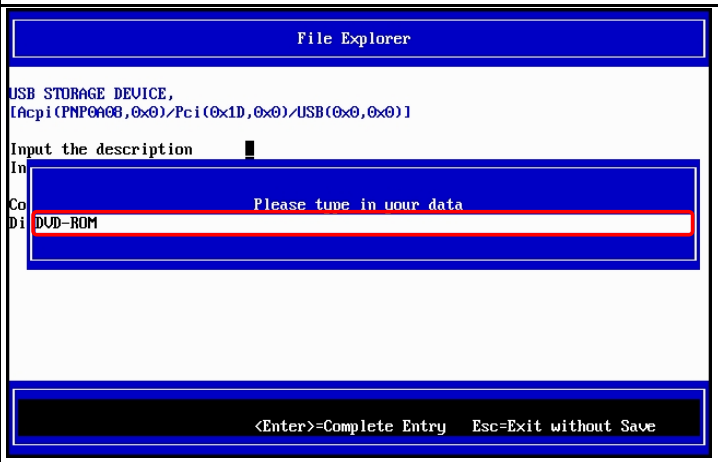
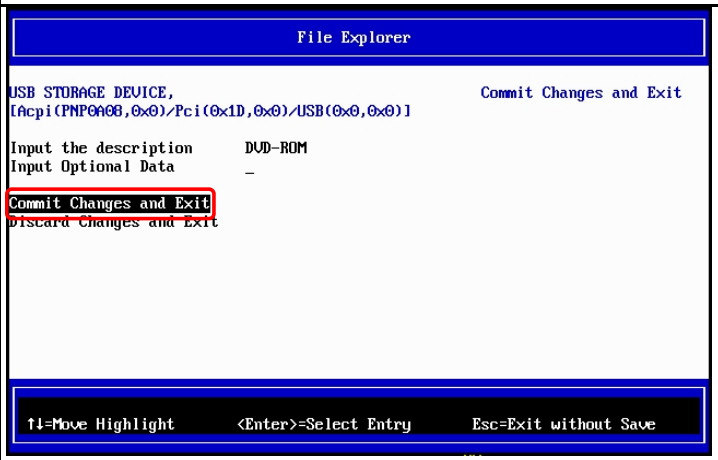
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | 項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい | | |
| 3-1 | 【フロント USBを使用する場合】<br>  | ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「SystemInstaller CD」を入れます。<br><br>※例として、二又に分かれたUSB DVDドライブを使用しています。二又ケーブルの場合はDVDドライブの電源用プラグをサーバブレードに挿してください。 | □ |
| 3-2 | 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br> <br>  <br> | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「SystemInstaller CD」を入れます。 | □ |
| 3-3 | 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br> <br>  <br> | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | □ |

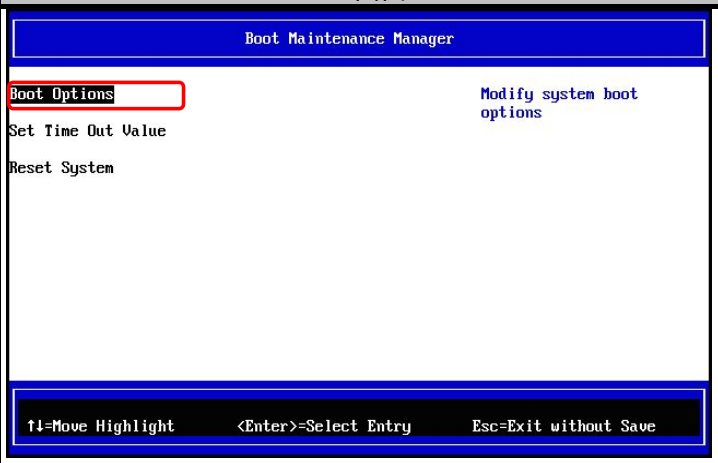
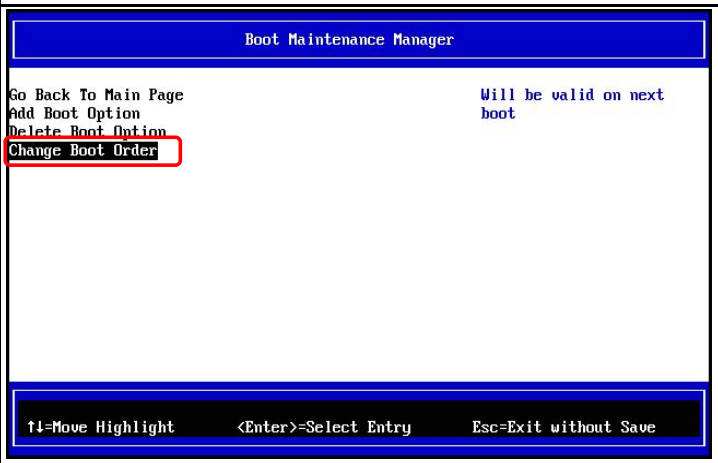
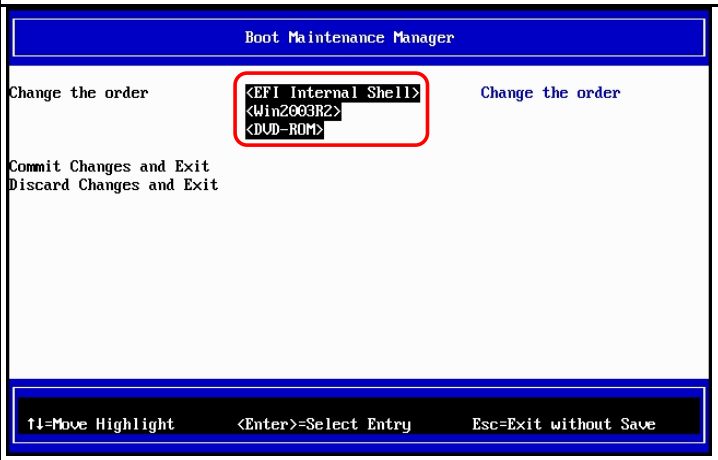
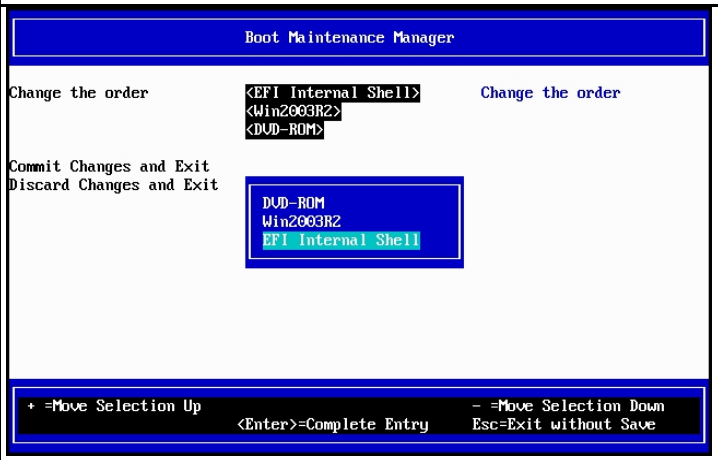
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■共有FCの設定<br>・「Continue」を選択します。 | □ |
| 5 |  | ・「drivers」を入力します。 | □ |
| 6 |  | ・「drvcfg「ドライバハンドル」」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ・「drvcfg -s「ドライバハンドル」「コントローラハンドル」」を入力します。 | □ |

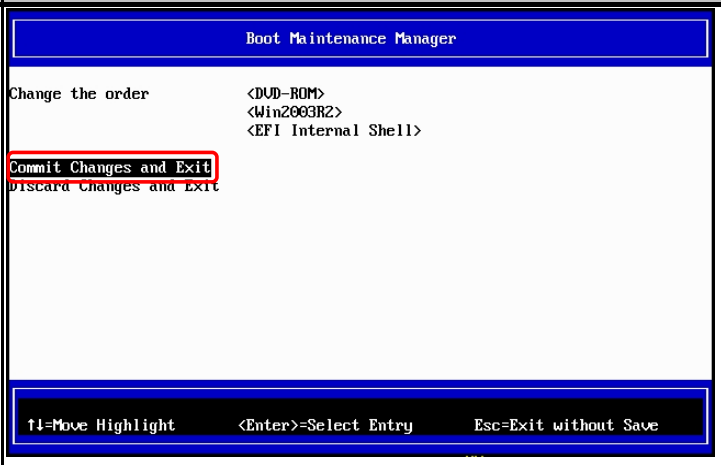
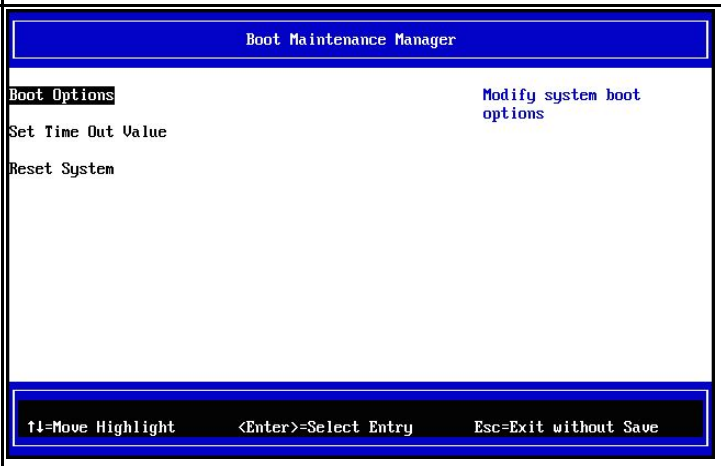
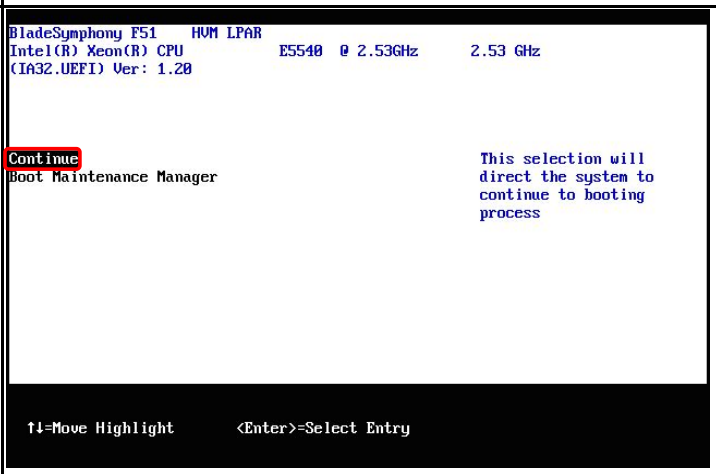
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・「select」を入力します。<br>・左記のように入力します。<br>・「exit」を入力します。<br><br>※設定を行ってもで「Boot Device List」項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。 | □ |
| 9 |  | ・「reconnect -r」を入力します。 | □ |

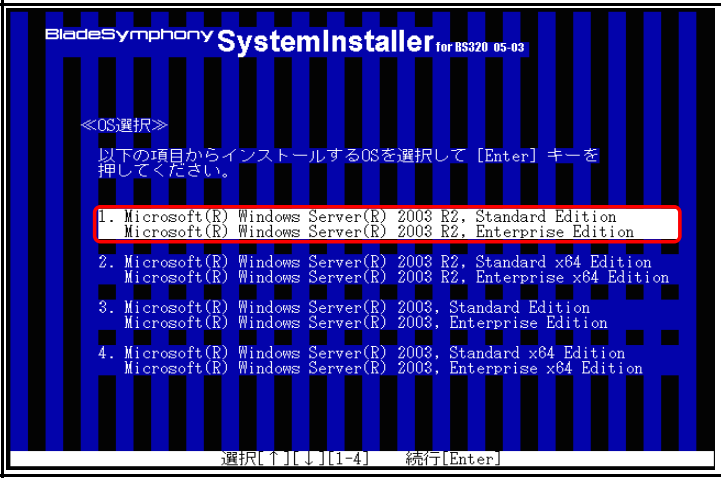
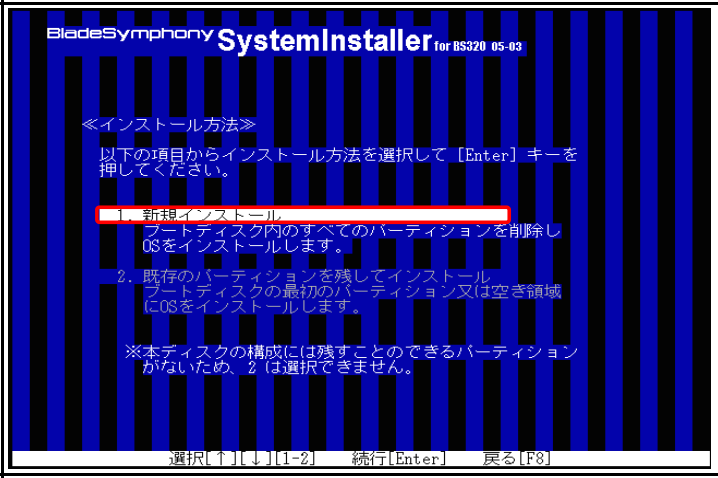
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ・「map -r」を入力します。<br>・FCデバイスが認識されていることを確認します。<br>・「exit」を入力します。 | □ |
| 11 |  | ■ブートオーダの設定<br>・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | □ |
| 12 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | □ |
| 13 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | □ |

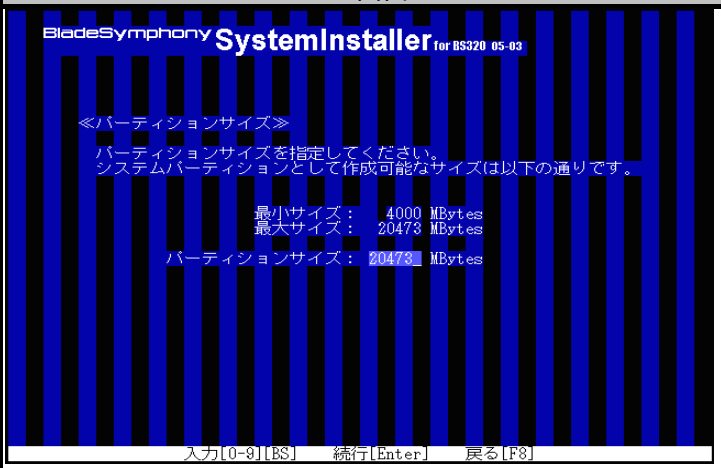
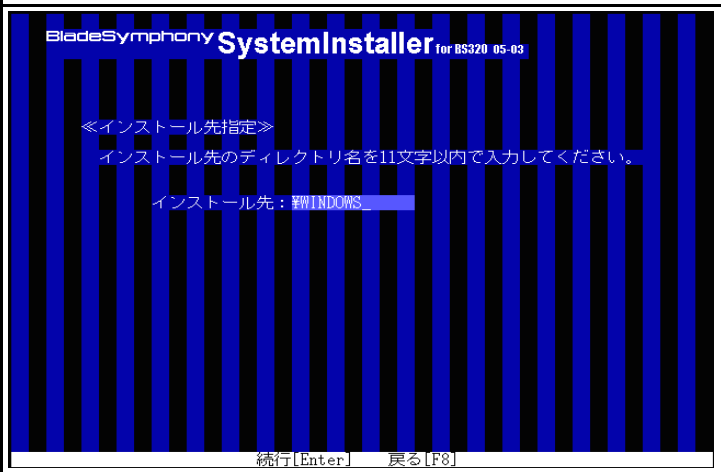
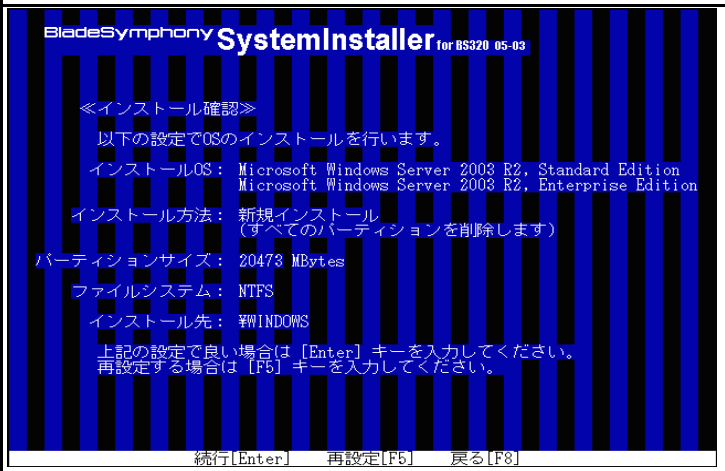
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 14 |  | ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 15 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「Win2003R2」と入力しています。 | ☐ |
| 16 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 17 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |

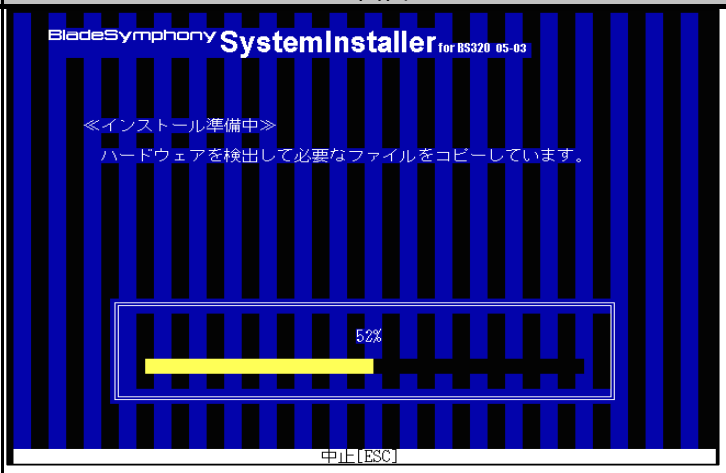
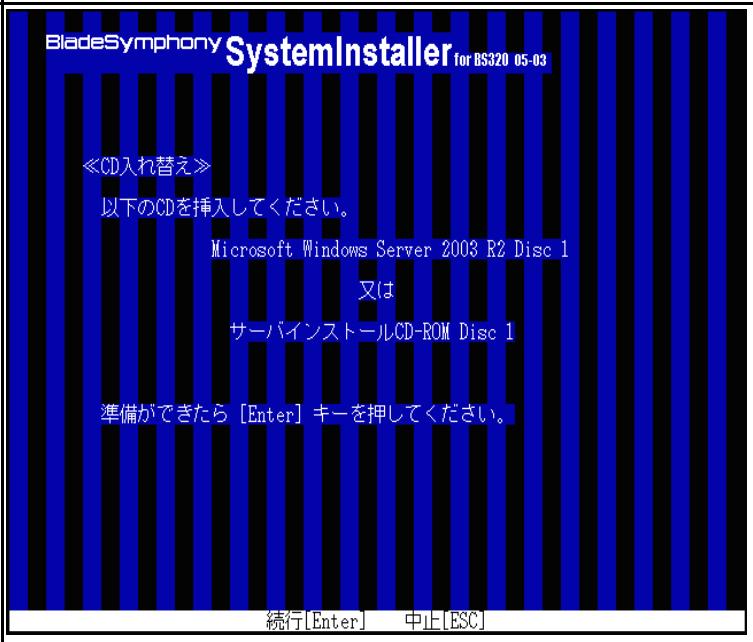
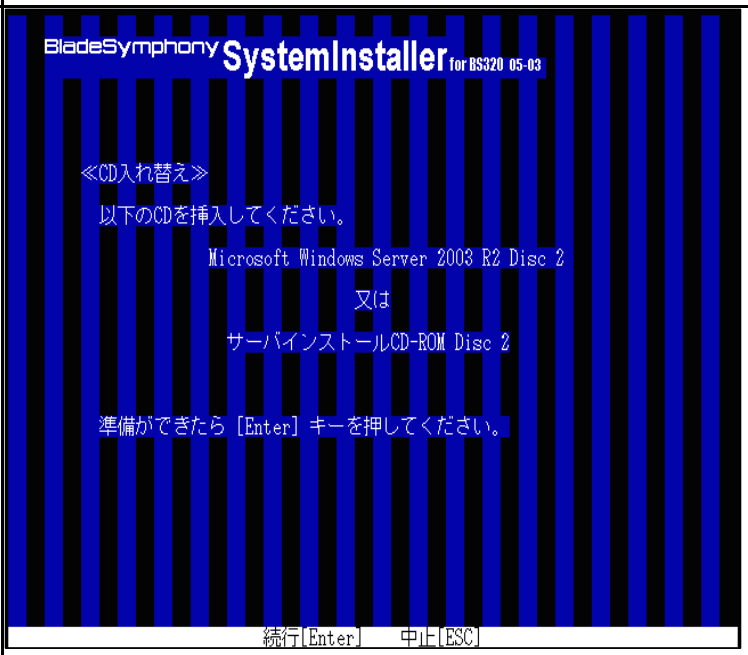
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 18 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 19 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 20 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |
| 21 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

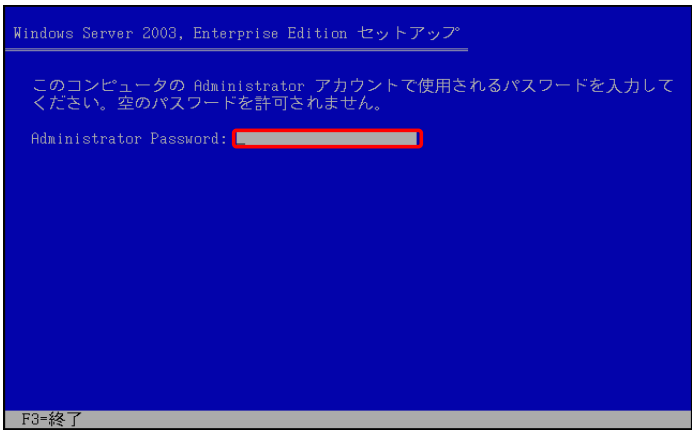
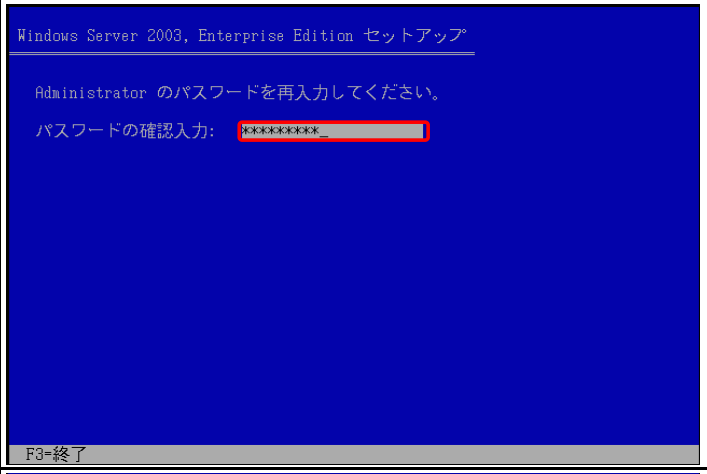
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 22 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 23 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 24 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 25 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2003R2<br>EFI Internal Shell | ☐ |

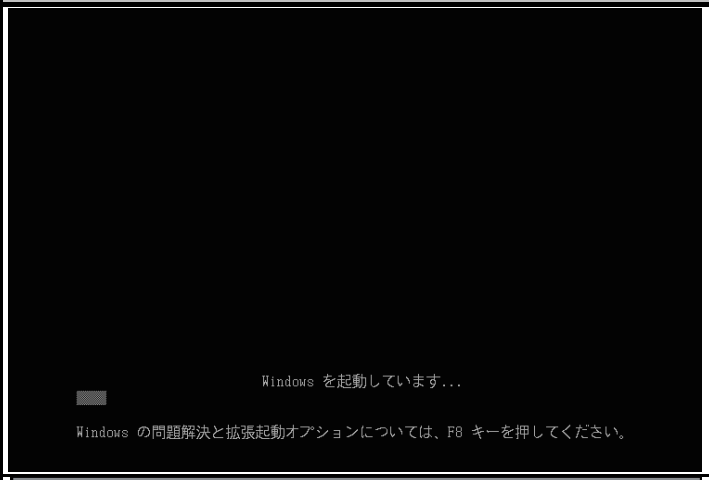
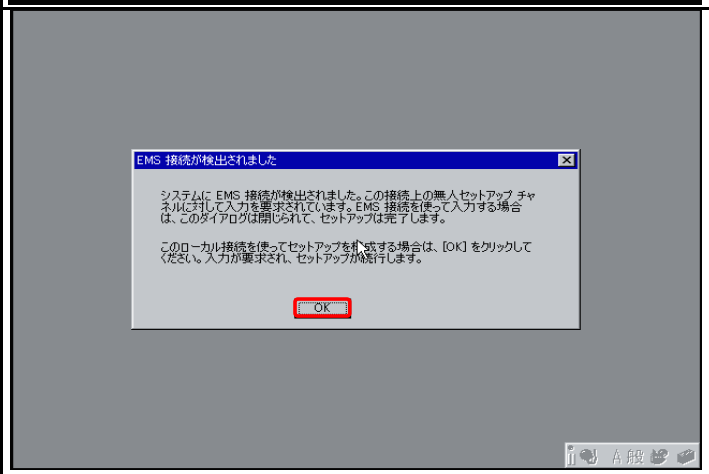
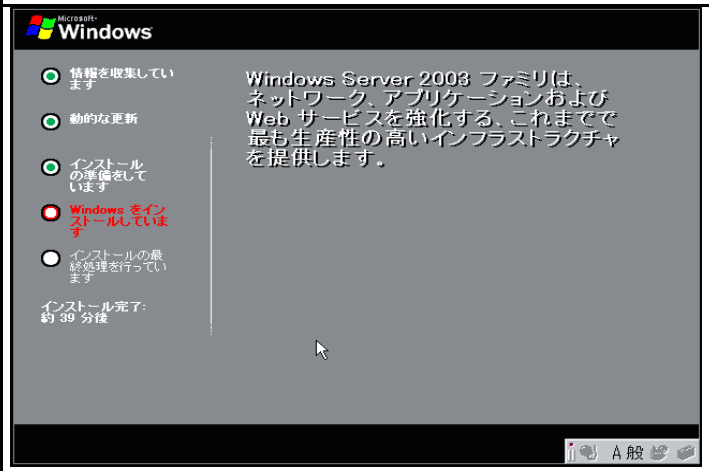
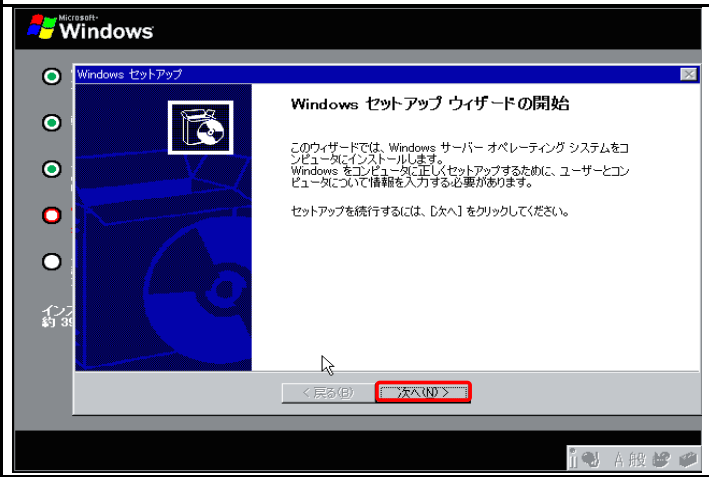
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 26 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | □ |
| 27 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 28 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 29 | | ■OSのインストール<br>・「Start booting from CD...」が表示されてから、数秒間待ちます。<br><br>※既にOSがインストール済みのLUにインストールする場合ここで「Enter」キーを押します。<br><br>※表示されない場合がありますが、インストールに影響はありません。 | □ |

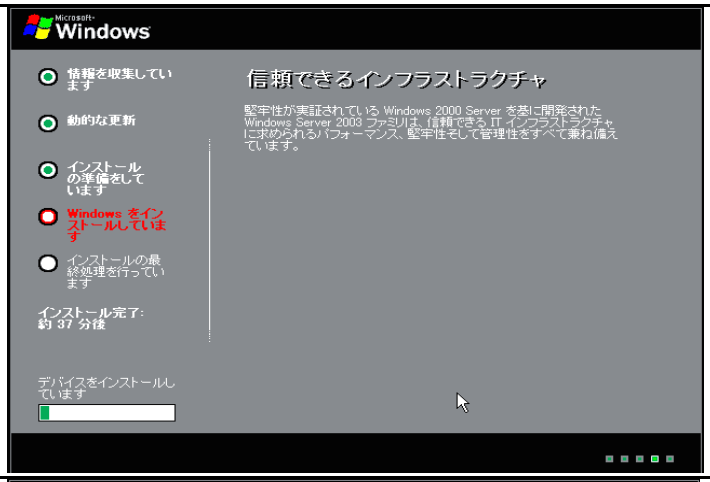
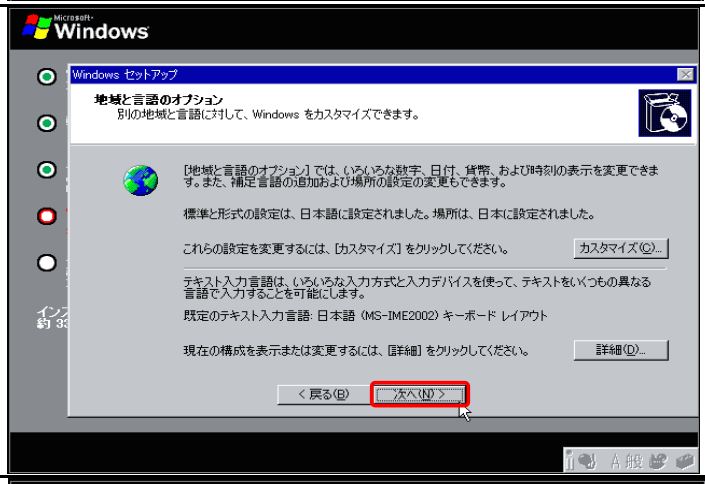
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 30 | | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 31 |  | ・インストールするOSを選択します。<br><br>※左記画面の場合は、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Standard Edition<br>Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Enterprise Edition」<br>を選択しています。 | □ |
| 32 |  | ・「新規インストール」を選択します。 | □ |
| 33 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

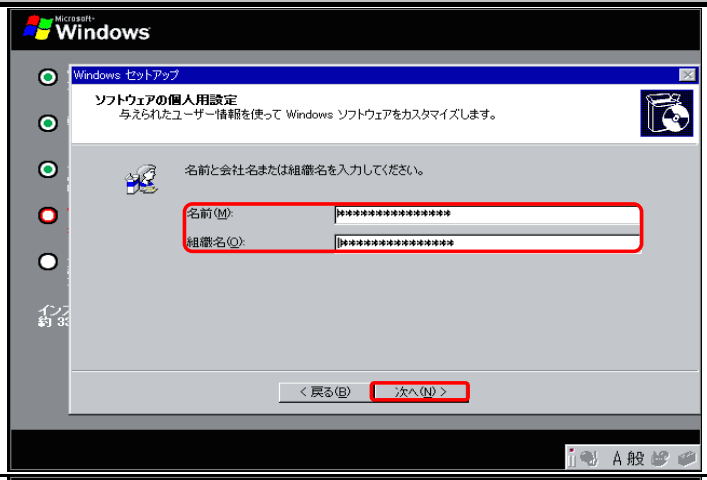
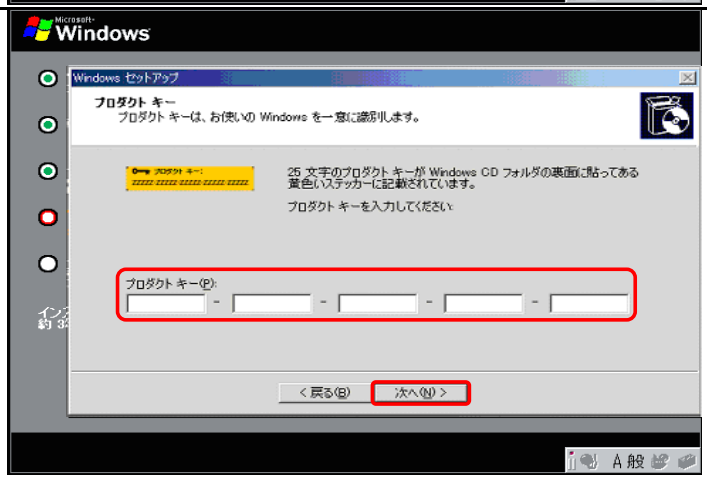
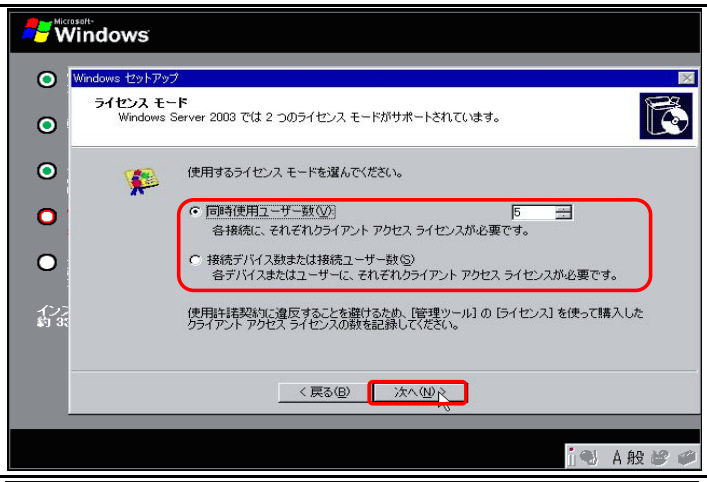
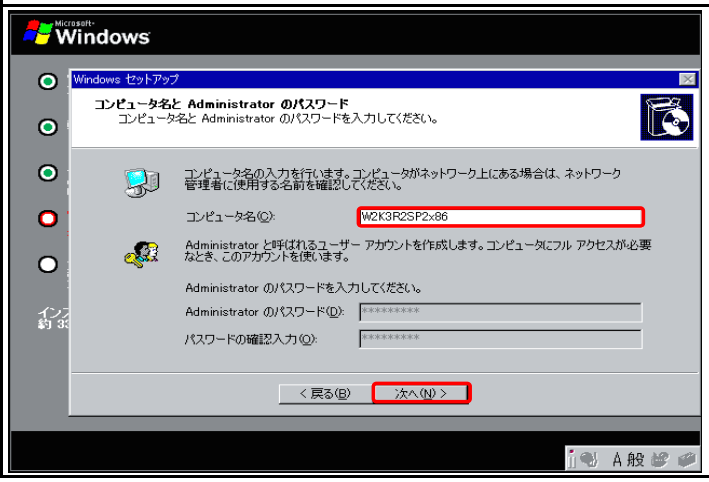
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 34 |  | ・「パーティションサイズ」を入力します。 | □ |
| 35 |  | ・「Enter」キーを押します。<br><br>※インストール先の初期値として「¥WINDOWS」が入力されています。 | □ |
| 36 |  | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 37 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

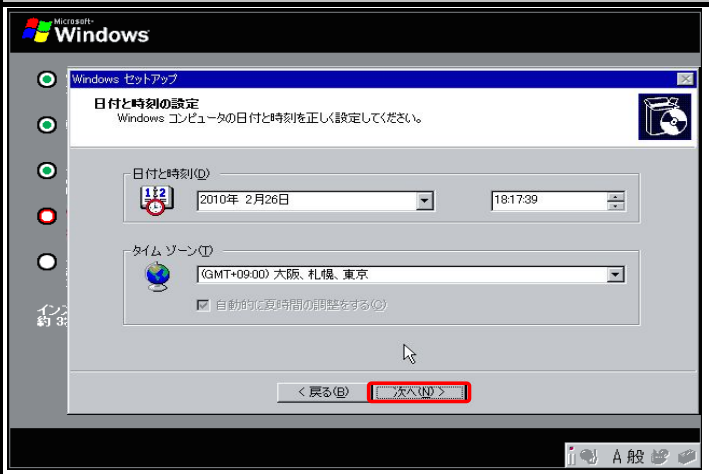
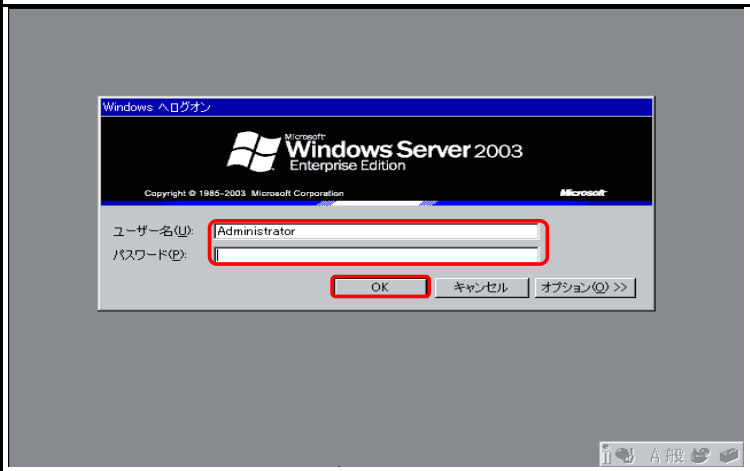
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 38 |  | ・約5分程度待ちます。 | □ |
| 39 |  | 【フロント USBを使用する場合】<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)に入れ替える際、必ずメディア(1/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 40 |  | ※左記画面が表示されるまで、約30分程度かかります。<br>【フロント USBを使用する場合】<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)に入れ替える際、必ずメディア(2/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |

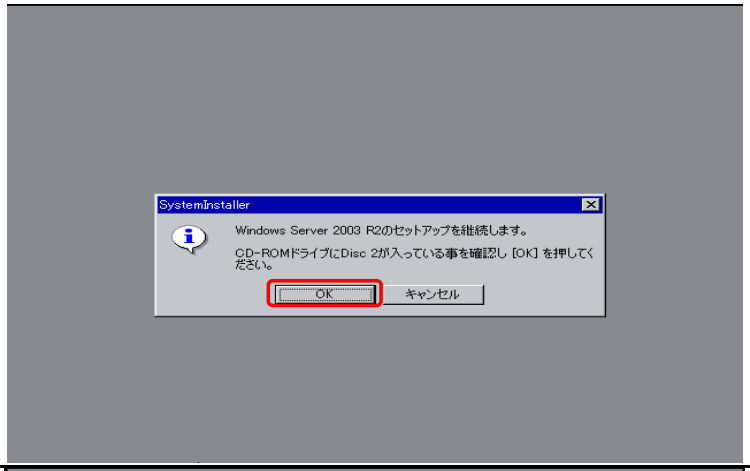
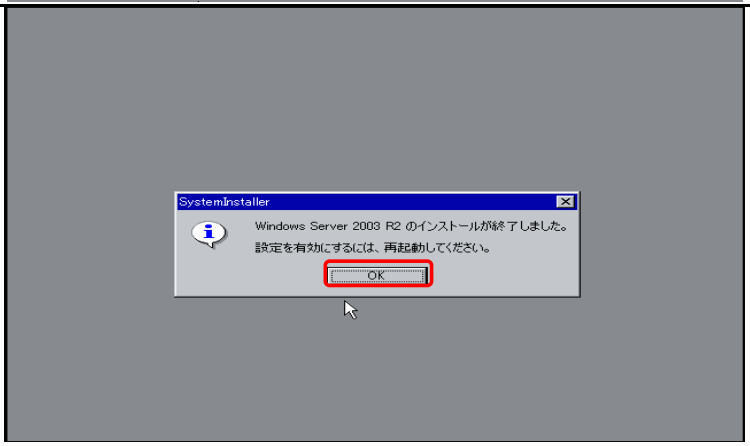
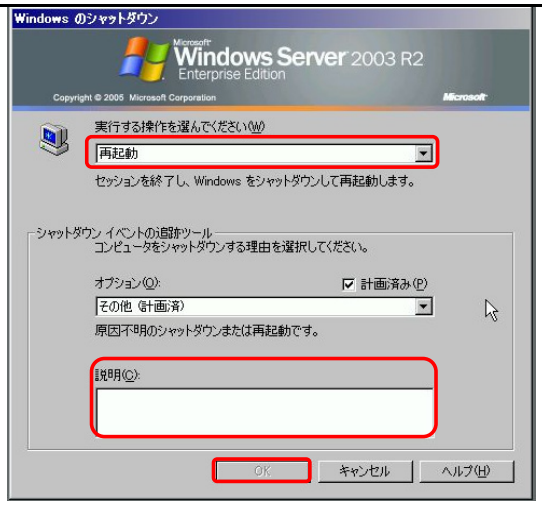
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 41 | | ・完了すると、Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 42 |  | ・パスワードを入力します。 | ☐ |
| 43 |  | ・上記手順で入力したパスワードを再度入力します。 | ☐ |
| 44 | | ・約20分程度待ちます。 | ☐ |

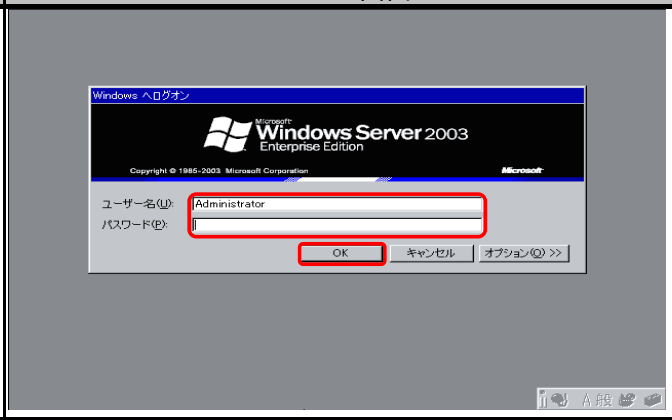
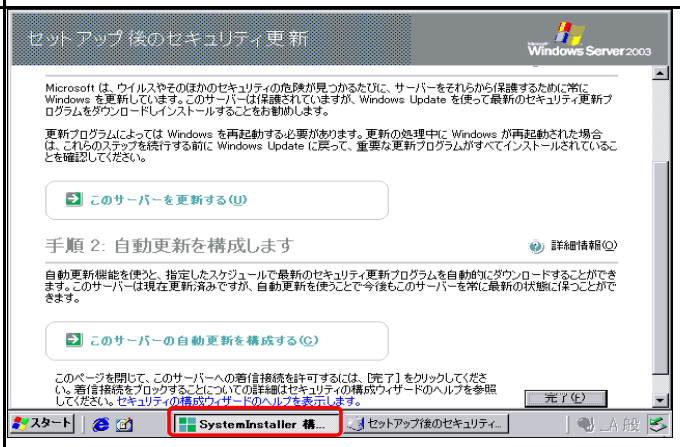
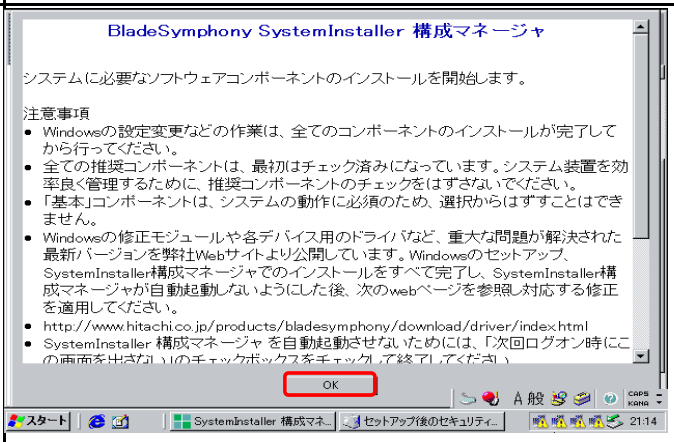
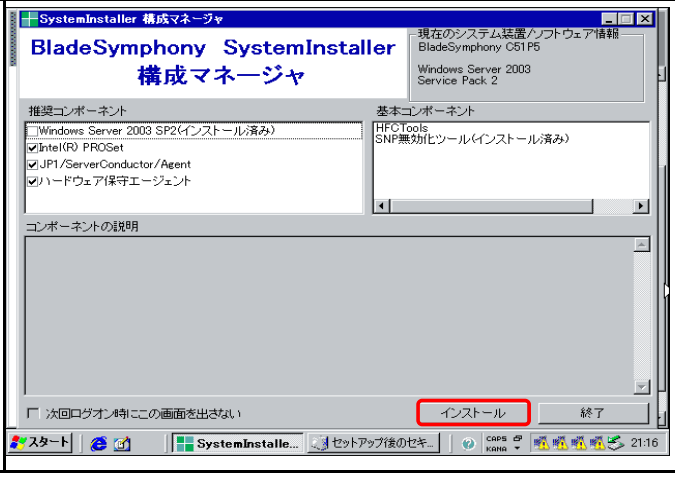
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 45 |  | ※再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。 | □ |
| 46 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 47 |  | ・しばらく待ちます。 | □ |
| 48 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

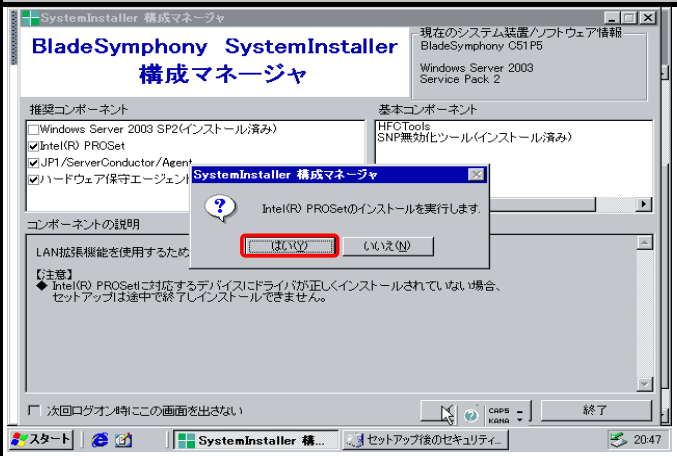
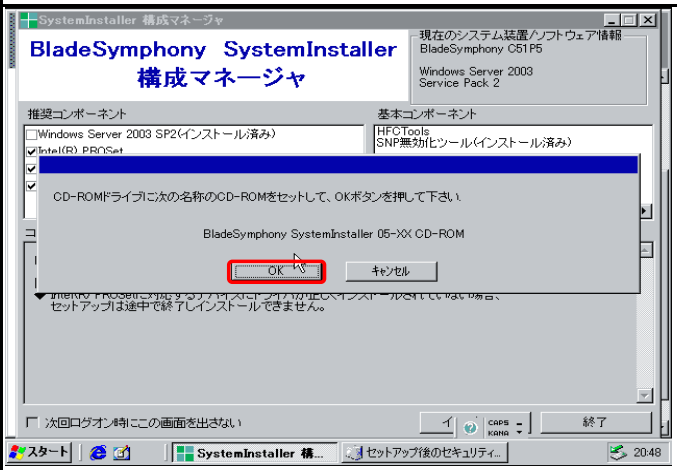
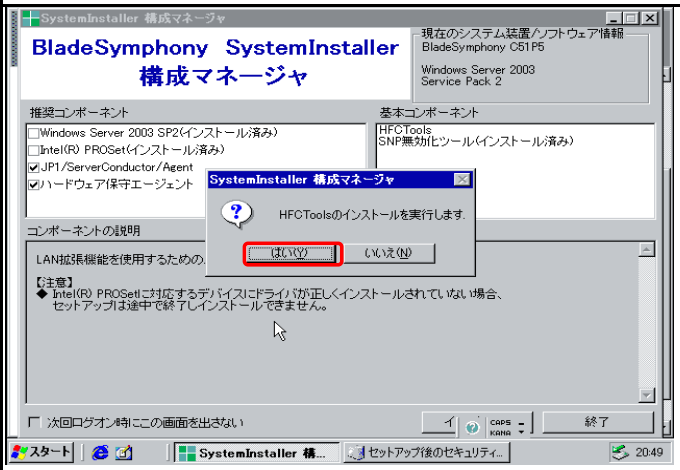
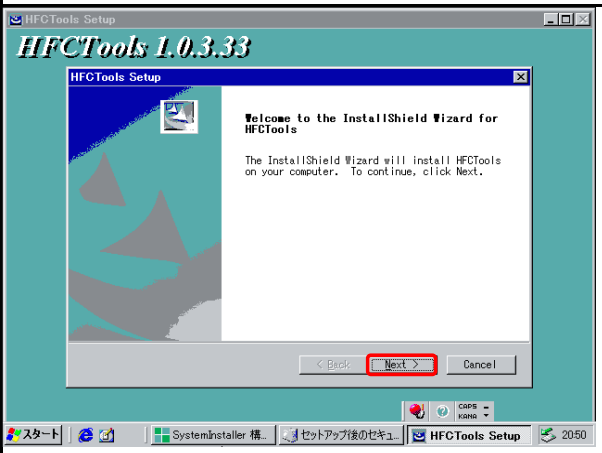
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 49 | | ・「同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 50 |  | ・しばらく待ちます。 | ☐ |
| 51 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 52 | | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |

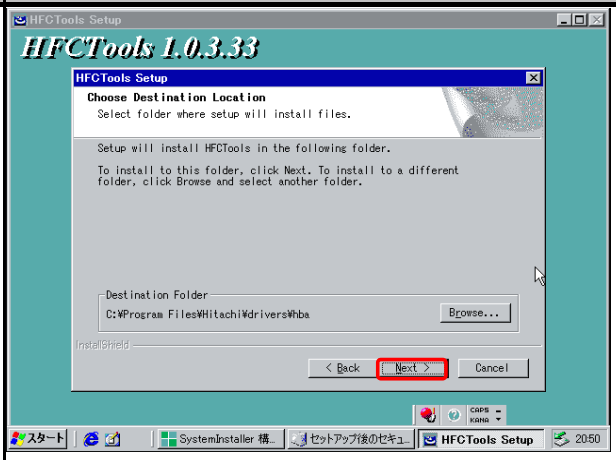
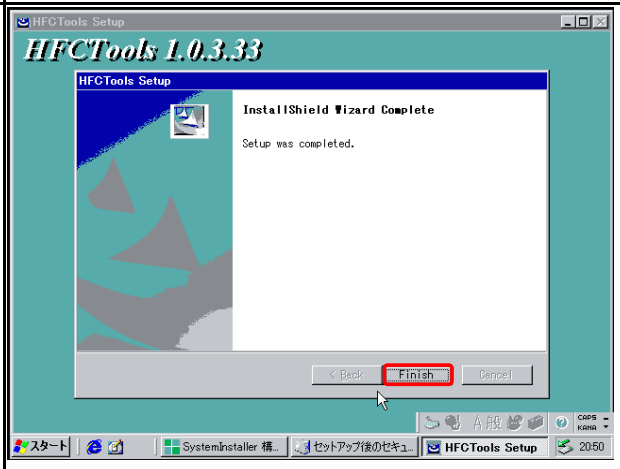
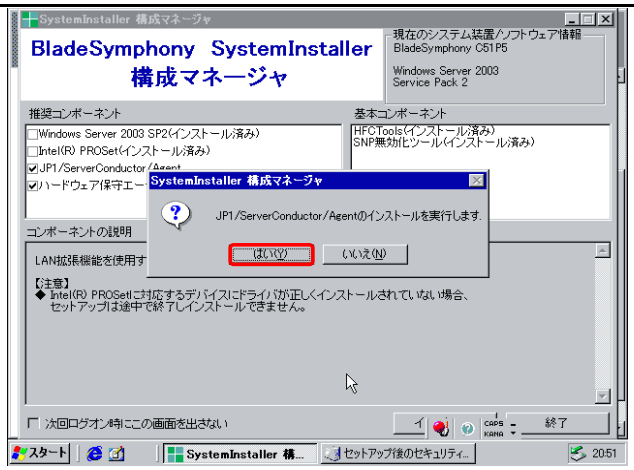
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 53 |  | ・「名前(M):」と「組織名(O):」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 54 |  | ・プロダクトキーを入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 55 |  | ・ライセンスモードを選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 56 |  | ・「コンピュータ名」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

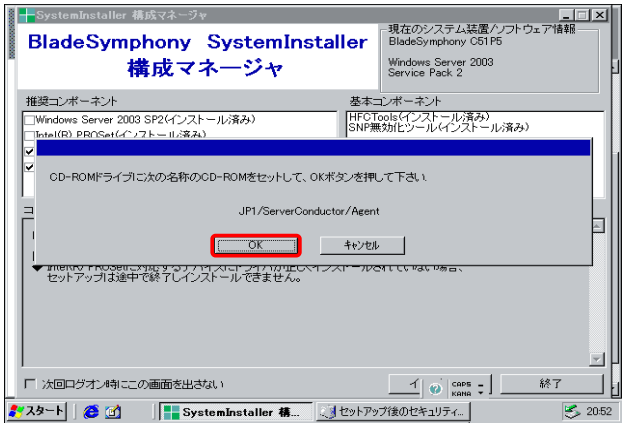
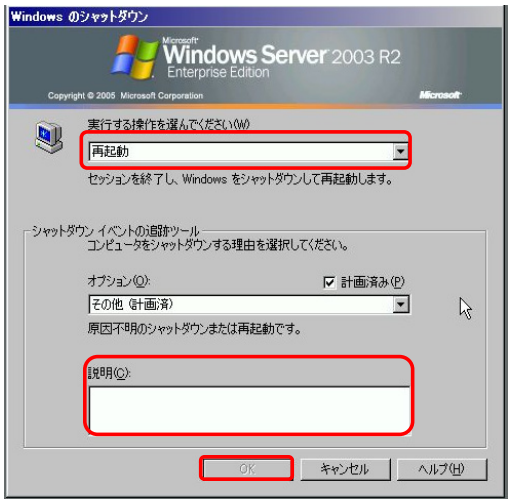
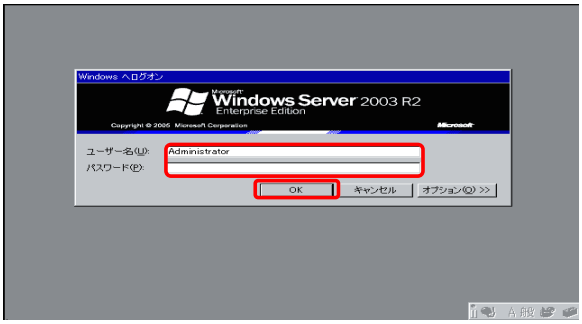
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 57 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 58 | | ・しばらく待ちます。<br><br>※画面が多少乱れることがありますが、動作に影響ありません。 | □ |
| 59 | | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 60 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |

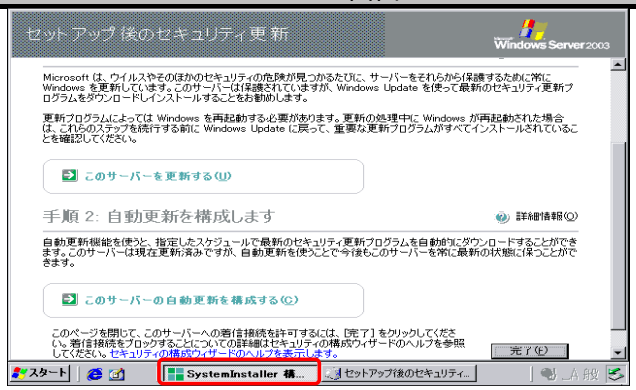
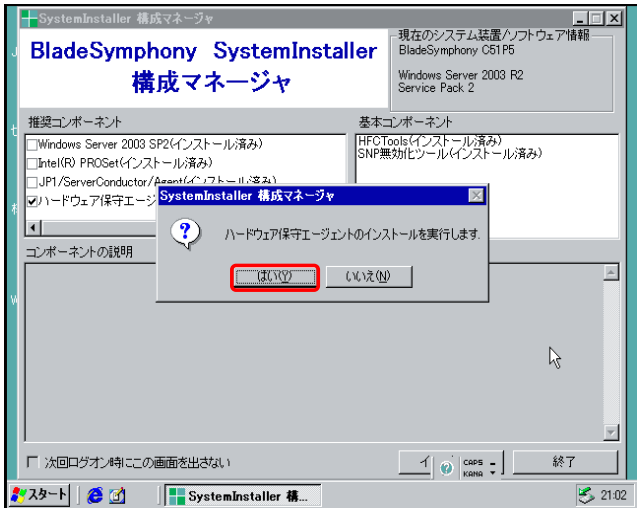
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 61 |  | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |
| 62 |  | ・「OK」をクリックします。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 | ☐ |
| 63 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 64 | | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |

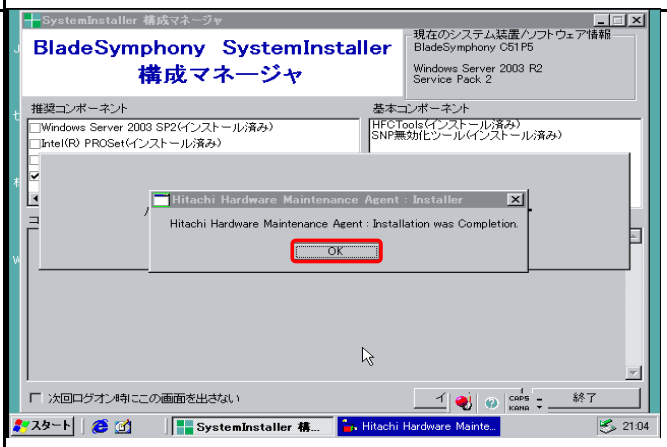
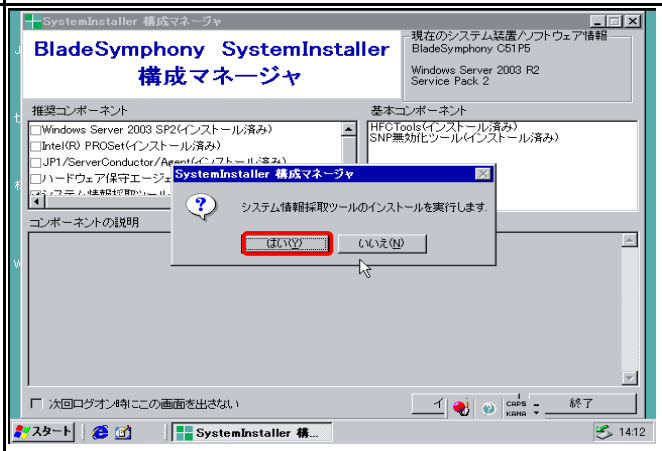
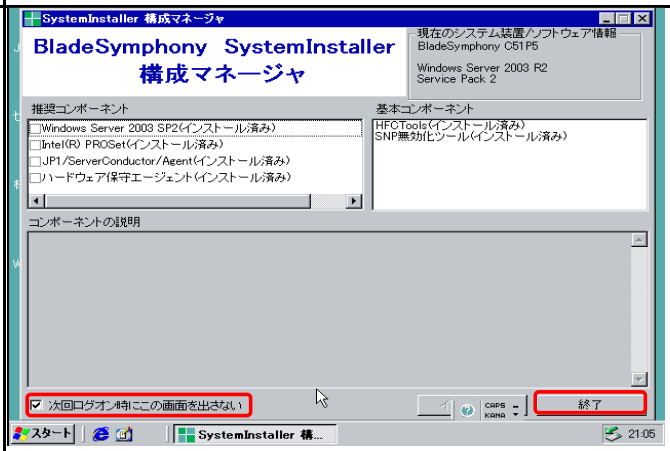
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 65 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 66 |  | ■構成マネージャ起動<br>・タスクバーにある「構成マネージャ」をクリックします。 | □ |
| 67 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 68 |  | ・「インストール」をクリックします。 | □ |

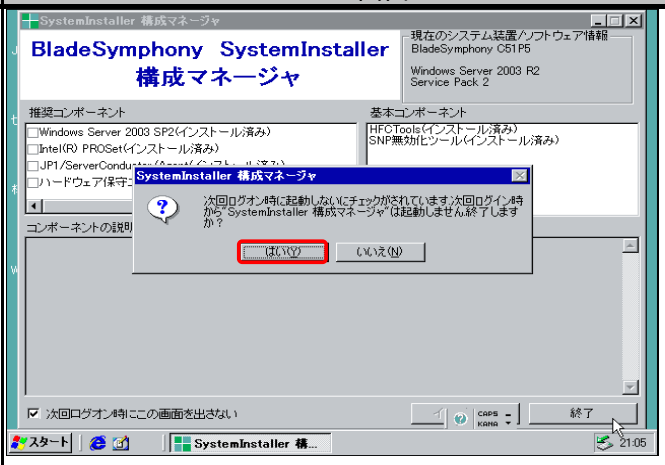
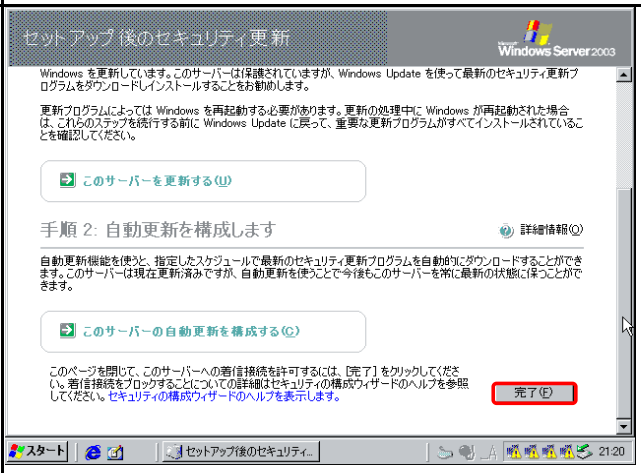
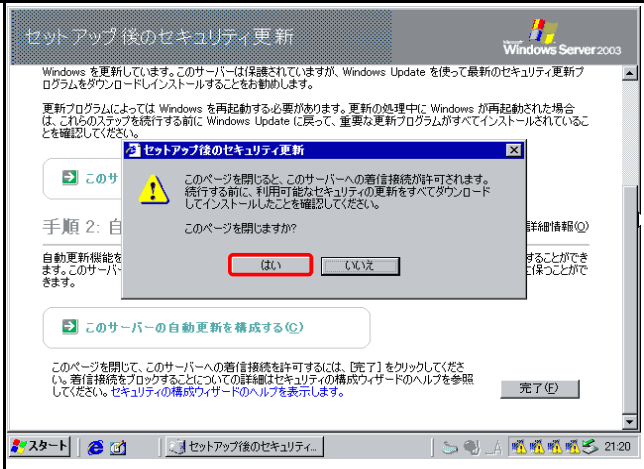
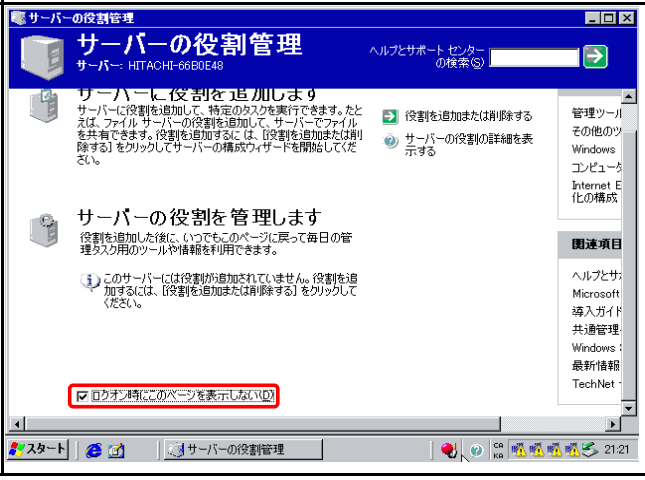
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 69 |  | ・「はい」をクリックします。 | □ |
| 70 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「OK」をクリックします。 | □ |
| 71 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 72 |  | ・「Next」をクリックします。 | □ |

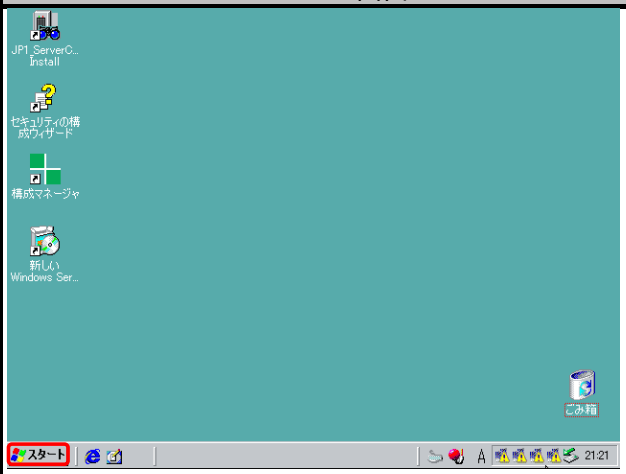
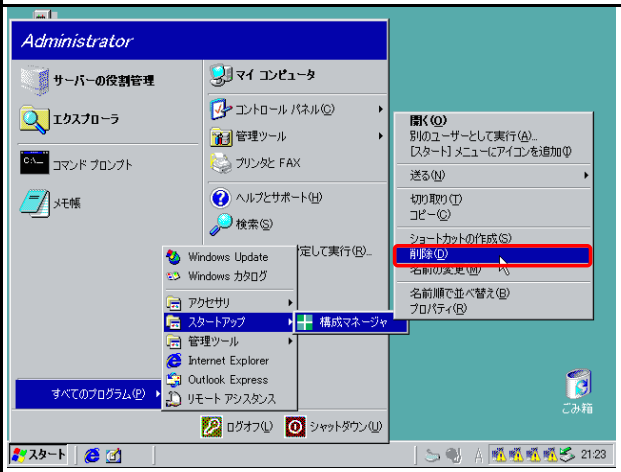
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 73 |  | ・「Next」をクリックします。 | ☐ |
| 74 |  | ・「Finish」をクリックします。 | ☐ |
| 75 | | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |
| 76 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | ☐ |

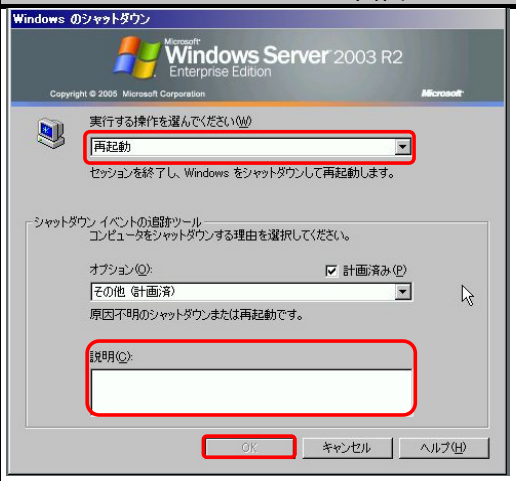
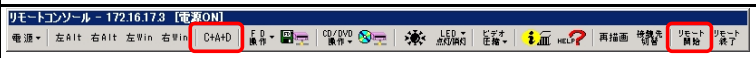
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 77 |  | 【フロント USBを使用する場合】<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」に入れ替えます。<br>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「OK」をクリックします。 | ☐ |
| 78 | | 【フロント USBを使用する場合】<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・再起動します。 | ☐ |
| 79 |  | 【フロント USBを使用する場合】<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。<br>・「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が出力されたら、「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 80 |  | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 81 |  | ・タスクバーにある「構成マネージャ」を選択します。 | □ |
| 82 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を入れます。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を入れます。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 83 | | **P4モデルの場合のみ左記表示**<br>・「OK」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 84 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 85 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 86 |  | [P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合は手順99へ]<br><br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 87 |  | ・「次回ログオン時にこの画面を出さない」をクリックします。<br>・「終了」をクリックします。 | □ |

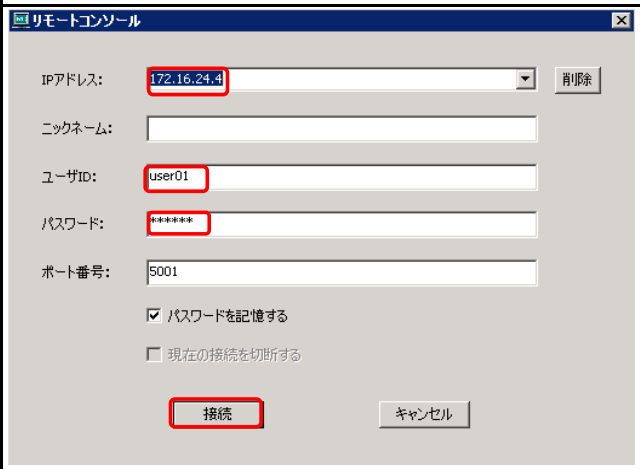
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 88 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 89 |  | ・「完了(F)」をクリックします。 | □ |
| 90 |  | ・「はい」をクリックします。 | □ |
| 91 |  | ・ウインドウ下部にある「ログオン時にこのページを表示しない」をクリックします。<br>・表示画面を閉じます。 | □ |

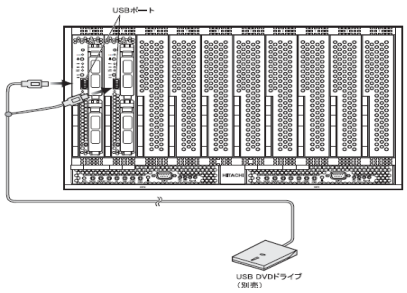
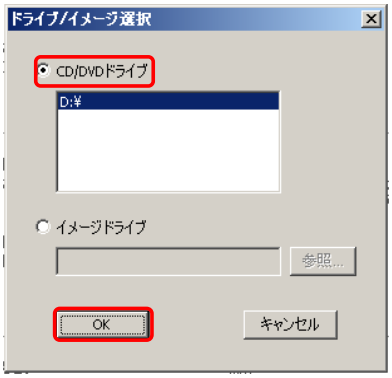
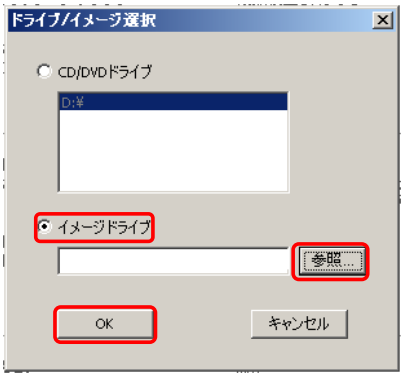
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 92 |  | ・「スタート」をクリックします。 | □ |
| 93 |  | ・「スタートアップ」-「構成マネージャ」-「削除」をクリックします。 | □ |
| 94 | | ・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「プロパティ」-「設定」で左記のように設定します<br>・「OK」をクリックします。<br>・メッセージ「この設定を保存しますか?」が出力します。<br>・「はい」をクリックします。 | □ |

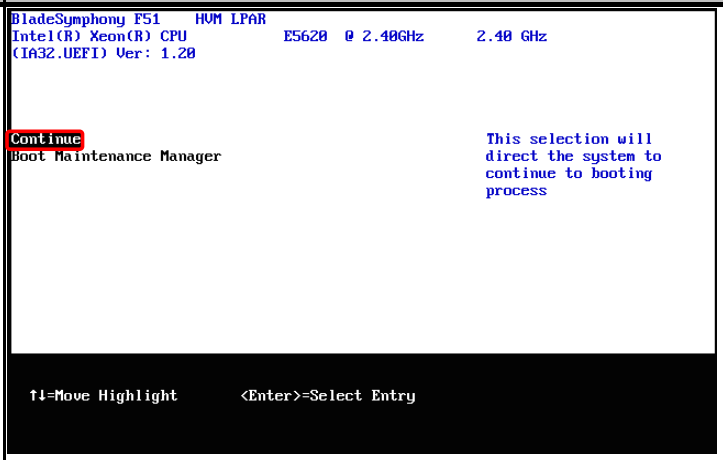
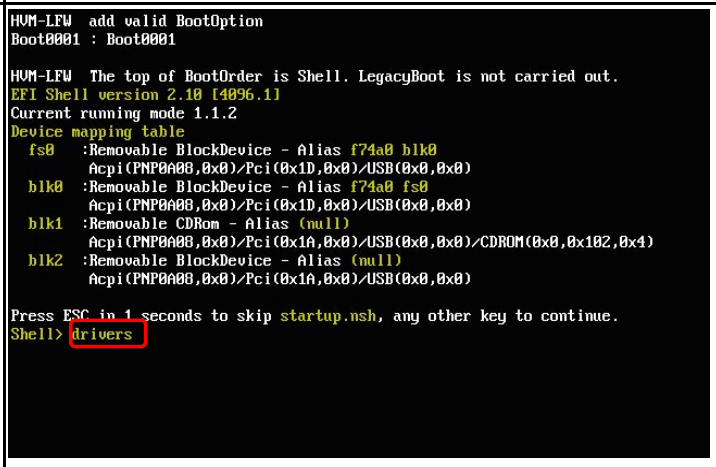
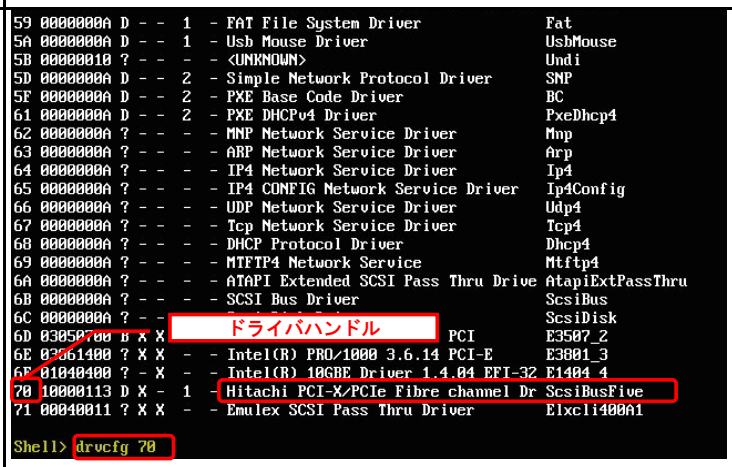
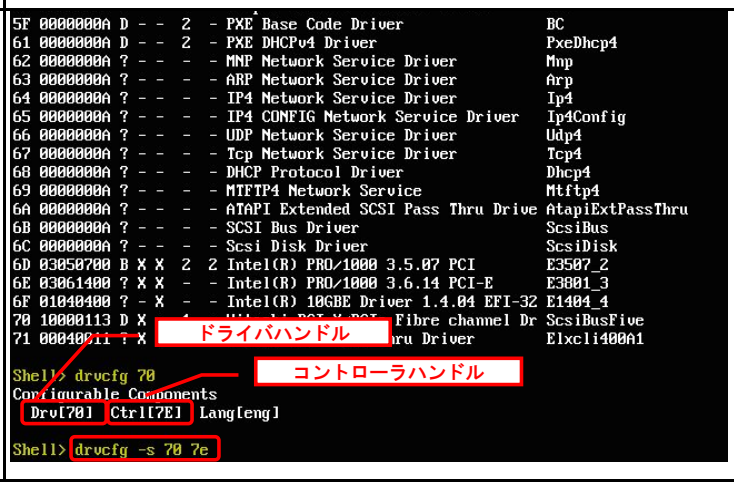
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 95 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を取り出します<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller　CD」を取り出します<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を取り出します<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller　CD」を取り出します<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 96 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 97 | **各ドライバのバージョン情報確認・更新・設定** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br><br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | ☐ |
| 98 | **インストールしたOSの修正モジュール適用** | ■OS修正モジュールの適用<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" -" OS修正モジュール"を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | ☐ |

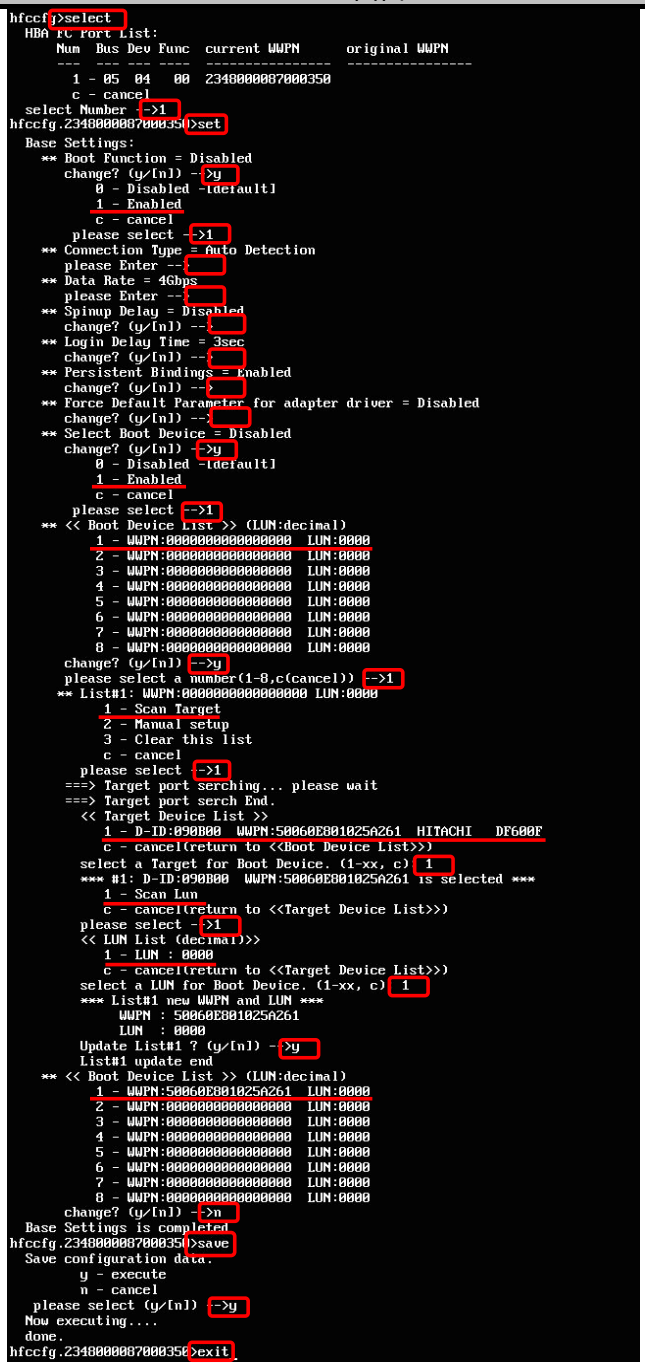
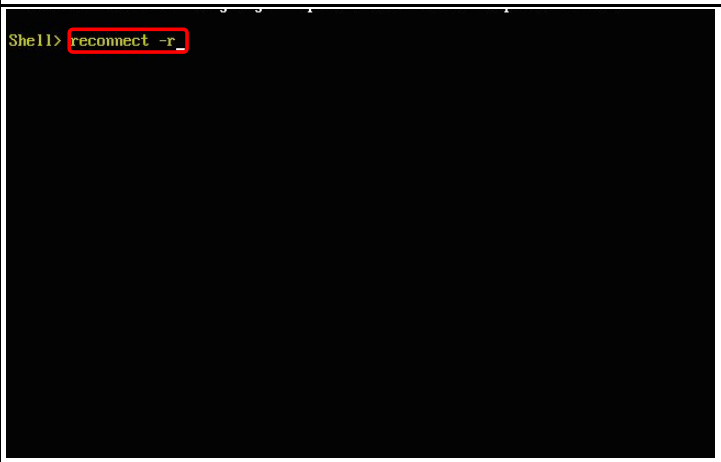
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
| --- | --- | --- | --- |
| 99 | | ■リモートコンソールの終了<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「リモート終了」を実行します。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

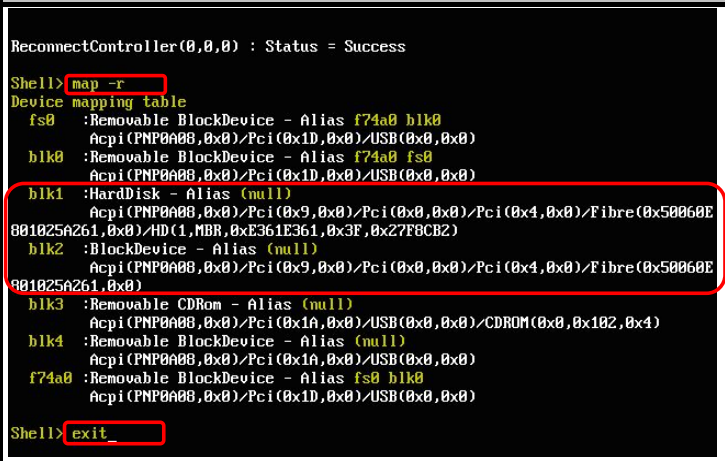
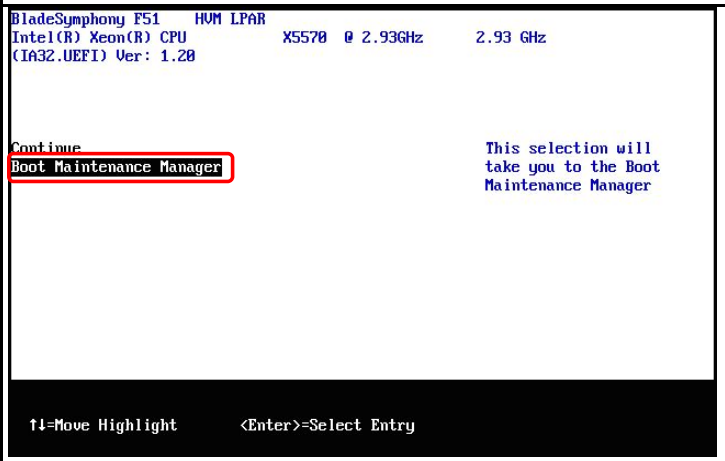
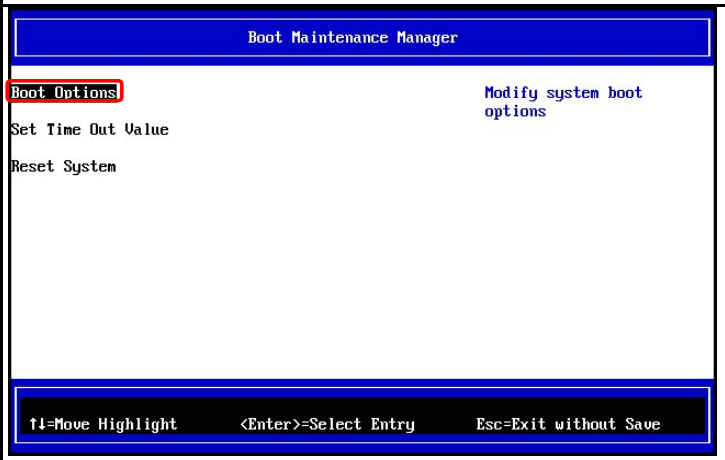
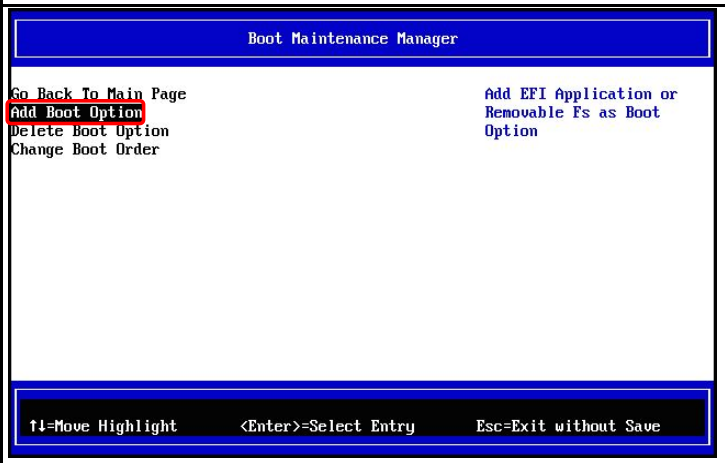
## １．５．４　SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)
## セットアップCDがx64の場合

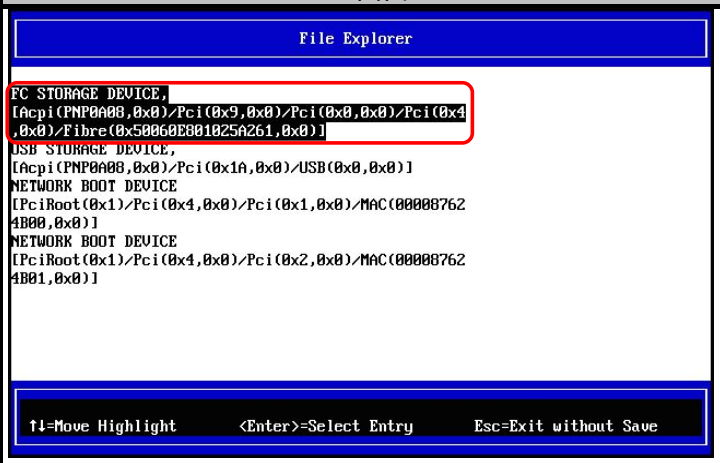
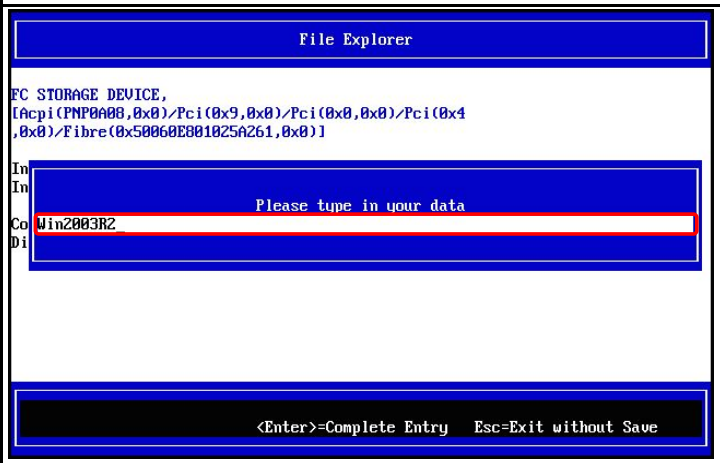
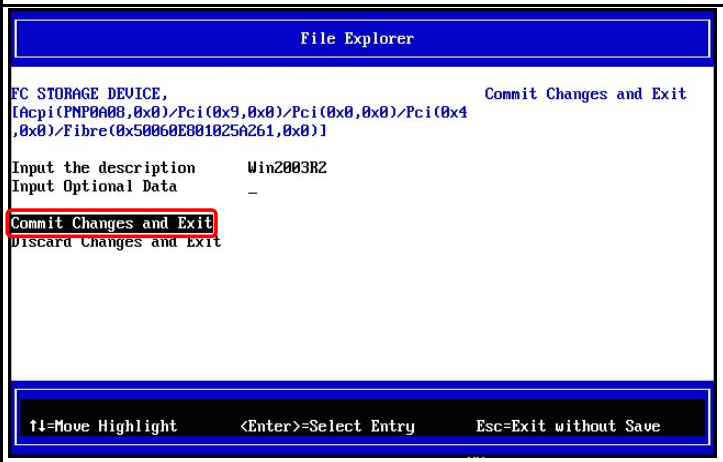
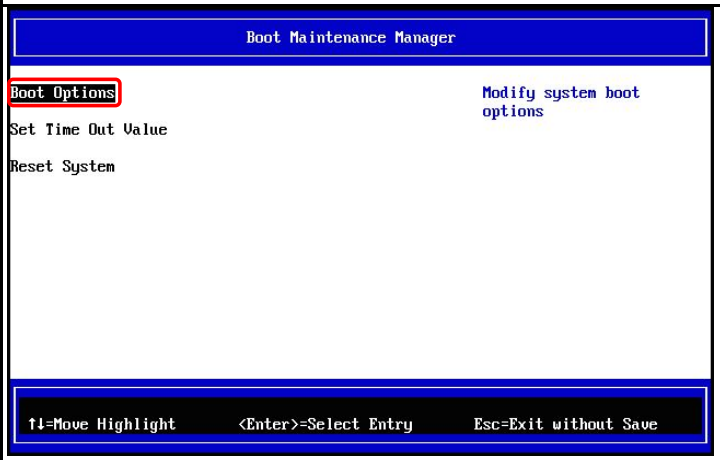
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※SystemInstallerを使用したインストールはHVMバージョン：17-70以降でないとインストールを正常に行うことができません。<br><br>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | ☐ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | ☐ |

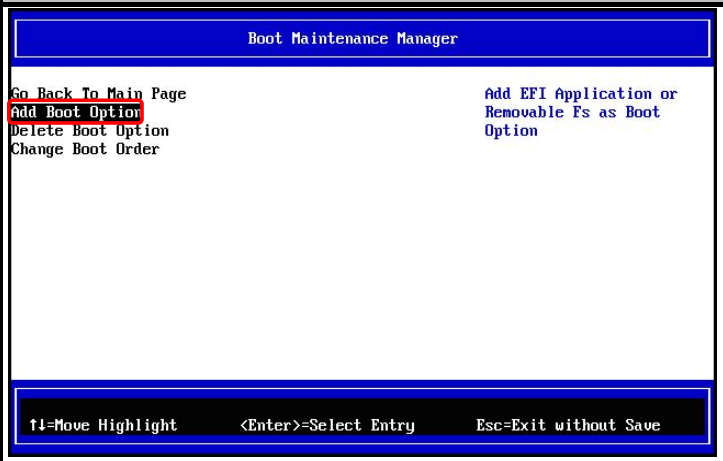
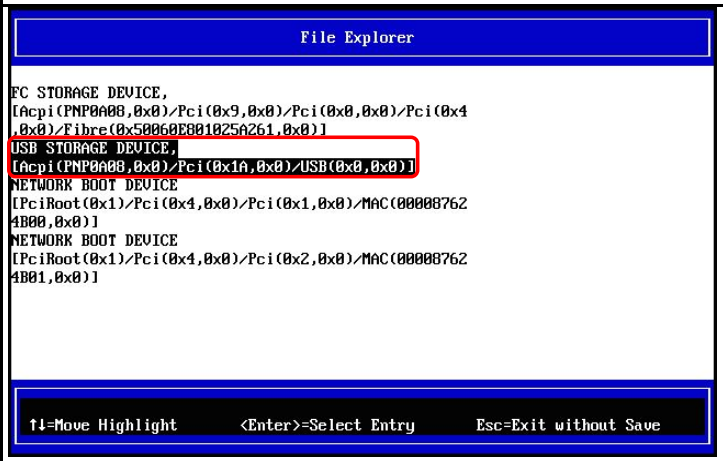
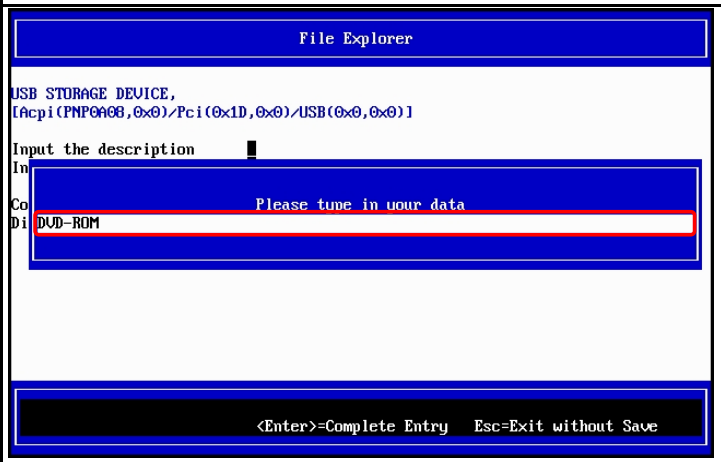
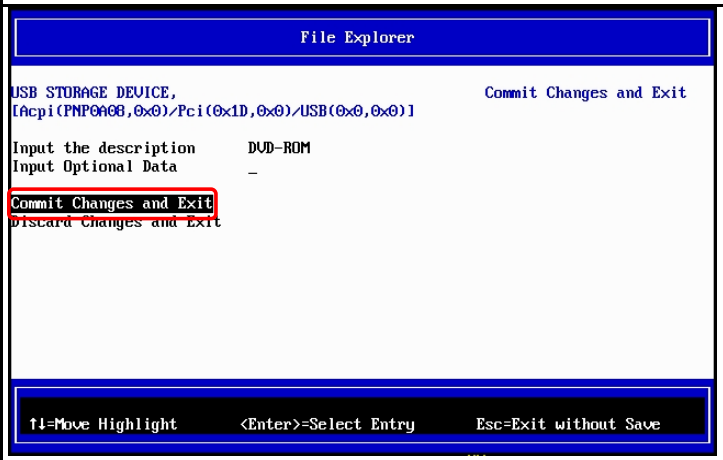
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | 項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい | | |
| | 3-1 【フロント USBを使用する場合】   | ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「SystemInstaller CD」 を入れます。<br><br>※例として、二又に分かれたUSB DVDドライブを使用しています。二又ケーブルの場合はDVDドライブの電源用プラグをサーバブレードに挿してください。 | □ |
| | 3-2 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「SystemInstaller CD」を入れます。 | □ |
| | 3-3 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | □ |

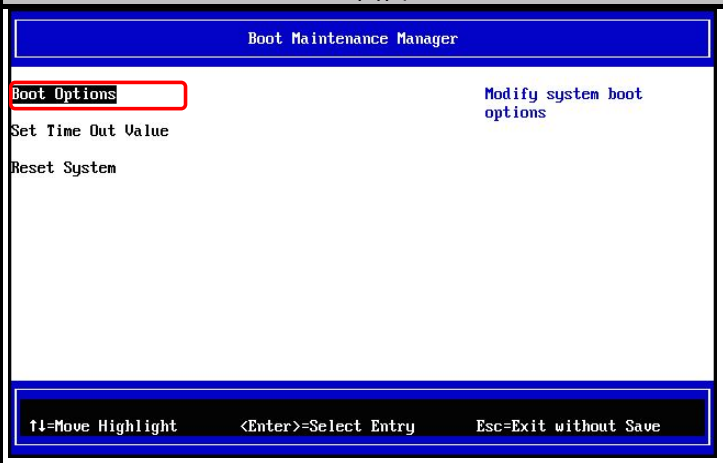
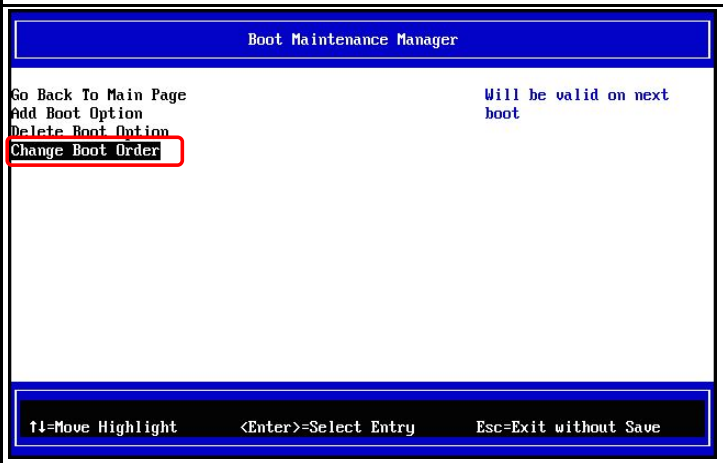
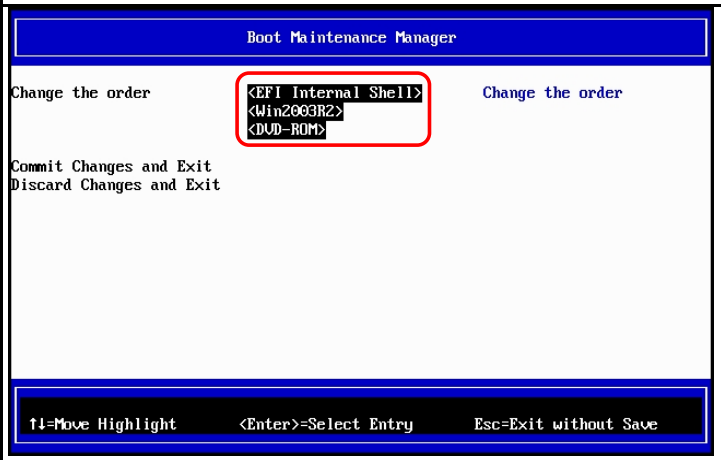
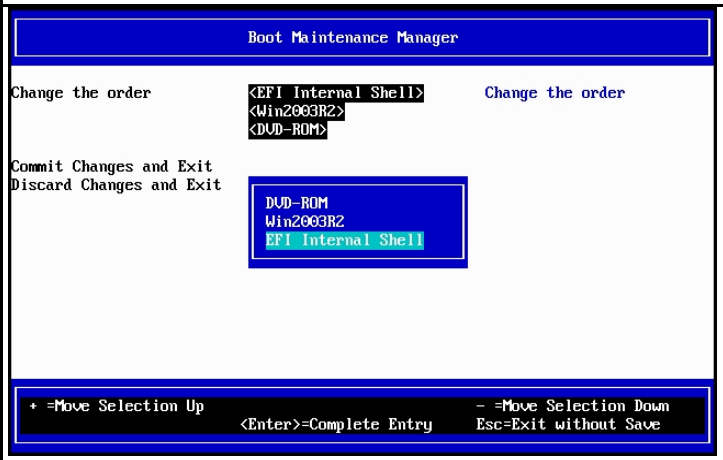
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■共有FCの設定<br>・「Continue」を選択します。 | ☐ |
| 5 |  | ・「drivers」を入力します。 | ☐ |
| 6 |  | ・「drvcfg「ドライバハンドル」」を入力します。 | ☐ |
| 7 |  | ・「drvcfg -s「ドライバハンドル」「コントローラハンドル」」を入力します。 | ☐ |

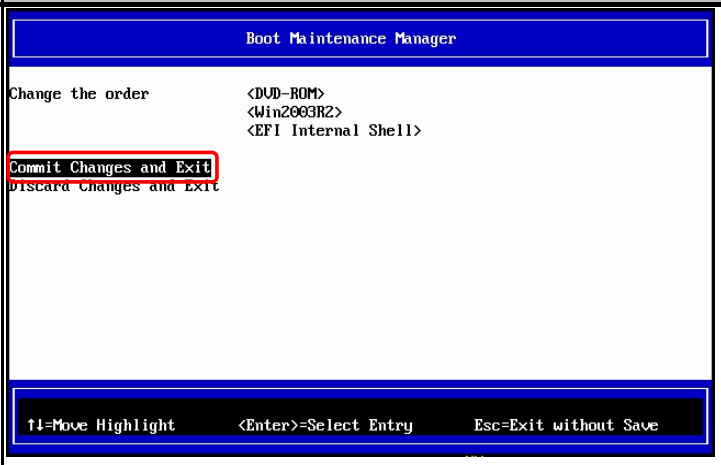
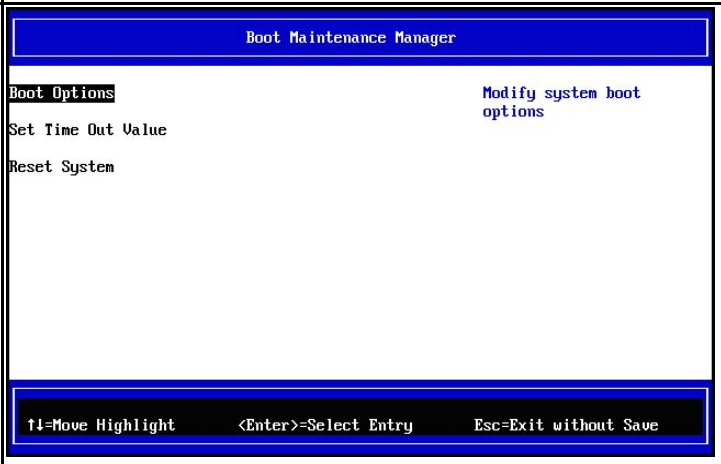
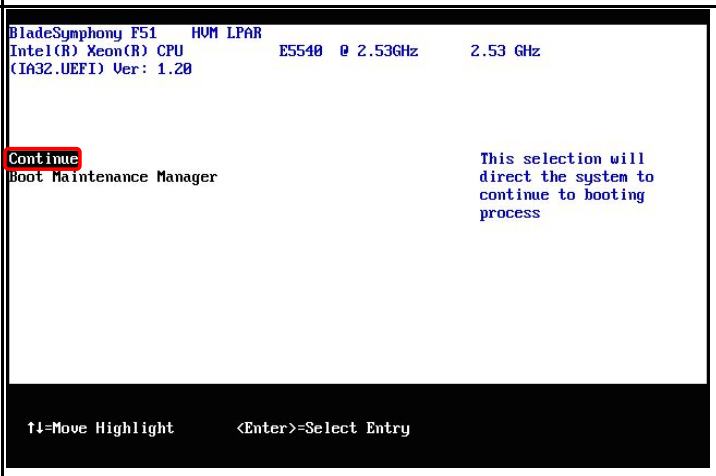
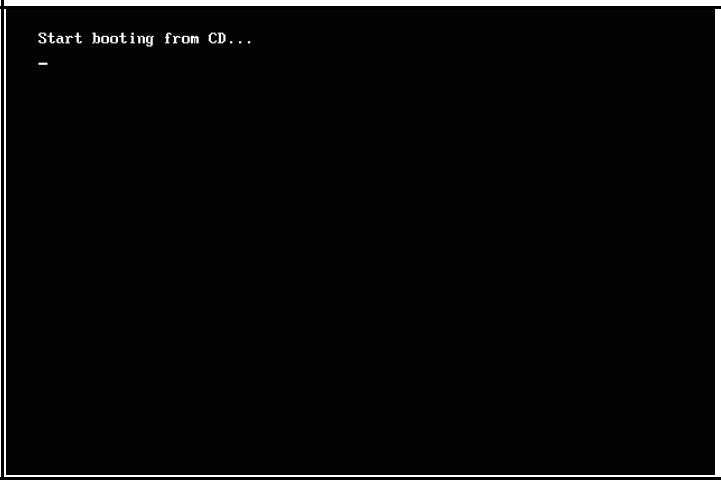
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・「select」を入力します。<br>・左記のように入力します。<br>・「exit」を入力します。<br><br>※設定を行ってもで「Boot Device List」項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。 | □ |
| 9 |  | ・「reconnect -r」を入力します。 | □ |

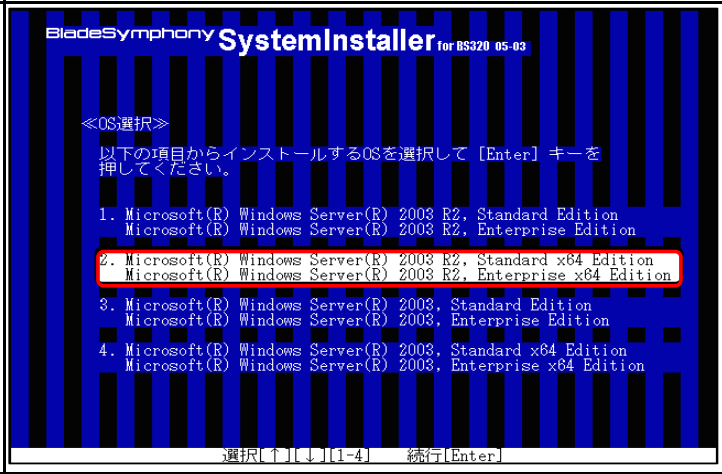
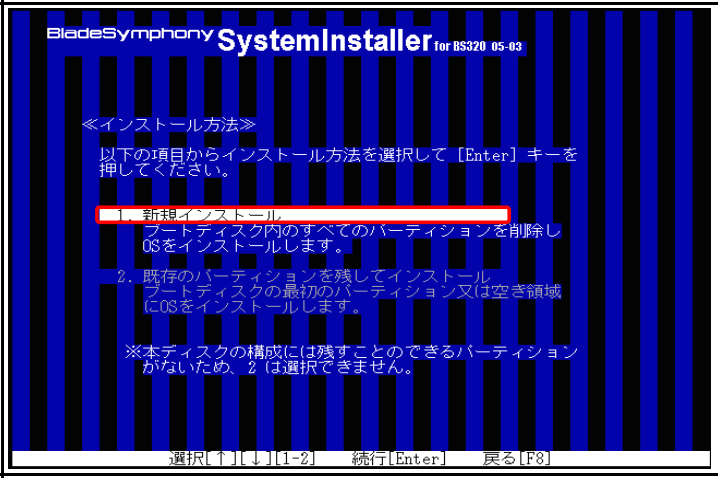
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ・「map -r」を入力します。<br>・FCデバイスが認識されていることを確認します。<br>・「exit」を入力します。 | ☐ |
| 11 |  | ■ブートオーダの設定<br>・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 12 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |

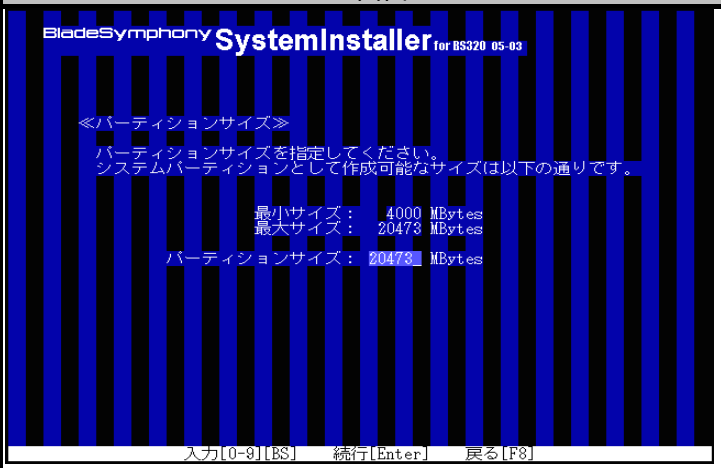
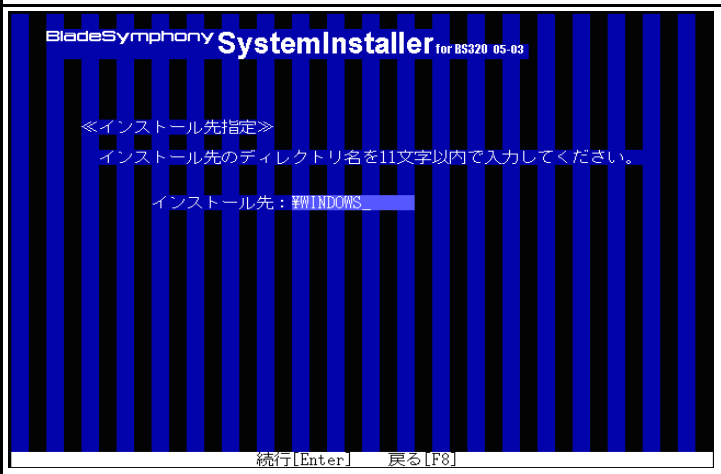
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 14 |  | ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 15 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「Win2003R2」と入力しています。 | ☐ |
| 16 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 17 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |

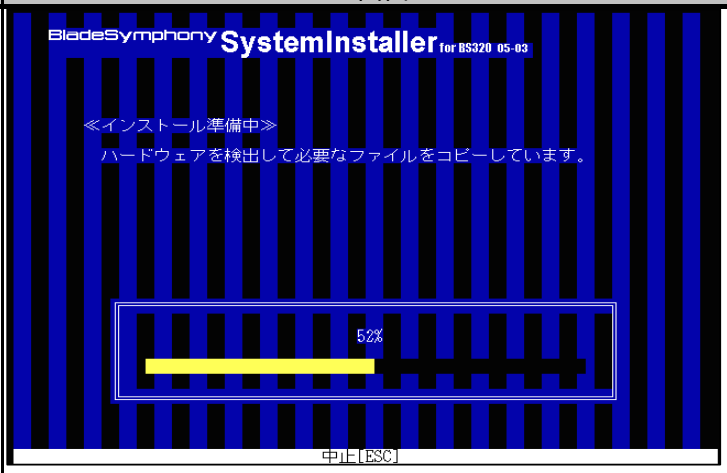
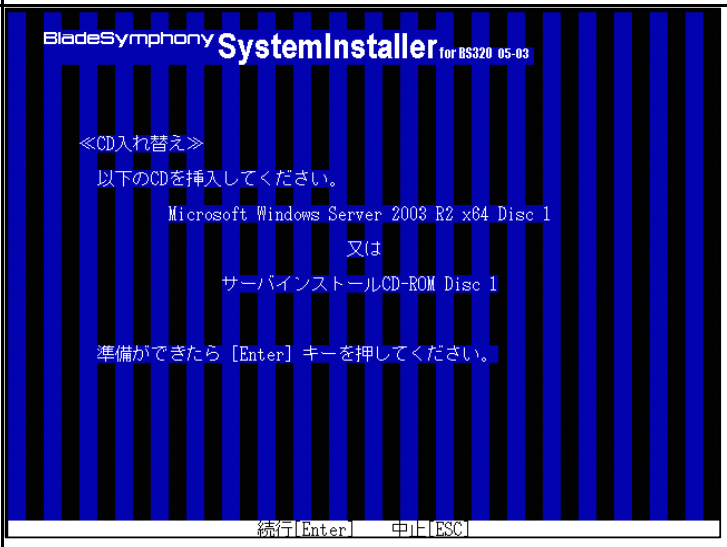
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 18 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 19 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 20 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |
| 21 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

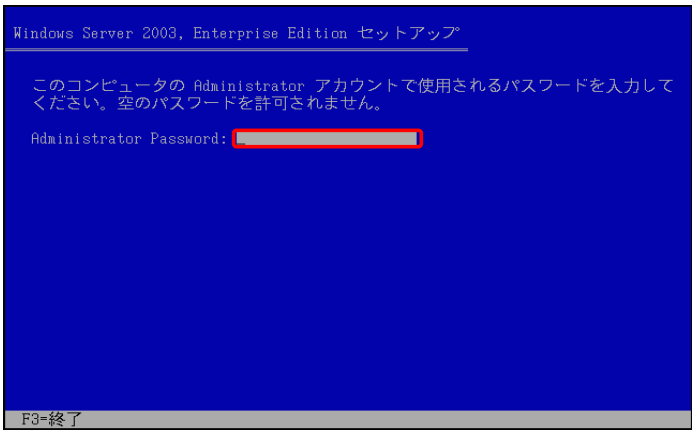
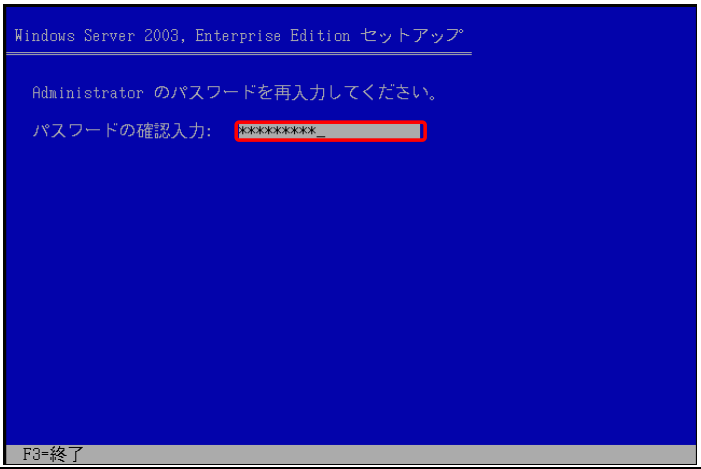
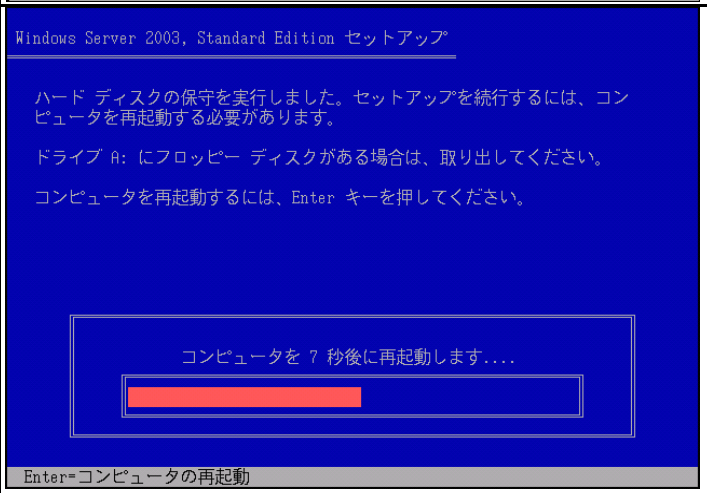
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 22 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 23 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 24 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 25 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2003R2<br>EFI Internal Shell | ☐ |

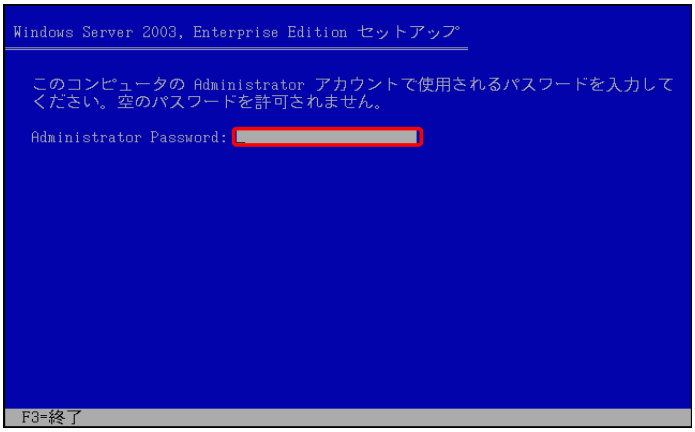
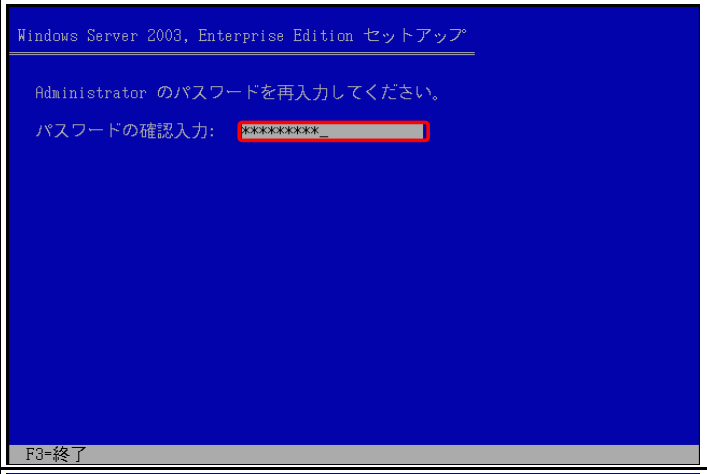
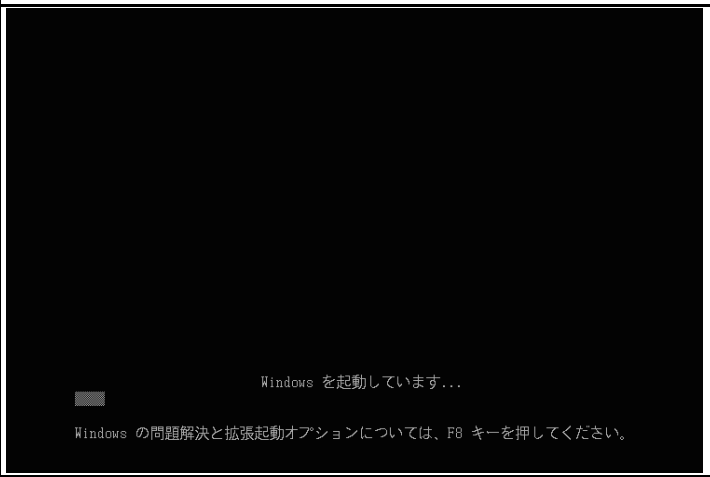
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 26 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | □ |
| 27 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 28 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 29 |  | ■OSのインストール<br>・「Start booting from CD...」が表示されてから、数秒間待ちます。<br><br>※既にOSがインストール済みのLUにインストールする場合ここで「Enter」キーを押します。<br><br>※表示されない場合がありますが、インストールに影響はありません。 | □ |

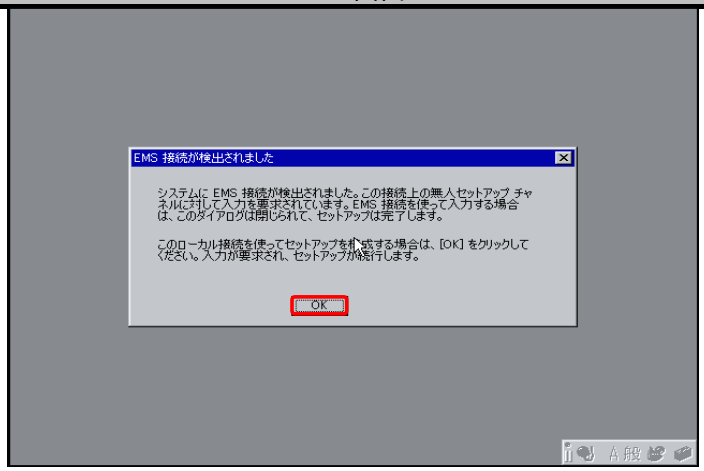
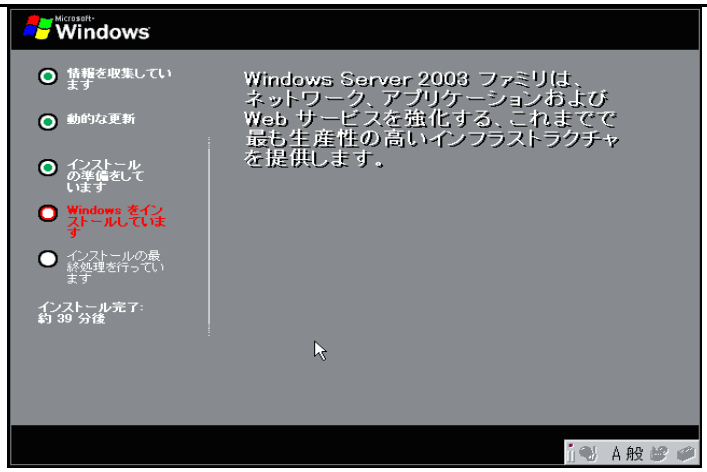
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 30 | | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 31 |  | ・インストールするOSを選択します。<br><br>※左記画面の場合は、<br>「Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Standard x64 Edition<br>Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2、Enterprise x64 Edition」<br>を選択しています。 | □ |
| 32 |  | ・「新規インストール」を選択します。 | □ |
| 33 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

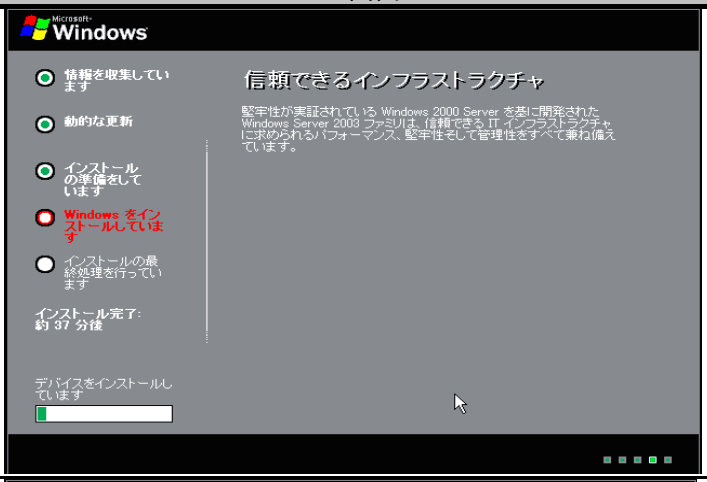
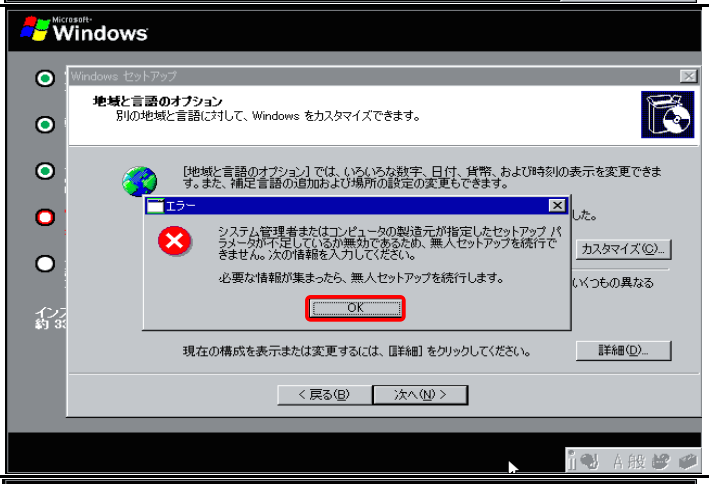
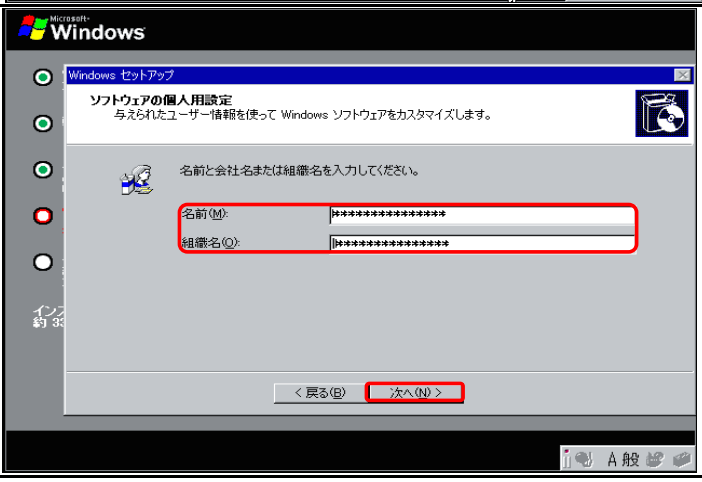
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 34 |  | ・「パーティションサイズ」を入力します。 | □ |
| 35 |  | ・「Enter」キーを押します。<br><br>※インストール先の初期値として「¥WINDOWS」が入力されています。 | □ |
| 36 | | ・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 37 | | ・「Y」を入力します。 | □ |

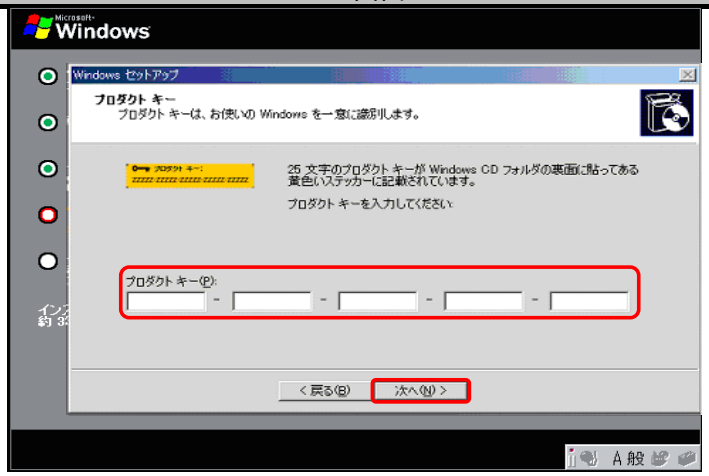
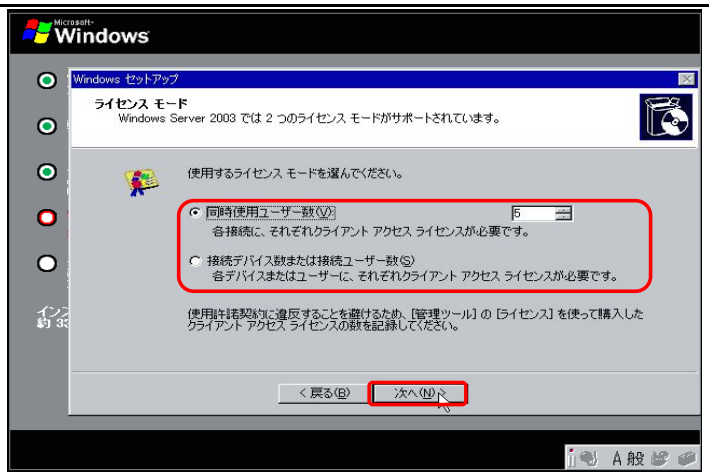
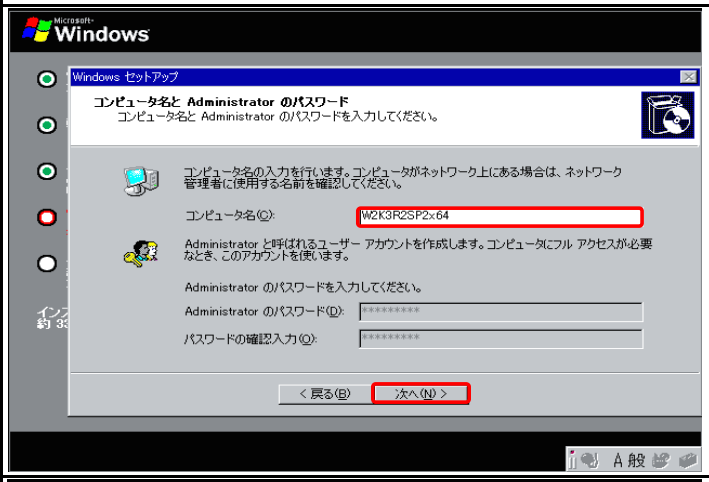
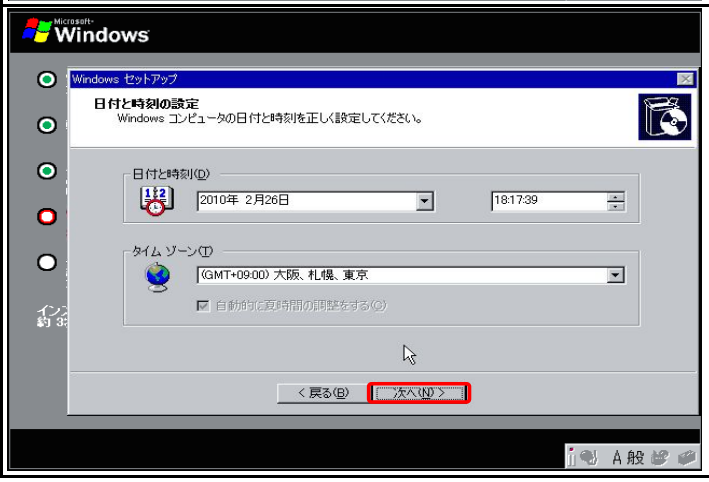
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 38 |  | ・約5分程度待ちます。 | □ |
| 39 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(1/2)に入れ替える際、必ずメディア(1/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |
| 40 | | ※左記画面が表示されるまで、約30分程度かかります。<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>※Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)に入れ替える際、必ずメディア(2/2)であることを確認しメディアを入れてください。異なったメディアを読み込ませると読み込みに失敗し、正しいメディアに入れ替えても再認識できません。<br>・「Enter」キーを押します。 | □ |

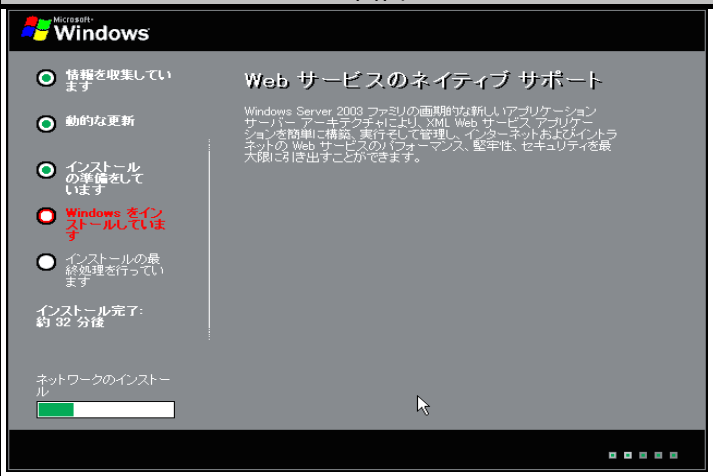
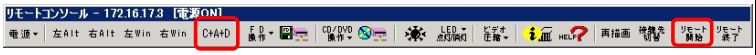
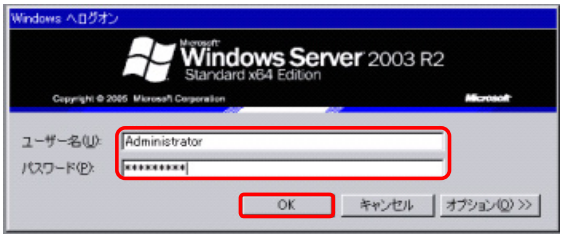
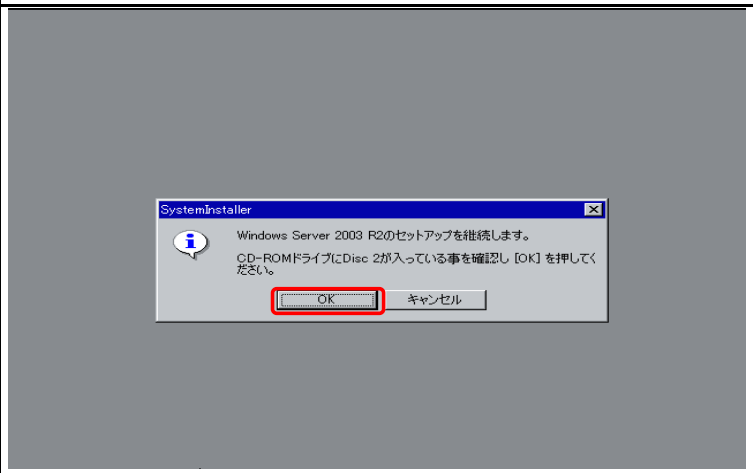
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 41 | BladeSymphony SystemInstaller for BS320 05-03<br>≪完了≫<br>ここまでのセットアップは完了しました。<br>コンピュータを再起動しています... | ・完了すると、Windowsが再起動します。 | □ |
| 42 |  Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ<br>このコンピュータの Administrator アカウントで使用されるパスワードを入力してください。空のパスワードを許可されません。<br>Administrator Password:<br>F3=終了 | ・パスワードを入力します。 | □ |
| 43 |  Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ<br>Administrator のパスワードを再入力してください。<br>パスワードの確認入力:<br>**********<br>F3=終了 | ・上記手順で入力したパスワードを再度入力します。 | □ |
| 44 |  Windows Server 2003, Standard Edition セットアップ<br>ハード ディスクの保守を実行しました。セットアップを続行するには、コンピュータを再起動する必要があります。<br>ドライブ A: にフロッピー ディスクがある場合は、取り出してください。<br>コンピュータを再起動するには、Enter キーを押してください。<br>コンピュータを 7 秒後に再起動します....<br>Enter=コンピュータの再起動 | ・「Enter」キーを押します。 | □ |

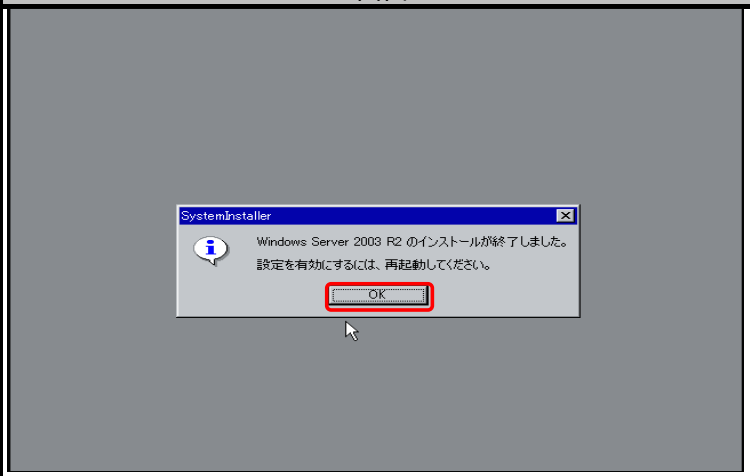
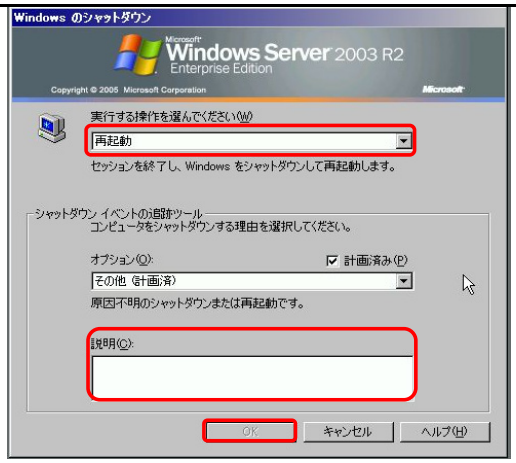
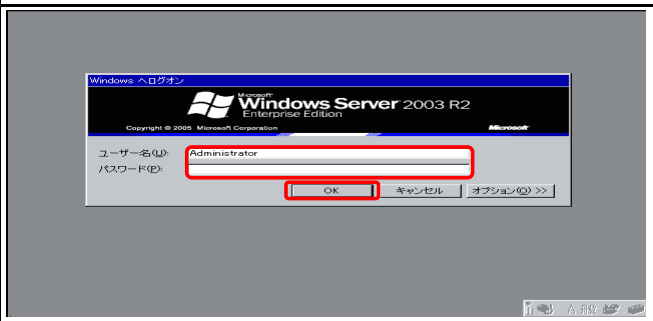
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 45 |  | ・パスワードを入力します。 | □ |
| 46 |  | ・上記手順で入力したパスワードを再度入力します。 | □ |
| 47 | | ・約20分程度待ちます。 | □ |
| 48 |  | ※再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。 | □ |

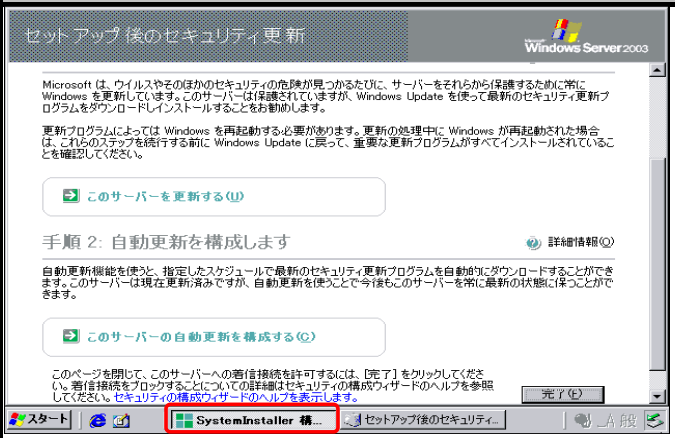
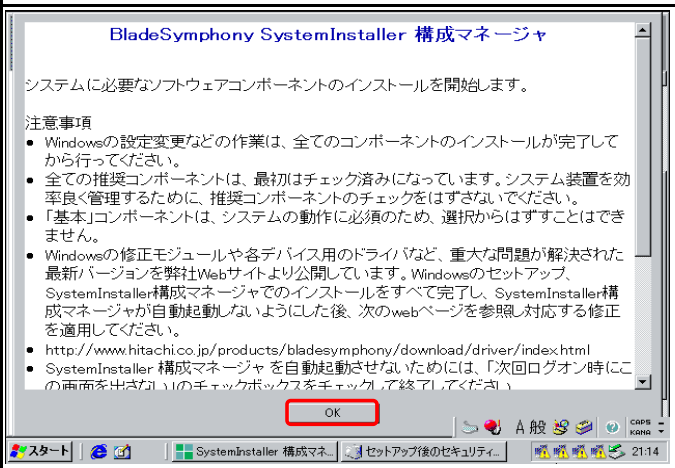
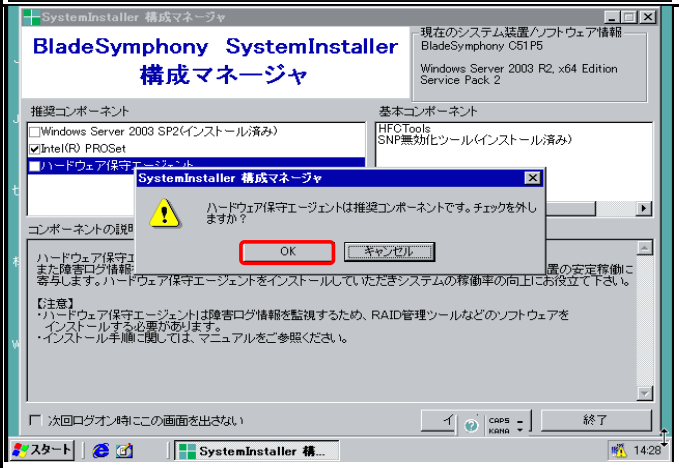
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 49 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 50 |  | ・しばらく待ちます。 | □ |
| 51 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 52 | | ・「同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

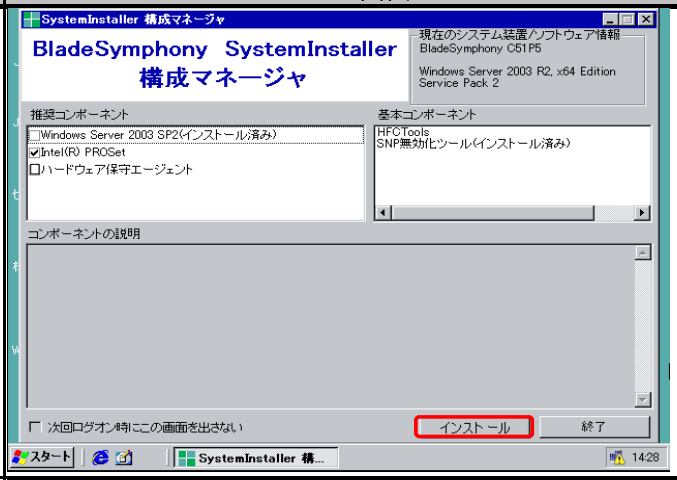
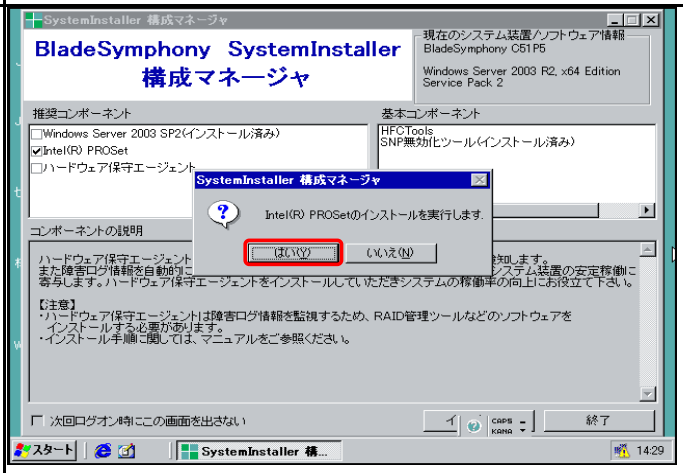
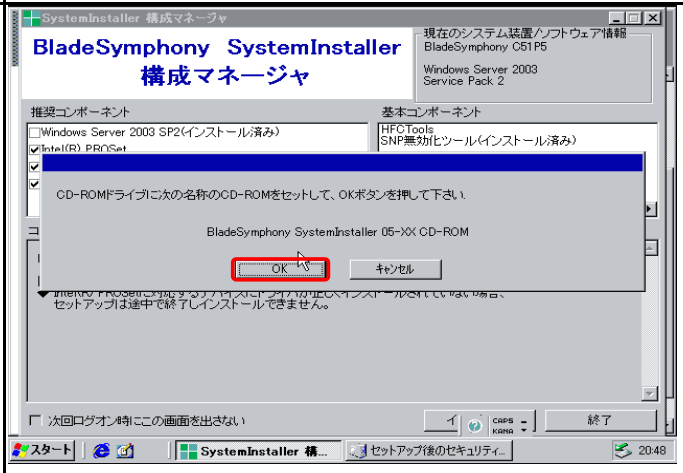
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 53 |  | ・しばらく待ちます。 | □ |
| 54 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 55 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 56 |  | ・「名前(M):」と「組織名(O):」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

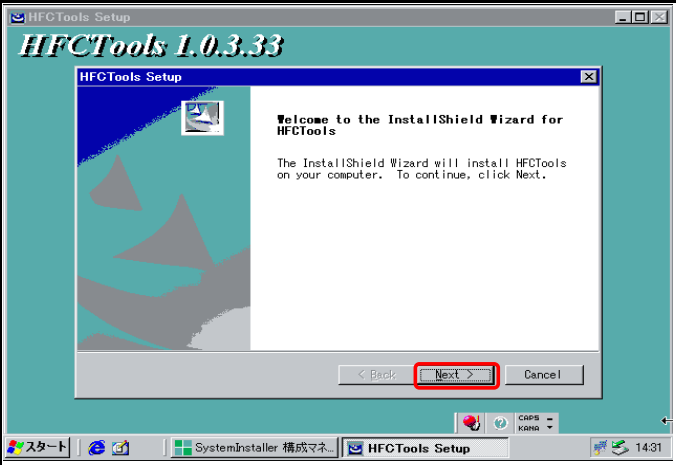
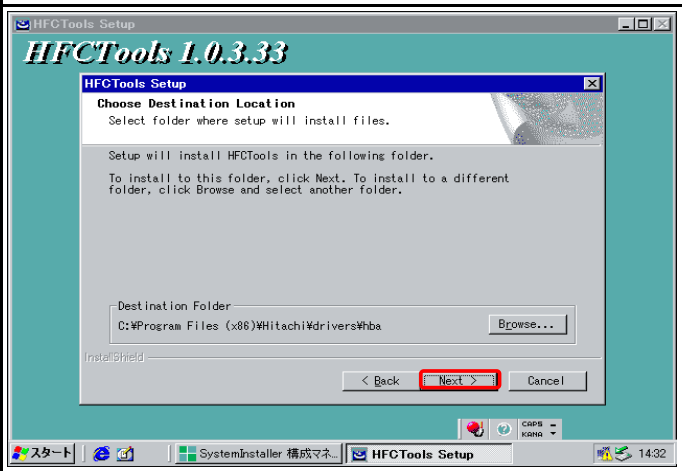
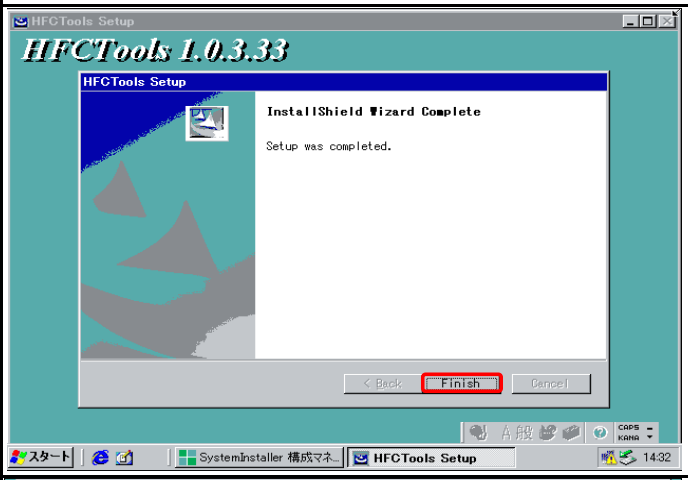
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 57 |  | ・プロダクトキーを入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 58 |  | ・ライセンスモードを選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 59 |  | ・「コンピュータ名」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 60 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

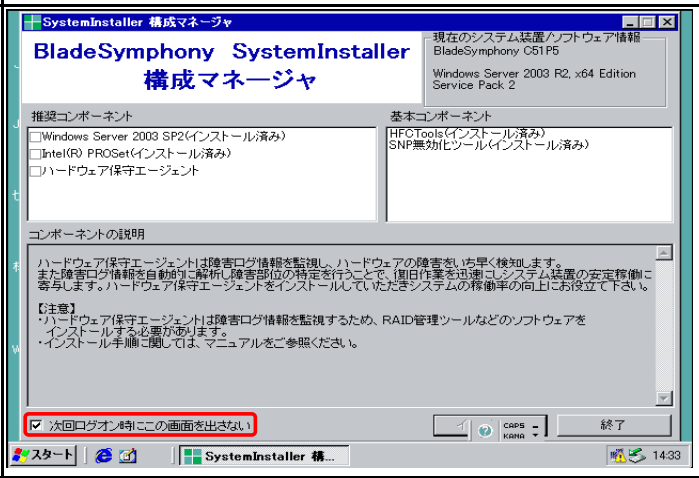
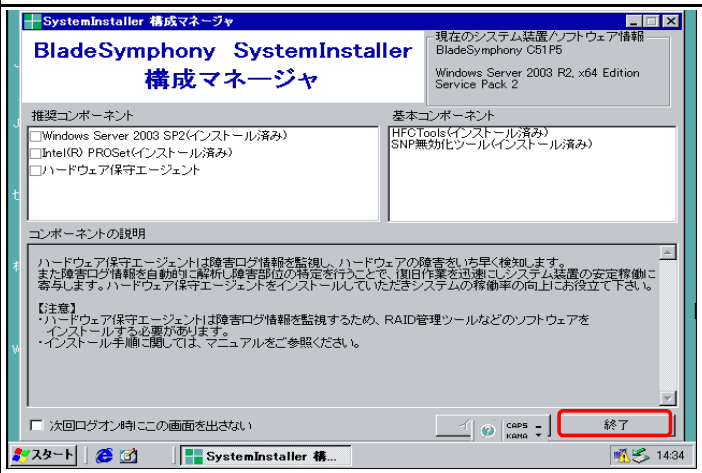
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 61 |  | ・しばらく待ちます。<br><br>※画面が多少乱れることがありますが問題ありません | ☐ |
| 62 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 63 |  | ・Windowsにログオンします。 | ☐ |
| 64 |  | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |

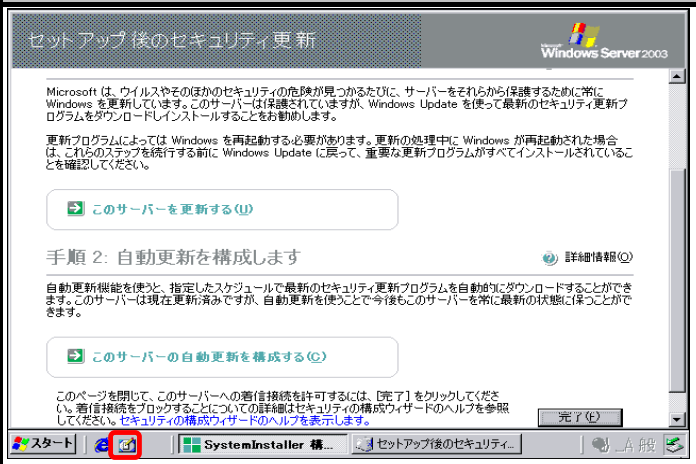
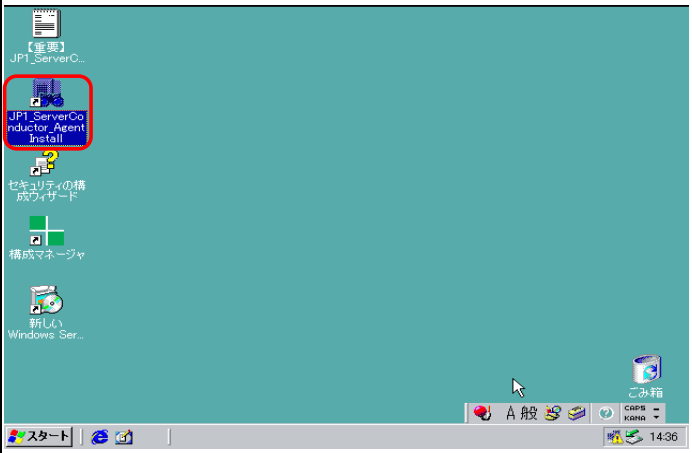
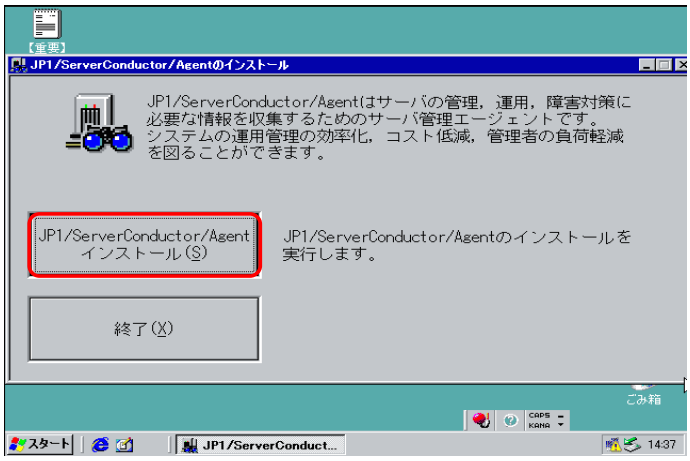
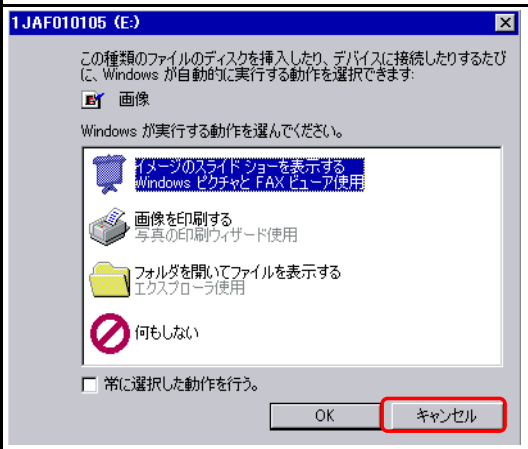
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 65 |  | ・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |
| 66 |  | ・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |
| 67 | | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 68 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |

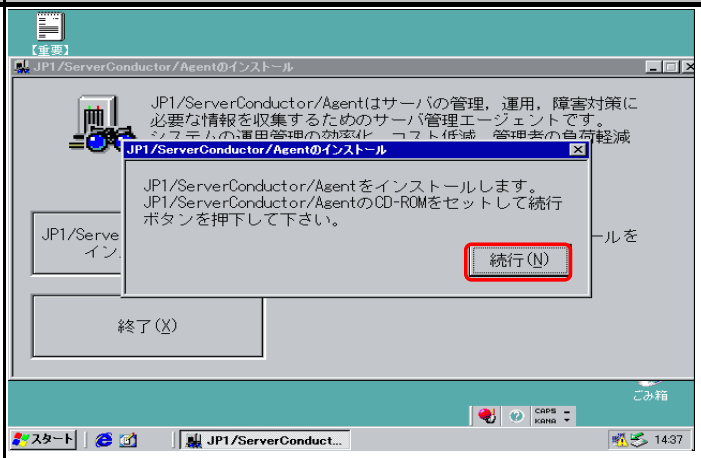
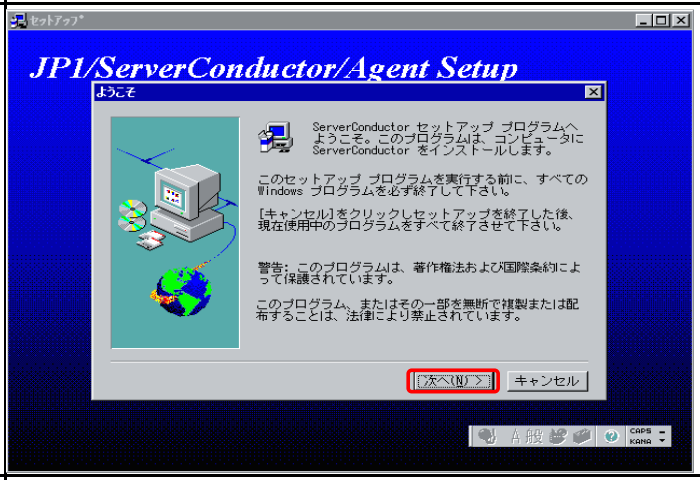
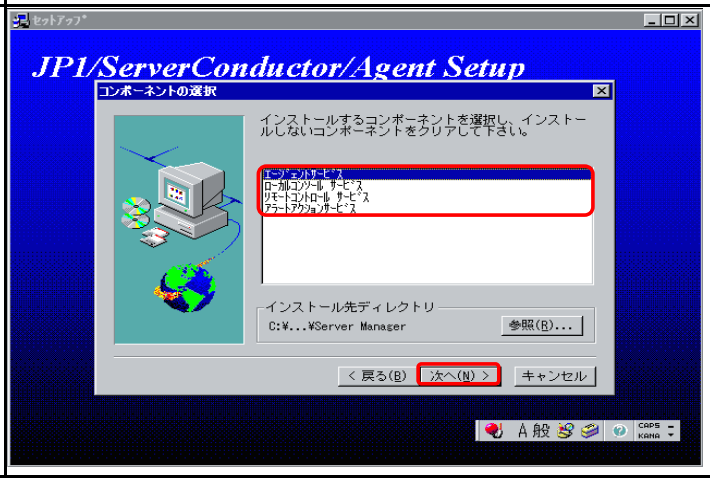
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 69 |  | ■構成マネージャ起動<br>・タスクバーにある「構成マネージャ」をクリックします。 | □ |
| 70 |  | ■構成マネージャ起動<br>・「OK」をクリックします。 | □ |
| 71 | | ・「ハードウェア保守エージェント」のチェックを外します。 | □ |
| 72 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |

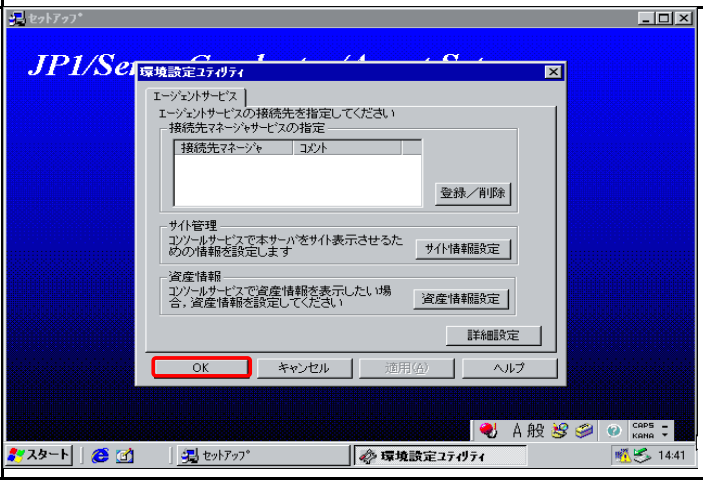
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 73 |  | ・「インストール」をクリックします。 | □ |
| 74 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 75 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・「OK」をクリックします。 | □ |
| 76 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |

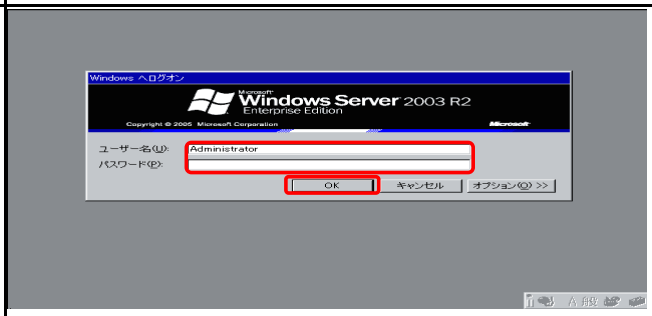
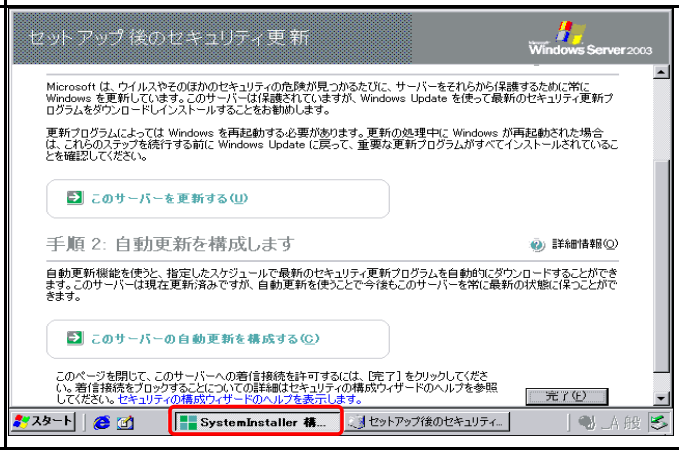
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 77 |  | ・「Next」をクリックします。 | ☐ |
| 78 |  | ・「Next」をクリックします。 | ☐ |
| 79 |  | ・「Finish」をクリックします。 | ☐ |
| 80 | | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |

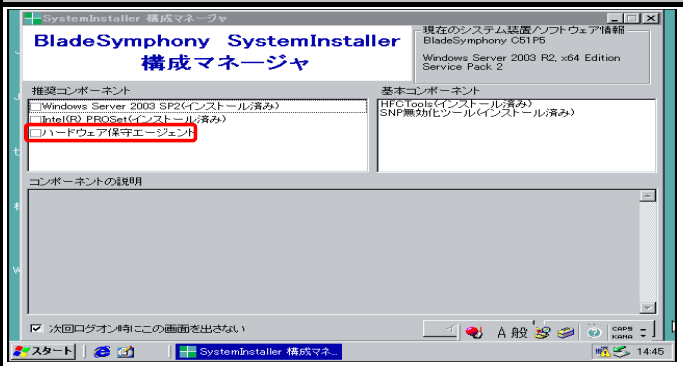
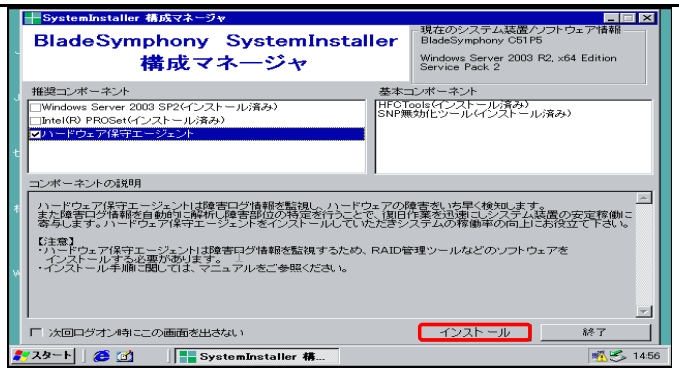
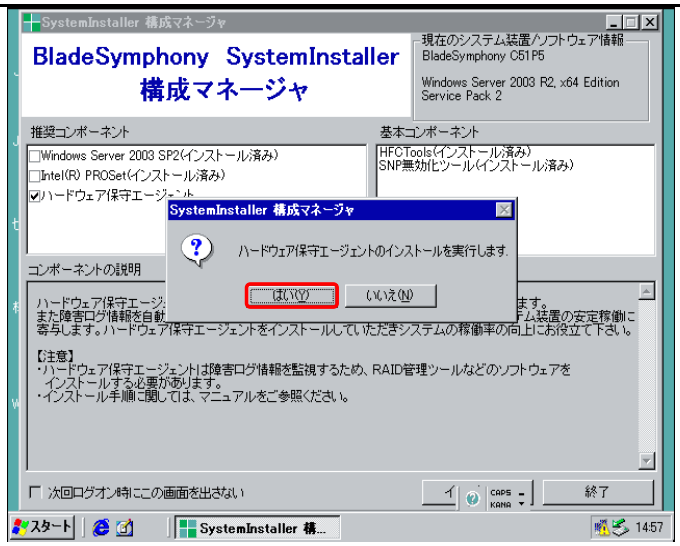
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 81 | | [P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合は手順95へ]<br><br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「はい(Y)」をクリックします。 | ☐ |
| 82 |  | ・「次回ログオン時にこの画面を出さない」のチェックをはずします。 | ☐ |
| 83 |  | ・「終了」をクリックします。 | ☐ |
| 84 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | ☐ |

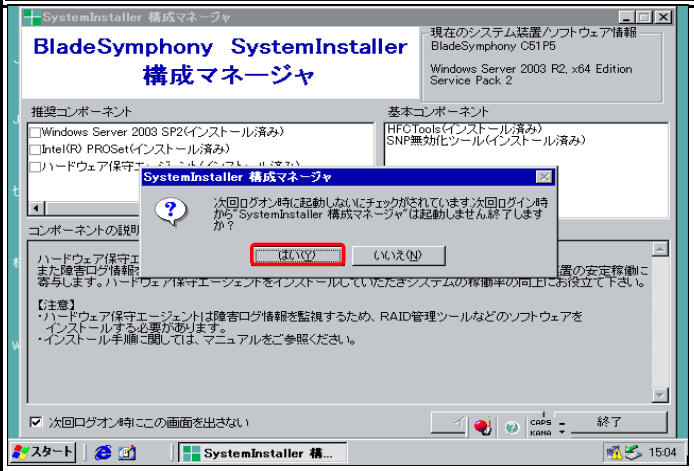
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 85 |  | ・タスクバー「デスクトップの表示」アイコンをクリックします。 | □ |
| 86 |  | ・ソフトウェア「JP1_ServerConductor_Agent_Install」をダブルクリックします。 | □ |
| 87 |  | ・「JP1/ServerConductor/Agentインストール(S)」をクリックします。 | □ |
| 88 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・「キャンセル」をクリックします。 | □ |

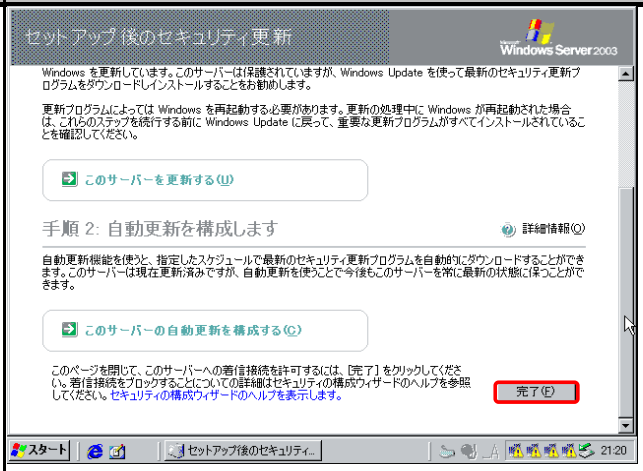
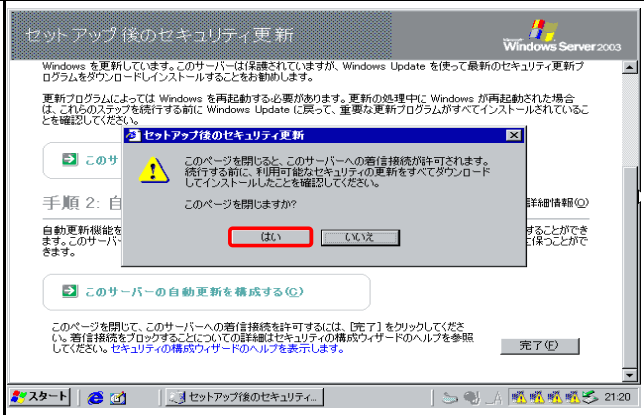
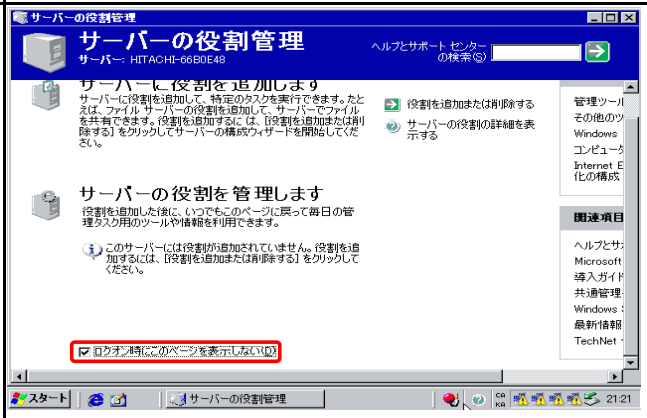
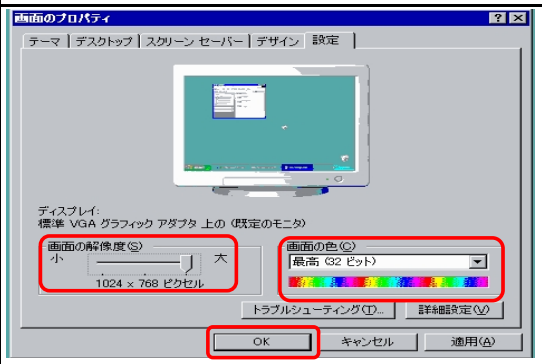
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 89 |  | ・「続行(N)」をクリックします。 | □ |
| 90 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 91 | | ・「名前(A):」と「会社名(C):」を入力します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 92 |  | ・インストールするコンポーネントを選択し、インストールしないコンポーネントを選択解除してください。<br><br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

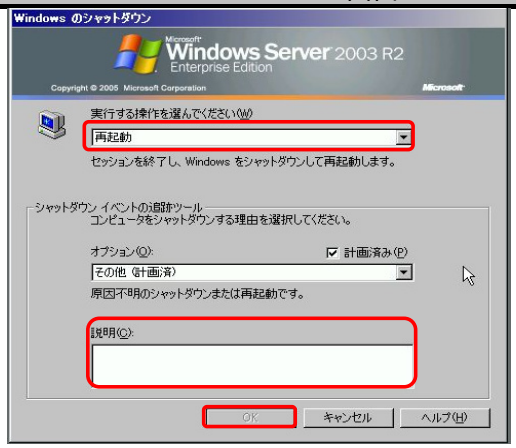
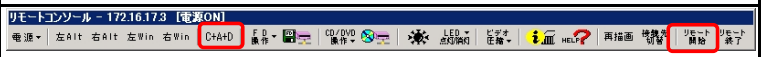
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 93 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 94 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 95 | | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 96 |  | ・「OK」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 97 | | ・「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックします。<br>・「終了」をクリックします。 | □ |
| 98 | | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「JP1/ServerConductor/Agent CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | □ |
| 99 |  | ・Windowsにログオンします。 | □ |
| 100 |  | ・タスクバーにある「構成マネージャ」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 101 |  | ・「ハードウェア保守エージェント」をクリックします。 | □ |
| 102 |  | ・「インストール」をクリックします。 | □ |
| 103 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を入れます。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller　CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を入れます。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller　CD」を入れます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックします。<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller　CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・「はい(Y)」をクリックします。<br><br>※SystemInstallerのディスクを入れると自動再生により『ReadMe』が起動します。起動した場合、ウインドウを閉じて作業を進めてください。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 104 | | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |
| 105 | | ・「OK」をクリックします。 | □ |
| 106 | | ・「次回ログイン時にこの画面を出さない」をクリックします。<br>・「終了」をクリックします。 | □ |
| 107 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 108 |  | ・「完了(F)」をクリックします。 | □ |
| 109 |  | ・「はい」をクリックします。 | □ |
| 110 |  | ・ウインドウ下部にある「ログオン時にこのページを表示しない」をクリックします。<br>・表示画面を閉じます。 | □ |
| 111 |  | ・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「プロパティ」-「設定」で左記のように設定します<br>・「OK」をクリックします。<br>・メッセージ「この設定を保存しますか?」が出力します。<br>・「はい」をクリックします。 | □ |

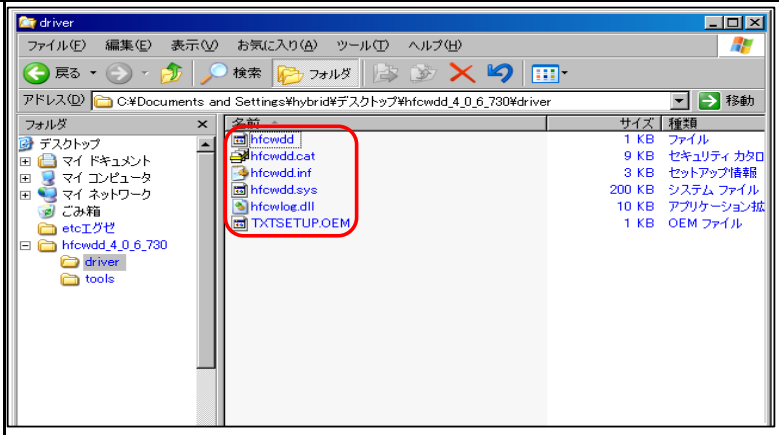
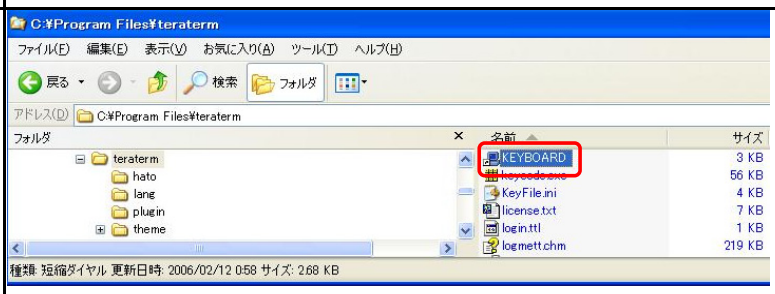
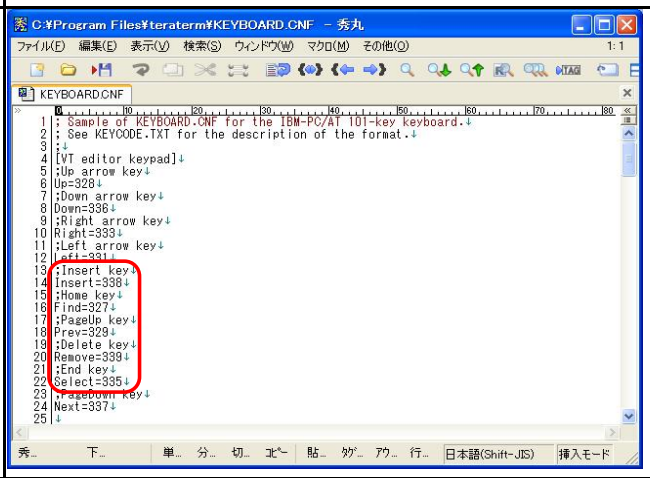
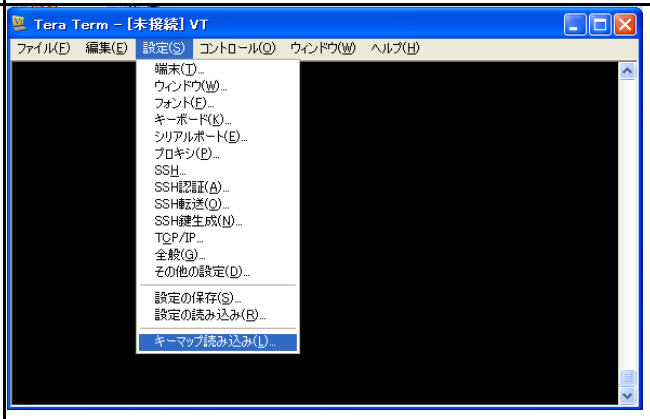
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 112 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を取り出します<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>**P4モデルもしくはP5モデルかつSystemInstallerバージョン05-05以前の場合**<br>・「ハードウェア保守エージェント CD」を取り出します<br>**P5モデルかつSystemInstallerバージョン05-06以降の場合**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。<br>・実行する操作にて再起動を選択します。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |
| 113 |  | ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「C+A+D」を実行します。<br>・「リモート開始」を実行します。 | ☐ |
| 114 | **各ドライバのバージョン情報確認・更新・設定** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br>" 導入後のサポート" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br><br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | ☐ |
| 115 | **インストールしたOSの修正モジュール適用** | ■OS修正モジュールの適用<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" -" OS修正モジュール"を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | ☐ |

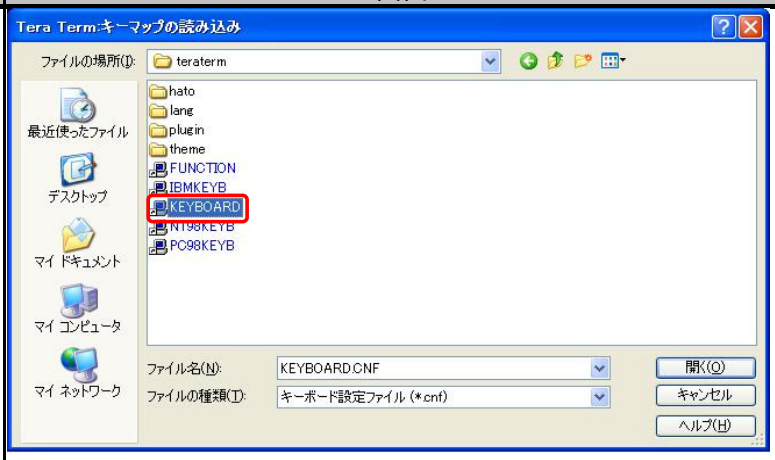
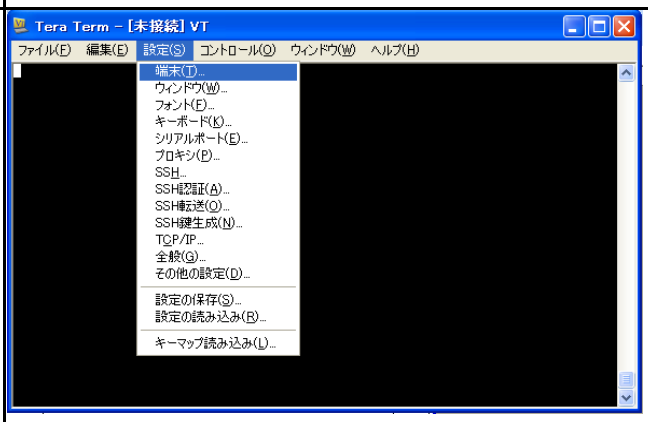
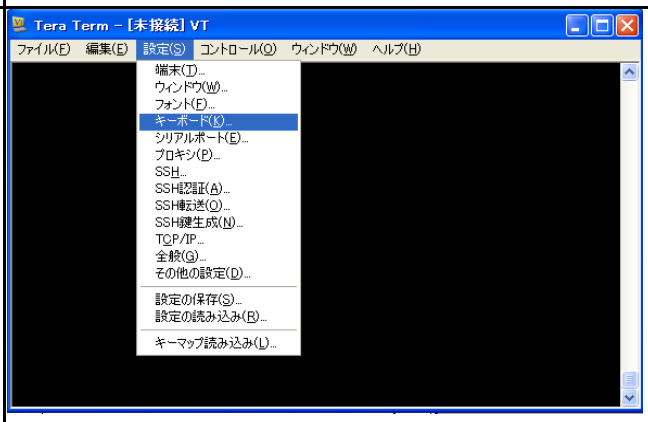
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
| --- | --- | --- | --- |
| 116 | | ■リモートコンソールの終了<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「リモート終了」を実行します。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

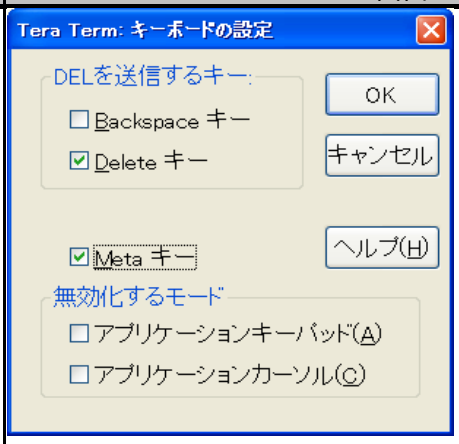
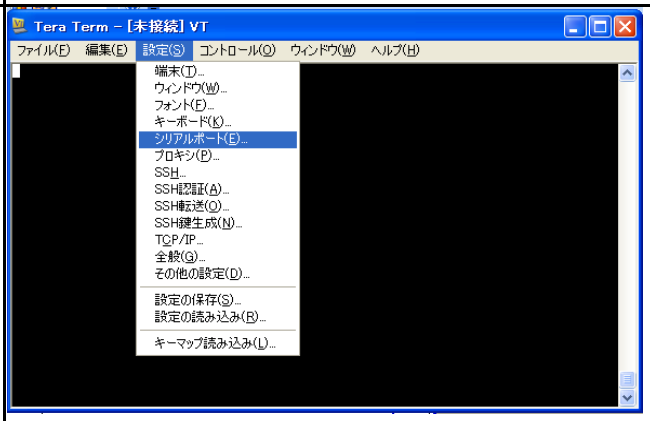
# ２．　Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1 インストール手順(FibreChannelの場合)

## ２．１ 準備

| No. | 画面 | 操作 | ﾁｪｯｸ |
|---|---|---|---|
| 1 | **環境確認** | ■内部接続方式の設定<br>・BS320ブレードのHVM は「内部接続方式」のみで動作します。HVM モードで使用する場合は、内部接続方式の設定を行う必要があります。<br><br>※詳細については、BladeSymphony BS320 Virtageセットアップガイド　基本構成編「LANスイッチモジュールの設定」を参照してください。<br><br>■リモートコンソールのバージョン確認<br>・リモートコンソールバージョン：04-02以降であることを確認します。 | □ |
| 2 | **事前準備** | ■事前に準備するものについて<br>・以下のものを準備します。<br><br>・CD/DVDドライブ または USB DVDドライブ<br>・SystemInstaller CD　※1<br>・Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1メディア<br>・JP1/ServerConductorメディア<br>・ハードウェア保守エージェントメディア※2<br>・CD－R ※3<br>・サービスパックDVD※4<br><br>※1 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載したバージョンを前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstallerによって動作が若干異なる場合があります。<br><br>P4モデル：14-03以降<br>P5モデル：15-06以降<br><br>※2　ハードウェア保守エージェントメディアはブレードモデルがP5モデルかつSystemInstallerCDバージョンが15-06以降の場合は必要ありません。<br>※3 Webからドライバをダウンロードする手順のみに使用します。<br>※4 Windows Server 2008 SP2/R2 SP1をインストールする際に使用します。サーバブレードに添付されていない場合は、Microsoft社のWebページよりダウンロードしてください。 | □ |
| 3 | **SystemInstaller CD内のドライバ確認** | ■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認<br><br>・SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内の readme.html を参照します。<br>インストールに使用するデバイスのドライバがSystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>″導入後のサポート″ −″ サポート製品ダウンロード″−″ ダウンロード最新情報一覧″ | □ |

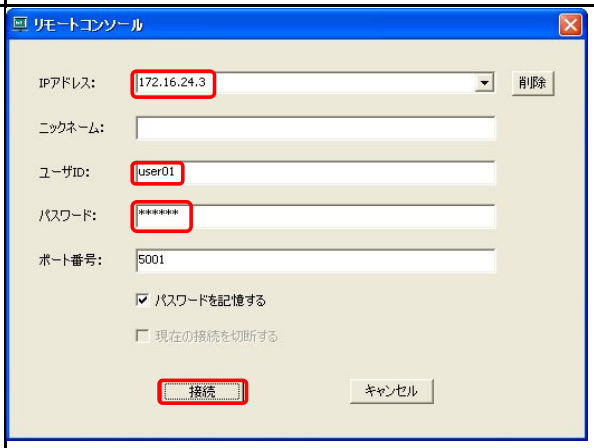
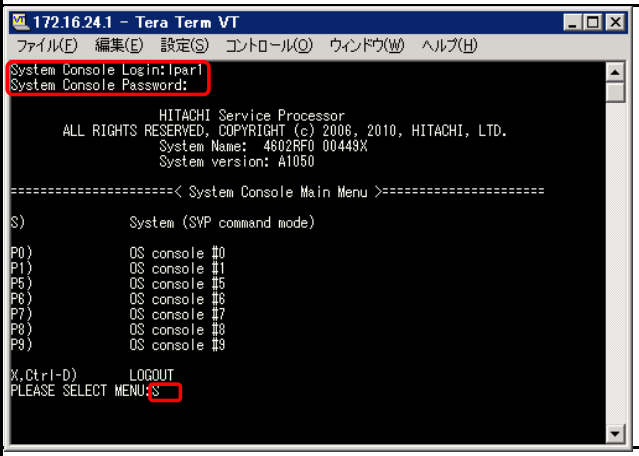
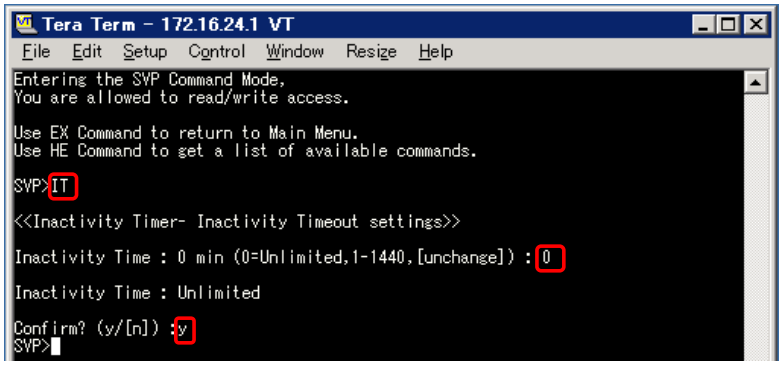
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | SystemInstaller CDに対応したドライバがある場合は手順5に進みます。<br>■Webからダウンロードしたドライバ のCD作成<br>・CDをCDドライブに入れます。<br>・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。<br>・C¥・・・・・・¥拡張カード形名¥driver¥にあるすべてのファイルをCDにコピーします。<br><br>※CDにはディレクトリなしでコピーしてください。フォルダを作成するとインストールの際にドライバを読み込むことができなくなります。 | □ |
| 5 |  | ■Tera Termの設定<br>・KEYBOARD.CNFを開きます。 | □ |
| 6 |  | ・以下の設定になっていることを確認します。<br><br>Insert=338<br>Find=327<br>Prev=329<br>Remove=339<br>Select=335 | □ |
| 7 |  | ・「設定(S)」-「キーマップ読み込み(L)」をクリックします。 | □ |

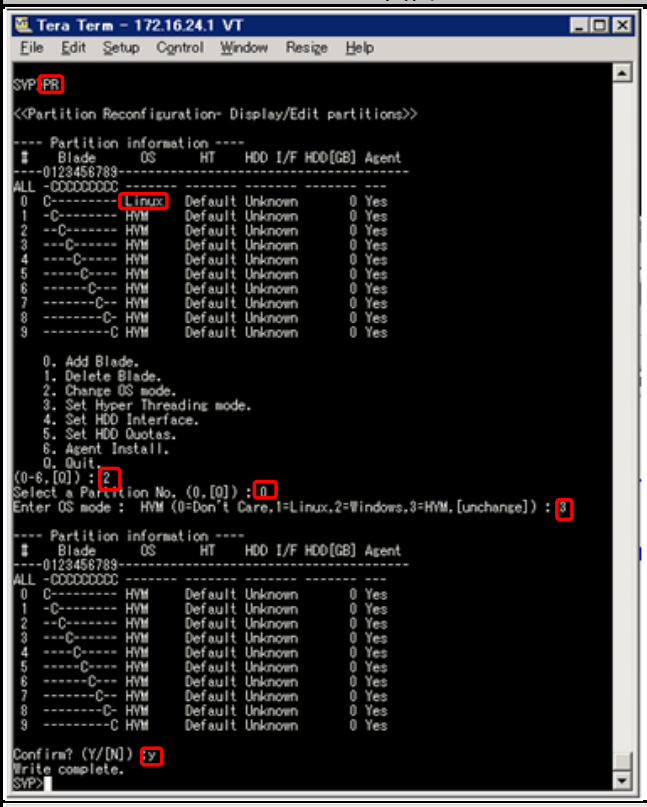
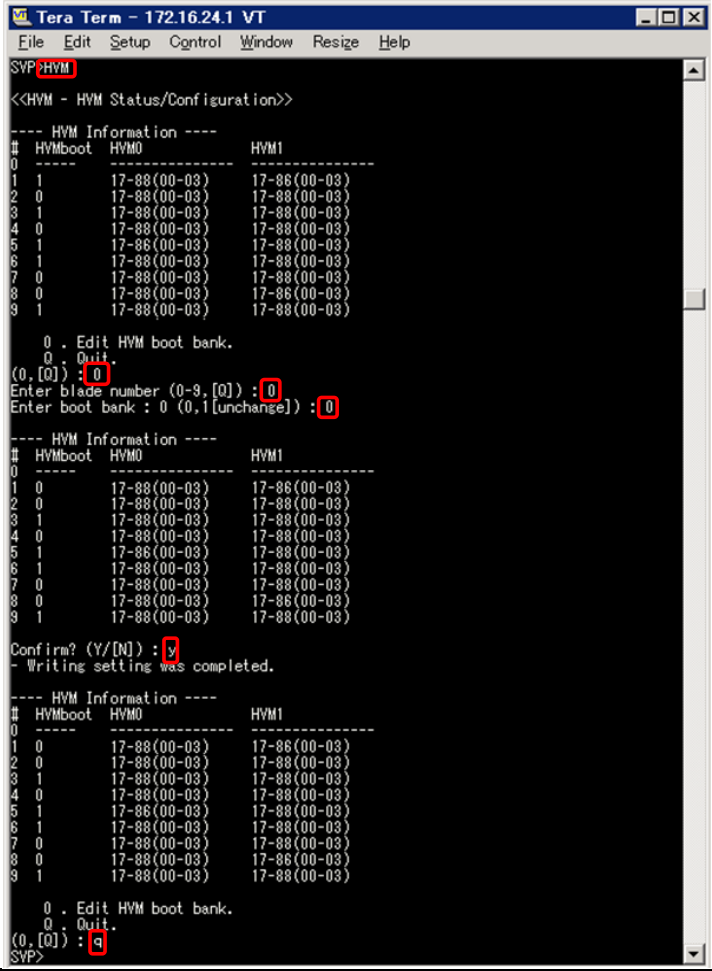
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・KEYBOARD.CNFを選択します。 | ☐ |
| 9 |  | ・「設定(S)」-「端末(T)」をクリックします。 | ☐ |
| 10 | | ・左記の設定となっていることを確認します。 | ☐ |
| 11 |  | ・「設定(S)」-「キーボード(K)」をクリックします。 | ☐ |

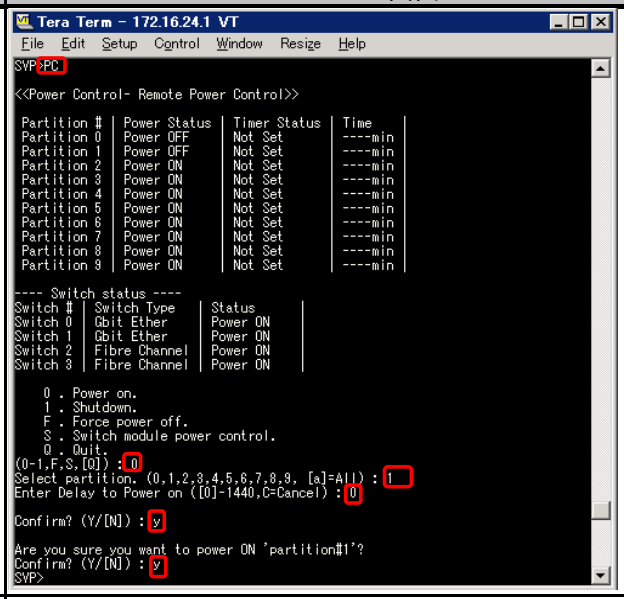
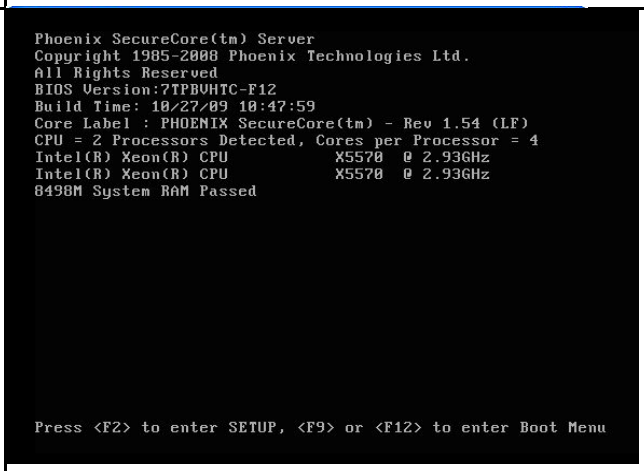
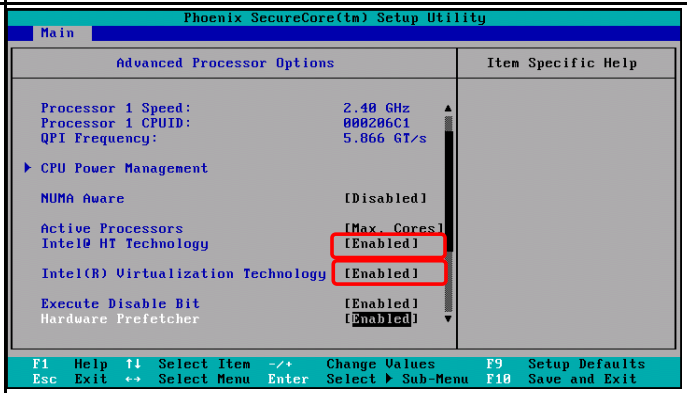
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ・左記の設定となっていることを確認します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「設定(S)」-「シリアルポート(E)」をクリックします。 | ☐ |
| 14 | | ・左記の設定となっていることを確認します。 | ☐ |

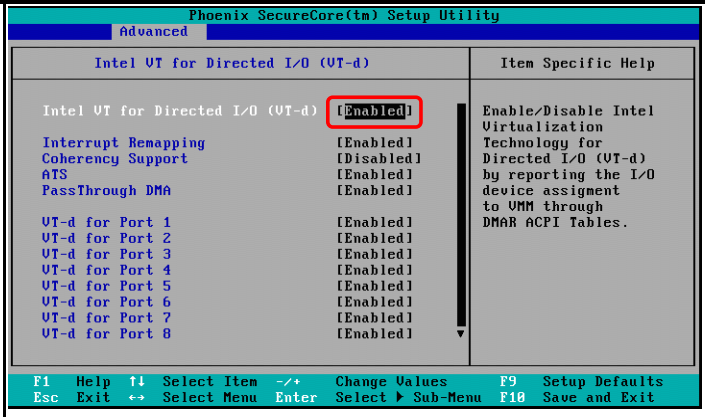
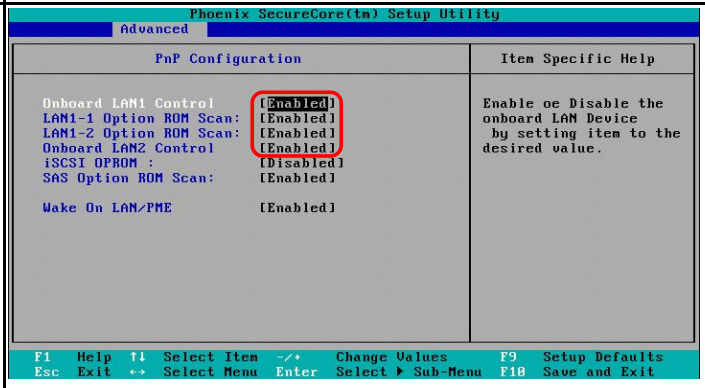
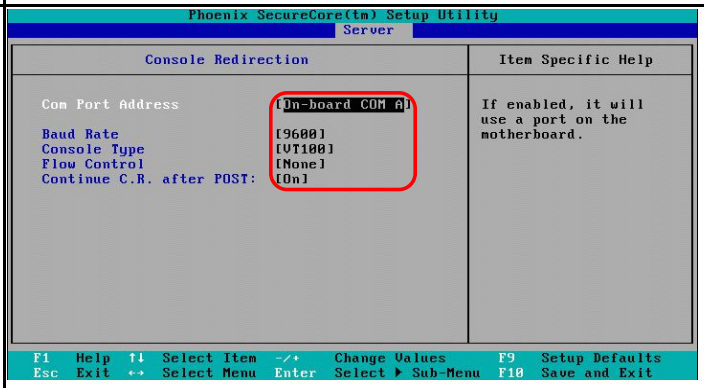
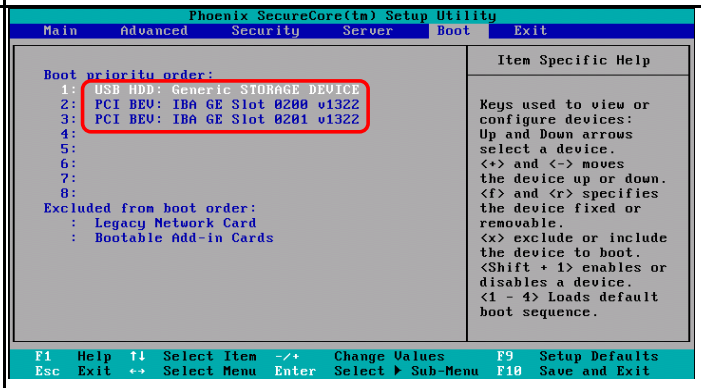
2．2　HVMの起動 に進みます。

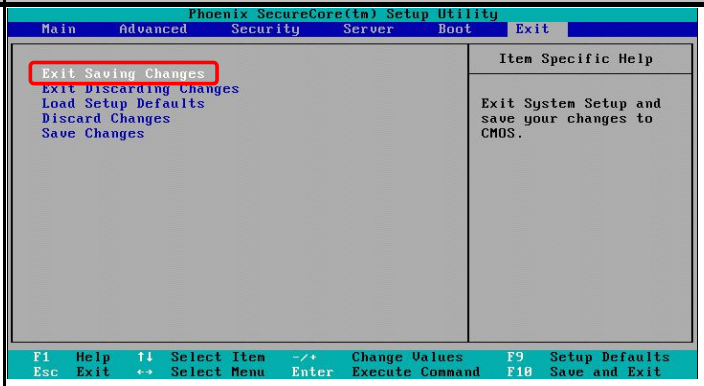
## 2．2 HVMの起動

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |
| 3 | **コンソールの切替：Tera Term** | | □ |
| 4 |  | ■SVPにログイン<br>・SVPのIPアドレスを入力し、SVPへ接続します。<br>・ログインIDを入力します。<br>・ログインパスワードを入力します。<br>・「S」を入力します。 | □ |
| 5 |  | ■タイムアウト時間の設定<br>※操作がなかった場合に自動で切断される時間を設定できます。<br><br>・「IT」を入力します。<br>・任意の値を入力します。（「0」を設定すると自動で切断されなくなります）<br>・「y」を入力します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 6 |  | ■HVMモードの設定<br>・「PR」を入力します。<br>・「OS」の設定値が「HVM」であることを確認してから、「q」を入力します。<br><br>※「HVM」に設定されていない場合は、次の手順を行ってください。<br><br>・「2」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「3」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ■HVMファームウェア面番号の設定<br>・「HVM」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「HVMファームウェア面番号」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「q」を入力します。 | □ |

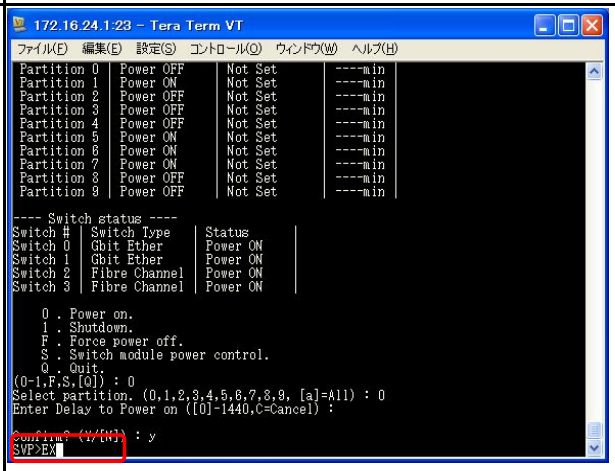
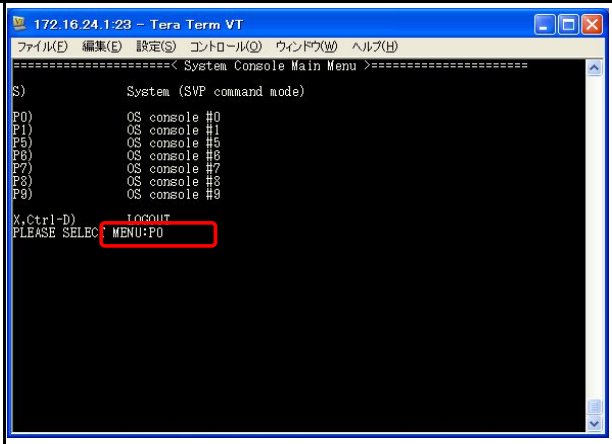
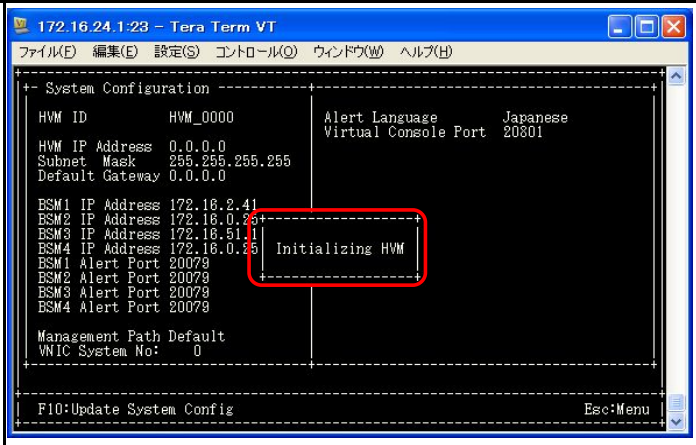
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ■電源の投入<br>・「PC」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | ☐ |
| 9 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | | ☐ |
| 10 |  | ・「Press <F2>…」と表示されたら、「F2」キーを押します。<br><br>※操作が間に合わなかった場合は、一度ブレードの電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。 | ☐ |
| 11 |  | ■BIOSの設定<br>※次の設定でなければ設定値を変更してください。<br><br>・「Main」-「Advanced Processor Options」<br>に移動します。<br>・「NUMA Aware」が「Disabled」<br>に設定されていることを確認します。<br>※HVMファームウェアバージョンが17-86以降の場合は「Enabled」に設定することもできます。<br><br>・「Intel@ HT Technology」が「Enabled」<br>に設定されていることを確認します。<br>※お使いの機種によっては表示されないことがあります。<br><br>・「Intel(R) Virtualization Technology」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | ☐ |

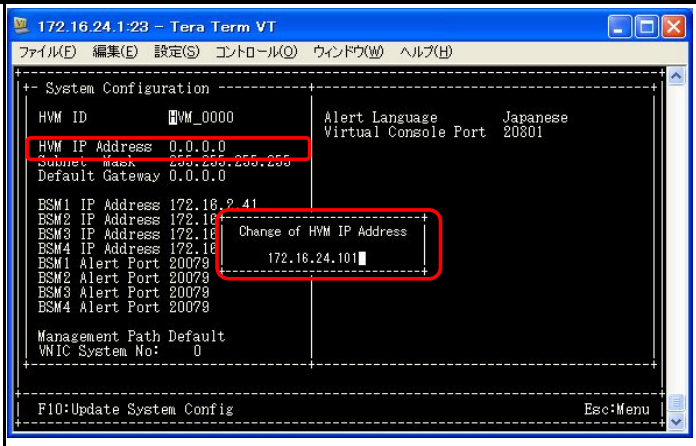
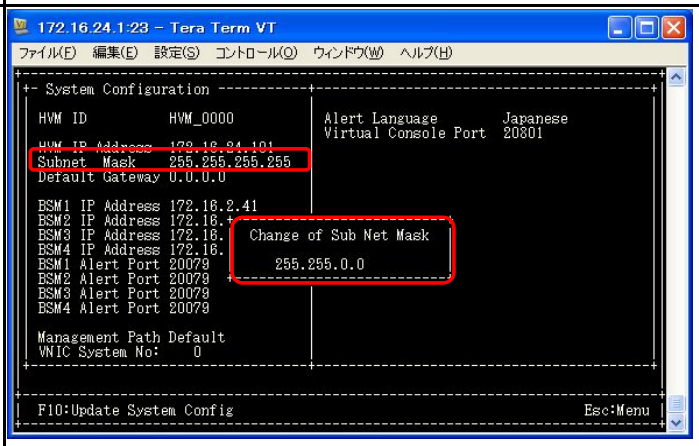
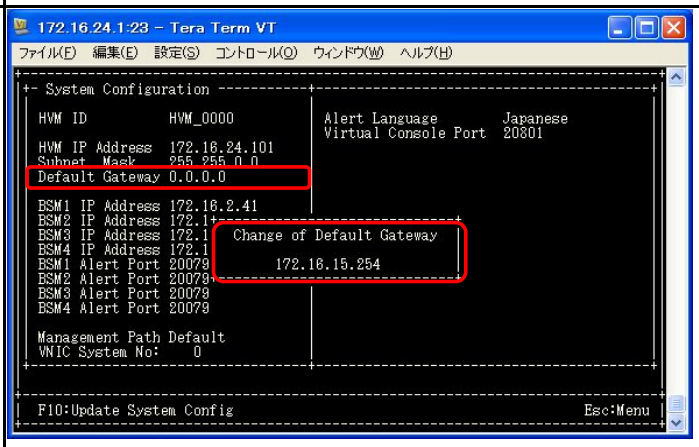
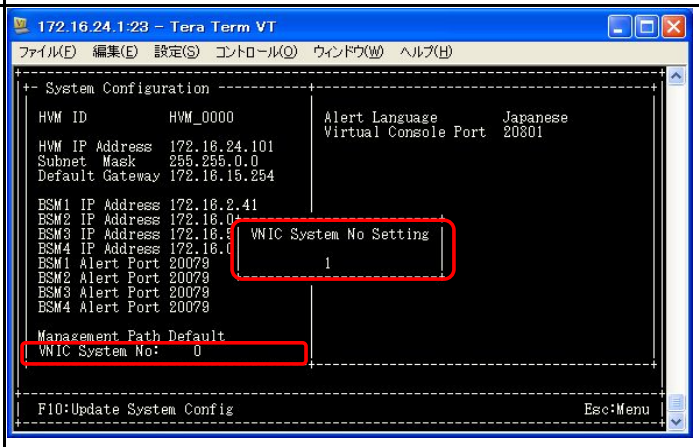
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ・「Advanced」-「Advanced Chipset Control」に移動します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)を選択します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 13 |  | ・「Advanced」-「PnP Configuration」に移動します。<br>・「LAN1-1 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「LAN1-2 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「Onboard LAN2 Control」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 14 |  | ・「Server」-「Console Redirection」に移動します。<br>・「Com Port Address」が「On-board COM A」に設定されていることを確認します。<br>・「Baud Rate」が「9600」に設定されていることを確認します。<br>・「Console Type」が「VT100」に設定されていることを確認します。<br>・「Flow Control」が「None」に設定されていることを確認します。<br>・「Continue C.R. after POST」が「On」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 15 |  | ・「Boot」に移動します。<br>・「Boot Priority order」に「USB HDD: Generic STORAGE DEVICE」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br><br>※「x」キーにより、「Excluded from boot order」から「Boot Priority order」に移動することができます。 | □ |

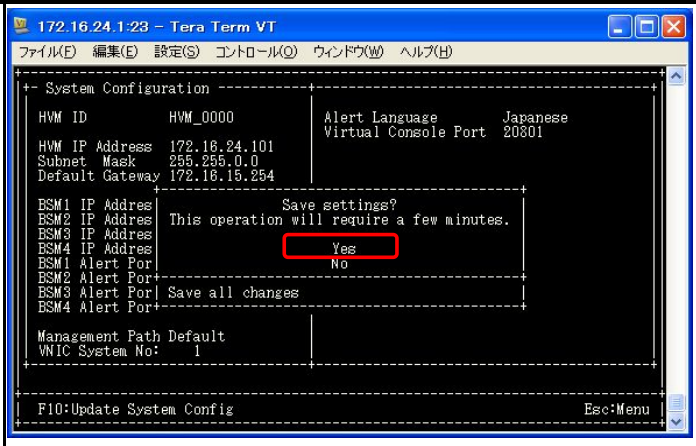
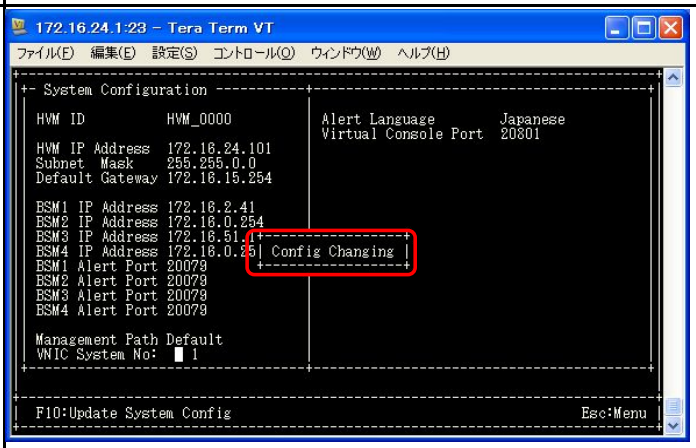
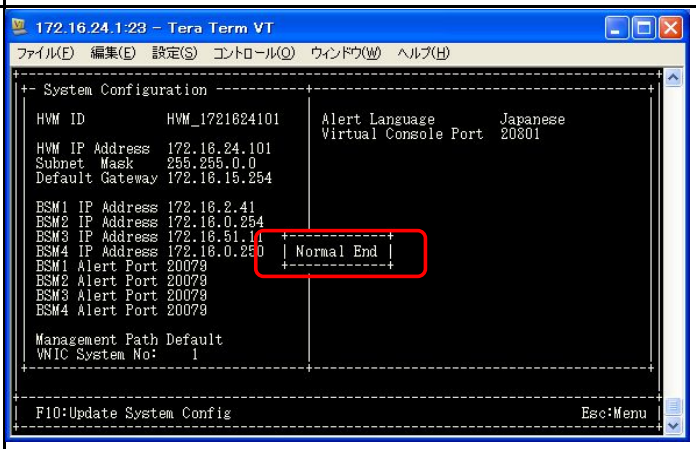
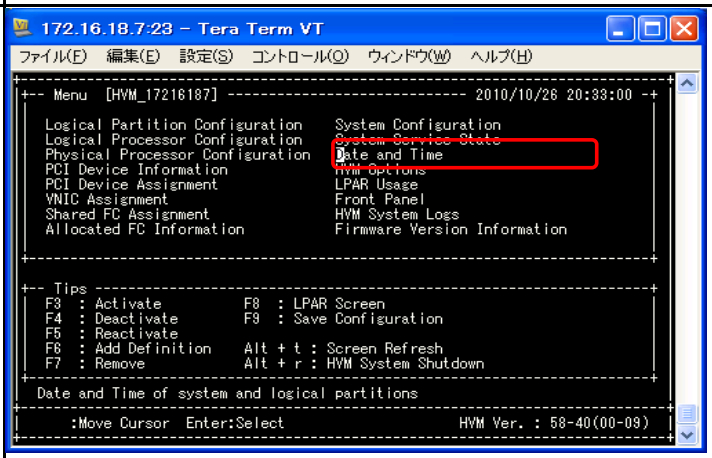
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ・「Exit Saving Changes」を選択します。<br>・「Yes」を選択します。 | □ |
| 17 | | ・サーバブレードが再起動します。 | □ |

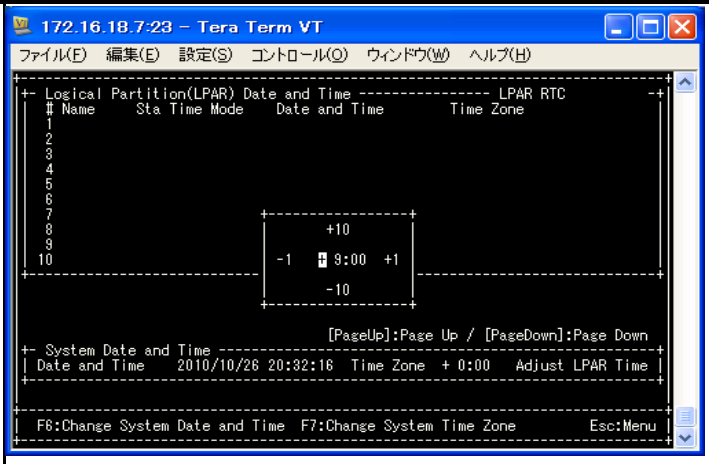
2．3　HVMの設定 に進みます。

## 2．3 HVMの設定

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | コンソールの切替：Tera Term | | □ |
| 2 |  | ・「EX」を入力します。 | □ |
| 3 |  | ・「P」+「ブレード番号」を入力します。 | □ |
| 4 |  | ■HVMの設定<br>・「Alt」＋「t」を入力します。<br><br>※Bladeの電源をONにしてから、約7分でSystem Configurationが表示されます。また、「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ・「HVM IP Address」を選択します。<br>・「HVM IP Address」を入力します。 | □ |
| 6 |  | ・「Subnet Mask」を選択します。<br>・「Subnet Mask」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ・「Default Gateway」を選択します。<br>・「Default Gateway」を入力します。 | □ |
| 8 |  | ・「VNIC System No」を選択します。<br>・「VNIC System No」を入力します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ■システム構成情報の更新<br>・「F10」キーを押します。<br>・「Yes」を選択します。 | ☐ |
| 10 |  | ※「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。 | ☐ |
| 11 |  | ※システム構成情報が更新されます。 | ☐ |
| 12 |  | ■TimeZoneの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Date and Time」を選択します。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・「F7」(Change System Time Zone) を押します。<br>・矢印キー (「↑」、「↓」、「←」、「→」)を押し、システムタイムゾーンを＋9:00にします。 | □ |

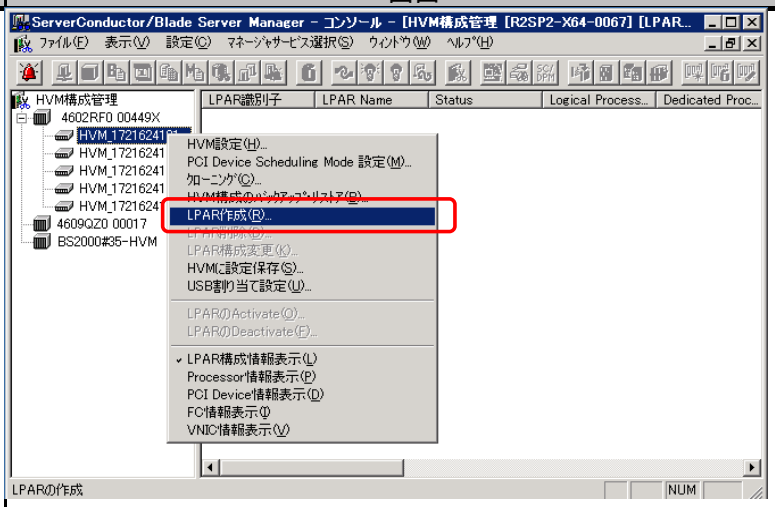
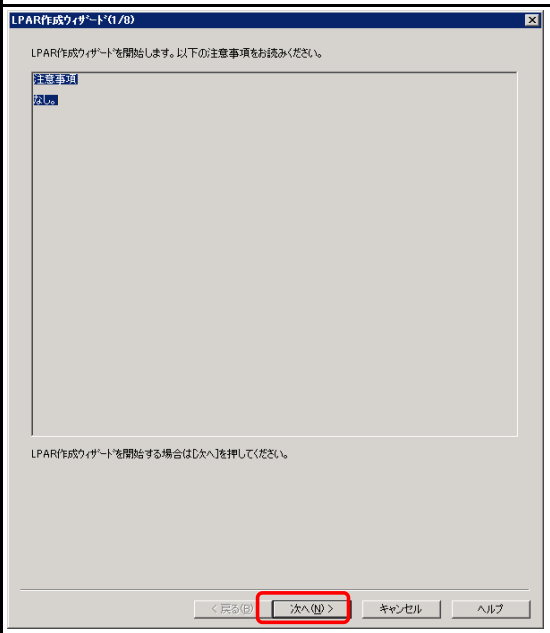
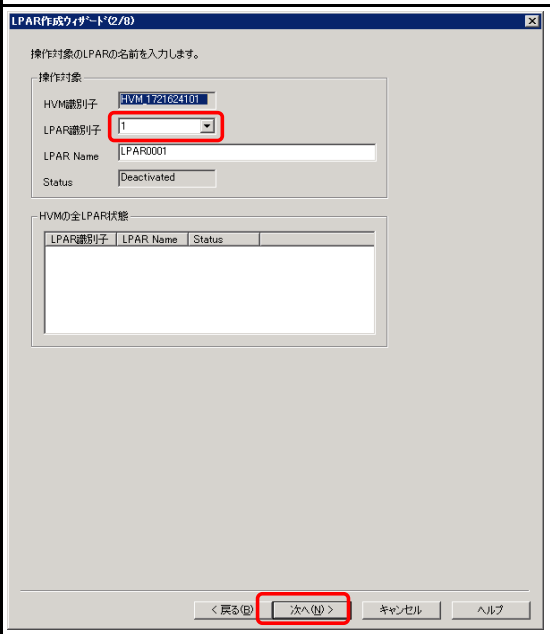
**2．4 LPARの構築に進みます。**

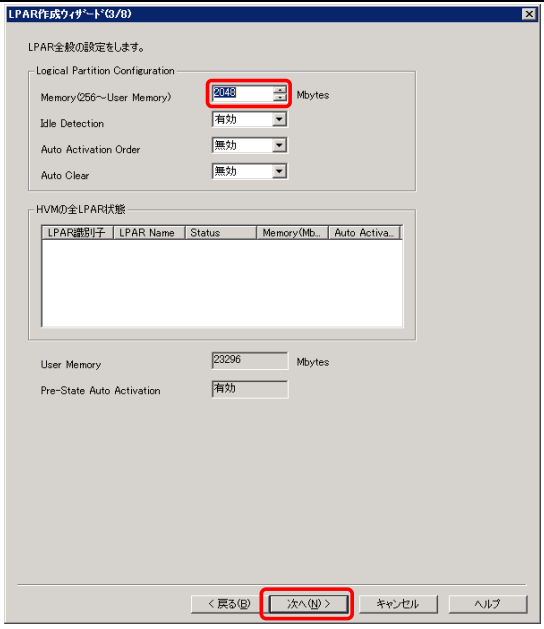
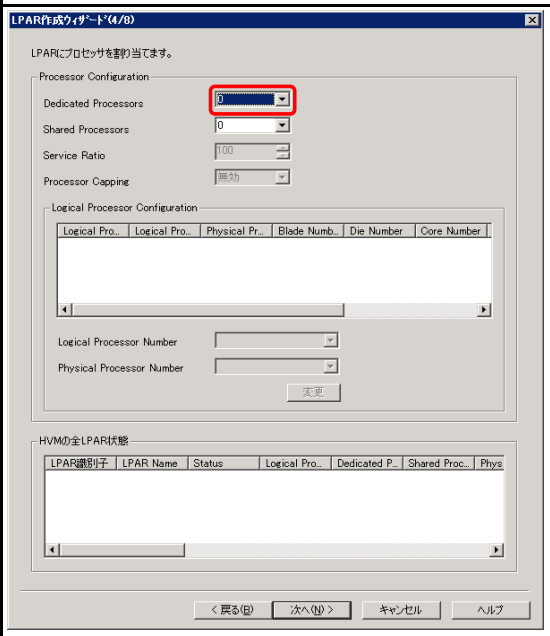
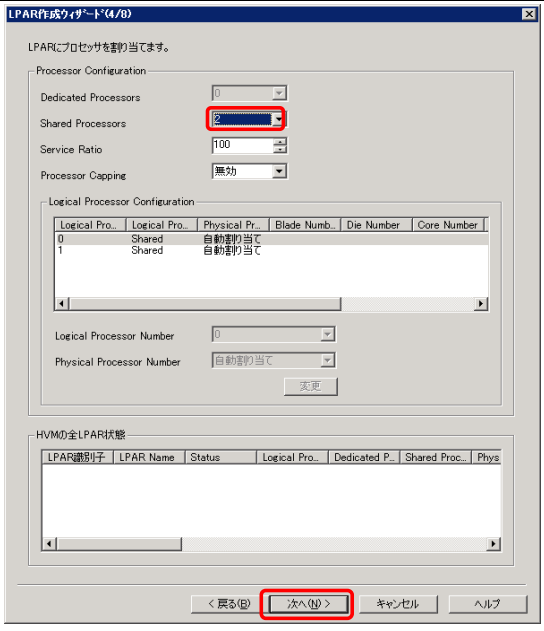
JP1/SC/BSMを使用する場合 2．4．1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合) に進みます。

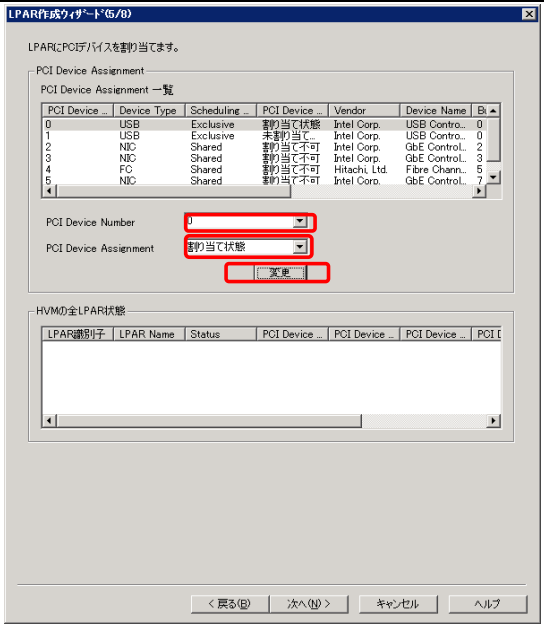
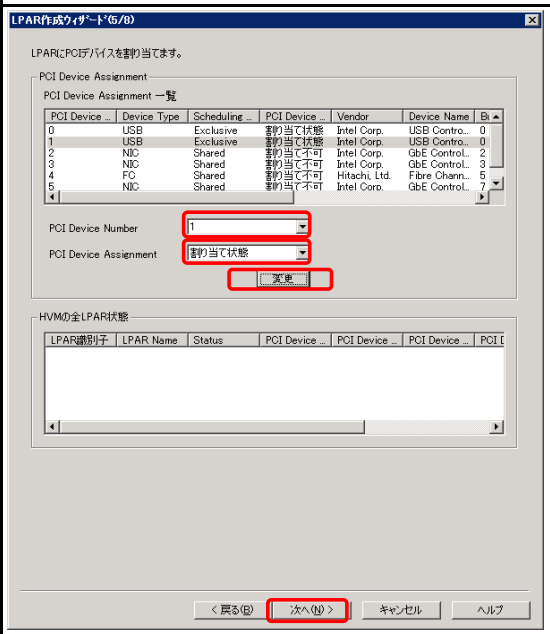
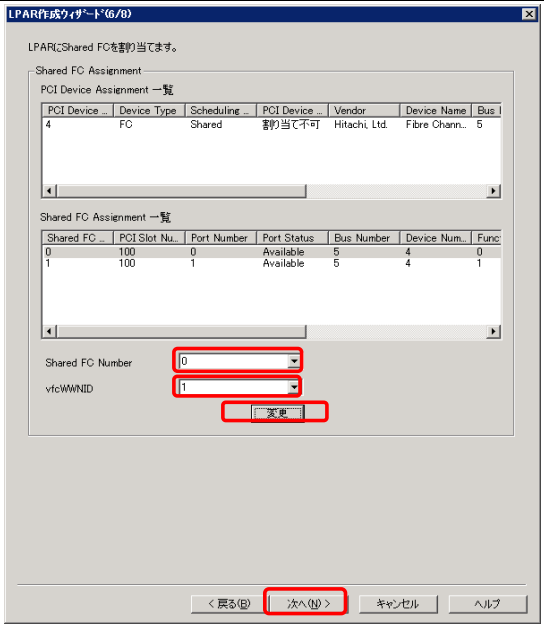
HVM Ver(17-42)以前を使用する場合 2．4．2 LPARの構築(HVM Ver(17-42)以前を使用する場合) に進みます。

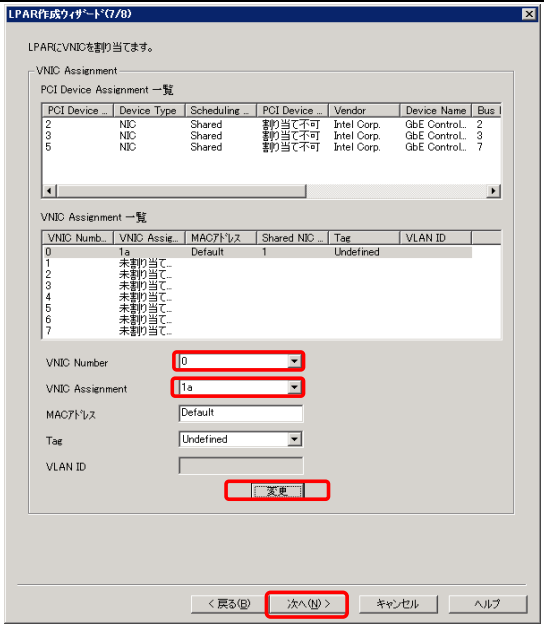
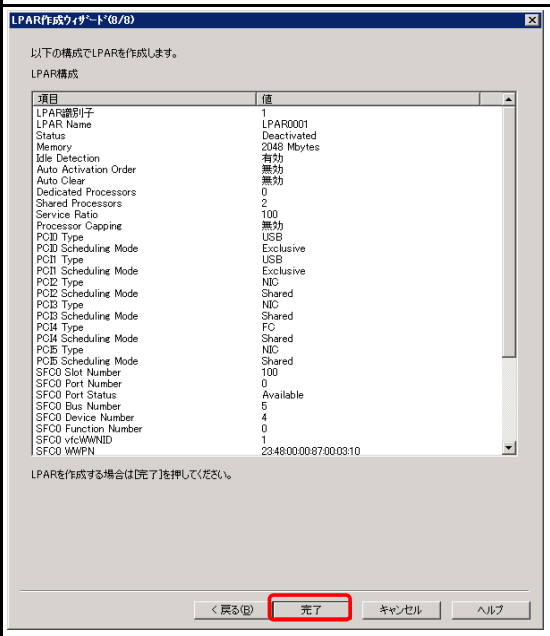
HVM Ver(17-60)以降を使用する場合 2．4．3 LPARの構築(HVM Ver(17-60)以降を使用する場合) に進みます。

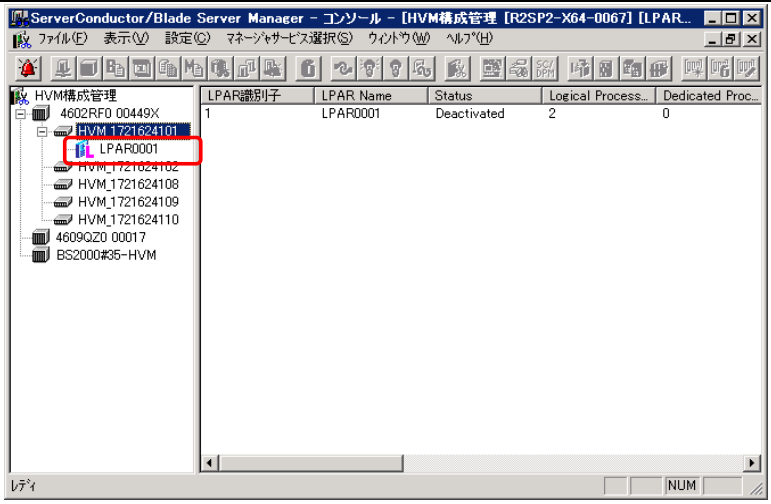
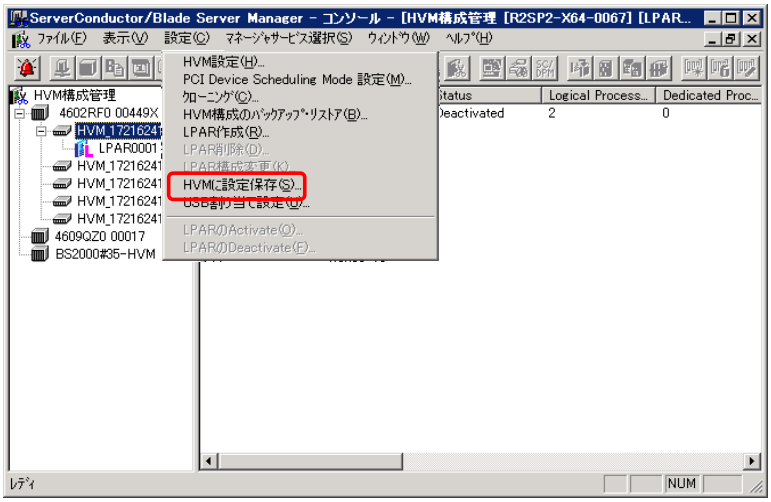
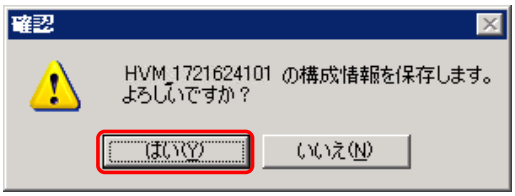
## 2．4　LPARの構築
### 2．4．1　LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

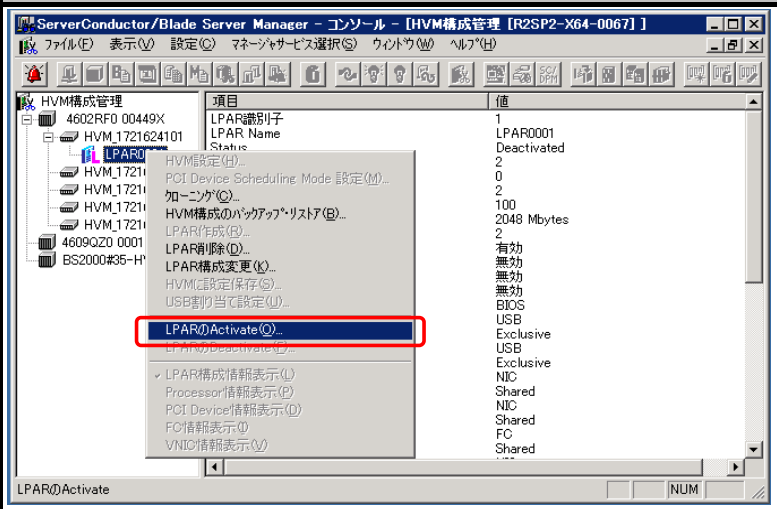
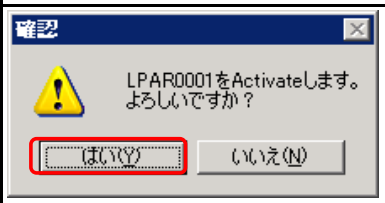
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・HVM構成管理でLPARを作成するHVM IDをクリックします。<br>・マウスで右クリックし「LPAR作成(R)」をクリックします。 | □ |
| 2 |  | ・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 3 |  | ・LPAR識別子を選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■メモリサイズの設定<br>・任意のメモリサイズを選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 5 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・占有プロセッサが「0」であることを確認します。 | □ |
| 6 |  | ・共有プロセッサで、任意のプロセッサ数を選択します。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 7 |  | ■PCIデバイスの割り当て<br>・「0」を選択します。<br>・「割り当て状態」を選択します。<br>・「変更」をクリックします。 | □ |
| 8 |  | ・「1」を選択します。<br>・「割り当て状態」を選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |
| 9 |  | ■共有FCポートの設定<br>・任意のポートを選択します。<br>・任意のIDを選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

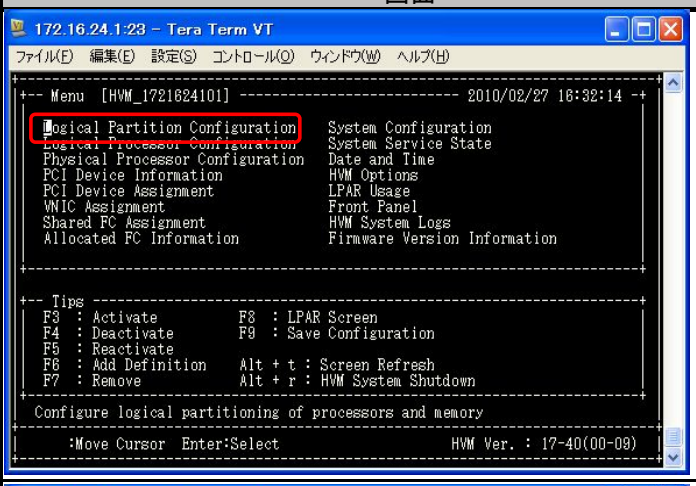
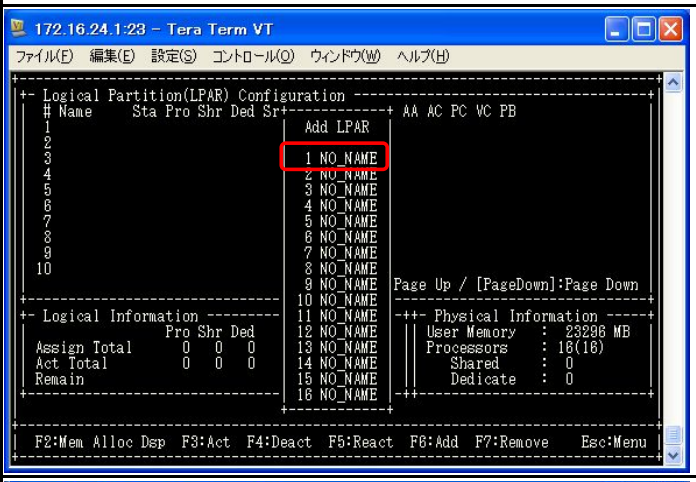
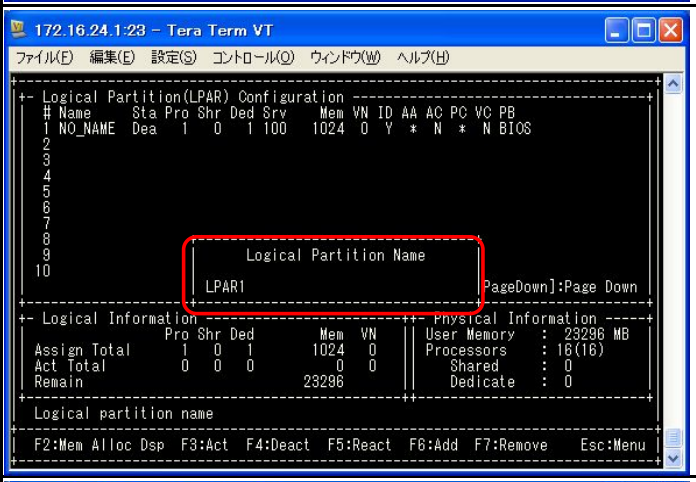
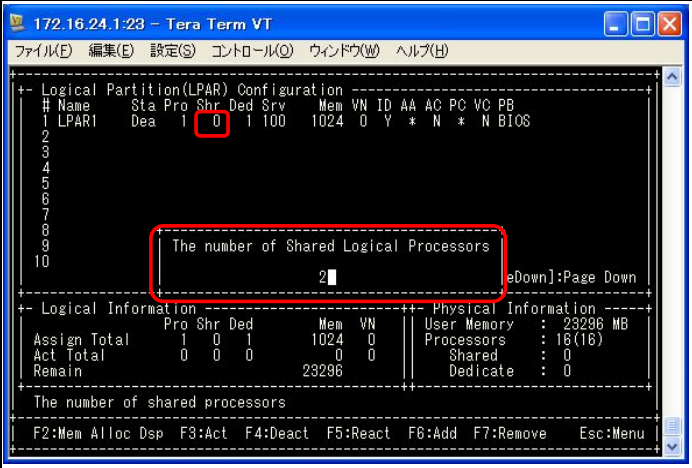
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ■共有NICの設定<br>・任意のVNIC Numberを選択します。<br>・任意の割り当て先を選択します。<br>・「変更」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 11 |  | ・「完了」をクリックします。 | ☐ |
| 12 | | ・「OK」をクリックします。 | ☐ |

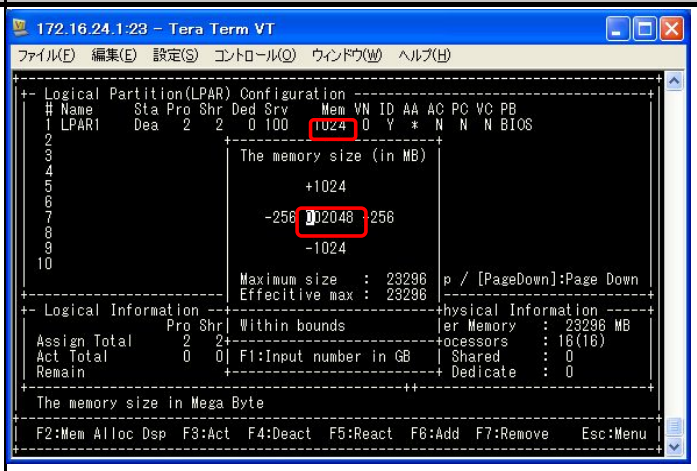
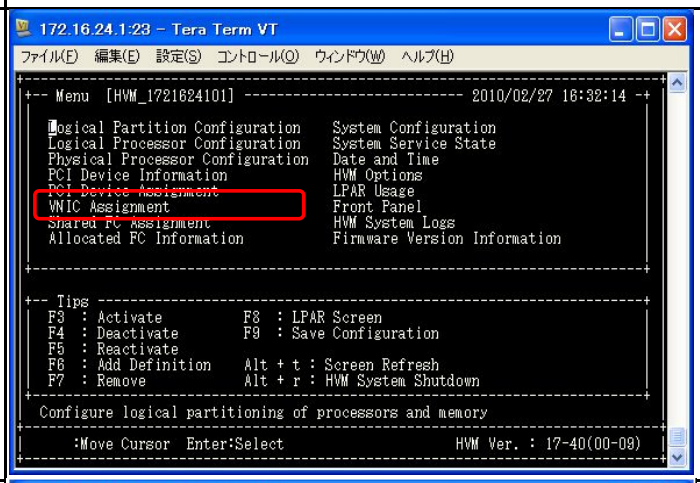
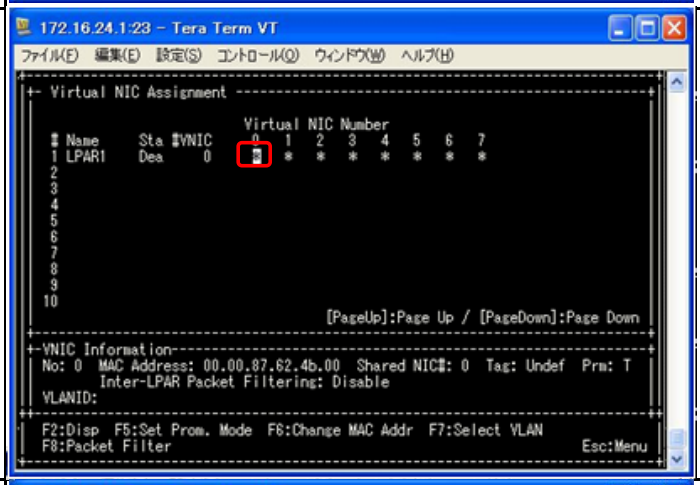
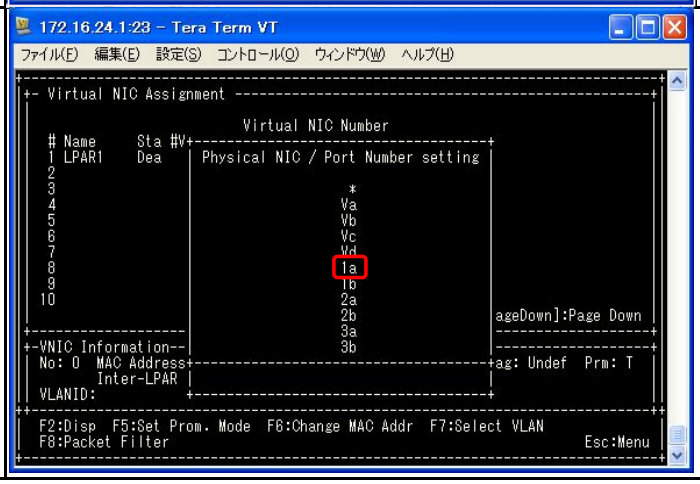
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・LPARが作成されます。 | □ |
| 14 |  | ■構成定義の保存<br>・「HVMに設定保存(S)」をクリックします。 | □ |
| 15 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | □ |

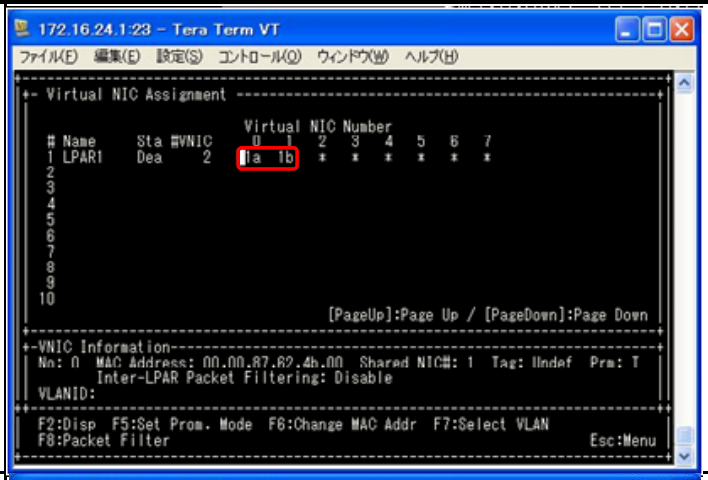
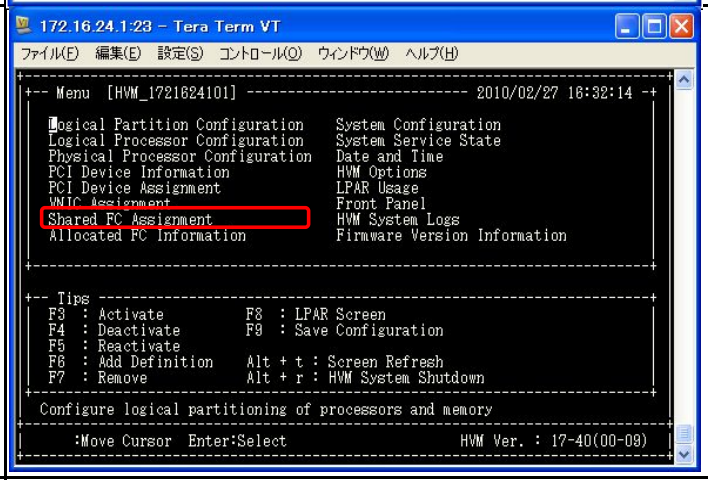
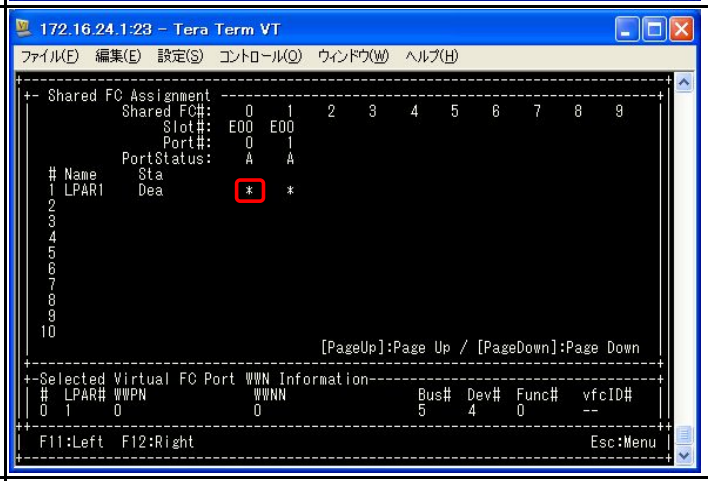
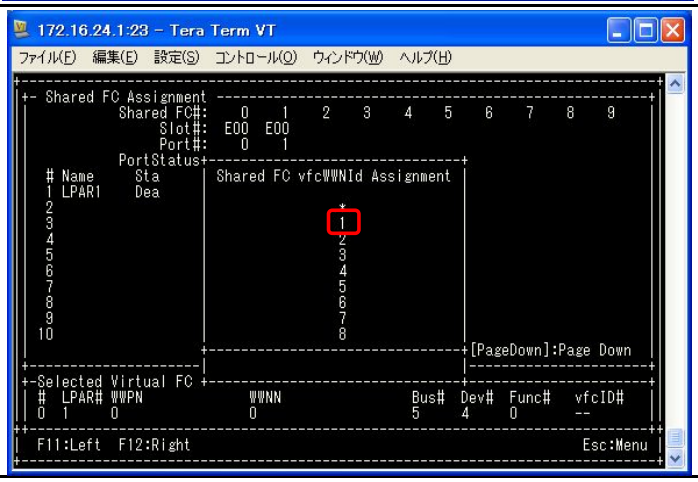
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ■LPARの起動<br>・「LPARのActivate(O)」をクリックします。 | ☐ |
| 17 |  | ・「はい(Y)」をクリックします。 | ☐ |

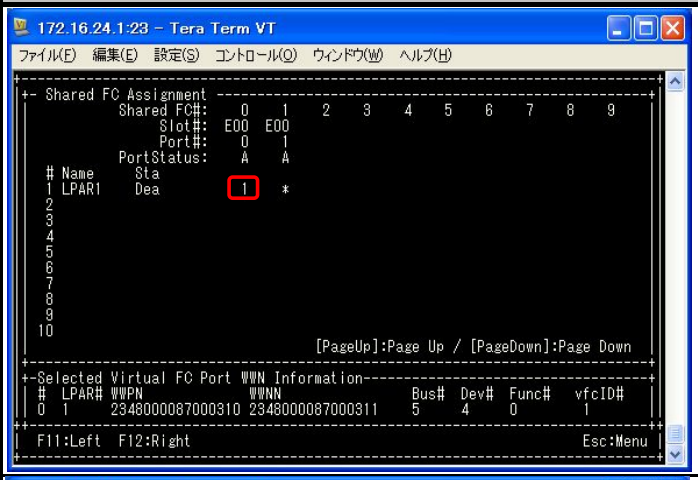
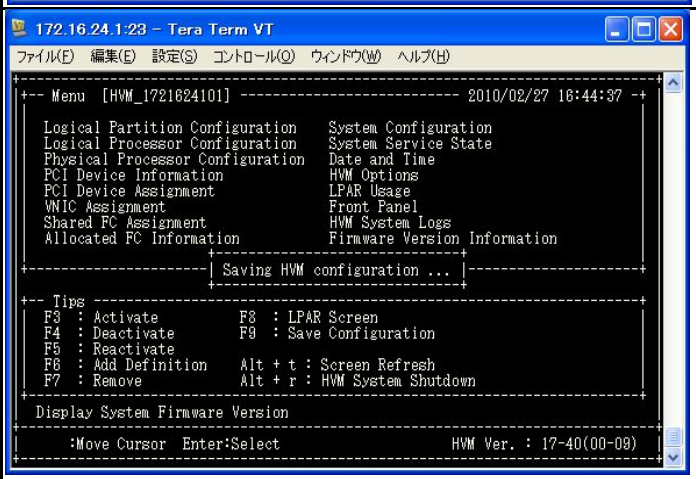
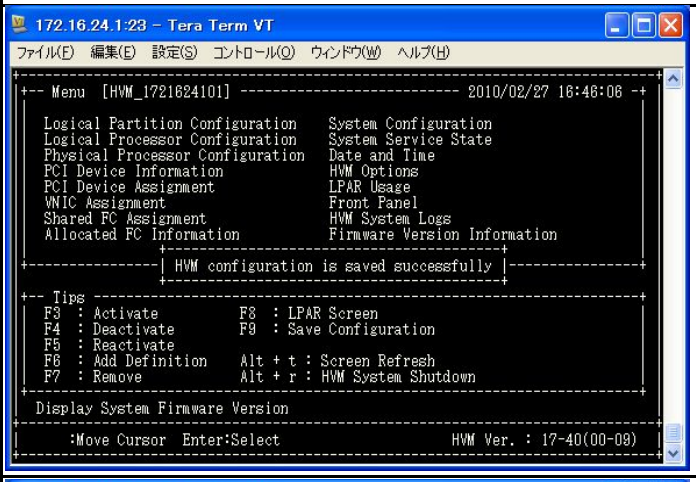
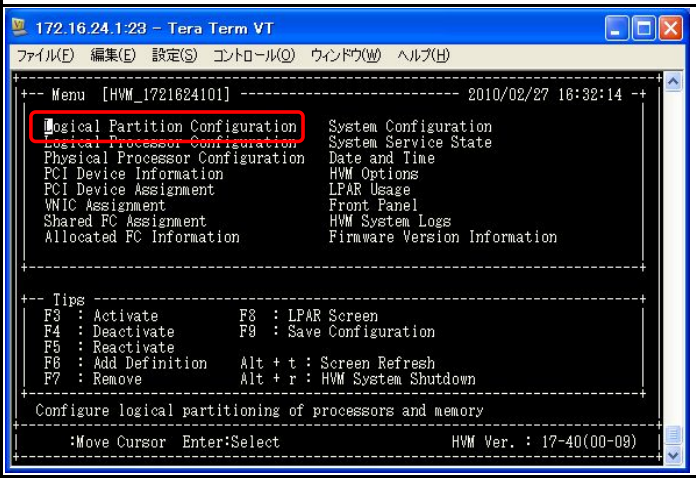
2．5　Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール　に進みます。

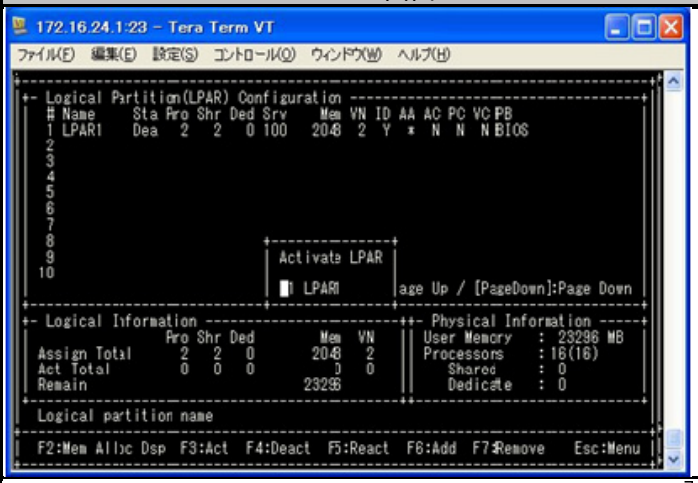
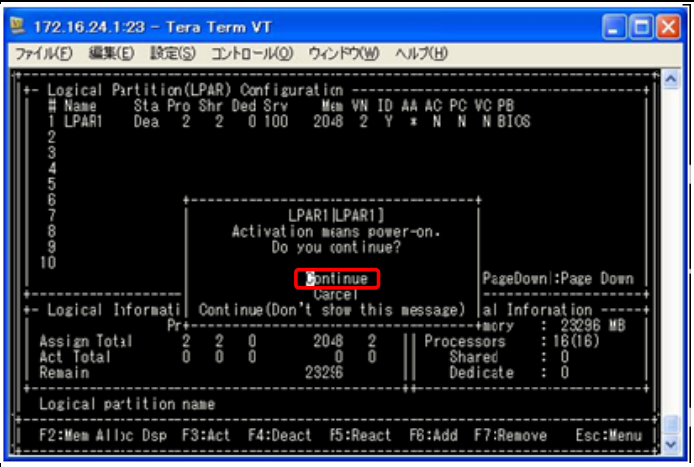
## 2．4．2　LPARの構築(HVM_Ver(17-42)以前を使用する場合)

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 2 |  | ・「F6」キーを押します。<br>・作成するLPAR番号を選択します。 | □ |
| 3 |  | ■LPAR名称の設定<br>・「Name」列を選択します。<br>・「LPAR名称」を入力します。<br><br>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。 | □ |
| 4 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・「Shr」列を選択します。<br>・任意のプロセッサ数を入力します。 | □ |

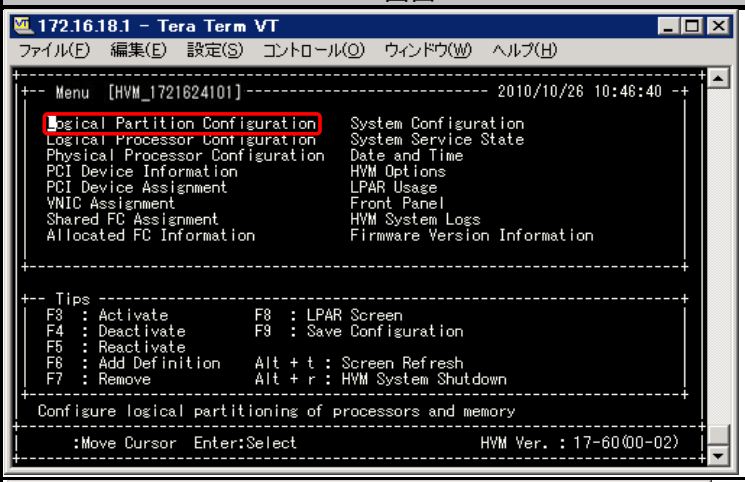
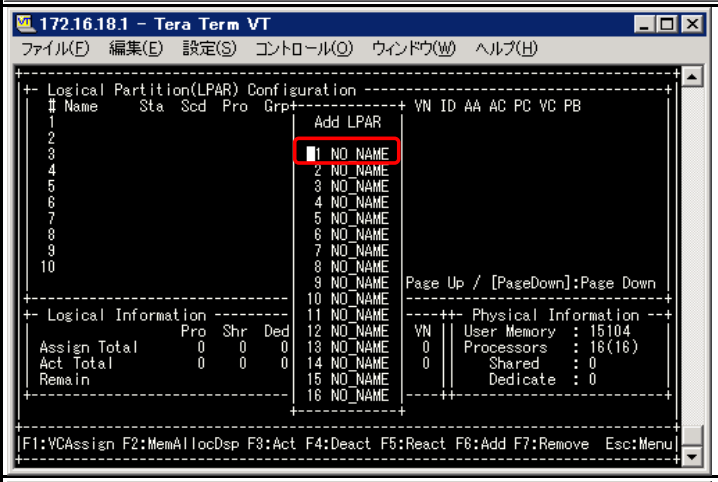
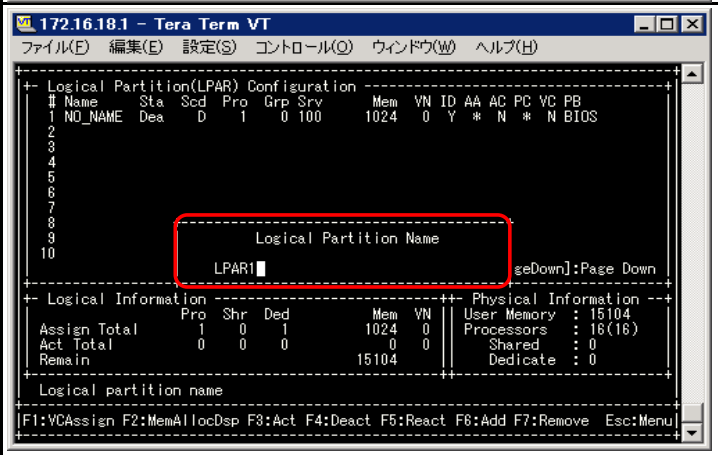
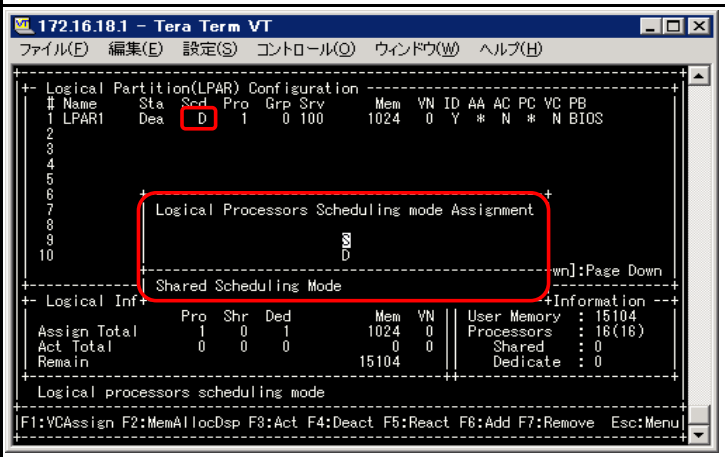
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■メモリサイズの設定<br>・「Mem」列を選択します。<br>・任意のメモリサイズを選択します。 | □ |
| 6 |  | ■共有NICの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「VNIC Assignment」を選択します。 | □ |
| 7 |  | ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 | □ |
| 8 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |

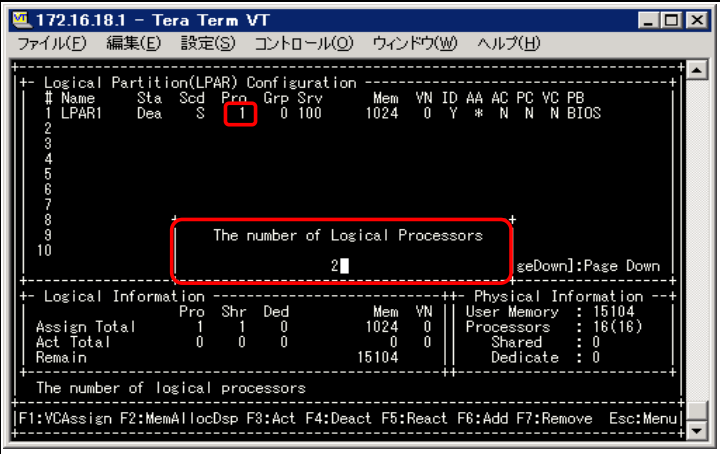
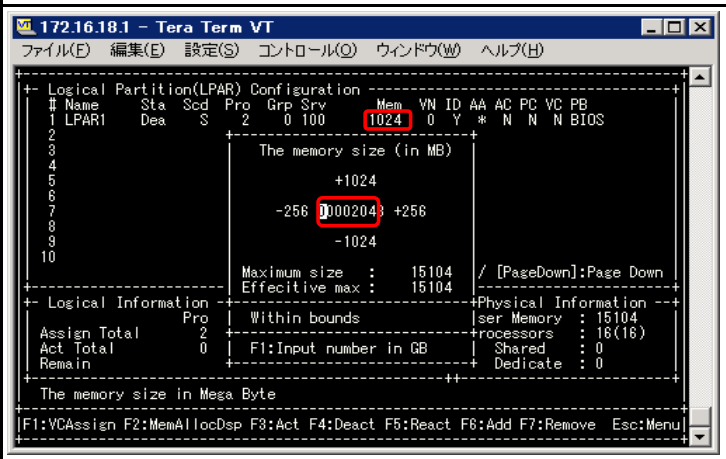
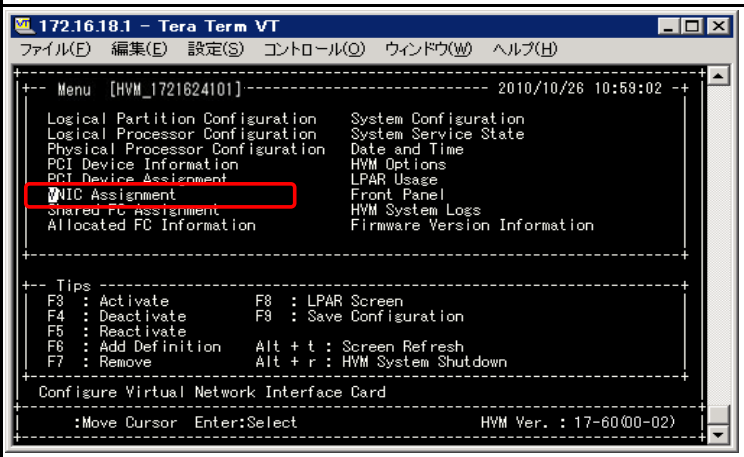
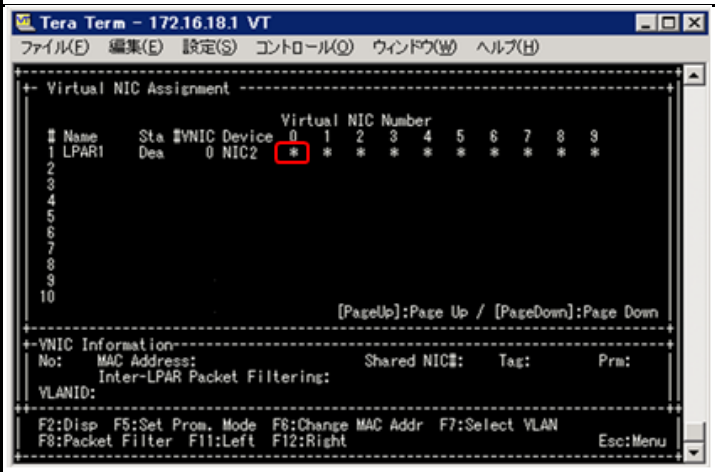
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ※共有NICが設定されます。 | □ |
| 10 |  | ■共有FCポートの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Shared FC Assignment」を選択します。 | □ |
| 11 |  | ・「Shared FC」の「*」を選択します。 | □ |
| 12 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |

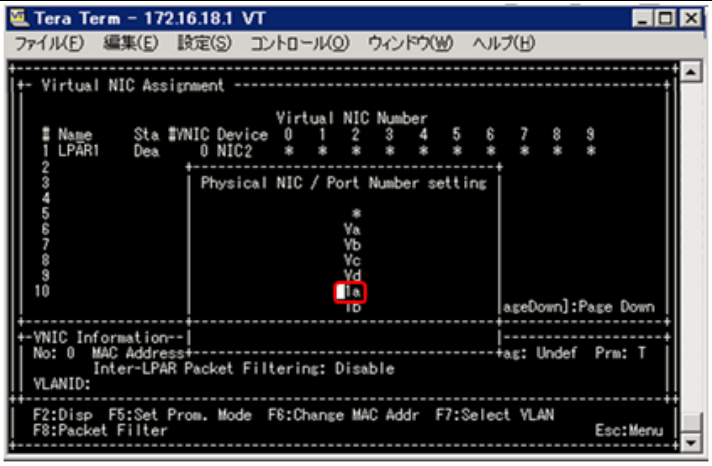
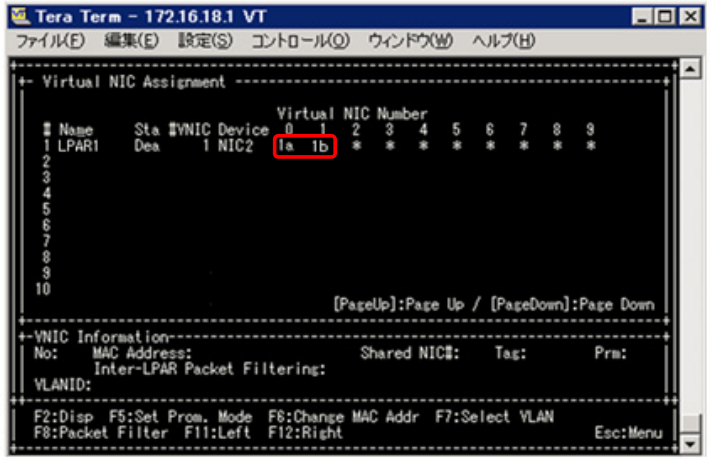
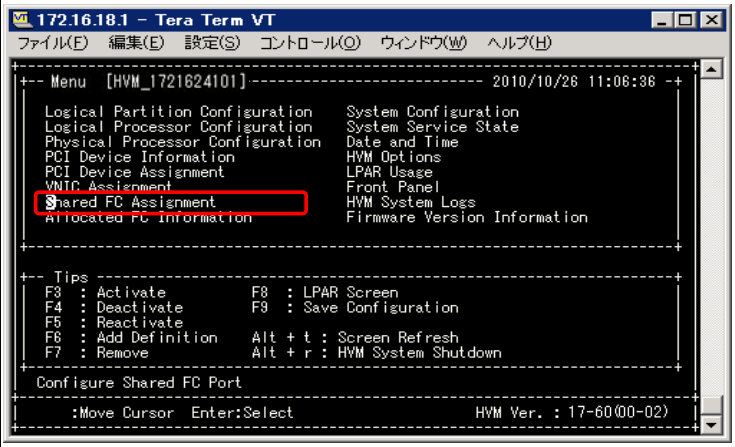
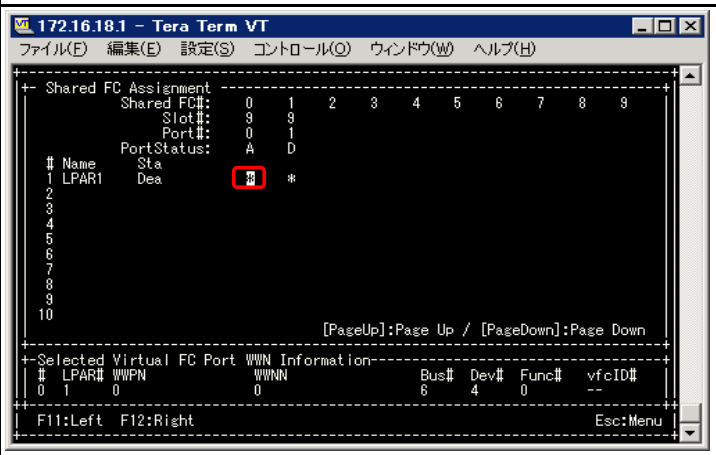
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ※共有FCポートが設定されます。 | □ |
| 14 |  | ■HVM構成情報の保存<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。<br><br>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。 | □ |
| 15 |  | ※HVM構成情報が保存されます。 | □ |
| 16 |  | ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |

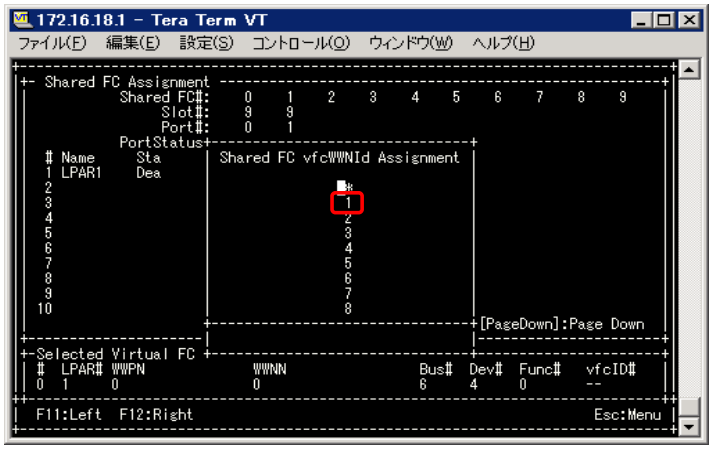
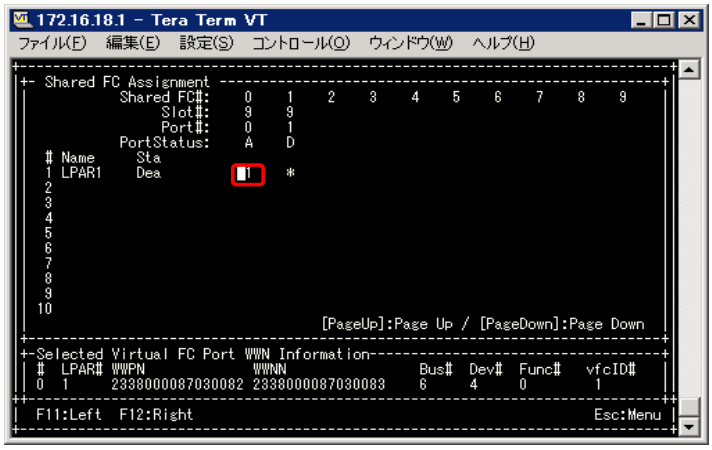
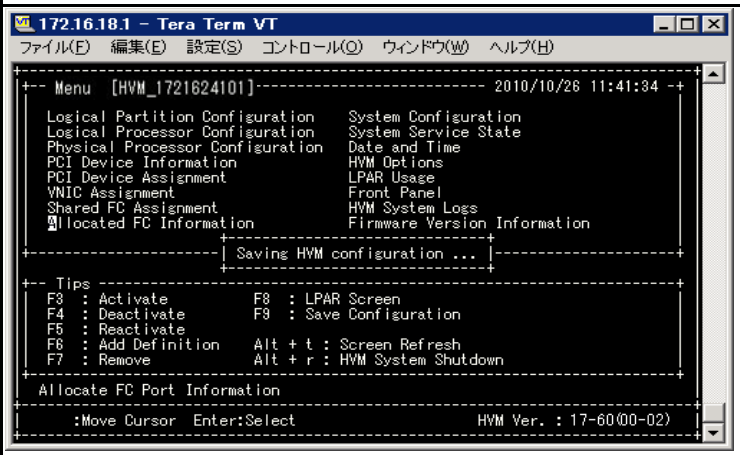
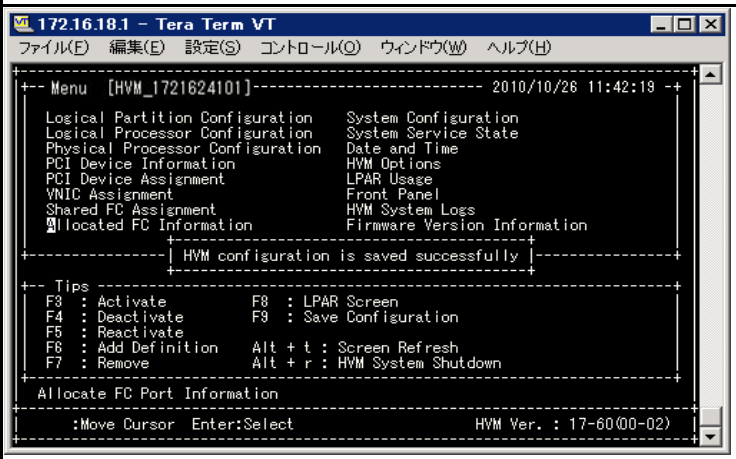
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 17 |  | ■LPARの起動<br>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 | □ |
| 18 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 2．5　Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール　に進みます。 | | | |

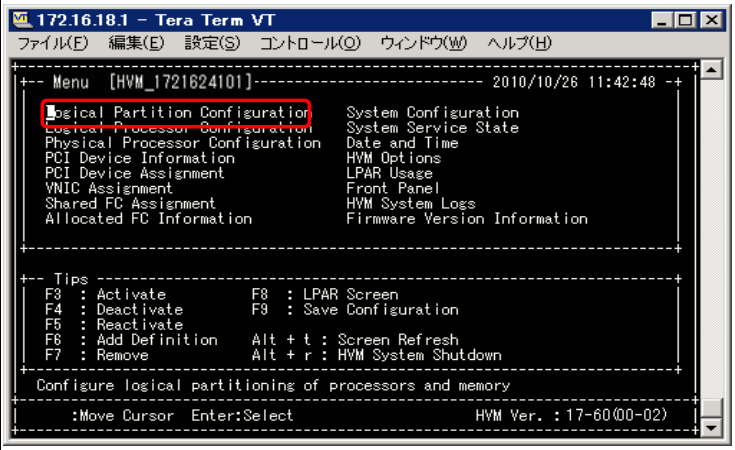
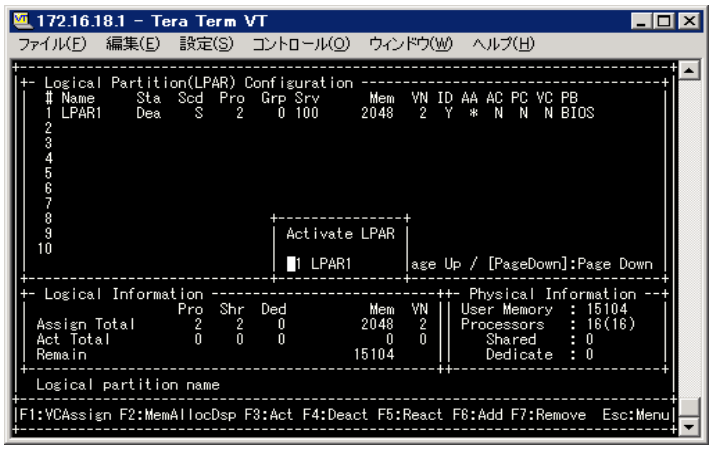
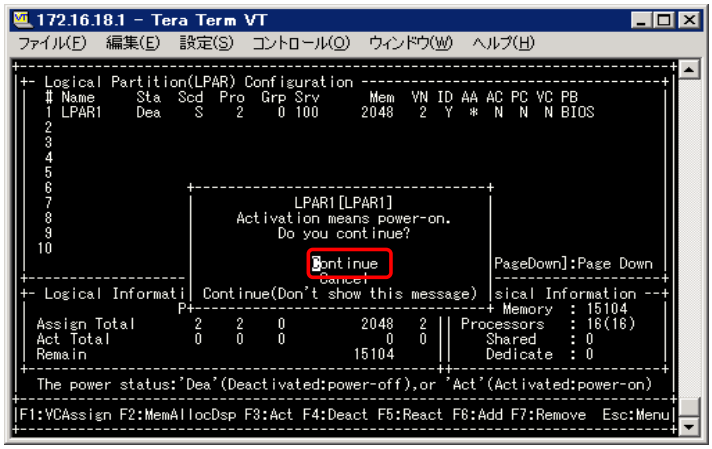
## 2．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-60)以降を使用する場合)

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。<br><br>■LPARの作成<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 2 |  | ・「F6」キーを押します。<br>・作成するLPAR番号を選択します。 | □ |
| 3 |  | ■LPAR名称の設定<br>・「Name」列を選択します。<br>・「LPAR名称」を入力します。<br><br>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。 | □ |
| 4 |  | ■スケジューリングモードの設定<br>・「Scd」列を選択します。<br>・任意のスケジューリングモードを選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・「Pro」列を選択します。<br>・任意のプロセッサ数を選択します。 | ☐ |
| 6 |  | ■メモリサイズの設定<br>・「Mem」列を選択します。<br>・任意のメモリサイズを選択します。 | ☐ |
| 7 |  | ■共有NICの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「VNIC Assignment」を選択します。 | ☐ |
| 8 |  | ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。<br><br>※HVMバージョンが17-86以降の場合、VNIC Device Typeを変更できます。また、OSごとにサポートされているVNICは異なります。サポート詳細情報については、「BS320 Virtage ユーザーズガイド」-「HVMスクリーン」に記載されている「ゲストOSごとのVNIC Device Type サポート一覧」をご確認ください。 | ☐ |

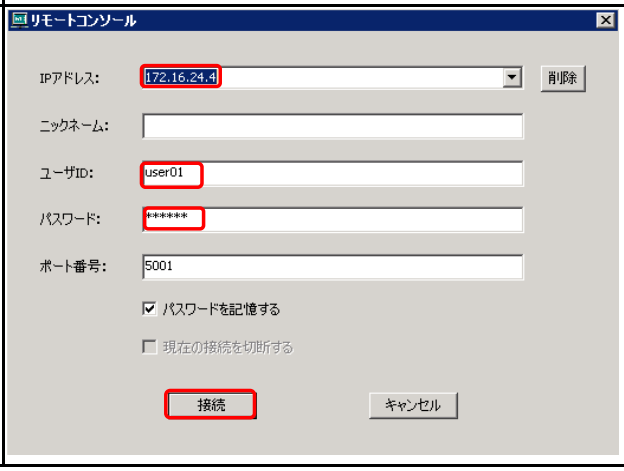
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |
| 10 |  | ※共有NICが設定されます。 | □ |
| 11 |  | ■共有FCポートの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Shared FC Assignment」を選択します。 | □ |
| 12 |  | ・「Shared FC」の「*」を選択します。 | □ |

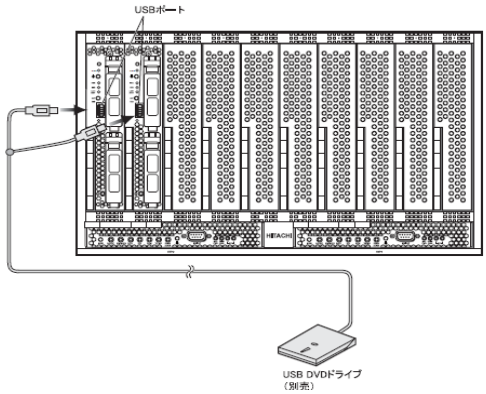
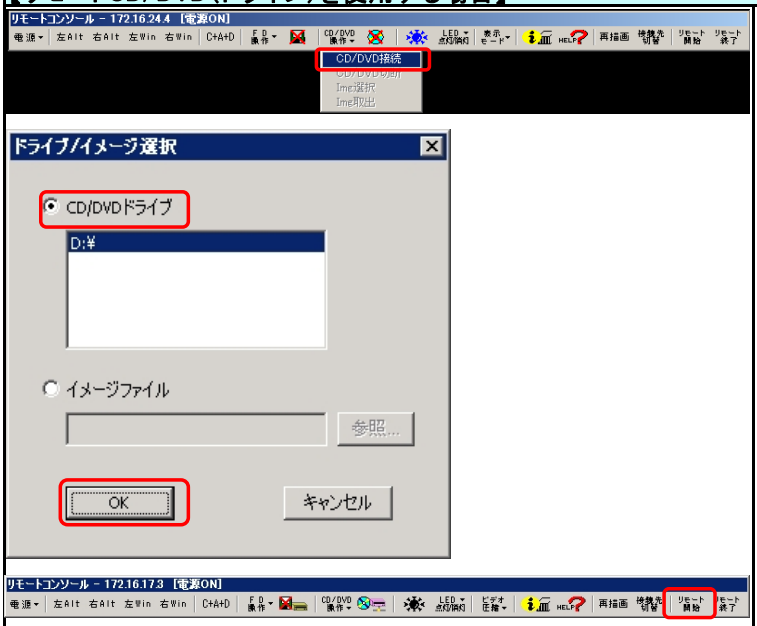
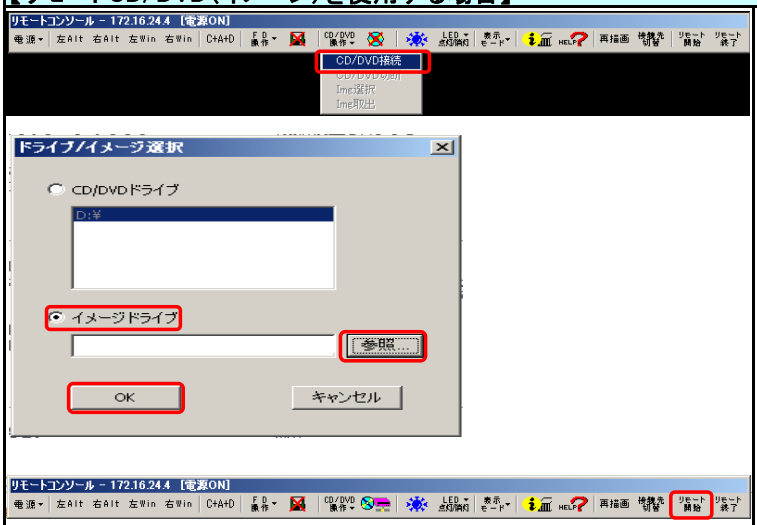
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・任意の割り当て先を選択します。 | □ |
| 14 |  | ※共有FCポートが設定されます。 | □ |
| 15 |  | ■HVM構成情報の保存<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。<br><br>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。 | □ |
| 16 |  | ※HVM構成情報が保存されます。 | □ |

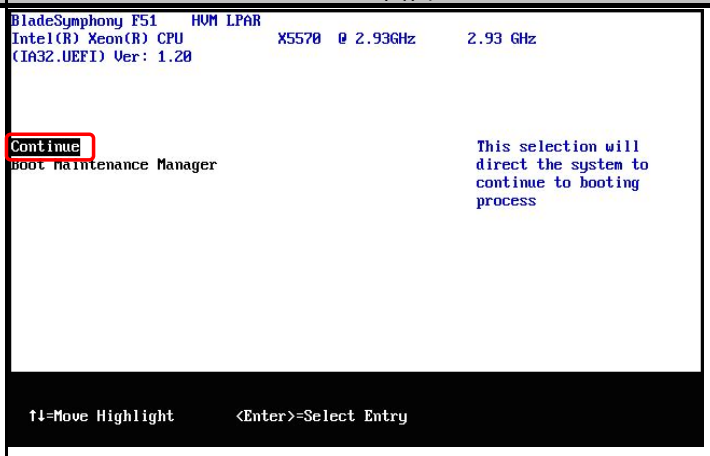
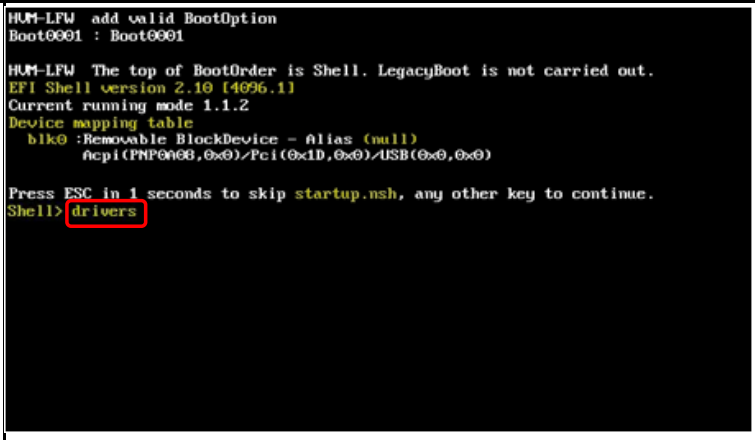
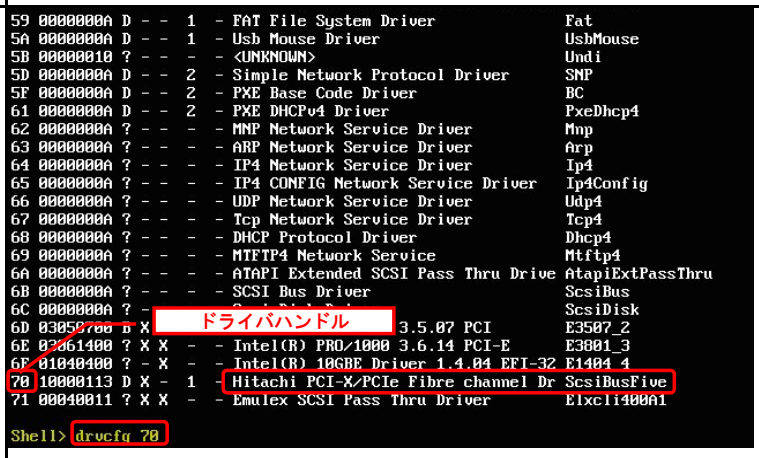
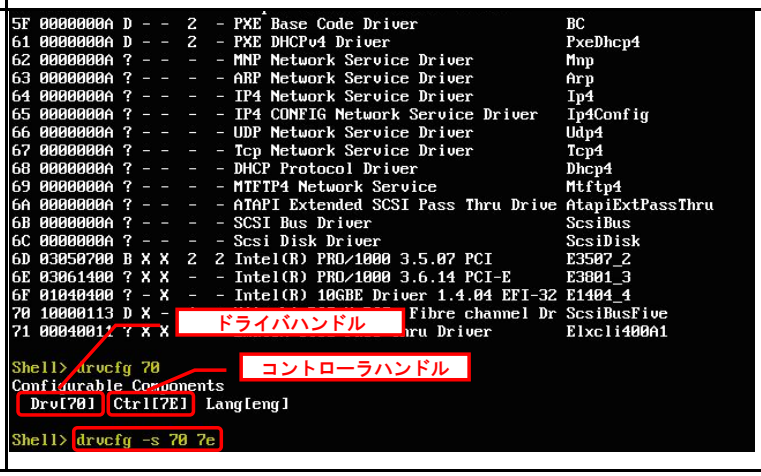
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 17 |  | ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 18 |  | ■LPARの起動<br>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 | □ |
| 19 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |

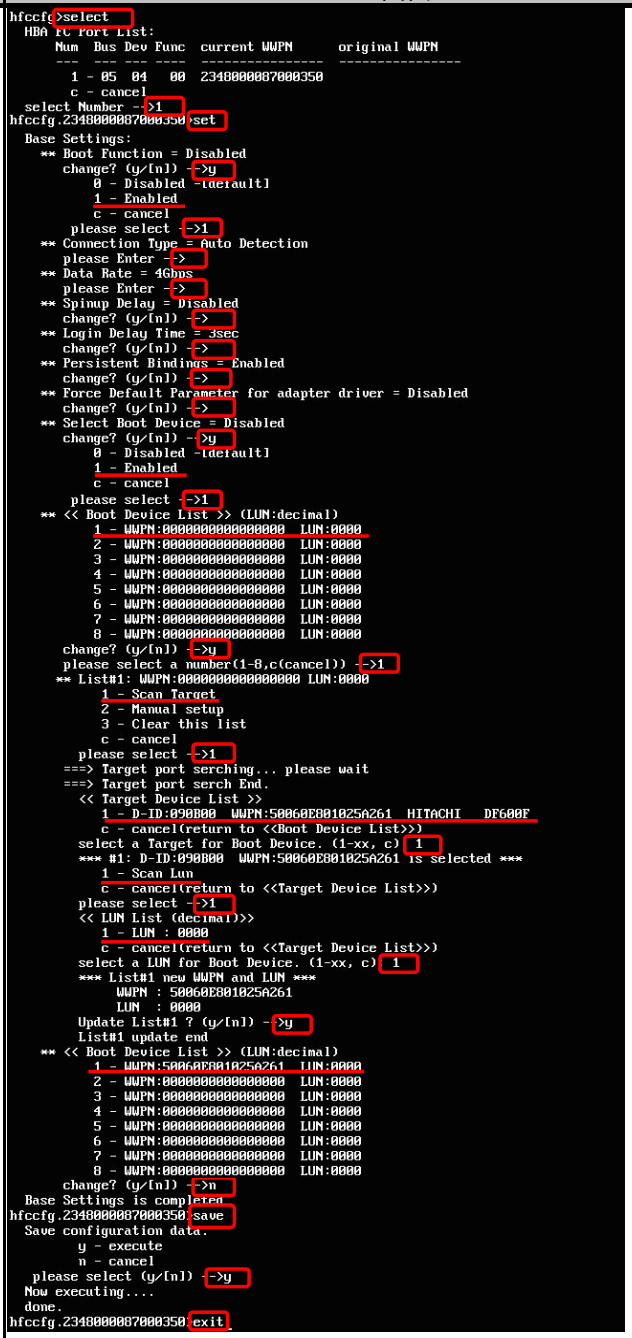
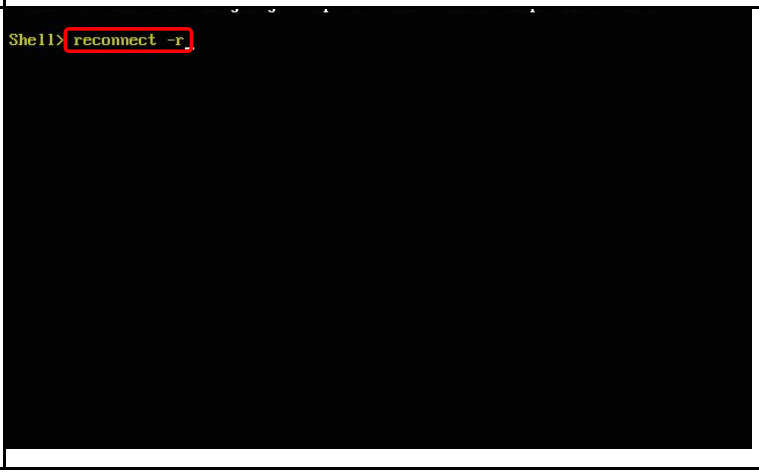
2．5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール に進みます。

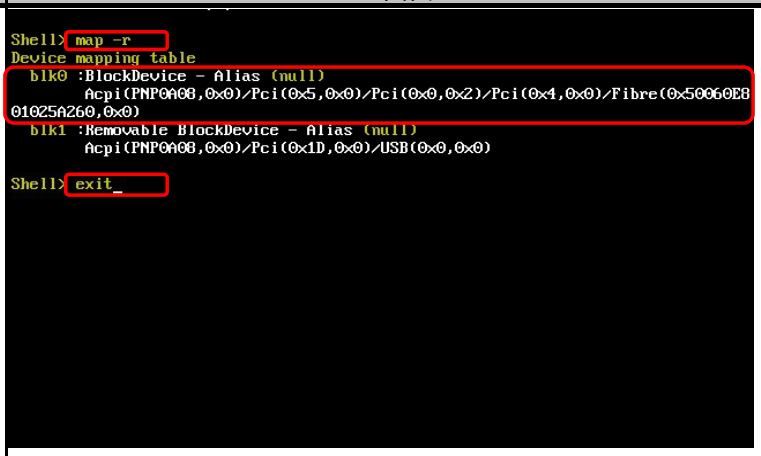
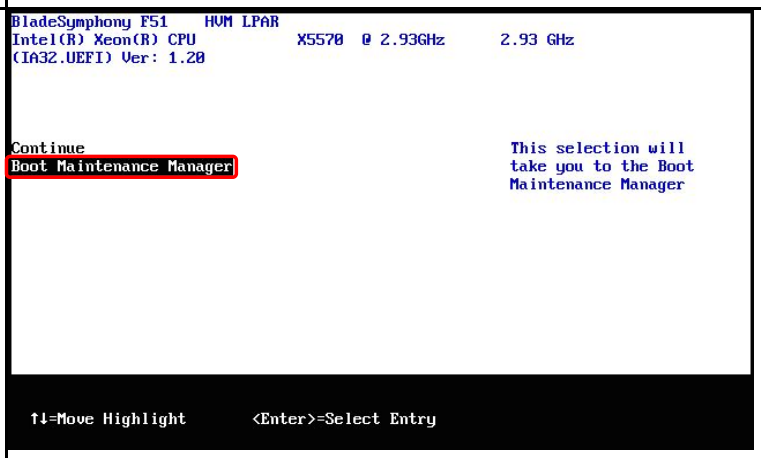
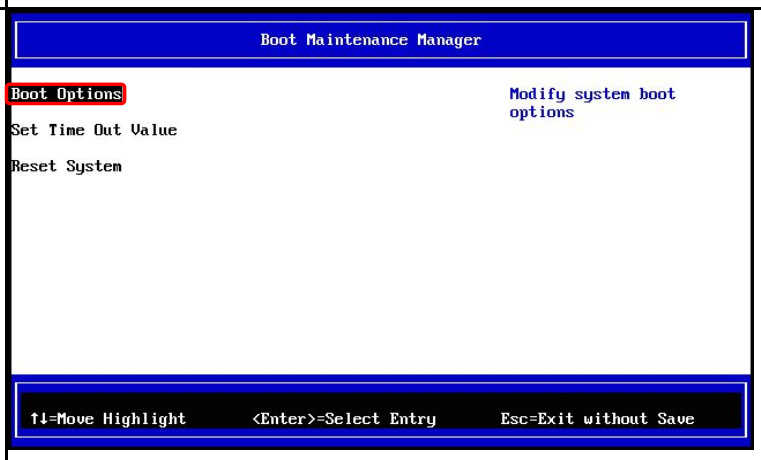
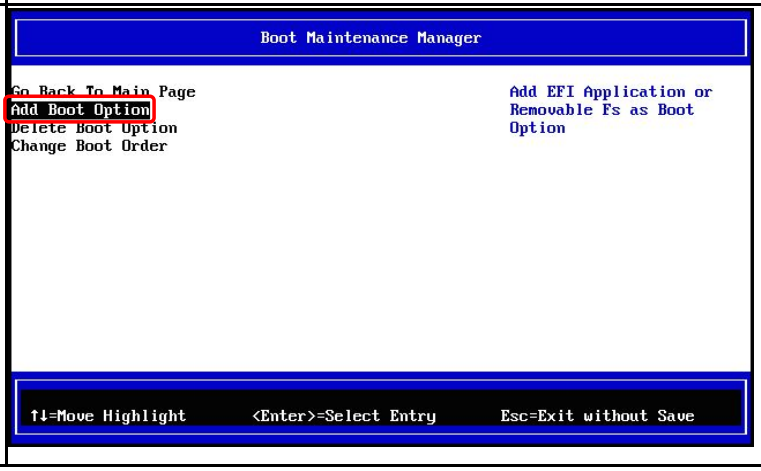
## 2．5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール

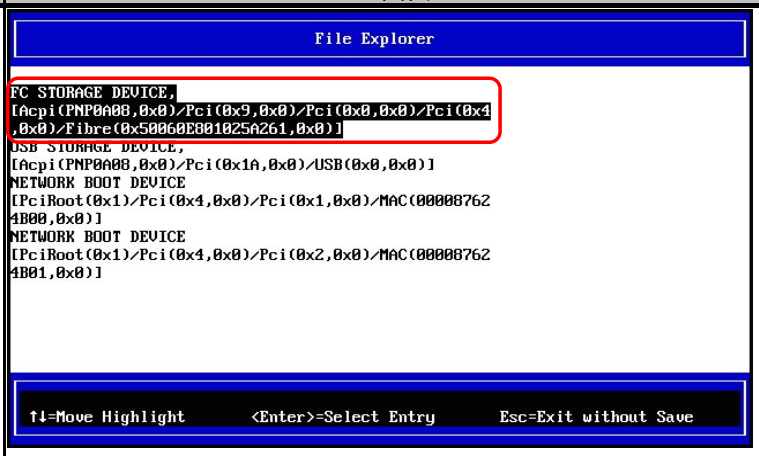
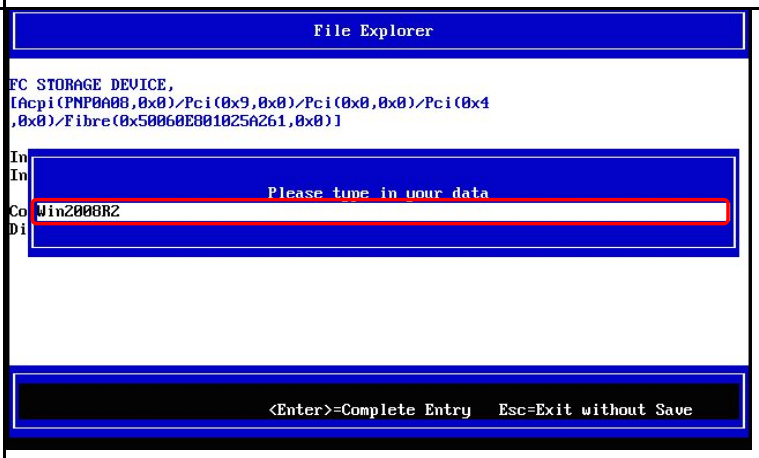
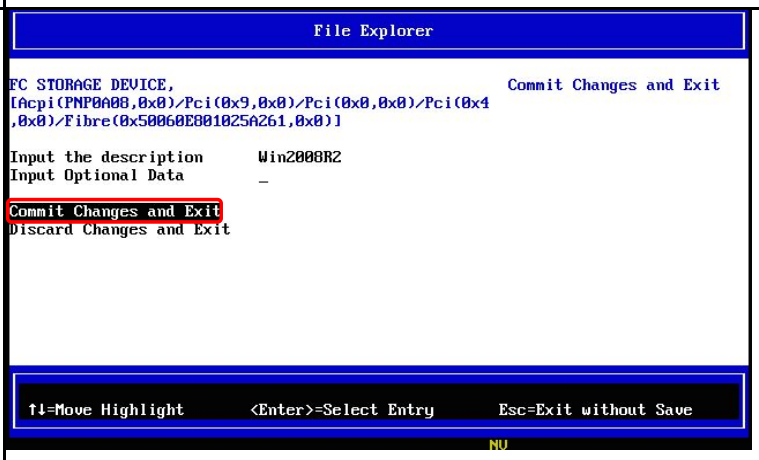
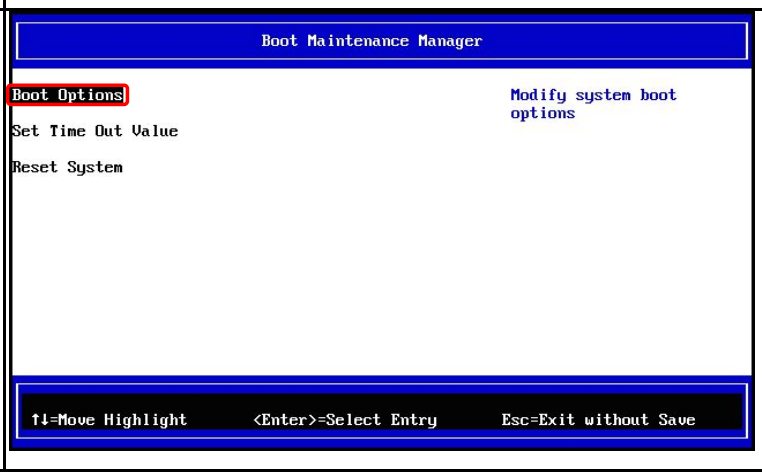
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |

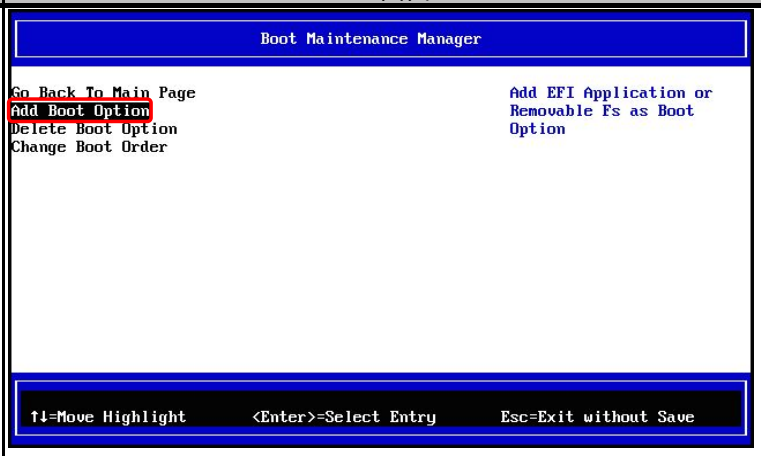
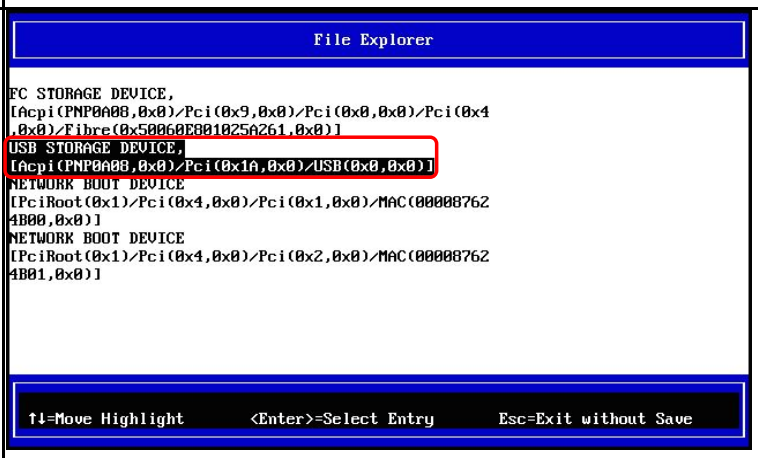
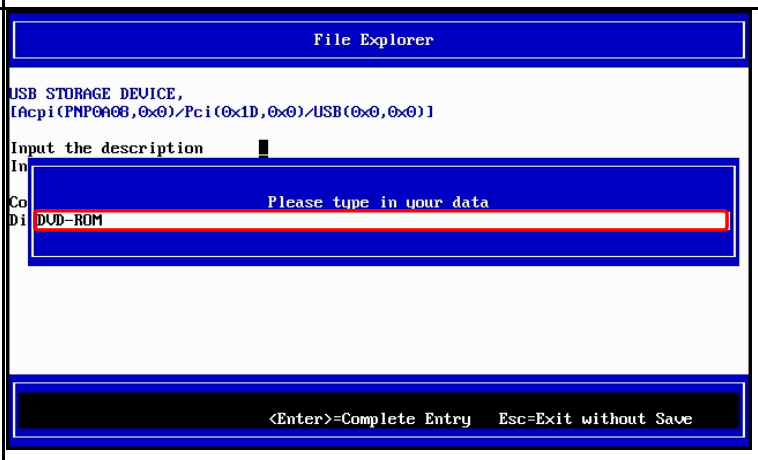
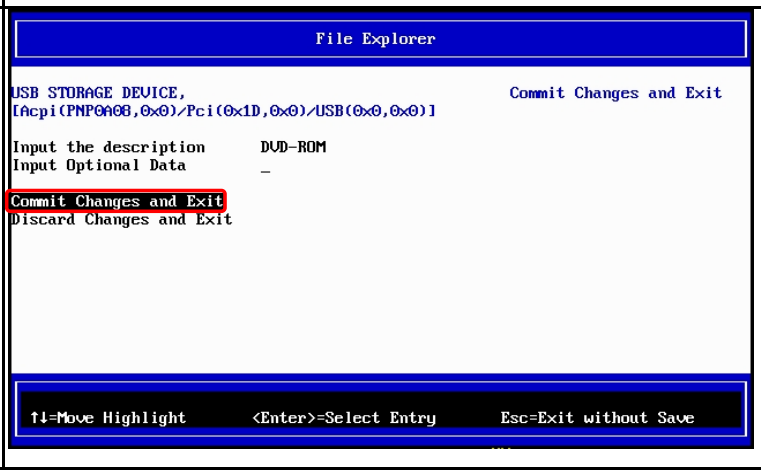
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | 項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい | | |
| | 3-1 【フロント USBを使用する場合】   | ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1DVD」を入れます。<br><br>※例として、二又に分かれたUSB DVDドライブを使用しています。二又ケーブルの場合はDVDドライブの電源用プラグをサーバブレードに挿してください。 | □ |
| | 3-2 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】   | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1DVD」を入れます。 | □ |
| | 3-3 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】   | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」をクリックし、「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1DVD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | □ |

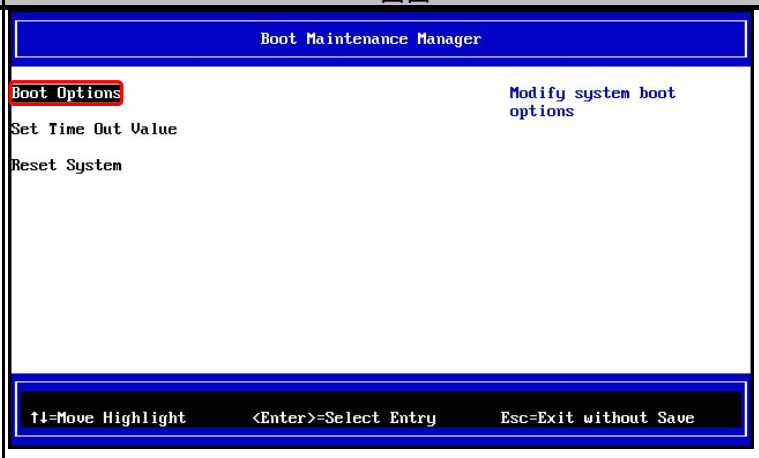
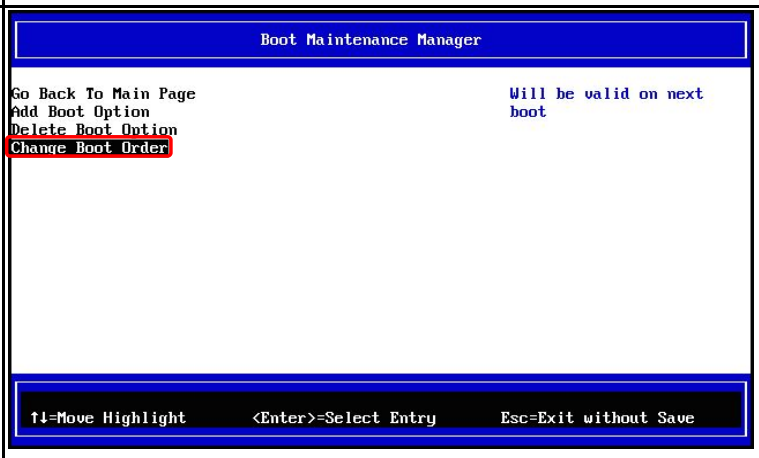
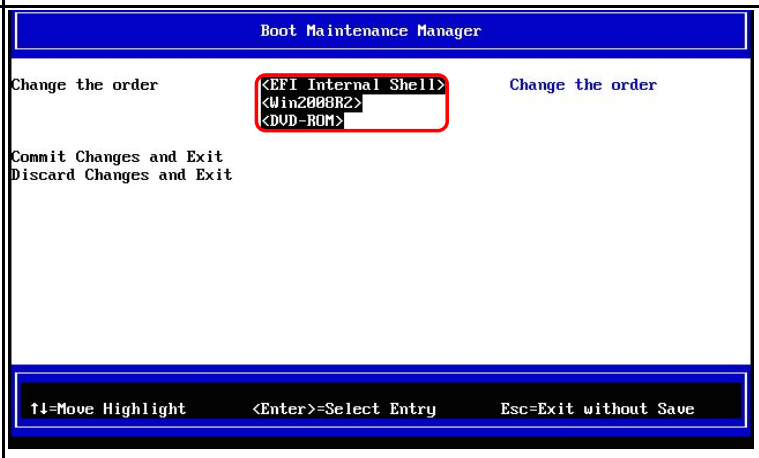
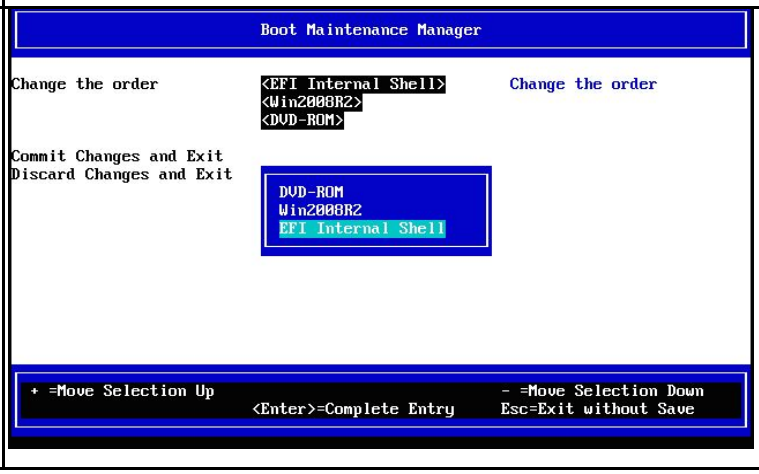
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■共有FCの設定<br>・「Continue」を選択します。 | □ |
| 5 |  | ・「drivers」を入力します。 | □ |
| 6 |  | ・「drvcfg「ドライバハンドル」」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ・「drvcfg -s「ドライバハンドル」「コントローラハンドル」」を入力します。 | □ |

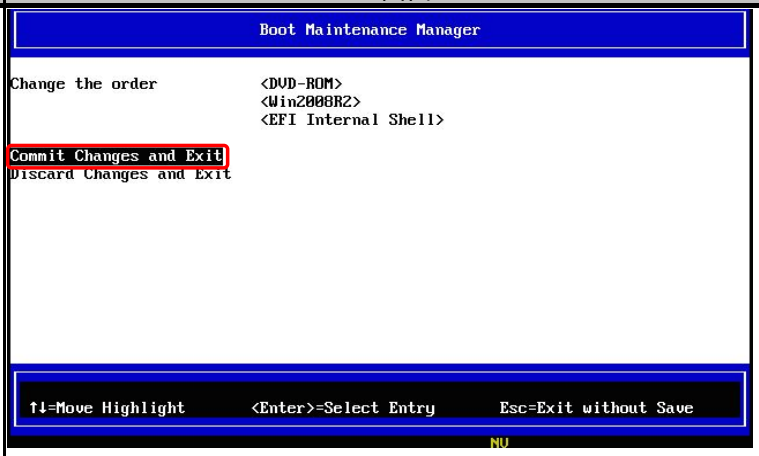
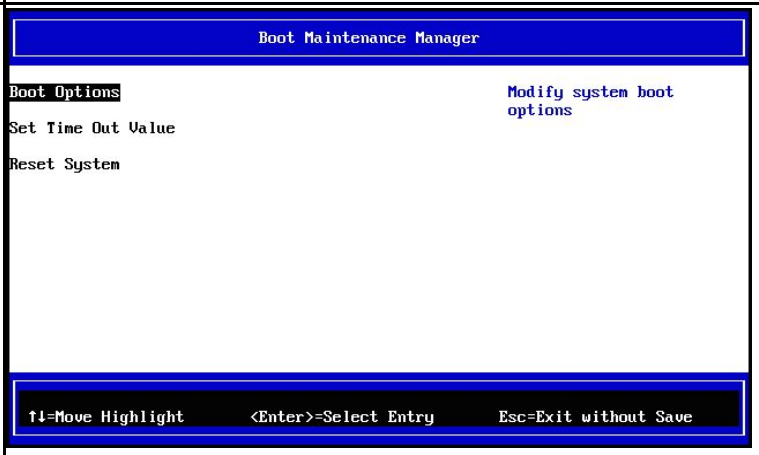
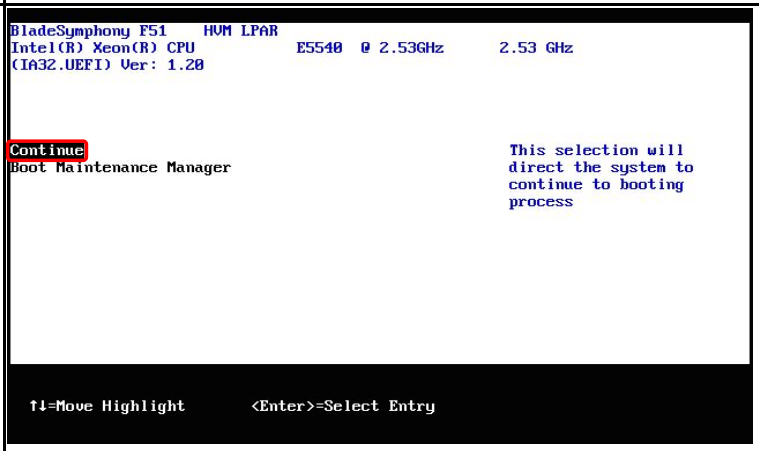
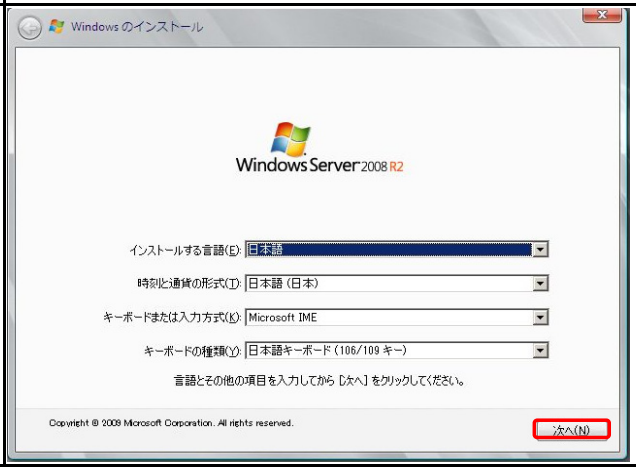
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・「select」を入力します。<br>・左記のように入力します。<br>・「exit」を入力します。<br><br>※設定を行ってもで「Boot Device List」項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。 | □ |
| 9 |  | ・「reconnect -r」を入力します。 | □ |

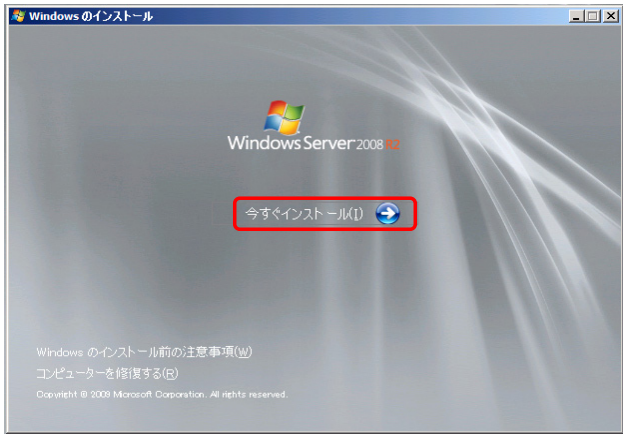
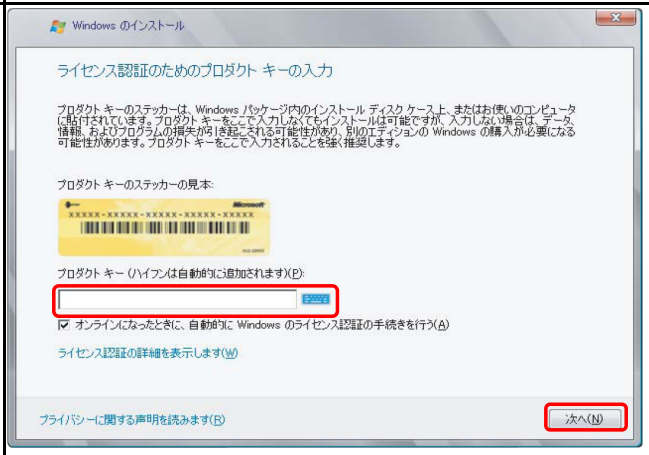
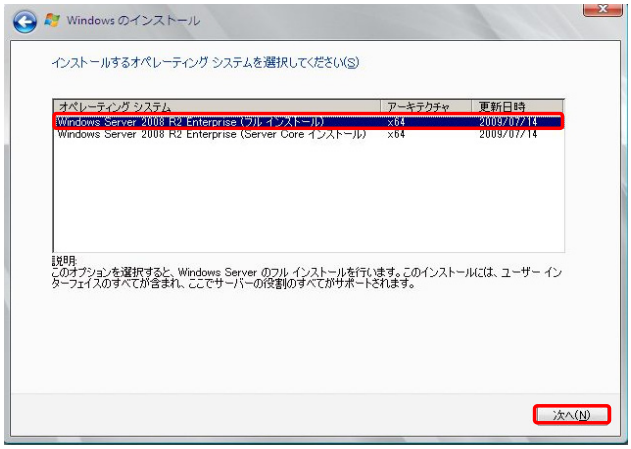
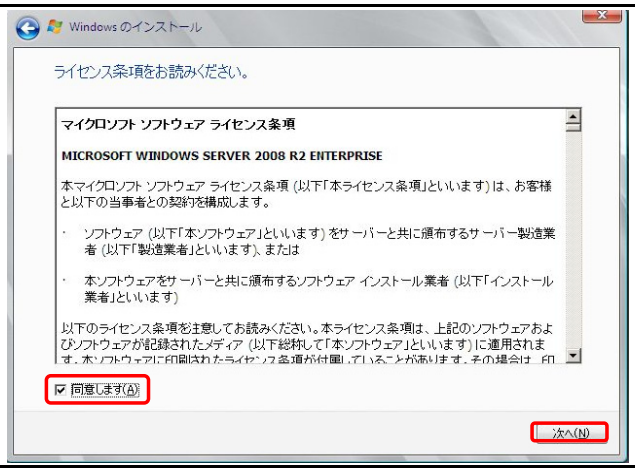
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 10 |  | ・「map -r」を入力します。<br>・FCデバイスが認識されていることを確認します。<br>・「exit」を入力します。 | ☐ |
| 11 |  | ■ブートオーダの設定<br>・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 12 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |

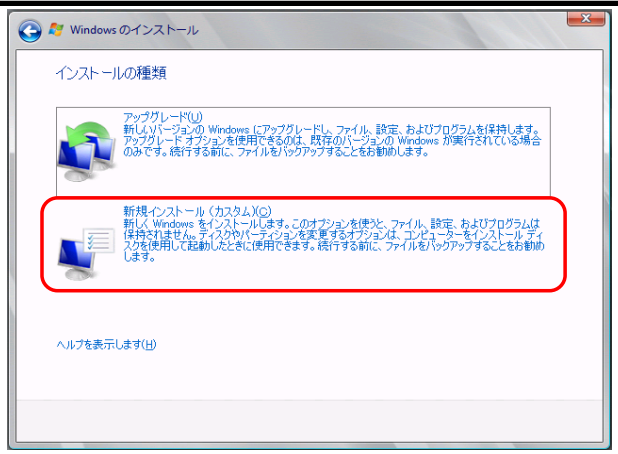
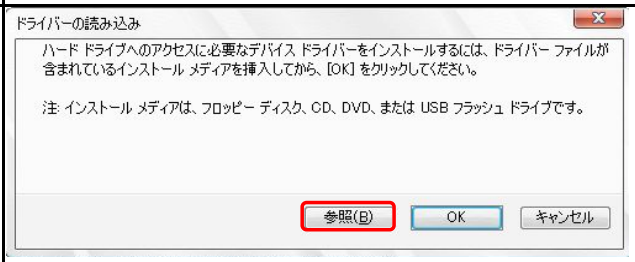
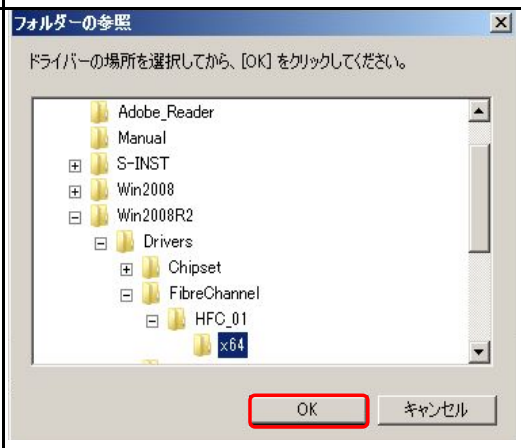
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 14 |  | ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 15 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「Win2008R2」と入力しています。 | ☐ |
| 16 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 17 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |

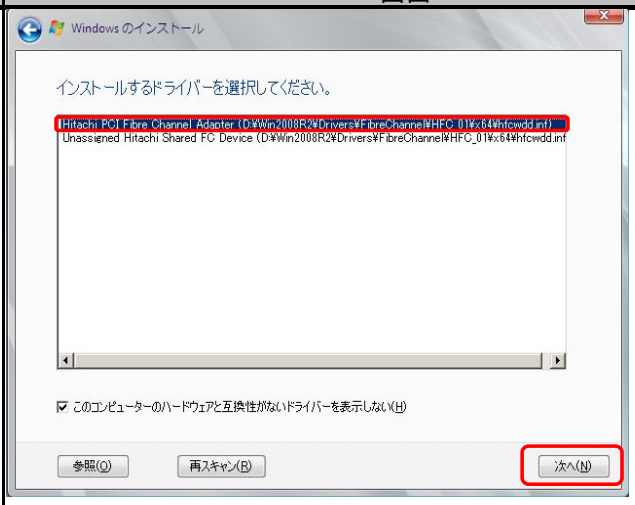
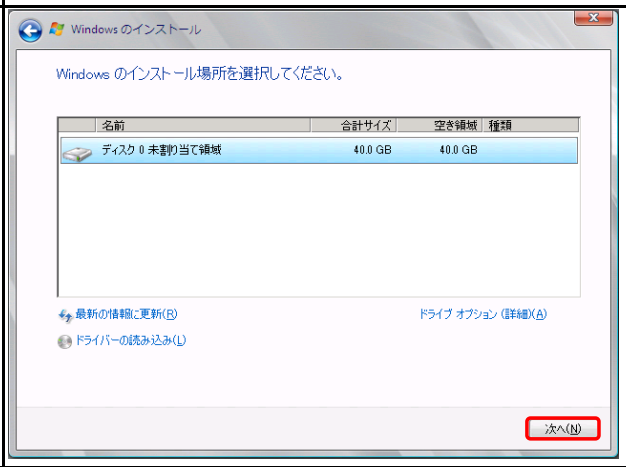
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 18 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 19 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 20 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |
| 21 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

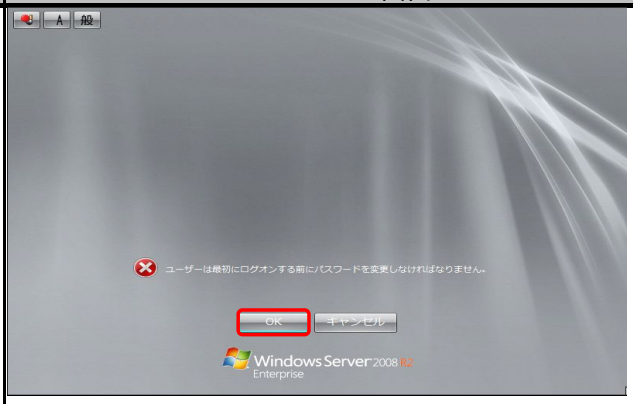
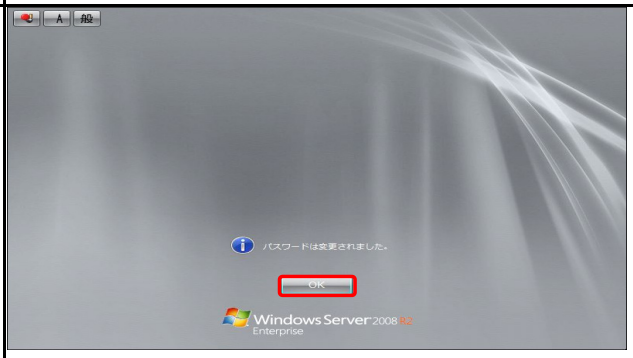
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 22 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 23 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 24 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 25 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2008R2<br>EFI Internal Shell | ☐ |

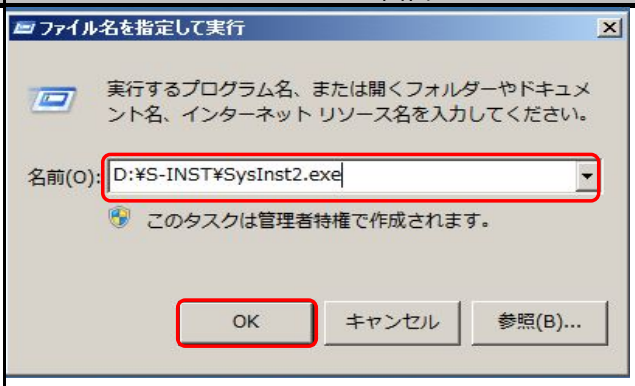
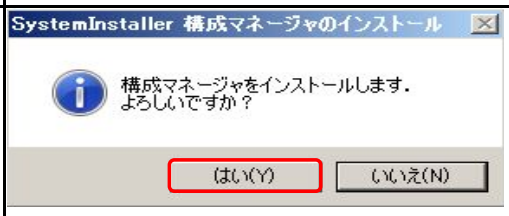
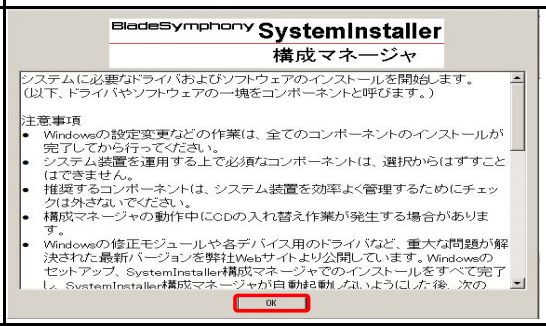
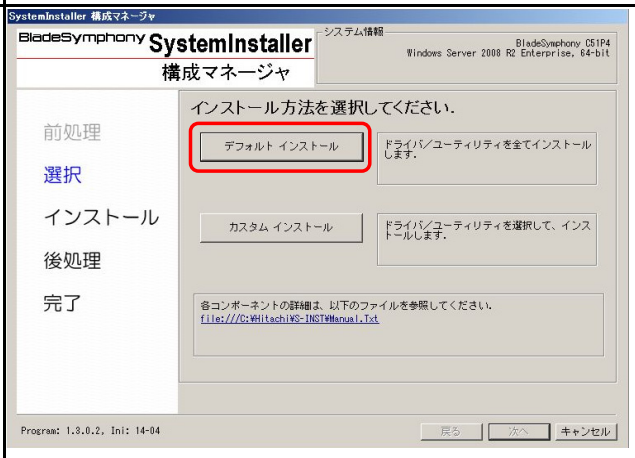
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 26 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | □ |
| 27 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 28 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |
| 29 |  | ■OSのインストール<br>※左記の画面が表示されるまで、約15分かかります。<br>・「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※画面はWindows 2008 R2のインストール時のものです。 | □ |

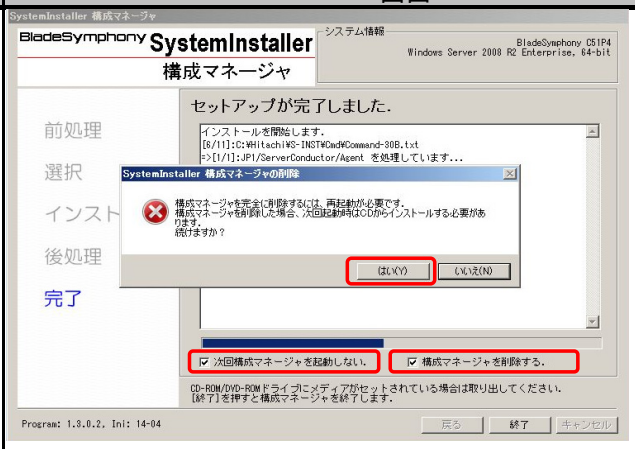
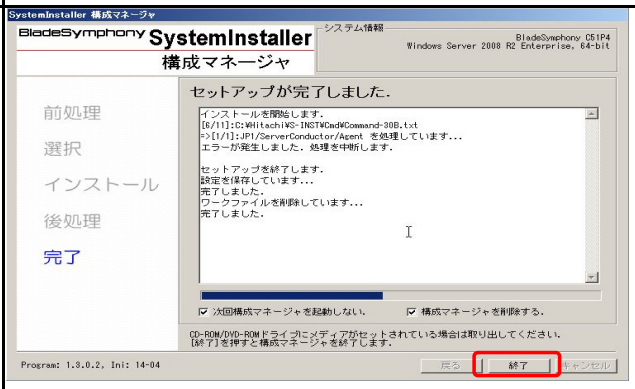
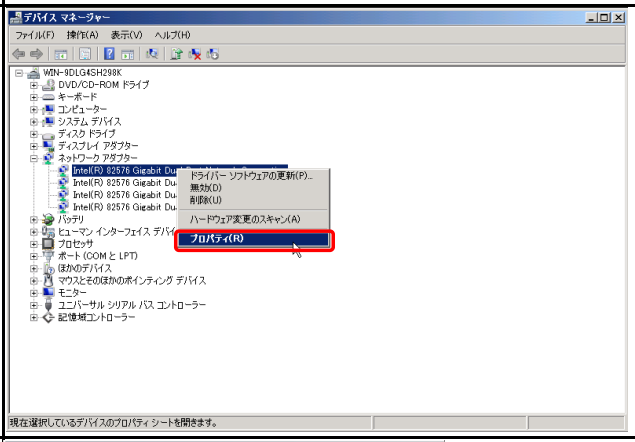
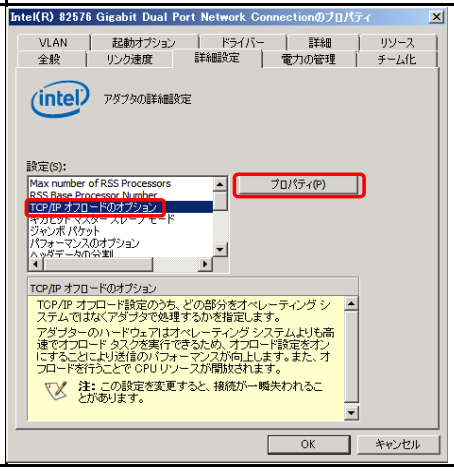
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 30 |  | ・「今すぐインストール(I)」をクリックします。<br><br>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。 | ☐ |
| 31 |  | ※Windows Server 2008 SP2 DVDの場合は左記画面が出力されます。<br><br>・プロダクトキー(仮想環境向けキー)を入力してください。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 32 |  | ・インストールするOSをクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※Server Coreは選択しないでください。 | ☐ |
| 33 |  | ・「同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |

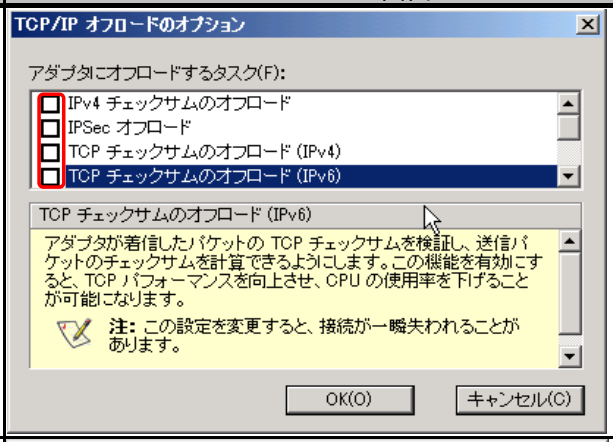
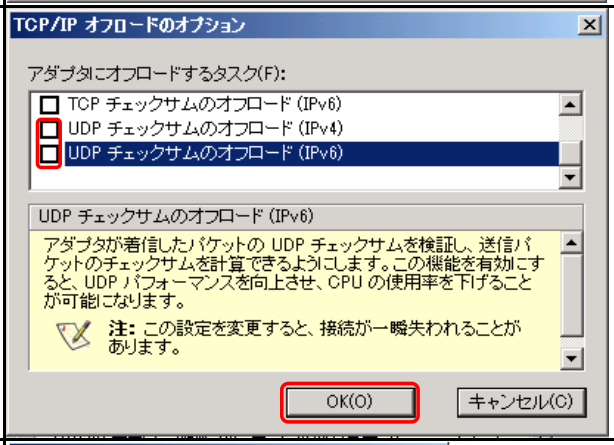
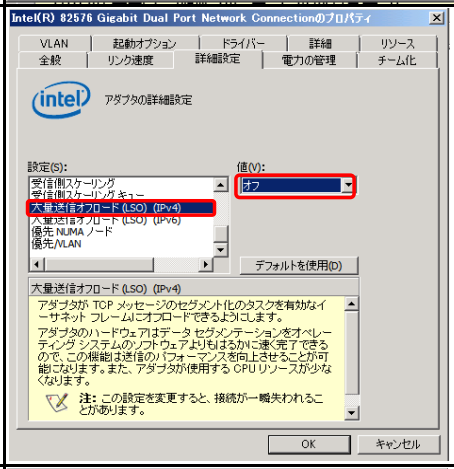
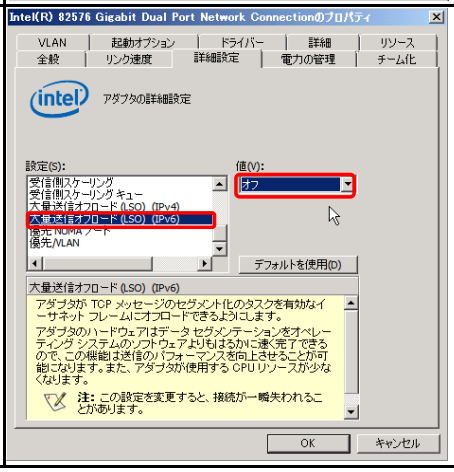
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 34 |  | ・「新規インストール(カスタム)(C)」をクリックします。<br><br>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。 | ☐ |
| 35 | | ・「ドライバー読み込み(L)」をクリックします。 | ☐ |
| 36 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」 or ダウンロードしたドライバをコピーしたCDに入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」 or ダウンロードしたドライバをコピーしたCDに入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」 orダウンロードしたドライバをコピーしたCDを選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「参照(B)」をクリックします。 | ☐ |
| 37 |  | **【SystemInstaller CDの場合】**<br>**P4モデルの場合**<br>・D:¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64をクリックします。<br><br>**P5モデルの場合**<br>・D:¥"ブレードモデル名"¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64をクリックします。<br><br>例)ブレードモデル名・・・C51P5<br>OS名・・・・・・・・・・・・Win2008R2<br>**【Webからダウンロードしたドライバ CD場合】**<br>・D:¥(CDドライブ)をクリックします。<br><br>・「OK」をクリックします。 | ☐ |

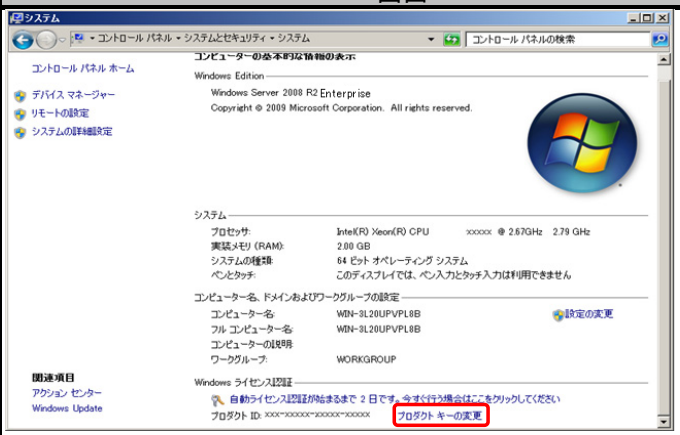
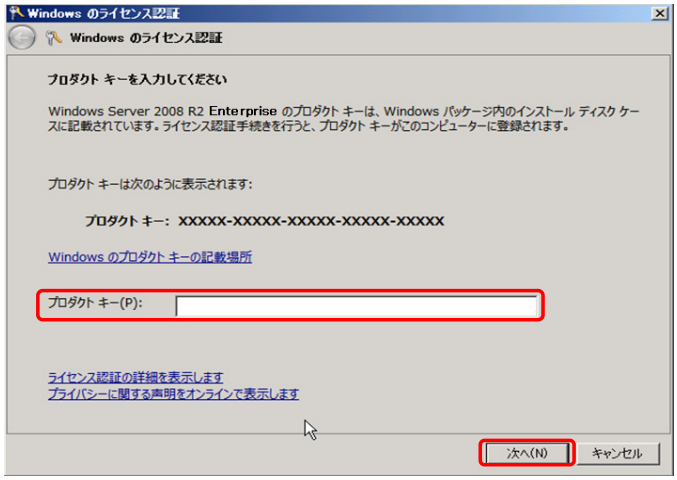
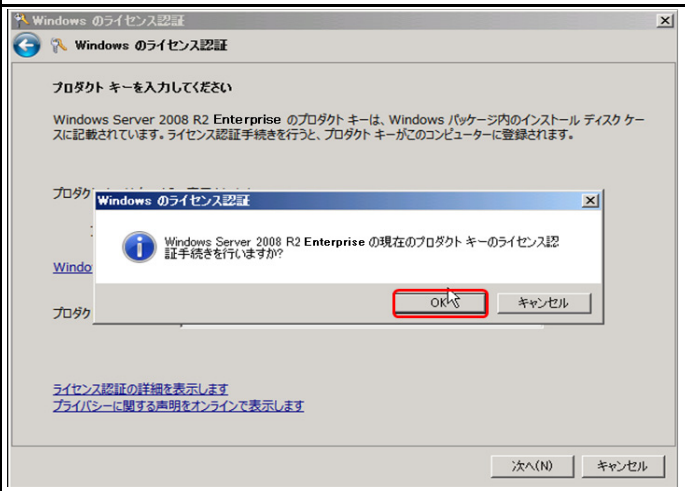
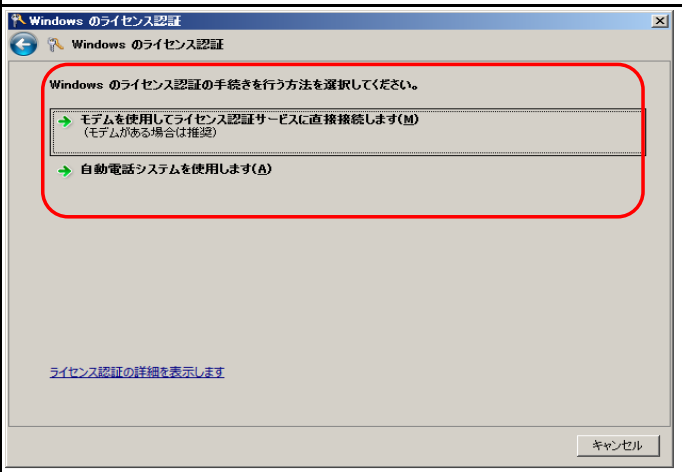
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 38 |  | **【SystemInstaller CDの場合】**<br>**P4モデルの場合**<br>・Hitachi PCI Fibre Channel Adapter(D:¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64¥hfcwdd.inf)をクリックします。<br><br>**P5モデルの場合**<br>・Hitachi PCI Fibre Channel Adapter(D:¥"ブレードモデル名"¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥x64¥hfcwdd.inf)をクリックします。<br><br>例)ブレードモデル名・・・C51P5<br>OS名・・・・・・・・・・・・Win2008R2<br>**【Webからダウンロードしたドライバ CD場合】**<br>・(D:¥hfcwdd.inf)をクリックします。<br><br>・「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 39 | | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1 DVD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1 DVD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1 DVD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「最新の情報に更新(R)」をクリックします。 | ☐ |
| 40 |  | ・インストールディスクを選択し、「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 41 | | ※インストールが完了するまで、約70分かかります。また、インストール中にWindowsが数回再起動します。<br><br>※「Press any key to boot from CD or DVD」と表示されることがありますが、何もキーを押さないでください | ☐ |

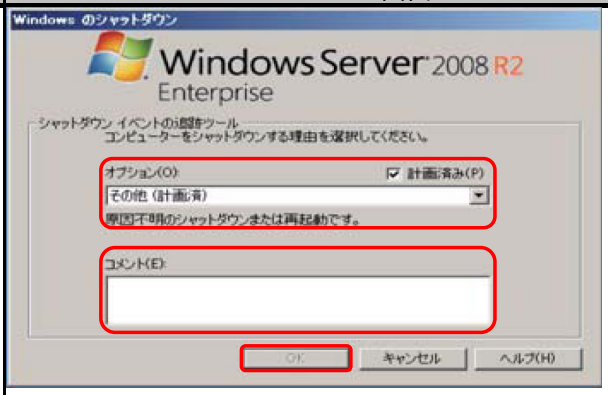
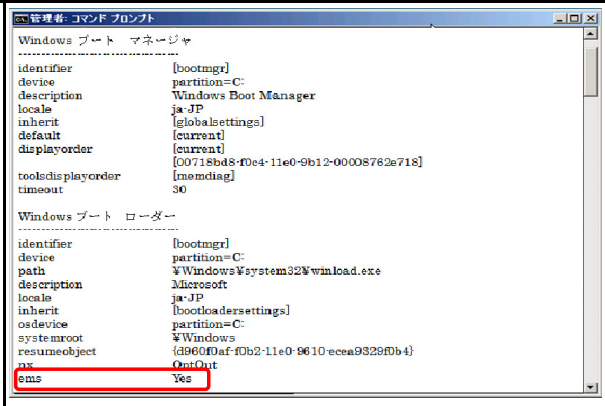
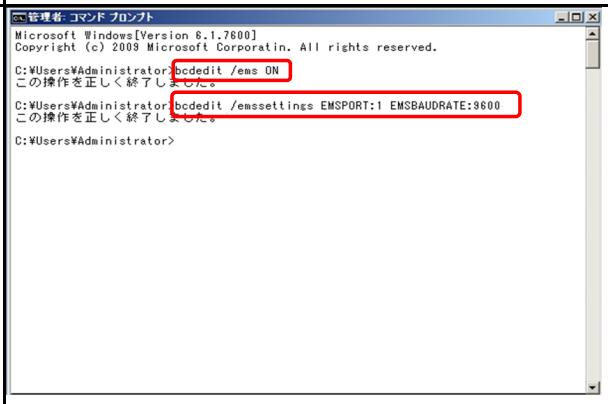
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 42 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 43 | | ・「パスワード」を入力します。<br>・「→」ボタンをクリックします。<br><br>※次の文字のうち3 つ以上組み合わせる。<br>英大文字（A ～ Z）<br>英小文字（a ～ z）<br>数字（1 ～ 9）<br>記号（句読点）<br><br>※ユーザ名から、3文字以上連続する文字列を抜き出して使うことはできません。 | □ |
| 44 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 45 | | **■解像度の設定**<br>**【Windows Server 2008 SP2の場合】**<br>・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「個人設定」-「画面の設定」で解像度を「1024 × 768」に設定します。<br>・メッセージ「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」が出力されます。<br>・「はい」をクリックします。<br><br>**【Windows Server 2008 R2/R2 SP1の場合】**<br>・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「画面の解像度」で解像度を「1024 × 768」に設定します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・メッセージ「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」が出力されます。<br>・「変更を維持する」をクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 46 |  | ■ドライバ/ユーティリティのセットアップ<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br>・「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。<br>**【P4モデルの場合】**<br>・D:¥S-INST¥SysInst2.exeを入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>**【P5モデルの場合】**<br>・D:¥HInstall.exeを入力します。<br>・「OK」をクリックします。<br>例)ブレードモデル名・・・C51P5<br>※「自動再生」のウインドウが表示された場合は、ウインドウを閉じてください。 | □ |
| 47 |  | ・「はい(Y)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 48 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 49 |  | ・「デフォルト インストール」ボタンをクリックします。<br>・以降、画面に従ってインストール作業を続行します。<br>※各ユーティリティセットアップ時に入力を求められる場合があります。<br>必要に応じて、Windows Server 2008 SP2/R2 SP1用サービスパックDVD、JP1/ServerConductor CD、ハードウェア保守エージェント CDを使用してください。<br>ユーティリティのセットアップ方法詳細は各ユーティリティのマニュアルを参照してください。<br>各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS320 ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた」を参照してください。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 50 |  | ・「次回構成マネージャを起動しない」にチェックが入っていることを確認します。<br>・「構成マネージャを削除する」をクリックします。<br>・「はい(Y)」ボタンをクリックします。<br><br>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。 | □ |
| 51 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br><br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br><br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」を実行します。<br><br>・「終了」をクリックします。 | □ |
| 52 |  | ■TCP/IPオフロードオプションの設定<br>・「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。<br>・コントロールパネルウインドウの「システムとセキュリティ」をクリックします。<br>・「デバイスマネージャー」をクリックします。<br>・「ネットワークアダプター」内の項目を選択し、右クリックで「プロパティ(R)」をクリックします。<br><br>※例として、NIC2についての設定の手順を示します。NICの設定によっては表示されない項目があります。 | □ |
| 53 |  | ・「詳細設定」タブをクリックします。<br>・「TCP/IP オフロードのオプション」をクリックし、「プロパティ(P)」ボタンをクリックします。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 54 |  | ・「IPv4 チェックサムのオフロード」のチェックを外します。<br>・「IPSec オフロード」のチェックを外します。<br>・「TCP チェックサムのオフロード(IPv4)」のチェックを外します。<br>・「TCP チェックサムのオフロード(IPv6)」のチェックを外します。 | □ |
| 55 |  | ・「UDP チェックサムのオフロード(IPv4)」のチェックを外します。<br>・「UDP チェックサムのオフロード(IPv6)」のチェックを外します。<br><br>・「OK(O)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 56 |  | ・「大量送信オフロード(LSO) (IPv4)」を「オフ」に設定します。 | □ |
| 57 |  | ・「大量送信オフロード(LSO) (IPv6)」を「オフ」に設定します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br><br>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。<br><br>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 58 |  | **※Windows Server 2008 R2/R2 SP1メディアの場合は手順67～70を実施してください。**<br>■ライセンスキー入力<br>・スタートメニューからコントロールパネルを開き、「システムとセキュリティー」－「システム」をクリックします。<br><br>・「 コンピュータの管理」画面が表示されるので、「 システムツール」－「 デバイスマネージャー」をクリックし「 デバイスマネージャー」を開きます。<br><br>・「プロダクトキーの変更」をクリックします。 | ☐ |
| 59 |  | ・プロダクトキーを入力して、「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※プロダクトキーは、仮想環境向けのキー(Virtual Key)を使用してください。 | ☐ |
| 60 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 61 |  | ・認証方法を選択しライセンス認証を受けてください。 | ☐ |

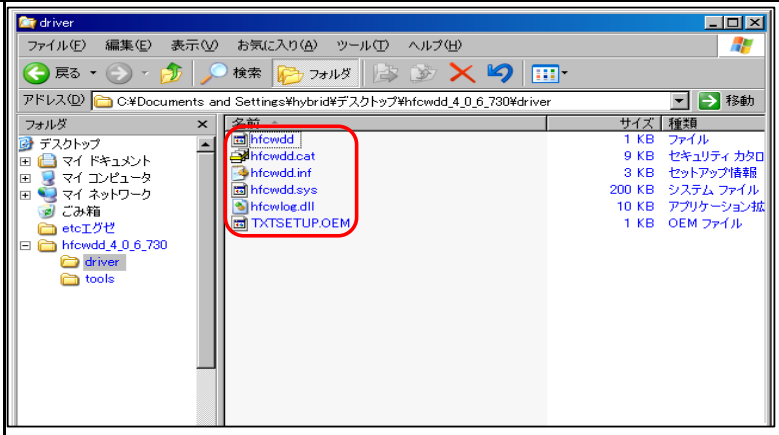
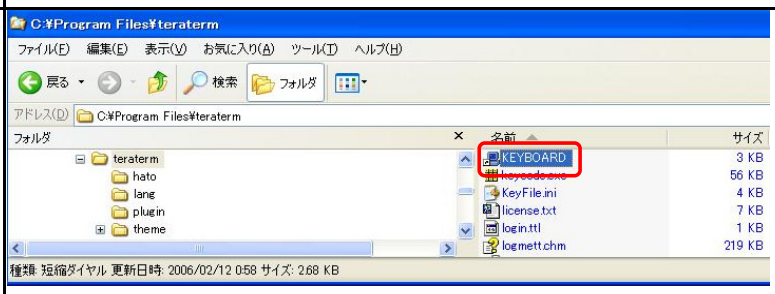
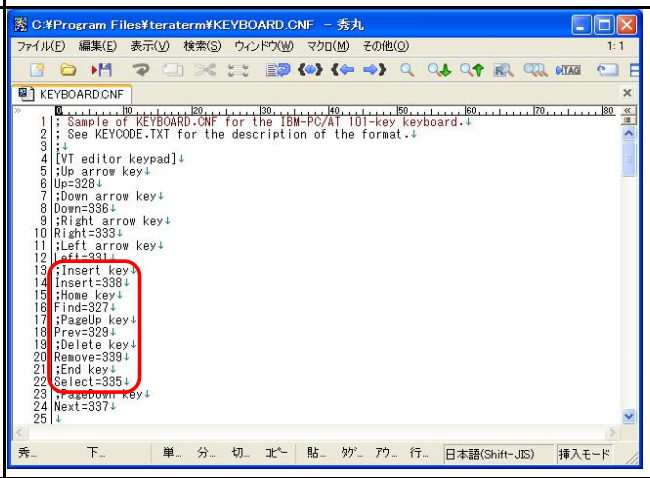
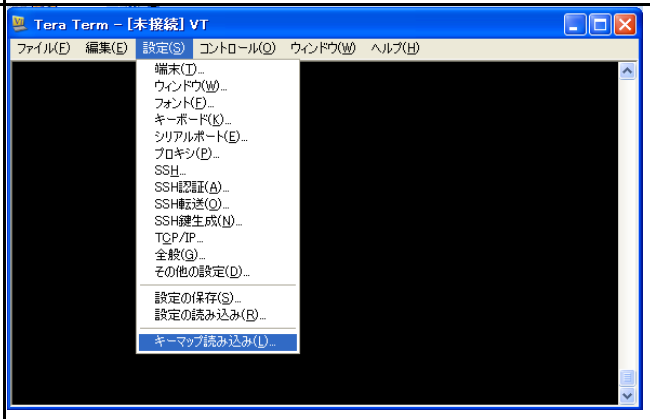
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 62 |  | ・Windowsデスクトップの「スタート」ボタンをクリックします。<br>・「再起動」ボタンをクリックします。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | □ |
| 63 |  | ■シリアルコンソールの設定<br>・「コマンドプロンプト」を起動し、次のコマンドを実行します。<br><br>・「bcdedit」<br><br>上記コマンドを入力して、以下が出力するかを確認します。<br><br>**「ems yes」の場合、手順65に進みます。**<br><br>**「ems no」もしくはems項目がない場合、手順64に進みます。** | □ |
| 64 |  | ・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。<br>「bcdedit /ems ON」<br>「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600」<br><br>※上記コマンドでエラーが出力した場合、以下のコマンドをコマンドプロンプトで入力してください。<br>「bcdedit /ems「ID」ON」<br>「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600」<br><br>「ID」・・・ ブートエントリに関連付けられているGUID<br>※「ID」はコマンド「bcdedit」を入力し表示された項目の「identifier」を参照してください。 | □ |
| 65 | **各ドライバのバージョン情報確認** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート" −" サポート製品ダウンロード"−" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br><br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | □ |

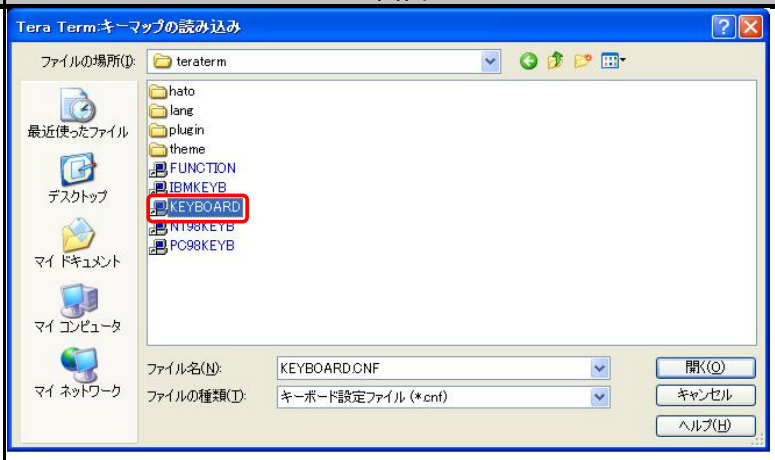
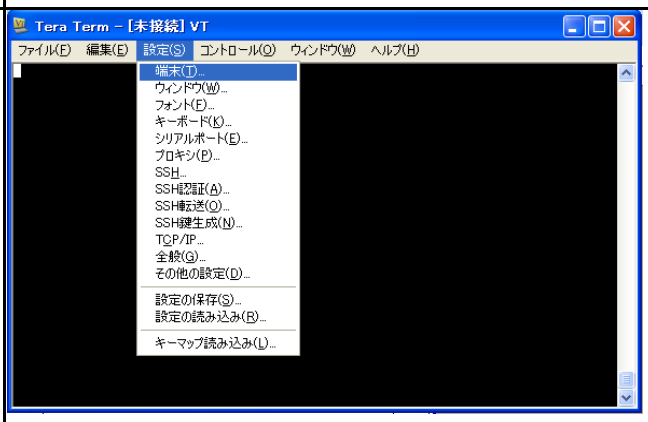
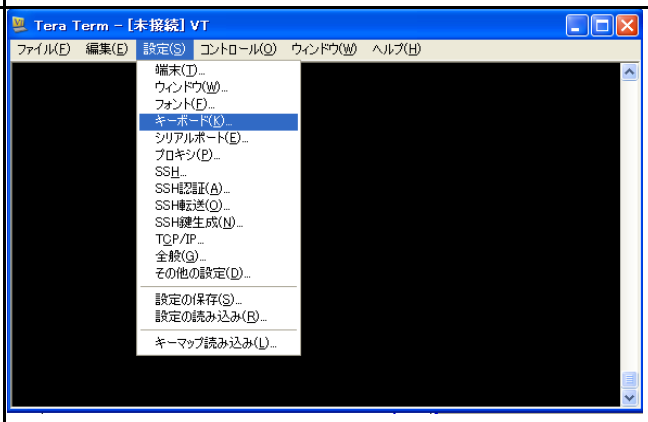
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 66 | **インストールしたOSの修正モジュール適用** | ■OS修正モジュールの適用<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。<br>また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>″ 導入後のサポート″−″ サポート製品ダウンロード″−″ ダウンロード最新情報一覧″ -″ OS修正モジュール″を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | □ |
| 67 | | ■リモートコンソールの終了<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「リモート終了」を実行します。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

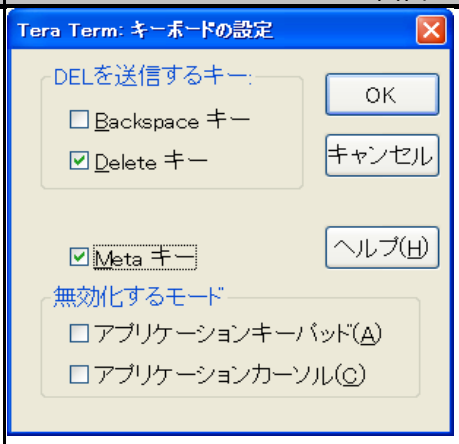
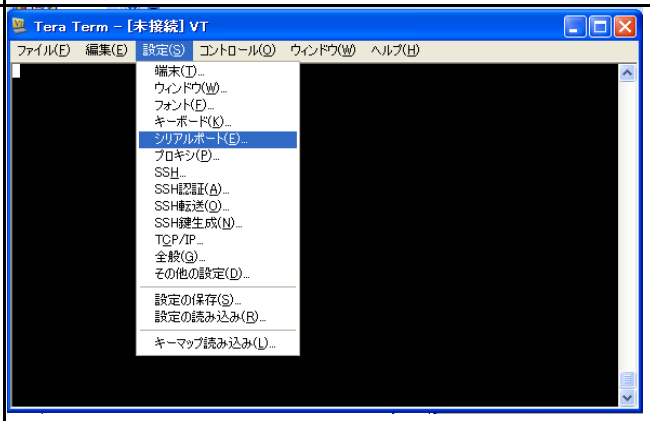
# ３．　Windows Server 2008 R2/R2 SP1 インストール手順(iSCSIの場合)

## ３．１ 準備

| No. | 画面 | 操作 | ﾁｪｯｸ |
|---|---|---|---|
| 1 | **環境確認** | ■動作環境の確認<br>・iSCSIを使用したインストールは次の環境でサポートされます。<br>1．ブレードモデル P5モデル<br>2．HVMファームウェアバージョン 17-88以降<br>3．使用するiSCSIストレージ BR1600S<br>上記以外の構成ではサポートされません。また、HDLMはサポートされません。<br><br>■内部接続方式の設定<br>・BS320ブレードのHVM は「内部接続方式」のみで動作します。HVM モードで使用する場合は、内部接続方式の設定を行う必要があります。<br><br>※詳細については、BladeSymphony BS320 Virtageセットアップガイド　基本構成編「LANスイッチモジュールの設定」を参照してください。<br><br>■リモートコンソールのバージョン確認<br>・リモートコンソールバージョン：04-02以降であることを確認します。 | □ |
| 2 | **事前準備** | ■事前に準備するものについて<br>・以下のものを準備します。<br><br>・CD/DVDドライブ または USB DVDドライブ<br>・SystemInstaller CD　※1<br>・Windows Server 2008 R2/R2 SP1メディア<br>・JP1/ServerConductorメディア<br>・CD－R ※2<br>・サービスパックDVD※3<br><br>※1 本書では、SystemInstaller CDはバージョン15-06以降を前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstallerによって動作が若干異なる場合があります。<br>※2 Webからドライバをダウンロードする手順のみに使用します。<br>※3 Windows Server 2008 R2 SP1をインストールする際に使用します。サーバブレードに添付されていない場合は、Microsoft社のWebページよりダウンロードしてください。 | □ |
| 3 | **SystemInstaller CD内のドライバ確認** | ■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認<br><br>・SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内のreadme.html を参照します。<br>インストールに使用するデバイスのドライバがSystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>″ 導入後のサポート″ －″ サポート製品ダウンロード″－″ ダウンロード最新情報一覧″ | □ |

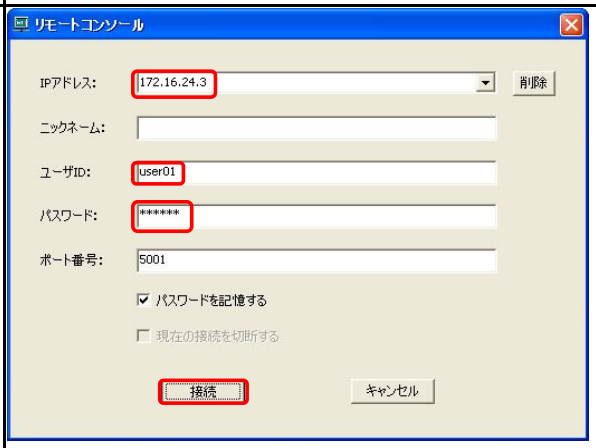
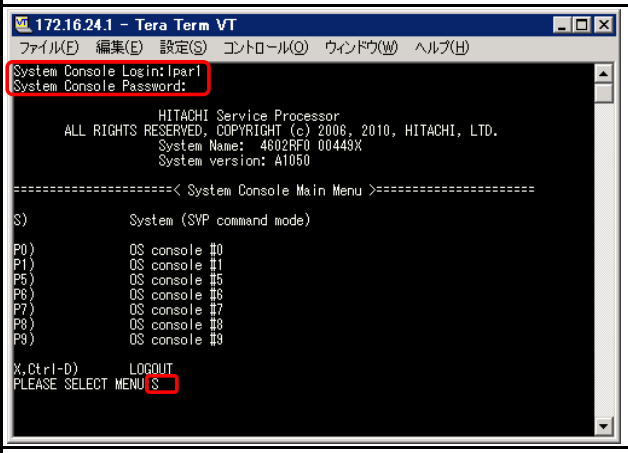
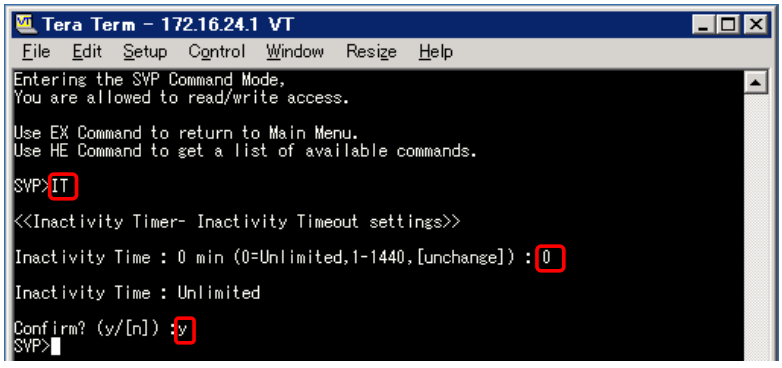
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | SystemInstaller CDに対応したドライバがある場合は手順5に進みます。<br>■Webからダウンロードしたドライバのの CD作成<br>・CDをCDドライブに入れます。<br>・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。<br>・C¥・・・・・・・¥拡張カード形名¥driver¥にあるすべてのファイルをCDにコピーします。<br><br>※CDにはディレクトリなしでコピーしてください。フォルダを作成するとインストールの際にドライバを読み込むことができなくなります。 | □ |
| 5 |  | ■Tera Termの設定<br>・KEYBOARD.CNFを開きます。 | □ |
| 6 |  | ・以下の設定になっていることを確認します。<br><br>Insert=338<br>Find=327<br>Prev=329<br>Remove=339<br>Select=335 | □ |
| 7 |  | ・「設定(S)」-「キーマップ読み込み(L)」をクリックします。 | □ |

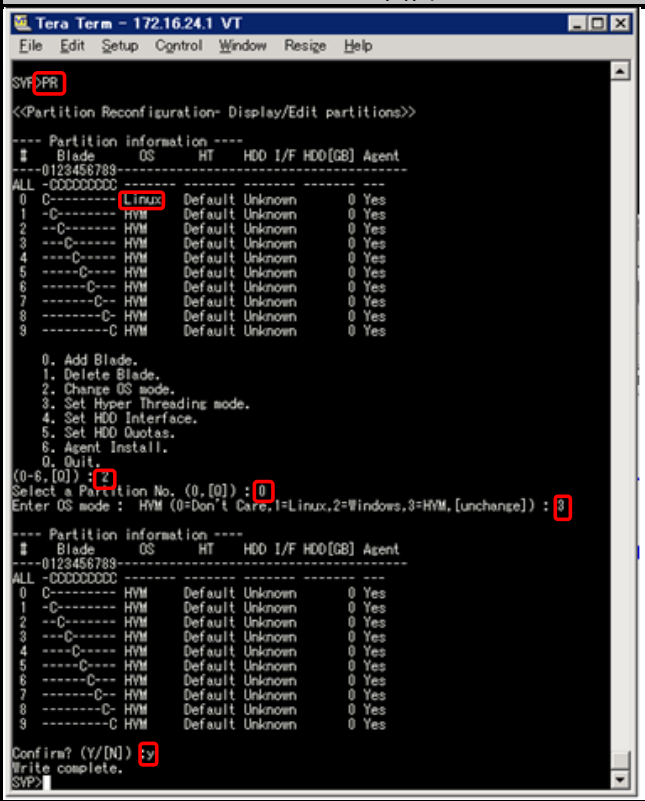
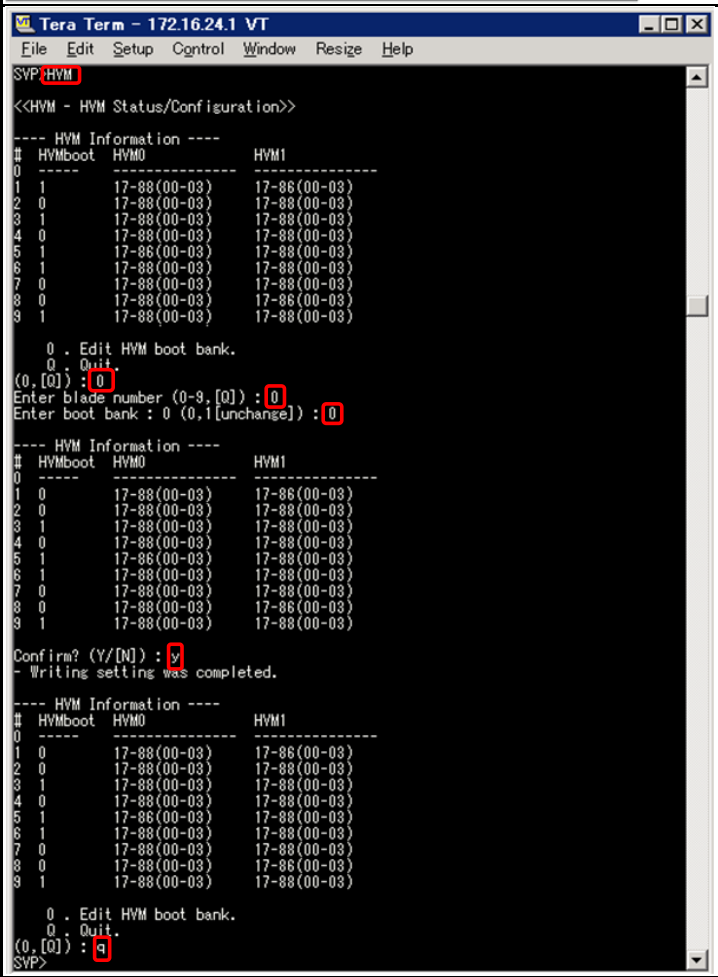
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・KEYBOARD.CNFを選択します。 | □ |
| 9 |  | ・「設定(S)」-「端末(T)」をクリックします。 | □ |
| 10 | | ・左記の設定となっていることを確認します。 | □ |
| 11 |  | ・「設定(S)」-「キーボード(K)」をクリックします。 | □ |

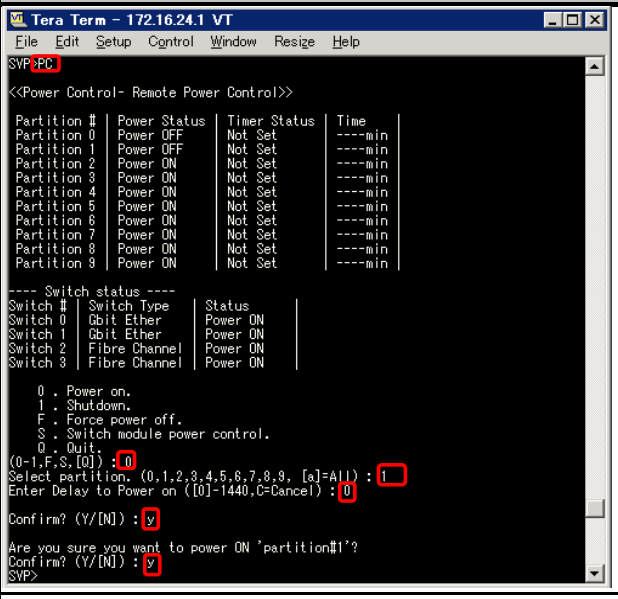
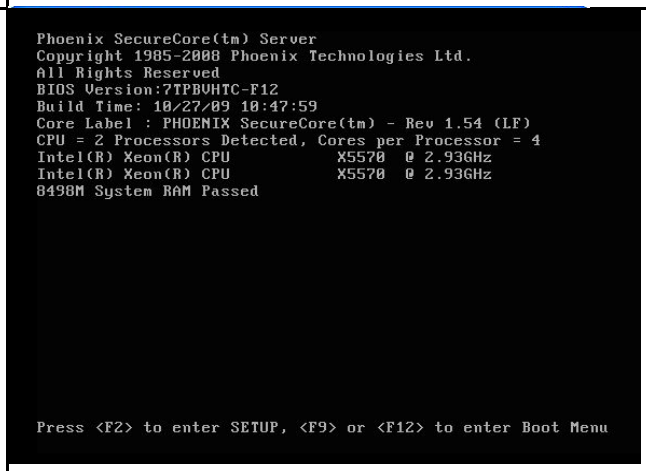
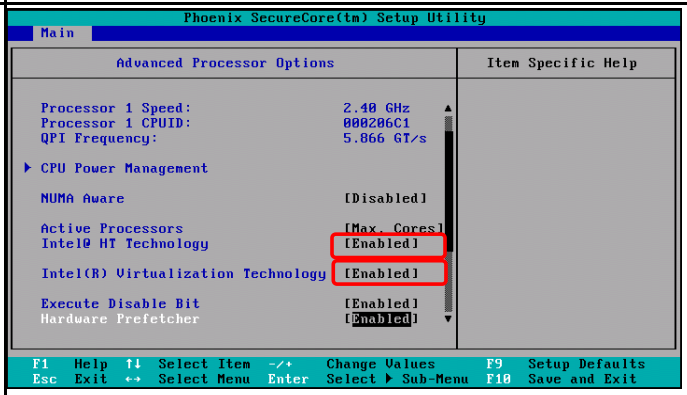
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ・左記の設定となっていることを確認します。 | ☐ |
| 13 |  | ・「設定(S)」-「シリアルポート(E)」をクリックします。 | ☐ |
| 14 | | ・左記の設定となっていることを確認します。 | ☐ |

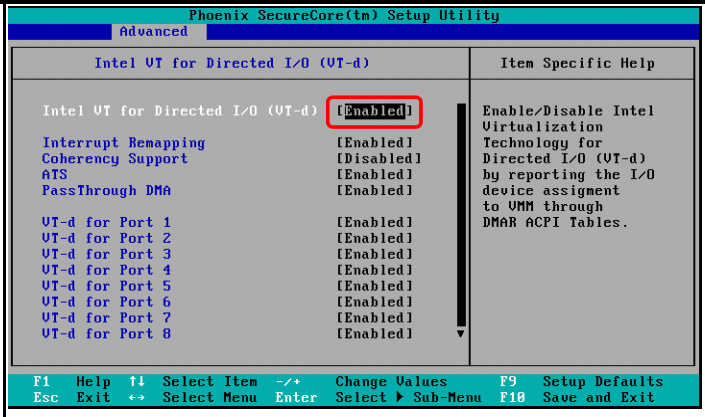
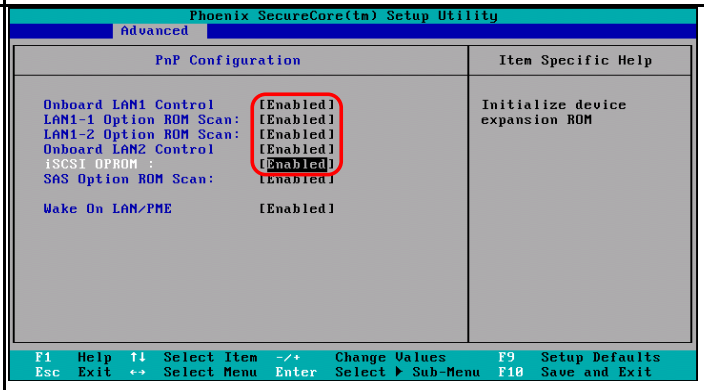
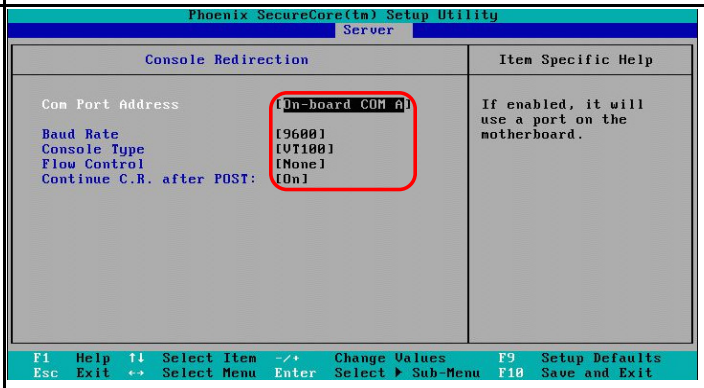
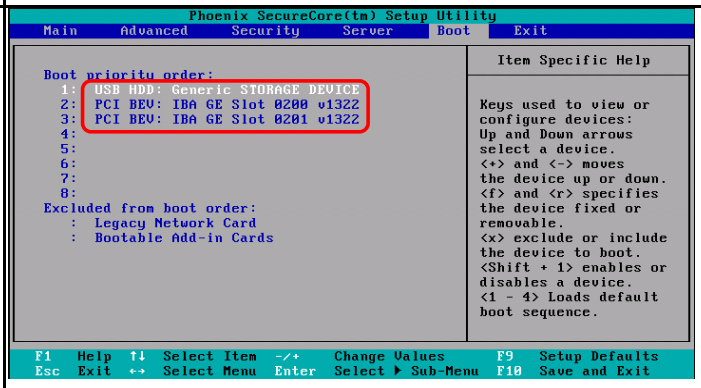
3．2　HVMの起動 に進みます。

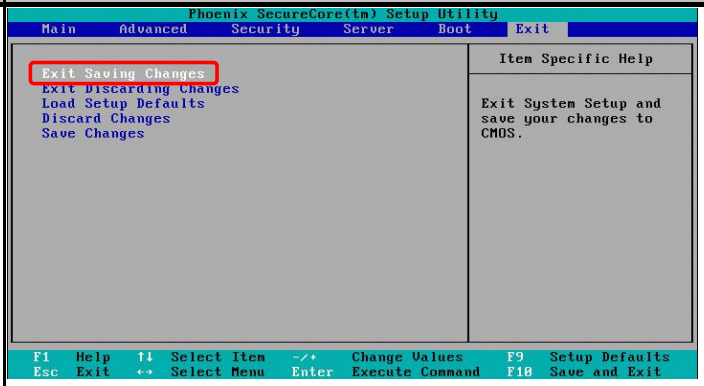
## ３．２ HVMの起動

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | ※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | ☐ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 3 | **コンソールの切替：Tera Term** | | ☐ |
| 4 |  | ■SVPにログイン<br>・SVPのIPアドレスを入力し、SVPへ接続します。<br>・ログインIDを入力します。<br>・ログインパスワードを入力します。<br>・「S」を入力します。 | ☐ |
| 5 |  | ■タイムアウト時間の設定<br>※操作がなかった場合に自動で切断される時間を設定できます。<br><br>・「IT」を入力します。<br>・任意の値を入力します。（「0」を設定すると自動で切断されなくなります）<br>・「y」を入力します。 | ☐ |

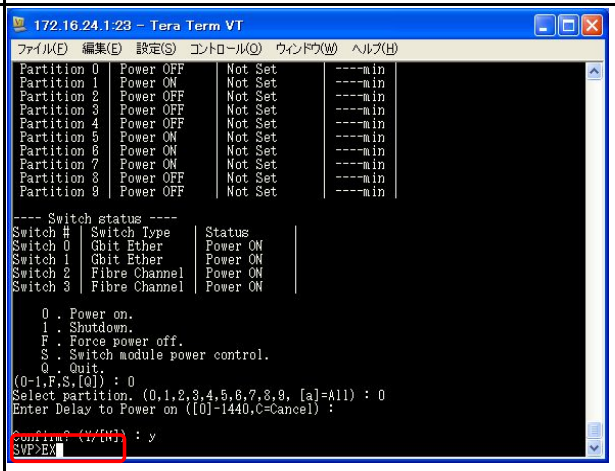
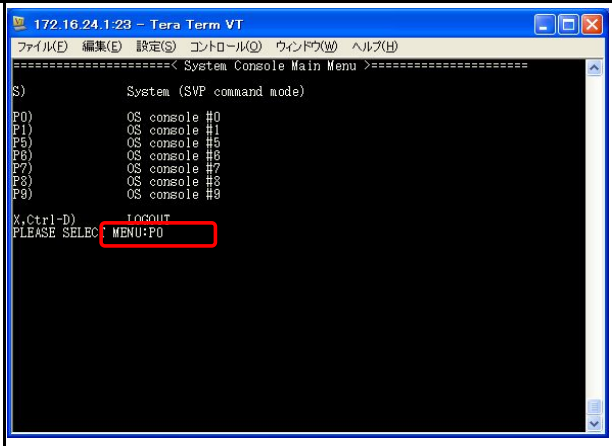
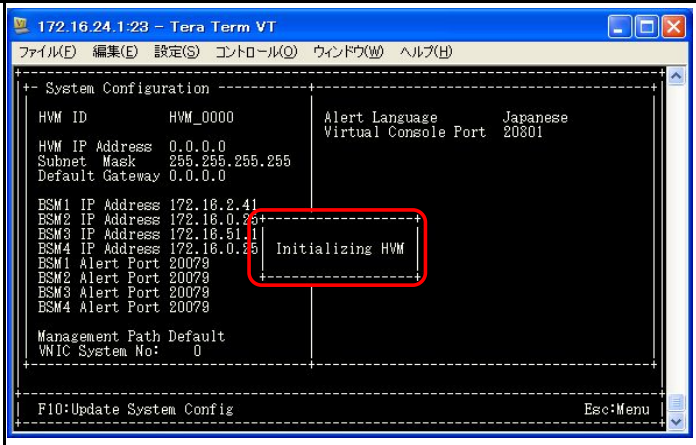
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 6 |  | ■HVMモードの設定<br>・「PR」を入力します。<br>・「OS」の設定値が「HVM」であることを確認してから、「q」を入力します。<br><br>※「HVM」に設定されていない場合は、次の手順を行ってください。<br><br>・「2」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「3」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | ☐ |
| 7 |  | ■HVMファームウェア面番号の設定<br>・「HVM」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「HVMファームウェア面番号」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「q」を入力します。 | ☐ |

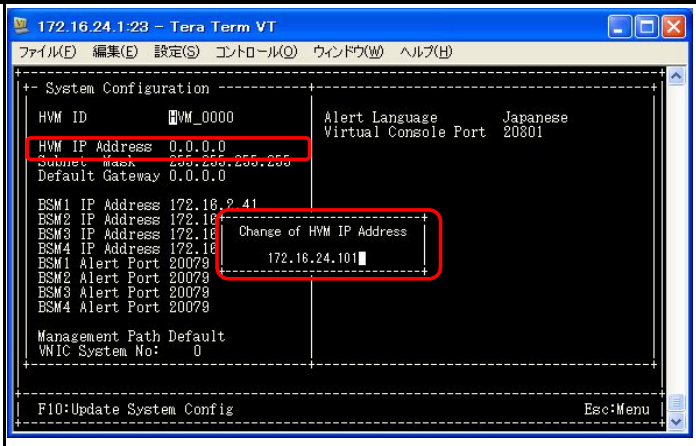
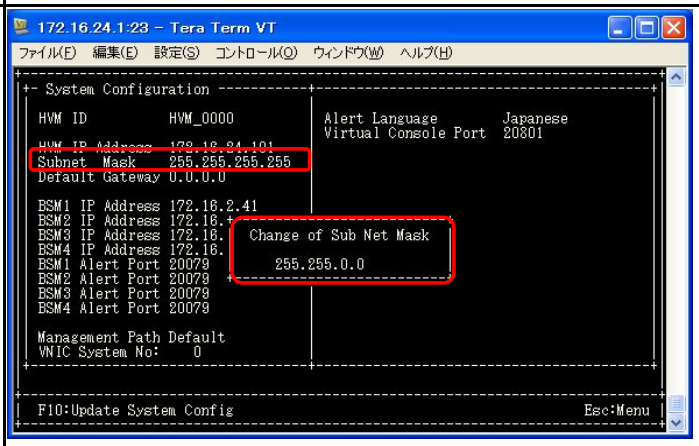
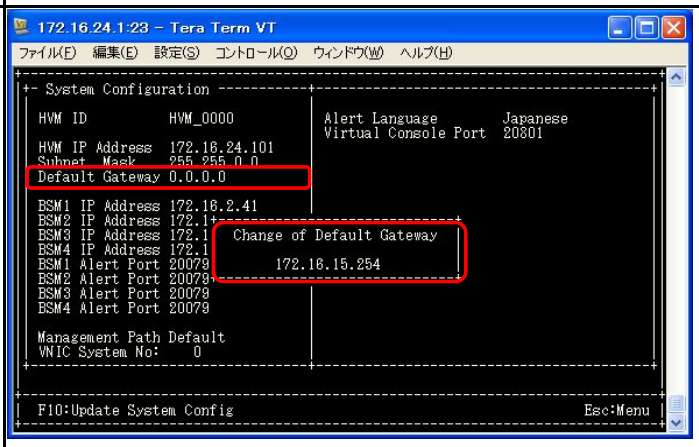
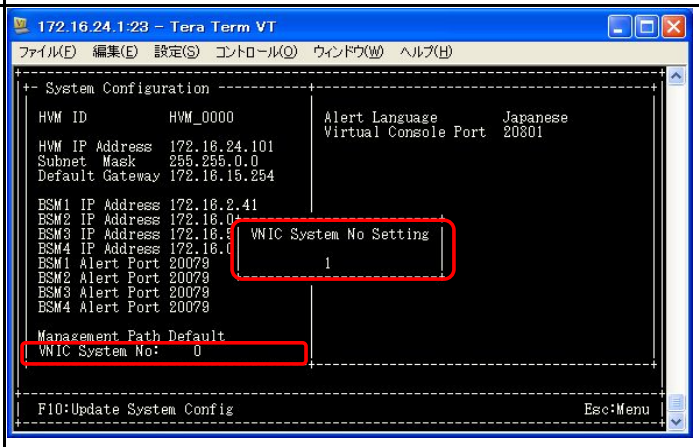
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ■電源の投入<br>・「PC」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「ブレード番号」を入力します。<br>・「0」を入力します。<br>・「y」を入力します。<br>・「y」を入力します。 | ☐ |
| 9 | **コンソールの切替：リモートコンソール** | | ☐ |
| 10 |  | ・「Press <F2>…」と表示されたら、「F2」キーを押します。<br><br>※操作が間に合わなかった場合は、一度ブレードの電源をオフにしてから、再度電源をオンにしてください。 | ☐ |
| 11 |  | ■BIOSの設定<br>※次の設定でなければ設定値を変更してください。<br><br>・「Main」-「Advanced Processor Options」に移動します。<br>・「Intel@ HT Technology」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>※お使いの機種によっては表示されないことがあります。<br><br>・「Intel(R) Virtualization Technology」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | ☐ |

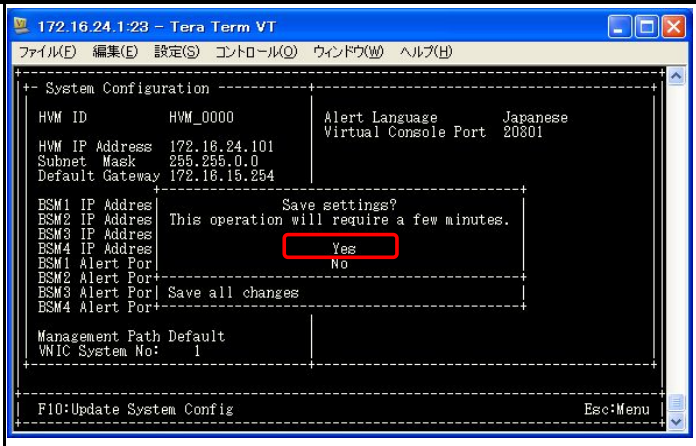
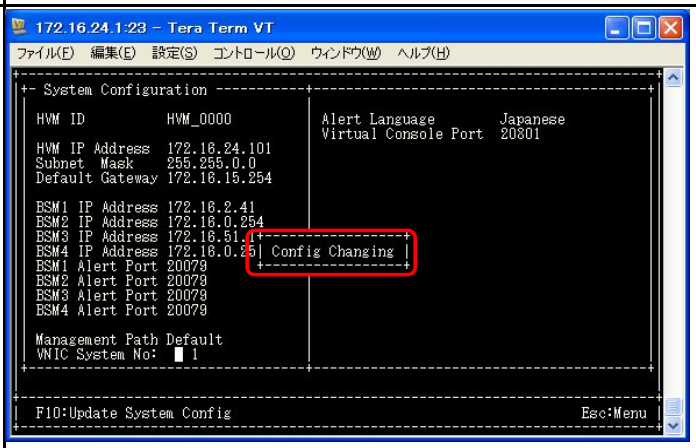
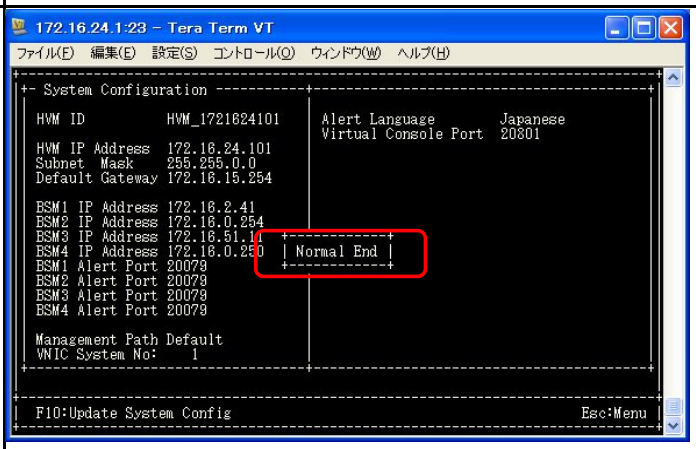
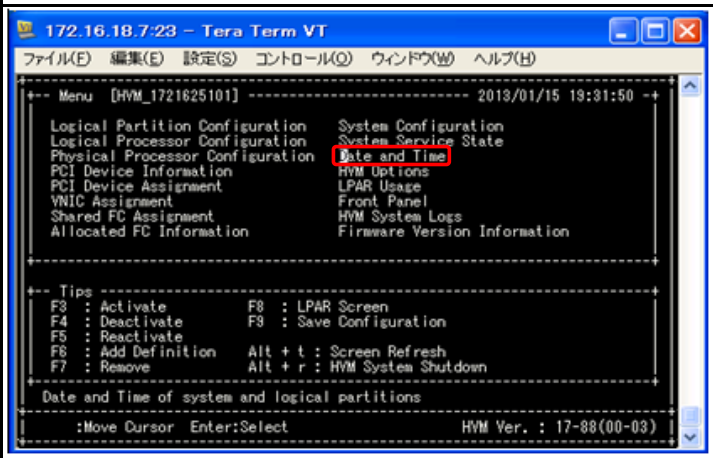
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ・「Advanced」-「Advanced Chipset Control」に移動します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)を選択します。<br>・Intel VT for Directed I/O (VT-d)が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 13 |  | ・「Advanced」-「PnP Configuration」に移動します。<br>・「LAN1-1 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「LAN1-2 Option ROM Scan」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「Onboard LAN2 Control」が「Enabled」に設定されていることを確認します。<br>・「iSCSI OPROM」が「Enabled」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 14 |  | ・「Server」-「Console Redirection」に移動します。<br>・「Com Port Address」が「On-board COM A」に設定されていることを確認します。<br>・「Baud Rate」が「9600」に設定されていることを確認します。<br>・「Console Type」が「VT100」に設定されていることを確認します。<br>・「Flow Control」が「None」に設定されていることを確認します。<br>・「Continue C.R. after POST」が「On」に設定されていることを確認します。 | □ |
| 15 |  | ・「Boot」に移動します。<br>・「Boot Priority order」に「USB HDD: Generic STORAGE DEVICE」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br>・「Boot Priority order」に「PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx」が設定されていることを確認します。<br><br>※「x」キーにより、「Excluded from boot order」から「Boot Priority order」に移動することができます。 | □ |

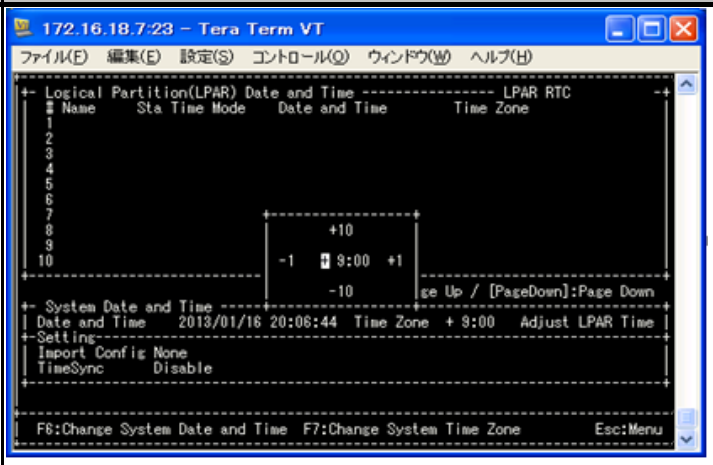
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ・「Exit Saving Changes」を選択します。<br>・「Yes」を選択します。 | □ |
| 17 | | ・サーバブレードが再起動します。 | □ |
| [3．3　HVMの設定 に進みます。] | | | |

## 3．3 HVMの設定

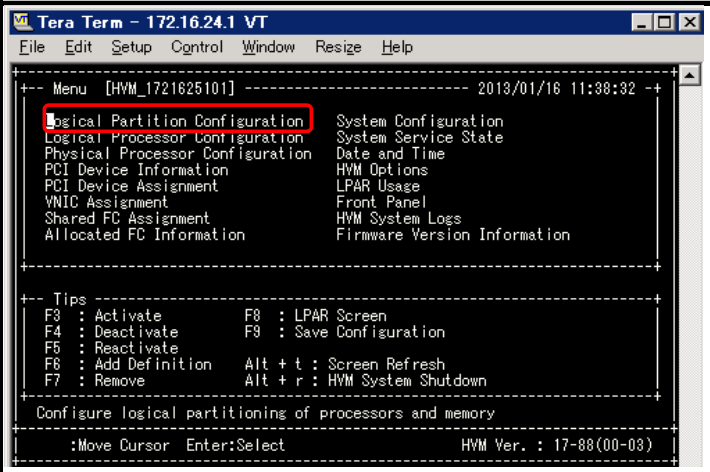
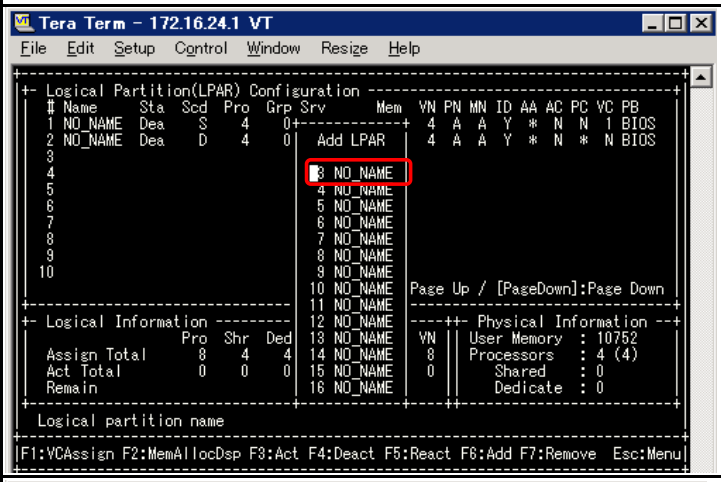
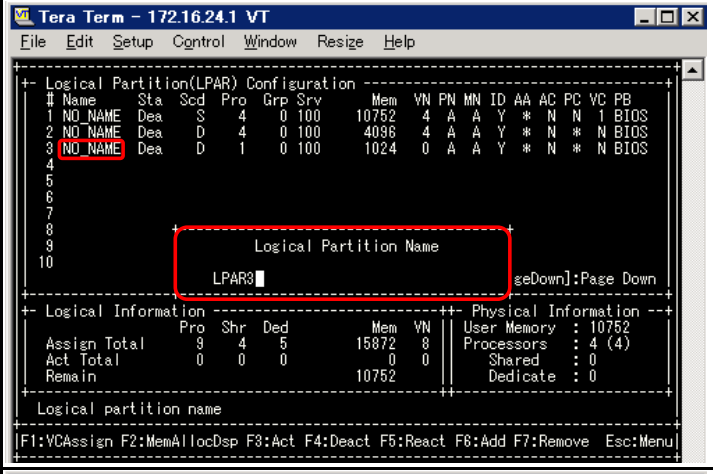
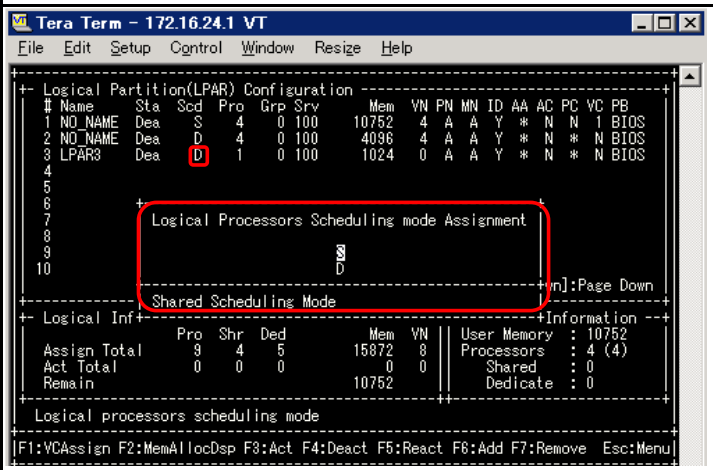
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | コンソールの切替：Tera Term | | □ |
| 2 |  | ・「EX」を入力します。 | □ |
| 3 |  | ・「P」+「ブレード番号」を入力します。 | □ |
| 4 |  | ■HVMの設定<br>・「Alt」＋「t」を入力します。<br><br>※Bladeの電源をONにしてから、約7分でSystem Configurationが表示されます。また、「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。 | □ |

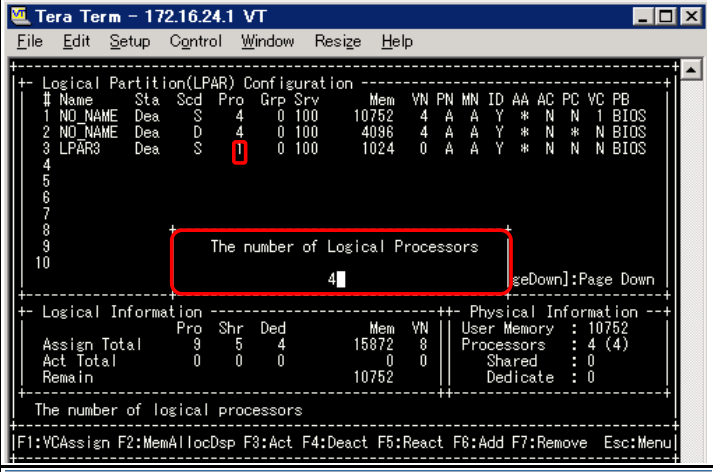
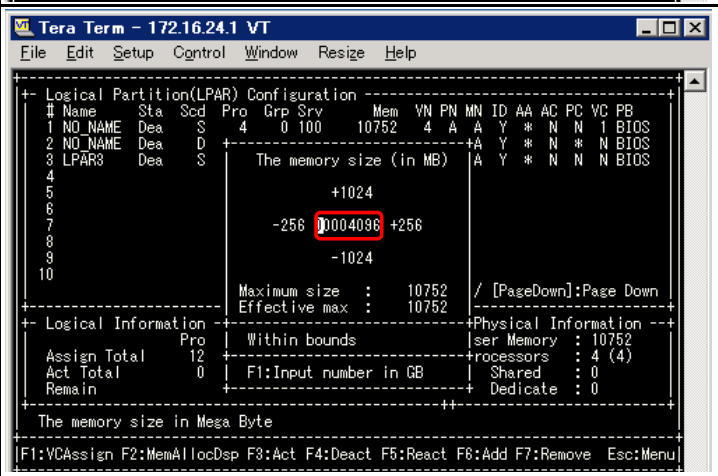
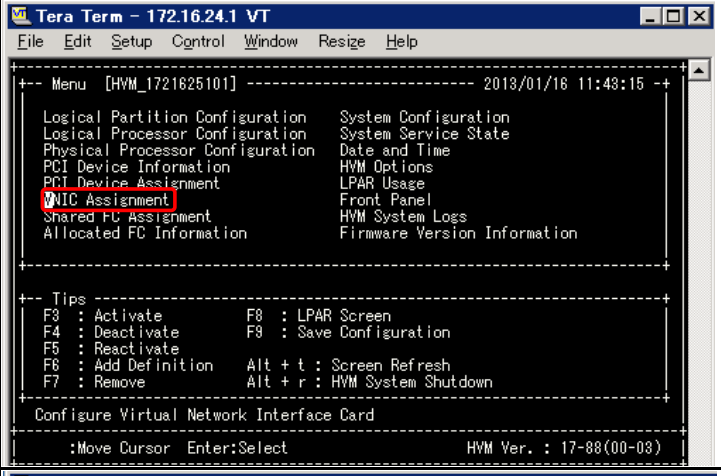
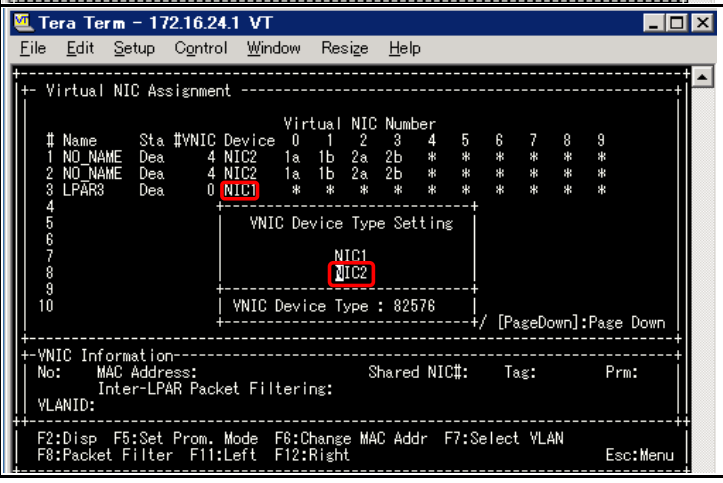
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ・「HVM IP Address」を選択します。<br>・「HVM IP Address」を入力します。 | □ |
| 6 |  | ・「Subnet Mask」を選択します。<br>・「Subnet Mask」を入力します。 | □ |
| 7 |  | ・「Default Gateway」を選択します。<br>・「Default Gateway」を入力します。 | □ |
| 8 |  | ・「VNIC System No」を選択します。<br>・「VNIC System No」を入力します。 | □ |

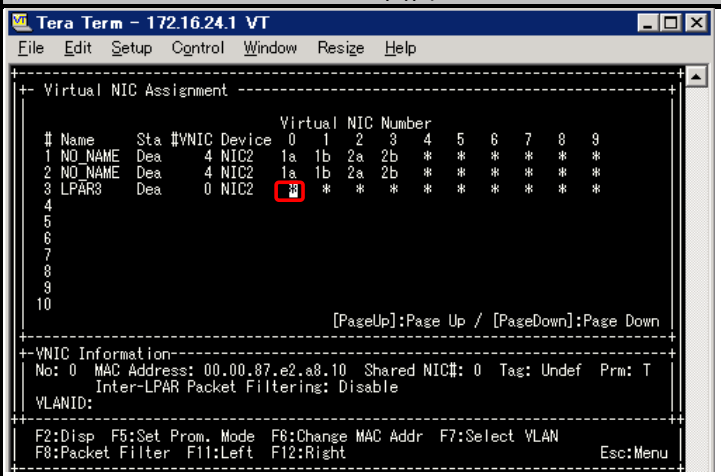
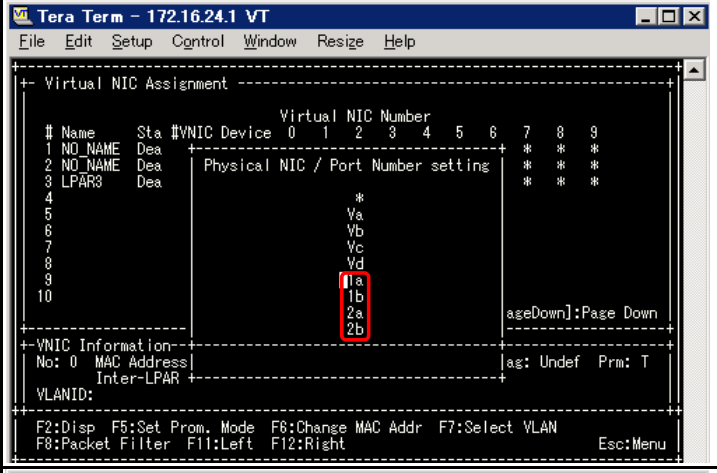
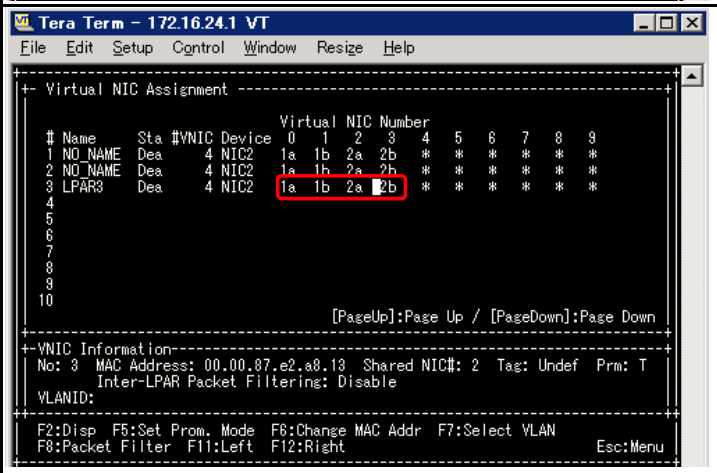
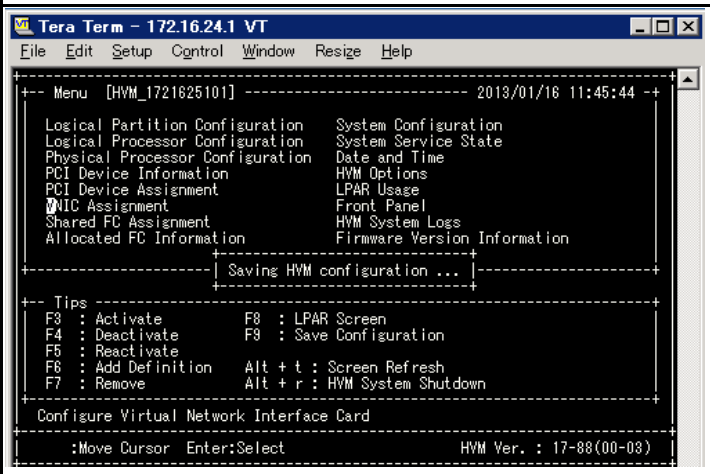
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ■システム構成情報の更新<br>・「F10」キーを押します。<br>・「Yes」を選択します。 | □ |
| 10 |  | ※「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。 | □ |
| 11 |  | ※システム構成情報が更新されます。 | □ |
| 12 |  | ■TimeZoneの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Date and Time」を選択します。 | □ |

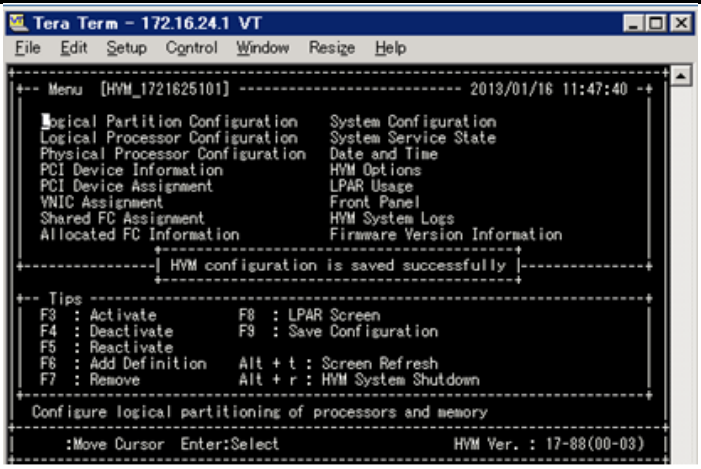
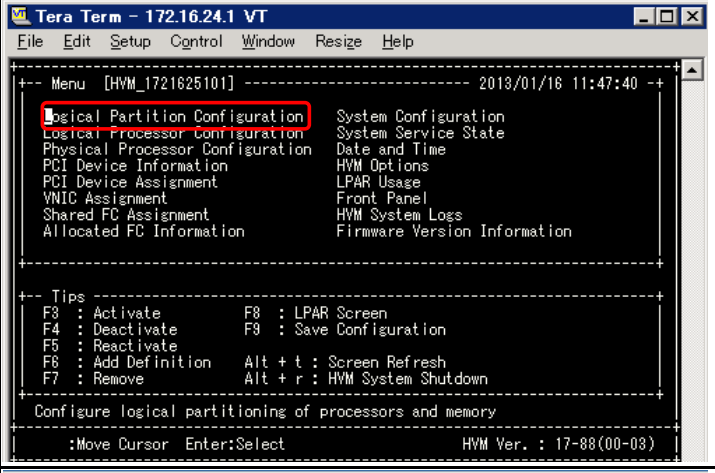
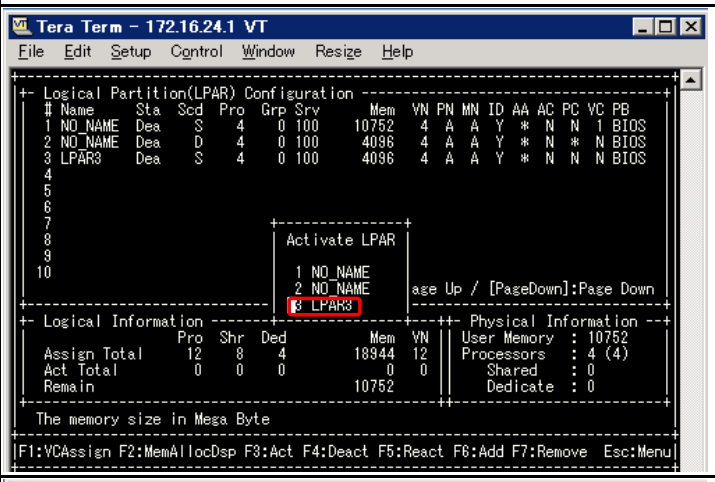
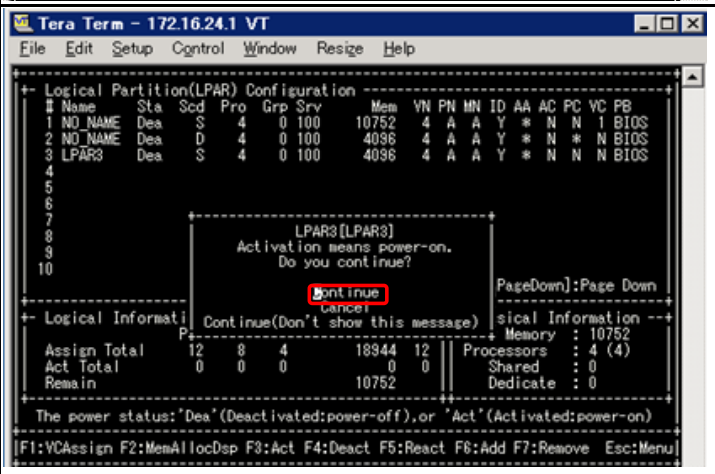
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ・「F7」(Change System Time Zone) を押します。<br>・矢印キー (「↑」、「↓」、「←」、「→」)を押し、システムタイムゾーンを＋9:00にします。 | □ |
| 3．4　LPARの構築に進みます。 | | | |

## 3．4 LPARの構築

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 |  | ■LPARの作成<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 2 |  | ・「F6」キーを押します。<br>・作成するLPAR番号を選択します。 | □ |
| 3 |  | ■LPAR名称の設定<br>・「Name」列を選択します。<br>・「LPAR名称」を入力します。<br><br>※ここでは例として「LPAR3」と入力します。 | □ |
| 4 |  | ■スケジューリングモードの設定<br>・「Scd」列を選択します。<br>・任意のスケジューリングモードを選択します。 | □ |

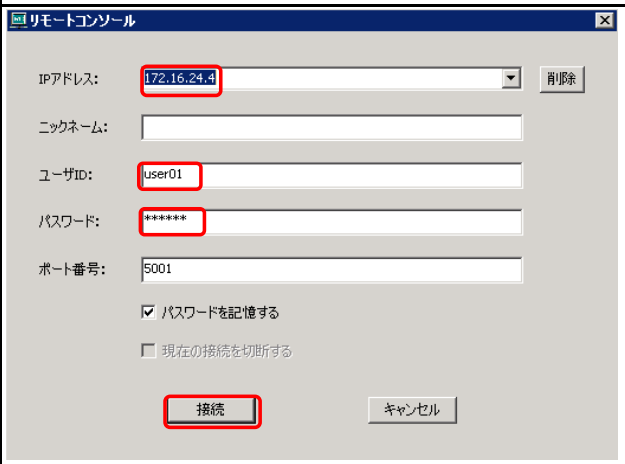
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 5 |  | ■プロセッサ数の設定<br>・「Pro」列を選択します。<br>・任意のプロセッサ数を選択します。 | □ |
| 6 |  | ■メモリサイズの設定<br>・「Mem」列を選択します。<br>・任意のメモリサイズを選択します。 | □ |
| 7 |  | ■共有NICの設定<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「VNIC Assignment」を選択します。 | □ |
| 8 |  | ・作成したLPARの「NIC1」を選択します。<br>・「VNIC Device Type Setting」で「NIC2」を選択します。<br><br>※iSCSI接続の場合は必ず「NIC2」を選択してください。 | □ |

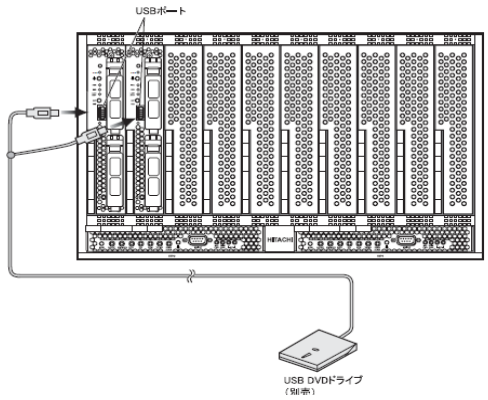
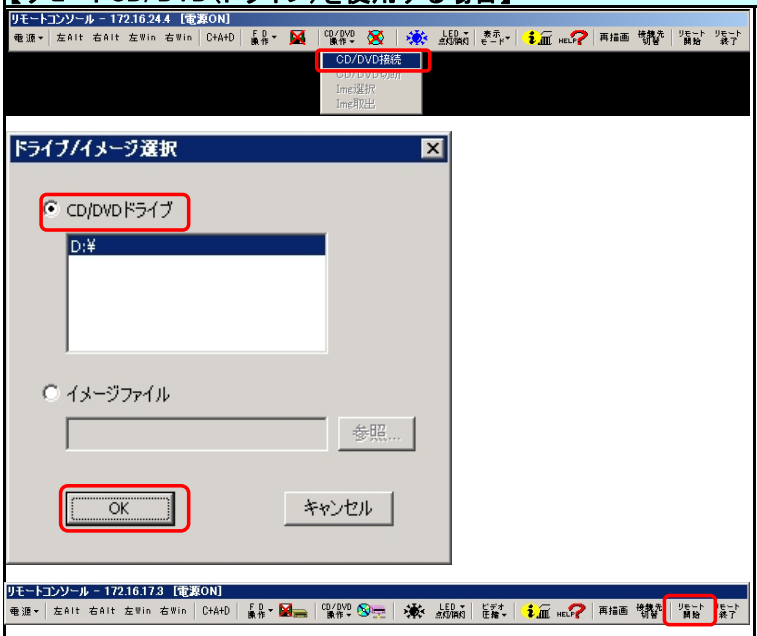
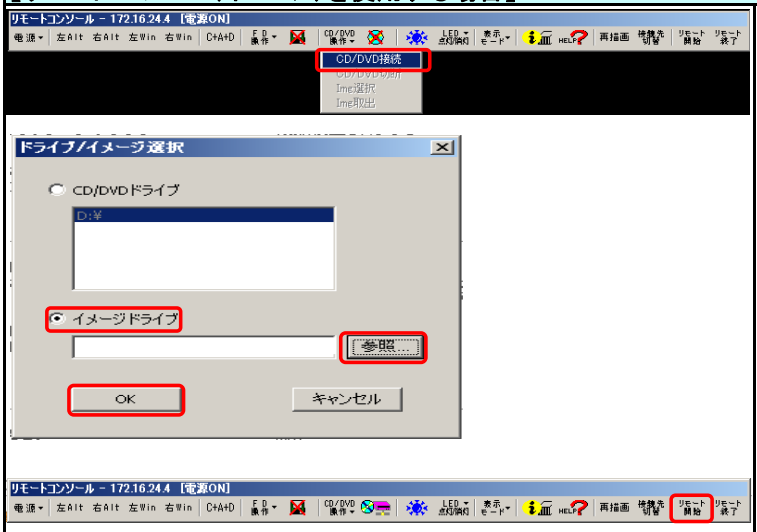
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 9 |  | ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 | □ |
| 10 |  | ・任意の割り当て先を選択します。<br><br>※iSCSI接続の場合は「2a」、「2b」も必ず選択してください。<br><br>※例として「1a」、「1b」、「2a」、「2b」を選択します。 | □ |
| 11 |  | ※共有NICが設定されます。 | □ |
| 12 |  | ■HVM構成情報の保存<br>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。<br><br>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。 | □ |

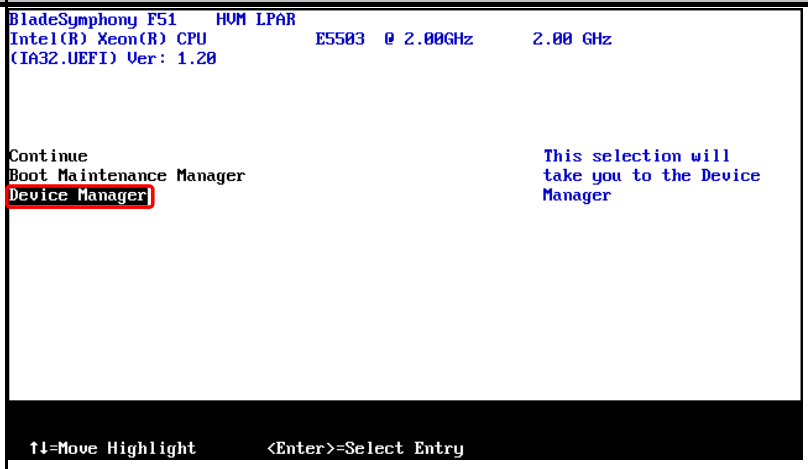
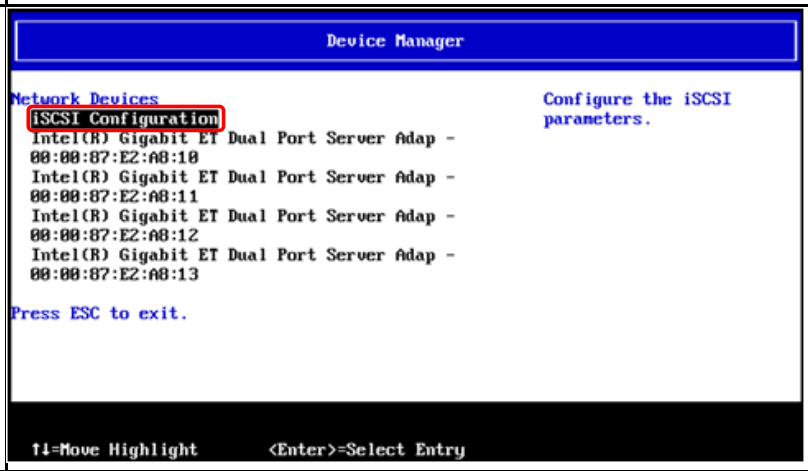
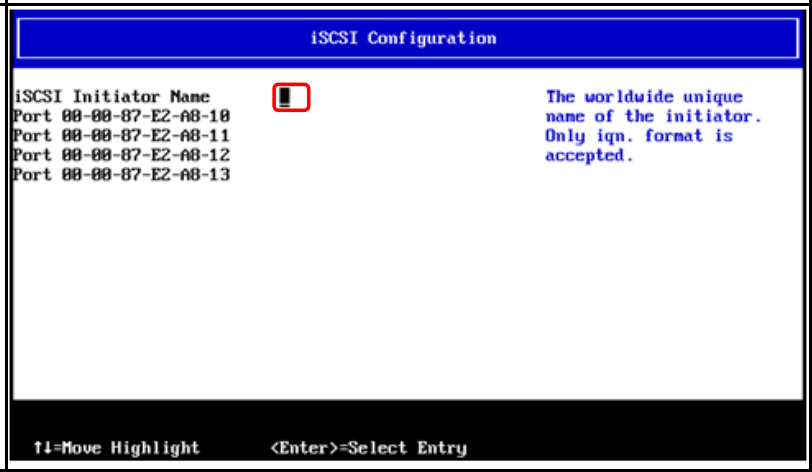
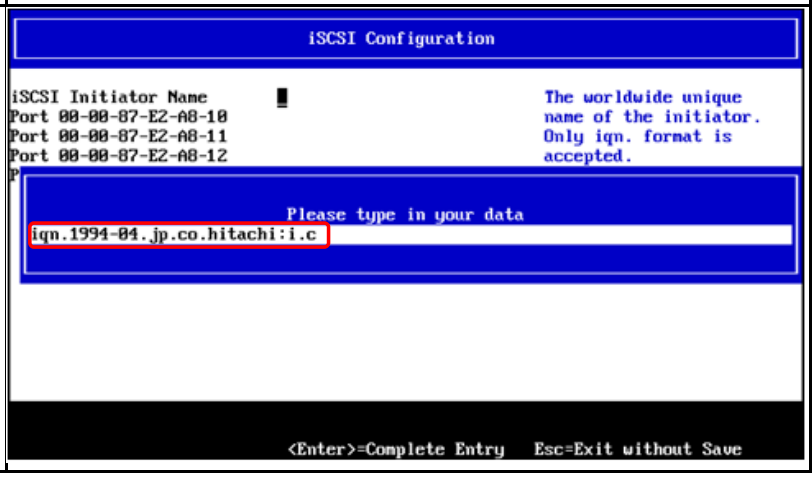
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 13 |  | ※HVM構成情報が保存されます。 | □ |
| 14 |  | ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。<br>・「Logical Partition Configuration」を選択します。 | □ |
| 15 |  | ■LPARの起動<br>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 | □ |
| 16 |  | ・「Continue」を選択します。 | □ |

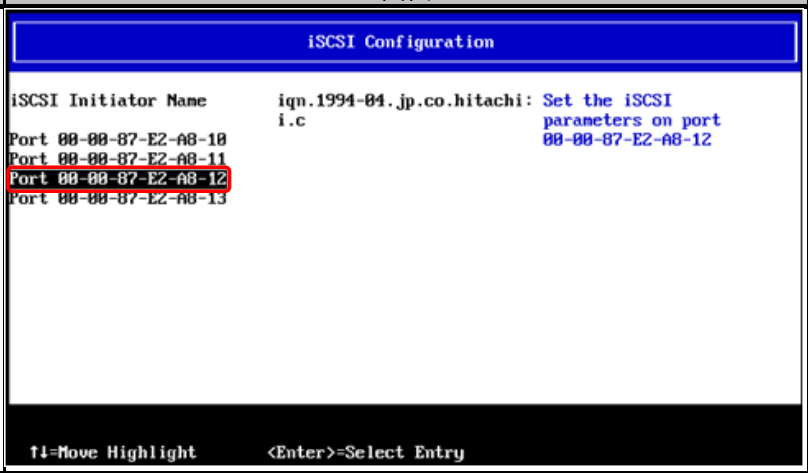
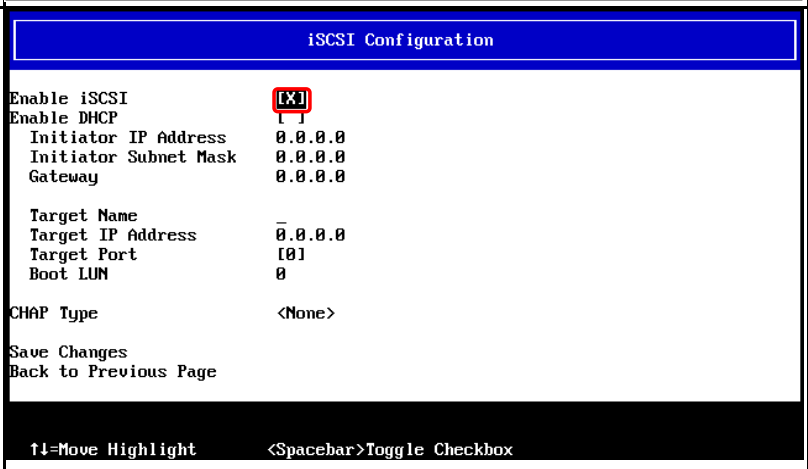
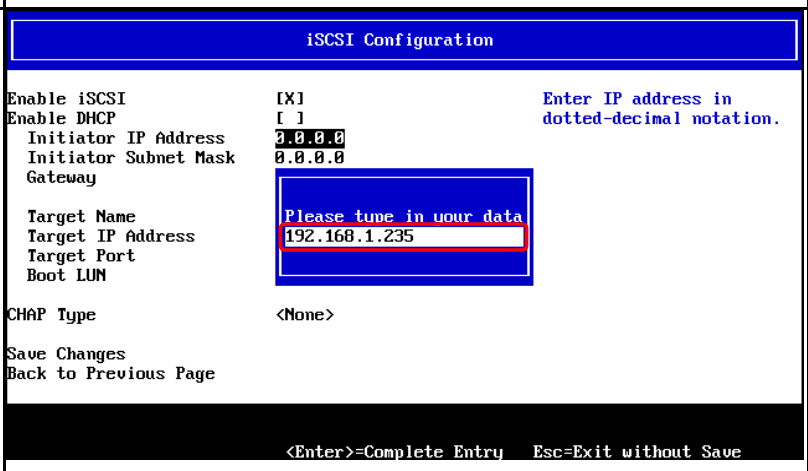
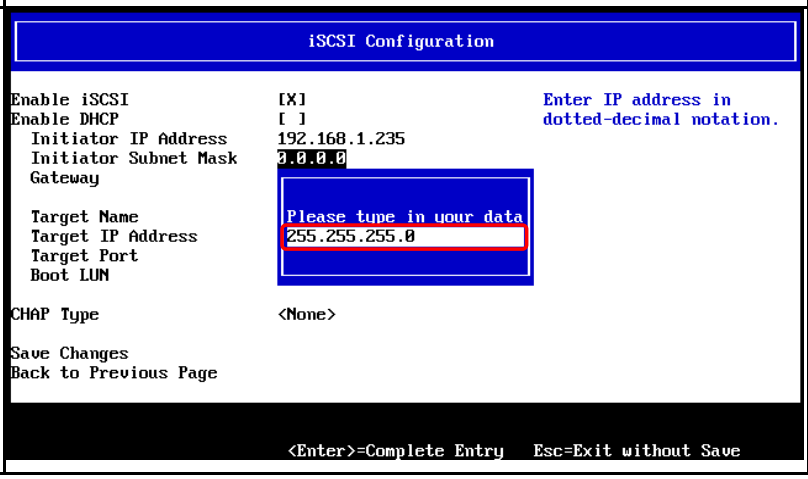
3．5　Windows Server 2008 R2/R2 SP1のインストール　に進みます。

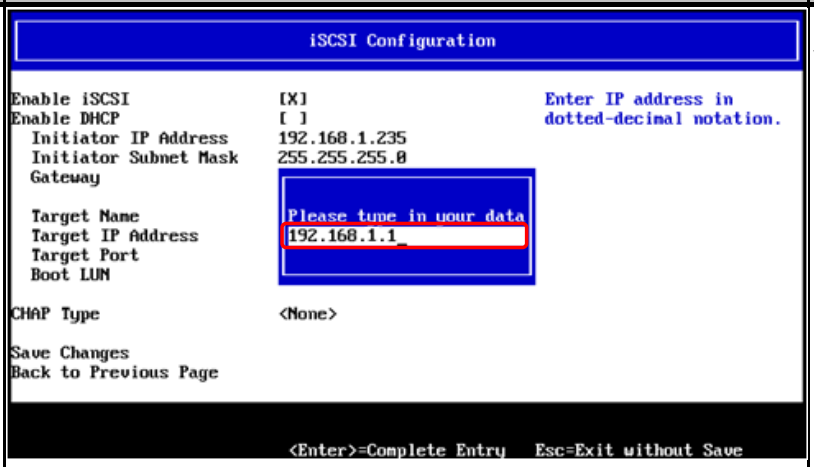
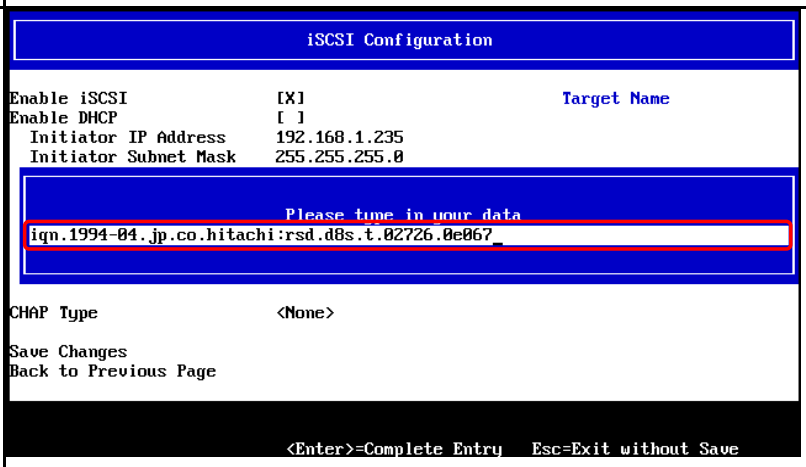
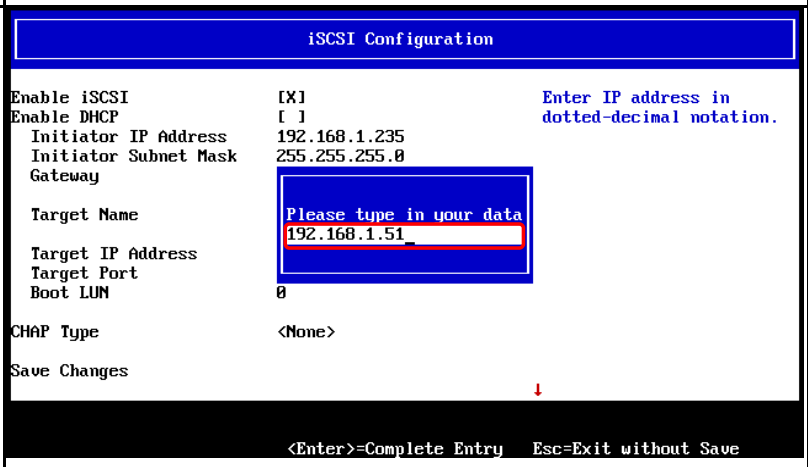
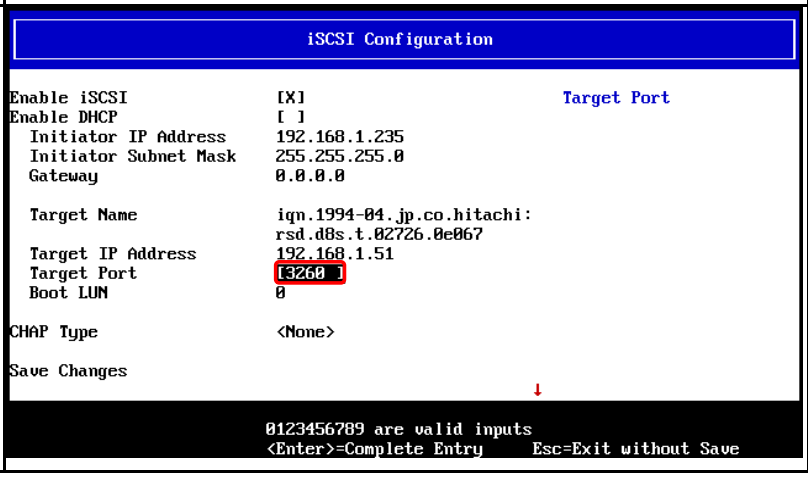
## 3．5 Windows Server 2008 R2 / R2 SP1のインストール

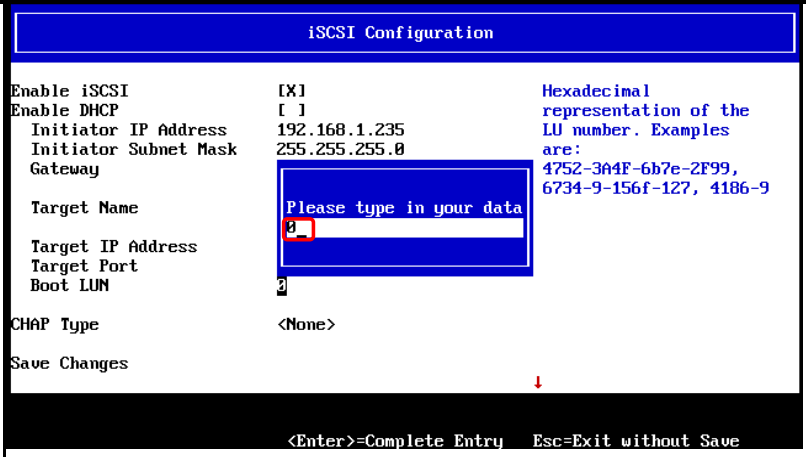
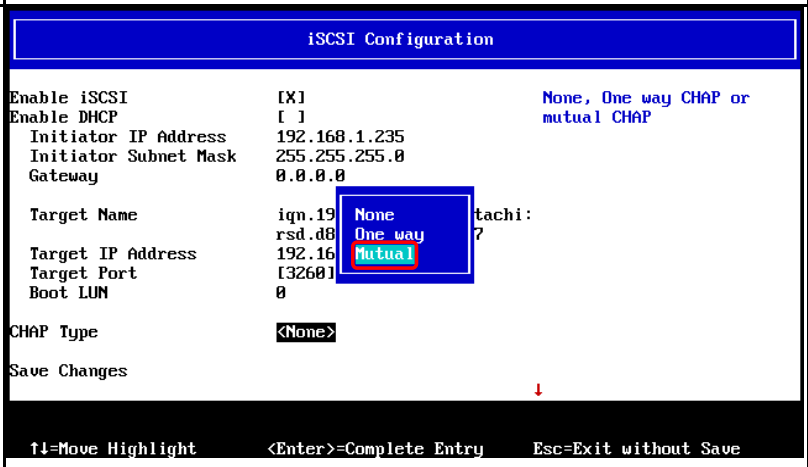
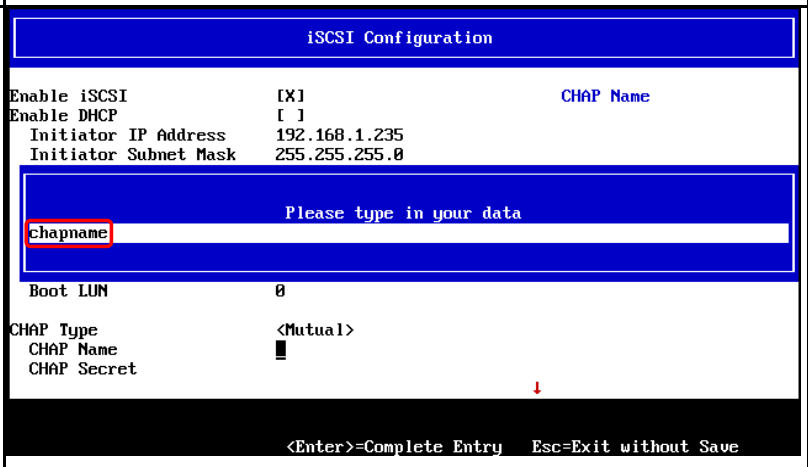
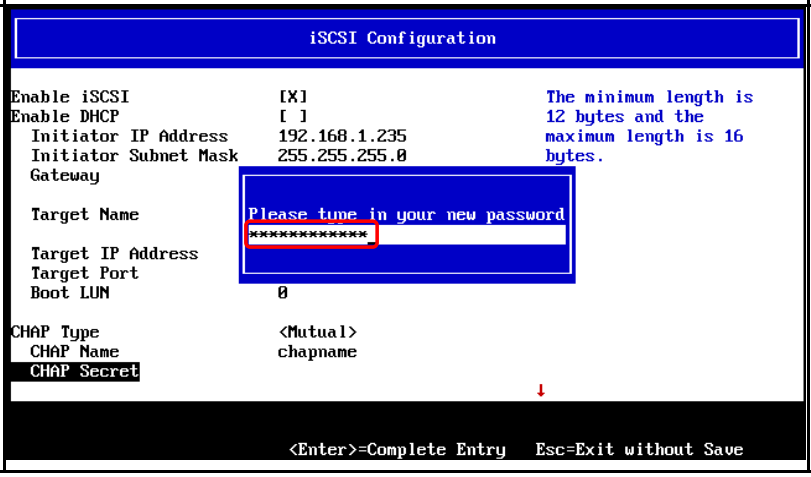
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 1 | コンソールの切替：リモートコンソール | ※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。<br>BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。 | □ |
| 2 |  | ■リモートコンソールに接続<br>・BMCのIPアドレスを入力します。<br>・ユーザID、パスワードを入力します。<br>・「接続」ボタンをクリックします。 | □ |

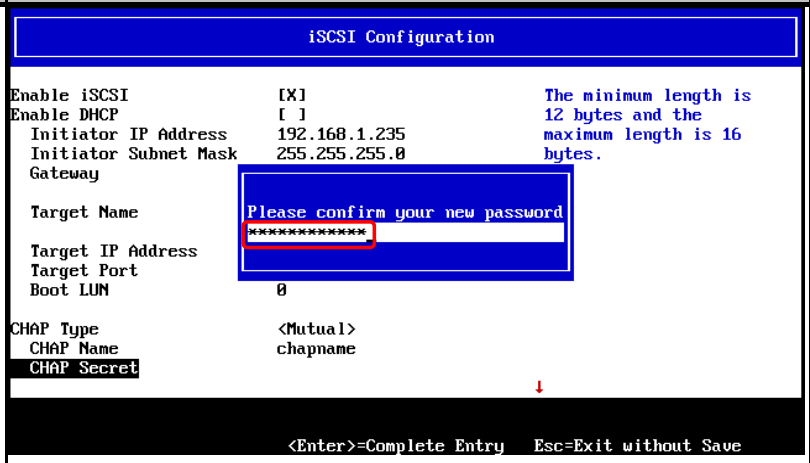
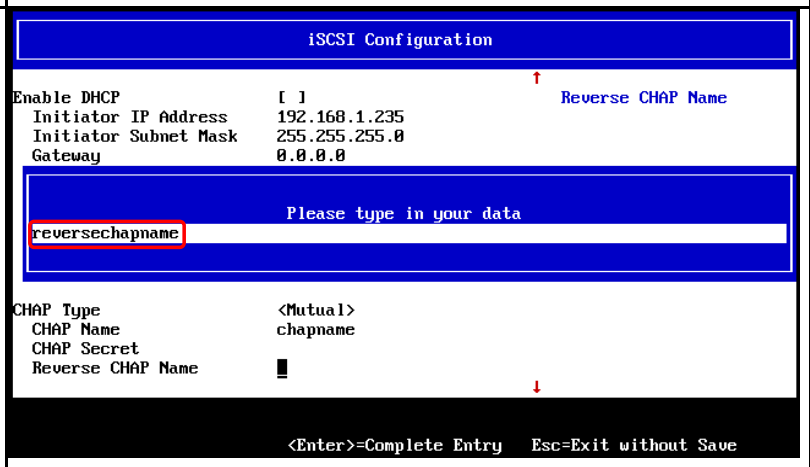
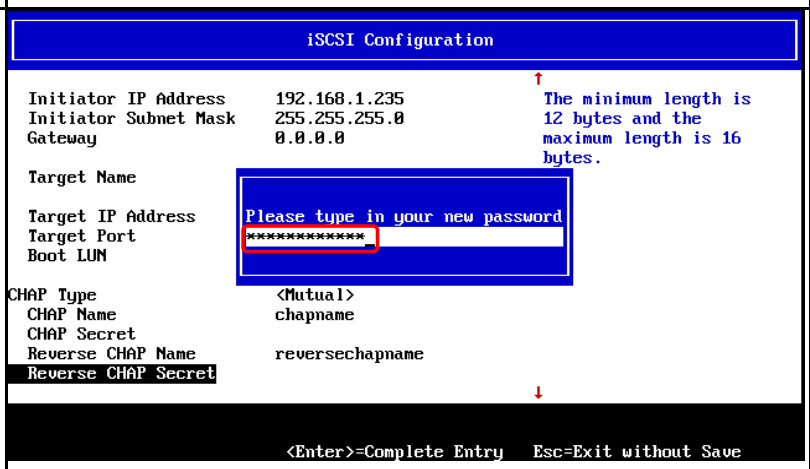
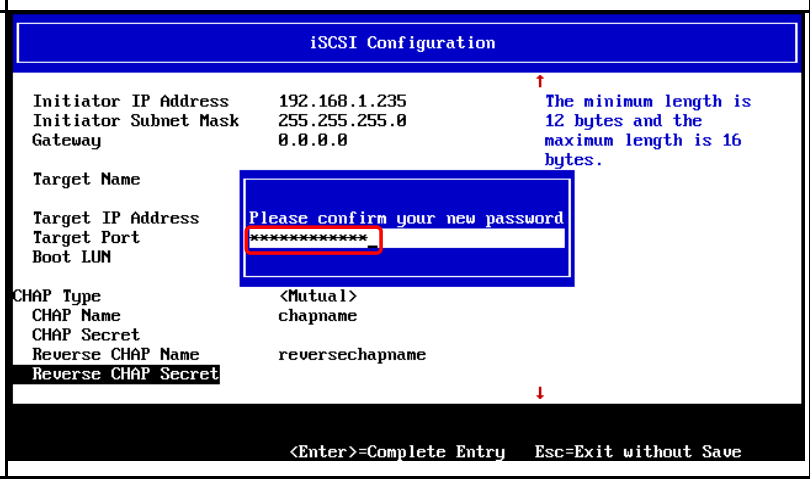
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 3 | 項目3は 3-1 or 3-2 or 3-3の内1つを満たせばよい | | |
| | 3-1 【フロント USBを使用する場合】<br>  | ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「Windows Server 2008 R2/R2 SP1DVD」を入れます。<br><br>※例として、二又に分かれたUSB DVDドライブを使用しています。二又ケーブルの場合はDVDドライブの電源用プラグをサーバブレードに挿してください。 | □ |
| | 3-2 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】<br>  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でCD/DVDドライブをクリックします。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>・コンソール端末のCD/DVDドライブに「Windows Server 2008 R2 /R2 SP1DVD」を入れます。 | □ |
| | 3-3 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】<br>  | ・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD接続」をクリックします。<br><br>・ドライブ/イメージ選択でイメージドライブをクリックします。<br>・「参照」をクリックし、「Windows Server 2008 R2 /R2 SP1DVD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」をクリックします。<br><br>・「リモート開始」を実行します。<br>※イメージファイルの作成方法は、「BS320 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 | □ |

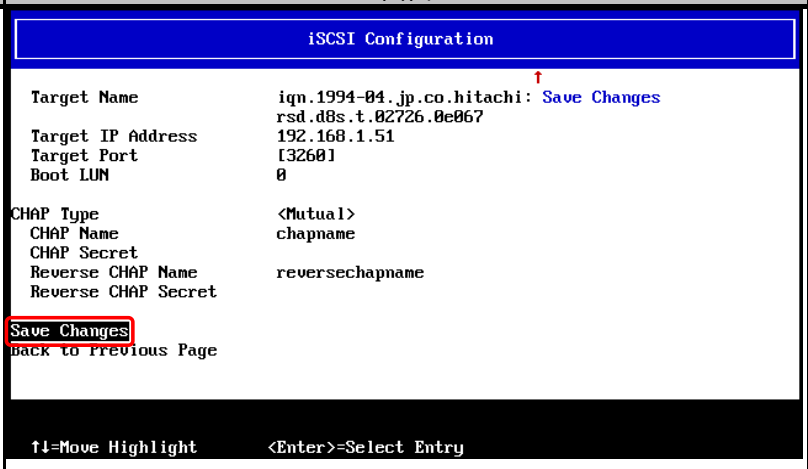
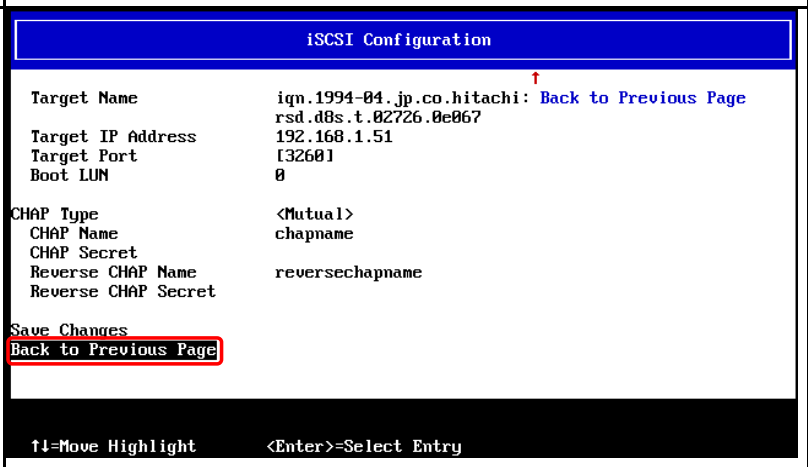
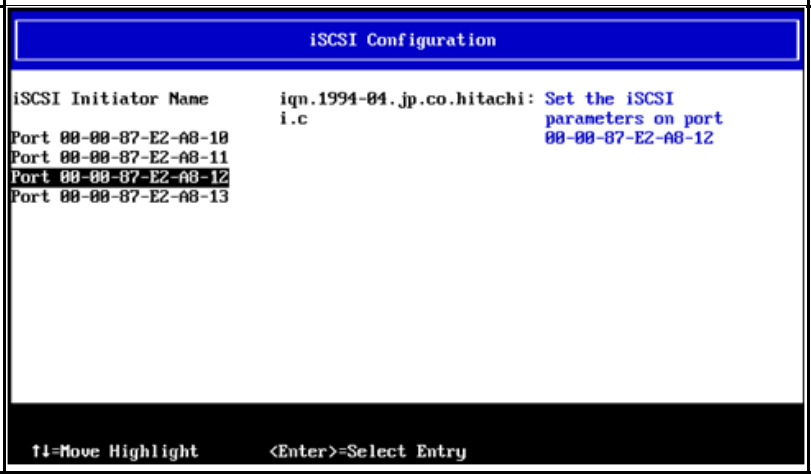
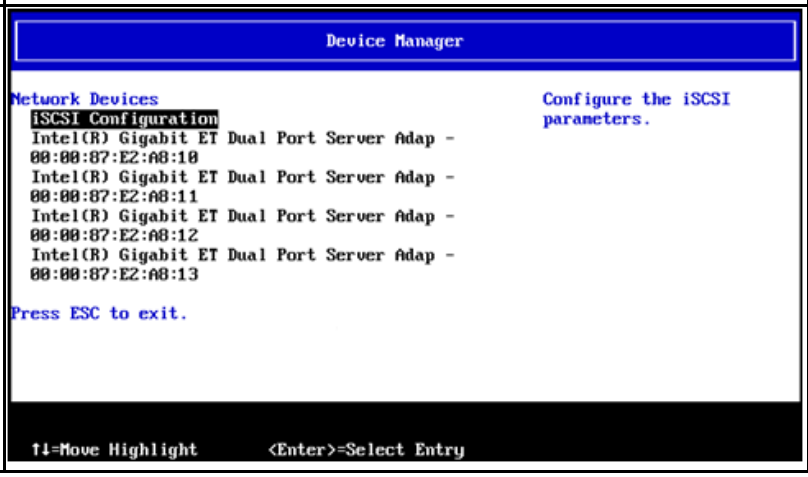
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 4 |  | ■iSCSIイニシエータの設定<br>・「Device Manager」を選択します。<br><br>※操作が間に合わずに「EFI Shell」が表示されてしまった場合は、「exit」と入力して「EFI Shell」を終了させてください。 | □ |
| 5 |  | ・「iSCSI Configuration」を選択します。 | □ |
| 6 |  | ・「iSCSI Initiator Name」を選択します。 | □ |
| 7 |  | ・iSCSIイニシエータネームを入力します。 | □ |

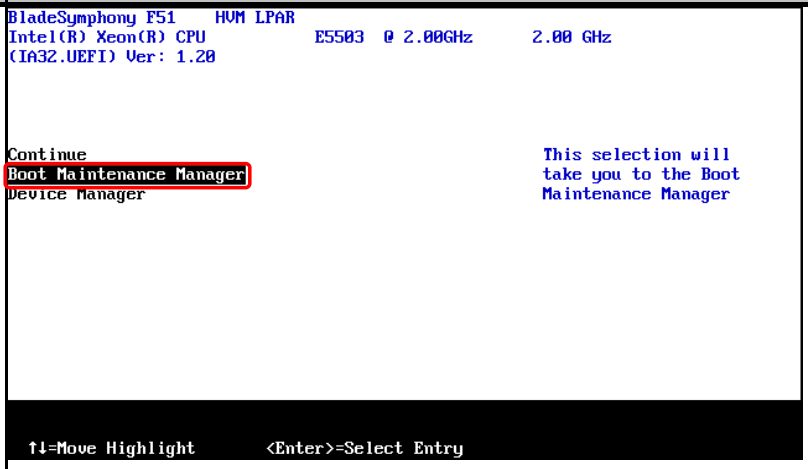
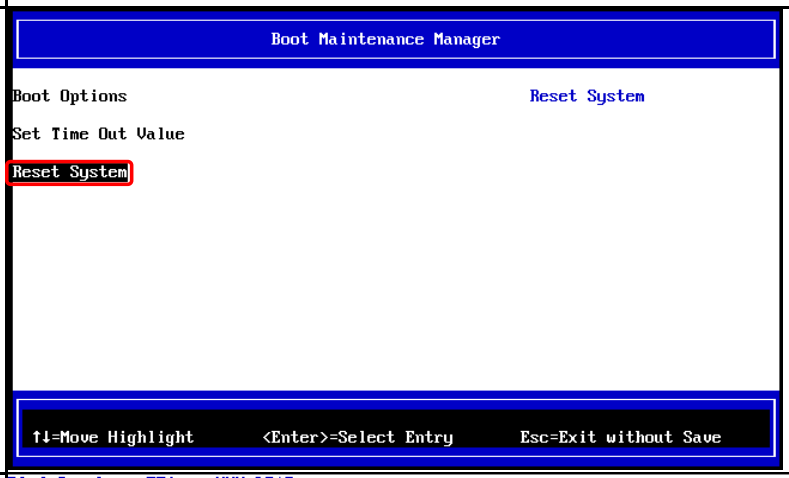
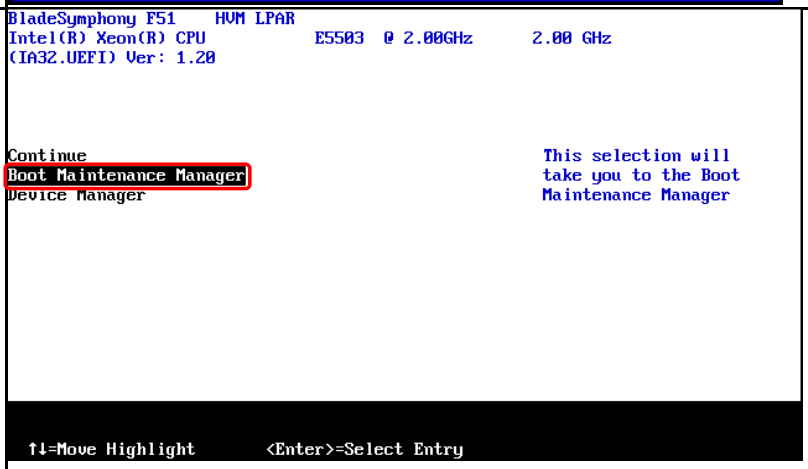
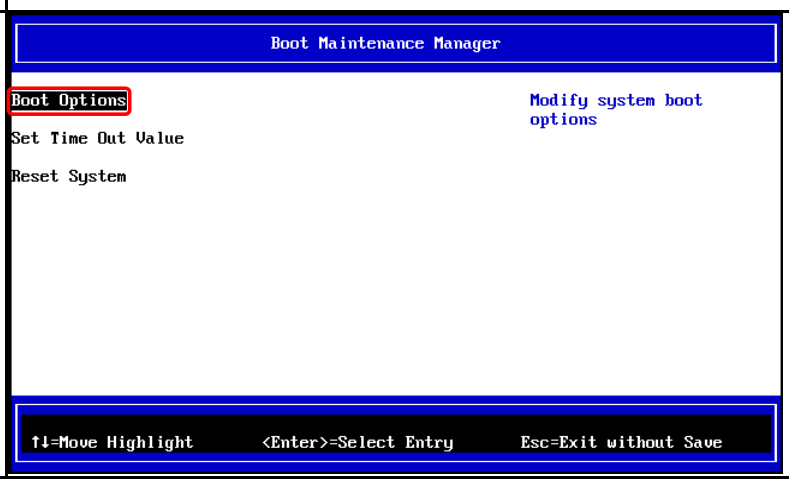
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 8 |  | ・「2a」に選択したポートのMACアドレスを選択します。<br><br>※ここでは、Virtual NIC Assignment スクリーンで設定した共有NICのMACアドレスが表示されます。 | ☐ |
| 9 |  | ・「Enable iSCSI」にカーソルを合わせ、「Space」キーを押します。 | ☐ |
| 10 |  | ・「Initiator IP Address」を選択します。<br>・サーバブレードのLANポートで使用する任意のIPアドレスを入力します。 | ☐ |
| 11 |  | ・「Initiator Subnet Mask」を選択します。<br>・サーバブレードのLANポートで使用する任意のサブネットマスクを入力します。 | ☐ |

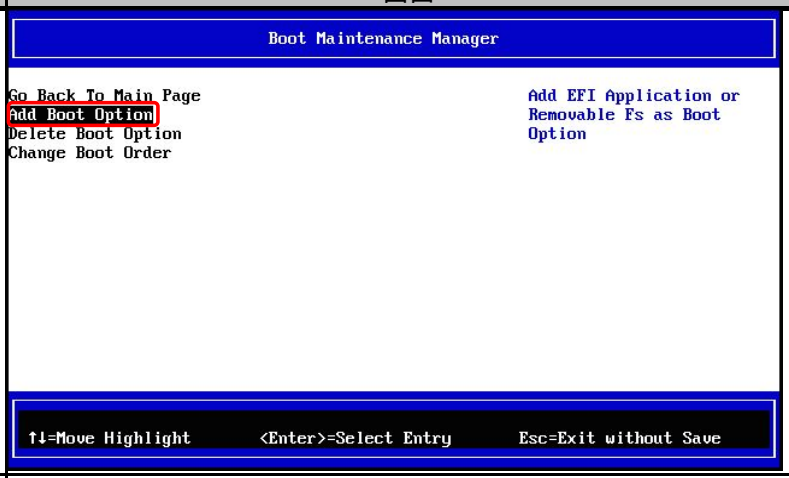
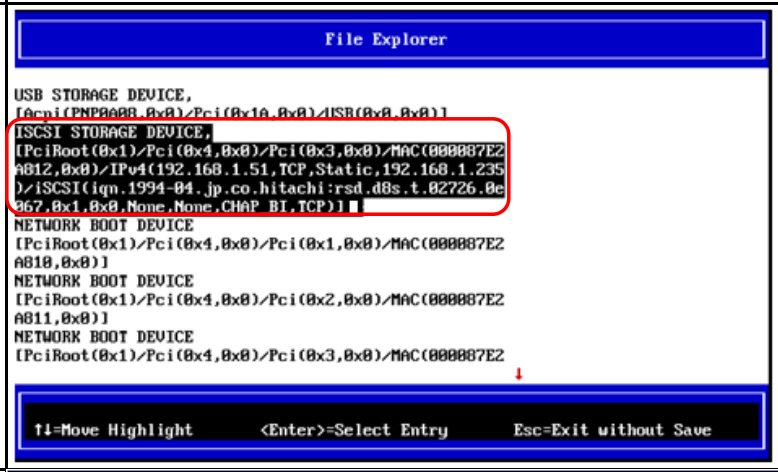
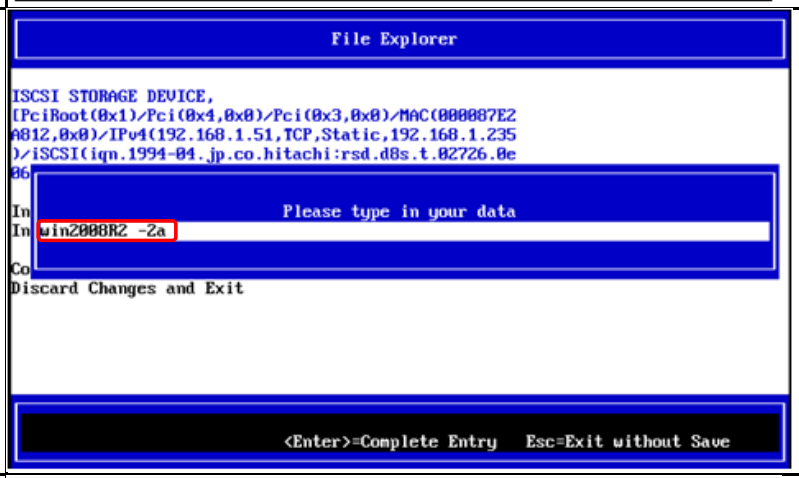
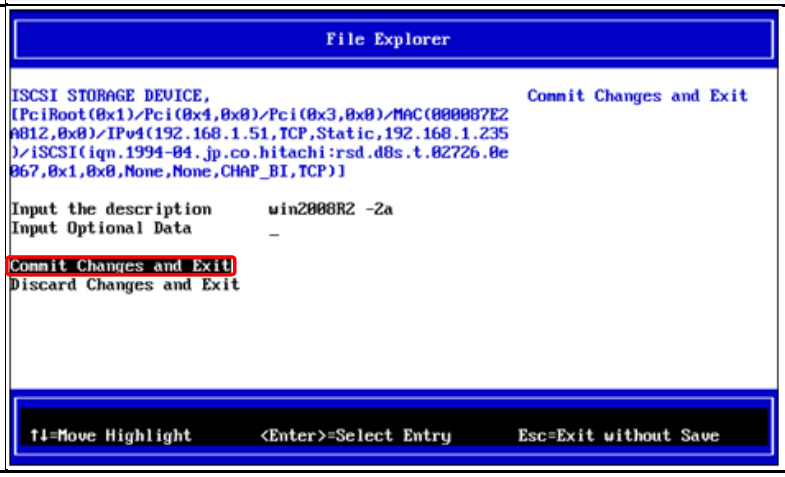
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 12 |  | ※Initiator IPとTarget IPが同じネットワークに存在する場合は設定不要です。<br><br>・「Gateway」を選択します。<br>・任意のゲートウェイを入力します。 | □ |
| 13 |  | ・「Target Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージのLUを識別するiSCSIターゲットネームを入力します。 | □ |
| 14 |  | ・「Target IP Address」を選択します。<br>・iSCSIストレージのLANポートに設定されたIPアドレスを入力します。 | □ |
| 15 |  | ・「Target Port」を選択します。<br>・iSCSIストレージのTCPポート番号を入力します。 | □ |

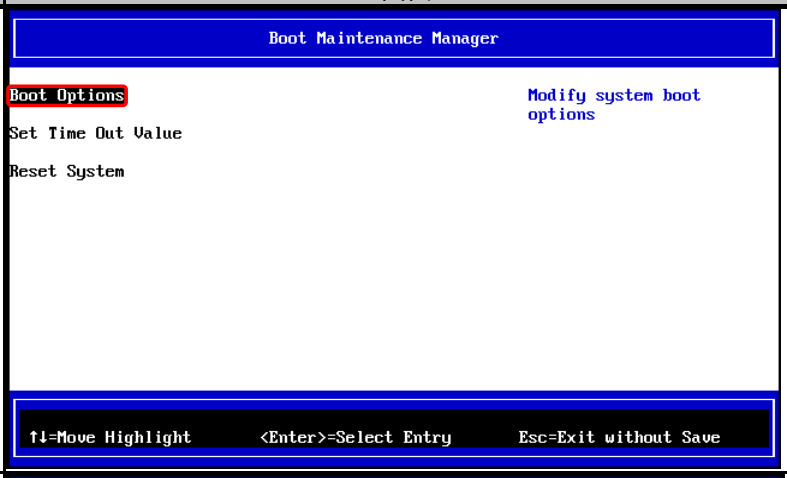
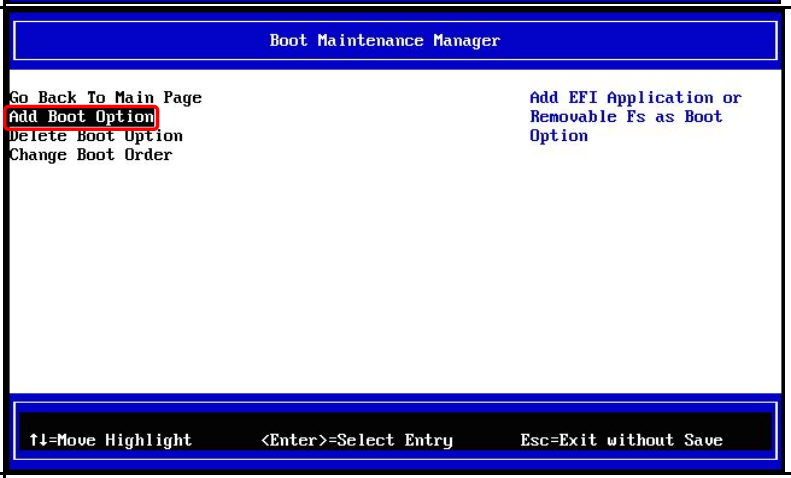
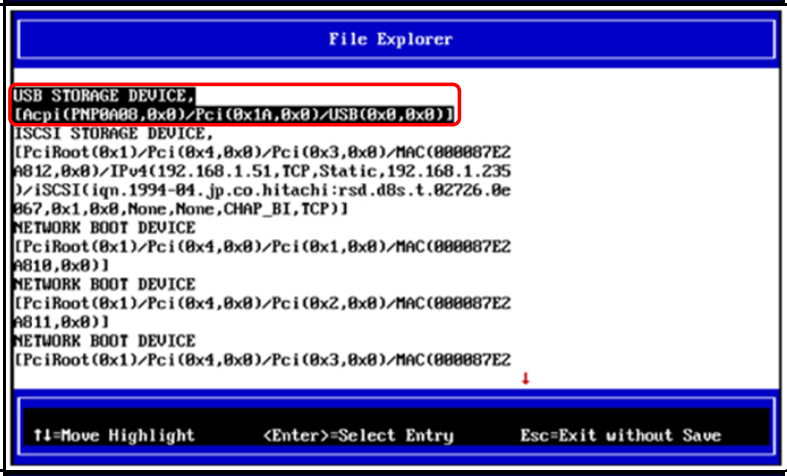
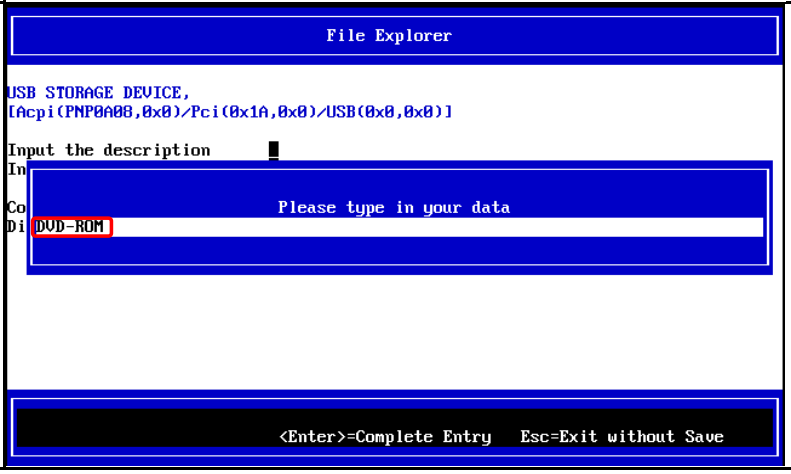
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 16 |  | ・「Boot LUN」を選択します。<br>・iSCSIストレージのブートディスクのH-LUNを入力します。 | □ |
| 17 |  | ・「CHAP Type」を選択します。<br>・「Mutual」を選択します。<br><br>※例として「Mutual」に設定しています。「None」の場合は手順24へ、「One Way」の場合は手順20まで設定したら手順24へ進んでください。 | □ |
| 18 |  | ・「CHAP Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定したCHAPユーザ名を入力します。 | □ |
| 19 |  | ・「CHAP Secret」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定したCHAPパスワードを入力します。 | □ |

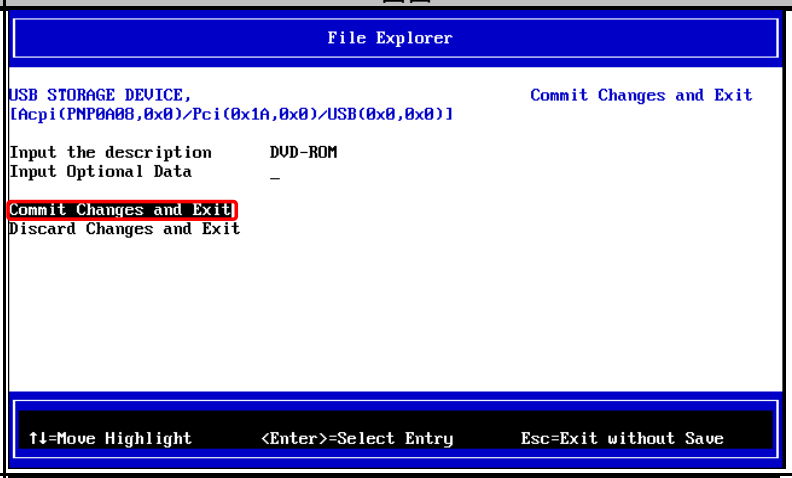
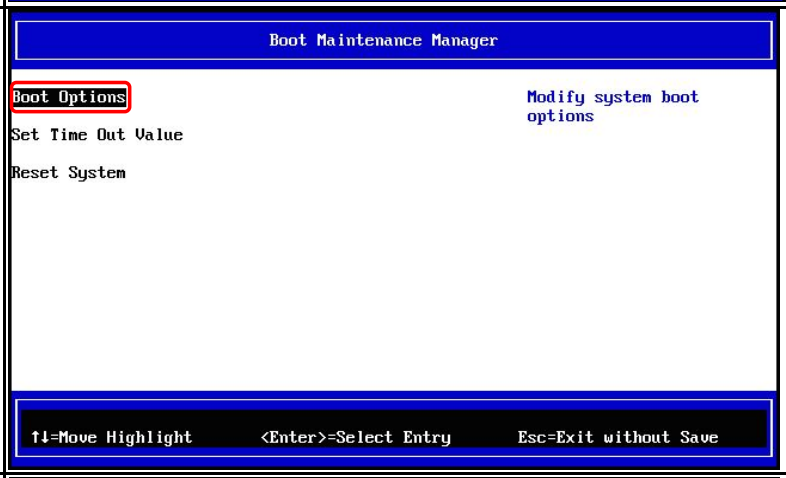
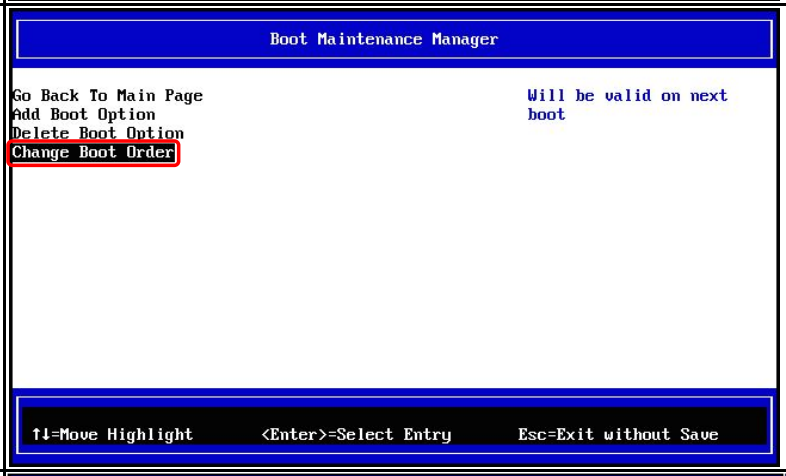
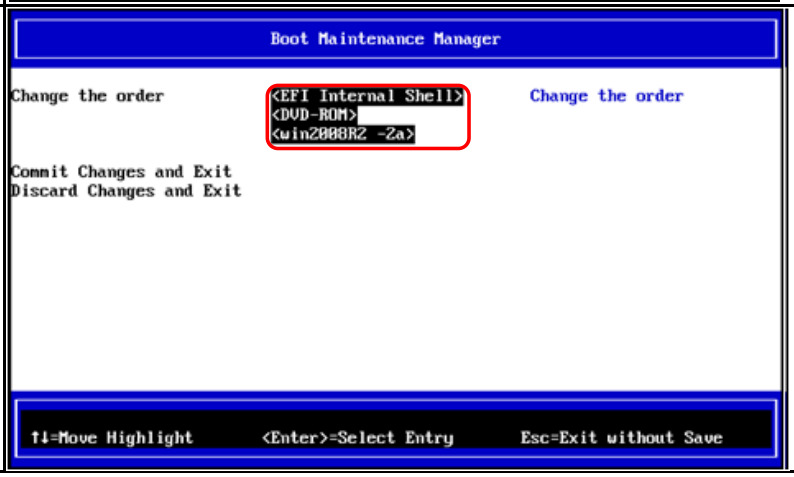
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 20 |  | ・CHAPパスワードを再入力します。<br><br>※「One Way」を選択した場合は手順24へ進んでください。 | □ |
| 21 |  | ・「Reverse CHAP Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定した双方向CHAPユーザ名を入力します。 | □ |
| 22 |  | ・「Reverse CHAP Secret」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定した双方向CHAPパスワードを入力します。 | □ |
| 23 |  | ・双方向CHAPパスワードを再入力します。 | □ |

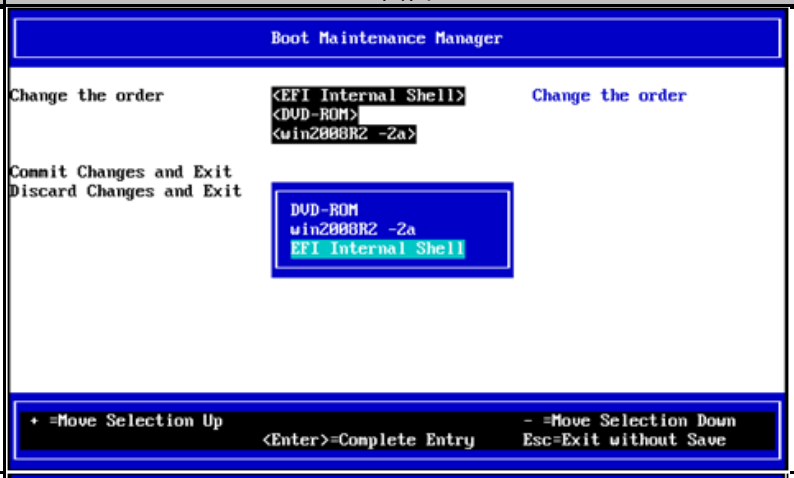
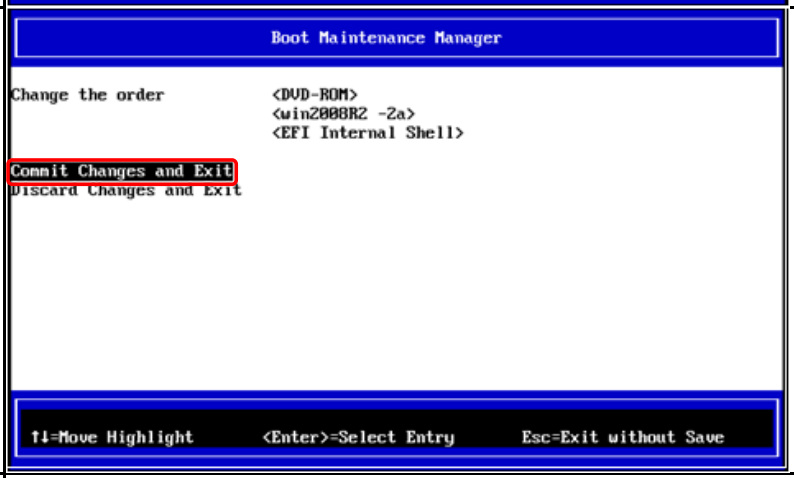
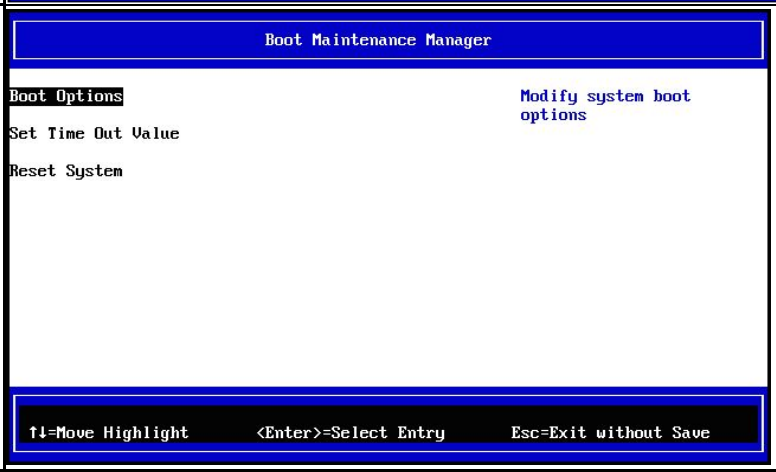
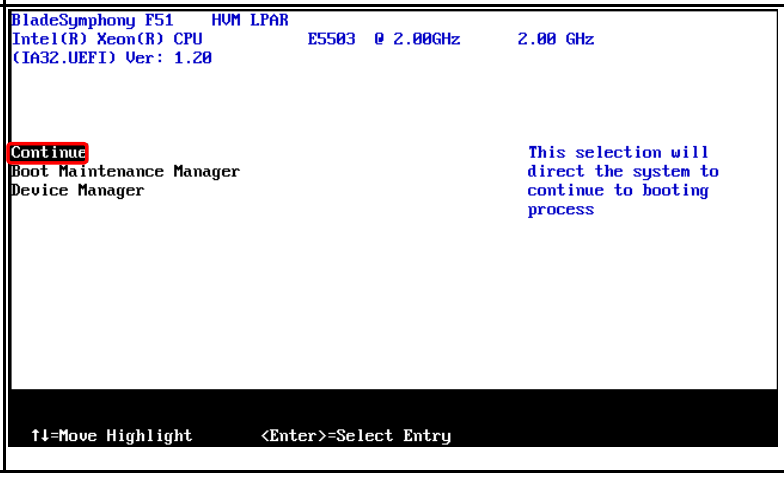
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 24 |  | ・「Save Changes」を選択します。 | □ |
| 25 |  | ・「Back to Previous Page」を選択します。 | □ |
| 26 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 27 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |

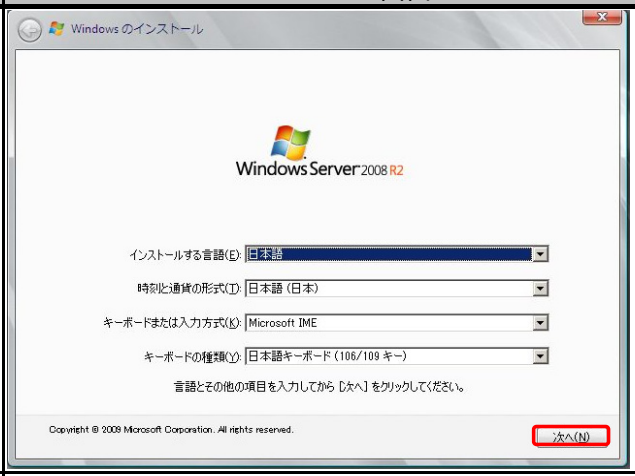
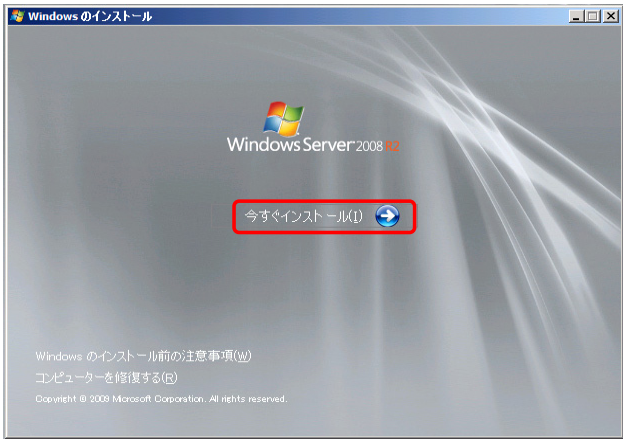
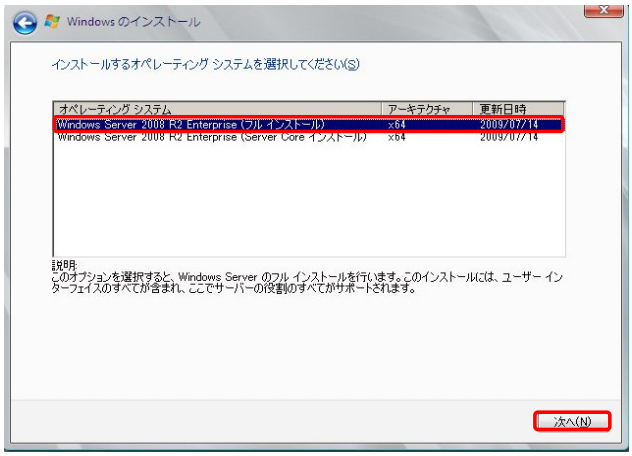
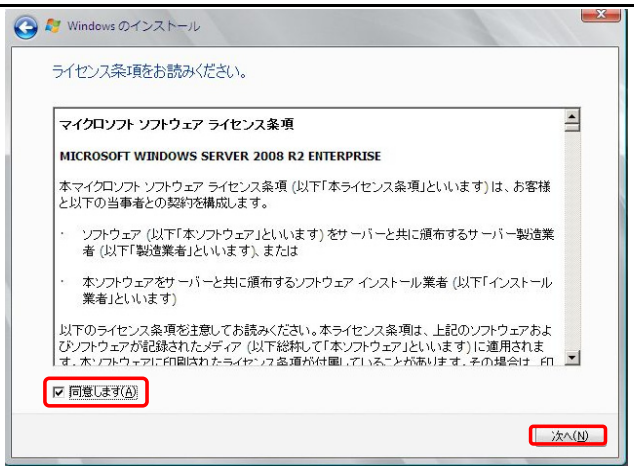
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 28 |  | ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 29 |  | ・「Reset System」を選択します。 | ☐ |
| 30 |  | ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 31 |  | ・「Boot Options」を選択します。<br><br>※この画面に切り替わる際にエラーメッセージが表示された場合は、各設定項目が正しいかどうか見直してください。設定を見直してもエラーが表示される場合は『Virtage ユーザーズガイド 運用編』を参照してください。 | ☐ |

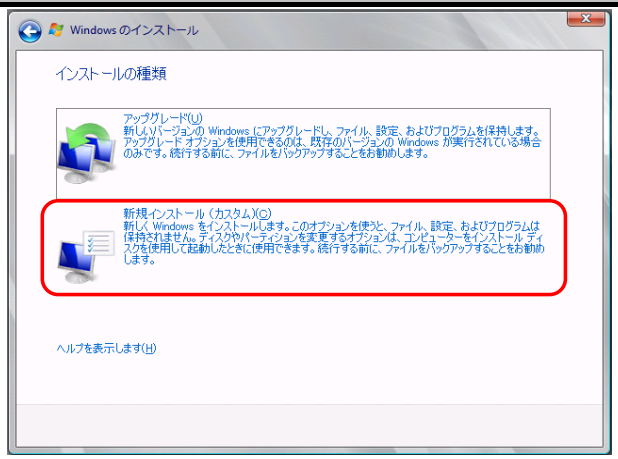
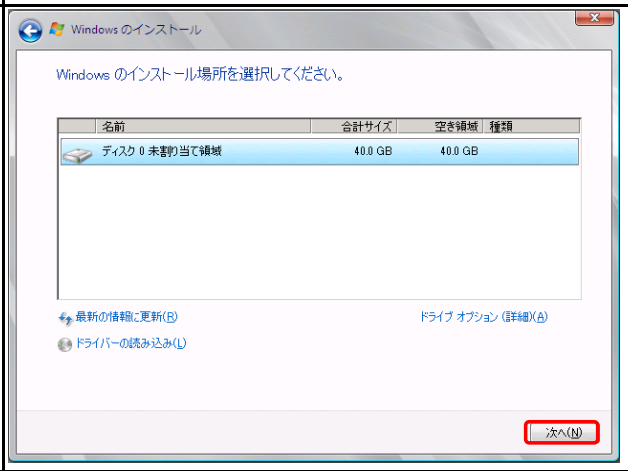
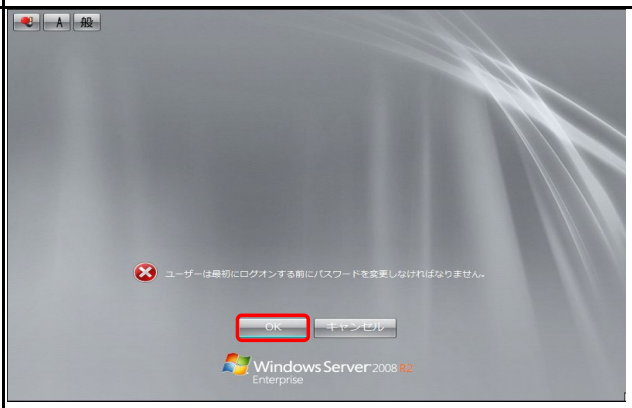
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 32 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 33 |  | ・「iSCSI STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 34 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※「2a」のブートデバイスと識別できるようにデバイス名を入力してください。例として「Win2008R2-2a」と入力しています。 | ☐ |
| 35 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |

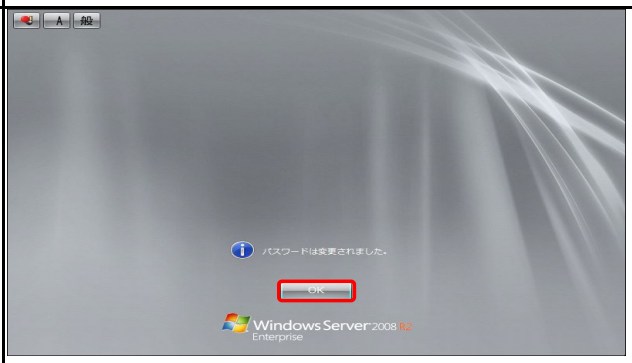
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 36 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | B |
| 37 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 38 |  | ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 | ☐ |
| 39 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※例として「DVD-ROM」と入力しています。 | ☐ |

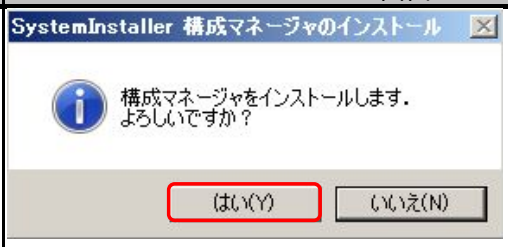
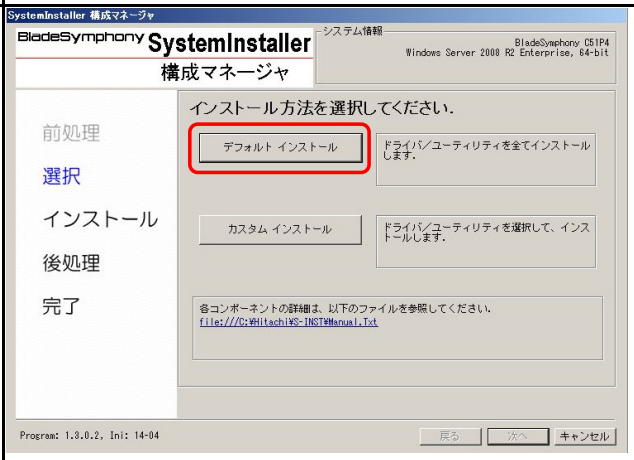
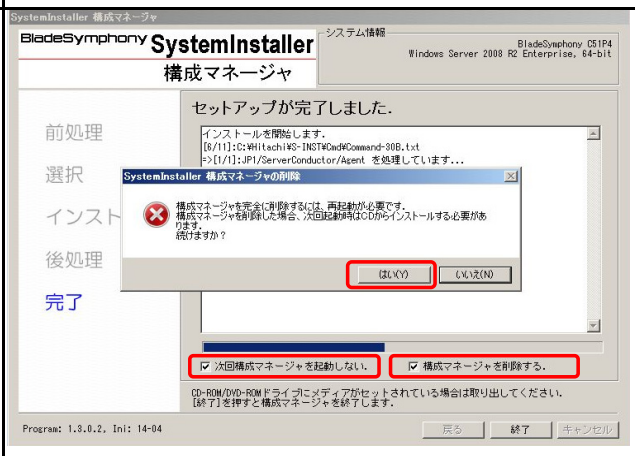
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 40 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 41 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 42 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |
| 43 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |

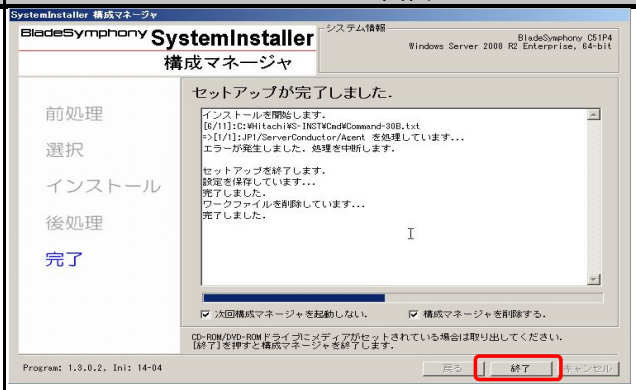
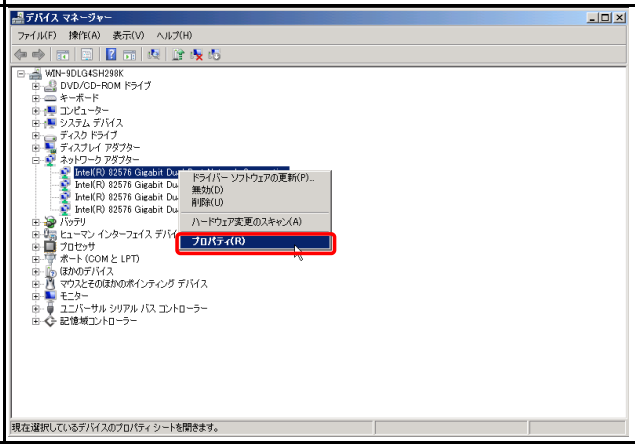
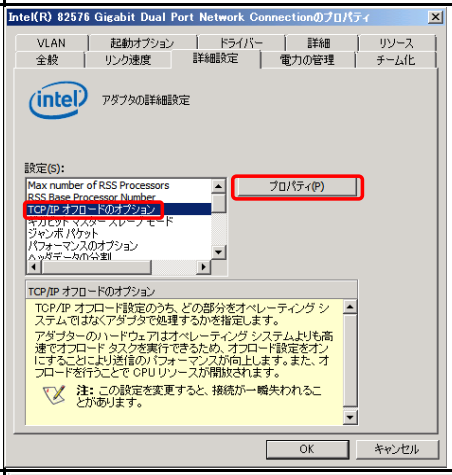
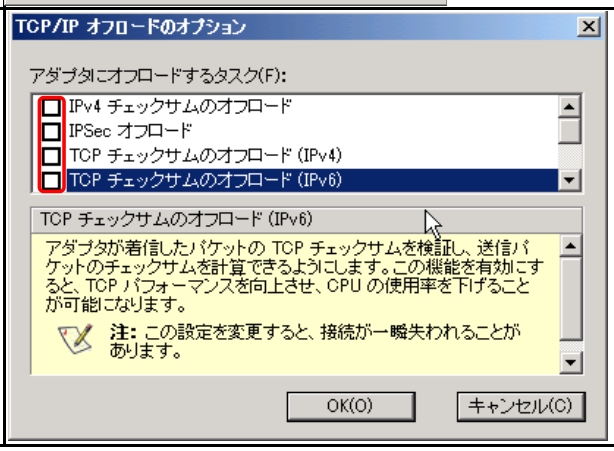
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 44 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>DVD-ROM<br>Win2008R2 -2a<br>EFI Internal Shell | ☐ |
| 45 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 46 |  | ・「Esc」キーを押します。 | ☐ |
| 47 |  | ・「Continue」を選択します。 | ☐ |

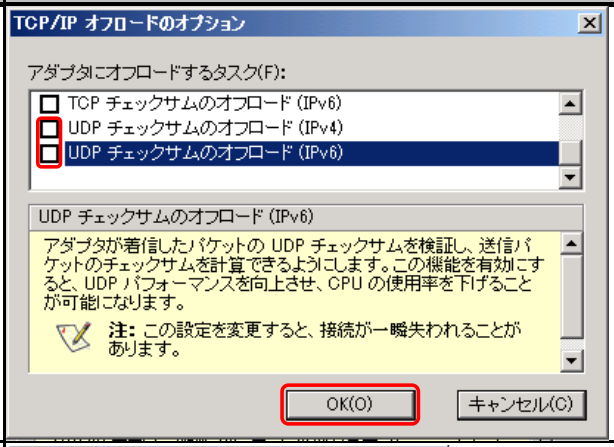
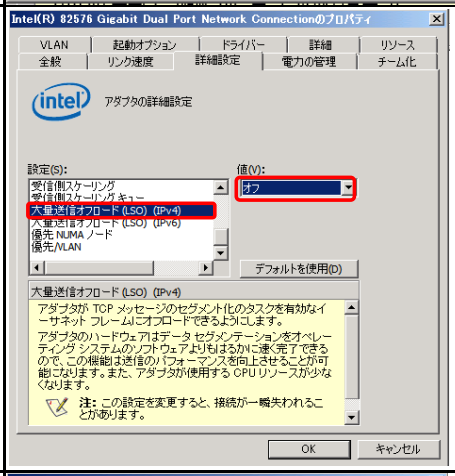
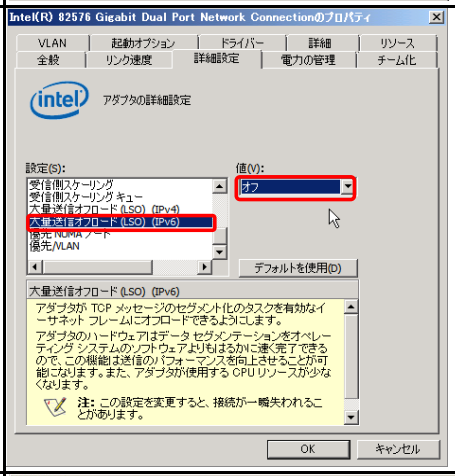
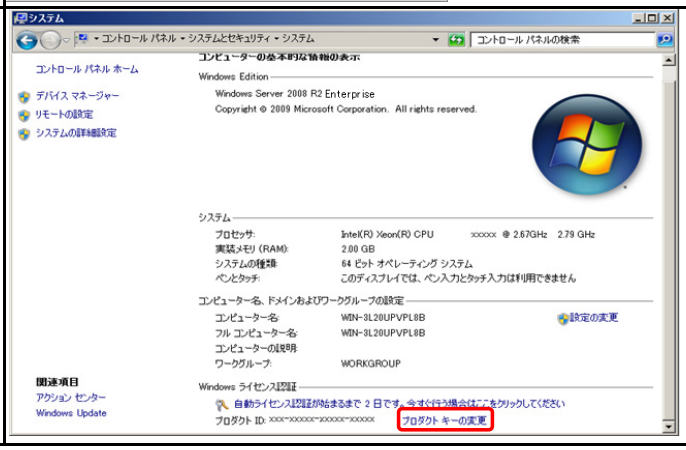
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 48 |  | ■OSのインストール<br>※左記の画面が表示されるまで、約20分かかります。<br>・「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※画面はWindows 2008 R2のインストール時のものです。 | □ |
| 49 |  | ・「今すぐインストール(I)」をクリックします。<br><br>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。 | □ |
| 50 |  | ・インストールするOSをクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※Server Coreは選択しないでください。 | □ |
| 51 |  | ・「同意します(A)」をクリックします。<br>・「次へ(N)」をクリックします。 | □ |

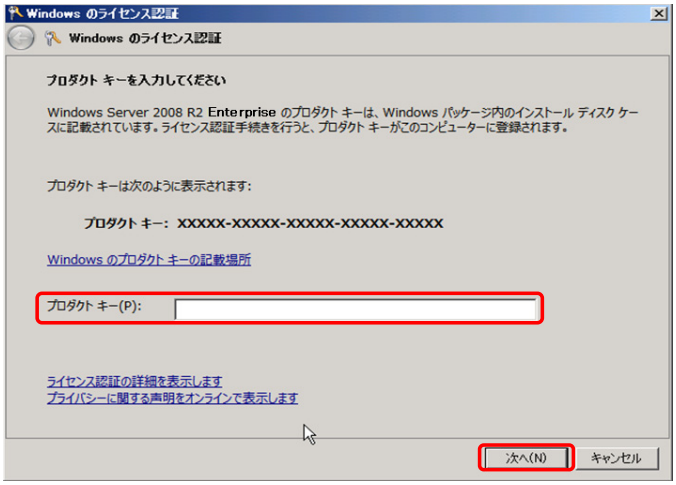
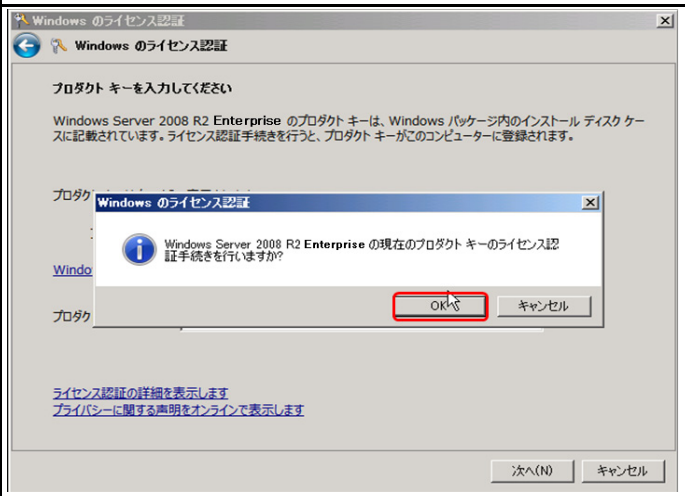
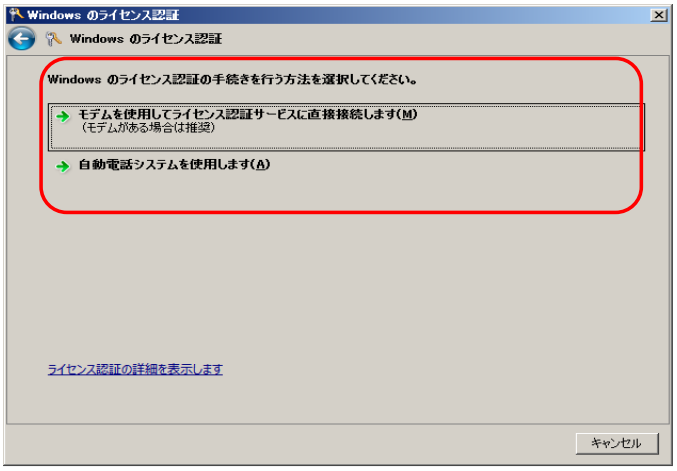
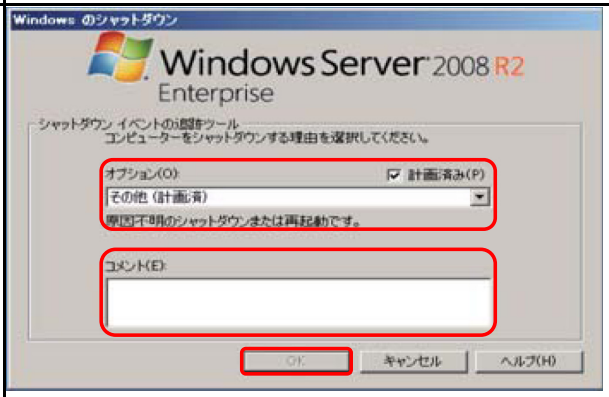
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 52 |  | ・「新規インストール(カスタム)(C)」をクリックします。<br><br>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。 | ☐ |
| 53 |  | ・インストールディスクを選択し、「次へ(N)」をクリックします。 | ☐ |
| 54 | | ※インストールが完了するまで、約90分かかります。また、インストール中にWindowsが数回再起動します。<br><br>※「Press any key to boot from CD or DVD」と表示されることがありますが、何もキーを押さないでください | ☐ |
| 55 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | ☐ |

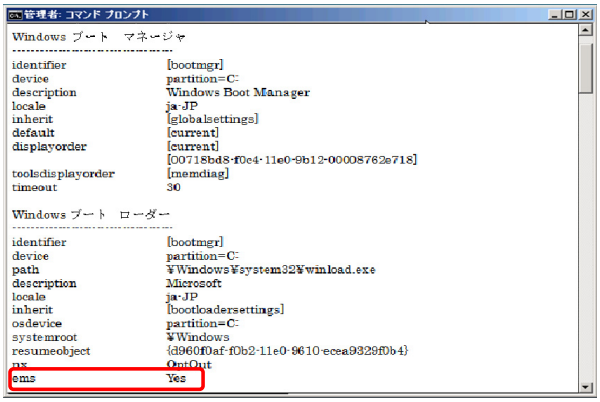
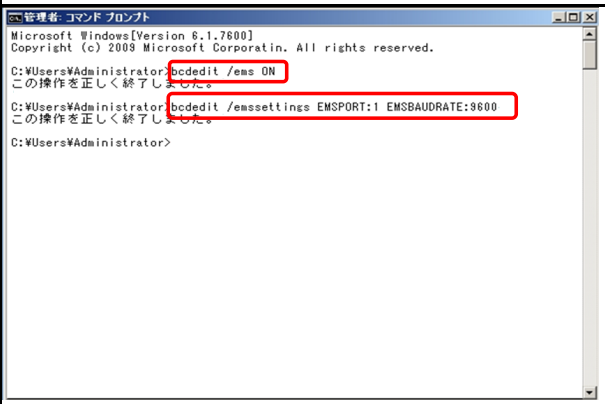
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 56 | | ・「パスワード」を入力します。<br>・「→」ボタンをクリックします。<br><br>※次の文字のうち3 つ以上組み合わせる。<br>英大文字(A ～ Z)<br>英小文字(a ～ z)<br>数字(1 ～ 9)<br>記号(句読点)<br><br>※ユーザ名から、3文字以上連続する文字列を抜き出して使うことはできません。 | □ |
| 57 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 58 | | **■解像度の設定**<br>・デスクトップ上で右クリックします。<br>・「画面の解像度」で解像度を「1024×768」に設定します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・メッセージ「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」が出力されます。<br>・「変更を維持する」をクリックします。 | □ |
| 59 | | ■ドライバ/ユーティリティのセットアップ<br>**【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「Img取出」をクリックします。<br>・「CD/DVD操作」-「Img選択」をクリックし、「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」を選択します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。<br>・「D:¥HInstall.exe」を入力します。<br>・「OK」ボタンを押します。<br><br>例)ブレードモデル名・・・C51P5<br><br>※「自動再生」のウインドウが表示された場合は、ウインドウを閉じてください。 | □ |

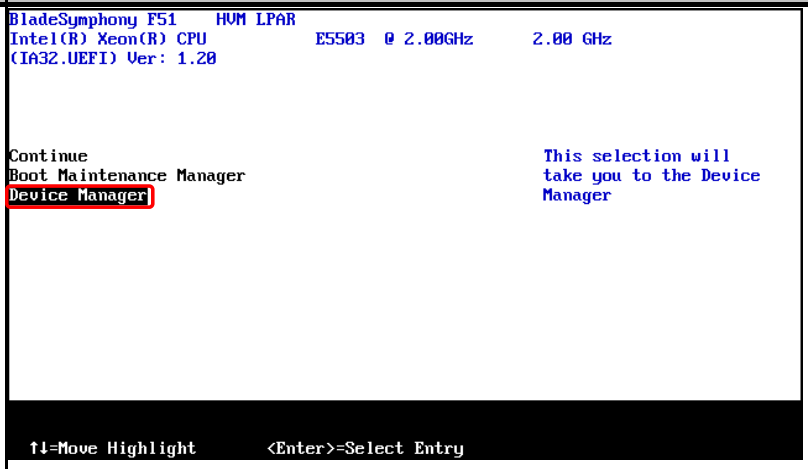
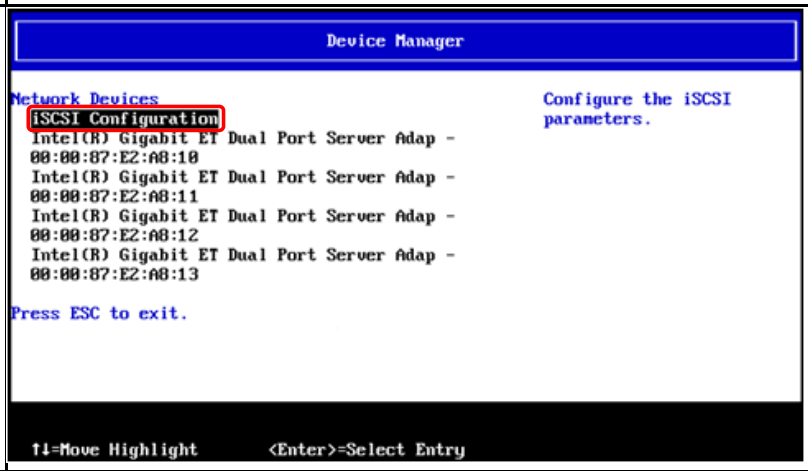
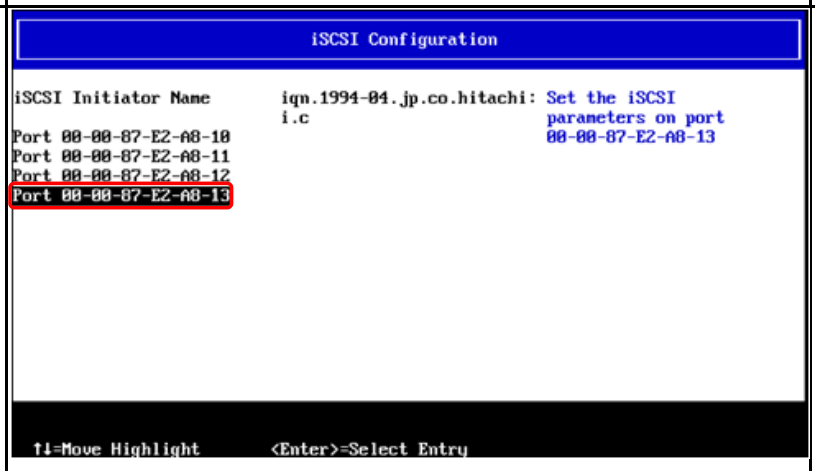
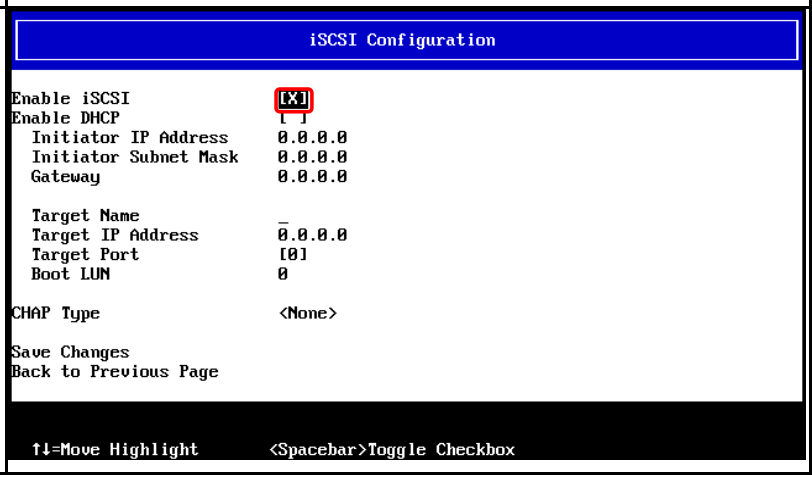
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 60 |  | ・「はい(Y)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 61 | | ・「OK」ボタンをクリックします。 | □ |
| 62 |  | ・「デフォルト インストール」ボタンをクリックします。<br>・以降、画面に従ってインストール作業を続行します。<br><br>※各ユーティリティセットアップ時に入力を求められる場合があります。<br>必要に応じて、Windows Server 2008 R2 SP1用サービスパックDVD、JP1/ServerConductor CDを使用してください。<br><br>ユーティリティのセットアップ方法詳細は各ユーティリティのマニュアルを参照してください。<br>各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS320 ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた」を参照してください。 | □ |
| 63 |  | ・「次回構成マネージャを起動しない」にチェックが入っていることを確認します。<br>・「構成マネージャを削除する」をクリックします。<br>・「はい(Y)」ボタンをクリックします。<br><br>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。 | □ |

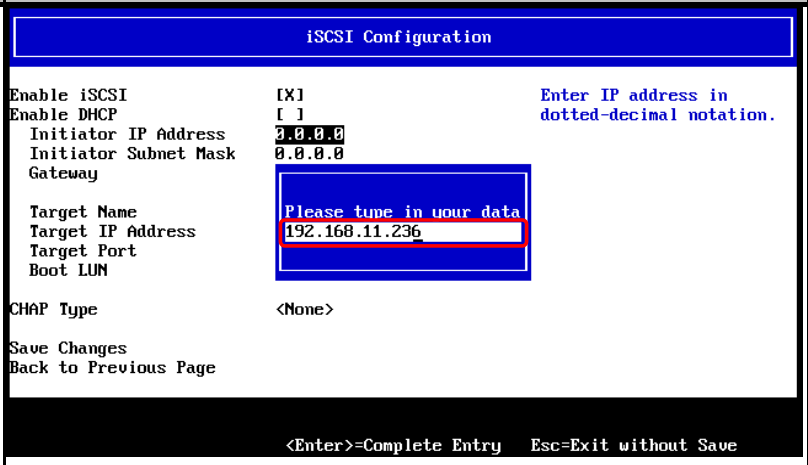
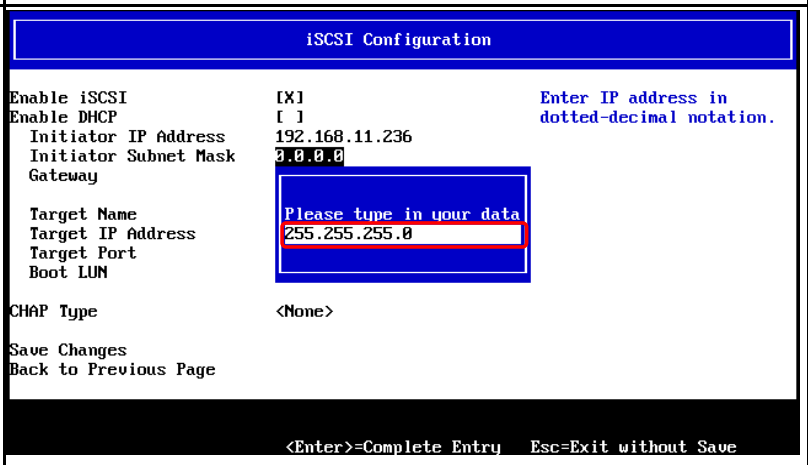
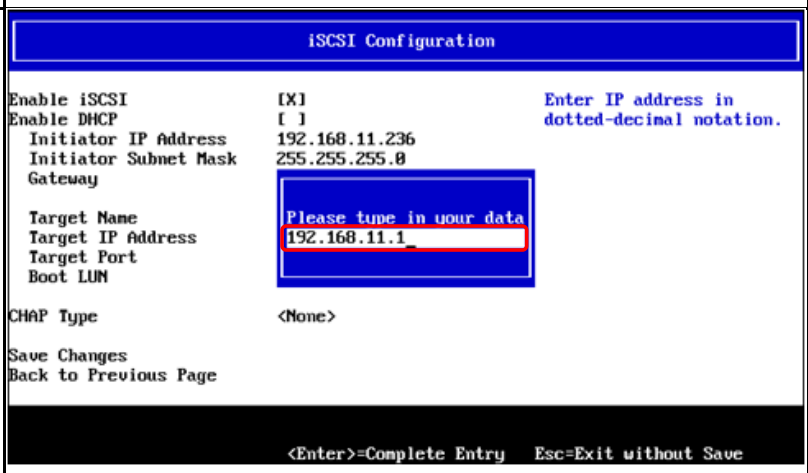
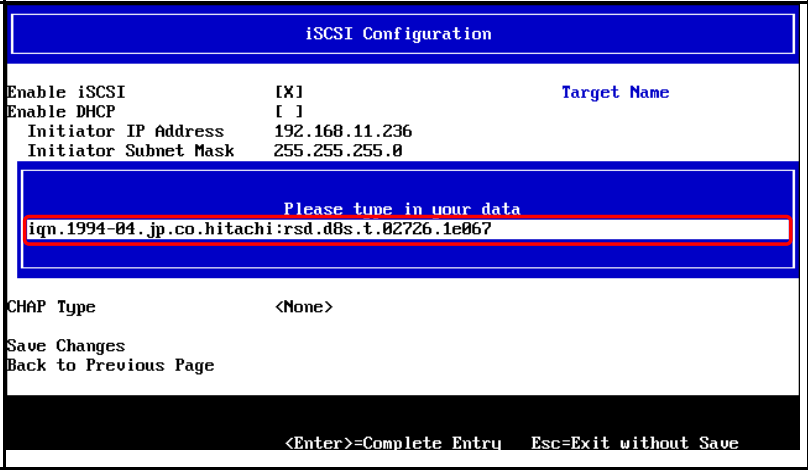
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 64 |  | **【フロント USBを使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】**<br>・「SystemInstaller CD」を取り出します。<br>**【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】**<br>・「Alt」+「G」キーを押します。<br>・「CD/DVD操作」-「CD/DVD切断」をクリックします。<br>・「リモート開始」をクリックします。<br>・「終了」ボタンをクリックします。 | □ |
| 65 |  | ■TCP/IPオフロードオプションの設定<br>・「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。<br>・コントロールパネルウインドウの「システムとセキュリティ」をクリックします。<br>・「デバイスマネージャー」をクリックします。<br>・「ネットワークアダプター」内の項目を選択し、右クリックで「プロパティ(R)」をクリックします。 | □ |
| 66 |  | ・「詳細設定」タブをクリックします。<br>・「TCP/IP オフロードのオプション」をクリックし、「プロパティ(P)」ボタンをクリックします。 | □ |
| 67 |  | ・「IPv4 チェックサムのオフロード」のチェックを外します。<br>・「IPSec オフロード」のチェックを外します。<br>・「TCP チェックサムのオフロード(IPv4)」のチェックを外します。<br>・「TCP チェックサムのオフロード(IPv6)」のチェックを外します。 | □ |

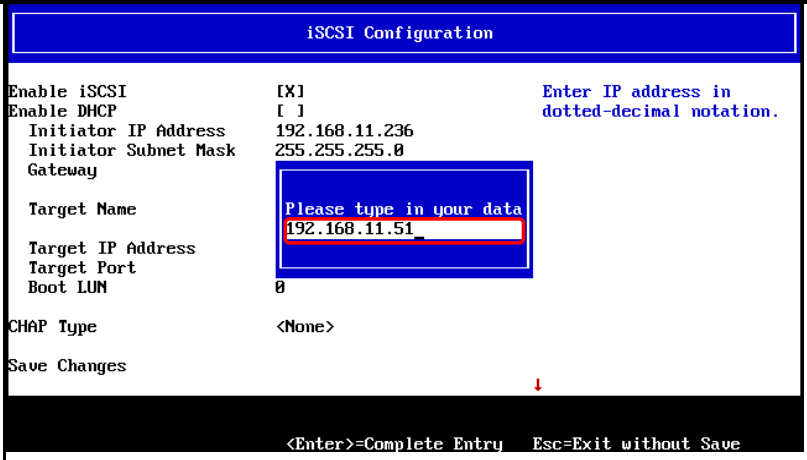
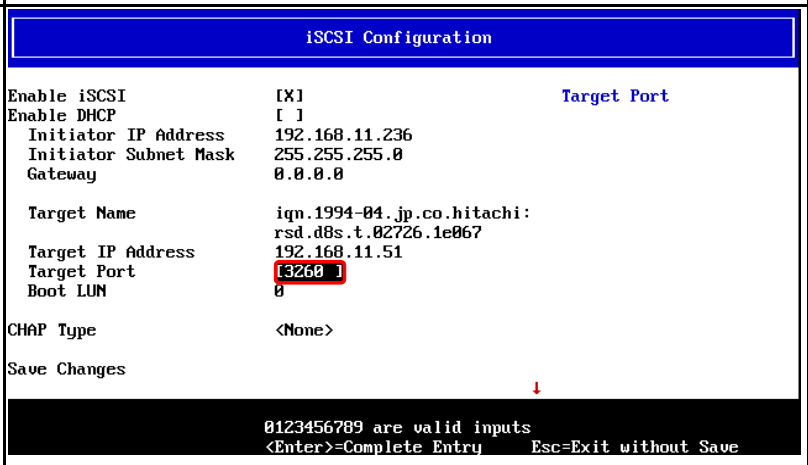
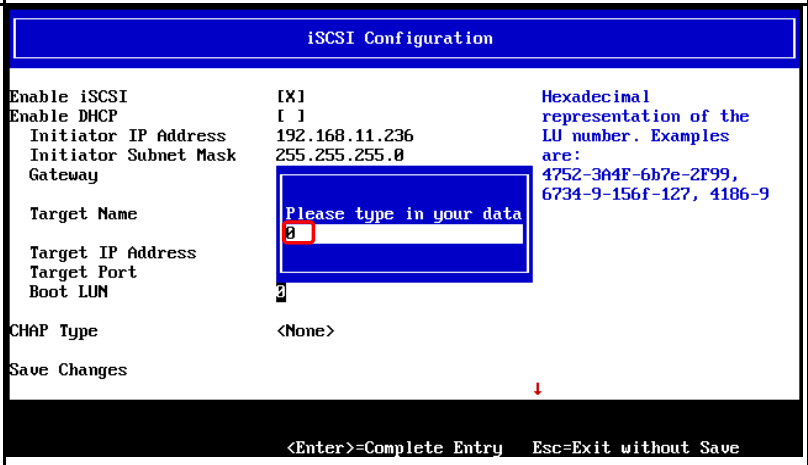
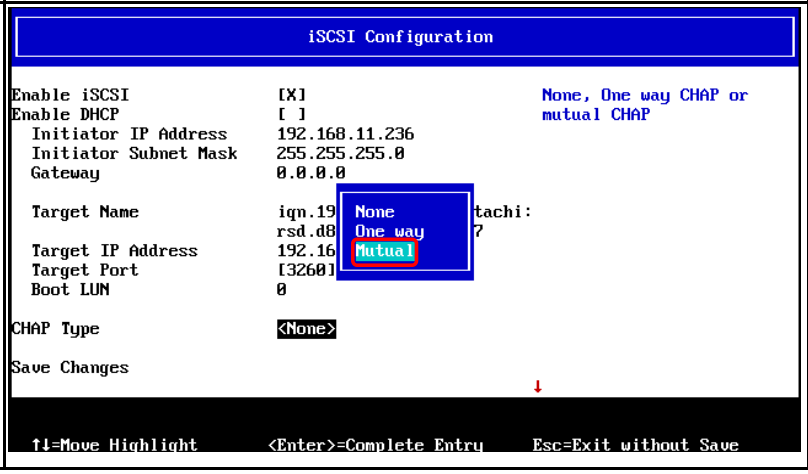
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 68 |  | ・「UDP チェックサムのオフロード(IPv4)」のチェックを外します。<br>・「UDP チェックサムのオフロード(IPv6)」のチェックを外します。<br><br>・「OK(O)」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 69 |  | ・「大量送信オフロード(LSO) (IPv4)」を「オフ」に設定します。 | ☐ |
| 70 |  | ・「大量送信オフロード(LSO) (IPv6)」を「オフ」に設定します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br><br>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。<br><br>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。 | ☐ |
| 71 |  | ■ライセンスキー入力<br>・スタートメニューからコントロールパネルを開き、「システムとセキュリティー」ー「システム」をクリックします。<br><br>・「コンピュータの管理」画面が表示されるので、「システムツール」- 「デバイスマネージャー」をクリックし「デバイスマネージャー」を開きます。<br><br>・「プロダクトキーの変更」をクリックします。 | ☐ |

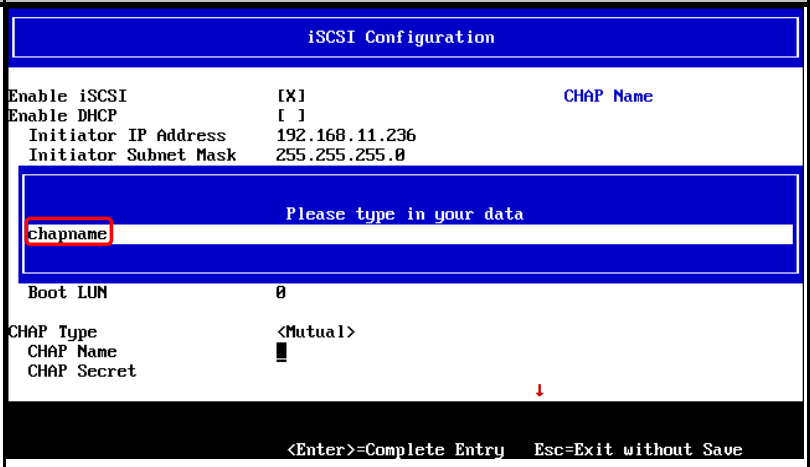
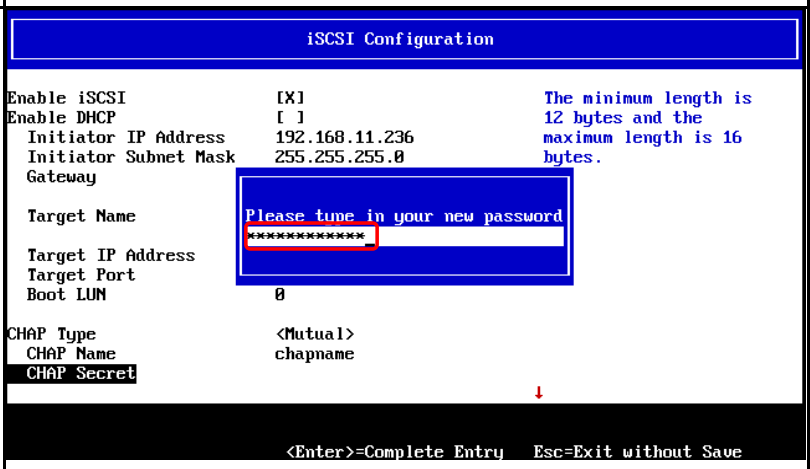
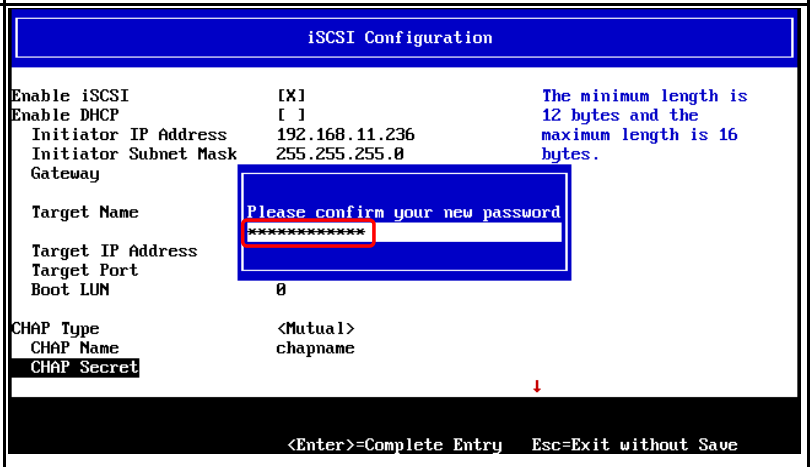
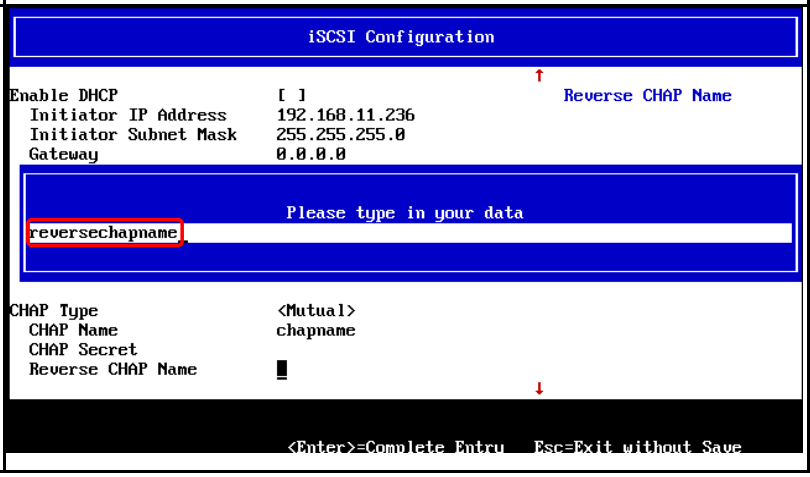
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 72 |  | ・プロダクトキーを入力して、「次へ(N)」をクリックします。<br><br>※プロダクトキーは、仮想環境向けのキー(Virtual Key)を使用してください。 | ☐ |
| 73 |  | ・「OK」ボタンをクリックします。 | ☐ |
| 74 |  | ・認証方法を選択しライセンス認証を受けてください。 | ☐ |
| 75 |  | ・Windowsデスクトップの「スタート」ボタンをクリックします。<br>・「再起動」ボタンをクリックします。<br>・任意の文字列を説明欄に入力します。<br>・「OK」ボタンをクリックします。<br>・Windowsが再起動します。 | ☐ |

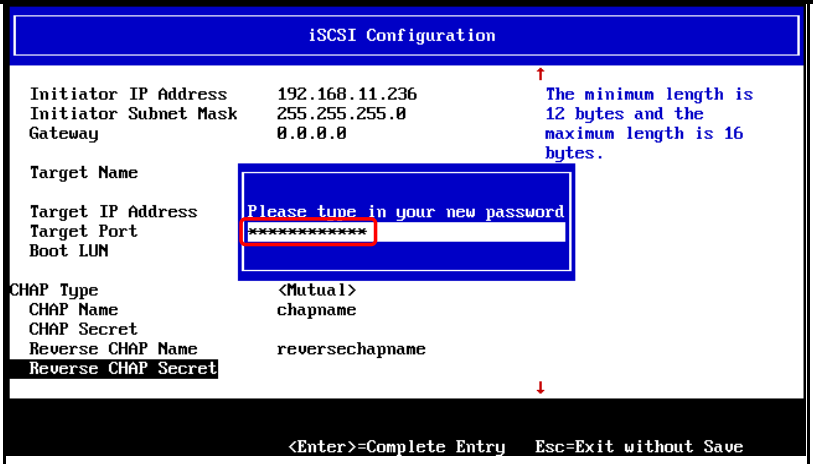
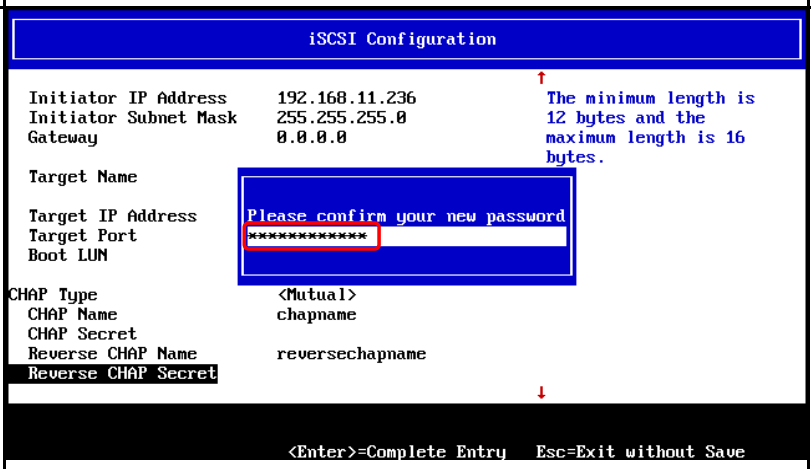
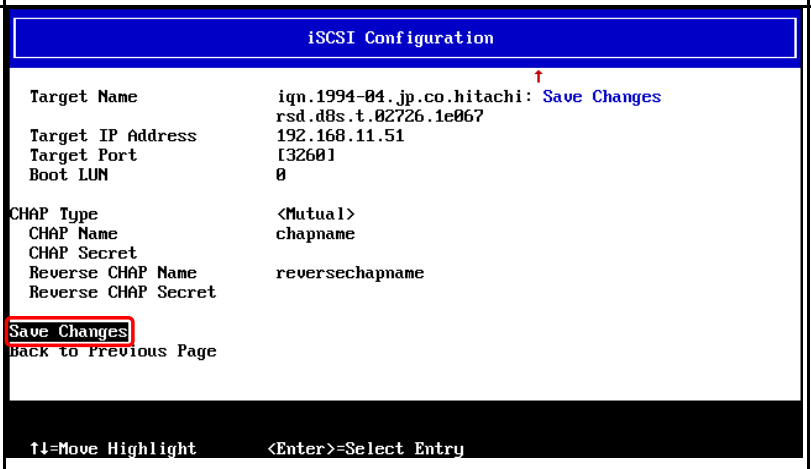
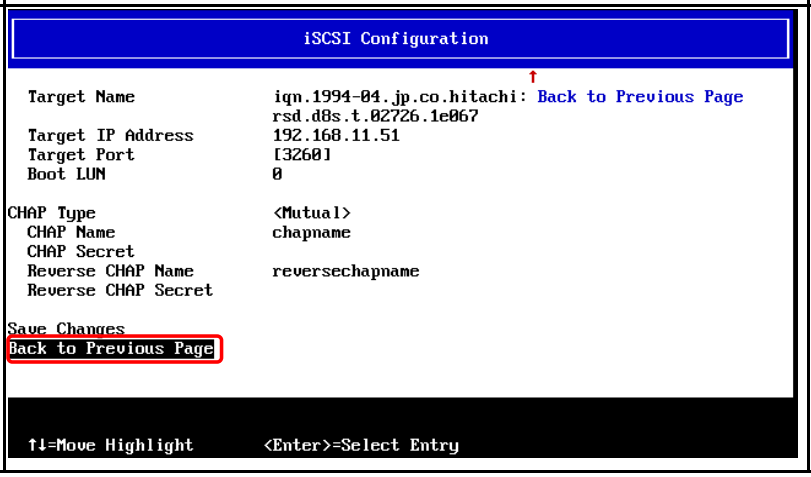
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 76 |  | ■シリアルコンソールの設定<br>・「コマンドプロンプト」を起動し、次のコマンドを実行します。<br><br>「bcdedit」<br><br>上記コマンドを入力して、以下が出力するかを確認します。<br><br>**「ems yes」の場合、手順78に進みます。**<br><br>**「ems no」もしくはems項目がない場合、手順77に進みます。** | ☐ |
| 77 |  | ・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。<br>「bcdedit /ems ON」<br>「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600」<br><br>※上記コマンドでエラーが出力した場合、以下のコマンドをコマンドプロンプトで入力してください。<br>「bcdedit /ems「ID」ON」<br>「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:9600」<br><br>「ID」・・・ ブートエントリに関連付けられているGUID<br>※「ID」はコマンド「bcdedit」を入力し表示された項目の「identifier」を参照してください。 | ☐ |
| 78 | **各ドライバのバージョン情報確認** | ■各ドライバのバージョン情報確認<br>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート" -" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧"からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。<br><br>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 | ☐ |
| 79 | **インストールしたOSの修正モジュール適用** | ■OS修正モジュールの適用<br>・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。<br>また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。<br><br>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/<br><br>" 導入後のサポート"-" サポート製品ダウンロード"-" ダウンロード最新情報一覧" -" OS修正モジュール"を参照してください。<br>OS 修正モジュールの適応が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。 | ☐ |

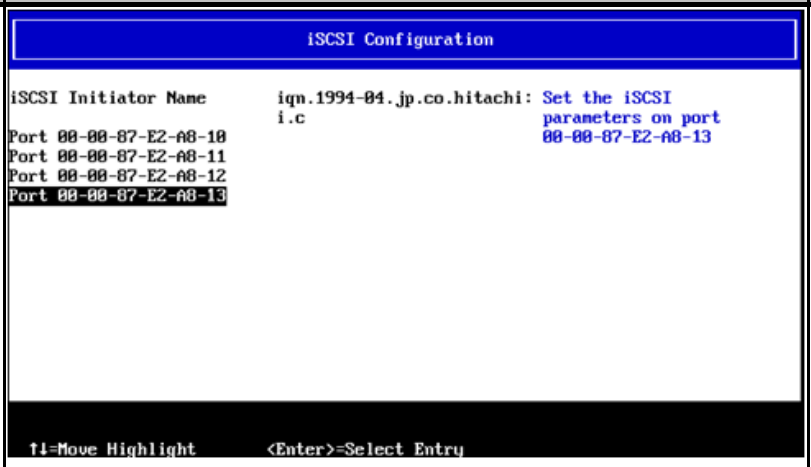
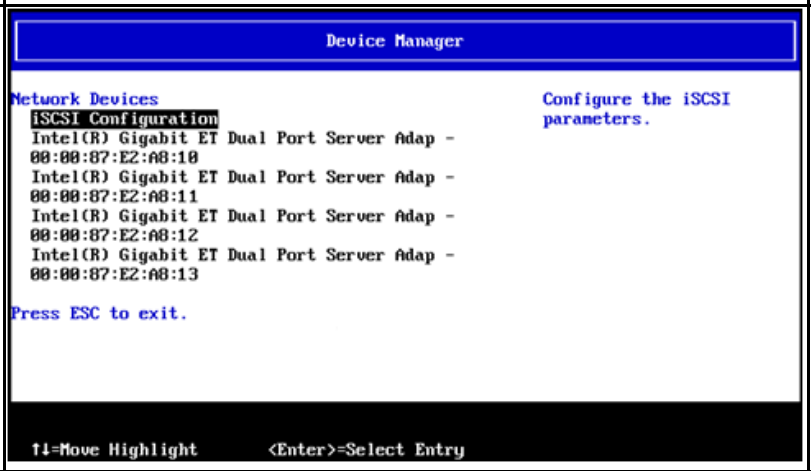
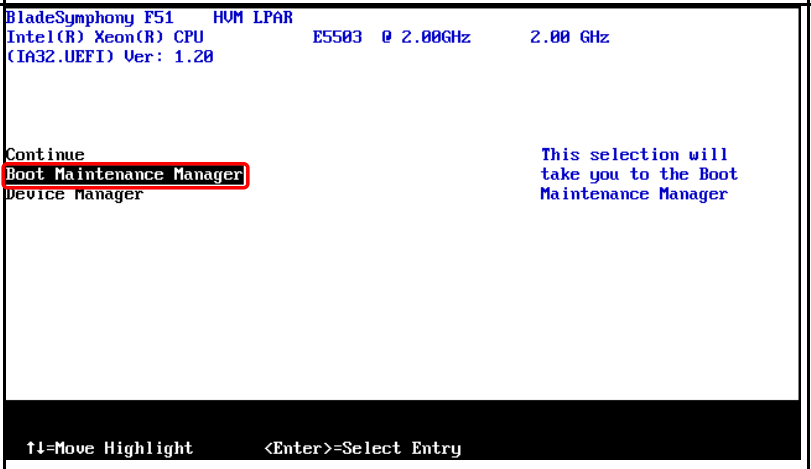
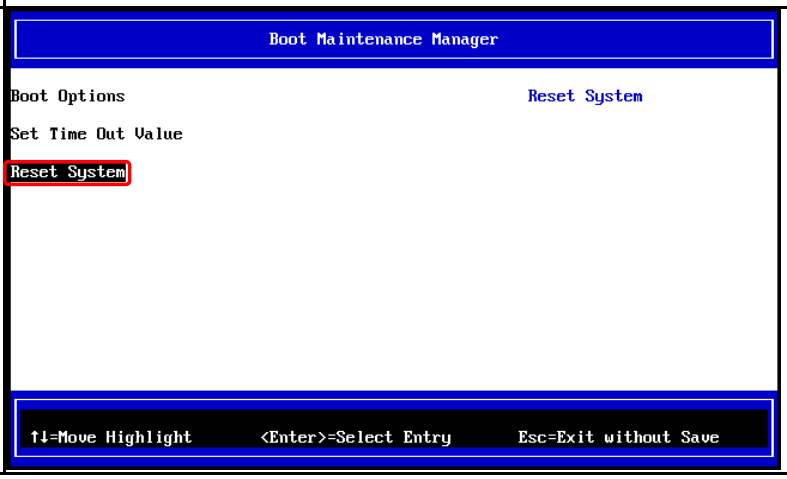
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 80 |  | ■iSCSIブートパスの設定<br>※ブートパスを冗長化するために、「2b」側の設定を行います。<br><br>・OSを再起動し、LPARを再起動させます。<br>・「Device Manager」を選択します。 | ☐ |
| 81 |  | ・「iSCSI Configuration」を選択します。 | ☐ |
| 82 |  | ・「2b」に選択したポートのMACアドレスを選択します。<br><br>※ここでは、Virtual NIC Assignment スクリーンで設定した共有NICのMACアドレスが表示されます。 | ☐ |
| 83 |  | ・「Enable iSCSI」にカーソルを合わせ、「Space」キーを押します。 | ☐ |

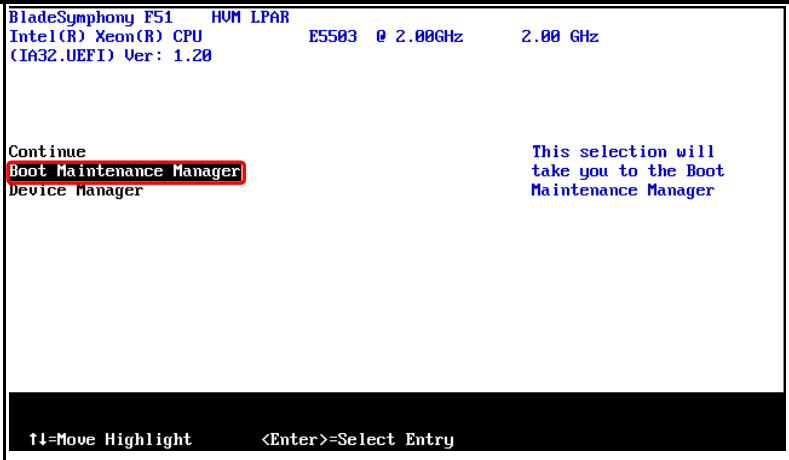
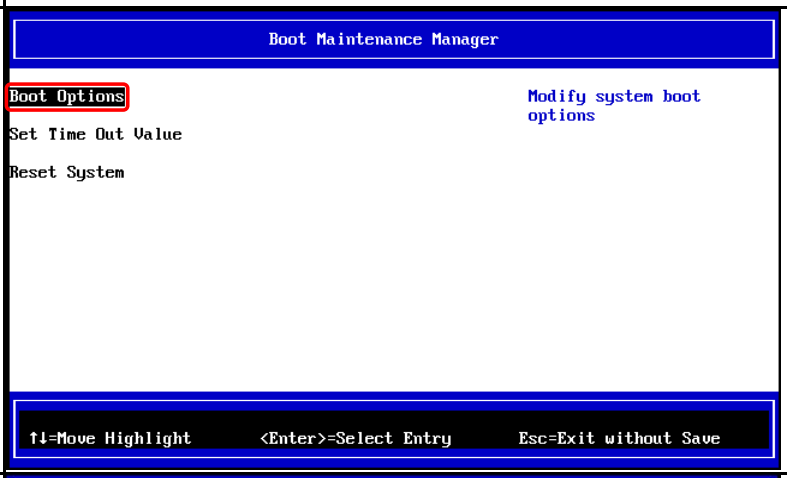
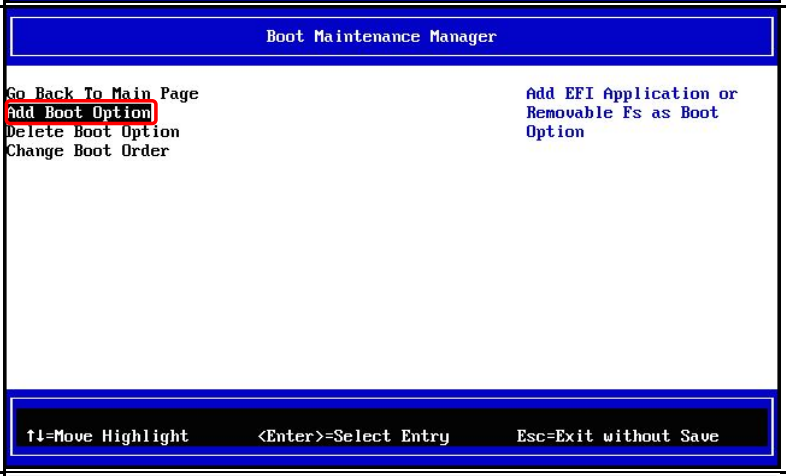
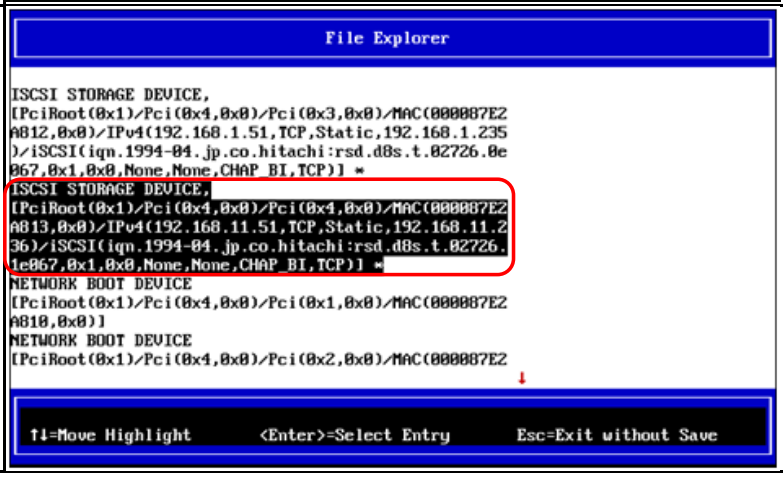
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 84 |  | ・「Initiator IP Address」を選択します。<br>・サーバブレードのLANポートで使用する任意のIPアドレスを入力します。 | □ |
| 85 |  | ・「Initiator Subnet Mask」を選択します。<br>・サーバブレードのLANポートで使用する任意のサブネットマスクを入力します。 | □ |
| 86 |  | ※Initiator IPとTarget IPが同じネットワークに存在する場合は設定不要です。<br><br>・「Gateway」を選択します。<br>・任意のゲートウェイを入力します。 | □ |
| 87 |  | ・「Target Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージのLUを識別するiSCSIターゲットネームを入力します。 | □ |

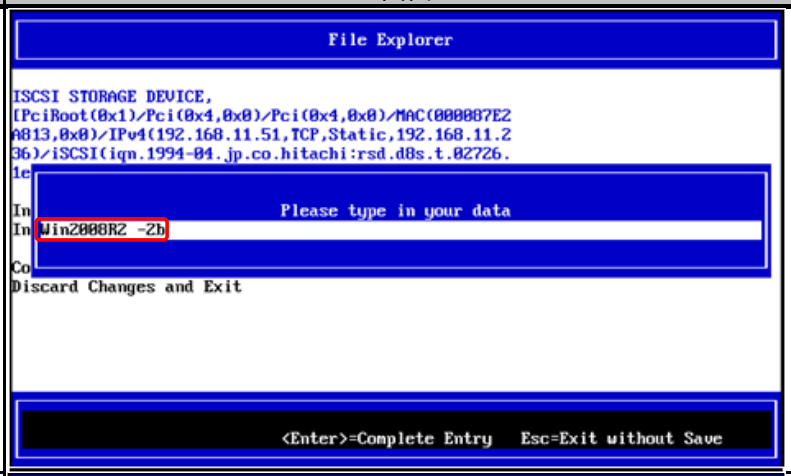
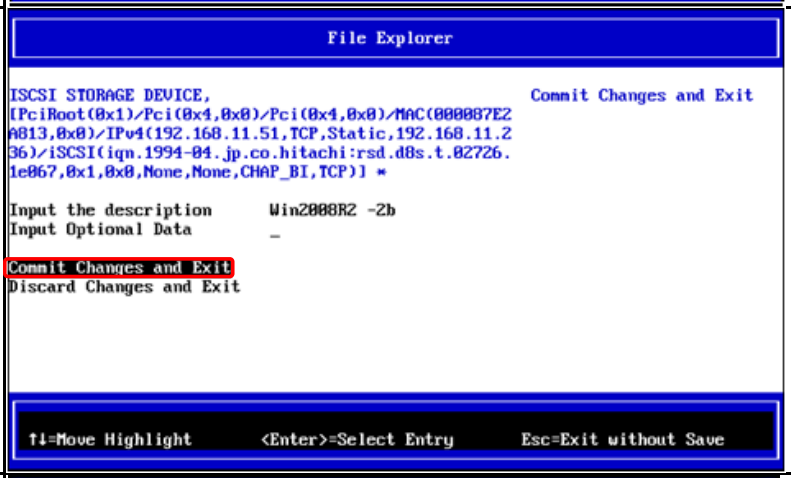
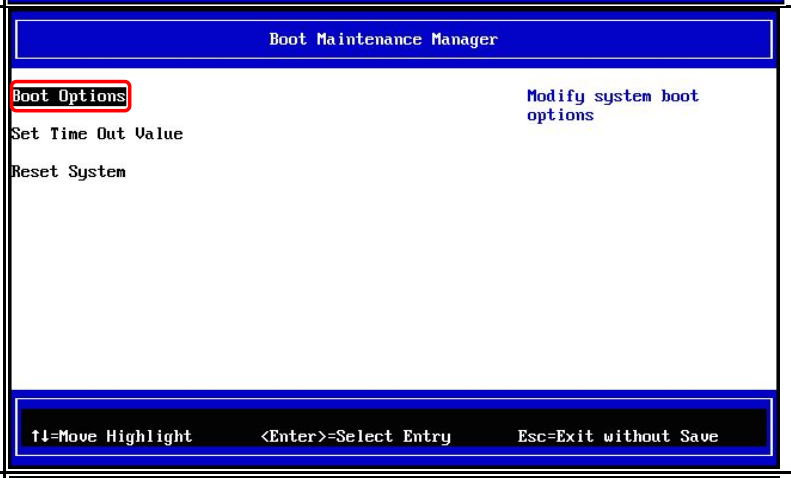
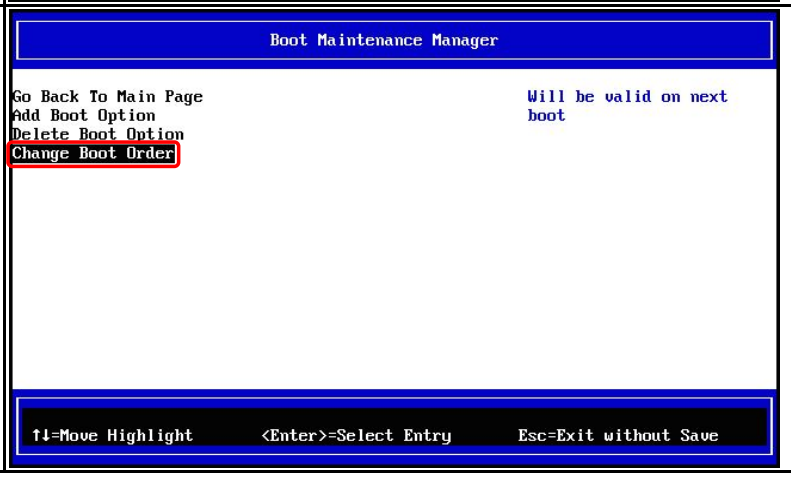
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 88 |  | ・「Target IP Address」を選択します。<br>・iSCSIストレージのLANポートに設定されたIPアドレスを入力します。 | □ |
| 89 |  | ・「Target Port」を選択します。<br>・iSCSIストレージのTCPポート番号を入力します。 | □ |
| 90 |  | ・「Boot LUN」を選択します。<br>・iSCSIストレージのブートディスクのH-LUNを入力します。 | □ |
| 91 |  | ・「CHAP Type」を選択します。<br>・「Mutual」を選択します。<br><br>※例として「Mutual」に設定しています。「None」の場合は手順98へ、「One Way」の場合は手順94まで設定したら手順98へ進んでください。 | □ |

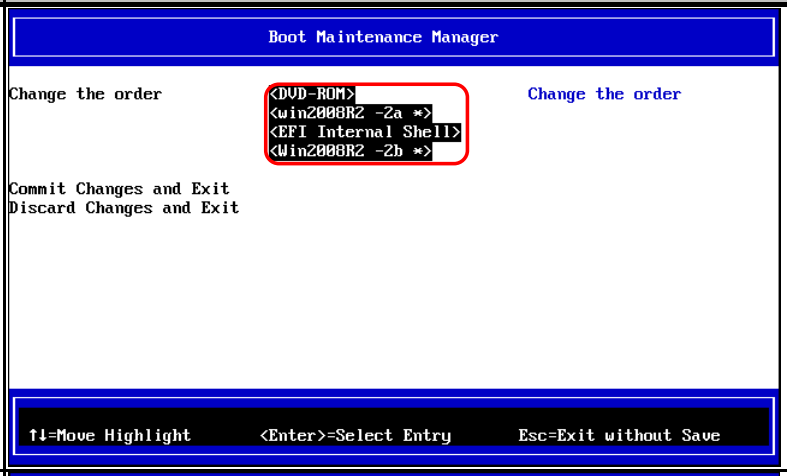
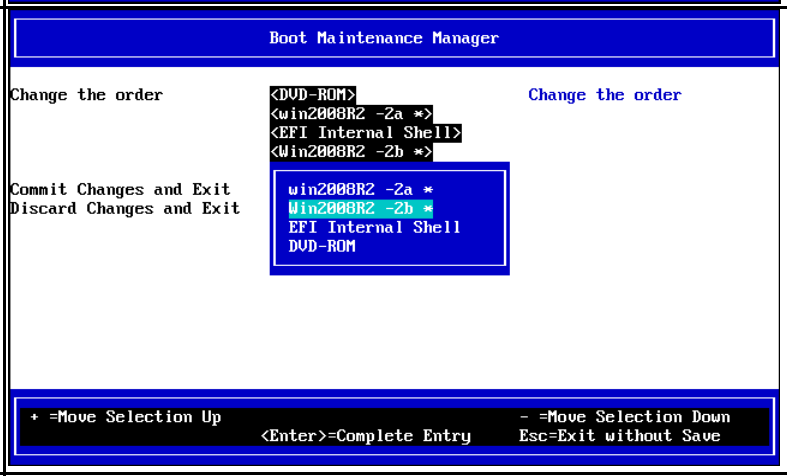
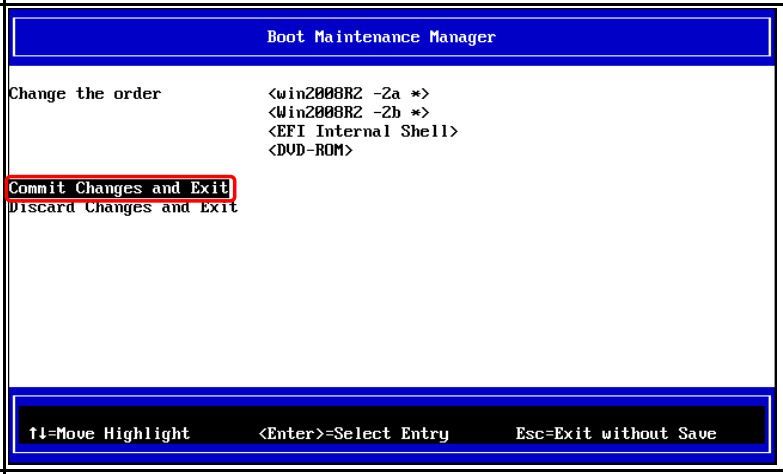
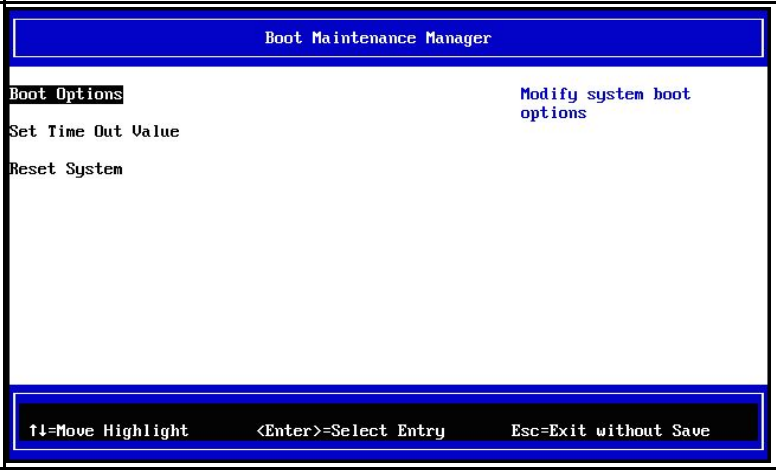
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 92 |  | ・「CHAP Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定したCHAPユーザ名を入力します。 | ☐ |
| 93 |  | ・「CHAP Secret」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定したCHAPパスワードを入力します。 | ☐ |
| 94 |  | ・CHAPパスワードを再入力します。<br><br>※「One Way」を選択した場合は手順98へ進んでください。 | ☐ |
| 95 |  | ・「Reverse CHAP Name」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定した双方向CHAPユーザ名を入力します。 | ☐ |

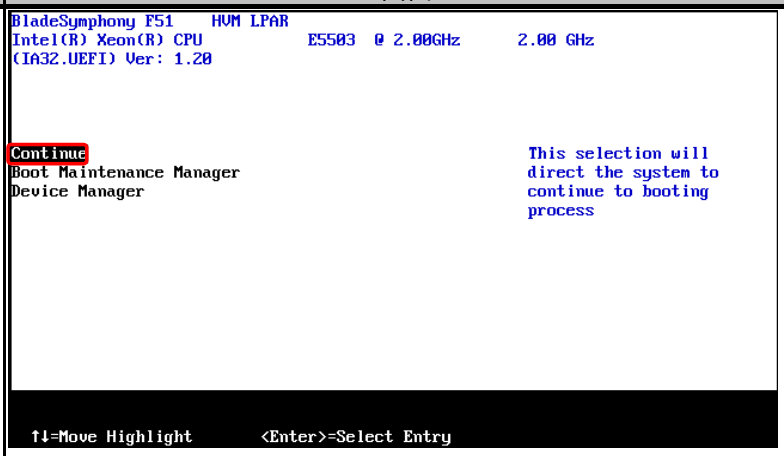
| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 96 |  | ・「Reverse CHAP Secret」を選択します。<br>・iSCSIストレージに設定した双方向CHAPパスワードを入力します。 | □ |
| 97 |  | ・双方向CHAPパスワードを再入力します。 | □ |
| 98 |  | ・「Save Changes」を選択します。 | □ |
| 99 |  | ・「Back to Previous Page」を選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 100 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 101 |  | ・「Esc」キーを押します。 | □ |
| 102 |  | ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | □ |
| 103 |  | ・「Reset System」を選択します。 | □ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 104 |  | ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 | ☐ |
| 105 |  | ・「Boot Options」を選択します。<br><br>※この画面に切り替わる際にエラーメッセージが表示された場合は、各設定項目が正しいかどうか見直してください。設定を見直してもエラーが表示される場合は『Virtage ユーザーズガイド 運用編』を参照してください。 | ☐ |
| 106 |  | ・「Add Boot Option」を選択します。 | ☐ |
| 107 |  | ・「2b」に設定した「iSCSI STORAGE DEVICE」を選択します。<br><br>※選択した「iSCSI STORAGE DEVICE」に「*」がついていることを確認してください。ついていない場合は冗長化ができていないので、設定を見直してください。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 108 |  | ・「Input the description」を選択します。<br>・ブートデバイス名を入力します。<br><br>※「2b」のブートデバイスと識別できるようにデバイス名を入力してください。例として「Win2008R2-2b」と入力しています。 | ☐ |
| 109 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 110 |  | ・「Boot Options」を選択します。 | ☐ |
| 111 |  | ・「Change Boot Order」を選択します。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
|---|---|---|---|
| 112 |  | ・「Enter」キーを押します。 | ☐ |
| 113 |  | ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。<br><br>Win2008R2 -2a<br>Win2008R2 -2b<br>EFI Internal Shell<br>DVD-ROM | ☐ |
| 114 |  | ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 | ☐ |
| 115 |  | ・「Esc」キーを押します。 | ☐ |

| No. | 画面 | 操作 | チェック |
| --- | --- | --- | --- |
| 116 |  | ・「Continue」を選択します。<br><br>※OS起動後に、必要に応じてマルチパスI/Oのインストールや設定を行ってください。<br><br>以上でOSインストールは完了です。 | □ |

# 4. 変更来歴

**第1版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | | 初版 |

**第2版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | 1 | P5モデル対応 |
| 2 | 30 | 1．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)を追加 |
| 3 | 35 | リモートCD/DVDサポート(Windows Server 2003 R2)をサポート |
| 4 | 92 | 2．4．3　LPARの構築(HVM_Ver(17-6x)以降を使用する場合)を追加 |
| 5 | 97 | リモートCD/DVDサポート(Windows Server 2008 R2)をサポート |

**第3版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | 4 | 目次改善 |
| 2 | 5 | インストール所要時間の追加 |
| 3 | 10 | 1．1．2　事前準備（2） SystemInstallerを使用する場合 |
| 4 | 14 | 1．2　HVMの起動　BIOS設定項目追加 |
| 5 | 69 | 1．5．1　シリアルコンソールの設定を削除 |
| 6 | 71 | 1．5．2　SystemInstallerを使用する場合を追加 |
| 7 | 107 | 1．5．2　シリアルコンソールの設定を削除 |
| 8 | 109 | 1．5．3　32ビット SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャあり) |
| 9 | 136 | 1．5．3　シリアルコンソールの設定を削除 |
| 10 | 138 | 1．5．4　x64 SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャあり) |
| 11 | 168 | 1．5．4　シリアルコンソールの設定を削除 |
| 12 | 216 | 2．5．1　シリアルコンソールの設定を削除 |

**第4版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 変更履歴の章位置を最後尾に移動 |
| 2 | 3 | 「はじめに」記載の参照先マニュアル名変更<br>・「ユーザーズガイド」→「ユーザーズガイド　導入編」<br>・「ソフトウェアガイド」→「セットアップガイド　基本構成編」<br>「はじめに」記載の参照先マニュアル名追加<br>・「BladeSymphony BS320 Virtageユーザーズガイド　導入編」<br>・「BladeSymphony BS320 Virtageセットアップガイド　基本構成編」 |
| 3 | 4 | 1．5．1 『32ビット/x64 セットアップCDのみを使用する場合』<br>→『セットアップCDのみを使用する場合』に変更<br>1．5．2 『32ビット/x64 SystemInstallerを使用する場合(構成マネージャ未使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用)』に変更<br>1．5．3 『32 ビット SystemInstallerを使用する場合 (構成マネージャ使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDが32ビットの場合』に変更<br>1．5．4 『32 ビット SystemInstallerを使用する場合 (構成マネージャ使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDがx64の場合』に変更 |
| 4 | 5 | 1．5．1 『32ビット/x64 セットアップCDのみを使用する場合』<br>→『セットアップCDのみを使用する場合』に変更<br>1．5．2 『32ビット/x64 SystemInstallerを使用する場合(構成マネージャ未使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ未使用)』に変更<br>1．5．3 『32 ビット SystemInstallerを使用する場合 (構成マネージャ使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDが32ビットの場合』に変更<br>1．5．4 『32 ビット SystemInstallerを使用する場合 (構成マネージャ使用)』<br>→『SystemInstallerを使用したインストール(構成マネージャ使用)セットアップCDがx64の場合』に変更 |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 8 | 1．1．1 参照先マニュアル名変更<br>・「ユーザーズガイド LANスイッチモジュールの設定」<br>→「ユーザーズガイド 導入編 LANスイッチモジュールの設定」 |
| 6 | 8 | 1．1．1 準備品のハードウェア保守エージェントに条件を追加 |
| 7 | 10 | 1．1．2 準備品のハードウェア保守エージェントに条件を追加 |
| 8 | 70 | 1．5．1 システム情報採取ツールのインストールの手順を追加 |
| 9 | 70 | 1．5．1 操作項目123『BS320ソフトウェアガイド』の記載を<br>『BS320セットアップガイドWindows編』に変更 |
| 10 | 109 | 1．5．2 システム情報採取ツールのインストールの手順を追加 |
| 11 | 109 | 1．5．2 操作項目140『BS320ソフトウェアガイド』の記載を<br>『BS320セットアップガイドWindows編』に変更 |
| 12 | 136 | 1．5．3 操作項目93 システム情報採取ツールのインストールの手順を追加 |
| 13 | 164 | 1．5．4 操作項目87 システム情報採取ツールのインストールの手順を追加 |
| 14 | 174 | 2．1 参照先マニュアル名変更<br>・「ユーザーズガイド LANスイッチモジュールの設定」<br>→「ユーザーズガイド 導入編 LANスイッチモジュールの設定」 |
| 15 | 174 | 2．1 準備品のハードウェア保守エージェントに条件を追加 |
| 16 | 214 | 2．5．1 SystemInataller P5モデルの場合のディレクトリを追加 |
| 17 | 215 | 2．5．1 SystemInataller P5モデルの場合のディレクトリを追加 |

**第5版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | 3 | 目次 Windows Server 2008 R2の記載をWindows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1に記載を修正 |
| 2 | 5 | インストール所要時間 Windows Server 2008 R2の記載をWindows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1に記載を修正 |
| 3 | 16 | 1．2 HVMの起動 Intel® VT-dをEnabledにする設定を追加 |
| 4 | 23 | 1．4．1 手順4～11 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 5 | 28 | 1．4．2 手順4～12 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 6 | 34 | 1．4．3 手順5～14 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 7 | 34 | 1．4．3 手順8 HVMバージョン17-86以降でのVNIC Device Typeの変更手順を追加 |
| 8 | 93 | 1．5．2 手順73内にある『SystemInstallerCDを取り出す』を『Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)を取り出します。』に修正 |
| 9 | 93 | 1．5．2 手順74内にある『Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)を取り出します。』を削除 |
| 10 | 132 | 1．5．3 手順73内にある『SystemInstallerCDを取り出す』を『Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)を取り出します。』に修正 |
| 11 | 132 | 1．5．3 手順74内にある『Windows Server 2003 R2 SP2メディア(2/2)を取り出します。』を削除 |
| 12 | 176 | 2．Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追加 |
| 13 | 177 | 2．1 準備 手順2 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追加 |
| 14 | 184 | 2．2 HVMの起動 Intel® VT-dをEnabledにする設定を追加 |
| 15 | 191 | 2．4．1 手順4～11 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 16 | 196 | 2．4．2 手順4～12 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 17 | 202 | 2．4．3 手順5～14 各設定値を任意に設定する手順に変更 |
| 18 | 202 | 2．4．3 手順8 HVMバージョン17-86以降でのVNIC Device Typeの変更手順を追加 |
| 19 | 206 | 2．5．1 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1のインストールの手順を追加 |
| 20 | 207 | 2．5．1 手順3 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追記 |
| 21 | 218 | 2．5．1 操作項目41 Windows Server 2008 SP2インストール時に出力されるライセンスキー入力画面を追加 |
| 22 | 219 | 2．5．1 操作項目47・48 SystemInstallerの場合 ディレクトリ中の”C51P5”と”Win2008R2”を”ブレードモデル名”と”OS名”に変更 例にブレードモデル名・・・C51P5とOS名・・・Win2008R2を追加 |
| 23 | 220 | 2．5．1 手順49 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追記 |
| 24 | 221 | 2．5．1 手順55 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1の設定を追記 |
| 25 | 222 | 2．5．1 手順56 P5モデルの場合 ディレクトリ中の”C51P5”を”ブレードモデル名”に変更<br>例)ブレードモデル名・・・C51P5 |
| 26 | 223 | 2．5．1 手順59 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追記 |
| 27 | 224 | 2．5．1 手順66 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追記 |
| 28 | 226 | 2．5．1 手順71 シリアル出力の設定方法を追加 |
| 29 | 228 | 3． 変更履歴を変更来歴に変更 |
| 30 | 230 | 裏表紙を追加 |

**第6版**

| No. | ページ | 変更履歴 |
|---|---|---|
| 1 | 13 | 1．2　手順の順番を変更 |
| 2 | 171 | 2．2　手順の順番を変更 |
| 3 | 215 | 3．　Windows Server 2008 R2/R2 SP1インストール手順(iSCSIの場合)を追加 |

Virtage OSインストール手順書(Windows編)
2013年2月（第6版）

株式会社 日立製作所
ITプラットフォーム事業本部
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

無断転載を禁止します。
http://www.hitachi.co.jp